

平成24年度国土交通省補助事業

平成24年度住宅市場整備推進等事業
「木造住宅の基礎的な省エネ施工技術等に関する講習事業」

～省エネ設計・施工に関する実態調査～
報告書

平成25年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

～省エネ設計・施工に関する実態調査～ 報告書

《目次》

1. 業務の目的	1
2. 業務の内容	1
3. 調査内容の検討	2
(1) 共通事項	2
①調査方法	2
②回答者属性の把握	2
(2) 省エネ設計・施工の実態把握	2
①省エネ設計・施工の実態把握の視点	2
②調査対象者の検討	3
③具体的な調査内容	3
(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集	5
(4) 講習会運営に関する情報収集	5
(5) 実施する調査	6
4. 調査の実施概要	7
(1) C講習会アンケート調査実施概要	7
①概要	7
②アンケート調査票	9
③回答者の属性	11
(2) 地域ブランド施工・設計事業者調査実施概要	13
①概要	13
②アンケート調査票	15
③回答者の属性	17
5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果	19
(1) C講習会アンケート調査結果	19
①普段施工している断熱工法・断熱材料	19
②講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ	39
③断熱・施工方法に関する情報の主な入手先	42
④今回の講習内容で施工する場合の手間	43
⑤最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発	45
⑥C講習会アンケート調査結果のまとめ	46
(2) 地域ブランド施工・設計事業者調査結果	49
①普段設計または現場管理している断熱工法・断熱材料	49
②断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時のチェックに使用する図面	70
③普段設計または現場管理している省エネ基準レベル	71
④計算経験のある断熱性能	72
⑤断熱・施工方法に関する情報の主な入手先	73
⑥最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発	74
⑦地域ブランド施工・設計事業者調査結果のまとめ	75

6. 講習内容・資料検討に関する調査結果	78
①講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)	78
②講習内容、説明方法	82
③修了考査	91
④講師の説明	93
7. 今後の資料、講習内容、説明方法、修了考査の検討	94
(1) テキストと講習内容	94
(2) DVDと講習内容	95
(3) カットモデル	95
(4) 新たな資料の検討	96
(5) 説明方法	96
(6) 修了考査	96
8. 講習会運営に関する調査結果	97
①講習会開催の認知経路	97
②講習会への参加動機	98
③講習時間	99
④講習会運営に関する意見	100
⑤講師、スタッフ、受講者への意見	100
9. 今後の講習会運営に関する検討	101
(1) 広報・開催案内	101
(2) 会場・設備	102
(3) 講習時間	102
(4) 講師、スタッフ等のマナー	102

《資料編》

I. C講習会アンケート調査結果

II. 地域ブランド施工・設計事業者調査結果

III. A・B講習会アンケート調査結果

本文中の略称凡例

- ・ C講習会：住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会
- ・ 地域ブランド：地域型住宅ブランド化事業
- ・ 全国協議会：全国木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・ 地域協議会：各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・ A講習会：住宅省エネルギー技術 地域リーダー講師講習会
- ・ B講習会：住宅省エネルギー技術 地域リーダー講習会

1. 業務の目的

平成 24 年度国土交通省補助事業の住宅市場整備推進等事業「木造住宅の基礎的な省エネ施工技術等に関する講習事業」において、新築住宅の省エネ基準適合率を平成 32 年度までに 100%とすることを目指し、地域の木造住宅生産を担う中小工務店の断熱施工技術の向上を図るため、全国各地域において、省エネ施工技術に関する適切な知識を有する地域リーダーや施工技術者を育成するための講習会を実施した。

本業務は「省エネ設計・施工に関する実態調査」を実施し、省エネ設計・施工の実態を明らかにし現状を把握すること、及びその結果から今後の講習会の方向性を検討することを目的とする。

2. 業務の内容

本業務の内容は以下の通りとする。

- ①省エネ設計・施工の実態調査のためのアンケートの内容をその分析手法と共に省エネ講習会運営ワーキングに提示しその方向性を確認する。
- ②アンケート調査票の作成
- ③アンケート調査票の配布、回収
- ④調査結果の集計
- ⑤調査結果の分析・まとめ

3. 調査内容の検討

本調査は省エネ設計・施工の実態把握、及び「住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会（以下、C講習会）」の運営・資料作成に関する情報収集を目的とした。

省エネ設計・施工の実態把握については多用される断熱仕様や性能規定への取り組みについて実態を把握、またC講習会内容とのギャップの確認を行う為、調査内容・分析手法を省エネ講習会運営ワーキングに提示し、その方向性を以下の通り確認した。

C講習会の運営・資料作成に関する情報収集については講習会開催情報の認知経路、参加理由、講習時間、資料内容、講習内容、修了考査、講師について受講者の感想、意見を把握した。省エネ設計・施工の実態把握と合わせ、今後の講習会で何に取り組むべきか、テキストなどに何を追加または割愛すべきか、講習会以外にもどんなサポートができるのかを考察することとした。

(1) 共通事項

①調査方法

調査方法は調査票を用いたアンケート調査とする。ボリュームはA4×2枚程度、回答所要時間10～15分程度の内容を想定する。

②回答者属性の把握

年齢、職種、業種を把握する。

(2) 省エネ設計・施工の実態把握

①省エネ設計・施工の実態把握の視点

省エネ設計・施工の実態把握を以下の視点から行うこととする。

- 多用される断熱工法、断熱材料は何か。
- 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
- 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。
- 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのか。
- 多用される省エネレベルは何か。
- 性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。
- 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

②調査対象者の検討

調査対象者は現場施工者、設計者、現場管理者を対象とし、それぞれ以下の方法による調査を実施する。

●現場施工者

各都道府県で開催され、主に現場施工者の参加を想定したC講習会にて受講者を対象として調査を実施する。

●設計者、現場管理者

各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会(以下、地域協議会)を窓口とし、数量的にまとまった回答票の回収を見込むことが可能な、地域型住宅ブランド化事業(以下、地域ブランド)採択グループに所属する工務店等を対象として調査を実施する。

③具体的な調査内容

1) 現場施工者、設計者、現場管理者に共通する質問

●普段携わっている断熱工法は何か、断熱材料は何か。

- ・多用される断熱工法、断熱材料は何かを把握する。
- ・取合い部分における断熱工法、断熱材料にはそれぞれどのような組合せが多いかを把握する。
- ・取合い部分とは「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」とする。
- ・断熱工法毎に断熱材料は何が多用されているのかを把握する。
- ・断熱工法は部位毎に以下の工法を選択肢とする。

《屋根・天井》天井断熱、屋根野地上断熱、垂木間充填断熱。

《外壁》充填断熱、外張断熱、充填外張併用断熱。

《床・基礎》床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)、床断熱(根太+大引間充填)、基礎断熱。

- ・断熱材料はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)、その他を選択肢とする。

●施工方法の情報入手先

- ・省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのかを把握する。
- ・職場内研修、住宅生産関連団体の講習会などから、公的講習会・仕様書から、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから、建築雑誌から、その他を選択肢とする。

- 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。
 - ・「断熱住宅」のキーパーソンは誰かを把握する。
 - ・今後の講習対象再考のための情報にもなる。
 - ・設計従事者、施工管理者、現場施工者、建築主、その他を選択肢とする。

2) 主に現場施工者への質問

現場の施工実態と理想形(C講習会で示す原理原則)とのギャップには何があるか、どれくらいあるかを把握する。また自由記述からも意見を抽出する。現実の施工とギャップがあった場合、改善していく為には今後の講習会で何に取り組むべきか、テキストなどに何を追加または割愛すべきか、講習会以外にもギャップを埋める為にどんなサポート出来るのかを結果から考察する。

- 講習を聴いて、普段の施工方法に勘違い等があったか。
 - ・現場施工者は正しい断熱施工を把握しているかを確認する。
 - ・C講習会の受講内容を基準として、「今まで正しく施工していなかったところ」、「難しい・やりにくいなど感じたところ」はどこか。
 - ・「講習内容の施工」に取り組むためのハードルはどの部分か。
 - ・壁への施工、屋根への施工、天井への施工、下屋への施工、筋かい部への施工、真壁への施工、浴室への施工、気流止めの施工、基礎への施工、その他を選択肢とする。
- 適切な施工を行うにはどの程度の手間賃のアップが必要か。
 - ・現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
 - ・「講習内容の施工」に取り組みにくいか、取り組みやすいか。感じている負担度合いを把握する。
 - ・ほとんど変わらない、坪あたり〇〇人工程度増加、坪あたり〇〇人工程度減少を選択肢とする。
 - ・人工増なら普段は「講習内容の施工」をしていないということ。
 - ・人工増は何人工ほどの増となるかを把握する。

3) 主に設計者、現場管理者への質問

- 断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面は何か。
 - ・設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何をを用いているか。
 - ・特記仕様書、仕上表、平面図、平面詳細図、矩計図、その他を選択肢とする。

- 普段携わっている省エネ基準レベルは何か。
 - ・ 多用されている省エネレベルを把握する。
 - ・ H11年基準(次世代基準・等級4)、H4年基準(新基準・等級3)、S55年基準(旧基準・等級2)、H11年基準以上を選択肢とする。
- 断熱性能の計算経験はあるか。
 - ・ 断熱性能を把握するための計算がどれくらい行われているかという点から、断熱設計への取り組み実態を把握する。
 - ・ 年間冷暖房負荷、Q値(熱損失係数)、U値(部位熱貫流率)、R値(熱抵抗値)を選択肢とする。

(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集

資料(テキスト、DVD、カットモデル)の内容、講習(テキスト1～4章、別冊テキスト)の内容、修了考査、講師について受講者の感想を把握する。また自由記述からも感想、意見を抽出する。

① 調査対象者

調査対象者はC講習会受講者とする。

② 具体的な調査内容

具体的な調査内容は以下の通りとする。

- 資料(テキスト、DVD、カットモデル)、講師
 - ・ 大変わかりやすかった、わかりやすかった、普通、わかりにくかった、大変わかりにくかったを選択肢とする。
- 講習(テキスト1～4章、別冊テキスト)、修了考査
 - ・ 難しかった、難しいとは思わない、易しいを選択肢とする。

(4) 講習会運営に関する情報収集

講習会開催情報の認知経路、参加理由、講習時間について把握する。また自由記述からも感想、意見を抽出する。

① 調査対象者

調査対象者はC講習会受講者とする。

② 具体的な調査内容

具体的な調査内容は以下の通りとする。

●講習会開催情報の認知経路

- ・会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて、各都道府県の地域協議会からの情報、所属業界団体(会社等)からの情報・依頼、その他を選択肢とする。

●参加理由

- ・これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから、所属業界団体または会社等から受講を指示されたから、その他を選択肢とする。

●講習時間

- ・長い、ちょうどよい、短いを選択肢とする。

(5) 実施する調査

上記(2)～(4)の省エネ設計・施工の実態把握、講習内容・資料検討に関する情報収集、講習会運営に関する情報収集について、「C講習会アンケート調査」及び「地域ブランド施工・設計事業者調査」を実施する。

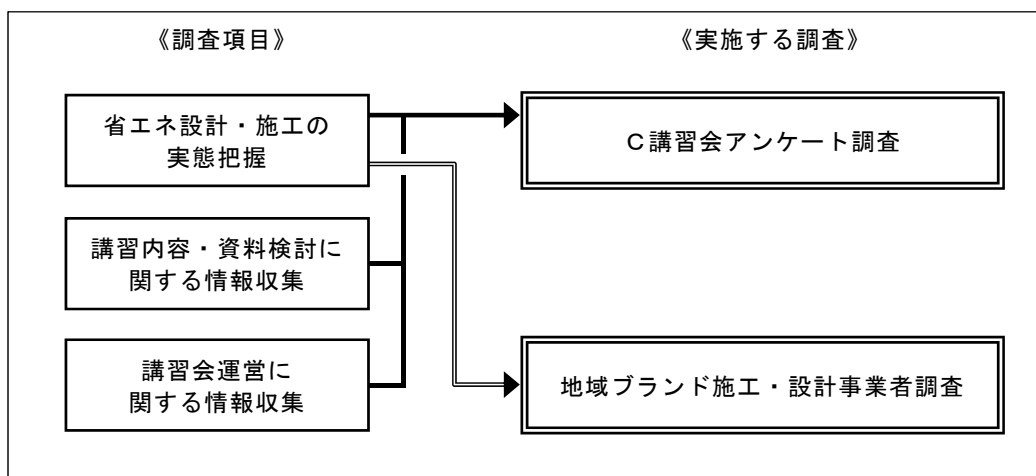


図 3-1 調査項目と実施する調査の相関図

4. 調査の実施概要

(1) C講習会アンケート調査実施概要

①概要

- ・ 調査対象
：主に現場で施工を行う大工、職人、その他。
- ・ 調査期間
：2012年9月～2013年3月
- ・ 調査場所
：全国47都道府県で開催のC講習会(平成24年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)会場。全384会場。
- ・ アンケート票配布及び回収方法
：C講習会にて教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。
- ・ アンケート票回収数
：全国で11,028票。

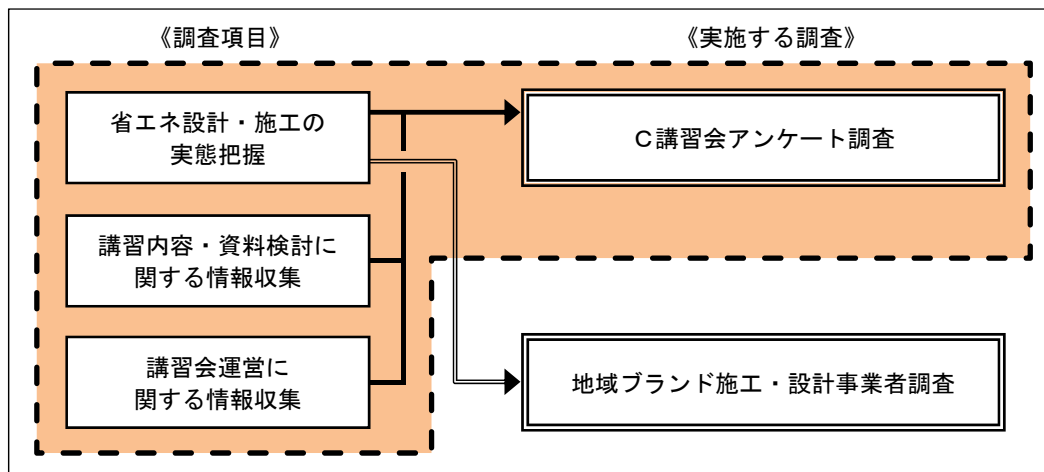


図 4-1-1 調査項目と実施する調査の相関図 C講習会アンケート調査

地域	回答数	%
北海道	361	3.3
東北	1197	10.9
関東	2880	26.1
北陸	841	7.6
中部	1927	17.5
近畿	1173	10.6
中国	854	7.7
四国	454	4.1
九州・沖縄	1341	12.2
全体	11028	100.0

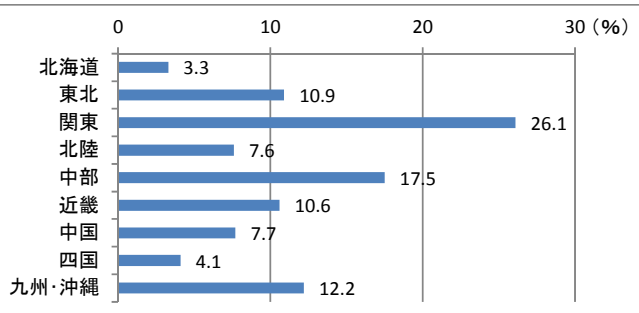


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けはC講習会応募地域分けに倣う)

地域	都道府県	回答数	%
北海道	北海道	361	3.3
東北	青森県	233	2.1
	岩手県	154	1.4
	宮城県	221	2.0
	秋田県	173	1.6
	山形県	156	1.4
関東	福島県	260	2.4
	茨城県	223	2.0
	栃木県	226	2.0
	群馬県	210	1.9
	埼玉県	549	5.0
	千葉県	451	4.1
	東京都	624	5.7
北陸	神奈川県	498	4.5
	山梨県	99	0.9
	新潟県	386	3.5
	富山県	159	1.4
	石川県	184	1.7
中部	福井県	112	1.0
	長野県	265	2.4
	岐阜県	252	2.3
	静岡県	487	4.4
	愛知県	685	6.2
近畿	三重県	238	2.2
	滋賀県	136	1.2
	京都府	138	1.3
	大阪府	397	3.6
	兵庫県	344	3.1
中国	奈良県	68	0.6
	和歌山県	90	0.8
	鳥取県	147	1.3
	島根県	91	0.8
	岡山県	259	2.3
四国	広島県	214	1.9
	山口県	143	1.3
	徳島県	82	0.7
	香川県	117	1.1
	愛媛県	140	1.3
九州・沖縄	高知県	115	1.0
	福岡県	344	3.1
	佐賀県	92	0.8
	長崎県	167	1.5
	熊本県	217	2.0
	大分県	148	1.3
	宮崎県	158	1.4
鹿児島県	159	1.4	
沖縄県	56	0.5	
全体	11028	100.0	

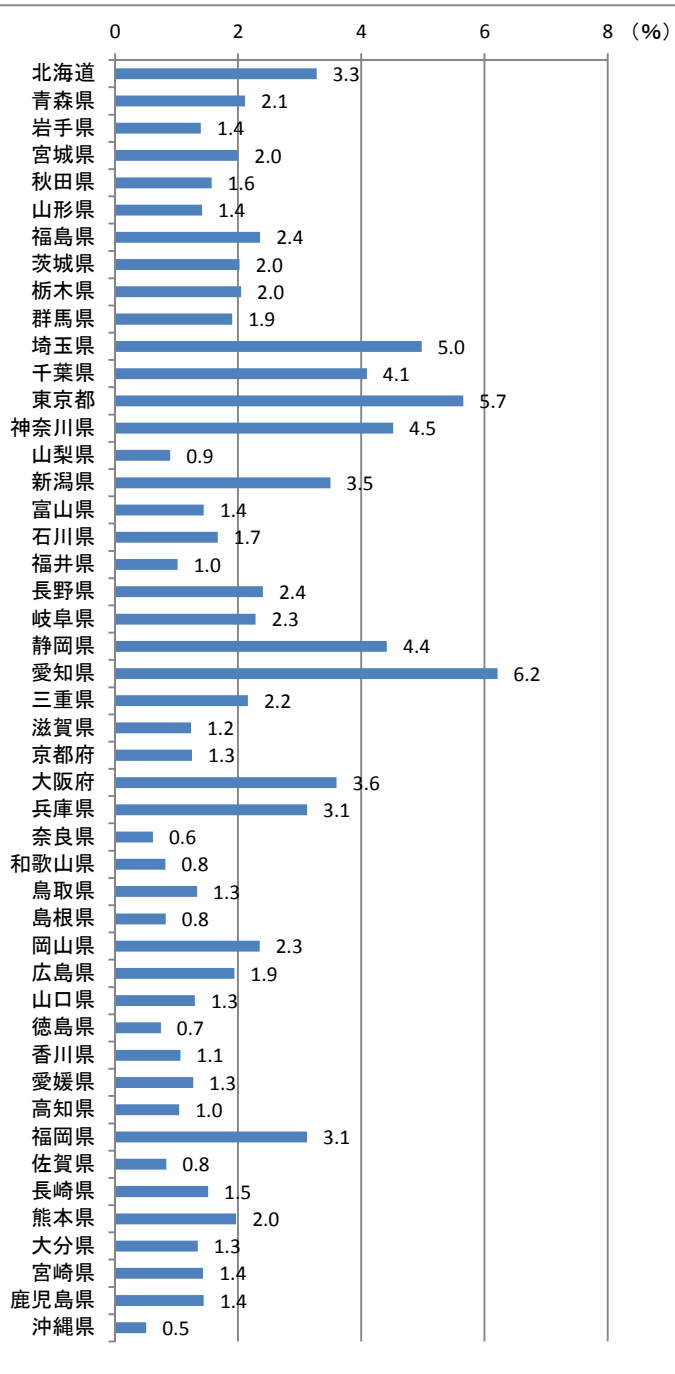


図 4-1-2b 都道府県別回答数

②アンケート調査票

C 講習会アンケート調査では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「講習会」に関するアンケート</u>		C
受講者各位		全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
<p>この度は、本講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。</p> <p>つきましては、下記アンケート実施にご協力をお願い申し上げます。</p>		
受講日：平成25年 月 日() 会場：_____ 会場(都道府県名でお書きください)		
回答者属性	質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:その他()	
	質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()	
	質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上	
講習会運営に関する情報収集	質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()	
	質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要または参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()	
	質問6. 今回の講義時間についてお聞きします。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い	
講習内容・資料検討に関する情報収集(質問10迄)	質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きします。(各項目ひとつに○)	
	・テキスト 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった	
	・DVD 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった	
	・カットモデル(原寸模型) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった	
	質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)	
	8-1. これからの住まいの省エネ化について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	
	8-2. 省エネ住宅の設計/施工について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	
	8-3. 省エネ基準と関連制度について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	
	8-4. リフォームについて 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	
	質問9. 修了考査について (ひとつに○) 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい	

質問10. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()
② 難しい・やりにくいと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり()人工程度増加する
3. 坪あたり()人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。

本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

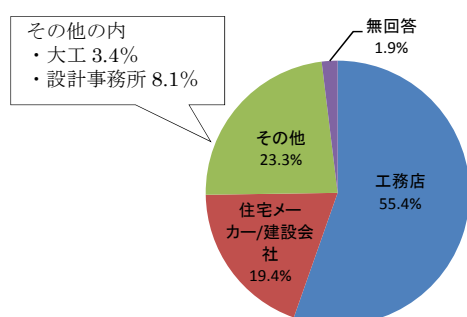
③回答者の属性《質問1・2・3》

1) 業種と職種

業種は工務店・大工が6,486人(全体の58.8%。以下同じ)、住宅メーカー・建設会社が2,137人(19.4%)、施工に関わる業種は合計8,623人(78.2%)であった。また設計事務所が890人(8.1%)であった。

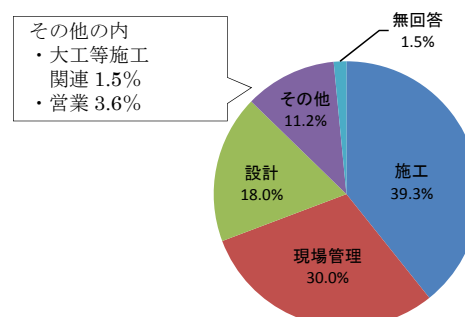
職種は施工・大工等が4,497人(40.8%)、現場管理が3,309人(30.0%)、施工現場に関わる職種は合計7,806人(70.8%)であった。また設計が1,986人(18.0%)、営業が401人(3.6%)であった。

以上の結果からC講習でターゲットとした施工技術者を適切に取り込むことができたと考えられる。一方で設計従事者の受講も目立ち、本講習に関心があった、あるいは受講前の時点で講習内容に誤解があったことが考えられる。



No.	業種	回答数	%
1	工務店	6108	55.4
2	住宅メーカー/ 建設会社	2137	19.4
3	その他	2569	23.3
	無回答	214	1.9
	全体	11028	100.0

図 4-1-3a 業種



No.	職種	回答数	%
1	施工	4329	39.3
2	現場管理	3309	30.0
3	設計	1986	18.0
4	その他	1235	11.2
	無回答	169	1.5
	全体	11028	100.0

図 4-1-3b 職種

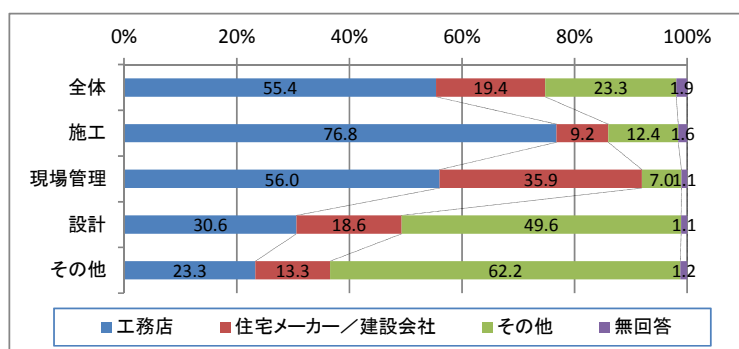


図 4-1-3c 職種別の所属業種

2) 年齢層

30～60代の各年代が万遍なく受講している。10代の受講者は極端に少ない。10～20代の受講者は合わせても1割を切っており、年代的に講習会への参加より現場での作業や実務を優先させなければいけない等の事情が考えられる。

No.	年齢	回答数	%
1	10代	41	0.4
2	20代	1026	9.3
3	30代	2907	26.4
4	40代	2506	22.7
5	50代	2546	23.1
6	60代以上	1894	17.2
	無回答	108	1.0
	全体	11028	100.0

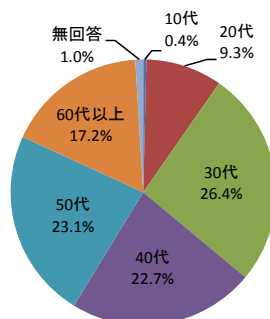


図 4-1-4a 年齢層

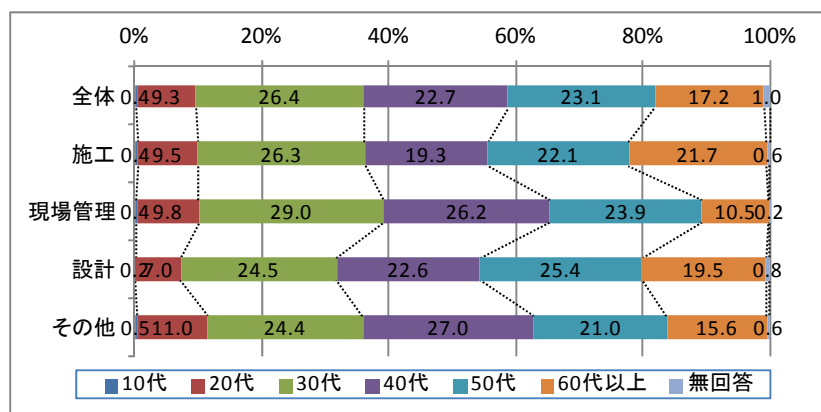


図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

(2) 地域ブランド施工・設計事業者調査実施概要

①概要

- ・ 調査対象
：主に工務店等の設計者及び現場管理者
- ・ 実施期間
：2013年1月から2月
- ・ アンケート票配布及び回収方法
：各都道府県の地域協議会を窓口として、地域型住宅ブランド化事業採択グループに所属する工務店等にアンケート票を配布、及び回収を行った。
- ・ アンケート票回収数
：全国で2,561票。

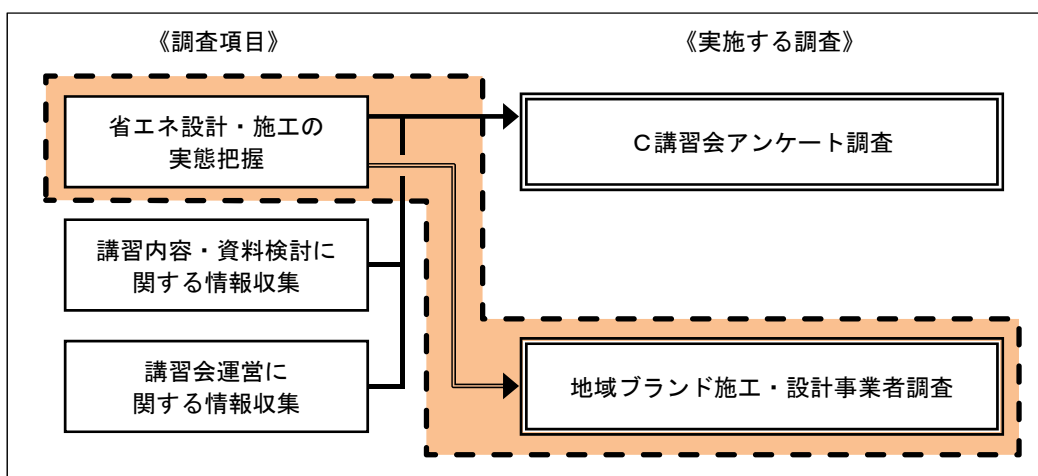


図 4-2-1 調査項目と実施する調査の相関図 地域ブランド施工・設計事業者調査

地域	回答数	%
北海道	138	5.4
東北	406	15.9
関東	477	18.6
北陸	297	11.6
中部	469	18.3
近畿	185	7.2
中国	157	6.1
四国	165	6.4
九州・沖縄	267	10.4
全体	2561	100.0

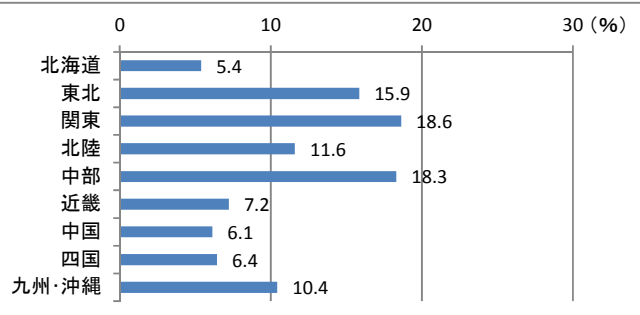


図 4-2-2a 地域別回答数(地域分けはC講習会応募地域分けに倣う)

地域	都道府県	回答数	%
北海道	北海道	138	5.4
東北	青森県	108	4.2
	岩手県	107	4.2
	宮城県	9	0.4
	秋田県	59	2.3
	山形県	34	1.3
関東	福島県	89	3.5
	茨城県	36	1.4
	栃木県	14	0.5
	群馬県	116	4.5
	埼玉県	72	2.8
	千葉県	14	0.5
	東京都	75	2.9
北陸	神奈川県	80	3.1
	山梨県	70	2.7
	新潟県	97	3.8
	富山県	116	4.5
中部	石川県	49	1.9
	福井県	35	1.4
	長野県	61	2.4
	岐阜県	64	2.5
	静岡県	142	5.5
近畿	愛知県	181	7.1
	三重県	21	0.8
	滋賀県	26	1.0
	京都府	20	0.8
	大阪府	56	2.2
	兵庫県	60	2.3
中国	奈良県	14	0.5
	和歌山県	9	0.4
	鳥取県	26	1.0
	島根県	21	0.8
	岡山県	17	0.7
四国	広島県	79	3.1
	山口県	14	0.5
	徳島県	41	1.6
	香川県	7	0.3
九州・沖縄	愛媛県	16	0.6
	高知県	101	3.9
	福岡県	40	1.6
	佐賀県	34	1.3
	長崎県	89	3.5
	熊本県	7	0.3
	大分県	8	0.3
宮崎県	60	2.3	
九州・沖縄	鹿児島県	27	1.1
	沖縄県	2	0.1
全体	2561	100.0	

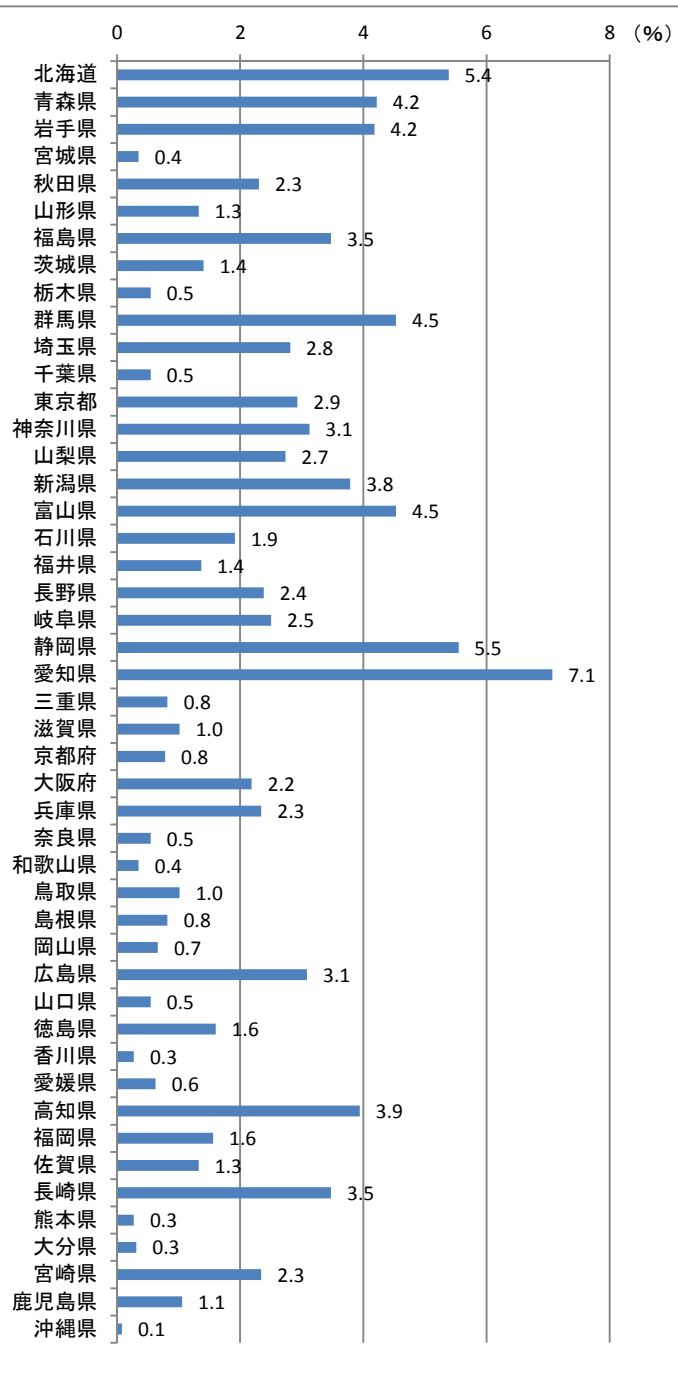


図 4-2-2b 都道府県別回答数

②アンケート調査票

地域ブランド施工・設計事業者調査では以下のアンケート調査票を用いた。

尚、以下の調査票は「中小建設工事業者・設計事務所の実態に関するアンケート調査」の一部として盛り込んだ省エネの設計・施工の実態把握に関する部分を抜粋している。

■あなたの基本的な事項について、お答え下さい。	
貴社名称	
所属部署・お名前	
	(1) 性別（右欄の当てはまる方に○をご記入ください） [男 ・ 女]
回答者属性	(2) 年齢（右欄に数値をご記入ください） [] 歳
	(3) 事業主となられた年齢（右欄に数値をご記入ください） [] 歳
	(4) あなたは起業者ですか。継承者ですか。いずれかあてはまる方に○をつけてください。また、継承者の場合、あなたは何代目ですか。数値をご記入ください。 1. 起業者(初代) 2. 継承者 [] 代目
	(5) 現在、後継者はいますか。 1. 現在いる 2. 現在いないため、探している(または今後探す) 3. 現在いないし、今後も探すつもりはない
回答者属性	(6) 現在の職種について、あてはまるもの全てに○をつけてください。 1. 施工 2. 現場管理 3. 設計 4. その他()
	(7) どのような職種から事業主になられましたか。次の1～7から最もあてはまるもの1つに○をつけてください。 [建築関係] 1. 営業 2. 大工 3. 建築設計 4. 現場管理 5. 不動産 6. その他専門職 [建築関係以外] 7. その他[]
回答者属性	(8) (7) で回答した職種に何年間従事されておりましたか。経験年数をご記入ください。 [] 年
	(9) あなたの会社の現在の業種について、あてはまるもの全てに○をつけてください。 1. 工務店 2. 住宅メーカー/建設会社 3. 設計事務所 4. その他()

(31). 省エネの設計等についてお答えください。

31-1. 普段、設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)	2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工)
②外壁	1. 充填断熱	2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱)	2. 床(大引き間断熱) 4. 基礎断熱

31-2. 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 3. その他()	2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 3. その他()	2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 3. その他()	2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)

31-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるもの全てに○をつけてください。

①屋根・天井	1. 特記仕様書 5. 矩計図	2. 仕上表 6. その他()	3. 平面図	4. 平面詳細図
②外壁	1. 特記仕様書 5. 矩計図	2. 仕上表 6. その他()	3. 平面図	4. 平面詳細図
③床・基礎	1. 特記仕様書 5. 矩計図	2. 仕上表 6. その他()	3. 平面図	4. 平面詳細図

31-4. 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入ください。

1. H11年基準(次世代基準・等級4)以上	2. H4年基準(新基準・等級3)
3. S55年基準(旧基準・等級2)	4. S55年基準以下

31-5. 計算したことのあるものについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 年間冷暖房負荷	2. Q値(熱損失係数)
3. U値(部位熱貫流率)	4. R値(熱抵抗値)

31-6. 断熱・施工方法に関する情報の入手先について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

31-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

③回答者の属性《質問2・6・9》

1) 業種と職種

業種は工務店が1,831人(全体の71.5%。以下同じ)、住宅メーカー・建設会社が456人(17.8%)、設計事務所が995人(38.9%)であった。工務店と設計事務所の両方への複数回答が560人(21.8%)であった。その他の内の主な内訳は不動産業50人(2.0%)、建材販売10人(0.4%)であった。

職種は施工が1,388人(54.2%)、現場管理が1,417人(55.3%)、設計が1,561人(61.0%)であった。複数回答は1,403人(54.8%)で半数を超える結果となった。その内、施工、現場管理、設計の3つへの複数回答は867(33.9%)であった。その他の内の主な内訳は事業主等(代表、社長、経営者など)169人(6.6%)、営業150人(5.9%)であった。

業種	回答数	%
工務店	1831	71.5
住宅メーカー/ 建設会社	456	17.8
設計事務所	995	38.9
その他	172	6.7
無回答	21	0.8
全体	2561	100.0

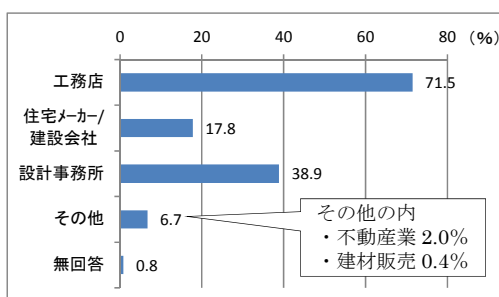


図 4-2-3a 業種

職種	回答数	%
施工	1388	54.2
現場管理	1417	55.3
設計	1561	61.0
その他	620	24.2
無回答	45	1.8
全体	2561	100.0

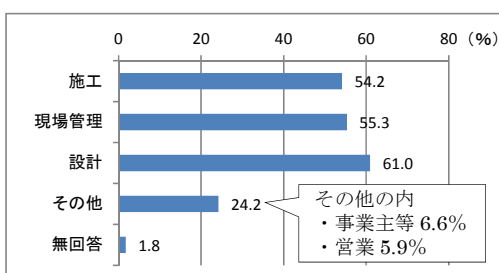


図 4-2-3b 職種

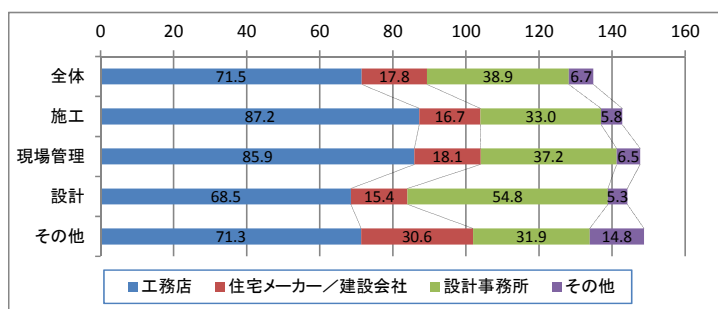


図 4-2-3c 職種別の所属業種

2) 年齢層

回答者の年齢構成は40代、50代、60代以上がそれぞれ多くなっている。20代は殆ど回答が無く、10代の回答は無かった。

年齢	回答数	%
10代	0	0.0
20代	4	0.2
30代	247	9.6
40代	593	23.2
50代	845	33.0
60代以上	841	32.8
無回答	31	1.2
全体	2561	100.0

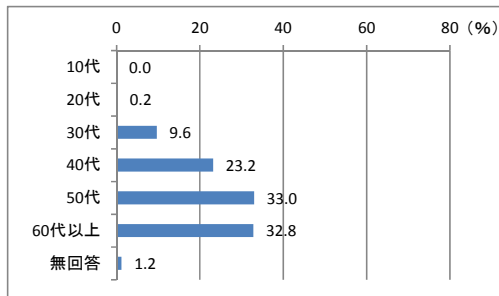


図 4-2-4a 回答者の年齢層

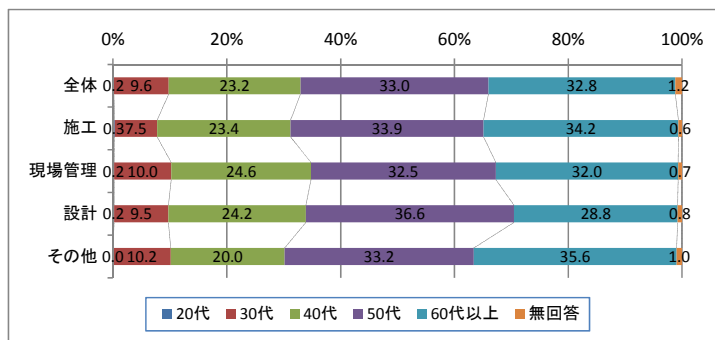


図 4-2-4b 職種別の年齢層

5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果

(1) C講習会アンケート調査結果

C講習会アンケート調査においては以下の項目について結果を整理し考察を行った。

- ① 普段施工している断熱工法・断熱材料
- ② 講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ
- ③ 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先
- ④ 今回の講習内容で施工する場合の手間
- ⑤ 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

① 普段施工している断熱工法・断熱材料

A. 普段施工している断熱工法《C講習・質問 11-1》

1) 「屋根・天井」にて普段施工している断熱工法

普段施工している屋根・天井の断熱工法は天井断熱が最も多い。地域別にみても各地域、天井断熱が最も多く、次いで垂木間充填断熱が多い。

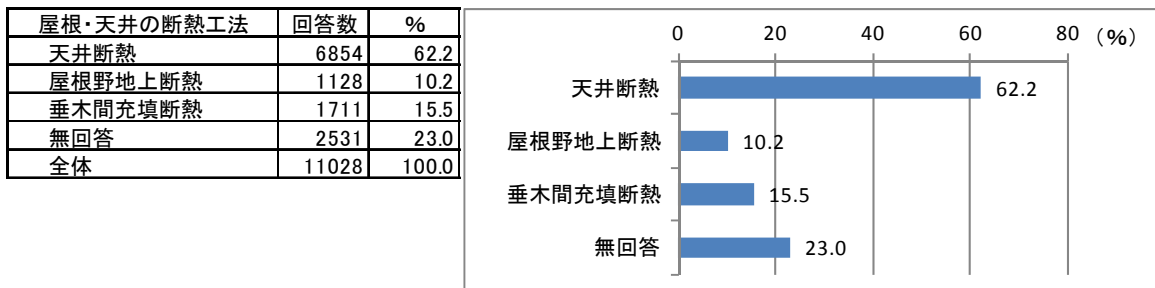


図 5-1-1a 普段施工している屋根・天井の断熱工法

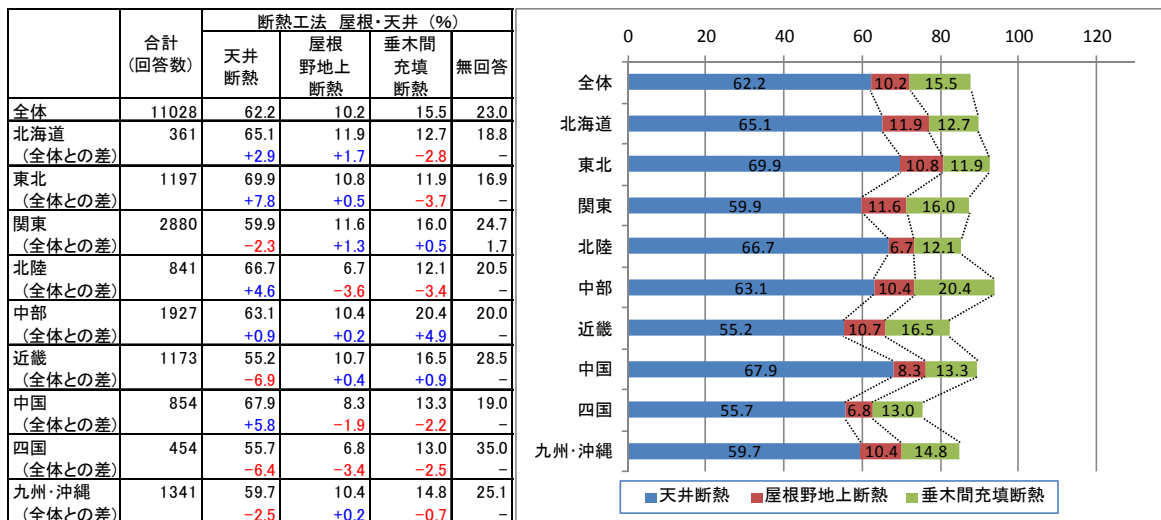


図 5-1-1b 地域別の普段施工している屋根・天井の断熱工法

2) 「外壁」にて普段施工している断熱工法

普段施工している外壁の断熱工法は充填断熱が最も多い。

地域別では北海道地域がその他の地域の傾向と異なり、充填外張併用断熱が最も多く、次いで充填断熱となっている。併用断熱が多いことについて付加断熱の採用が多いことが推測される。

東北地域は外張断熱の割合がその他の地域より高い。

外壁の断熱工法は寒冷地域とそうでない地域とで傾向が異なっている。

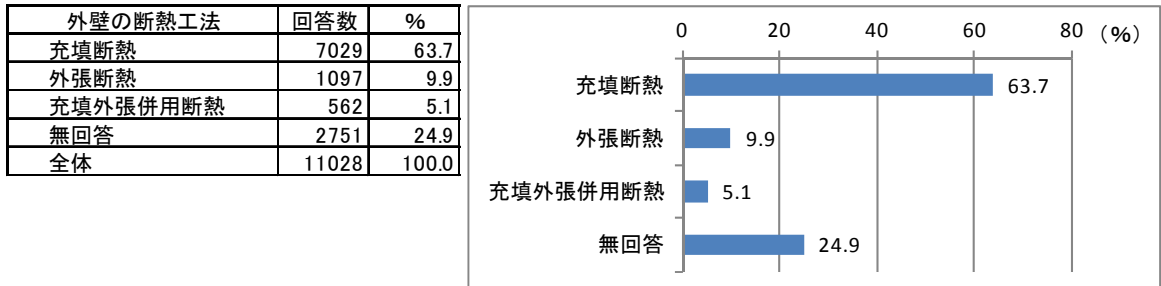


図 5-1-2a 普段施工している外壁の断熱工法

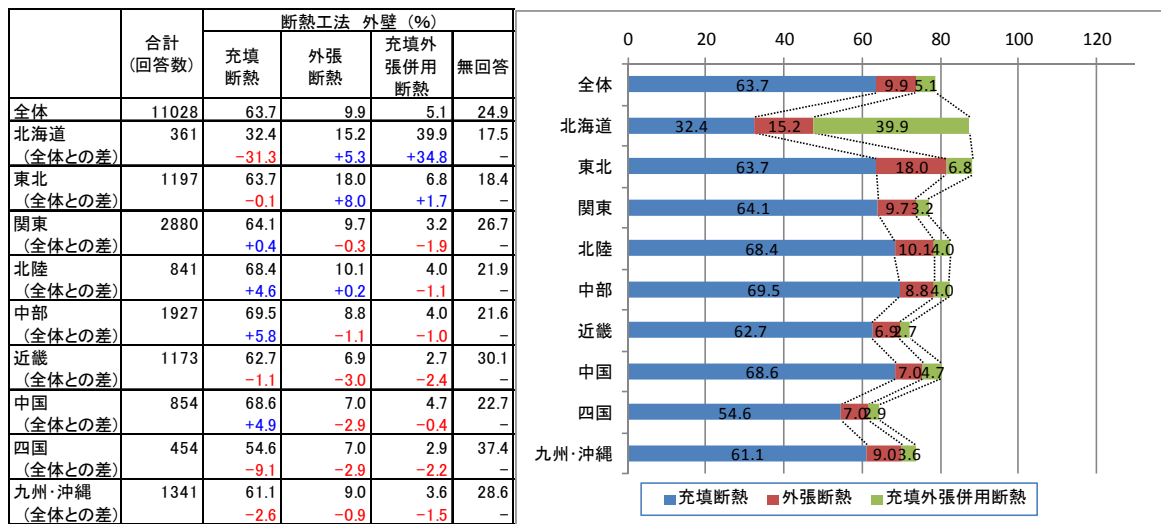


図 5-1-2b 地域別の普段施工している外壁の断熱工法

3) 「床・基礎」にて普段施工している断熱工法

普段施工している床・基礎の断熱工法は床断熱(根太間充填)が最も多い。但し、床断熱(大引間充填)や基礎断熱とのポイント差は、屋根・天井や外壁の工法間に見られるポイント差に比べると大きくはない。

地域別では北海道地域は他の地域と異なり基礎断熱が最も多く、床断熱はいずれの工法も少ない。東北地域は床断熱(根太間充填)が最も多いが、基礎断熱の割合は北海道地域を除く他の地域より高い。その他の地域は、根太間充填、大引間充填のいずれかの床断熱が最も多くなる。

外壁と同様、床・基礎の断熱工法は寒冷地域とそうでない地域とで傾向が異なっている。

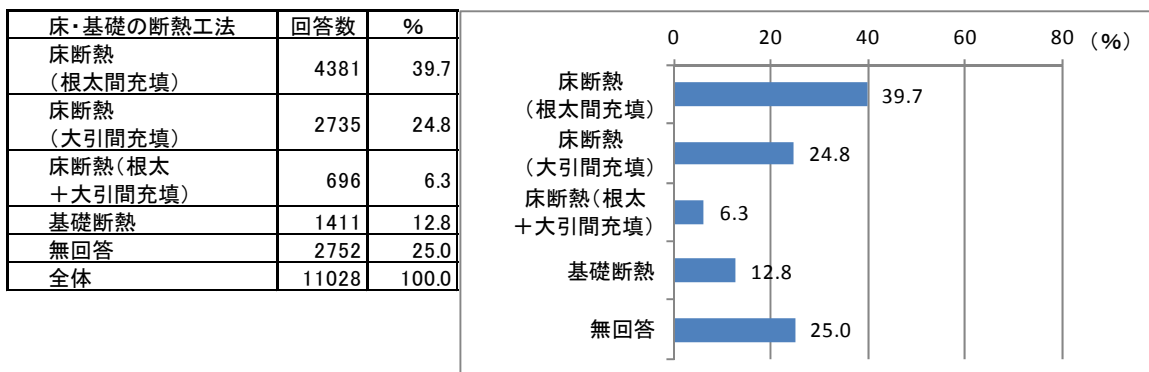


図 5-1-3a 普段施工している床・基礎の断熱工法

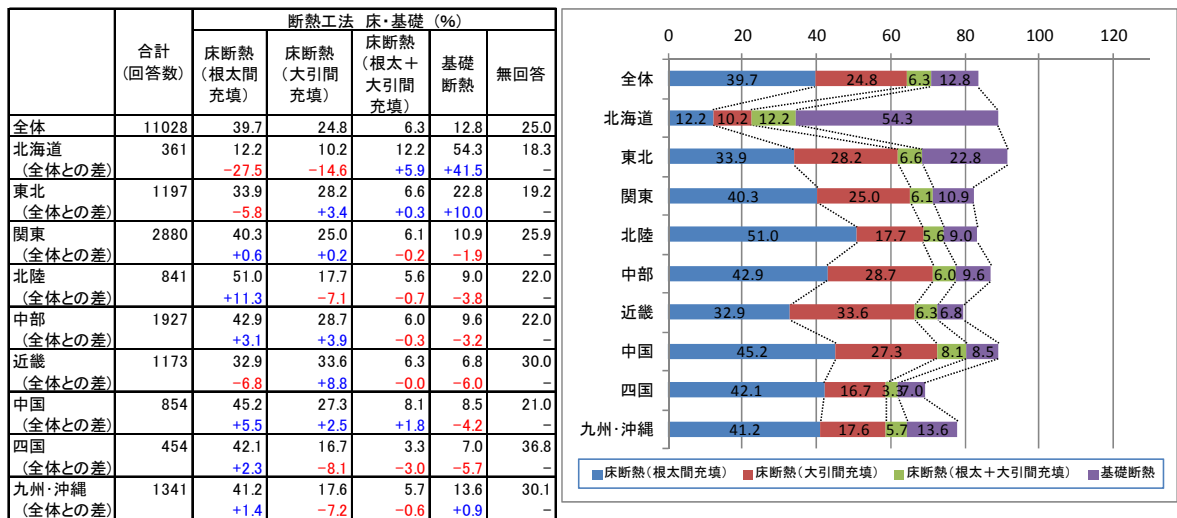


図 5-1-3b 地域別の普段施工している床・基礎の断熱工法

4) 普段施工している「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せは、外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最も多い。外壁外張断熱では屋根野地上断熱と大きな差は無いが、天井断熱の割合が高い。

外壁外張断熱は屋根野地上断熱との外張同士の組合せが最も多いと予想されたが異なる結果となった。外壁外張断熱と天井断熱との組合せの取合い部分についてもテキスト等により説明が必要と考えられる。

地域別では外壁外張断熱との組合せについて関東、近畿地域で天井断熱より屋根野地上断熱が多い、四国地域で屋根野地上断熱が最も少ない以外は、地域的な違いはあまりない。

		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体		11028	62.2	10.2	15.5	23.0
断熱 工法 外壁	充填断熱	7029	84.0	9.1	19.6	1.1
	外張断熱	1097	55.1	47.3	27.4	3.7
	充填外張 併用断熱	562	75.4	24.9	31.0	1.4

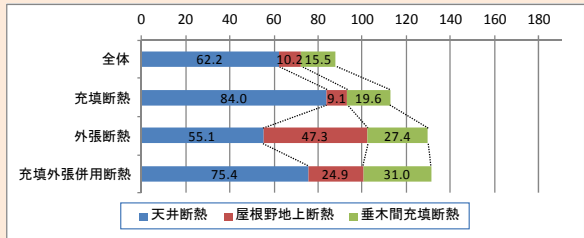


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
北海道全体		361	65.1	11.9	12.7	18.8
断熱 工法 外壁	充填断熱	117	87.2	9.4	12.0	1.7
	外張断熱	55	50.9	43.6	18.2	5.5
	充填外張 併用断熱	144	83.3	10.4	18.8	0.7

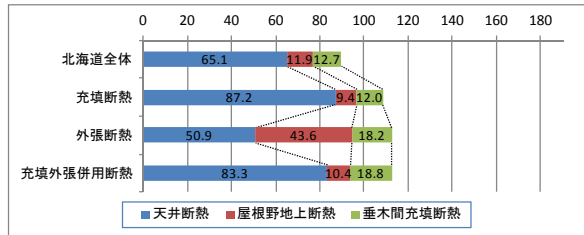


図 5-1-4b 同 北海道地域

		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
東北全体		1197	69.9	10.8	11.9	16.9
断熱 工法 外壁	充填断熱	762	91.6	7.1	11.9	0.3
	外張断熱	215	60.9	40.5	24.7	1.4
	充填外張 併用断熱	81	76.5	29.6	34.6	0.0

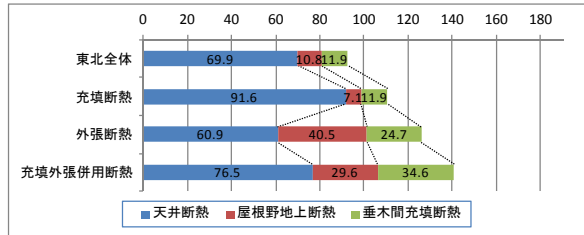


図 5-1-4c 同 東北地域

		合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
関東全体		2880	59.9	11.6	16.0	24.7
断熱 工法 外壁	充填断熱	1846	83.0	10.4	20.8	1.6
	外張断熱	278	48.9	54.7	26.6	4.7
	充填外張 併用断熱	92	73.9	39.1	42.4	3.3

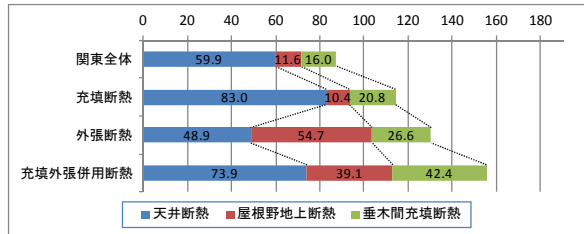
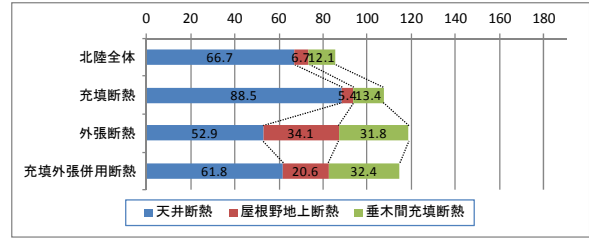


図 5-1-4d 同 関東地域

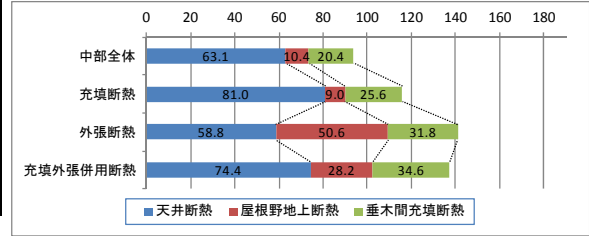
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北陸全体	841	66.7	6.7	12.1	20.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	575	88.5	5.4	13.4	0.3
	外張断熱	85	52.9	34.1	31.8	8.2
	充填外張 併用断熱	34	61.8	20.6	32.4	2.9

図 5-1-4e 同 北陸地域



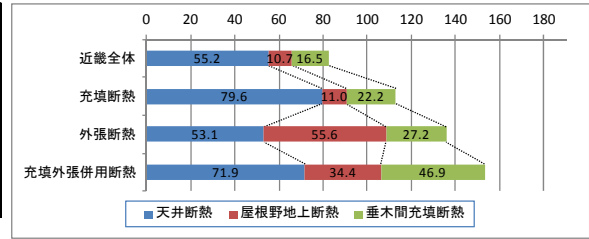
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中部全体	1927	63.1	10.4	20.4	20.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1340	81.0	9.0	25.6	1.3
	外張断熱	170	58.8	50.6	31.8	3.5
	充填外張 併用断熱	78	74.4	28.2	34.6	1.3

図 5-1-4f 同 中部地域



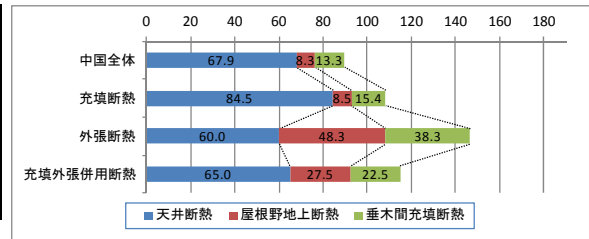
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
近畿全体	1173	55.2	10.7	16.5	28.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	735	79.6	11.0	22.2	1.2
	外張断熱	81	53.1	55.6	27.2	3.7
	充填外張 併用断熱	32	71.9	34.4	46.9	6.3

図 5-1-4g 同 近畿地域



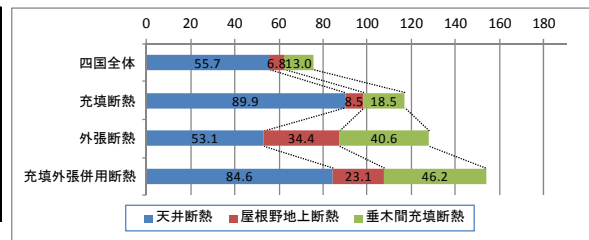
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中国全体	854	67.9	8.3	13.3	19.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	586	84.5	8.5	15.4	1.2
	外張断熱	60	60.0	48.3	38.3	1.7
	充填外張 併用断熱	40	65.0	27.5	22.5	0.0

図 5-1-4h 同 中国地域



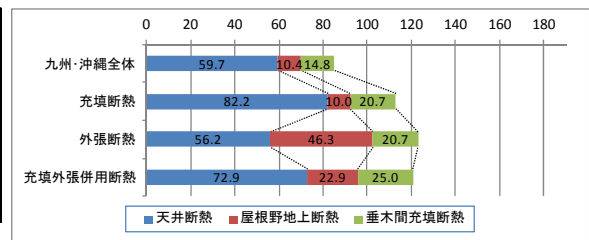
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
四国全体	454	55.7	6.8	13.0	35.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	248	89.9	8.5	18.5	0.0
	外張断熱	32	53.1	34.4	40.6	3.1
	充填外張 併用断熱	13	84.6	23.1	46.2	0.0

図 5-1-4i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
九州・沖縄全体	1341	59.7	10.4	14.8	25.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	820	82.2	10.0	20.7	1.5
	外張断熱	121	56.2	46.3	20.7	3.3
	充填外張 併用断熱	48	72.9	22.9	25.0	0.0

図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域



5) 普段施工している「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

外壁と床・基礎の断熱工法の組合せについて、外壁充填断熱は全体でみると床断熱(根太間充填)との組合せが最も多い。地域別では全体と異なり北海道地域で基礎断熱との組合せが最も多く、近畿地域で床断熱(大引間充填)との組合せが最も多い。

外壁外張断熱は全体では基礎断熱との組合せが最も多い。地域別では中部、中国、四国、九州・沖縄地域が全体と異なり床断熱(根太間充填)との組合せが最も多い。

外壁充填外張併用断熱は全体では基礎断熱との組合せが最も多い。地域別では北海道、東北地域以外の地域が全体と異なり床断熱(根太間充填)との組合せが最も多い。

北海道地域は他の地域と異なり外壁のいずれの断熱工法との組合せについても基礎断熱が最も多い。

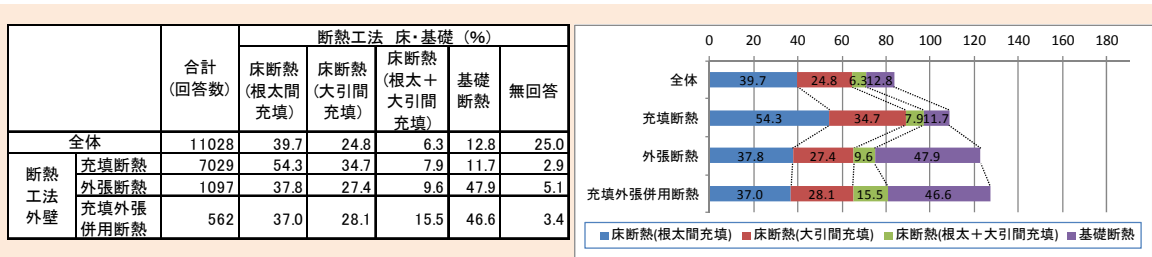


図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

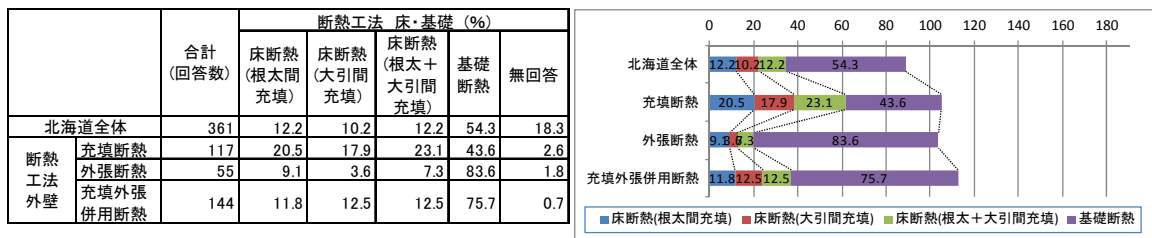


図 5-1-5b 同 北海道地域

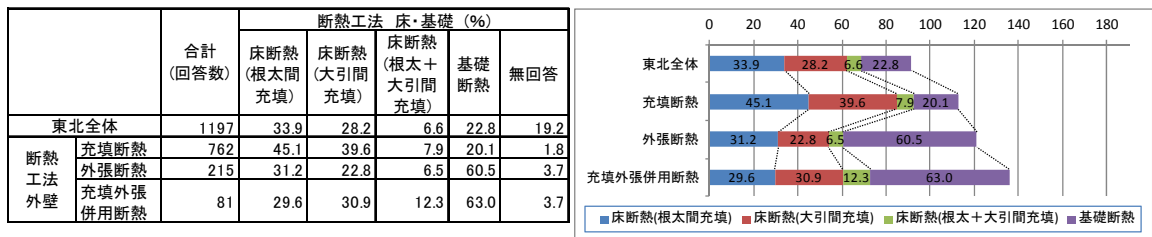


図 5-1-5c 同 東北地域

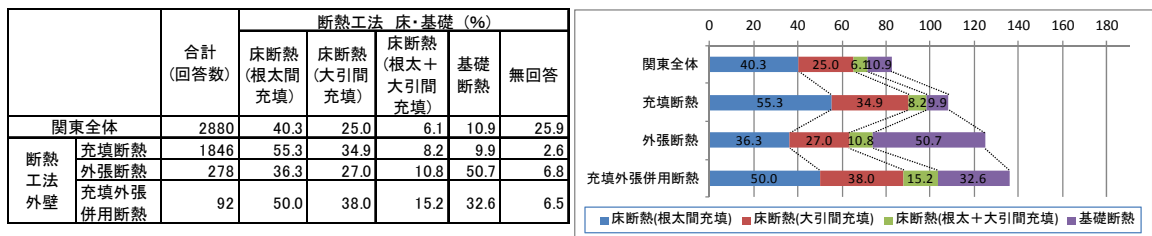


図 5-1-5d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
北陸全体	841	51.0	17.7	5.6	9.0	22.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	575	67.1	23.3	6.3	7.0	2.8
	外張断熱	85	43.5	20.0	7.1	43.5	3.5
	充填外張 併用断熱	34	41.2	26.5	17.6	35.3	0.0

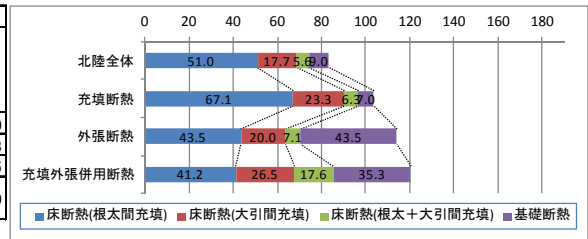


図 5-1-5e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
中部全体	1927	42.9	28.7	6.0	9.6	22.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1340	55.4	37.5	6.6	9.4	3.1
	外張断熱	170	41.2	33.5	11.8	37.1	4.1
	充填外張 併用断熱	78	46.2	37.2	24.4	30.8	1.3

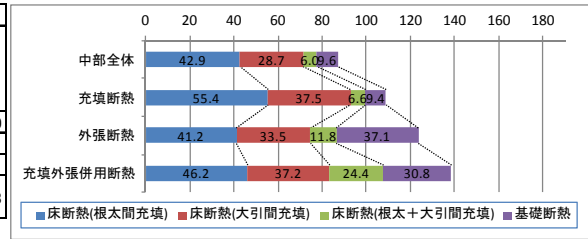


図 5-1-5f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
近畿全体	1173	32.9	33.6	6.3	6.8	30.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	735	45.4	49.0	8.8	6.5	3.3
	外張断熱	81	43.2	37.0	7.4	46.9	2.5
	充填外張 併用断熱	32	53.1	53.1	15.6	28.1	3.1

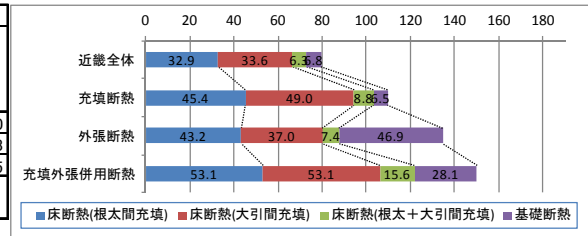


図 5-1-5g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
中国全体	854	45.2	27.3	8.1	8.5	21.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	586	55.6	34.5	9.6	9.4	3.1
	外張断熱	60	51.7	46.7	18.3	33.3	1.7
	充填外張 併用断熱	40	50.0	37.5	12.5	22.5	2.5

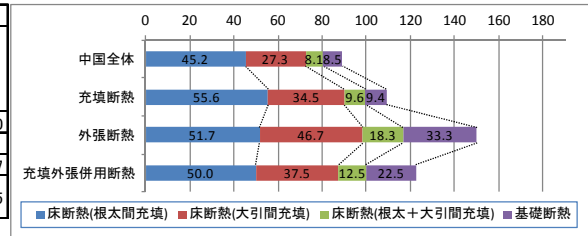


図 5-1-5h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
四国全体	454	42.1	16.7	3.3	7.0	36.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	248	67.3	26.2	5.2	8.9	2.0
	外張断熱	32	46.9	34.4	12.5	31.3	6.3
	充填外張 併用断熱	13	76.9	23.1	23.1	30.8	0.0

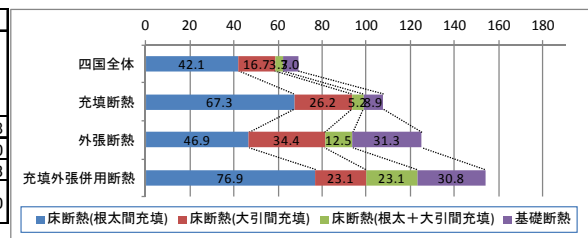


図 5-1-5i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
九州・沖縄全体	1341	41.2	17.6	5.7	13.6	30.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	820	57.6	25.1	7.3	17.3	4.3
	外張断熱	121	44.6	26.4	8.3	33.9	10.7
	充填外張 併用断熱	48	50.0	14.6	14.6	29.2	12.5

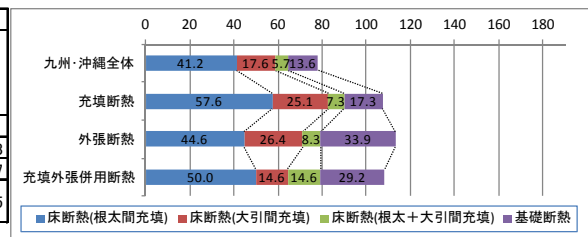


図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域

B. 普段施工している断熱材料《C講習・質問 11-2》

1) 「屋根・天井」にて普段施工している断熱材料

普段施工している屋根・天井の断熱材料はグラスウール・ロックウールが最も多い。
地域別にみても各地域、グラスウール・ロックウールが多い。

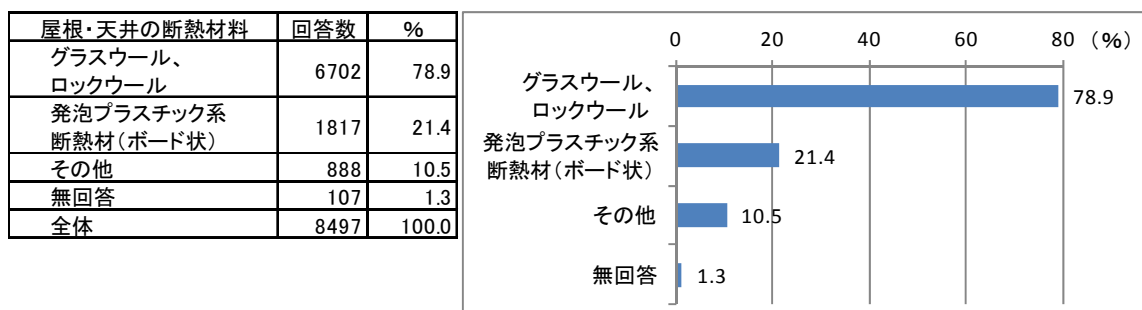


図 5-1-6a 普段施工している屋根・天井の断熱材料

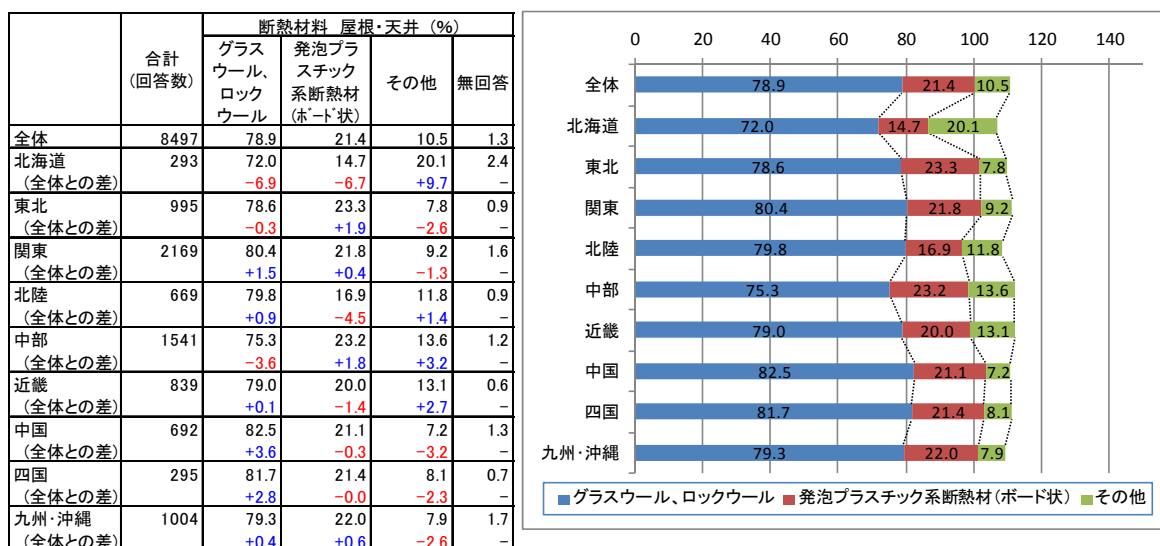


図 5-1-6b 地域別の普段施工している屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	228	2.7%
吹込グラスウール、ロックウール	7	0.1%
吹込その他	36	0.4%
現場発泡ウレタン(a)	249	2.9%
発泡プラスチック系(ホ-ド状)(b)	16	0.2%
ウレタン(aかbか不明)	118	1.4%
ポリエステル	22	0.3%
木質系	15	0.2%
羊毛	59	0.7%
コルク	3	0.0%
未分類	45	0.5%
その他記入有り合計	798	9.4%
その他全体	888	10.5%
全体	8497	100.0%

図 5-1-6c 普段施工している屋根・天井の断熱材料「その他」記述

2) 「外壁」にて普段施工している断熱材料

普段施工している外壁の断熱材料はグラスウール・ロックウールが最も多い。

地域別にみても各地域、グラスウール・ロックウールが多い。

北海道地域は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も多く、断熱工法で充填外張併用断熱が多くなっていることと関係すると考えられる(外壁にて普段施工している断熱工法の項目を参照)。

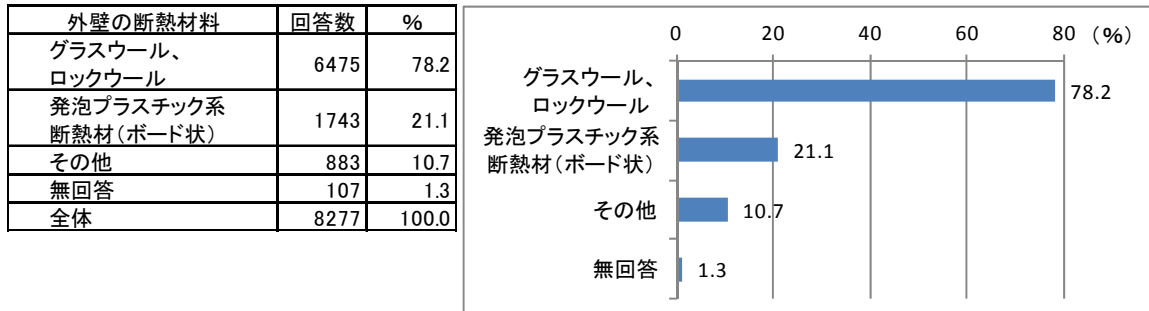


図 5-1-7a 普段施工している外壁の断熱材料

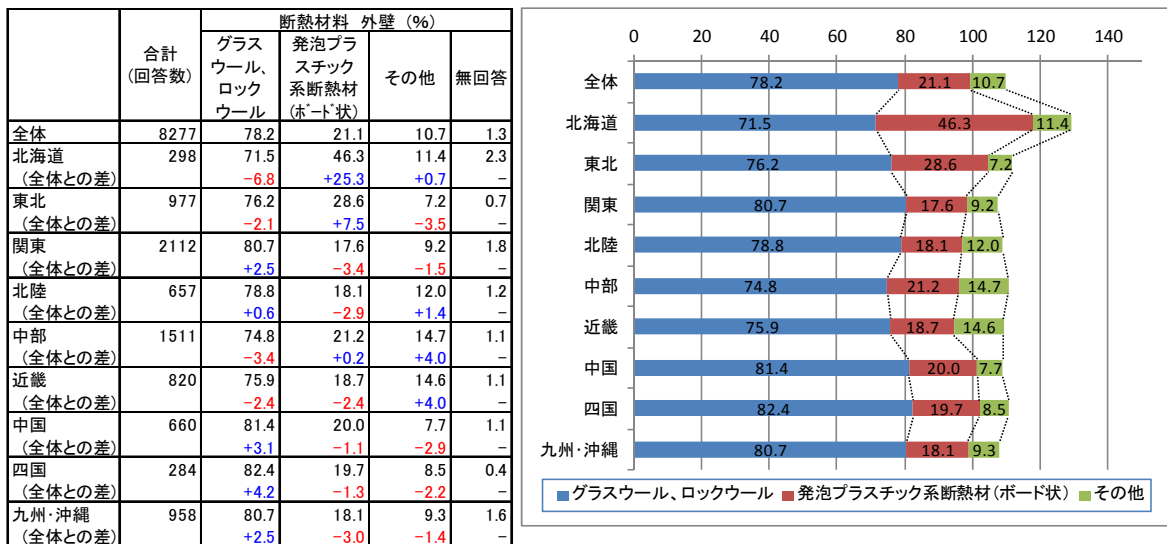


図 5-1-7b 地域別の普段施工している外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	208	2.5%
吹込グラスウール、ロックウール		0.0%
吹込その他	2	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	391	4.7%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	22	0.3%
ウレタン(aかbか不明)		0.0%
ポリエステル	25	0.3%
木質系	5	0.1%
羊毛	69	0.8%
コルク	3	0.0%
未分類	65	0.8%
その他記入有り合計	790	9.5%
その他全体	883	10.7%
全体	8277	100.0%

図 5-1-7c 普段施工している外壁の断熱材料「その他」記述

3) 「床・基礎」にて普段施工している断熱材料

普段施工している床・基礎の断熱材料は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多い。

地域別にみても各地域、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が多い。

北海道地域はグラスウール・ロックウールの割合が他の地域より高くなっている。工法でみても他の地域と異なり、床断熱にグラスウール・ロックウールを使う割合が高い(床・基礎の断熱工法と材料の組合せの項目を参照)。

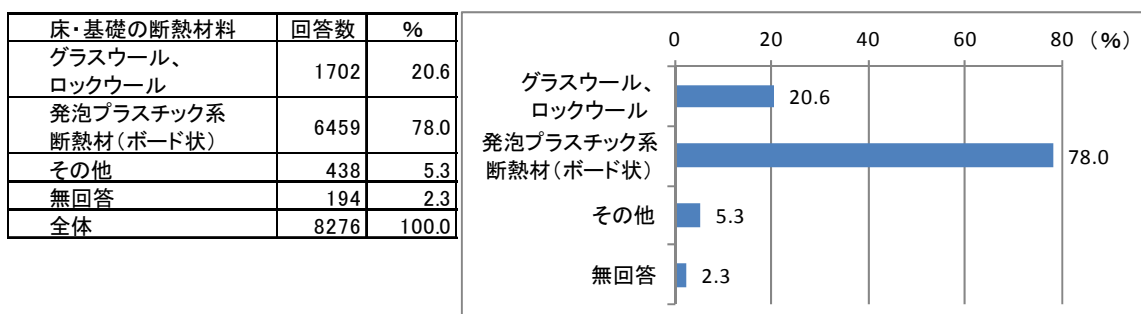


図 5-1-8a 普段施工している床・基礎の断熱材料

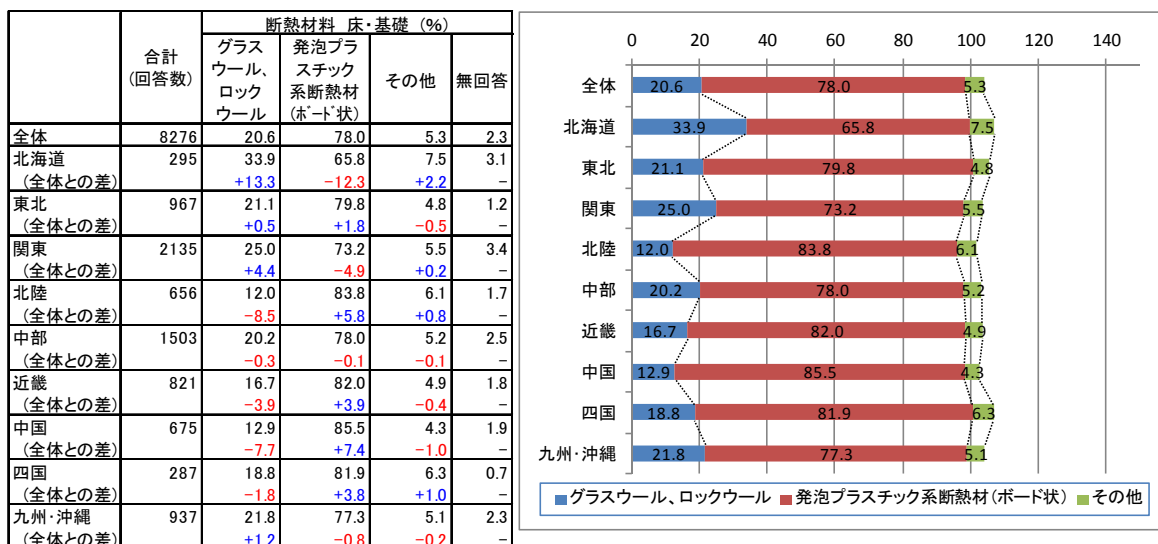


図 5-1-8b 地域別の普段施工している床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	91	1.1%
吹込グラスウール、ロックウール	2	0.0%
吹込その他	1	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	143	1.7%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	55	0.7%
ウレタン(aかbか不明)	1	0.0%
ポリエステル	9	0.1%
木質系	2	0.0%
羊毛	21	0.3%
コルク	3	0.0%
未分類	22	0.3%
その他記入有り合計	350	4.2%
その他全体	438	5.3%
全体	8276	100.0%

図 5-1-8c 普段施工している床・基礎の断熱材料「その他」記述

4) 普段施工している「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように同じ断熱材料同士の組合せが最も多い。

外壁の発泡プラスチック系断熱材(ボード状)は、屋根・天井をグラスウール・ロックウールとする組合せも多い。その他同士の組合せは、その内の約8割が同じ断熱材料を使用している(例えば、外壁と天井ともセルローズファイバー)。

地域別にみると北海道地域は全体と異なり、外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最も多い。その他の地域は全体と同様の傾向になっている。

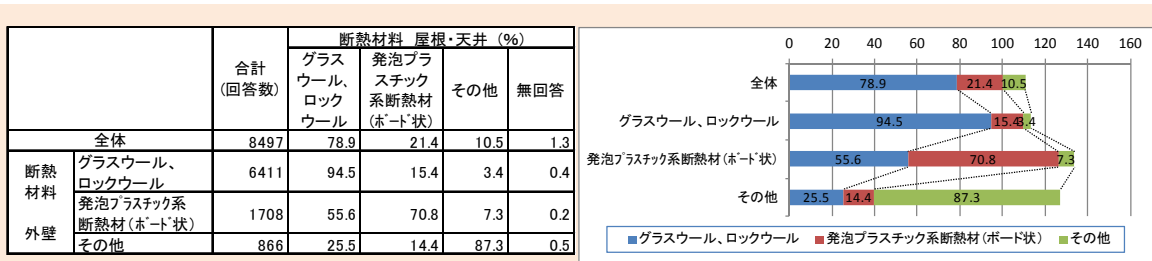


図 5-1-9a 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

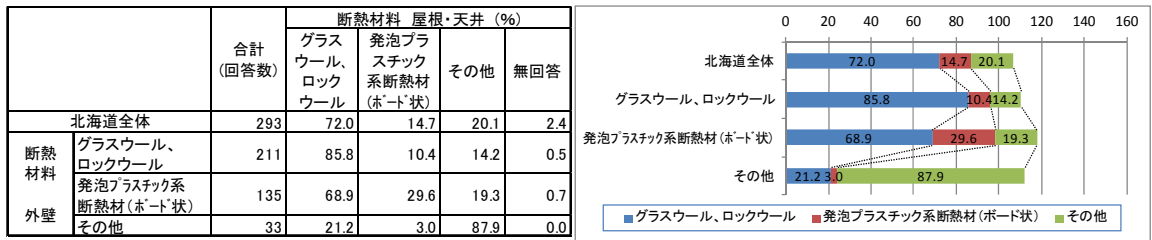


図 5-1-9b 同 北海道地域

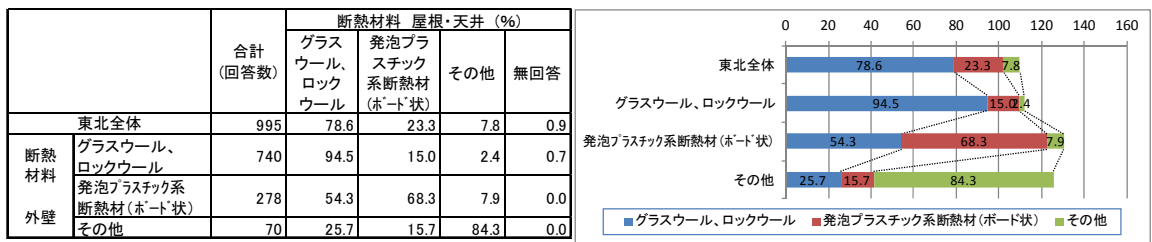


図 5-1-9c 同 東北地域

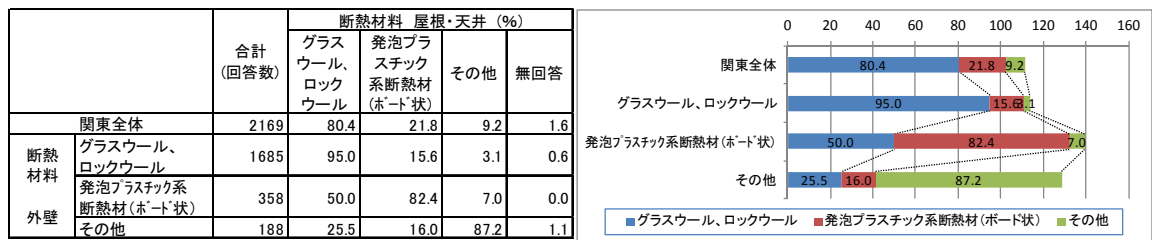


図 5-1-9d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北陸全体	669	79.8	16.9	11.8	0.9
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	514	97.1	10.1	3.7	0.0
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	113	46.0	82.3	1.8	0.0
外壁					
その他	78	25.6	6.4	92.3	0.0

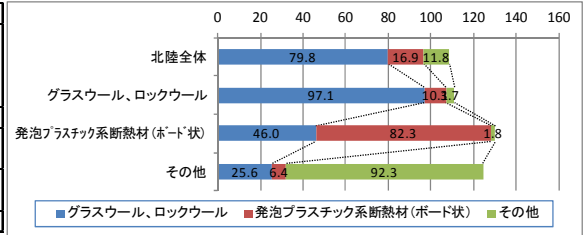


図 5-1-9e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中部全体	1541	75.3	23.2	13.6	1.2
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	1117	93.9	17.6	3.7	0.4
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	315	57.1	71.1	5.7	0.6
外壁					
その他	220	23.2	14.1	87.3	0.5

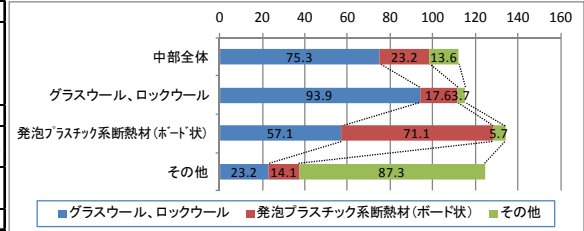


図 5-1-9f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
近畿全体	839	79.0	20.0	13.1	0.6
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	618	94.8	15.9	3.6	0.2
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	152	60.5	67.8	7.2	0.0
外壁					
その他	115	27.8	14.8	89.6	0.0

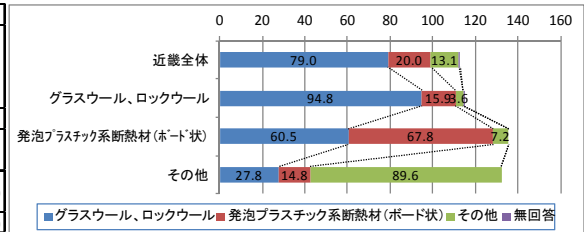


図 5-1-9g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中国全体	692	82.5	21.1	7.2	1.3
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	530	94.5	17.2	1.5	0.6
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	132	60.6	70.5	3.8	0.8
外壁					
その他	50	24.0	6.0	92.0	0.0

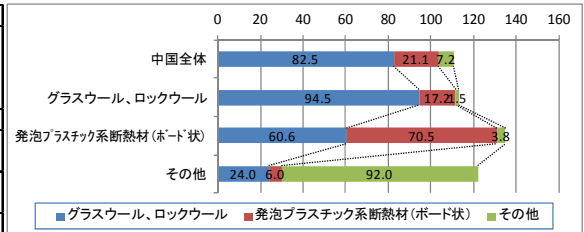


図 5-1-9h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
四国全体	295	81.7	21.4	8.1	0.7
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	234	94.9	15.4	3.4	0.0
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	55	54.5	72.7	5.5	0.0
外壁					
その他	24	25.0	20.8	87.5	4.2

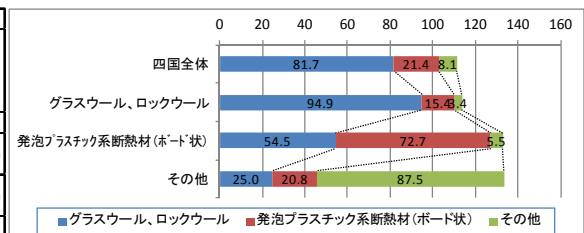


図 5-1-9i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体	1004	79.3	22.0	7.9	1.7
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	762	94.5	15.4	2.5	0.1
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	170	54.1	77.6	7.6	0.0
外壁					
その他	88	30.7	25.0	79.5	0.0

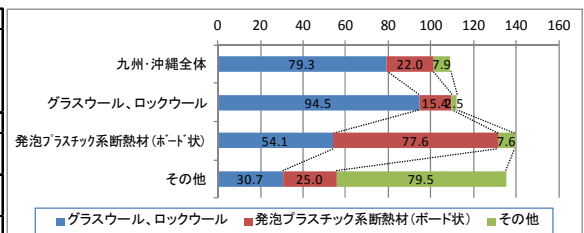


図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域

5) 普段施工している「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

外壁と床・基礎の断熱材料の組合せは外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最も多い。

地域別にみると北海道、東北、四国地域でその他の断熱材料同士の組合せが最も多くなる以外は全体と同様、外壁の断熱材の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最も多くなっている。

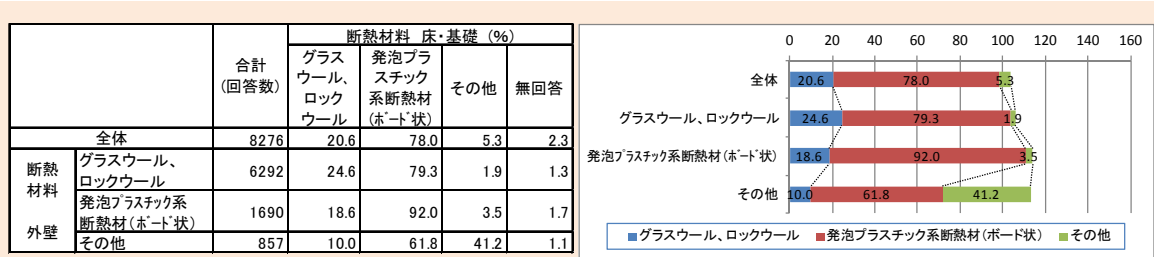


図 5-1-10a 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

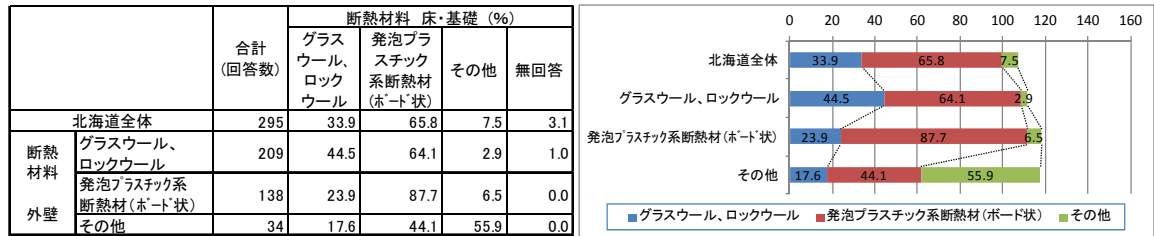


図 5-1-10b 同 北海道地域

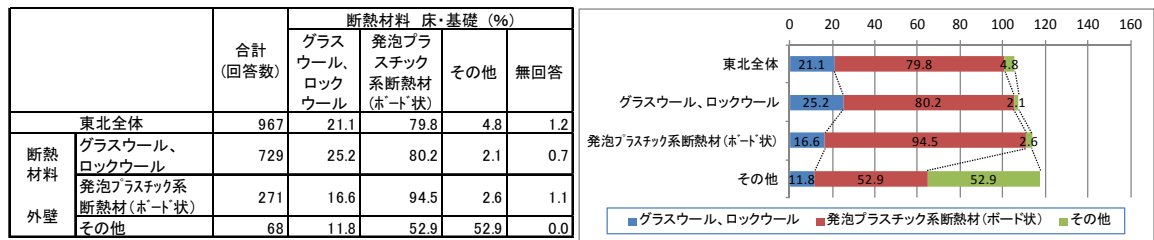


図 5-1-10c 同 東北地域

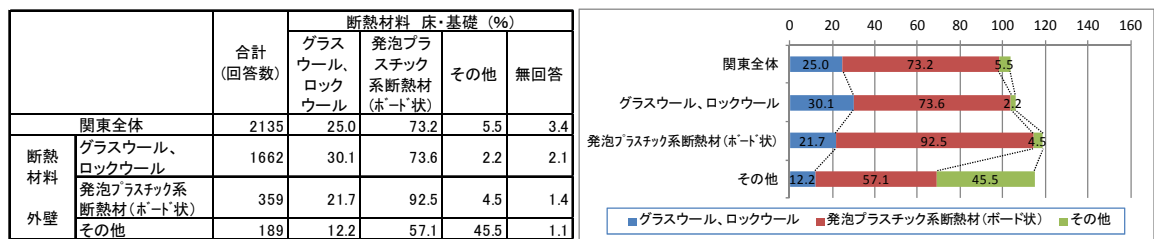


図 5-1-10d 同 関東地域

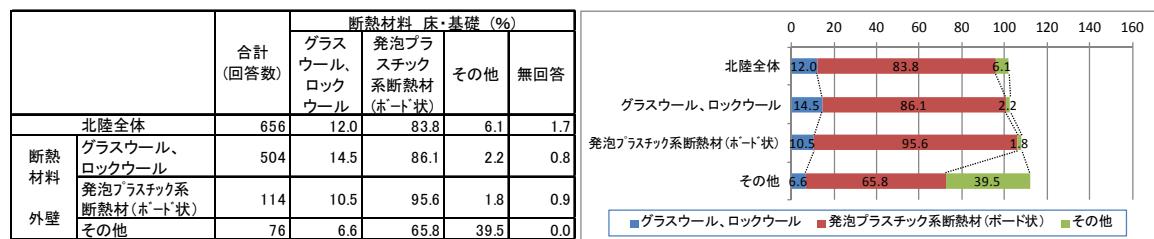


図 5-1-10e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1503	20.2	78.0	5.2	2.5	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1093	24.6	79.1	1.6	1.5
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	315	16.8	91.1	2.9	2.5
外壁	その他	216	7.9	67.1	30.1	2.3

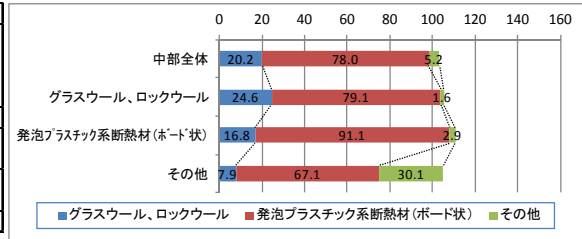


図 5-1-10f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	821	16.7	82.0	4.9	1.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	606	19.6	84.0	1.2	1.2
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	151	15.2	91.4	2.0	2.6
外壁	その他	115	5.2	71.3	31.3	0.0

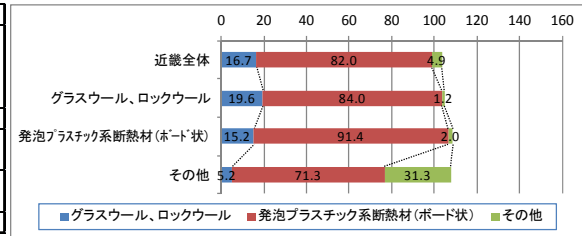


図 5-1-10g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	675	12.9	85.5	4.3	1.9	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	520	14.6	87.9	1.3	1.3
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	127	18.9	92.1	2.4	1.6
外壁	その他	50	2.0	62.0	48.0	0.0

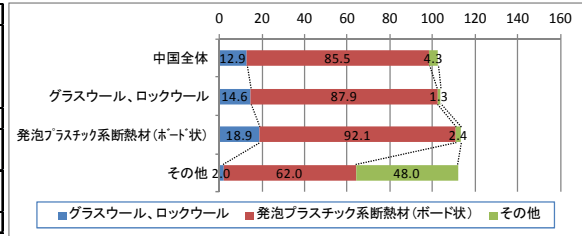


図 5-1-10h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	287	18.8	81.9	6.3	0.7	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	231	19.5	84.8	3.5	0.4
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	53	18.9	88.7	7.5	1.9
外壁	その他	23	17.4	56.5	65.2	0.0

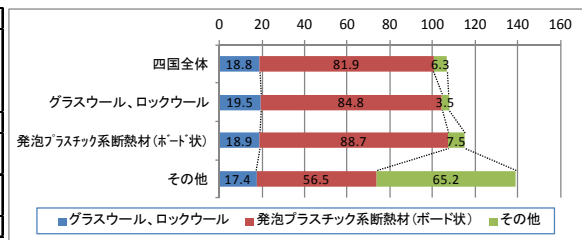


図 5-1-10i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	937	21.8	77.3	5.1	2.3	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	738	25.7	79.0	1.6	0.8
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	162	22.2	91.4	3.7	2.5
外壁	その他	86	18.6	58.1	48.8	2.3

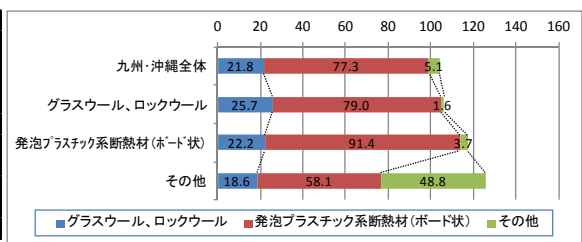


図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域

C. 普段施工している断熱工法と材料の組合せ《C講習・質問 11-1、質問 11-2》

1) 普段施工している「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

屋根・天井の断熱工法と材料の組合せは、天井断熱にはグラスウール・ロックウールの使用が最も多い。屋根野地上断熱は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多いが、グラスウール・ロックウールも多い。垂木間充填断熱はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)共に同じ程度使用されている。

地域別でみると天井断熱とグラスウール・ロックウールの組合せは各地域共、最も多く、全体と同様の傾向となっている。屋根野地上断熱も北海道地域以外の地域は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多く、全体と同様の傾向となっている。

垂木間断熱は各地域間で違いが出ている。北海道、関東地域はグラスウール・ロックウールが多い。北陸、中部、近畿地域ではその他の割合が全体より高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
全体	8497	78.9	21.4	10.5	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	6854	90.4	14.8	6.9	1.1
	屋根野地上断熱	1128	51.9	65.2	15.0	2.0
	垂木間充填断熱	1711	53.0	49.0	28.2	1.7

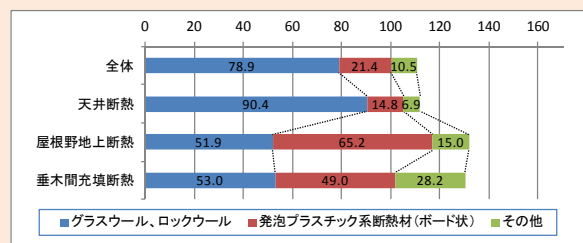


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	293	72.0	14.7	20.1	2.4	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	235	76.6	10.2	21.7	1.7
	屋根野地上断熱	43	58.1	55.8	11.6	7.0
	垂木間充填断熱	46	73.9	26.1	15.2	2.2

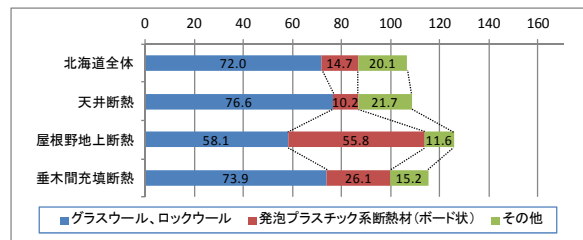


図 5-1-11b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	995	78.6	23.3	7.8	0.9	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	837	87.5	16.4	6.2	0.8
	屋根野地上断熱	129	44.2	80.6	10.9	0.8
	垂木間充填断熱	142	56.3	57.0	19.0	0.7

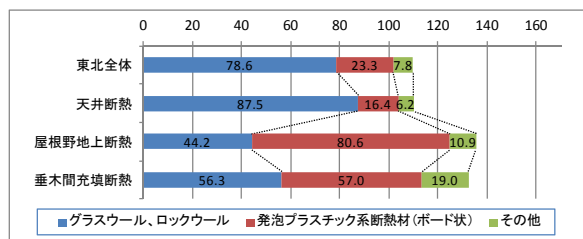


図 5-1-11c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	2169	80.4	21.8	9.2	1.6	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1725	91.6	15.3	5.9	1.4
	屋根野地上断熱	333	54.7	64.0	16.2	1.5
	垂木間充填断熱	462	61.5	48.1	23.6	2.2

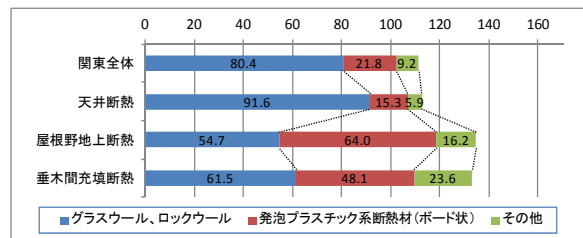
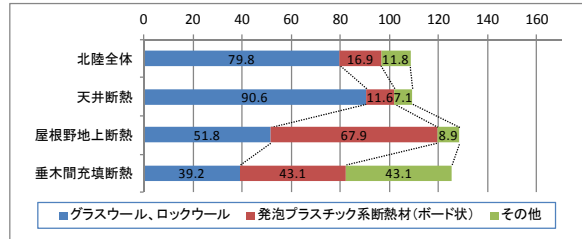


図 5-1-11d 同 関東地域

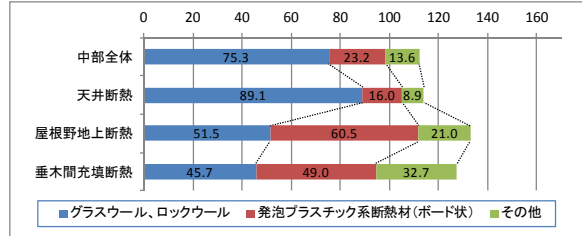
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	669	79.8	16.9	11.8	0.9	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	561	90.6	11.6	7.1	0.9
	屋根野地上断熱	56	51.8	67.9	8.9	1.8
	垂木間充填断熱	102	39.2	43.1	43.1	0.0

図 5-1-11e 同 北陸地域



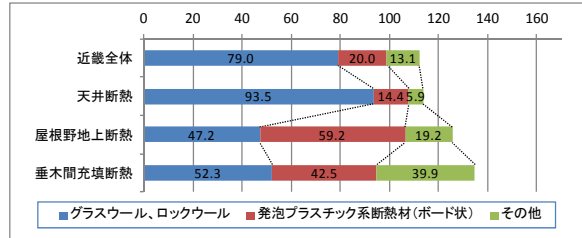
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1541	75.3	23.2	13.6	1.2	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1215	89.1	16.0	8.9	1.1
	屋根野地上断熱	200	51.5	60.5	21.0	3.0
	垂木間充填断熱	394	45.7	49.0	32.7	1.3

図 5-1-11f 同 中部地域



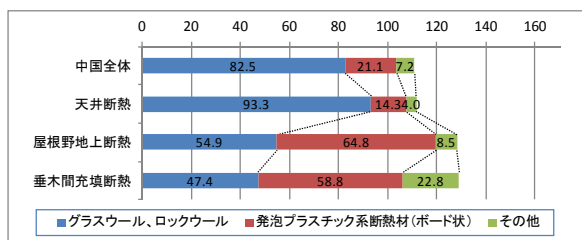
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	839	79.0	20.0	13.1	0.6	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	648	93.5	14.4	5.9	0.6
	屋根野地上断熱	125	47.2	59.2	19.2	0.8
	垂木間充填断熱	193	52.3	42.5	39.9	1.0

図 5-1-11g 同 近畿地域



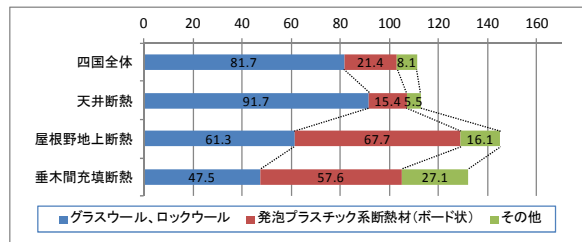
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	692	82.5	21.1	7.2	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	580	93.3	14.3	4.0	0.9
	屋根野地上断熱	71	54.9	64.8	8.5	4.2
	垂木間充填断熱	114	47.4	58.8	22.8	3.5

図 5-1-11h 同 中国地域



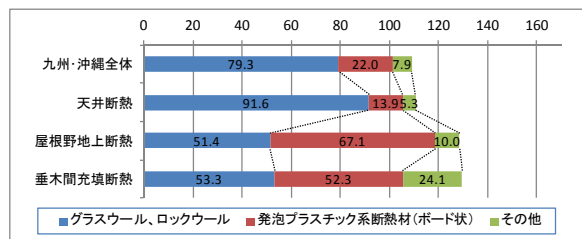
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	295	81.7	21.4	8.1	0.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	253	91.7	15.4	5.5	0.8
	屋根野地上断熱	31	61.3	67.7	16.1	0.0
	垂木間充填断熱	59	47.5	57.6	27.1	0.0

図 5-1-11i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	1004	79.3	22.0	7.9	1.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	800	91.6	13.9	5.3	1.8
	屋根野地上断熱	140	51.4	67.1	10.0	1.4
	垂木間充填断熱	199	53.3	52.3	24.1	3.0

図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域



2) 普段施工している「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

外壁の断熱工法と材料の組合せは、充填断熱にはグラスウール・ロックウールの使用が最も多い。外張断熱には発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多いが、グラスウール・ロックウールも多い。充填外張併用断熱にはグラスウール・ロックウールが最も多いが、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も多い。

地域別では北海道地域の外張断熱でグラスウール・ロックウールの割合が全体と比べて少ない以外は、各地域とも全体の傾向と同様となっている。

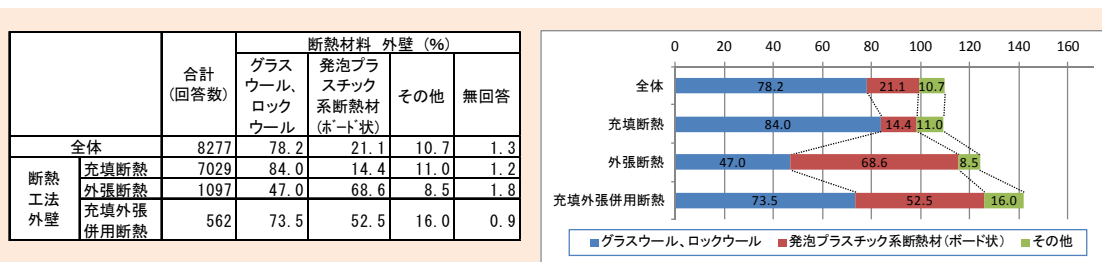


図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

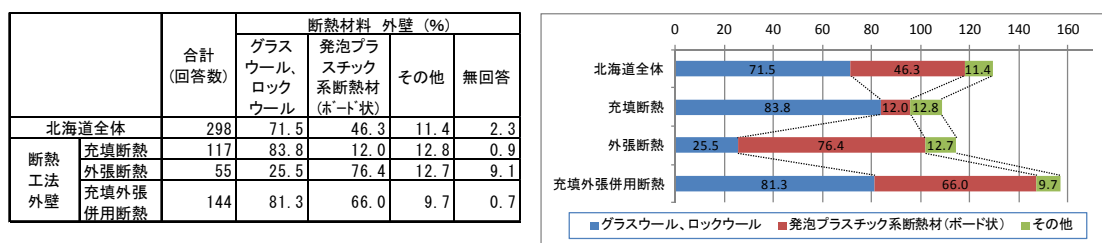


図 5-1-12b 同 北海道地域

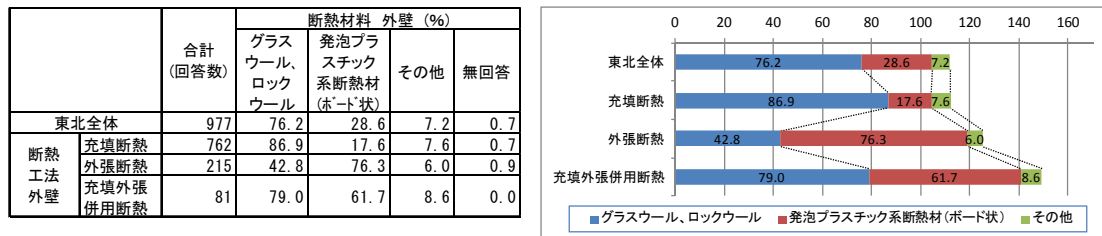


図 5-1-12c 同 東北地域

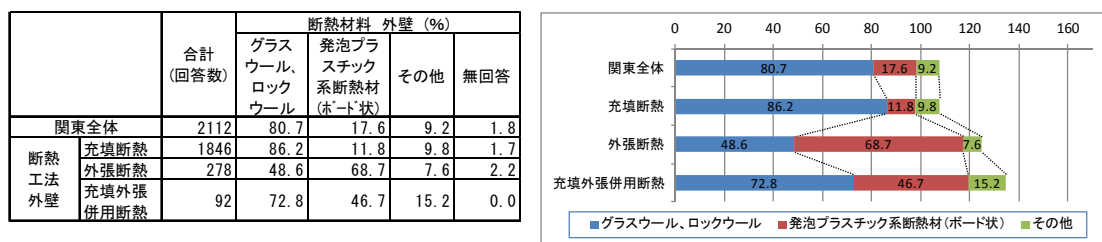


図 5-1-12d 同 関東地域

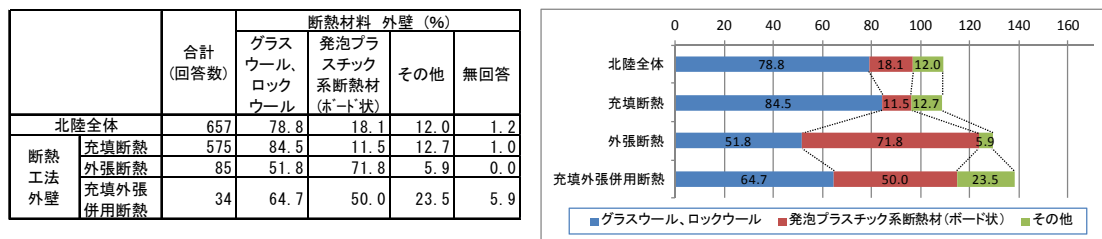
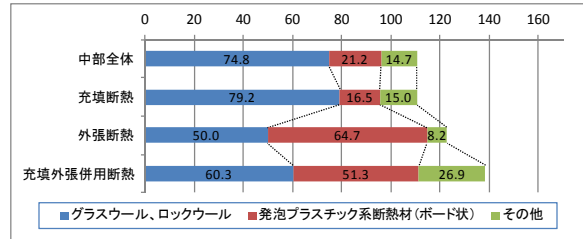


図 5-1-12e 同 北陸地域

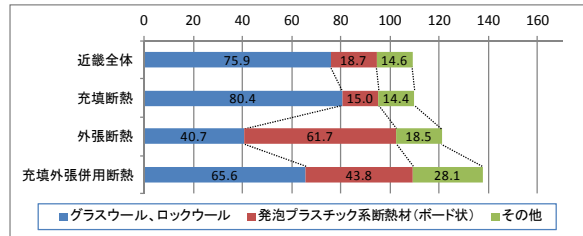
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1511	74.8	21.2	14.7	1.1	
断熱工法外壁	充填断熱	1340	79.2	16.5	15.0	1.0
	外張断熱	170	50.0	64.7	8.2	2.4
	充填外張併用断熱	78	60.3	51.3	26.9	0.0

図 5-1-12f 同 中部地域



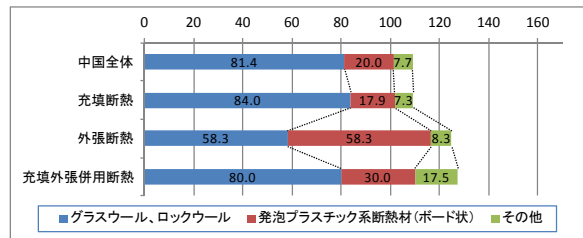
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	820	75.9	18.7	14.6	1.1	
断熱工法外壁	充填断熱	735	80.4	15.0	14.4	1.1
	外張断熱	81	40.7	61.7	18.5	1.2
	充填外張併用断熱	32	65.6	43.8	28.1	0.0

図 5-1-12g 同 近畿地域



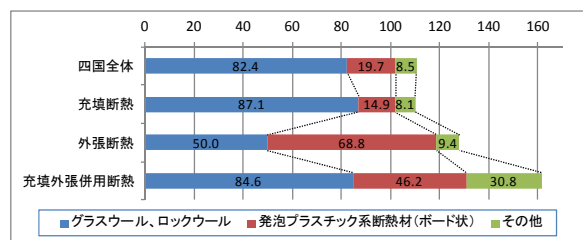
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	660	81.4	20.0	7.7	1.1	
断熱工法外壁	充填断熱	586	84.0	17.9	7.3	1.0
	外張断熱	60	58.3	58.3	8.3	1.7
	充填外張併用断熱	40	80.0	30.0	17.5	0.0

図 5-1-12h 同 中国地域



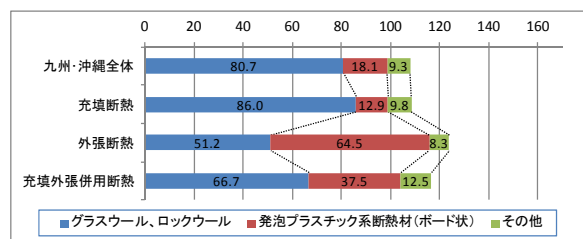
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	284	82.4	19.7	8.5	0.4	
断熱工法外壁	充填断熱	248	87.1	14.9	8.1	0.4
	外張断熱	32	50.0	68.8	9.4	0.0
	充填外張併用断熱	13	84.6	46.2	30.8	0.0

図 5-1-12i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	958	80.7	18.1	9.3	1.6	
断熱工法外壁	充填断熱	820	86.0	12.9	9.8	1.5
	外張断熱	121	51.2	64.5	8.3	0.8
	充填外張併用断熱	48	66.7	37.5	12.5	4.2

図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域



3) 普段施工している「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

床・基礎の断熱工法と材料の組合せは、いずれの工法も発泡プラスチック系断熱材(ボード状)との組合せが最も多い。

地域別でみると北海道地域はどの床断熱でもグラスウール・ロックウールとの組合せが最も多い。その他の地域は全体の傾向と同様となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
全体	8276	20.6	78.0	5.3	2.3	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	4381	23.8	77.5	3.6	2.4
	床断熱 (大引間充填)	2735	21.6	78.9	6.4	2.1
床・基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	696	35.3	70.8	8.2	3.6
	基礎断熱	7302	22.7	77.1	4.8	2.3
	基礎断熱	1411	14.0	86.5	10.3	2.1

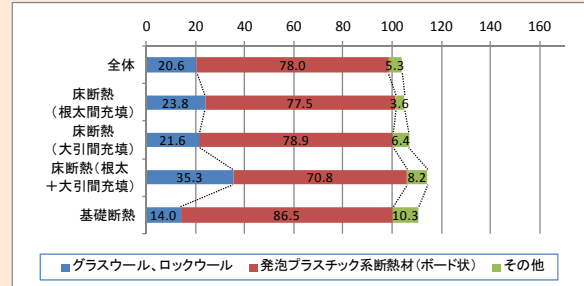


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
北海道全体	295	33.9	65.8	7.5	3.1	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	44	77.3	22.7	11.4	0.0
	床断熱 (大引間充填)	37	64.9	45.9	10.8	0.0
床・基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	44	86.4	34.1	6.8	2.3
	基礎断熱	196	12.2	86.2	7.1	4.1

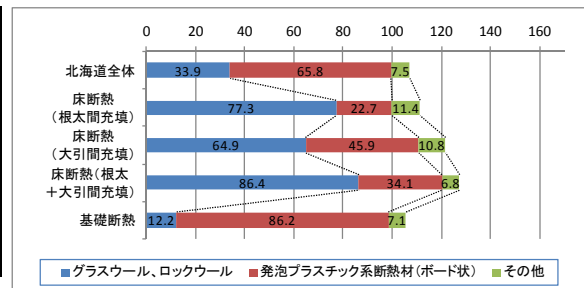


図 5-1-13b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
東北全体	967	21.1	79.8	4.8	1.2	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	406	25.9	79.6	3.0	1.2
	床断熱 (大引間充填)	337	22.8	80.7	5.0	1.2
床・基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	79	48.1	62.0	6.3	0.0
	基礎断熱	273	13.9	87.5	8.1	1.5

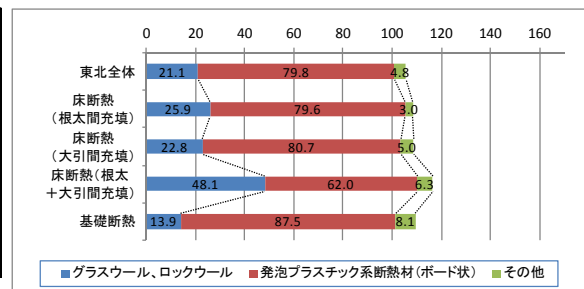


図 5-1-13c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
関東全体	2135	25.0	73.2	5.5	3.4	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	1161	26.8	74.2	3.7	3.9
	床断熱 (大引間充填)	720	29.2	69.7	7.8	3.5
床・基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	177	38.4	72.9	9.0	2.8
	基礎断熱	313	19.5	86.9	9.9	1.3

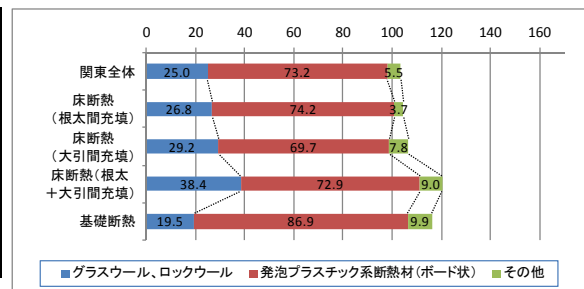


図 5-1-13d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
北陸全体	656	12.0	83.8	6.1	1.7	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	429	12.8	85.3	4.0	1.4
	床断熱 (大引間充填)	149	12.8	81.9	10.7	1.3
床・基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	47	12.8	80.9	8.5	6.4
	基礎断熱	76	7.9	88.2	11.8	0.0

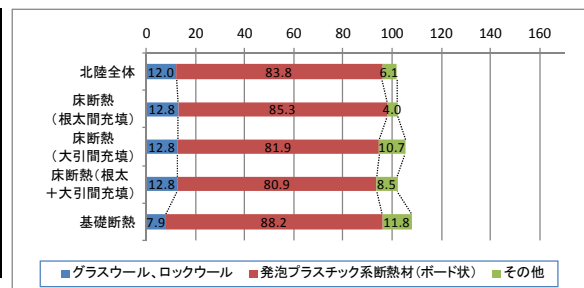


図 5-1-13e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1503	20.2	78.0	5.2	2.5	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	826	25.4	75.4	3.8	2.3
	床断熱 (大引間充填)	553	17.2	81.6	5.8	2.0
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	115	27.0	73.0	12.2	4.3
	基礎断熱	185	11.4	83.2	11.9	4.3

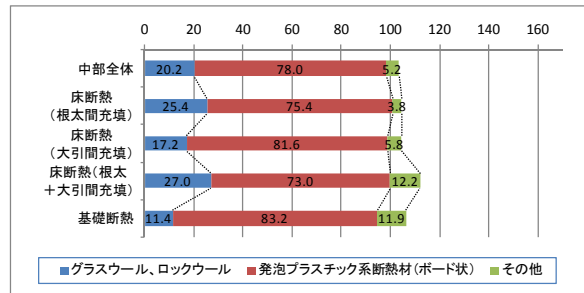


図 5-1-13f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	821	16.7	82.0	4.9	1.8	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	386	18.7	82.1	3.4	2.6
	床断熱 (大引間充填)	394	18.5	83.2	5.1	1.0
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	74	18.9	81.1	5.4	5.4
	基礎断熱	80	11.3	86.3	11.3	1.3

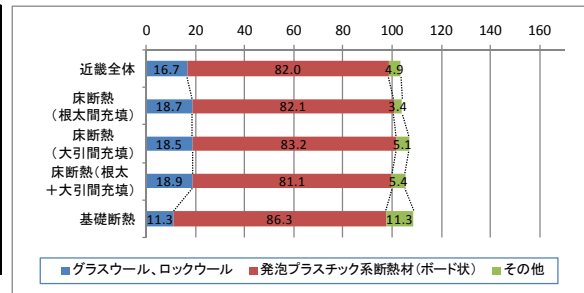


図 5-1-13g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	675	12.9	85.5	4.3	1.9	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	386	16.6	85.8	1.3	2.1
	床断熱 (大引間充填)	233	12.4	86.7	4.3	2.6
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	69	20.3	88.4	4.3	2.9
	基礎断熱	73	9.6	83.6	17.8	0.0

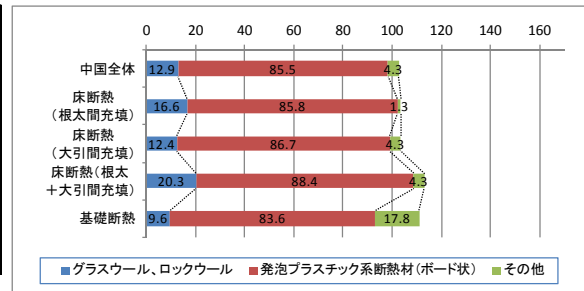


図 5-1-13h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
四国全体	287	18.8	81.9	6.3	0.7	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	191	20.9	80.6	5.8	0.5
	床断熱 (大引間充填)	76	15.8	88.2	2.6	2.6
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	15	46.7	66.7	13.3	6.7
	基礎断熱	32	21.9	87.5	18.8	0.0

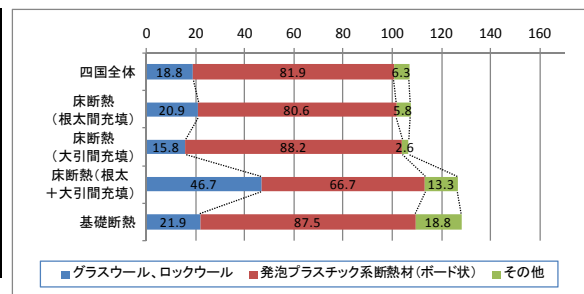


図 5-1-13i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	937	21.8	77.3	5.1	2.3	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	552	27.5	74.6	3.8	2.4
	床断熱 (大引間充填)	236	21.6	83.1	7.6	1.3
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	76	39.5	61.8	7.9	5.3
	基礎断熱	183	13.1	88.0	10.4	2.7

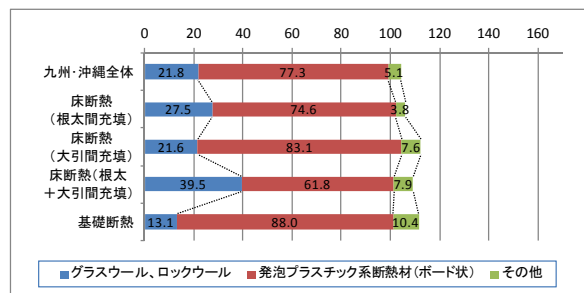


図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域

②講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ 《C講習・質問 11-3、質問 12》

現場の施工実態と理想形(C講習会で示す原理原則)との間には、以下のようなギャップがあるという結果となった。

1) 今まで正しく施工していなかったところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、気流止めの施工、筋かい部への施工が多い。

地域別で見ると、北海道地域は回答数が他の地域に比べて大幅に少なく、断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。その他の地域は全体と同じく、気流止めの施工、筋かい部への施工が多い。

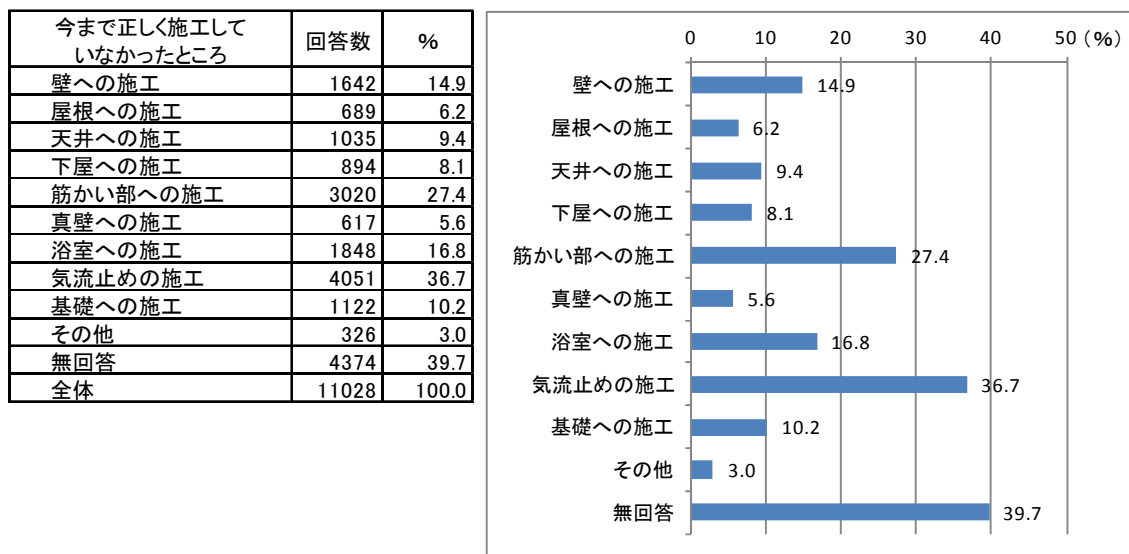


図 5-1-14a 今まで正しく施工していなかったところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	11028	6654	60.3	14.9	6.2	9.4	8.1	27.4	5.6	16.8	36.7	10.2	3.0	39.7
北海道	361	86	23.8	2.2	3.6	1.7	3.9	3.9	0.3	4.2	10.0	1.7	1.4	76.2
東北	1197	739	61.7	12.8	5.4	7.9	8.2	29.3	5.5	14.5	35.5	5.9	3.2	38.3
関東	2880	1740	60.4	15.8	5.6	9.3	8.0	27.2	7.2	18.4	36.6	11.4	3.1	39.6
北陸	841	555	66.0	16.8	8.1	11.9	8.4	31.3	6.8	20.8	43.6	12.4	3.0	34.0
中部	1927	1244	64.6	15.6	6.4	10.0	9.0	30.7	6.2	17.2	40.5	11.3	2.7	35.4
近畿	1173	669	57.0	14.0	5.9	9.6	9.0	24.7	3.6	16.3	32.9	10.9	3.7	43.0
中国	854	599	70.1	18.9	8.7	13.5	9.3	31.1	6.7	19.6	45.4	12.3	2.9	29.9
四国	454	246	54.2	12.6	6.2	8.6	6.6	24.4	3.7	15.0	33.9	7.0	3.7	45.8
九州・沖縄	1341	776	57.9	15.1	6.6	7.8	7.0	26.1	3.8	14.5	34.3	9.8	2.3	42.1

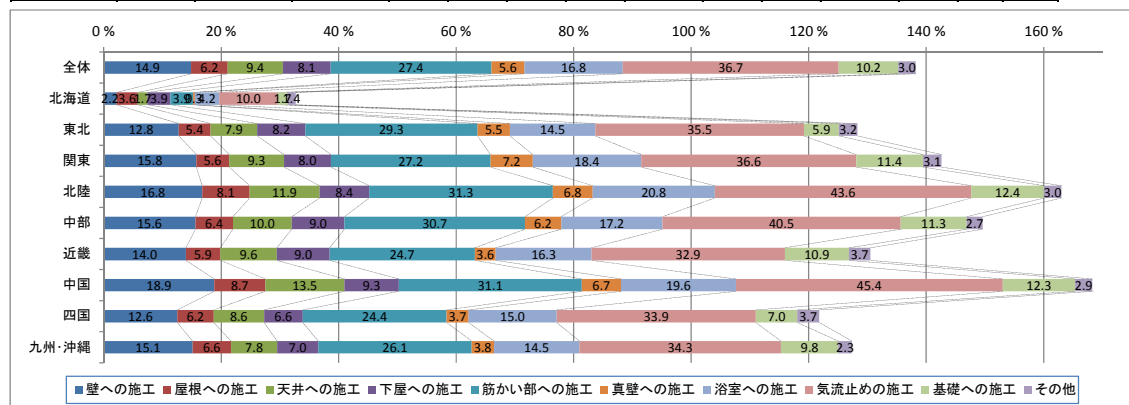


図 5-1-14b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

2) 難しい・やりにくいと感じたところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「難しい・やりにくいと感じたところ」は、筋かい部への施工、気流止めの施工が多い。

地域別でみると、今まで正しく施工していなかったところと同様、北海道地域は回答率が他の地域に比べて大幅に少なく、断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

難しい・やりにくいと感じたところ	回答数	%
壁への施工	779	7.1
屋根への施工	1246	11.3
天井への施工	722	6.5
下屋への施工	1087	9.9
筋かい部への施工	3106	28.2
真壁への施工	1041	9.4
浴室への施工	904	8.2
気流止めの施工	2448	22.2
基礎への施工	952	8.6
その他	316	2.9
無回答	4411	40.0
全体	11028	100.0

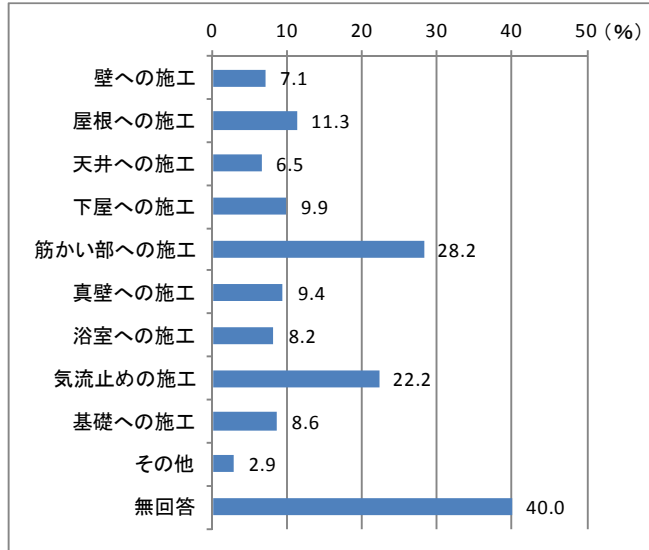


図 5-1-15a 難しい・やりにくいと感じたところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいと感じたところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	11028	6617	60.0	7.1	11.3	6.5	9.9	28.2	9.4	8.2	22.2	8.6	2.9	40.0
北海道	361	123	34.1	1.7	6.1	1.4	10.8	7.5	3.0	4.4	11.4	1.4	1.9	65.9
東北	1197	742	62.0	7.0	11.2	5.8	12.1	27.7	12.4	6.7	18.9	5.3	2.7	38.0
関東	2880	1717	59.6	6.3	10.7	6.9	9.2	29.7	10.6	8.4	23.0	9.0	3.3	40.4
北陸	841	559	66.5	8.7	13.2	7.4	11.1	31.6	8.0	11.8	28.8	10.5	2.9	33.5
中部	1927	1257	65.2	8.0	12.8	8.0	11.5	31.6	10.6	8.7	25.7	10.0	3.1	34.8
近畿	1173	653	55.7	6.1	9.4	5.0	8.8	24.0	7.7	8.4	19.9	10.7	3.2	44.3
中国	854	583	68.3	10.0	16.2	9.3	11.2	33.5	11.0	8.4	24.8	10.4	2.2	31.7
四国	454	242	53.3	4.6	7.7	6.6	7.9	25.6	7.3	9.0	20.3	6.8	2.9	46.7
九州・沖縄	1341	741	55.3	7.6	10.5	4.8	6.6	25.1	6.6	6.5	18.3	7.3	2.2	44.7

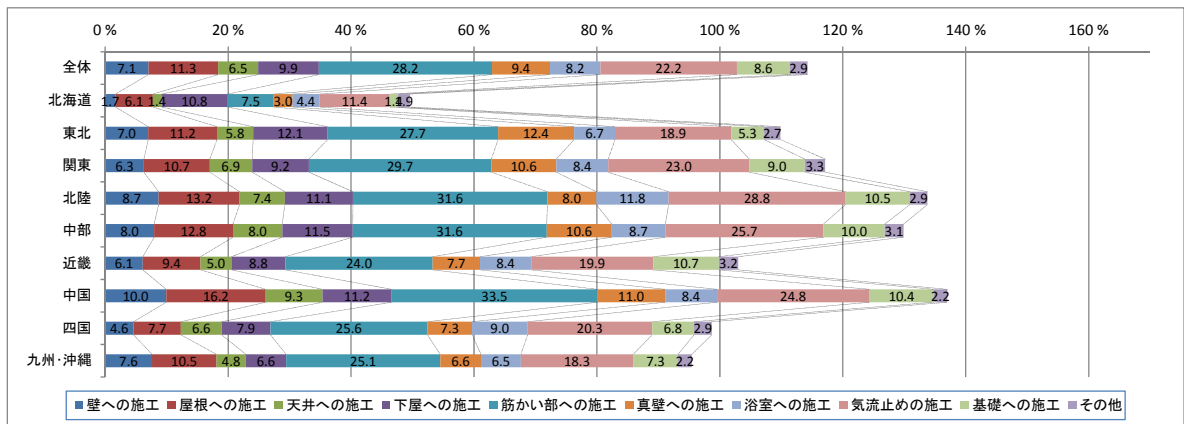


図 5-1-15b 地域別の難しい・やりにくいと感じたところ

3) 講習の断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて

講習で説明のあった断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて、自由記述(質問 12)では以下のような記述があった。(全 22 回答を整理)

【現場との違いがあった】

- ・現場とはちがう施工をしていた。
- ・今まで断熱材の取付方法が全然違っていた。
- ・これまでただ張り付けていればいいと思ってやっていた。
- ・今まで充填断熱の施工をいいかげんに行っていた。
- ・現場の職人さんはまだ胴縁側面に(袋入り断熱材を)打ち付ける人が多い。
- ・現場施工方法の間違いがわかった。
- ・今までの施工に少し誤りがあった。
- ・当社の充填断熱工法は全然正しくなかったと痛感。
- ・普段疑問もなくしている断熱施工が十分でない事が解った。
- ・実際の施工内容とのくい違いや間違いなどを確認できた。
- ・今迄やってきたことは殆ど駄目で驚いた。
- ・これまであいまいだった部分が確認出来た。
- ・自分のレベルが低い。
- ・断熱の入れ方がとても大事な事がわかった。
- ・今までマニュアル通り指導してきたつもりだが施工できていないところがあった。

【理想と現実とのギャップ】

- ・この内容で仕事をおこなうには実際にはきびしいと思う。
- ・理想と現実の差を思い知らされた。
- ・本日学んだとおりに施工している現場は皆無。
- ・実際テキスト通りにきっちり施工している所は少ないと思う。

③断熱・施工方法に関する情報の主な入手先《C講習・質問 11-4》

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルからが最も多い。実際に現場で使用する具体的な建材、工法とメーカーとは直結するため、このような結果となったと考えられる。職種別でも施工、現場管理、設計共、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルからが最も多い。

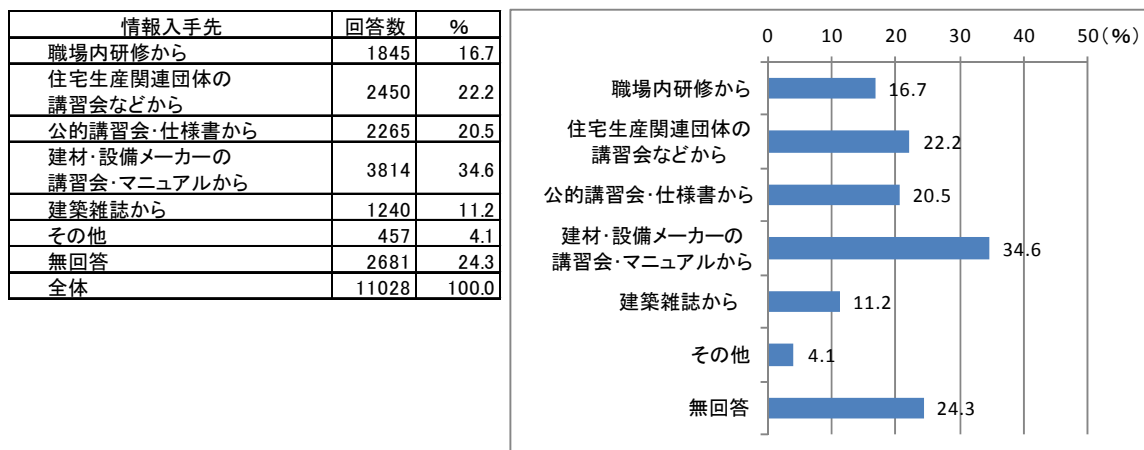


図 5-1-16a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

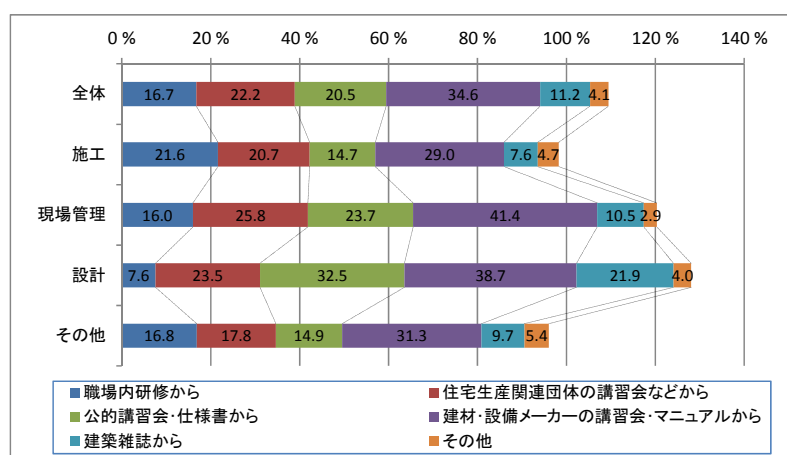


図 5-1-16b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

情報入手先「その他」	回答数	%
職場関係	28	0.3%
建材メーカー	7	0.1%
インターネット	67	0.6%
所属団体	103	0.9%
専門メディア	7	0.1%
仕様書、マニュアル	4	0.0%
人的ネットワーク	57	0.5%
その他講習会等	6	0.1%
ハウスメーカー	3	0.0%
現場	19	0.2%
海外情報	2	0.0%
自分で調べる	4	0.0%
省エネ団体	7	0.1%
未分類	21	0.2%
不明	1	0.0%
その他記入有合計	336	3.0%
その他全体	457	4.1%
全体	11,028	100.0%

図 5-1-16c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

④ 今回の講習内容で施工する場合の手間 《C講習・質問 11-5、質問 12》

1) 施工手間は増加か減少か

今回の講習内容で施工する場合の手間について、坪あたり人工が増加するという回答が多く、負担に感じている受講者が多い。

どれくらい人工が増加するかについては、平均が 1.4 人工であった。

人工増と回答した受講者は、講習内容のような施工は普段していないと思われるので、受講により適切な施工をするようになれば、断熱施工技術の向上を図ることにつながる。一方で後述の自由記述(質問 12)では、「大工にしわ寄せがこないか」、「予算が厳しい中で実際にできるのか」、「建て主の理解が必要となる」といった人工増・コスト増による影響を心配する記述があり、講習内容のような施工に取り組みづらい状況も存在する。

職種別でみると施工は全体より人工増が多く、人工はほとんど変わらないが少なく、自由記述に見られるような考えが背後にあると思われる。

地域別では北海道地域で人工はほとんど変わらないへの回答が多く、普段から講習内容程度の施工を行っていると考えられる。

手間	回答数	%
ほとんど変わらない	2644	24.0
坪あたり人工が増加する	4403	39.9
坪あたり人工が減少する	71	0.6
無回答	3940	35.7
全体	11028	100.0

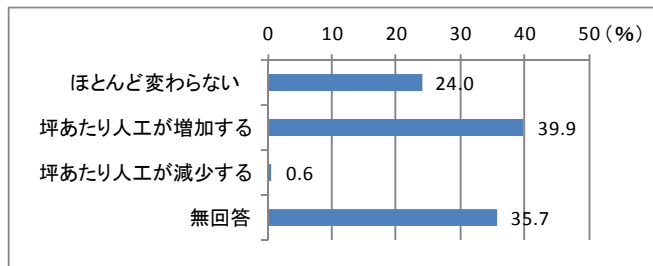


図 5-1-17a 今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	11028	24.0	39.9	0.6	35.7
施工 (全体との差)	4329	20.2 -3.8	46.4 +6.5	0.8 +0.2	32.9 -
現場管理 (全体との差)	3309	30.0 +6.0	42.6 +2.7	0.4 -0.2	27.1 -
設計 (全体との差)	1986	25.9 +1.9	34.5 -5.4	0.7 +0.1	39.2 -
その他 (全体との差)	1235	19.1 -4.9	21.3 -18.6	0.6 -0.1	59.1 -

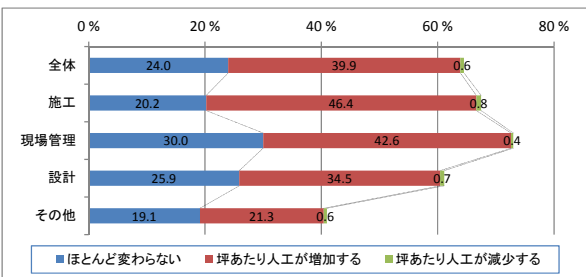


図 5-1-17b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	11028	24.0	39.9	0.6	35.7
北海道 (全体との差)	361	59.8 +35.9	12.5 -27.5	0.6 -0.1	27.4 -
東北 (全体との差)	1197	31.9 +7.9	37.6 -2.3	0.8 +0.2	30.1 -
関東 (全体との差)	2880	21.0 -2.9	41.8 +1.9	0.7 +0.1	36.7 -
北陸 (全体との差)	841	20.5 -3.5	46.7 +6.8	0.4 -0.3	32.7 -
中部 (全体との差)	1927	22.7 -1.2	43.2 +3.3	0.6 -0.0	33.7 -
近畿 (全体との差)	1173	24.2 +0.2	35.8 -4.1	0.4 -0.2	39.9 -
中国 (全体との差)	854	19.8 -4.2	45.4 +5.5	0.6 -0.1	34.5 -
四国 (全体との差)	454	15.4 -8.6	38.5 -1.4	0.2 -0.4	45.8 -
九州・沖縄 (全体との差)	1341	22.9 -1.1	37.0 -2.9	0.9 +0.3	39.3 -

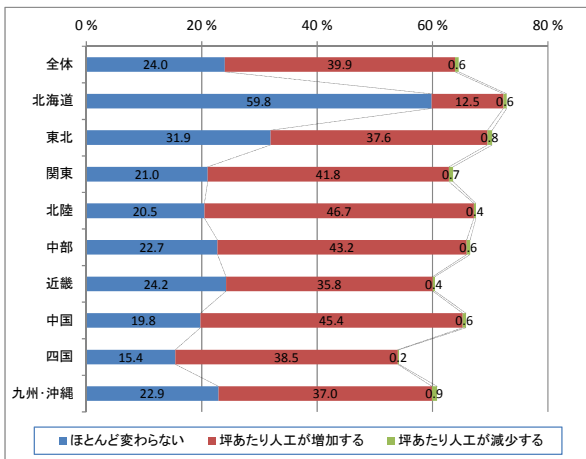


図 5-1-17c 地域別の今回の講習内容で施工する場合の手間

2) 今回の講習内容で施工する場合の手間について

今回の講習内容で施工する場合の手間について、自由記述(質問 12)では以下のような記述があった。(全 56 回答を整理)

●施工手間が増える、施工費が上がる

講習会で説明した施工方法をきちんと行くと施工手間が増える、施工費が上がるといった意見、またそれに関連する意見として以下のような意見があった。

- ・ 本日の施工法はコスト高につながると思われる。
- ・ 良い施工をするためにはお金がかかる。
- ・ 大工等の施工者にしわよせがこない様に考えてほしい。
- ・ 見合った賃金が求められる。
- ・ 予算的に厳しい。
- ・ 施工の技術的なことよりコストのことが大変。
- ・ 工事費の見直しが重要。
- ・ 単価をおさえるにはどう見積を出すか。
- ・ 建て主の理解を望む。
- ・ 実際には難しい。
- ・ 負担はどこがするのか。
- ・ 建て主の負担増が心配。
- ・ 建て主にメリットがあるか疑問。
- ・ 建て主と相談しながら進めていきたい。

●施工手間が減る

一方で、講習会が広まり、施工が正しく行われれば人工は下がると思うという意見もあった。

⑤最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発《C講習・質問 11-6》

最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては、現場施工者が最も多い。職種別に見ても現場施工者が最も多い。

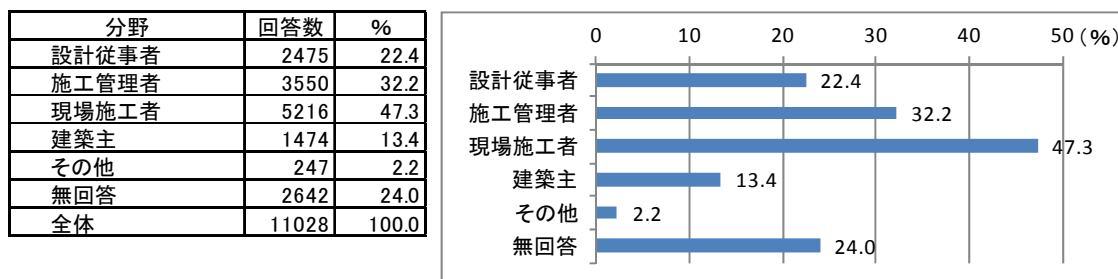


図 5-1-18a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

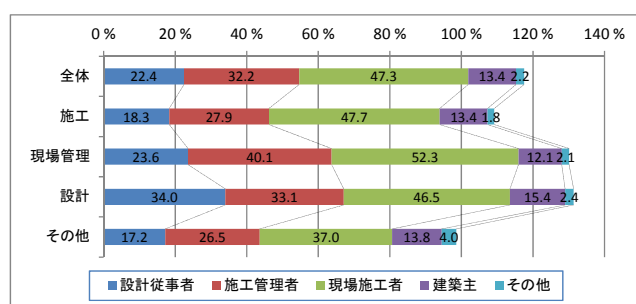


図 5-1-18b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

分野「その他」	回答数	%
設計従事者	5	0.0%
施工管理者	1	0.0%
現場施工者	22	0.2%
建築主	16	0.1%
設備施工者	4	0.0%
工務店	5	0.0%
経営者	12	0.1%
営業	7	0.1%
会社全体	6	0.1%
建材メーカー	9	0.1%
建材販売	3	0.0%
ハウスメーカー	1	0.0%
不動産業者	2	0.0%
検査機関	1	0.0%
公的機関	1	0.0%
行政	28	0.3%
マスコミ	2	0.0%
関係する全ての人	71	0.6%
国民全て	3	0.0%
その他	10	0.1%
不明	21	0.2%
その他記入有合計	230	2.1%
その他全体	247	2.2%
全体	11,028	100.0%

図 5-1-18c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

⑥ C 講習会アンケート調査結果のまとめ

省エネ施工の実態についてC講習会アンケート調査にて得られた結果を以下のように整理した。

1) 回答者属性

回答者として主に現場施工者を想定したが、実際には現場施工者 40%、現場管理者 30%、設計者 18%、その他 11%であった。現場に関わる職種が 70%であった。

2) 多用される断熱工法、断熱材料

多用される断熱工法、断熱材料、組合せは以下の通り。北海道地域はその他の地域との違いが顕れている。

●断熱工法

- 《屋根・天井》 ・ 天井断熱 62%が最多。
 - ・ その内 90%はグラスウール・ロックウール。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含め天井断熱が最多。
- 《 外 壁 》 ・ 充填断熱 64%が最多。
 - ・ その内 84%はグラスウール・ロックウール。
 - ・ 北海道地域は充填外張併用断熱 40%が最多。
- 《 床・基礎 》 ・ 床断熱(根太間)40%が最多。
 - ・ その内 78%は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)。
 - ・ 北海道地域は基礎断熱 54%が最多。

●断熱材料

- 《屋根・天井》 ・ グラスウール・ロックウール 79%が最多。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含めグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 外 壁 》 ・ グラスウール・ロックウール 78%最多。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含めグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 床 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)77%が最多。
 - ・ 北海道地域は床断熱のいずれの工法もグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 基 礎 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)87%が最多。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含め発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最多。

●取合い部分における断熱工法、断熱材料

《外壁×屋根・天井》断熱工法

- ・全体では外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最多。外壁外張断熱は屋根野地上断熱との組合せが最も多いと予想されていたが異なる結果となった。
- ・地域別では関東、近畿地域が全体と異なり外壁外張断熱で屋根野地上断熱との組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱工法

- ・外壁充填断熱は全体では床断熱(根太間充填)との組合せが最多。地域別では全体と異なり、北海道地域は基礎断熱との組合せが最多、近畿地域は床断熱(大引間充填)との組合せが最多。
- ・外壁外張断熱は全体では基礎断熱との組合せが最多。地域別では中部、中国、四国、九州・沖縄地域が全体と異なり床断熱(根太間充填)との組合せが最多。
- ・外壁充填外張併用断熱は全体では基礎断熱との組合せが最多。地域別では北海道、東北地域以外の地域が全体と異なり床断熱(根太間充填)との組合せが最多。
- ・北海道地域は他の地域と異なり外壁のいずれの断熱工法との組合せについても基礎断熱が最多。

《外壁×屋根・天井》断熱材料

- ・外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように、全体では同じ断熱材料同士の組合せが最多。地域別でも北海道地域を除き、同じ断熱材料同士の組合せが最多。
- ・北海道地域は外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱材料

- ・外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。
- ・地域別では北海道、東北、四国地域が全体と異なり、その他の断熱材料同士の組合せ(例えば、外壁と天井ともセルローズファイバー)が最多。

3) 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。

受講後、普段の施工方法で勘違い等があったとしたもの、また受講内容で施工を行う場合の手間賃増減については以下の通りであった。北海道地域は講習内容レベルの

断熱施工に慣れていることが影響していると考えられ、その他の地域とは結果が異なっている。

- 正しく施工できていなかった部分(C講習受講内容を基準として)
 - ・正しく施工できていなかった部分は、気流止め 37%、筋かい部 27%が多い。
 - ・北海道地域は無回答 76%でその他の地域より回答が少ないことから断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

- 受講して難しい、やりにくいと感じた部分(C講習受講内容を基準として)
 - ・難しい、やりにくいと感じた部分は、筋かい部 28%、気流止め 22%が多い。
 - ・北海道地域は無回答 66%でその他の地域より回答が少ないことから断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

- 断熱施工の手間賃増減(受講内容で施工を行う場合)
 - ・受講内容で断熱施工を行う場合、人工増 40%が最多、ほとんど変わらない 24%、人工減 1%、無回答 36%であった。
 - ・人工増の回答について、坪あたり平均 1.4 人工増であった。
 - ・人工増の回答は講習内容の施工をしていないと言える。
 - ・人工増・コスト増を心配する自由記述が見られ、講習内容のような施工に取り組みづらい状況があると考えられる。
 - ・北海道地域は、ほとんど変わらない 59.8%が最多でその他の地域と異なることから、普段から講習内容程度の施工を行っていると考えられる。

4) 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのか。

- ・断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 35%が最多、実際に現場で使用する具体的な建材、工法とメーカーとは直結するため、このような結果になったと考えられる。

5) 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・意識啓発が必要とされる分野は現場施工者 47%が最多、現場管理者 32%、設計者 22%であった。
- ・建築主 13%であったが、適切な断熱施工は現状より人工増・コスト増が見込まれることと 2020 年度省エネ基準義務化もあり、エンドユーザーへの周知は重要である。

(2) 地域ブランド施工・設計事業者調査結果

地域ブランド施工・設計事業者調査においては以下の項目について結果を整理し考察を行った。

- ① 普段設計または現場管理している断熱工法・断熱材料
- ② 断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時のチェックに使用する図面
- ③ 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル
- ④ 計算経験のある断熱性能
- ⑤ 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先
- ⑥ 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

① 普段設計または現場管理している断熱工法・断熱材料

A. 普段設計または現場管理している断熱工法《地域ブランド・質問 31-1》

1) 「屋根・天井」にて普段設計または現場管理している断熱工法

普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱工法は天井断熱が最も多い。

地域別にみても各地域、天井断熱が多い。次いで北海道地域を除き垂木間充填断熱が多い。

屋根・天井の断熱工法	回答数	%
天井断熱	1693	66.1
屋根野地上断熱	451	17.6
垂木間充填断熱	748	29.2
無回答	118	4.6
全体	2561	100.0

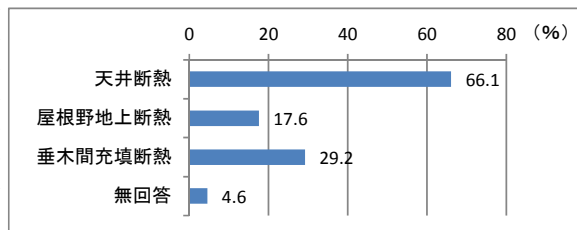


図 5-2-1a 普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	2561	66.1	17.6	29.2	4.6
北海道 (全体との差)	138	84.1 +18.0	15.2 -2.4	13.0 -16.2	2.2
東北 (全体との差)	406	74.9 +8.8	14.5 -3.1	18.7 -10.5	4.9
関東 (全体との差)	477	57.0 -9.1	23.7 +6.1	39.6 +10.4	3.4
北陸 (全体との差)	297	70.7 +4.6	15.2 -2.5	20.2 -9.0	6.1
中部 (全体との差)	469	61.8 -4.3	16.2 -1.4	32.8 +3.6	4.7
近畿 (全体との差)	185	57.3 -8.8	17.3 -0.3	39.5 +10.3	7.6
中国 (全体との差)	157	70.1 +4.0	19.1 +1.5	30.6 +1.4	5.7
四国 (全体との差)	165	60.6 -5.5	18.2 +0.6	37.0 +7.8	3.0
九州・沖縄 (全体との差)	267	69.3 +3.2	16.9 -0.8	25.8 -3.4	4.1

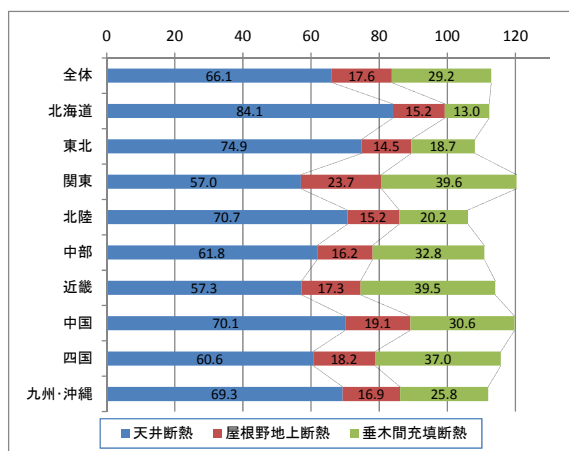


図 5-2-1b 地域別の普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱工法

2) 「外壁」にて普段設計または現場管理している断熱工法

普段設計または現場管理している外壁の断熱工法は充填断熱が最も多い。

地域別では北海道地域がその他の地域の傾向と異なり、充填外張併用断熱が最も多く、次いで充填断熱となっている。東北地域は外張断熱の割合が他の地域より高い。充填断熱は北海道、東北地域が全国より低く、その他の地域は高くなる。外壁の断熱工法は寒冷地域とそうでない地域とで傾向が異なっている。

外壁の断熱工法	回答数	%
充填断熱	1934	75.5
外張断熱	385	15.0
充填外張併用断熱	283	11.1
無回答	119	4.6
全体	2561	100.0

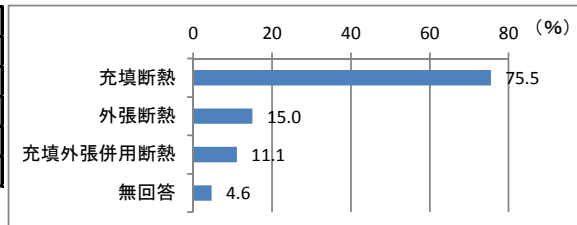


図 5-2-2a 普段設計または現場管理している外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	2561	75.5	15.0	11.1	4.6
北海道	138	23.9	13.8	65.9	3.6
(全体との差)		-51.6	-1.3	+54.9	-
東北	406	68.0	20.2	15.3	5.2
(全体との差)		-7.5	+5.2	+4.2	-
関東	477	81.1	15.7	6.5	4.0
(全体との差)		+5.6	+0.7	-4.6	-
北陸	297	80.8	15.5	8.1	3.4
(全体との差)		+5.3	+0.5	-3.0	-
中部	469	77.8	15.1	6.2	6.2
(全体との差)		+2.3	+0.1	-4.9	-
近畿	185	78.4	12.4	7.6	7.6
(全体との差)		+2.9	-2.6	-3.5	-
中国	157	87.9	10.2	6.4	3.8
(全体との差)		+12.4	-4.8	-4.7	-
四国	165	83.0	12.7	4.2	2.4
(全体との差)		+7.5	-2.3	-6.8	-
九州・沖縄	267	79.8	12.0	5.6	4.1
(全体との差)		+4.3	-3.0	-5.4	-

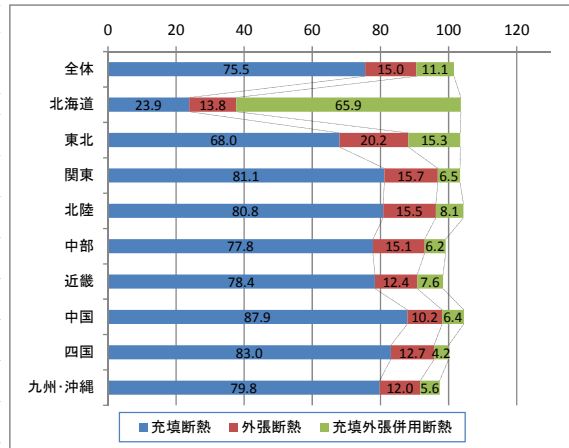


図 5-2-2b 地域別の普段設計または現場管理している外壁の断熱工法

3) 「床・基礎」にて普段設計または現場管理している断熱工法

普段設計または現場管理している床・基礎の断熱工法は床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)、基礎断熱が同程度であった。

地域別では北海道地域が他の地域と異なり、基礎断熱が最も多く、床断熱はいずれの工法も少ない。東北地域も基礎断熱が最も多いが、床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)は全体の比率に近づく。北海道、東北、関東の3地域は基礎断熱が全体の割合より高い。その他の地域は、床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)のいずれかの床断熱が最も多くなる。外壁と同様、床・基礎の断熱工法は寒冷地域とそうでない地域とで傾向が異なっている。

床・基礎の断熱工法	回答数	%
床断熱(根太間充填)	876	34.2
床断熱(大引間充填)	897	35.0
床断熱(根太+大引間充填)	188	7.3
基礎断熱	806	31.5
無回答	131	5.1
全体	2561	100.0

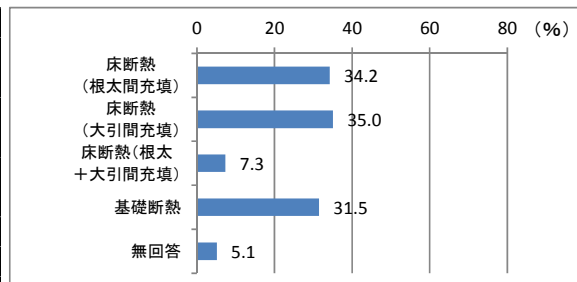


図 5-2-3a 普段設計または現場管理している床・基礎の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	2561	34.2	35.0	7.3	31.5	5.1
北海道	138	13.0	13.8	8.0	67.4	4.3
(全体との差)		-21.2	-21.3	+0.6	+35.9	-
東北	406	24.9	31.0	7.6	44.3	5.2
(全体との差)		-9.3	-4.0	+0.3	+12.9	-
関東	477	27.0	37.7	9.9	36.7	4.8
(全体との差)		-7.2	+2.7	+2.5	+5.2	-
北陸	297	41.8	40.7	7.4	17.2	4.0
(全体との差)		+7.5	+5.7	+0.1	-14.3	-
中部	469	40.7	34.3	7.7	23.0	6.8
(全体との差)		+6.5	-0.7	+0.3	-8.4	-
近畿	185	27.6	47.0	7.6	20.5	9.2
(全体との差)		-6.6	+12.0	+0.2	-10.9	-
中国	157	38.9	38.2	4.5	32.5	5.7
(全体との差)		+4.6	+3.2	-2.9	+1.0	-
四国	165	40.0	35.2	6.1	30.3	3.6
(全体との差)		+5.8	+0.1	-1.3	-1.2	-
九州・沖縄	267	50.6	31.8	3.7	22.5	1.9
(全体との差)		+16.4	-3.2	-3.6	-9.0	-

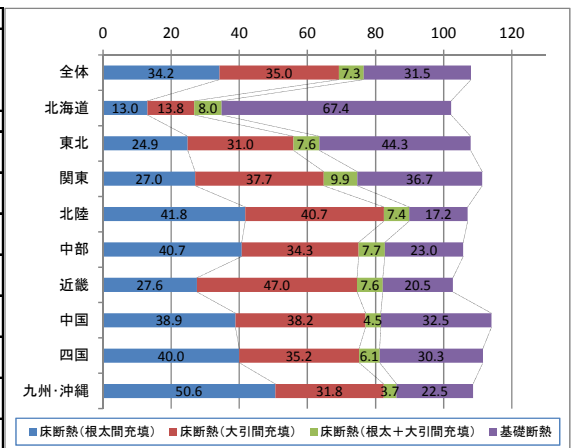


図 5-2-3b 地域別の普段設計または現場管理している床・基礎の断熱工法

4) 普段設計または現場管理している「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せについて、外壁充填断熱は全体でみると天井断熱との組合せが最も多い。地域別でも各地域共、天井断熱との組合せが最も多い。

外壁外張断熱は全体では屋根野地上断熱との組合せが最も多いが、天井断熱と大きな差は無い。地域別では北海道、東北、北陸、中国、九州・沖縄地域が全体と異なり天井断熱との組合せが最も多い。

外壁充填外張併用断熱は全体では天井断熱との組合せが最も多い。地域別では全体と異なり、関東地域はその他断熱との組合せが最も多く、四国地域は屋根野地上断熱との組合せが最も多い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
全体	2561	66.1	17.6	29.2	4.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1934	73.4	12.7	31.6	1.6
	外張断熱	385	44.9	53.2	29.6	2.9
	充填外張 併用断熱	283	66.1	29.0	34.3	3.2

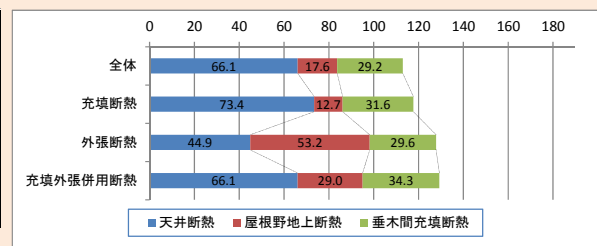


図 5-2-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北海道全体	138	84.1	15.2	13.0	2.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	33	93.9	9.1	24.2	0.0
	外張断熱	19	73.7	36.8	10.5	5.3
	充填外張 併用断熱	91	83.5	15.4	14.3	2.2

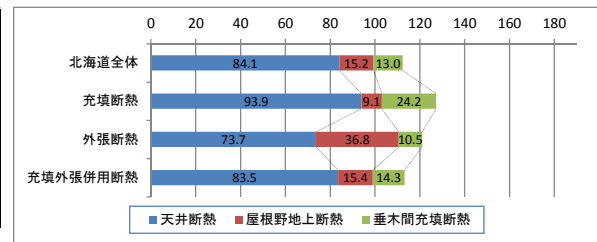


図 5-2-4b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
東北全体	406	74.9	14.5	18.7	4.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	276	90.9	7.6	13.0	0.4
	外張断熱	82	52.4	43.9	28.0	7.3
	充填外張 併用断熱	62	54.8	30.6	45.2	3.2

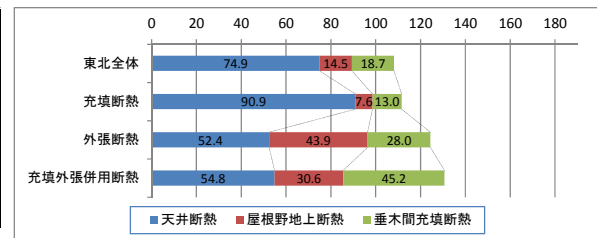


図 5-2-4c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
関東全体	477	57.0	23.7	39.6	3.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	387	64.9	17.3	42.1	1.0
	外張断熱	75	32.0	76.0	25.3	0.0
	充填外張 併用断熱	31	48.4	48.4	74.2	0.0

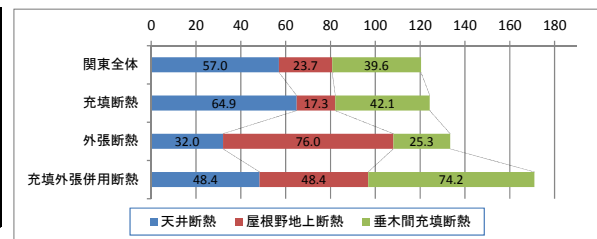


図 5-2-4d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北陸全体	297	70.7	15.2	20.2	6.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	240	78.8	12.9	18.3	2.9
	外張断熱	46	45.7	34.8	41.3	4.3
	充填外張 併用断熱	24	58.3	25.0	37.5	8.3

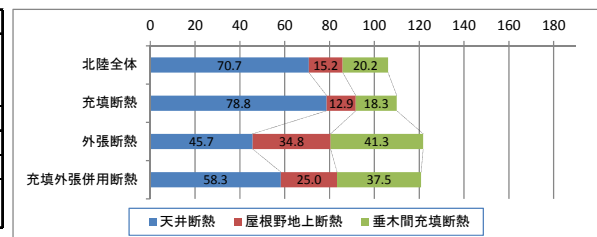


図 5-2-4e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中部全体	469	61.8	16.2	32.8	4.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	365	70.7	10.4	36.2	1.1
	外張断熱	71	31.0	57.7	29.6	1.4
	充填外張 併用断熱	29	55.2	20.7	37.9	6.9

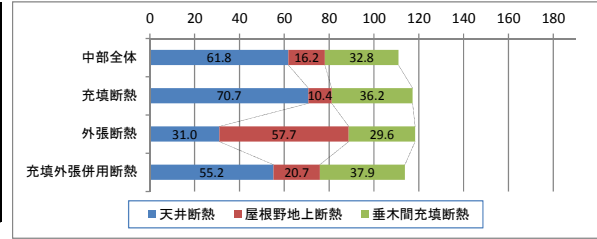


図 5-2-4f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
近畿全体	185	57.3	17.3	39.5	7.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	145	63.4	12.4	46.2	1.4
	外張断熱	23	43.5	47.8	52.2	0.0
	充填外張 併用断熱	14	92.9	42.9	21.4	0.0

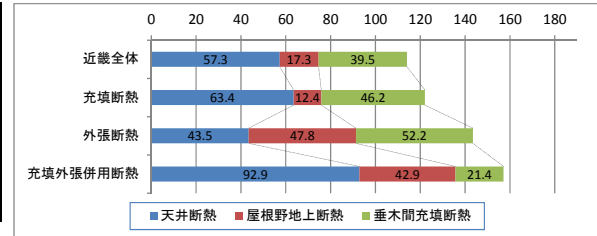


図 5-2-4g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中国全体	157	70.1	19.1	30.6	5.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	138	73.2	18.8	34.1	2.2
	外張断熱	16	87.5	62.5	31.3	0.0
	充填外張 併用断熱	10	70.0	50.0	50.0	0.0

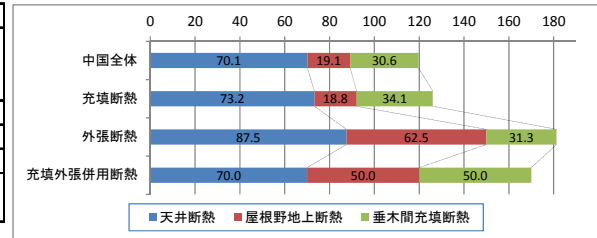


図 5-2-4h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
四国全体	165	60.6	18.2	37.0	3.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	137	70.1	10.2	38.7	2.2
	外張断熱	21	23.8	66.7	38.1	0.0
	充填外張 併用断熱	7	14.3	42.9	28.6	14.3

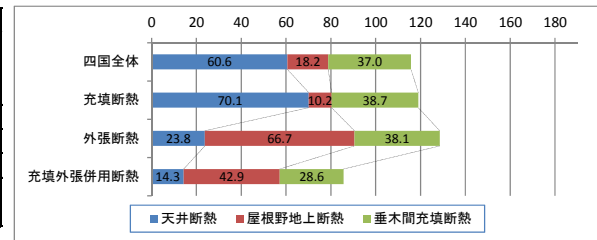


図 5-2-4i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
九州・沖縄全体	267	69.3	16.9	25.8	4.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	213	70.9	12.7	29.1	3.3
	外張断熱	32	62.5	40.6	15.6	3.1
	充填外張 併用断熱	15	73.3	53.3	20.0	0.0

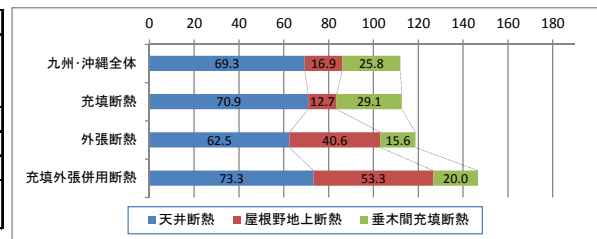


図 5-2-4j 同 九州・沖縄地域

5) 普段設計または現場管理している「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

外壁と床・基礎の断熱工法の組合せについて、外壁充填断熱は全体でみると床断熱(大引間充填)との組合せが最も多い。地域別では各地域を通して、床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)のいずれかとの組合せが最も多くなる。

外壁外張断熱は全体では基礎断熱との組合せが最も多い。地域別では北陸、中国、九州・沖縄地域が全体と異なり床断熱(根太間充填)との組合せが最も多い。

外壁充填外張併用断熱は基礎断熱との組合せが最も多い。地域別では近畿、中国地域が全体と異なり床断熱との組合せが最も多い。

中国地域以外は外壁外張断熱、外壁充填外張併用断熱の両方又はいずれかで基礎断熱との組合せが最も多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	2561	34.2	35.0	7.3	31.5	5.1
断熱工法						
充填断熱	1934	39.0	41.8	8.4	24.4	1.9
外張断熱	385	27.5	23.6	5.7	63.4	2.6
断熱工法 外壁						
充填外張 併用断熱	283	20.1	21.2	8.1	66.4	2.5

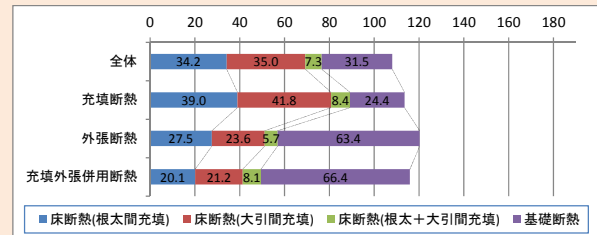


図 5-2-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
北海道全体	138	13.0	13.8	8.0	67.4	4.3
断熱工法						
充填断熱	33	39.4	30.3	15.2	30.3	0.0
外張断熱	19	5.3	5.3	10.5	100.0	0.0
断熱工法 外壁						
充填外張 併用断熱	91	7.7	9.9	7.7	79.1	2.2

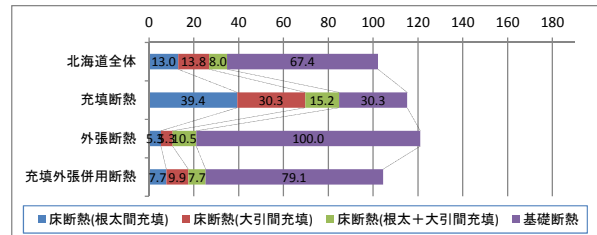


図 5-2-5b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
東北全体	406	24.9	31.0	7.6	44.3	5.2
断熱工法						
充填断熱	276	30.8	40.2	9.8	33.7	1.4
外張断熱	82	12.2	19.5	7.3	80.5	3.7
断熱工法 外壁						
充填外張 併用断熱	62	17.7	17.7	3.2	77.4	1.6

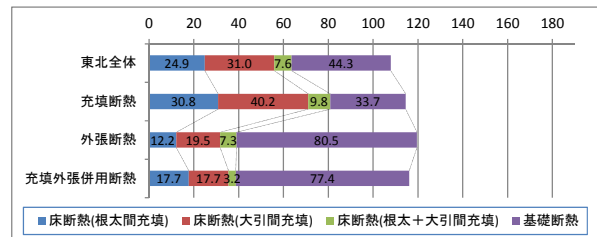


図 5-2-5c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
関東全体	477	27.0	37.7	9.9	36.7	4.8
断熱工法						
充填断熱	387	31.0	42.6	11.4	31.8	1.8
外張断熱	75	18.7	25.3	2.7	74.7	2.7
断熱工法 外壁						
充填外張 併用断熱	31	22.6	41.9	16.1	61.3	0.0

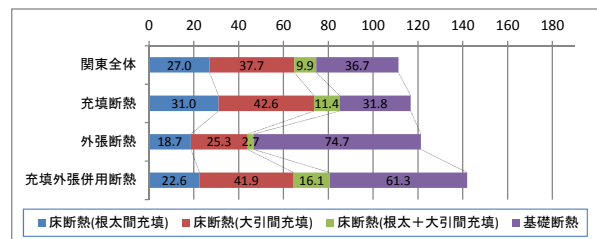
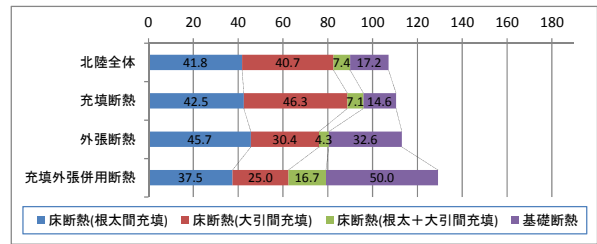


図 5-2-5d 同 関東地域

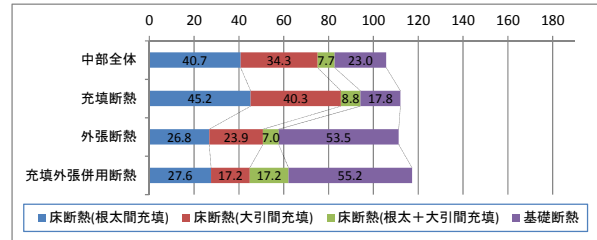
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
北陸全体	297	41.8	40.7	7.4	17.2	4.0
断熱 工法						
充填断熱	240	42.5	46.3	7.1	14.6	0.8
外張断熱	46	45.7	30.4	4.3	32.6	2.2
外壁						
充填外張 併用断熱	24	37.5	25.0	16.7	50.0	0.0

図 5-2-5e 同 北陸地域



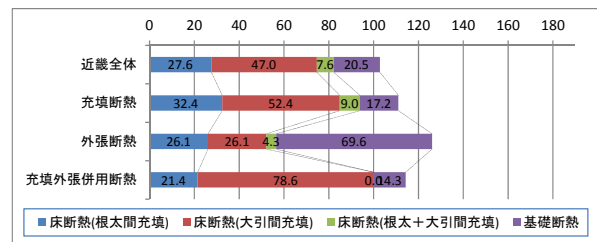
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
中部全体	469	40.7	34.3	7.7	23.0	6.8
断熱 工法						
充填断熱	365	45.2	40.3	8.8	17.8	2.7
外張断熱	71	26.8	23.9	7.0	53.5	4.2
外壁						
充填外張 併用断熱	29	27.6	17.2	17.2	55.2	6.9

図 5-2-5f 同 中部地域



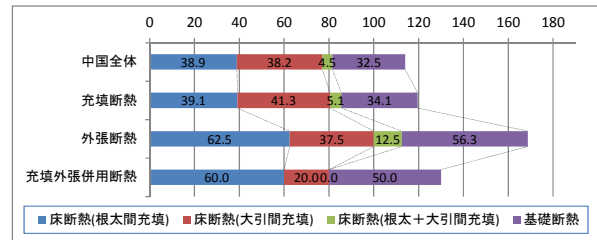
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
近畿全体	185	27.6	47.0	7.6	20.5	9.2
断熱 工法						
充填断熱	145	32.4	52.4	9.0	17.2	3.4
外張断熱	23	26.1	26.1	4.3	69.6	4.3
外壁						
充填外張 併用断熱	14	21.4	78.6	0.0	14.3	7.1

図 5-2-5g 同 近畿地域



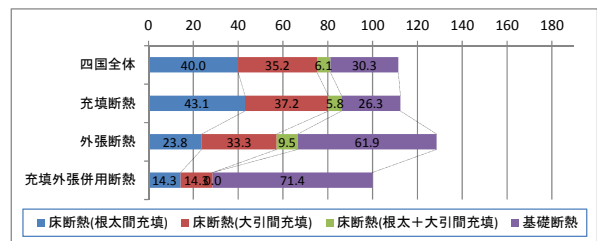
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
中国全体	157	38.9	38.2	4.5	32.5	5.7
断熱 工法						
充填断熱	138	39.1	41.3	5.1	34.1	2.2
外張断熱	16	62.5	37.5	12.5	56.3	0.0
外壁						
充填外張 併用断熱	10	60.0	20.0	0.0	50.0	0.0

図 5-2-5h 同 中国地域



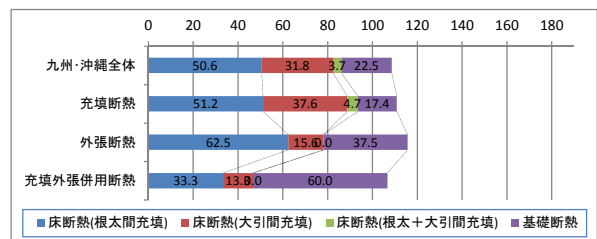
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
四国全体	165	40.0	35.2	6.1	30.3	3.6
断熱 工法						
充填断熱	137	43.1	37.2	5.8	26.3	2.9
外張断熱	21	23.8	33.3	9.5	61.9	0.0
外壁						
充填外張 併用断熱	7	14.3	14.3	0.0	71.4	0.0

図 5-2-5i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
九州・沖縄全体	267	50.6	31.8	3.7	22.5	1.9
断熱 工法						
充填断熱	213	51.2	37.6	4.7	17.4	0.5
外張断熱	32	62.5	15.6	0.0	37.5	0.0
外壁						
充填外張 併用断熱	15	33.3	13.3	0.0	60.0	6.7

図 5-2-5j 同 九州・沖縄地域



B. 普段、設計または現場管理している断熱材料《地域ブランド・質問 31-2》

1) 「屋根・天井」にて普段設計または現場管理している断熱材料

普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料はグラスウール・ロックウールが最も多い。地域別にみても各地域、グラスウール・ロックウールが多い。

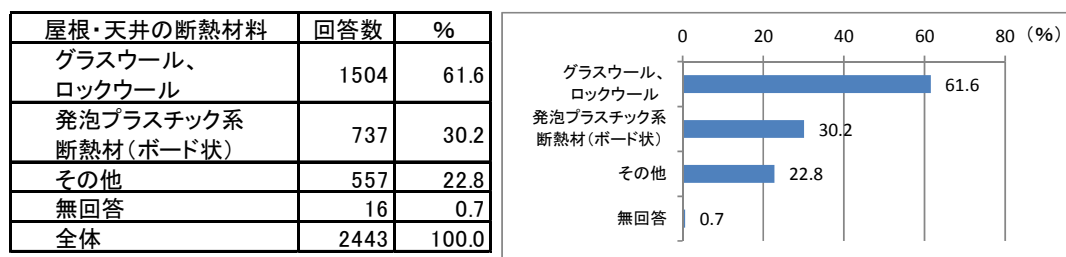


図 5-2-6a 普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料

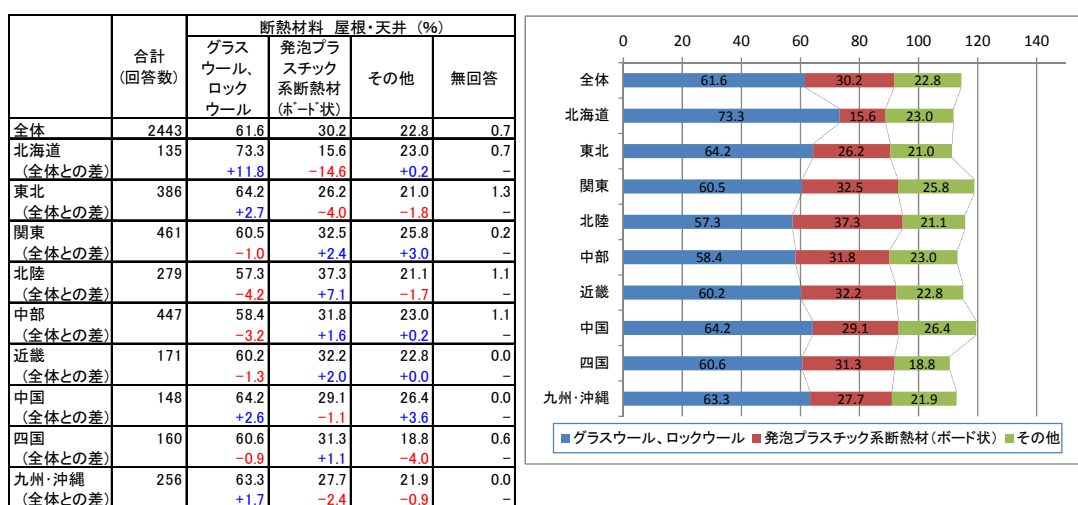


図 5-2-6b 地域別の普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	115	4.7%
吹込グラスウール、ロックウール	9	0.4%
吹込その他	9	0.4%
現場発泡ウレタン(a)	175	7.2%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	37	1.5%
ウレタン(aかbか不明)	71	2.9%
ポリエステル	10	0.4%
木質系	5	0.2%
羊毛	16	0.7%
コルク	1	0.0%
未分類	41	1.7%
その他記入有り合計	489	20.0%
その他全体	557	22.8%
全体	2443	100.0%

図 5-2-6c 普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料「その他」記述

2) 「外壁」にて普段設計または現場管理している断熱材料

普段設計または現場管理している外壁の断熱材料はグラスウール・ロックウールが最も多い。

地域別にみても各地域、グラスウール・ロックウールが多い。

北海道地域は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も多く、断熱工法で充填外張併用断熱が多くなっていることと関係すると考えられる(外壁にて普段施工している断熱工法の項目を参照)。

外壁の断熱材料	回答数	%
グラスウール、ロックウール	1506	61.7
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	719	29.4
その他	578	23.7
無回答	26	1.1
全体	2442	100.0

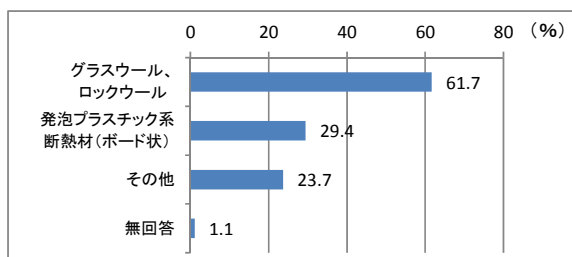


図 5-2-7a 普段設計または現場管理している外壁の断熱材料

	合計(回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	2442	61.7	29.4	23.7	1.1
北海道	133	69.2	50.4	22.6	0.0
(全体との差)		+7.5	+20.9	-1.1	-
東北	385	59.5	34.8	17.4	1.8
(全体との差)		-2.2	+5.4	-6.3	-
関東	458	63.1	26.9	26.9	0.7
(全体との差)		+1.4	-2.6	+3.2	-
北陸	287	56.4	37.3	25.1	1.0
(全体との差)		-5.2	+7.8	+1.4	-
中部	440	60.0	27.7	23.4	1.4
(全体との差)		-1.7	-1.7	-0.3	-
近畿	171	65.5	23.4	24.6	0.6
(全体との差)		+3.8	-6.1	+0.9	-
中国	151	66.9	23.2	26.5	0.7
(全体との差)		+5.2	-6.3	+2.8	-
四国	161	65.2	20.5	21.7	0.6
(全体との差)		+3.5	-8.9	-1.9	-
九州・沖縄	256	59.4	22.7	25.8	1.6
(全体との差)		-2.3	-6.8	+2.1	-

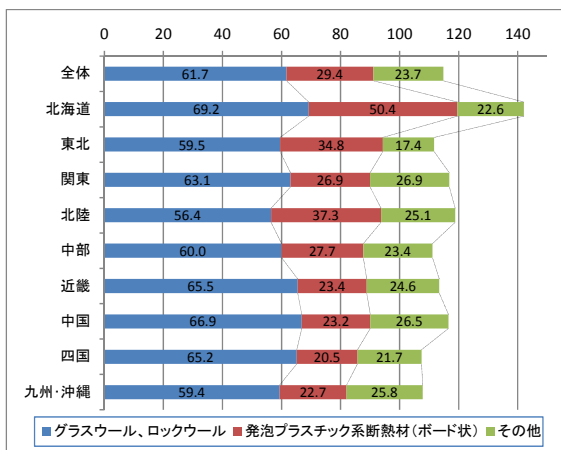


図 5-2-7b 地域別の普段設計または現場管理している外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	91	3.7%
吹込グラスウール、ロックウール		0.0%
吹込その他		0.0%
現場発泡ウレタン(a)	181	7.4%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	47	1.9%
ウレタン(aかbか不明)	80	3.3%
ポリエステル	14	0.6%
木質系	5	0.2%
羊毛	24	1.0%
コルク	2	0.1%
未分類	57	2.3%
その他記入有り合計	501	20.5%
その他全体	578	23.7%
全体	2442	100.0%

図 5-2-7c 普段設計または現場管理している外壁の断熱材料「その他」記述

3) 「床・基礎」にて普段設計または現場管理している断熱材料

普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料は、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多い。地域別にみても各地域、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多い。

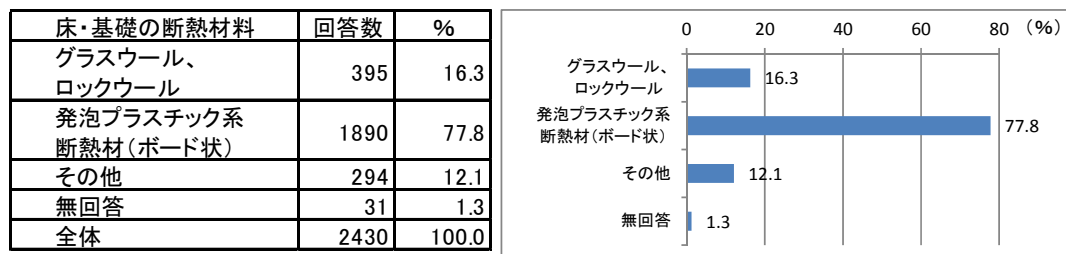


図 5-2-8a 普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料

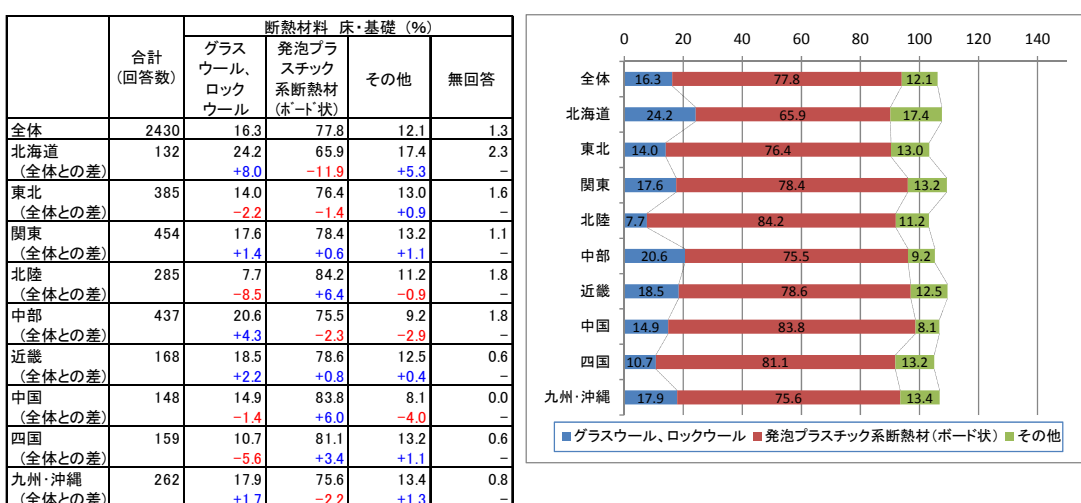


図 5-2-8b 地域別の普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	36	1.5%
吹込グラスウール、ロックウール	2	0.1%
吹込その他	1	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	69	2.8%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	76	3.1%
ウレタン(aかbか不明)	43	1.8%
ポリエステル	3	0.1%
木質系	3	0.1%
羊毛	7	0.3%
コルク	2	0.1%
未分類	17	0.7%
その他記入有り合計	259	10.7%
その他全体	294	12.1%
全体	2430	100.0%

図 5-2-8c 普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料「その他」記述

4) 普段設計または現場管理している「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように同じ断熱材料同士の組合せが最も多い。

その他同士の組合せは、その内の約8割が同じ断熱材料を使用している(例えば、外壁と天井ともセルローズファイバー)。

地域別にみると北海道地域は全体と異なり、外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最も多い。その他の地域は全体と同様の傾向になっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
全体		2443	61.6	30.2	22.8	0.7
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	1499	91.0	21.9	8.5	0.1
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	696	40.8	78.2	11.9	0.3
外壁	その他	554	23.8	14.8	87.4	0.0

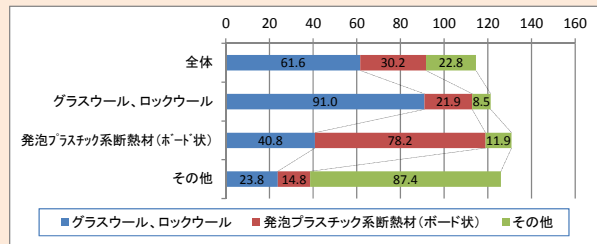


図 5-2-9a 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
北海道全体		135	73.3	15.6	23.0	0.7
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	92	82.6	12.0	17.4	1.1
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	66	65.2	27.3	27.3	0.0
外壁	その他	28	42.9	17.9	57.1	0.0

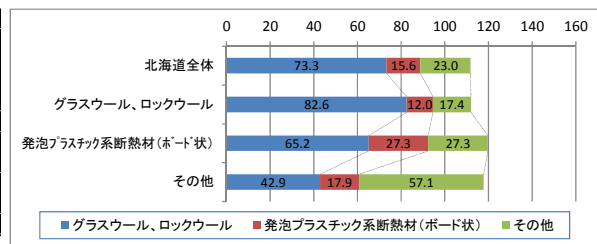


図 5-2-9b 同 北海道地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
東北全体		386	64.2	26.2	21.0	1.3
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	228	95.2	14.0	9.2	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	127	39.4	66.9	15.0	0.8
外壁	その他	64	28.1	10.9	90.6	0.0

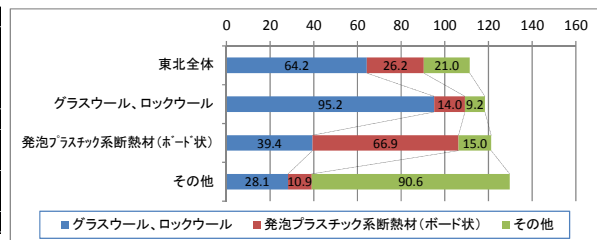


図 5-2-9c 同 東北地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
関東全体		461	60.5	32.5	25.8	0.2
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	289	90.7	23.5	12.1	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	123	38.2	91.1	12.2	0.0
外壁	その他	119	26.9	19.3	89.1	0.0

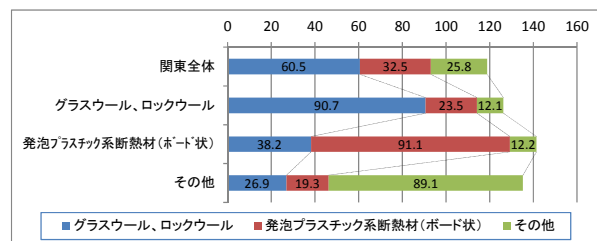


図 5-2-9d 同 関東地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
北陸全体		279	57.3	37.3	21.1	1.1
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	160	94.4	24.4	6.9	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	100	39.0	85.0	8.0	0.0
外壁	その他	69	26.1	23.2	81.2	0.0

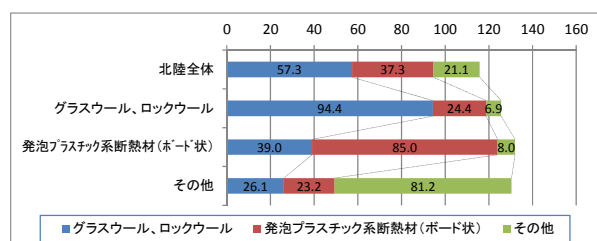
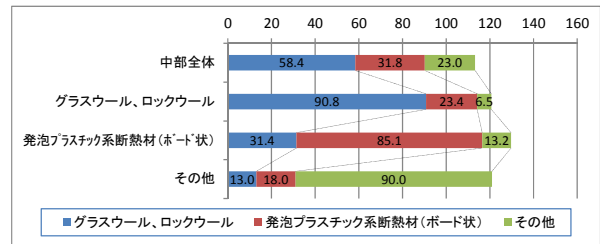


図 5-2-9e 同 北陸地域

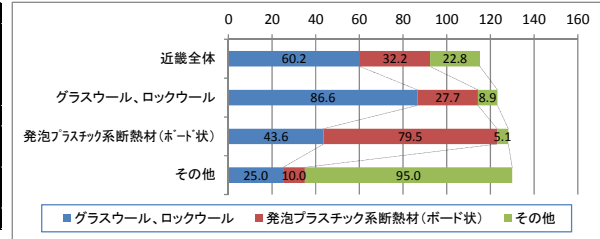
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	447	58.4	31.8	23.0	1.1	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	261	90.8	23.4	6.5	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	121	31.4	85.1	13.2	0.8
	その他	100	13.0	18.0	90.0	0.0

図 5-2-9f 同 中部地域



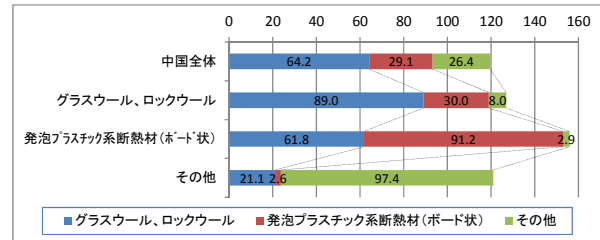
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	171	60.2	32.2	22.8	0.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	112	86.6	27.7	8.9	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	39	43.6	79.5	5.1	0.0
	その他	40	25.0	10.0	95.0	0.0

図 5-2-9g 同 近畿地域



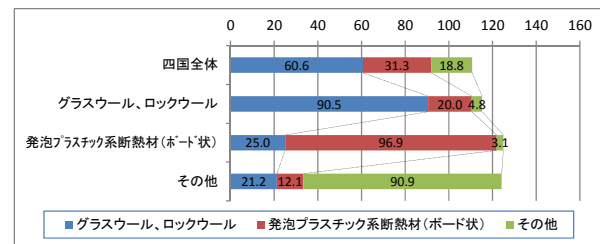
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	148	64.2	29.1	26.4	0.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	100	89.0	30.0	8.0	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	34	61.8	91.2	2.9	0.0
	その他	38	21.1	2.6	97.4	0.0

図 5-2-9h 同 中国地域



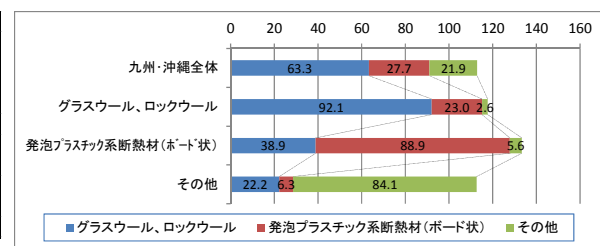
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	160	60.6	31.3	18.8	0.6	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	105	90.5	20.0	4.8	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	32	25.0	96.9	3.1	0.0
	その他	33	21.2	12.1	90.9	0.0

図 5-2-9i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	256	63.3	27.7	21.9	0.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	152	92.1	23.0	2.6	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	54	38.9	88.9	5.6	0.0
	その他	63	22.2	6.3	84.1	0.0

図 5-2-9j 同 九州・沖縄地域



5) 普段設計または現場管理している「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

外壁と床・基礎の断熱材料の組合せは、外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)との組合せが最も多い。

地域別にみると北海道、東北地域でその他の断熱材料同士の組合せが最も多くなる以外は、外壁の断熱材の種類に関わらず発泡プラスチック系断熱材(ボード状)との組合せが最も多く、全体と同様の傾向になっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	2430	16.3	77.8	12.1	1.3
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	1480	23.8	81.0	4.9	0.8
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	705	13.8	93.0	3.8	0.7
その他	562	7.7	57.8	45.6	1.1

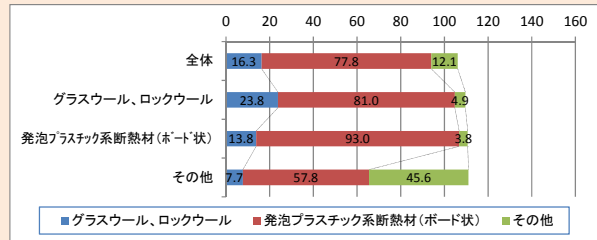


図 5-2-10a 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北海道全体	132	24.2	65.9	17.4	2.3
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	90	34.4	67.8	8.9	1.1
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	65	13.8	86.2	9.2	0.0
その他	30	13.3	36.7	60.0	6.7

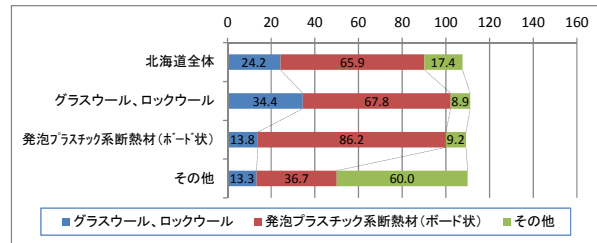


図 5-2-10b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
東北全体	385	14.0	76.4	13.0	1.6
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	226	23.5	77.4	5.3	0.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	130	6.2	95.4	3.1	1.5
その他	67	1.5	41.8	62.7	1.5

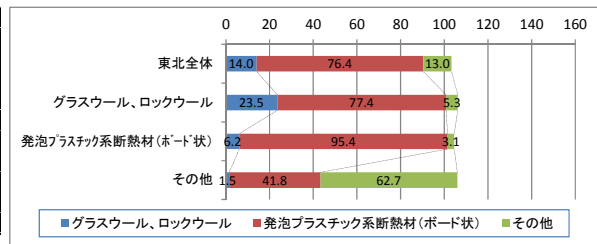


図 5-2-10c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
関東全体	454	17.6	78.4	13.2	1.1
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	284	26.1	83.5	5.6	0.7
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	122	17.2	97.5	3.3	0.0
その他	119	11.8	58.8	44.5	0.8

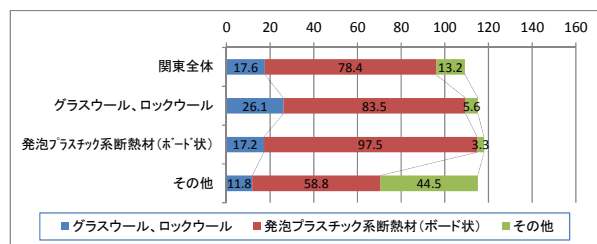


図 5-2-10d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北陸全体	285	7.7	84.2	11.2	1.8
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	161	13.0	86.3	7.5	1.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	106	7.5	94.3	2.8	0.9
その他	71	4.2	64.8	42.3	1.4

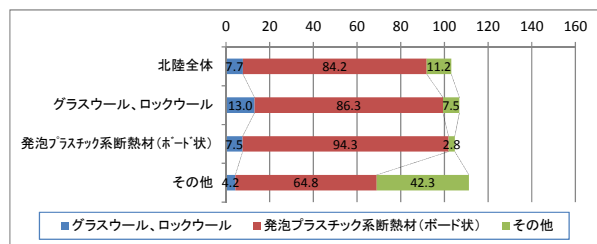
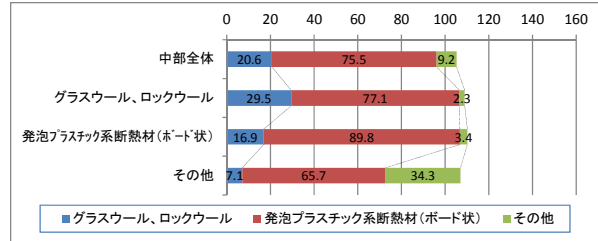


図 5-2-10e 同 北陸地域

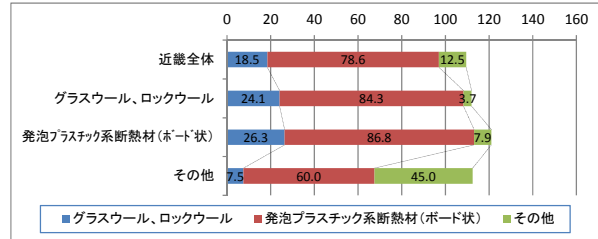
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	437	20.6	75.5	9.2	1.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	258	29.5	77.1	2.3	1.2
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	118	16.9	89.8	3.4	1.7
外壁	その他	99	7.1	65.7	34.3	1.0

図 5-2-10f 同 中部地域



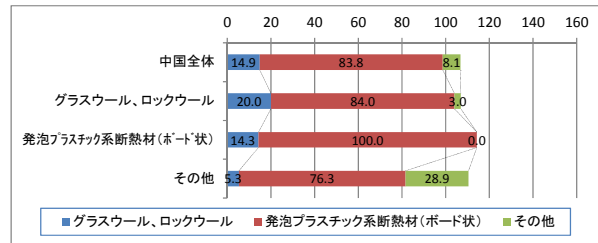
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	168	18.5	78.6	12.5	0.6	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	108	24.1	84.3	3.7	0.9
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	38	26.3	86.8	7.9	0.0
外壁	その他	40	7.5	60.0	45.0	0.0

図 5-2-10g 同 近畿地域



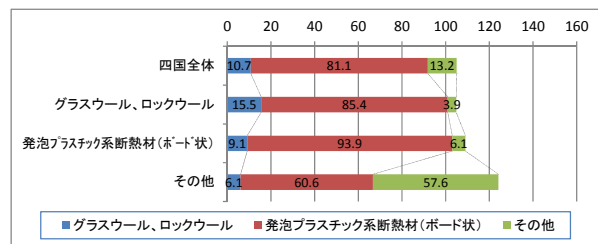
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	148	14.9	83.8	8.1	0.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	100	20.0	84.0	3.0	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	35	14.3	100.0	0.0	0.0
外壁	その他	38	5.3	76.3	28.9	0.0

図 5-2-10h 同 中国地域



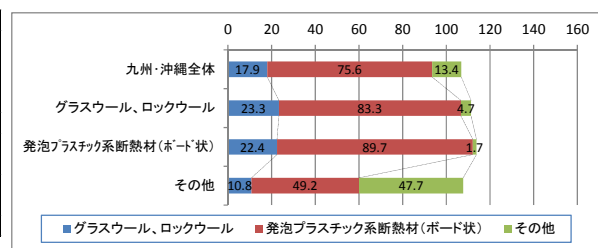
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	159	10.7	81.1	13.2	0.6	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	103	15.5	85.4	3.9	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	33	9.1	93.9	6.1	0.0
外壁	その他	33	6.1	60.6	57.6	0.0

図 5-2-10i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	262	17.9	75.6	13.4	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	150	23.3	83.3	4.7	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	58	22.4	89.7	1.7	0.0
外壁	その他	65	10.8	49.2	47.7	0.0

図 5-2-10j 同 九州・沖縄地域



C. 普段、設計または現場管理している断熱工法と材料の組合せ

《地域ブランド・質問 31-1・31-2》

1) 普段設計または現場管理している「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

屋根・天井の断熱工法と材料の組合せは、天井断熱にグラスウール・ロックウール、屋根野地上断熱に発泡プラスチック系断熱材(ボード状)の使用がそれぞれ最も多い。垂木間充填断熱はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)共に同じ程度使用されている。

地域別でみると天井断熱とグラスウール・ロックウールの組合せは各地域共、最も多く全体と同様の傾向となっている。

屋根野地上断熱は中国地域でグラスウール・ロックウールが最も多くなる以外は、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多く、全体と同様の傾向となっている。

垂木間断熱は北海道地域でグラスウール・ロックウールが他の材料と比べて特に多いが、その他の地域は全体と同様の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	2443	61.6	30.2	22.8	0.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	79.8	20.7	17.5	0.6	
	屋根野地上断熱	451	38.4	70.5	25.5	0.0
	垂木間充填断熱	748	42.4	45.3	38.9	0.7

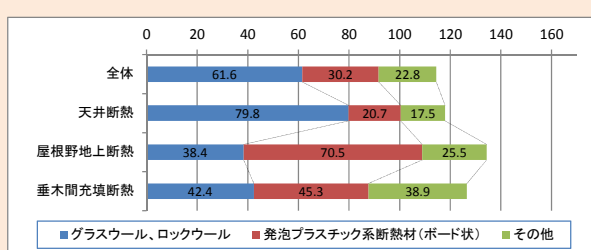


図 5-2-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	135	73.3	15.6	23.0	0.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	116	74.1	11.2	24.1	0.9
	屋根野地上断熱	21	47.6	71.4	42.9	0.0
	垂木間充填断熱	18	94.4	27.8	5.6	0.0

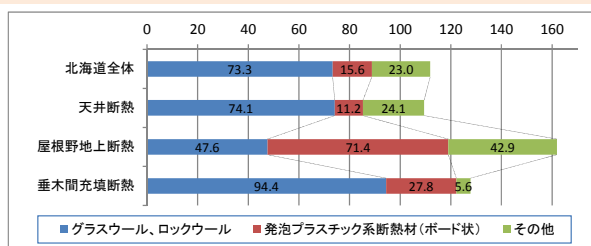


図 5-2-11b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	386	64.2	26.2	21.0	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	304	72.7	18.1	21.4	1.3
	屋根野地上断熱	59	30.5	81.4	16.9	0.0
	垂木間充填断熱	76	51.3	40.8	31.6	1.3

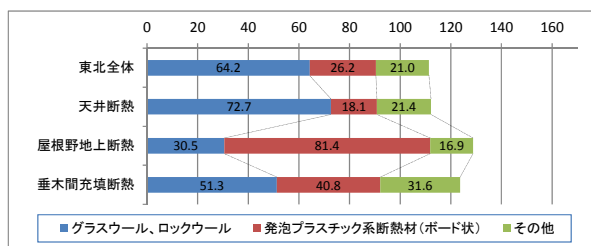


図 5-2-11c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
関東全体	461	60.5	32.5	25.8	0.2	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	272	85.3	21.3	16.9	0.4
	屋根野地上断熱	113	46.0	72.6	29.2	0.0
	垂木間充填断熱	189	42.3	39.7	46.6	0.0

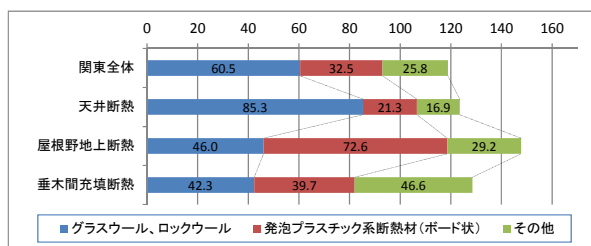
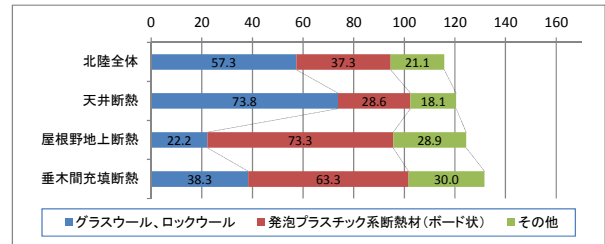


図 5-2-11d 同 関東地域

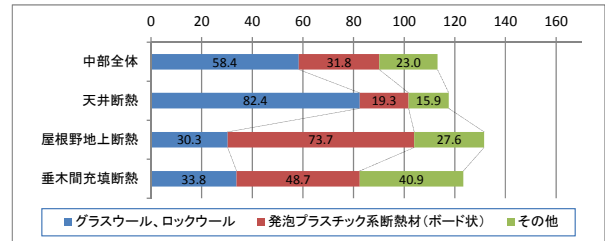
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ホード状)	その他	無回答	
北陸全体	279	57.3	37.3	21.1	1.1	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	210	73.8	28.6	18.1	0.5
	屋根野地上断熱	45	22.2	73.3	28.9	0.0
	垂木間 充填断熱	60	38.3	63.3	30.0	3.3

図 5-2-11e 同 北陸地域



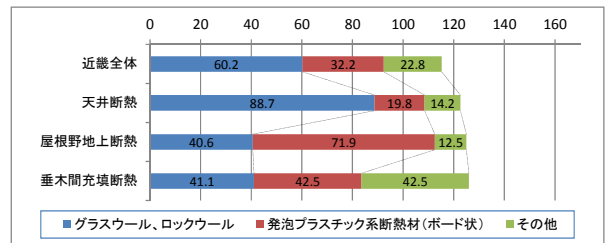
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ホード状)	その他	無回答	
中部全体	447	58.4	31.8	23.0	1.1	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	290	82.4	19.3	15.9	1.0
	屋根野地上断熱	76	30.3	73.7	27.6	0.0
	垂木間 充填断熱	154	33.8	48.7	40.9	1.3

図 5-2-11f 同 中部地域



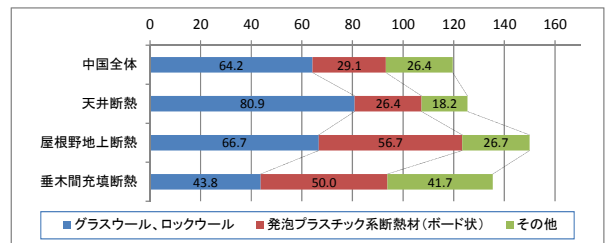
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ホード状)	その他	無回答	
近畿全体	171	60.2	32.2	22.8	0.0	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	106	88.7	19.8	14.2	0.0
	屋根野地上断熱	32	40.6	71.9	12.5	0.0
	垂木間 充填断熱	73	41.1	42.5	42.5	0.0

図 5-2-11g 同 近畿地域



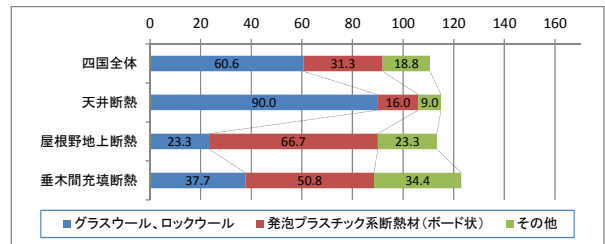
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ホード状)	その他	無回答	
中国全体	148	64.2	29.1	26.4	0.0	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	110	80.9	26.4	18.2	0.0
	屋根野地上断熱	30	66.7	56.7	26.7	0.0
	垂木間 充填断熱	48	43.8	50.0	41.7	0.0

図 5-2-11h 同 中国地域



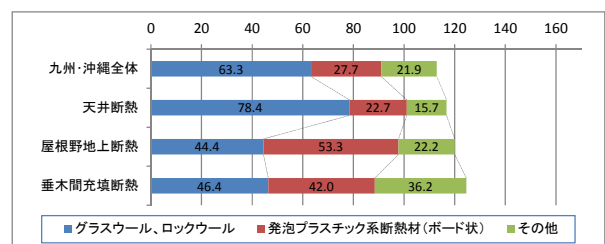
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ホード状)	その他	無回答	
四国全体	160	60.6	31.3	18.8	0.6	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	100	90.0	16.0	9.0	1.0
	屋根野地上断熱	30	23.3	66.7	23.3	0.0
	垂木間 充填断熱	61	37.7	50.8	34.4	0.0

図 5-2-11i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ホード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	256	63.3	27.7	21.9	0.0	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	185	78.4	22.7	15.7	0.0
	屋根野地上断熱	45	44.4	53.3	22.2	0.0
	垂木間 充填断熱	69	46.4	42.0	36.2	0.0

図 5-2-11j 同 九州・沖縄地域



2) 普段設計または現場管理している「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

外壁の断熱工法と材料の組合せは、充填断熱にグラスウール・ロックウール、外張断熱に発泡プラスチック系断熱材(ボード状)がそれぞれ最も多い。充填外張併用断熱はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)共に多い。

地域別では充填外張併用断熱について中国地域はグラスウール・ロックウールの割合が高く、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が低くなっている。四国地域はその他断熱材の割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	2442	61.7	29.4	23.7	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	1934	67.8	19.9	26.0	1.1
	外張断熱	385	33.2	79.7	14.0	0.5
	充填外張併用断熱					
		283	67.5	53.4	23.7	0.7

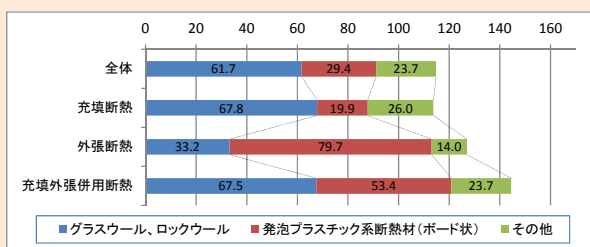


図 5-2-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	133	69.2	50.4	22.6	0.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	33	87.9	15.2	18.2	0.0
	外張断熱	19	15.8	84.2	21.1	0.0
	充填外張併用断熱	91	72.5	57.1	26.4	0.0

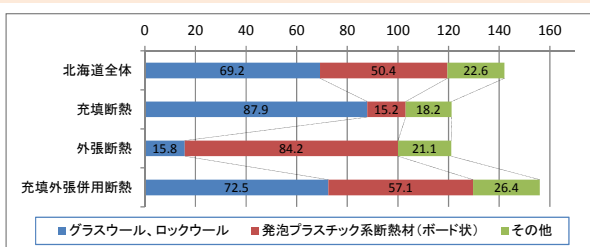


図 5-2-12b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	385	59.5	34.8	17.4	1.8	
断熱工法 外壁	充填断熱	276	69.6	19.6	20.7	2.5
	外張断熱	82	28.0	87.8	12.2	0.0
	充填外張併用断熱	62	64.5	59.7	11.3	0.0

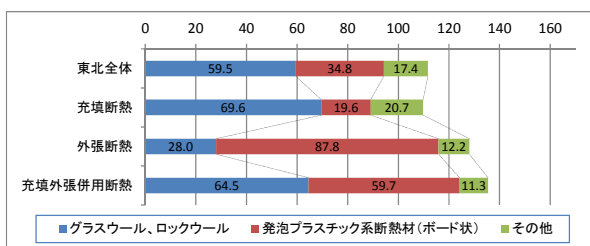


図 5-2-12c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
関東全体	458	63.1	26.9	26.9	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	387	70.3	18.6	30.0	0.5
	外張断熱	75	32.0	85.3	14.7	0.0
	充填外張併用断熱	31	64.5	48.4	32.3	3.2

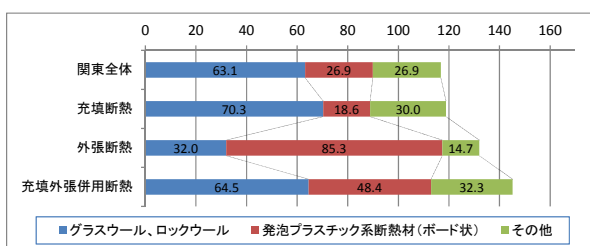


図 5-2-12d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	287	56.4	37.3	25.1	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	240	63.3	29.6	27.9	0.8
	外張断熱	46	32.6	87.0	8.7	0.0
	充填外張併用断熱	24	62.5	54.2	25.0	4.2

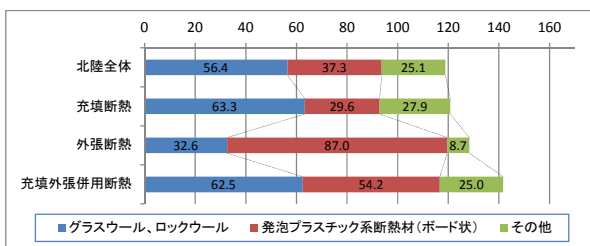
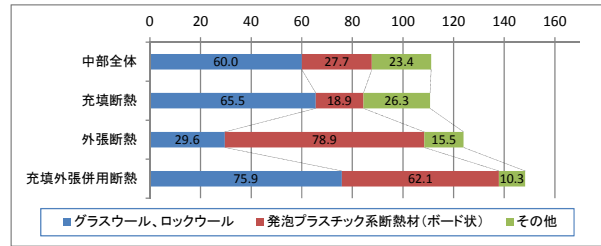


図 5-2-12e 同 北陸地域

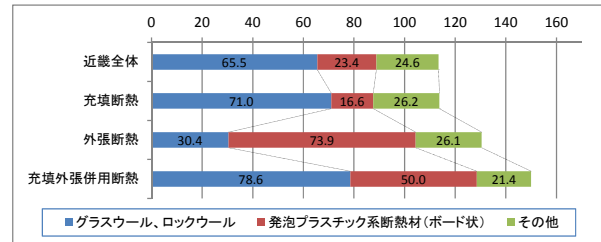
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
中部全体	440	60.0	27.7	23.4	1.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	365	65.5	18.9	26.3	1.4
	外張断熱	71	29.6	78.9	15.5	1.4
	充填外張 併用断熱	29	75.9	62.1	10.3	0.0

図 5-2-12f 同 中部地域



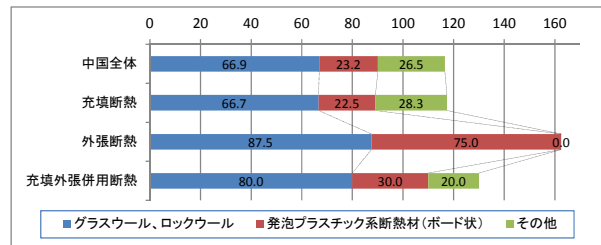
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
近畿全体	171	65.5	23.4	24.6	0.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	145	71.0	16.6	26.2	0.7
	外張断熱	23	30.4	73.9	26.1	0.0
	充填外張 併用断熱	14	78.6	50.0	21.4	0.0

図 5-2-12g 同 近畿地域



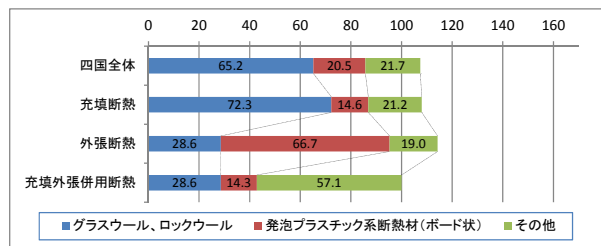
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
中国全体	151	66.9	23.2	26.5	0.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	138	66.7	22.5	28.3	0.7
	外張断熱	16	87.5	75.0	0.0	0.0
	充填外張 併用断熱	10	80.0	30.0	20.0	0.0

図 5-2-12h 同 中国地域



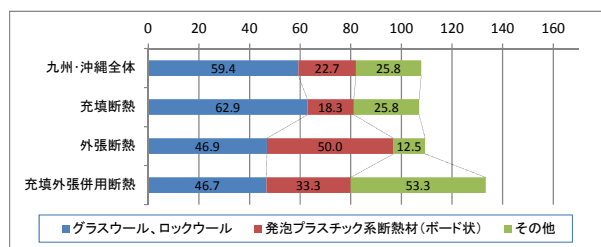
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
四国全体	161	65.2	20.5	21.7	0.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	137	72.3	14.6	21.2	0.7
	外張断熱	21	28.6	66.7	19.0	0.0
	充填外張 併用断熱	7	28.6	14.3	57.1	0.0

図 5-2-12i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
九州・沖縄全体	256	59.4	22.7	25.8	1.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	213	62.9	18.3	25.8	1.4
	外張断熱	32	46.9	50.0	12.5	3.1
	充填外張 併用断熱	15	46.7	33.3	53.3	0.0

図 5-2-12j 同 九州・沖縄地域



3) 普段設計または現場管理している「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

床・基礎の断熱工法と材料の組合せは、いずれの工法も発泡プラスチック系断熱材(ボード状)との組合せが最も多い。

地域別でみると北海道地域はどの床断熱でもグラスウール・ロックウールとの組合せが最も多い。その他の地域は全体の傾向と同様となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
全体	2430	16.3	77.8	12.1	1.3	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	876	22.0	77.6	9.2	0.9
	床断熱(大引間充填)	897	19.6	77.7	12.4	1.3
	床断熱(根太+大引間充填)	188	28.7	68.6	19.1	1.6
床・基礎	床断熱	1853	20.7	76.0	11.3	1.2
	基礎断熱	806	10.2	84.7	15.0	1.4

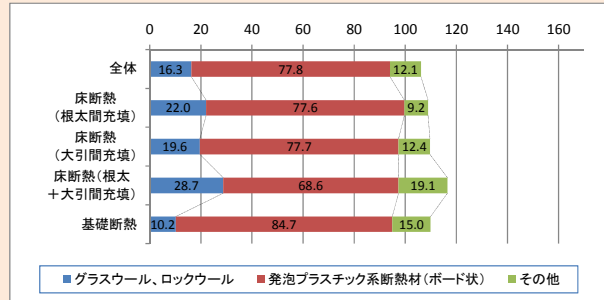


図 5-2-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	132	24.2	65.9	17.4	2.3	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	18	77.8	11.1	27.8	0.0
	床断熱(大引間充填)	19	57.9	31.6	36.8	5.3
	床断熱(根太+大引間充填)	11	81.8	45.5	18.2	0.0
床・基礎	床断熱	93	6.5	88.2	10.8	2.2
	基礎断熱					

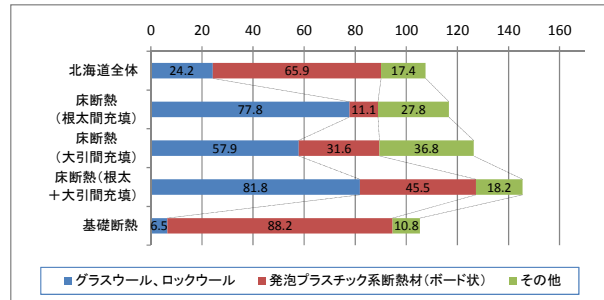


図 5-2-13b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	385	14.0	76.4	13.0	1.6	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	101	24.8	73.3	6.9	2.0
	床断熱(大引間充填)	126	11.9	78.6	15.1	1.6
	床断熱(根太+大引間充填)	31	38.7	51.6	12.9	0.0
床・基礎	床断熱	180	6.7	85.0	14.4	1.7
	基礎断熱					

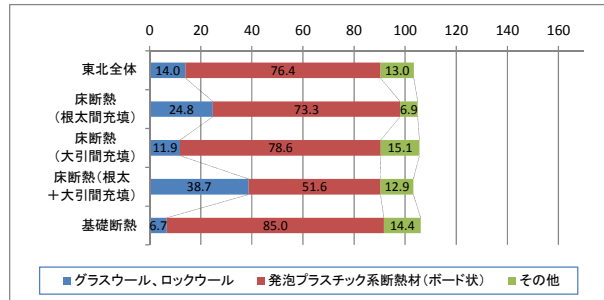


図 5-2-13c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	454	17.6	78.4	13.2	1.1	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	129	24.8	81.4	10.1	0.8
	床断熱(大引間充填)	180	25.6	73.3	15.0	1.1
	床断熱(根太+大引間充填)	47	27.7	66.0	34.0	0.0
床・基礎	床断熱	175	16.0	88.6	10.9	1.1
	基礎断熱					

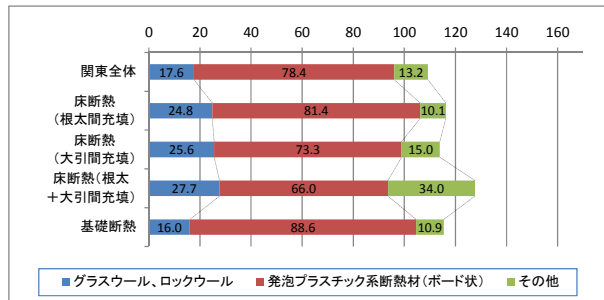


図 5-2-13d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	285	7.7	84.2	11.2	1.8	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	124	9.7	84.7	12.9	1.6
	床断熱 (大引間充填)	121	7.4	86.0	8.3	2.5
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	22	13.6	72.7	18.2	4.5
	基礎断熱	51	9.8	86.3	15.7	2.0

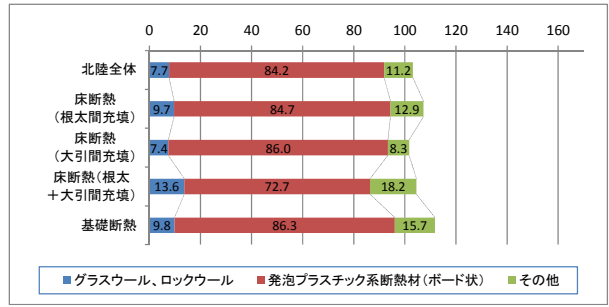


図 5-2-13e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中部全体	437	20.6	75.5	9.2	1.8	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	191	28.3	74.3	5.2	1.6
	床断熱 (大引間充填)	161	22.4	76.4	9.3	1.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	36	25.0	75.0	13.9	2.8
	基礎断熱	108	11.1	81.5	17.6	0.9

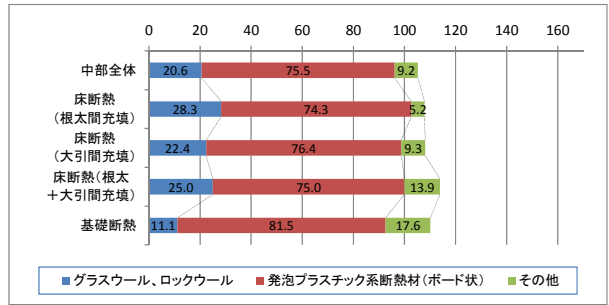


図 5-2-13f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	168	18.5	78.6	12.5	0.6	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	51	15.7	86.3	9.8	0.0
	床断熱 (大引間充填)	87	24.1	79.3	8.0	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	14	21.4	57.1	28.6	0.0
	基礎断熱	38	7.9	81.6	21.1	0.0

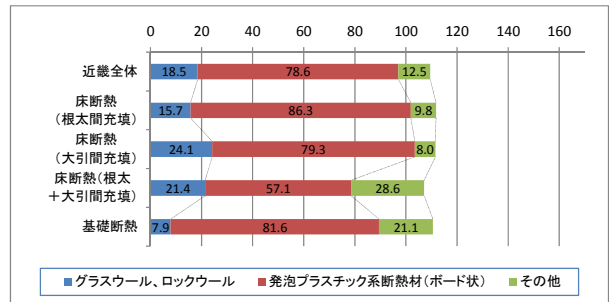


図 5-2-13g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	148	14.9	83.8	8.1	0.0	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	61	13.1	85.2	6.6	0.0
	床断熱 (大引間充填)	60	23.3	81.7	6.7	0.0
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	7	28.6	100.0	14.3	0.0
	基礎断熱	51	9.8	92.2	7.8	0.0

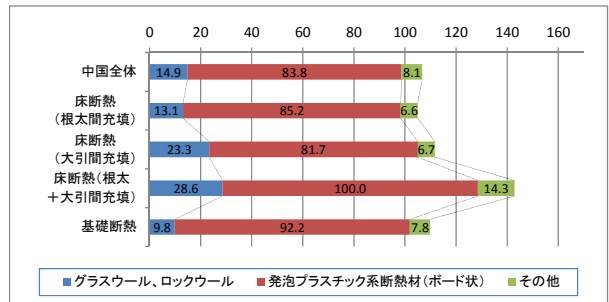


図 5-2-13h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	159	10.7	81.1	13.2	0.6	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	66	18.2	78.8	7.6	0.0
	床断熱(大引間充填)	58	5.2	89.7	17.2	0.0
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	10	10.0	100.0	0.0	0.0
	基礎断熱	50	8.0	78.0	24.0	2.0

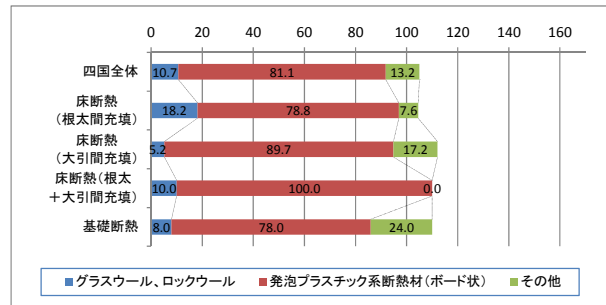


図 5-2-13i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	262	17.9	75.6	13.4	0.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	135	20.7	77.0	11.9	0.0
	床断熱(大引間充填)	85	24.7	74.1	14.1	0.0
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	10	20.0	90.0	0.0	10.0
	基礎断熱	60	11.7	73.3	25.0	1.7

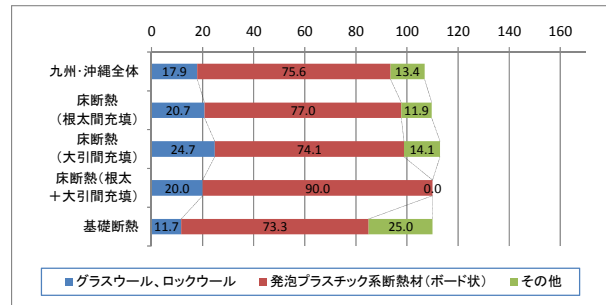


図 5-2-13j 同 九州・沖縄地域

②断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時のチェックに使用する図面
《地域ブランド・質問 31-3》

断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時にチェックに使用する図面は矩計図、仕上表、特記仕様書が主に用いられている。床・基礎部分について「その他」の記述では、基礎伏図を主とした構造関連図書(5.4%)が目立つ。断熱仕様の担保は主にこれらの図面によっていると考えられる。

①屋根・天井	回答数	%
特記仕様書	935	36.5
仕上表	1715	67.0
平面図	401	15.7
平面詳細図	401	15.7
矩計図	1949	76.1
その他	95	3.7
無回答	97	3.8
全体	2561	100.0

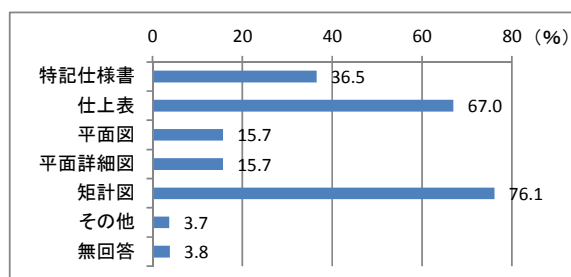


図 5-2-14a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

②外壁	回答数	%
特記仕様書	921	36.0
仕上表	1683	65.7
平面図	417	16.3
平面詳細図	491	19.2
矩計図	1945	75.9
その他	104	4.1
無回答	103	4.0
全体	2561	100.0

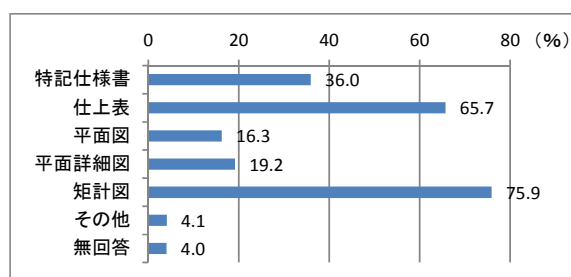


図 5-2-14b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

③床・基礎	回答数	%
特記仕様書	929	36.3
仕上表	1587	62.0
平面図	414	16.2
平面詳細図	391	15.3
矩計図	1908	74.5
その他	223	8.7
無回答	116	4.5
全体	2561	100.0

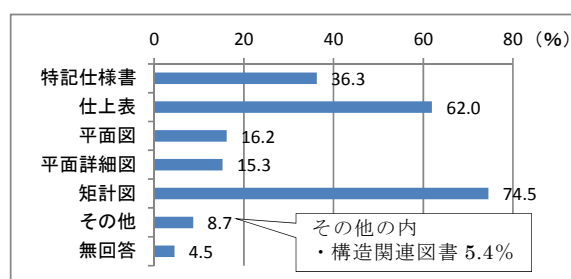


図 5-2-14c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

③ 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル《地域ブランド・質問 31-4》

普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、平成11年基準(次世代基準・等級4)以上がおよそ7割と最も多いが、一方で平成4年基準(新基準・等級3)と昭和55年基準(旧基準・等級2)の合わせて約3割が未だに採用されている。次世代省エネ基準の採用に積極的であると思われる地域ブランド化グループの工務店等においてこのような実態となっている。

地域別では北海道地域で平成11年基準以上が多く採用されている。

基準レベル	回答数	%
H11年基準(次世代基準・等級4)以上	1728	67.5
H4年基準(新基準・等級3)	670	26.2
S55年基準(旧基準・等級2)	111	4.3
S55年基準以下	23	0.9
無回答	169	6.6
全体	2561	100.0

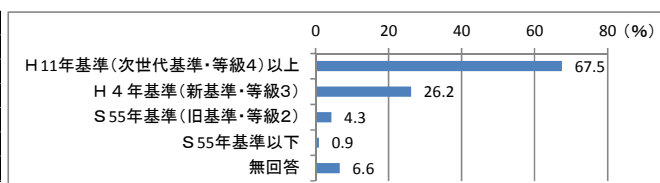


図 5-2-15a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)				
		H11年 基準 (次世代 基準 ・等級4) 以上	H4年 基準 (新基準 ・等級3)	S55年 基準 (旧基準 ・等級2)	S55年 基準 以下	無回答
全体	2561	67.5	26.2	4.3	0.9	6.6
北海道	138	92.8	4.3	0.7	0.0	2.2
(全体との差)		+25.3	-21.8	-3.6	-0.9	-
東北	406	70.0	22.4	2.5	0.2	7.4
(全体との差)		+2.5	-3.7	-1.9	-0.7	-
関東	477	71.1	25.2	3.1	0.6	6.3
(全体との差)		+3.6	-1.0	-1.2	-0.3	-
北陸	297	67.0	32.3	6.1	0.7	3.7
(全体との差)		-0.5	+6.2	+1.7	-0.2	-
中部	469	60.8	27.7	6.8	1.9	8.3
(全体との差)		-6.7	+1.6	+2.5	+1.0	-
近畿	185	61.6	30.3	4.9	2.2	10.3
(全体との差)		-5.9	+4.1	+0.5	+1.3	-
中国	157	73.2	24.8	3.2	0.0	5.7
(全体との差)		+5.8	-1.3	-1.1	-0.9	-
四国	165	60.6	29.7	6.1	0.6	6.7
(全体との差)		-6.9	+3.5	+1.7	-0.3	-
九州・沖縄	267	61.4	31.1	4.1	1.1	6.4
(全体との差)		-6.1	+4.9	-0.2	+0.2	-

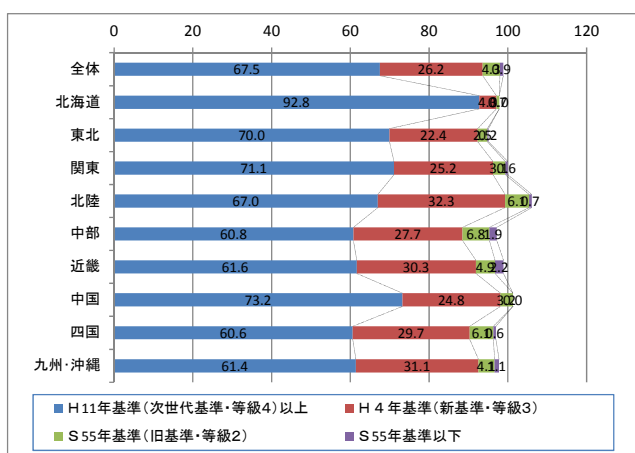


図 5-2-15b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

④計算経験のある断熱性能《地域ブランド・質問 31-5》

計算経験のある断熱性能について、Q 値(熱損失係数)はおよそ 6 割の回答者が計算したことがあるとしている。年間冷暖房負荷、U 値(部位熱貫流率)、R 値(熱抵抗値)も 2 割以上が計算したことがあるとの回答であった。ただし断熱設計、省エネに積極的であると思われる地域ブランド化グループの工務店等に対する調査の結果である。

地域別にみると北海道地域は全ての項目について全体より高い割合となっている。特に Q 値は 95.7%の回答者が計算経験有りと回答しており、断熱設計への積極的な取り組みが伺える。反対に近畿地域は全ての項目において全体より低い割合となっている。

断熱性能	回答数	%
年間冷暖房負荷	615	24.0
Q 値(熱損失係数)	1524	59.5
U 値(部位熱貫流率)	527	20.6
R 値(熱抵抗値)	624	24.4
無回答	837	32.7
全体	2561	100.0

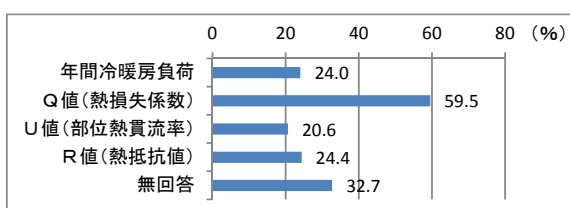


図 5-2-16a 計算したことがある断熱性能

	合計 (回答数)	計算したことがある断熱性能 (%)				無回答
		年間 冷暖房 負荷	Q 値 (熱損失 係数)	U 値 (部位熱 貫流率)	R 値 (熱抵 抗値)	
全体	2561	24.0	59.5	20.6	24.4	32.7
北海道	138	47.8	95.7	33.3	37.0	4.3
(全体との差)		+23.8	+36.1	+12.8	+12.6	-
東北	406	30.8	70.0	17.7	20.0	22.4
(全体との差)		+6.8	+10.4	-2.8	-4.4	-
関東	477	22.0	56.8	21.6	26.2	33.8
(全体との差)		-2.0	-2.7	+1.0	+1.8	-
北陸	297	20.9	59.9	17.5	23.9	33.0
(全体との差)		-3.1	+0.4	-3.1	-0.5	-
中部	469	21.1	51.8	21.7	26.2	40.1
(全体との差)		-2.9	-7.7	+1.2	+1.9	-
近畿	185	10.3	46.5	17.8	19.5	43.8
(全体との差)		-13.7	-13.0	-2.7	-4.9	-
中国	157	26.1	61.1	22.3	28.0	31.2
(全体との差)		+2.1	+1.6	+1.7	+3.7	-
四国	165	22.4	57.0	19.4	24.8	35.8
(全体との差)		-1.6	-2.5	-1.2	+0.5	-
九州・沖縄	267	22.8	52.4	19.5	19.5	39.0
(全体との差)		-1.2	-7.1	-1.1	-4.9	-

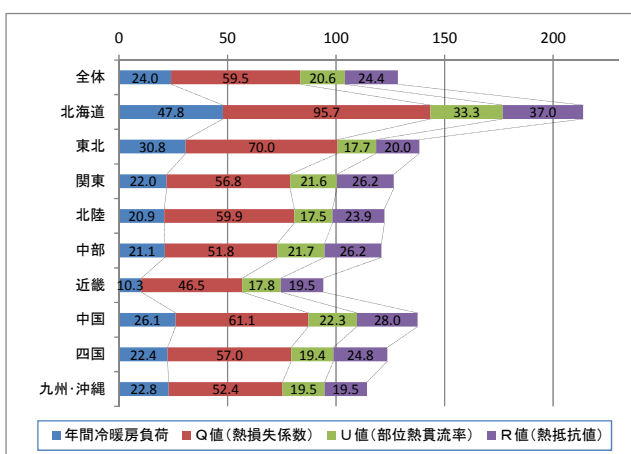


図 5-2-16b 地域別の計算したことがある断熱性能

⑤断熱・施工方法に関する情報の主な入手先《地域ブランド・質問 31-6》

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は建材・設備メーカーの講習会・マニュアルからが最も多い。実際に現場で使用する具体的な建材、工法とメーカーとは直結するため、このような結果となったと考えられる。

また住宅生産関連団体の講習会などから、公的講習会・仕様書からも多い。

情報入手先	回答数	%
職場内研修から	287	11.2
住宅生産関連団体の講習会などから	1098	42.9
公的講習会・仕様書から	1098	42.9
建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから	1765	68.9
建築雑誌から	675	26.4
その他	175	6.8
無回答	92	3.6
全体	2561	100.0

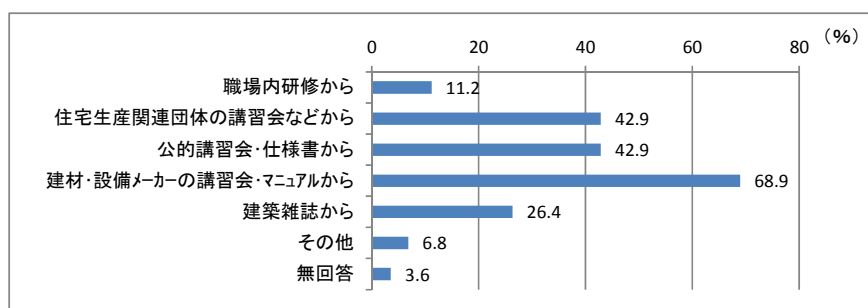


図 5-2-17a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

情報入手先「その他」	回答数	%
自社関係	3	0.1%
公的機関等	6	0.2%
建材メーカー	8	0.3%
インターネット	25	1.0%
所属団体	24	0.9%
専門メディア	2	0.1%
公的仕様書等	7	0.3%
人的ネットワーク	20	0.8%
その他講習会等	8	0.3%
ハウスメーカー	1	0.0%
自分で調べる	1	0.0%
省エネ団体	13	0.5%
未分類	11	0.4%
不明	2	0.1%
その他記入有り合計	131	5.1%
その他全体	175	6.8%
全体	2,561	100.0%

図 5-2-17b 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

⑥最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発《地域ブランド・質問 31-7》

最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要な分野として半数が設計従事者と回答している。施工管理者、現場施工者、建築主も共に4割近くの回答者が挙げている。職種別にみても回答に大きな差は無い。

いずれかの分野というよりは、省エネ設計・施工に関するどの分野にも意識啓発が必要とされている。

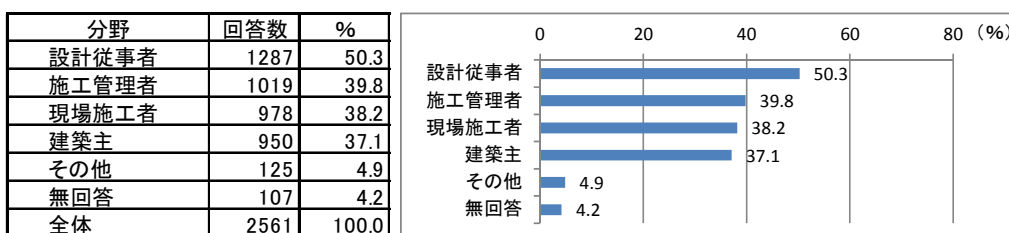


図 5-2-18a 最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要と思う分野

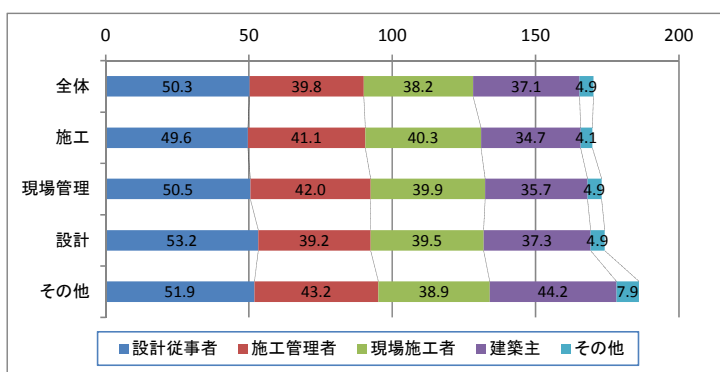


図 5-2-18b 職種別にみた最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要と思う分野

分野「その他」	回答数	%
現場施工者	7	0.3%
建築主	6	0.2%
工務店	8	0.3%
経営者	8	0.3%
営業	14	0.5%
会社全体	1	0.0%
建材メーカー	4	0.2%
建材販売	5	0.2%
ハウスメーカー	3	0.1%
不動産業者	1	0.0%
行政	18	0.7%
関係する全ての人	19	0.7%
未分類	1	0.0%
不明	11	0.4%
その他記入有り合計	106	4.1%
その他全体	125	4.9%
全体	2,561	100.0%

図 5-2-18c 最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要と思う分野「その他」記述

⑦地域ブランド施工・設計事業者調査結果のまとめ

省エネ設計・施工の実態について地域ブランド施工・設計事業者調査にて得られた結果を以下のように整理した。

1) 回答者属性

回答者として主に設計者、現場管理者を想定したが、実際には現場施工者が54%、現場管理者が55%、設計者が61%、その他が24%であった。

2) 多用される断熱工法、断熱材料は何か。

多用される断熱工法、断熱材料、組合せは以下の通り。北海道地域はその他の地域との違いが顕れている。

●断熱工法

- 《屋根・天井》 ・ 天井断熱66%が最多。
 - ・ その内80%はグラスウール・ロックウール。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含め天井断熱が最多。
- 《 外 壁 》 ・ 充填断熱76%が最多。
 - ・ その内68%はグラスウール・ロックウール。
 - ・ 北海道地域は充填外張併用断熱66%が最多。
- 《 床・基礎 》 ・ 床断熱(根太間充填)34%、床断熱(大引間充填)35%、基礎断熱32%で同程度であった。
 - ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)の使用が多い。
 - ・ 北海道地域は基礎断熱67%、東北地域は基礎断熱44%が最多。

●断熱材料

- 《屋根・天井》 ・ グラスウール・ロックウール62%が最多。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含めグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 外 壁 》 ・ グラスウール・ロックウール62%最多。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含めグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 床 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)76%が最多。
 - ・ 北海道地域は床断熱のいずれの工法もグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 基 礎 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)85%が最多。
 - ・ 地域別でも各地域共北海道地域を含め発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最多。

●取合い部分における断熱工法、断熱材料

《外壁×屋根・天井》断熱工法

- ・ 外壁充填断熱は全体では天井断熱との組合せが最多。地域別でも各地域共通して天井断熱との組合せが最多。
- ・ 外壁外張断熱は全体では屋根野地上断熱との組合せが最多。しかし天井断熱と大きな差は無い。地域別では北海道、東北、北陸、中国、九州・沖縄地域が全体と異なり天井断熱との組合せが最多。
- ・ 外壁充填外張併用断熱は全体では天井断熱との組合せが最多。地域別では全体と異なり、関東地域はその他断熱との組合せが最多、四国地域は屋根野地上断熱との組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱工法

- ・ 外壁充填断熱は全体では床断熱(大引間充填)との組合せが最多。地域別では各地域を通して、床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)のいずれかとの組合せが最多となる。
- ・ 外壁外張断熱は全体では基礎断熱との組合せが最多。地域別では北陸、中国、九州・沖縄地域が全体と異なり床断熱(根太間充填)との組合せが最多。
- ・ 外壁充填外張併用断熱は基礎断熱との組合せが最多。地域別では近畿、中国地域が全体と異なり床断熱との組合せが最多。

《外壁×屋根・天井》断熱材料

- ・ 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように、全体では同じ断熱材料同士の組合せが最多。地域別でも北海道地域を除き、同じ断熱材料同士の組合せが最多。
- ・ 北海道地域は外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱材料

- ・ 外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。
- ・ 地域別では北海道、東北地域が全体と異なり、その他の断熱材料同士の組合せ(例えば、外壁と天井ともセルローズファイバー)が最多。

3) 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。

- ・断熱仕様を担保するものとして、断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面に何を用いているかを把握した。
- ・矩計図 76%、仕上表 67%、特記仕様書 37%が多い。
- ・床・基礎部分について「その他」の記述では、基礎伏図を主とした構造関連図書(5%)が目立つ。

4) 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのか。

- ・断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 69%が最多。実際に現場で使用する具体的な建材、工法とメーカーとは直結するため、このような結果となったと考えられる。
- ・住宅生産関連団体の講習会などから 43%、公的講習会・仕様書から 43%も多い。

5) 多用される省エネレベルは何か。

- ・多用される省エネレベルは次世代省エネ 68%、新省エネ 26%、旧省エネ 4%であった。
- ・地域ブランド化グループの工務店等であっても新省エネと旧省エネと合わせて約 3割が未だに採用されている。
- ・北海道は次世代省エネ 93%であった。

6) 性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。

- ・断熱性能値について計算経験があるのはQ値 60%、年間冷暖房負荷 24%、U値 21%、R値 24%であった。
- ・北海道地域はQ値 96%を筆頭に全ての項目について全体より高い割合となっている。断熱設計への積極的な取り組みが伺える。

7) 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・意識啓発が必要な分野として設計者 50%が最多、施工管理者 40%、現場施工者 38%、建築主 37%であった。
- ・いずれかの分野というよりは、省エネ設計・施工に関するどの分野にも意識啓発が必要とされている。

6. 講習内容・資料検討に関する調査結果

①講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)《C講習・質問7、質問12》

1) テキスト

テキストについては殆どの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。自由記述(質問12)の中で、わかりやすいことについて、「カラーだから」、「図が多い」、「内容がわかりやすい」、「文字が大きくてよい」という意見があった。

同じく後述の自由記述中、わかりにくいことについては「講習の内容が現場施工者向けではない。用語や部材を商品名や一般的な現場でつかう通称で説明すると大工などでも分かり易くなったのではないか」という意見があった。

職種別にみると、わかりやすかったと感じた割合について施工は全体より低く、現場管理と設計は全体より高かった。

テキスト	回答数	%
大変わかりやすかった	2543	23.1
わかりやすかった	5805	52.6
普通	2200	19.9
わかりにくかった	177	1.6
大変わかりにくかった	17	0.2
無回答	286	2.6
全体	11028	100.0

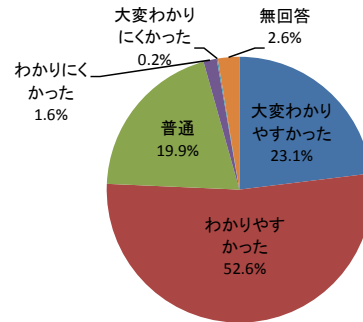
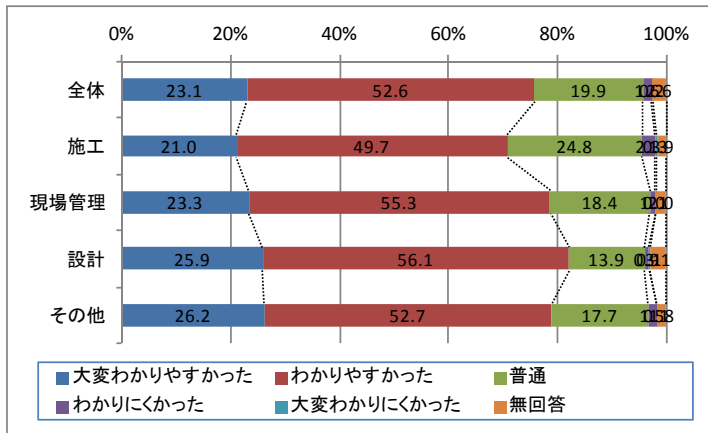


図 6-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	11028	23.1	52.6	19.9	1.6	0.2	2.6
施工	4329	21.0	49.7	24.8	2.3	0.3	1.9
(全体との差)		-2.0	-3.0	+4.8	+0.7	+0.1	-
現場管理	3309	23.3	55.3	18.4	1.0	0.1	2.0
(全体との差)		+0.2	+2.7	-1.6	-0.6	-0.1	-
設計	1986	25.9	56.1	13.9	0.9	0.1	3.1
(全体との差)		+2.8	+3.5	-6.1	-0.7	-0.1	-
その他	1235	26.2	52.7	17.7	1.5	0.1	1.8
(全体との差)		+3.1	+0.1	-2.2	-0.1	-0.1	-

図 6-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

2) DVD

テキストと同様、DVDについても多くの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。後述の自由記述(質問12)の中で、わかりやすいことについて、「施工方法が具体的に理解できた」、「取りかかるところから完成までカットなしの映像が良い」という意見があった。

職種別もテキストと同様に、わかりやすかったと感じた割合について施工は全体より低く、現場管理と設計は全体より高かった。



図 6-2a DVDのわかりやすさ

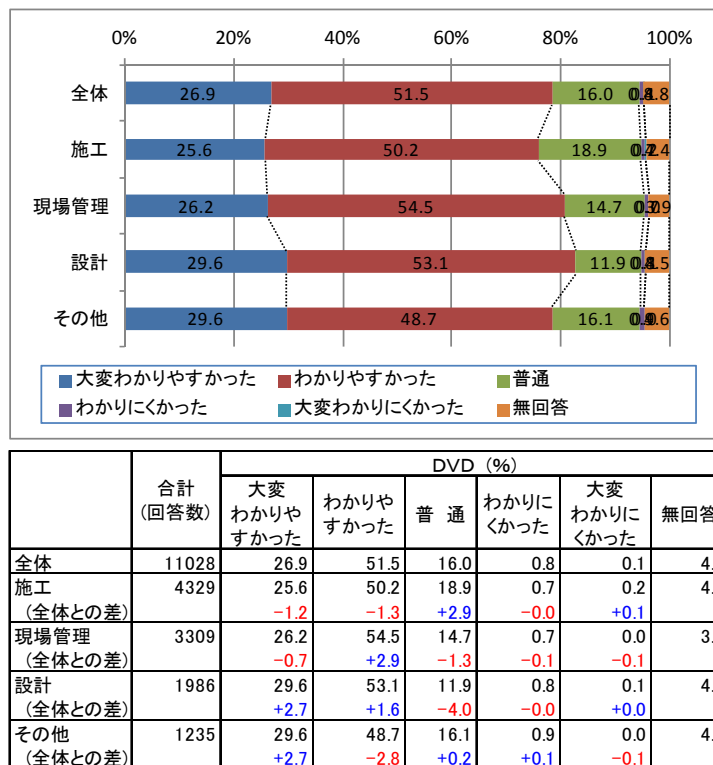


図 6-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

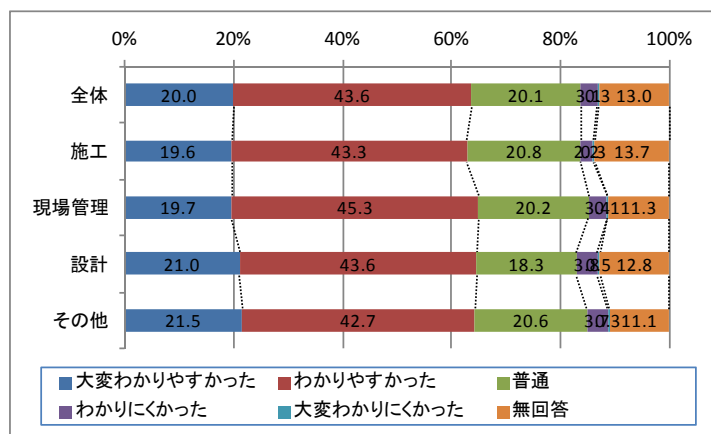
3) カットモデル

カットモデルも多くの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。尚、北海道地域の講習ではカットモデルを使用していない。

後述の自由記述(質問 12)の中で、わかりにくいことについて、「カットモデルは基礎部分や、天井通気の部分わかり難い」という意見があった。



図 6-3a カットモデルのわかりやすさ



	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	11028	20.0	43.6	20.1	3.1	0.3	13.0
施工	4329	19.6	43.3	20.8	2.2	0.3	13.7
(全体との差)		-0.4	-0.3	+0.8	-0.8	+0.1	-
現場管理	3309	19.7	45.3	20.2	3.4	0.1	11.3
(全体との差)		-0.3	+1.7	+0.1	+0.4	-0.2	-
設計	1986	21.0	43.6	18.3	3.8	0.5	12.8
(全体との差)		+1.1	-0.1	-1.7	+0.8	+0.2	-
その他	1235	21.5	42.7	20.6	3.7	0.3	11.1
(全体との差)		+1.6	-0.9	+0.6	+0.7	+0.0	-

図 6-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

4) 講習会資料への意見、要望

講習会資料について、自由記述(質問 12)では以下のような意見、要望があった。
(全 105 回答を整理)

()内は回答数

●テキスト(34)

【良い】カラーなので分かり易い。図が多くて分かり易い。文字が大きくてよい。内容が分かり易い。

【良くない】現場施工者向けではない。用語や部材を商品名や一般的な現場でつかう通称で説明すると大工などでも分かり易くなったのではないか。図表・写真の画質が悪い。写真が白黒。キャプションが読みづらい。ヘルメットを使用していない写真が掲載されている。正誤表の内容が多い。紙面に蛍光ペンのインクが染み込まない。

【良くない-第1章】第1章は不要。

【良くない-第4章】リフォームについては、部位毎の説明しかなく実際はトータルで検討しなければならない。リフォーム施工は千差万別なので画一的な方法を明記すべきではない。不満を持つ人ばかりではないのでヒアリングの記載内容は誘導するような書き方で良くない。内容が参考にならない。

【要望】インデックスを追加すると見やすくなる。テキストで言われている断熱材がどの程度のものなのかを表記。別冊に計算例を記載。

●DVD(21)

【良い】施工方法が分かり易かった。具体的に理解できた。取りかかりから完成までカット無しの映像が良い。テキストだけだと分かりにくかった。社に戻ってから職人や社員にも見せる。

【良くない】模型のDVDは使わない方が良い。

【要望】天井・床点検口の断熱材の施工方法も入れてほしい。算定用WEBプログラムを入れてほしい。悪い施工も入れてほしい。現場施工についての説明があればわかりやすい。

●カットモデル(20)

【良い】理解しやすかった、理解が深まった。

【良くない】悪い施工例となっている。基礎部分や天井通気部分が分かりにくい。模型が小さい。

【要望】熱的境界ラインの明示。電気配線を入れる。断熱材を色分けする。同じ性能の外断熱・充填断熱の模型をつくる。

●新たな資料などの要望(11)

- ・講習会のテキストのデジタルデータ。
- ・施工についてQ&A形式の解説書。
- ・簡単な説明書(簡易パンフ、現場用ポケット解説書、リーフレット)。
- ・仕様書、標準納まり図面、施工要領書。
- ・耐震も兼ねた常設のモデル住宅の展示。

②講習内容、説明方法《C講習・質問8、質問12》

1) 「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

「第1章／これからの住まいの省エネ化」については約2割の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。

これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章)	回答数	%
難しかった	2090	19.0
難しいとは思わない	8010	72.6
易しい	595	5.4
無回答	333	3.0
全体	11028	100.0

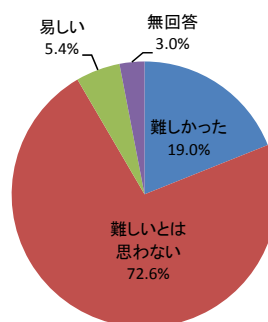


図 6-4a 「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	19.0	72.6	5.4	3.0
施工 (全体との差)	4329	25.8 +6.9	66.8 -5.8	3.9 -1.5	3.5
現場管理 (全体との差)	3309	15.1 -3.9	78.2 +5.6	5.0 -0.4	1.7
設計 (全体との差)	1986	12.1 -6.9	78.2 +5.6	8.2 +2.8	1.5
その他 (全体との差)	1235	16.3 -2.7	73.4 +0.7	7.5 +2.1	2.8

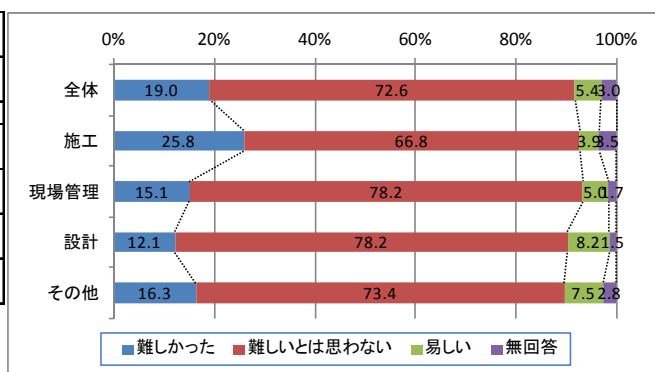


図 6-4b 職種別の「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	19.0	72.6	5.4	3.0
北海道 (全体との差)	361	6.9 -12.0	84.2 +11.6	6.6 +1.3	2.2
東北 (全体との差)	1197	14.0 -5.0	77.9 +5.2	5.8 +0.5	2.3
関東 (全体との差)	2880	19.2 +0.2	72.0 -0.7	5.6 +0.2	3.2
北陸 (全体との差)	841	22.4 +3.4	71.0 -1.6	5.2 -0.2	1.4
中部 (全体との差)	1927	21.4 +2.4	71.0 -1.6	4.6 -0.8	3.0
近畿 (全体との差)	1173	17.7 -1.2	73.8 +1.2	5.8 +0.4	2.6
中国 (全体との差)	854	22.4 +3.4	69.2 -3.4	4.0 -1.4	4.4
四国 (全体との差)	454	21.6 +2.6	70.3 -2.4	5.7 +0.3	2.4
九州・沖縄 (全体との差)	1341	18.6 -0.4	71.5 -1.1	5.9 +0.5	4.0

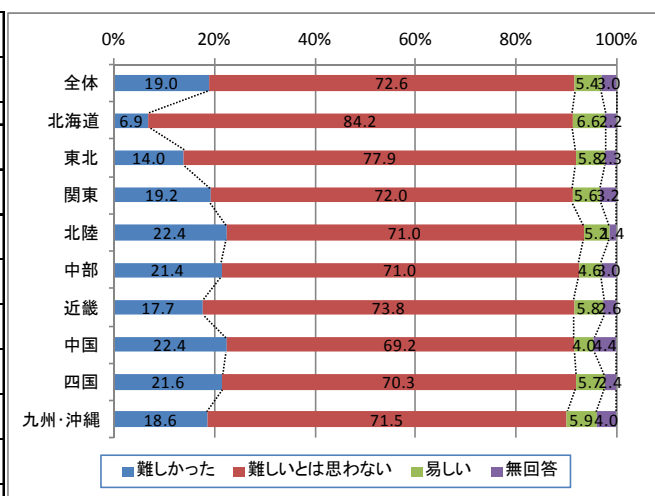


図 6-4c 地域別の「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

2) 「第2章／住宅の断熱設計」「第3章／住宅の断熱施工」について

「第2章／住宅の断熱設計」「第3章／住宅の断熱施工」については約2割の受講者が難しいと感じている。職種別にみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は少ない。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。第1章と同様であった。

「第2章／住宅の断熱設計」は基本的な内容とはいえ設計者向けの内容であり、現場施工者にとって馴染みの薄い内容であることが要因の一つと考えられる。できるだけ図解や写真を用いた説明に絞り、一覧表や文章での説明を省くといった検討が必要と考えられる。「第3章／住宅の断熱施工」については自由記述(質問12)の中で、「具体例や実例で説明してほしい」、「実演や実習があればわかりやすい」、「施工部分の説明に充てる時間を多くした方がよい」といった意見があった。

省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章)	回答数	%
難しかった	2466	22.4
難しいとは思わない	7754	70.3
易しい	453	4.1
無回答	355	3.2
全体	11028	100.0

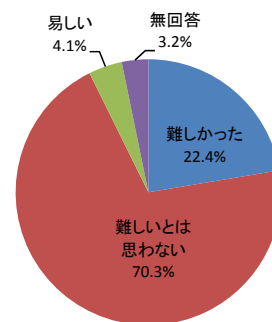


図 6-5a 「第2章／住宅の断熱設計」「第3章／住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	22.4	70.3	4.1	3.2
施工 (全体との差)	4329	27.7 +5.3	65.1 -5.2	3.2 -0.9	4.1
現場管理 (全体との差)	3309	18.9 -3.4	75.3 +5.0	4.0 -0.1	1.7
設計 (全体との差)	1986	16.5 -5.9	76.1 +5.8	6.1 +2.0	1.3
その他 (全体との差)	1235	22.9 +0.6	69.9 -0.4	4.6 +0.5	2.6

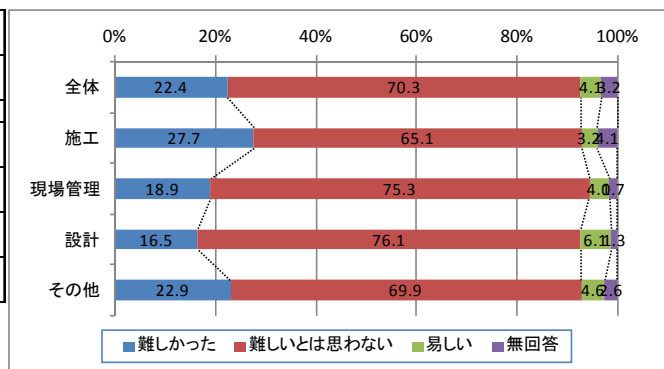


図 6-5b 職種別の「第2章／住宅の断熱設計」「第3章／住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	22.4	70.3	4.1	3.2
北海道 (全体との差)	361	8.6 -13.8	82.8 +12.5	6.4 +2.3	2.2
東北 (全体との差)	1197	17.0 -5.3	75.3 +5.0	5.3 +1.2	2.4
関東 (全体との差)	2880	22.2 -0.1	69.6 -0.7	4.5 +0.4	3.7
北陸 (全体との差)	841	29.1 +6.8	65.4 -4.9	3.6 -0.5	1.9
中部 (全体との差)	1927	24.3 +2.0	69.6 -0.7	3.1 -1.0	2.9
近畿 (全体との差)	1173	22.2 -0.2	71.3 +1.0	4.0 -0.1	2.6
中国 (全体との差)	854	24.9 +2.6	67.0 -3.3	3.3 -0.8	4.8
四国 (全体との差)	454	24.4 +2.1	68.7 -1.6	4.2 +0.1	2.6
九州・沖縄 (全体との差)	1341	21.8 -0.5	69.9 -0.4	4.0 -0.2	4.3

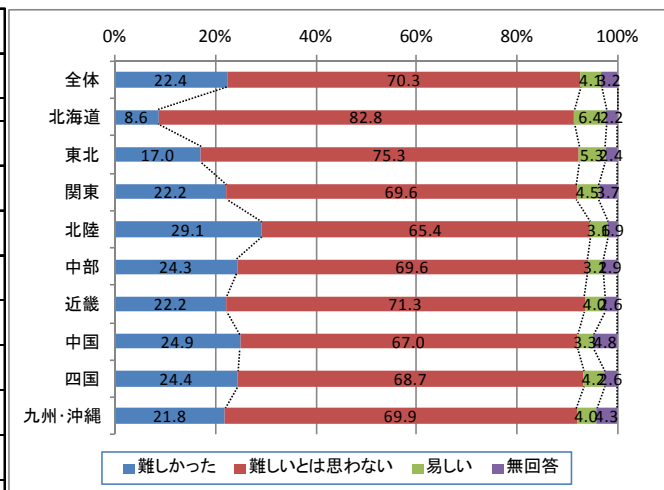


図 6-5c 地域別の「第2章／住宅の断熱設計」「第3章／住宅の断熱施工」について

3) 「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」については約 27%の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。第1～3章と同様であった。

「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」の内容は第2章より更に設計者向けの内容であることが要因と考えられる。

省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト)	回答数	%
難しかった	2930	26.6
難しいとは思わない	7248	65.7
易しい	401	3.6
無回答	449	4.1
全体	11028	100.0

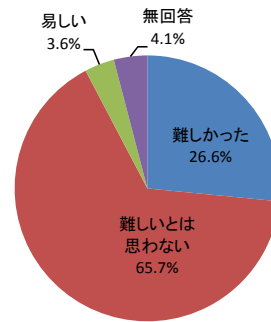


図 6-6a 「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	26.6	65.7	3.6	4.1
施工	4329	32.8	59.2	2.8	5.2
(全体との差)		+6.3	-6.5	-0.8	-
現場管理	3309	23.1	71.2	3.2	2.4
(全体との差)		-3.4	+5.5	-0.4	-
設計	1986	20.3	72.6	5.3	1.8
(全体との差)		-6.2	+6.9	+1.7	-
その他	1235	24.4	66.9	5.0	3.7
(全体との差)		-2.2	+1.2	+1.4	-

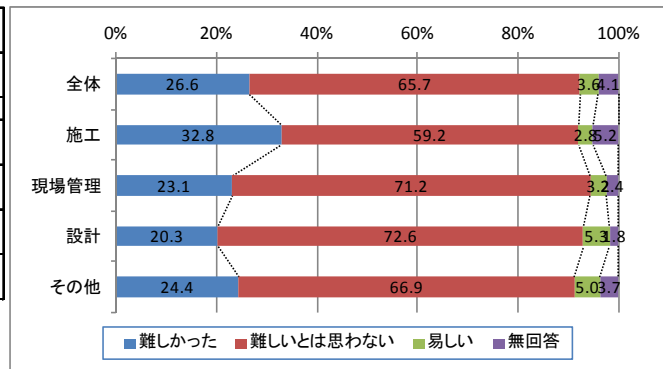


図 6-6b 職種別の「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	26.6	65.7	3.6	4.1
北海道	361	11.6	81.2	5.0	2.2
(全体との差)		-14.9	+15.4	+1.3	-
東北	1197	21.7	70.8	4.5	3.0
(全体との差)		-4.8	+5.0	+0.9	-
関東	2880	26.4	65.0	3.8	4.8
(全体との差)		-0.2	-0.7	+0.2	-
北陸	841	30.2	64.3	3.1	2.4
(全体との差)		+3.6	-1.4	-0.5	-
中部	1927	29.5	64.0	2.9	3.6
(全体との差)		+2.9	-1.7	-0.7	-
近畿	1173	27.0	66.2	3.2	3.6
(全体との差)		+0.5	+0.4	-0.4	-
中国	854	28.3	61.9	3.3	6.4
(全体との差)		+1.8	-3.8	-0.4	-
四国	454	26.7	65.4	4.2	3.7
(全体との差)		+0.1	-0.3	+0.5	-
九州・沖縄	1341	27.3	64.1	3.9	4.8
(全体との差)		+0.7	-1.7	+0.2	-

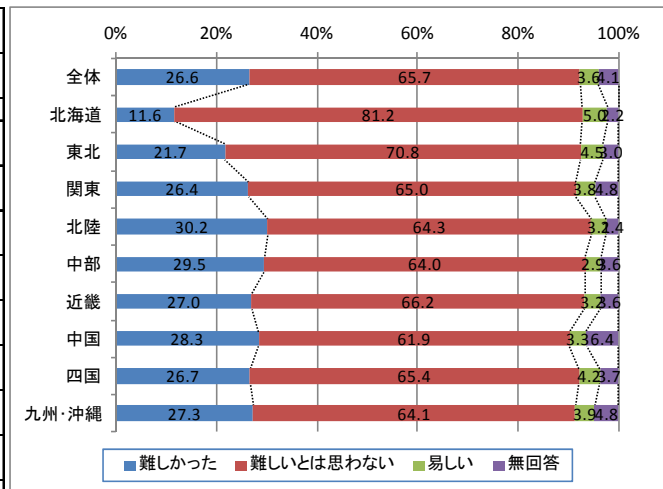


図 6-6c 地域別の「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

4) 「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

「第4章／住宅の断熱リフォーム」については約2割の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。第1～3章と同様であった。地域別でみると北海道地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。

リフォームについて (テキスト第4章)	回答数	%
難しかった	2627	23.8
難しいとは思わない	7370	66.8
易しい	391	3.5
無回答	640	5.8
全体	11028	100.0

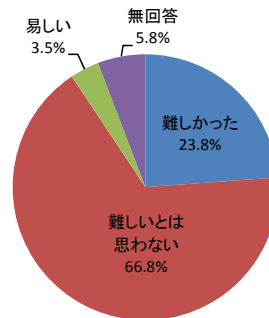


図 6-7a 「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	23.8	66.8	3.5	5.8
施工	4329	27.7	63.4	3.0	5.9
(全体との差)		+3.9	-3.4	-0.6	-
現場管理	3309	21.3	71.7	3.0	4.0
(全体との差)		-2.5	+4.8	-0.5	-
設計	1986	20.6	69.0	4.9	5.5
(全体との差)		-3.2	+2.2	+1.4	-
その他	1235	22.6	66.6	4.6	6.2
(全体との差)		-1.2	-0.2	+1.1	-

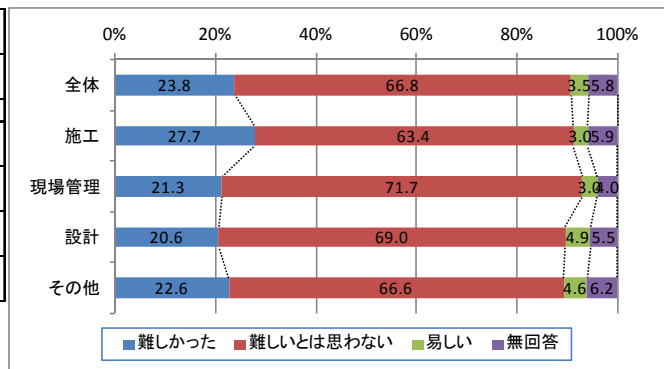


図 6-7b 職種別の「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	23.8	66.8	3.5	5.8
北海道	361	11.9	80.3	4.7	3.0
(全体との差)		-11.9	+13.5	+1.2	-
東北	1197	20.5	71.6	4.3	3.6
(全体との差)		-3.4	+4.8	+0.8	-
関東	2880	24.7	65.1	4.0	6.1
(全体との差)		+0.9	-1.7	+0.5	-
北陸	841	27.7	65.4	3.0	3.9
(全体との差)		+3.9	-1.4	-0.6	-
中部	1927	24.8	66.1	3.2	6.0
(全体との差)		+1.0	-0.8	-0.4	-
近畿	1173	22.8	68.7	3.5	5.0
(全体との差)		-1.1	+1.9	-0.1	-
中国	854	25.9	64.3	3.2	6.7
(全体との差)		+2.1	-2.5	-0.4	-
四国	454	27.1	65.9	2.4	4.6
(全体との差)		+3.3	-1.0	-1.1	-
九州・沖縄	1341	22.8	64.9	3.1	9.2
(全体との差)		-1.0	-2.0	-0.5	-

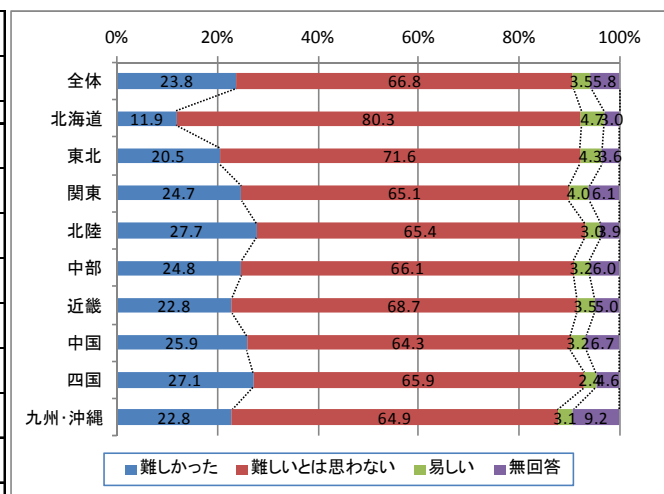


図 6-7c 地域別の「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

5) 講習内容、説明方法への意見、要望

講習内容、説明方法について、自由記述(質問 12)では以下のような意見、要望があった。(全 323 回答を整理)

()内は回答数

● ツールを用いた説明への意見、要望(53)

【映像利用】DVDを見ながら説明。プロジェクターの使用。パワーポイントの使用。施工している映像。

【説明順序】DVDを見てから補足説明を加える。講義の後にDVD。

【図解・写真】写真等の説明をより多く。断熱詳細図。

【ホワイトボード】ホワイトボードの使用を希望。

【音声】マイクの使用を希望。

【模型】見えない。模型を増やすか人数制限してほしい。矢印部分の説明の手直しと説明のマニュアル化。カットモデルが無いのが残念。

【テキスト新旧版違い】講師のテキストと内容を合わせてほしい。こちらのテキストに記載のないものの説明があり分からない。

【良い】DVDと模型がありテキストだけより分かり易い。模型は一目で分かるので良かった。模型を見ながらの説明はわかりやすかった。

● 内容重複への意見、要望(25)

【良い】同じことの繰り返しが多くてよく理解できた。

【良くない】同じことの繰り返しが多くて、飽きる、時間が長い、聞きづらい、要点をまとめてほしい。講義、テキスト、DVD、模型で重複が多い。重複部分は省略してほしい、時間に無駄が多い、省略すれば他の説明に時間が掛けられる。

● テキストを読み上げる説明の仕方への意見、要望(41)

・テキストを読むだけでなく注意点、テクニック、具体例などを知りたい。

・読んでいるだけで講師が内容を理解しているのか疑問。

・講師には現場経験のある人が良いのではないか。

・読むだけの講習は、つまらない、メリハリがなくどこが重要か分からない、伝わってこない等。

・読むだけの講習なら、講師は不要、自習できる、テキスト配布だけで良い、DVDによる説明で問題無い、時間を短縮してほしい等。

● 要点の整理(9)

・ポイント、要点を説明してほしい。わかりやすく。ゆっくり。端的に。

・内容をもう少しまとめた形で教えてほしい。

- ・内容が濃いので、的を絞ったほうが良い。
- ・浅く広すぎるのももう少ししぼった方が良い。
- ・広範囲のため全体理解が少しぼやけた。
- ・外張断熱工法以降の説明がわからなかった。ポイントがつかめない。

●施工者向けの内容を希望(10)

- ・第1章、第2章の内容は専門的すぎないか。
- ・大工が受ける講習なのに、難しい表現が使われていた。
- ・大工対象ではこの講義は難解。模型解説を中心に半日程度のプログラムが適当。
- ・読めばわかる概要や背景ばかりを説明していて、肝心の仕様解説が疎か。
- ・施工性に関する留意点はもっと施工者側に手厚い内容とすべき。
- ・施工技術にウエイトをおいた内容にされてはと感じた。
- ・設計段階の方針も重要だが施工精度でも左右されるのでその部分の教育も必要。
- ・大工対象の講習なので建築士や現場管理者に対するものより、範囲を狭くして内容をわかりやすくした方が良い。単語とか。
- ・現場施工者としては断熱材はkgではなく厚みで表現してもらいたい。

●工法・材料に関する説明への意見、要望(39)

【断熱工法】工法ごとに説明してほしい。工法ごとの施工性、価格、性能についてメリット、デメリットを知りたい、一覧表がほしい。

【断熱材料】材料毎に工法が違うので説明してほしい。材料ごとの施工性、価格、性能についてメリット、デメリットを知りたい。他の材料にもふれてほしい（現場発泡断熱材、セルローズファイバー、吹き込み系、羊毛、遮熱シート、塗装用断熱塗料など）。使用する材料の商品名やメーカーを知りたい。グラスウールは防湿フィルム付と付いていないものがあることを説明した方が良い。各断熱材の製造及び廃棄の際に発生するCO₂量を知りたい。

【部位】屋根に太陽光パネルを取り付けた場合の断熱のあり方を聞きたい。開口部断熱が最も割合として大きい筈だが、窓、玄関の断熱説明がほとんど無く残念。天井面野縁下への別張防湿フィルムの必要性、施工省略についてもう少し詳しく説明してほしい。屋根上バルコニーの場合の施工詳細などをややこしいところを図入りで解説してほしい。もっと詳細にわたる、気流止めや、フィルムの重ね貼り、貼りのぼしなど、注意点を重点的に図入りで解説してほしい。内部、胴縁施工した場合の気密確保について（ボードのけた、梁部での収め方）説明してほしい。パラペット屋根、バルコニー部の施工例が必要。

【施工性】簡単かつきちんとした施工が可能な方法を写真等で公開してほしい。施工性の良いやり方を提案してほしい。

【躯体工法】ツーバイフォー工法、パネル工法についても説明してほしい。

【他の制度との関連】瑕疵保険の施工方法を守らなければならない、気密されれば防水シートがいらないということにはならないことを説明してほしい。

【その他】高気密でない工法も教えてほしい、トリプルサッシの性能も有ると良い、エコキュートや電気温水器の比較データも有ると良い等。

●設備との取り合いについての説明を希望(5)

- ・電気配線廻りの施工方法と断熱施工との関係を詳しく。
- ・壁内配管（電気、ガス、水道等）の施工方法など取合い工事についての説明。
- ・電気配線のタイミング等の指導。
- ・ダウンライト施工部位の詳細が不明。

●リフォームへの意見、要望(2)

- ・断熱リフォームに関する説明を多くしてほしい。
- ・真空断熱材の内張りについて知りたい。

●具体例、実例の要望(33)

【断熱効果】電気料金がどう変わるか。断熱施工の意義と断熱施工をしなかったら何が起こるか。

【材料】商品名・仕様の一覧。仕様ではなく商品名での説明。各種断熱材の実物カットサンプル。

【施工方法】確実に施工できて手間の少ない施工方法を知りたい。施工方法、納め方、詳細なところの具体的資料。沖縄の住宅に向いている工法の事例。

【施工事例】施工事例写真がもっと多いと分かり易い。実際の事例で断熱材に何を使ったか。色々な施工事例。断熱改修の様々なケーススタディでの施工事例。

【問題点】実際の問題点を知りたい。問題への対応方法を知りたい。

【悪い例】悪い例があれば現場で説明しやすい。おこりやすい施工ミスを知りたい。失敗例の写真あるといい。

【見学会】施工現場の見学会があるといい。

【その他】計算例があれば理解しやすい。

●施工の実演、実習の要望(14)

【実演】施工手順を一通り見られれば分かり易い。完成したものだけでは分からないところがある。

【実習】見るだけでは理解しているようでも、実際にはできないかもしれない。実習があればすぐに現場でできるようになる。ポイントを施工体験できるといい。

●地域毎の説明を希望(8)

- ・地域毎（例えばⅡ地域、Ⅲ地域といった）の断熱についての詳しい説明。
- ・地域毎の仕様説明。具体的な断熱材の厚さ、施工方法。
- ・キソ断熱と白蟻の注意点。本州と北海道とは異なる。

●断熱施工の重要性の説明を希望(4)

- ・断熱施工をしなかった場合の被害（ダメージ）状況を詳しく説明してほしい。
- ・健康の観点から見た断熱の重要性についてももう少し重点をおいてほしい。
- ・建物内での室温均等化による結露防止について詳しい説明があると断熱・気密の重要性が理解出来る。生活する室が温かければ良いと思っている人が多数。
- ・断熱性能と表面温度→快適性への説明が欲しい。

●もっと詳しい説明を希望(5)

- ・次世代省エネ基準を施工したことある人にとっては既に理解している内容で物足りなさを感じた。もっと踏み込んだレベルの高い内容を期待していた。
- ・基準等、省エネ等についてももう少し切り込んだ説明がほしい。
- ・もっと濃い内容がいい。
- ・盛岡（岩手県）の場合、講習会内容のレベルをあげた方がよい。Q値が1を切る断熱施工方法の講習が良い。

●講習の分化を希望(9)

- ・工法ごとに分かれた講習。
- ・レベルに分かれた講習。初心者向けと経験者向け、レベルを高くした講習、ステップアップした講習。
- ・職種ごとの講習。施工者と設計。
- ・リフォームに特化した講習。

●講習形態への提言(8)

- ・施工上の問題点、疑問点等をヒアリングして、正しい施工に導くような講習。
- ・ビデオによる講習。色んなところでもっとたくさんの人に講習できる。
- ・施工の知識、技術について断熱材メーカーから直接講習を受ける。
- ・テキストは郵送して各自で学び、考査をもう少し突っ込んだ内容とする。
- ・施工の実例に沿った講習。他の現場の人との意見交換が有効ではないか。

●講習自体への批判(4)

- ・考査のための講習という考えはやめた方がよい。
- ・講習者が下を向いて受講者も下を向くような講習は無駄だからやめたほうがいい。
- ・断熱等級の視点から正しいことが全て正しいとは思えない。行政や研究者の考えをそのまま正しいとするのは考えもの。
- ・現場の意見・要望が取り入れられているか？一方的な施工法に聞こえてしまった。

●新基準等の情報を希望(18)

新しい省エネ基準に関する事等、以下について知りたい、知りたかった、今後講習会をしてほしいという意見があった。

- ・新しい省エネ基準の内容、外皮と一次エネルギーのことについて知りたい。U値換算表示申請書について勉強会をしてほしい。
- ・断熱義務化や新基準について今後の話を聞きたい。
- ・低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅について知りたい。
- ・省エネ基準と税制、補助金についてレクチャーを受けたい。

●社内講習を希望(5)

- ・社内講習で教材を使用したい。
- ・社内向けの講習をしてほしい。

●その他(7)

その他、断熱設計の方法に関する事、講習会の趣旨とは無関係な情報の要望などがあった。

6) 講習内容についてまとめ

講習内容はテキスト全般についておよそ2割の受講者が難しいと感じており、そういった受講者のレベルアップを図る為の検討が必要と考えられる。

北陸地域は講習内容のいずれの項目についても難しいと感じている割合が地域別で最も高い。一方で北海道地域、東北地域は講習内容のいずれの項目についても難しいと感じている割合が低く、その要因として寒冷地対応の施工に慣れていることから本講習の内容全般について理解しやすい素養を持っていたと考えられる。

③ 修了考査《C講習・質問9、質問12》

1) 修了考査

修了考査について約2割の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。

自由記述(質問12)では「分かりにくい問題」、「問題があいまい」、「文章がわかりにくかった」、「テキストの表現と修了考査の問題の表現を一致させたほうが良い」という意見があった。考査の内容を精査し、あいまいな部分、わかりにくい部分の解消が必要である。

修了考査	回答数	%
難しかった	2057	18.7
難しいとは思わない	6674	60.5
易しい	981	8.9
無回答	1316	11.9
全体	11028	100.0

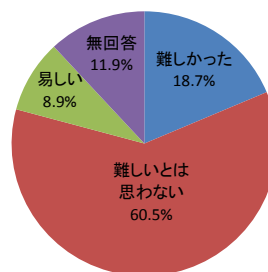


図 6-8a 修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	18.7	60.5	8.9	11.9
施工	4329	24.0	56.5	6.8	12.6
(全体との差)		+5.4	-4.0	-2.1	-
現場管理	3309	14.6	65.7	9.9	9.8
(全体との差)		-4.1	+5.2	+1.0	-
設計	1986	12.3	63.8	12.2	11.7
(全体との差)		-6.4	+3.3	+3.3	-
その他	1235	20.7	58.6	8.7	12.0
(全体との差)		+2.1	-1.9	-0.2	-

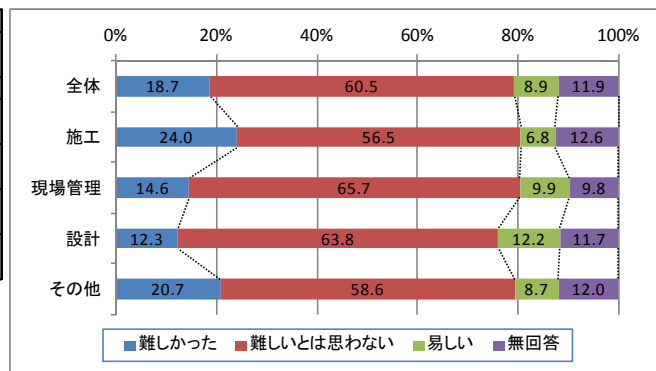


図 6-8b 職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難し かった	難しいとは 思わない	易しい	無回答
全体	11028	18.7	60.5	8.9	11.9
北海道 (全体との差)	361	11.9	64.5	9.4	14.1
		-6.7	+4.0	+0.5	-
東北 (全体との差)	1197	18.4	62.2	8.6	10.9
		-0.3	+1.6	-0.3	-
関東 (全体との差)	2880	19.4	58.6	8.6	13.4
		+0.8	-1.9	-0.3	-
北陸 (全体との差)	841	21.0	61.1	8.9	8.9
		+2.4	+0.6	+0.0	-
中部 (全体との差)	1927	20.2	59.0	8.1	12.7
		+1.5	-1.5	-0.7	-
近畿 (全体との差)	1173	16.0	61.7	11.6	10.7
		-2.6	+1.2	+2.7	-
中国 (全体との差)	854	19.9	61.1	7.8	11.1
		+1.3	+0.6	-1.1	-
四国 (全体との差)	454	19.8	60.8	7.0	12.3
		+1.2	+0.3	-1.8	-
九州・沖縄 (全体との差)	1341	16.5	62.4	9.6	11.5
		-2.2	+1.9	+0.7	-

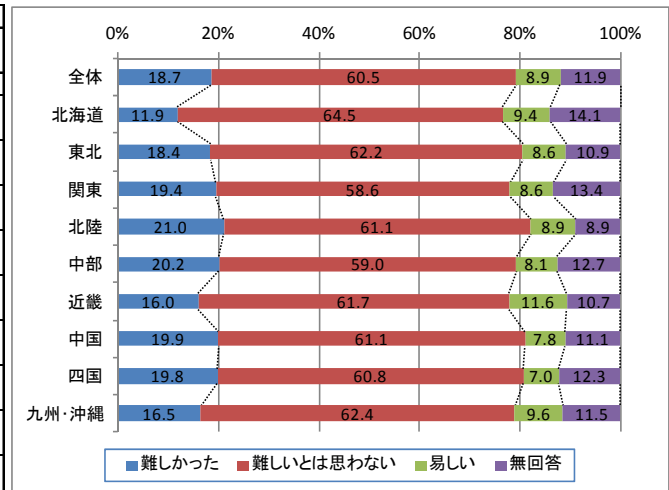


図 6-8c 地域別の修了考査について

2) 修了考査への意見、要望

修了考査について、自由記述(質問 12)では以下のような意見、要望があった。
(全 17 回答を整理)

【分かりにくい】考査に出るところが分かりにくい。ややこしい問題があった。問題があいまい。どちらともとれる様な表現があり分からない点がある。文章が分かりにくい。分かりにくい問題になっている。

【要望】解説があつてよかったのでは。解説は必要ないと思う。テキストと問題の表現を一致させたほうが良い。もう少し厳しく。テキストを見て良いのでは意味が無く見て良いのであればもっと難しく。

【その他】この方法は殆どが合格するが、しっかり理解していないと同じ設計でも施工者により断熱性能に差が生じそうなので考査の意義がわからない。

④講師の説明《C講習・質問10、質問12》

1) 講師の説明

講師の説明について約7割の受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じているが、テキスト、DVD、カットモデルと比べて10ポイント以上低くなっている。

自由記述(質問12)では講師の説明がわかりにくいことについて「声が小さい」、「話すスピードが早い」、「しゃべりが下手」、「説明が分かりにくい」等の意見があった。

講師の説明	回答数	%
大変わかりやすかった	1350	12.2
わかりやすかった	3868	35.1
普通	2818	25.6
わかりにくかった	436	4.0
大変わかりにくかった	80	0.7
無回答	2476	22.5
全体	11028	100.0

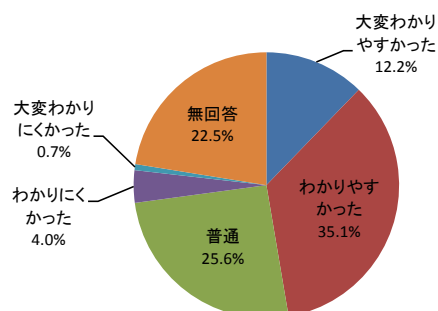


図 6-9 講師の説明について

2) 講師の説明への意見、要望

講師の説明について、自由記述(質問12)では以下のような意見、要望があった。
(全72回答を整理)

【良い】説明が分かりやすかった。時間の無い中様々な事例なども折り込んでの話は理解しやすい内容で良かった。話が面白く1日が短く感じた。

【話し方】声が小さい。話すスピードが早い。早口。聞きとりにくい。滑舌悪い。しゃべりが下手。

【質】説明が分かりにくい。説明が下手。何を説明するかを事前によく理解してからの方がよい。力量により内容等が変る場合があるので同一のDVDによる説明の方がよいのでは。DVDで説明を補足してはどうか。内容を十分理解しているとは思えずDVDの方が良い。講師として不適切な言葉遣いが多い。講習で伝えることか私見が分からない。

【進行】時間を使いすぎ。時間内で終るよう練習してほしい。スケジュールを守ってポイントを説明してほしい。進行の事を勉強してから講習を行ってほしい。進め方が非常に悪かった。DVD取扱い等は詳しい人がやるべき、事前の動作確認、使用方法確認をするべきでは。

7. 今後の資料、講習内容、説明方法、修了考査の検討

(1) テキストと講習内容

テキスト自体に対しては分かりにくいという回答が1%程度であったが、講習内容という視点では各章、別冊とも2割程度の受講者が難しいと感じている。テキストの内容を図解するなどわかりやすく説明する工夫や、テキストの内容の部分的な添削について検討が必要と考えられる。

1) 第3章の説明方法を検討

「第3章／住宅の断熱施工」はC講習の中で最も重要な内容であり、受講者にとってよりわかりやすく、技術が的確に身に付くようにしなければならない。

説明時の表現については現場で普段使う用語や商品名による説明が施工者にとってわかりやすいという意見があり、講師が説明する際にテキストの内容を現場向けに言い換えた、或いはかみ砕いた言葉で説明する工夫を検討する。現場で使う用語等については数名の施工者に協力頂き、改めてヒアリングをすることが考えられる。

写真については、重要なポイントがわかりづらいものはできるだけ図解とし重要なポイントを伝えやすくする、DVDで説明される施工手順と重複する写真は省略するといったことを検討する。

DVDで説明される項目は全てテキストに記述し、必ずテキストとDVDが対応するようにすることも必要と考える。例えばDVDではルーフバルコニー下地下側の通気について解説があるが、テキストにその項目の記載は無い。

「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」の取合い部分は断熱材の連続性や気密層の連続性について施工上注意を要する部分であるので、省エネ施工実態調査結果をもとに多用されている定番の断熱材料の組合せ、また異なる材料の組合せ等、図解等によりわかりやすく説明する工夫をする。

2) 第1章、第2章の内容は改訂せずそのまま使用

「第1章／これからの住まい」、「第2章／住宅の断熱設計」は現場施工者にとって関連の薄い内容ではあるが、適切に断熱することの意義や断熱性能の基礎知識について建て主への説明ができるようになることが大切であり、第3章で説明するような施工がなぜ必要なのかを理解する上で知っておきたい断熱の基本的な知識であるという視点から盛り込まれている。

限られた講習時間で施工部分の説明をより充実させるために第1章、第2章の説明時間が少なくなることは今後の検討となるが、その場合でも後日必要となる、あるいは学ぶ機会が生じることはあり得るので、改訂せずそのまま掲載する。

3) 第4章の内容、表現の簡素化

断熱リフォームを施工する住宅は建物の状態、取り巻く環境が現実には様々であり、施工方法もその状況に応じて様々に対応しなければならない。「第4章／住宅の断熱リフォーム」ではそのようなことを鑑み、できる限り原理原則の説明を念頭に書かれている。しかしそれでも図解となれば特定の施工方法と受け取られてしまうことは否めない。そこで極力図解を減らし、原理原則の説明の更なる簡素化が必要と考えられる。

4) 別冊テキストの改訂

「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度の解説」は平成25年4月以降施工されるH24年省エネ基準(平成26年3月までの一年間は移行期間、H11年基準と併存)について盛り込む部分が改訂となる。

(2) DVDと講習内容

1) 今年度の断熱標準工法DVDは改訂せず使用

H11年基準からH24年基準に移行しても施工の内容、注意点については特に変わらないので、今年度の断熱標準工法DVDは改訂せず、来年度以降の講習会でもそのまま使用する。但し配布物についてはラベルタイトルを新基準対応に変更が必要となる。

2) 断熱施工と設備施工の取合いを説明する新たなDVDを作成

設備の配線・配管の断熱施工がどうなっているかについて、よりわかりやすく説明するため、設備施工との取合いに特化したDVDの作成を検討する。テキストの図解や写真、カットモデルでは表現しきれない、施工過程を追いながら理解していくような内容が考えられる。また天井点検口、床下点検口廻りについて盛り込むことを検討する。

(3) カットモデル

カットモデルは来年度以降の講習会において、今年度使用したものをそのまま使用し、新たに製作しない方針となっている。従って説明方法の改善については、既存のものに手を加えるかたちとならざるを得ない。例えば自由記述にあった基礎部分や天井通気部分が分かりにくい、熱的境界ラインを明示してほしいといったことについて解説用パネルを増やし説明を補うといったことが考えられる。

(4) 新たな資料の検討

1) 講習会テキストのデジタルデータ

今後、「住宅省エネルギー施工技術講習会ホームページ」の中でデジタルブックとして公開する予定となっている。

2) 現場で使えるハンドブック形式の資料

受講した内容を実際に取り組んでいく際の手助けとして、現場でいつでも簡単に確認できるようなハンドブック形式の資料(例えば簡易パンフ、現場用ポケット解説書、リーフレット等)について検討が必要と考えられる。

(5) 説明方法

1) 講師

会場により講師の善し悪しにばらつきがある。受講者からは話し方(音量小さい、ペース速い、滑舌悪い)に関する意見と、質(説明が分かりにくい、理解度への疑問、進行不慣れ、時間通りに終わらない)に関する意見があった。またテキストをただ読み上げているだけで講習になっていないという意見もあった。

例えば講師育成の講習(地域リーダー講習)において、修了考査の難易度を上げて理解度についての一定の質を保つ、講師心得については資料を後で読んでもらうというのではなく講義もきちんと行うなど、講師としての技術を向上させることが必要と考えられる。

また時間割の点で今年度の講習では受講者を飽きさせないこと目的に、講義→DVD→講義の流れであったが、先に全て講義し後からDVDを見ることで講師による説明のばらつきをDVDの内容で平準化するといったことも考えられる。

2) 具体例、実習、実演

原理や原則の説明を聞くより、具体例、実習、実演の方がわかりやすいという意見があった。また具体例の中でも、悪い施工事例や、正しく施工しない場合に起こる不具合について知りたいという意見があった。

限られた講習時間の中で実習、実演は難しいが、具体的な写真をパネルにして展示したり、パワーポイントで説明するといったことは今後、検討の余地がある。

(6) 修了考査

修了考査の内容を精査し、あいまいな部分、わかりにくい部分を解消すること、テキストの表現と考査問題の表現を一致させることが必要である。

8. 講習会運営に関する調査結果

①講習会開催の認知経路《C講習・質問4》

講習会開催の認知経路については、所属団体等から何らかの情報を得ているケースが際立っている。

地域協議会からの情報の認知はそれらに比べ少なく、どの職種にも共通している。地域協議会からの情報は主に業界団体、会社等に発信され、個人に直接発信される機会が少ないためと考えられる。

その他の認知経路ではインターネットが1.1%、クチコミが2.0%、新聞・業界紙等が0.9%であった。

今後広く受講者を募るに際し、業界団体や会社からの情報入手の機会が少ない一人親方などの施工技術者に対する情報発信の検討が必要と考えられる。

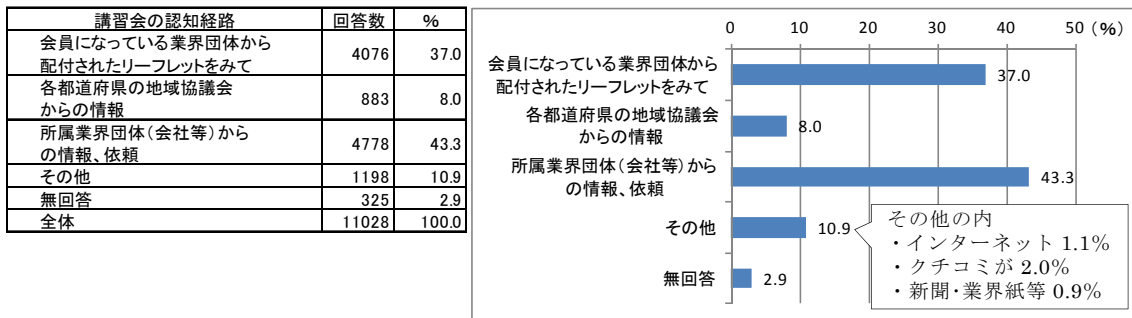


図 8-1a 講習会開催の認知経路

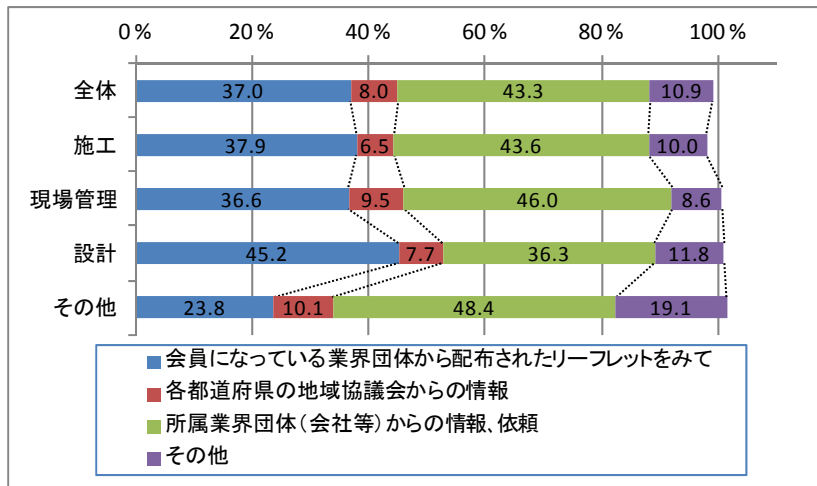
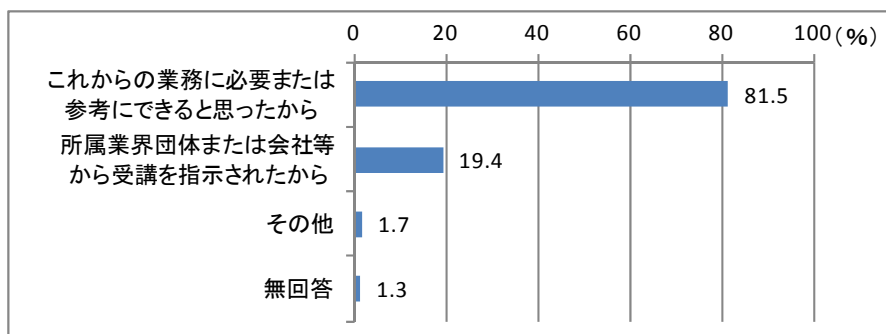


図 8-1b 職種別の認知経路

②講習会への参加動機《C講習・質問5》

講習会への参加動機は、これからの業務に必要なまたは参考にできるといったという能動的な動機が多く、省エネ分野への関心の高さが伺える。



参加理由・目的	回答数	%
これからの業務に必要なまたは参考にできるといったから	8992	81.5
所属業界団体または会社等から受講を指示されたから	2142	19.4
その他	188	1.7
無回答	145	1.3
全体	11028	100.0

図 8-2a 講習会への参加動機

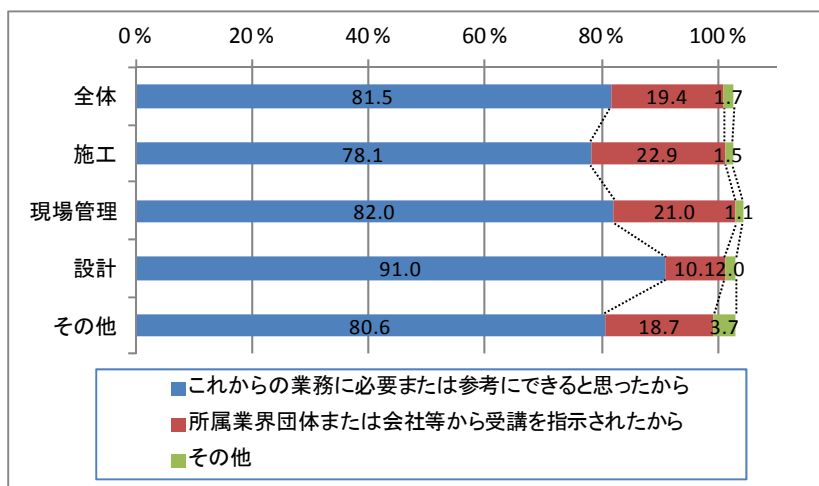


図 8-2b 職種別の参加動機

③講習時間《C講習・質問 6、質問 12》

1) 講習時間

講習時間について、約半数の受講者が終日の講習を苦にしていない一方で、約4割の受講者が講習を長く感じている。

自由記述(質問 12)では時間を長く感じる理由として「テキスト、DVD、模型で説明内容が重複している」、「要点がまとまっていない」といった意見が挙がっており、講習内容や教材において無駄を省き、説明内容をスリムにする検討が必要と考えられる。

今回の講義時間	回答数	%
長い	4223	38.3
ちょうどよい	5844	53.0
短い	340	3.1
無回答	621	5.6
全体	11028	100.0

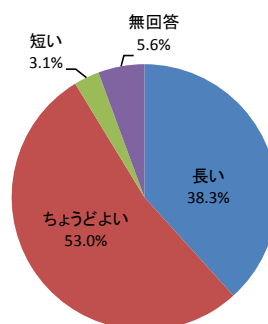


図 8-3 講習時間の長さの感じ方

2) 講習時間への意見、要望

講習時間について、自由記述(質問 12)では以下のような意見、要望があった。
(全 102 回答を整理)

【時間短い】時間が短い。説明スピードが速い。理解しきれない。

【時間長い】時間が長い。DVDと講義・模型の説明が内容が重複しているので時間のムダと思う。模型は一目瞭然なので説明を省く。要点をまとめていけば時間も短く出来たと思う。現場施工者向けと設計・現場管理者向けに分けてポイント絞るといったことで時間の短縮が図れる。

【時間配分】講習中何度も移動(往復)するのはやめてほしい。施工部分(3章)に時間をかけてほしい。もう少し詳しく模型を見られると良い。模型の解説はもっと短い時間で可能。時間割表がほしい。質疑応答の時間をとってほしい。講習時間が75分や100分は長くて集中力が続かないのでこまめに休憩が必要。トイレ休憩を確保してほしい。

④講習会運営に関する意見《C講習・質問12》

講習会の運営に関して、自由記述(質問12)では以下のような意見、要望があった。
(全63回答を整理)

【広報・案内】多くの大工が講習会のことを知らない。受講してみると思っていたのと違う内容だった。

【開催時期】繁忙期を外してほしい。定期開催(毎年、月1回)してほしい。継続して開催してほしい。曜日については平日、土日といずれの意見もあった。

【参加費】今回の内容、教材に対して1,000円は安い。1,000円なので参加しやすい。無料で毎年講習を望む。

【個人情報】個人情報の公開を望まない方があった。

【会場】狭い。寒い。DVDが見えない。駅から遠い。案内図不案内。女性用トイレ確保を希望。外部で説明がある旨を予め伝えておくといった寒さ・雨対策をしてほしい。

⑤講師、スタッフ、受講者への意見《C講習・質問12》

講師、スタッフ、受講者の態度やマナーについて、自由記述(質問12)では以下のような意見があった。(全90回答を整理)

【講師】座ったままの講義は失礼、見下したような言葉づかい、ポケットに手を入れて話す、講義中に控え講師が私語。

【スタッフ】講習会への準備不足。機器取扱いの予習をしていない。講習中の会場出入りが気になる。講習・考査中の私語がうるさい。講習風景撮影に事前の断りが無いのは疑問。

【受講者】マナーの悪さ(遅刻、私語、携帯電話の使用、考査中の相談)。それを開催側が注意しないことも気になる。

9. 今後の講習会運営に関する検討

今年度のC講習会受講者数は目標の全国合計11,000人を達成することができた。しかしC講習会アンケート自由記述欄に回答のあった様々な意見の中には講習会の運営に関する事柄が多く見られ、必ずしも全受講者が円滑に、あるいは快適に受講できていたわけではないことが見受けられた。来年度以降、受講者数目標は更に増える見込みであり、今年度以上に円滑な講習会運営が求められるため、今年度の反省点などを踏まえ今後の講習会運営に関する事柄を検討する。

(1) 広報・開催案内

1) 講習内容を明確にした開催案内が必要

C講習は主に現場施工者を対象とし、現場における断熱施工の原理原則を学ぶ技術者講習会であったが、なかには断熱の設計や省エネの改正新基準等に関する詳しい説明を期待していた受講者もあった。そのような思い違いを防止するため、講習会の開催案内には講習内容の明確な説明を記載する必要がある。

また講習会当日においても講義開始前には改めて講習会の趣旨と内容の説明を行い、受講内容が思っていたものと異なると判断した参加者がいれば、講義開始前のみ退席および受付にて受講料の返還が可能な体制としておくことも必要と考えられる。

2) 団体等に所属していない現場施工者への案内強化が必要

講習会開催の認知経路は所属団体からの情報が多い（所属団体とは会社や例えばJBN、全建連、全建総連、土建組合、建築士会など）。一方で会社や団体には属さない現場施工者は多く、そういった方々への案内について今後強化の必要がある。例えば建設業界で広く読まれている専門誌、業界新聞と協力した広報といったことなどが考えられる。

3) 若い人の受講を促すことが必要

今年度の講習会では10～20代の受講者が少ない。将来の省エネ施工義務化を見据えたとき、これから現場の主役となっていく若い方々に多く受講してもらうことは大変重要となる。

地域協議会から団体等に案内を行う際に、特に若い人にも受講させてほしいといったことを併せてアナウンスすることが考えられる。

(2) 会場・設備

今年度のC講習会は11月～2月の寒い時期に主に開催されたため、室内およびカットモデル設置場所の寒さについて意見があった。また講習に不可欠な音、映像の設備に不備があるといった意見があった。

来年度以降の会場選定に当たっては、事務局にてチェック項目を設定し、それに沿って各地域協議会が手配するといった対策が考えられる。

例えばチェック項目には以下のような項目が考えられる。

【会場選定に当たり考えられるチェック項目の例】

- ・マイク・スピーカーの設備を常備し使用可能であること。
- ・〇〇インチ以上のモニタまたはスクリーンとDVDを再生できる設備を常備し使用可能であること。
- ・空調設備を備えその効きを確認していること。
- ・男女別トイレが備えられていること。
- ・カットモデルは屋内外を問わず屋根の下に設置可能であること。
- ・カットモデルを屋外設置する会場は案内にその旨を記載し、受講者各自の防寒対策の必要を事前に知らせること。
- ・公共交通機関にてアクセス可能な会場であること。 等

(3) 講習時間

講習時間が長いとする意見では説明内容が重複している、要点整理が必要との意見があった。一方講習時間が短いとする意見では、説明が速いので理解できない、時間に対して内容が多いといった意見があった。また時間配分の点では施工(テキスト第3章部分)についてより多くの時間を充ててほしいという意見があった。

講習内容、資料の内容と併せたトータルに検討が必要となる。

(4) 講師、スタッフ等のマナー

マナー違反に関する受講者からの意見には講師について、座ったままの講義は失礼、見下したような言葉づかい、ポケットに手を入れて話す、講義中に控え講師が私語といったこと、また会場スタッフの私語、受講者の私語や携帯電話使用といったことがあった。今年度はそういった意見の出た会場を管轄する各地域協議会に事務局から連絡し、今後の改善を促すこととした。また来年度以降の講習会についても同様の対応とする。

講師、会場スタッフのマナー違反防止のため、事務局で注意事項をまとめた行動規範集を作成し、マナー向上を徹底する。

また受講者のマナー違反防止については、講習会開始前に私語厳禁、携帯電話使用厳禁等の事項を改めてアナウンス、及び会場内に注意事項を掲示する。特に修了考査時の受講者同士の相談等については途中で退席させるといった処置も検討の必要がある。

《資料編》

- I. C 講習会アンケート調査結果
- II. 地域ブランド施工・設計事業者調査結果
- III. A・B 講習会アンケート調査結果

資料編 I C講習会アンケート調査結果

概要

- ・ 調査対象
: 主に現場で施工を行う大工、職人、その他。
- ・ 調査期間
: 2012年9月～2013年3月
- ・ 調査場所
: 全国47都道府県で開催のC講習会(平成24年度 住宅省エネルギー技術
施工技術者講習会)会場。全384会場。
- ・ アンケート票配布及び回収方法
: C講習会にて教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務
づけ。
- ・ アンケート票回収数
: 全国で11,028票。

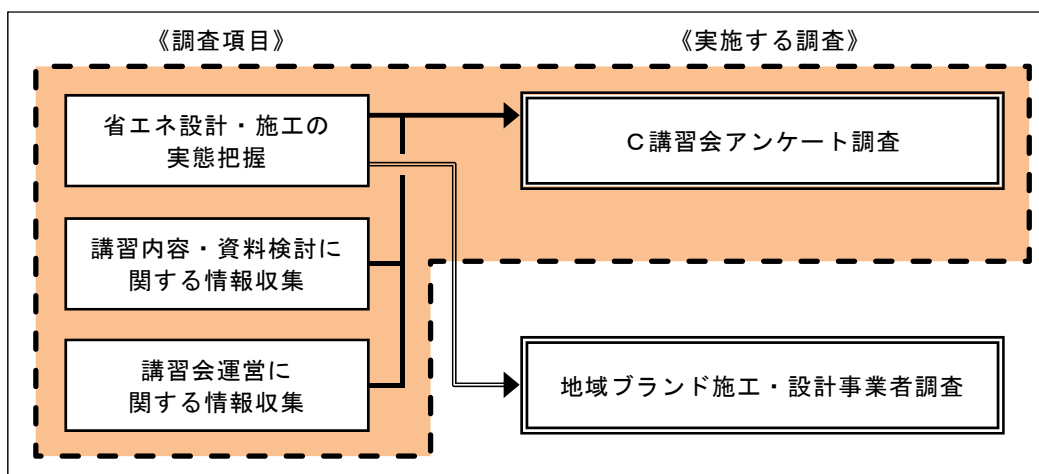


図 調査項目と実施する調査の相関図 C講習会アンケート調査

地域	回答数	%
北海道	361	3.3
東北	1197	10.9
関東	2880	26.1
北陸	841	7.6
中部	1927	17.5
近畿	1173	10.6
中国	854	7.7
四国	454	4.1
九州・沖縄	1341	12.2
全体	11028	100.0

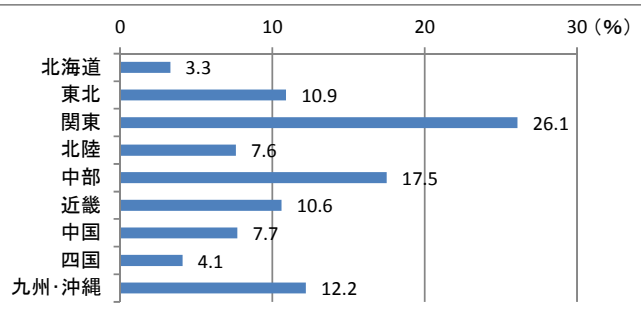


図 地域別回答数(地域分けはC講習会応募地域分けに倣う)

地域	都道府県	回答数	%
北海道	北海道	361	3.3
東北	青森県	233	2.1
	岩手県	154	1.4
	宮城県	221	2.0
	秋田県	173	1.6
	山形県	156	1.4
関東	福島県	260	2.4
	茨城県	223	2.0
	栃木県	226	2.0
	群馬県	210	1.9
	埼玉県	549	5.0
	千葉県	451	4.1
	東京都	624	5.7
北陸	神奈川県	498	4.5
	山梨県	99	0.9
	新潟県	386	3.5
	富山県	159	1.4
中部	石川県	184	1.7
	福井県	112	1.0
	長野県	265	2.4
	岐阜県	252	2.3
	静岡県	487	4.4
近畿	愛知県	685	6.2
	三重県	238	2.2
	滋賀県	136	1.2
	京都府	138	1.3
	大阪府	397	3.6
	兵庫県	344	3.1
中国	奈良県	68	0.6
	和歌山県	90	0.8
	鳥取県	147	1.3
	島根県	91	0.8
四国	岡山県	259	2.3
	広島県	214	1.9
	山口県	143	1.3
九州・沖縄	徳島県	82	0.7
	香川県	117	1.1
	愛媛県	140	1.3
	高知県	115	1.0
	福岡県	344	3.1
	佐賀県	92	0.8
	長崎県	167	1.5
熊本県	217	2.0	
九州・沖縄	大分県	148	1.3
	宮崎県	158	1.4
	鹿児島県	159	1.4
	沖縄県	56	0.5
全体	11028	100.0	

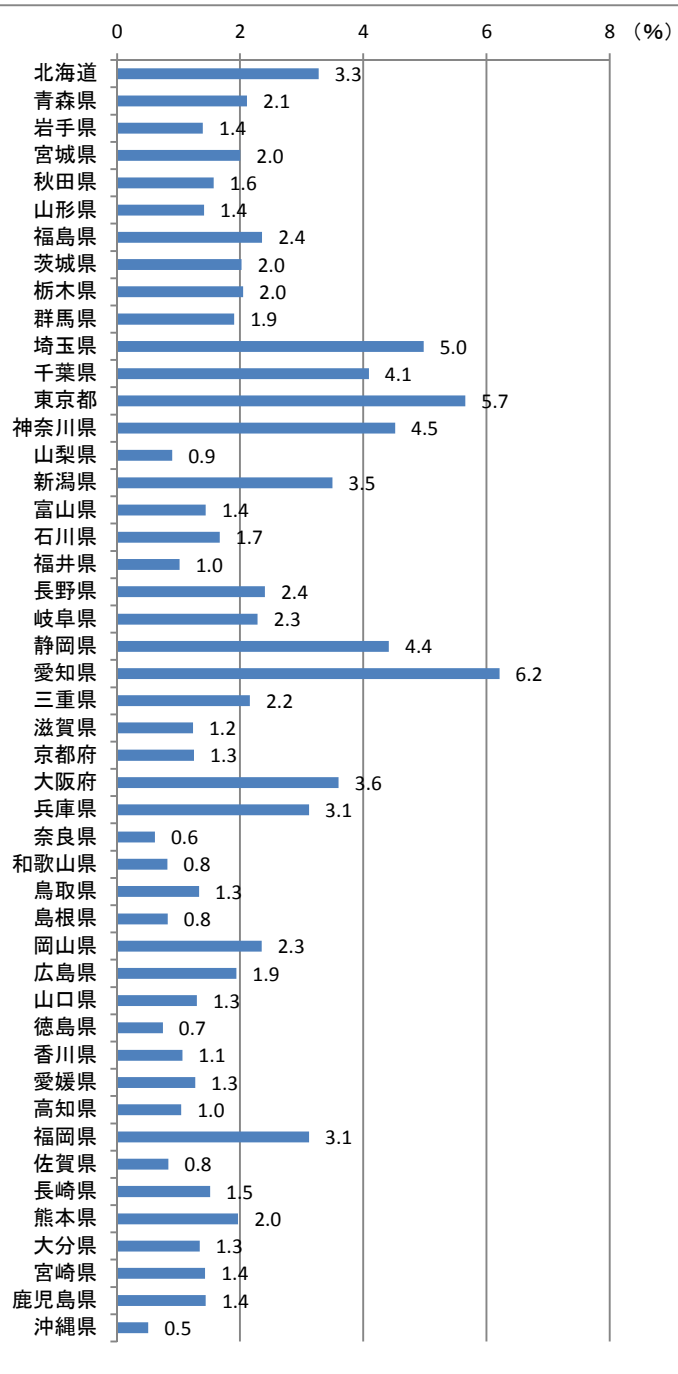


図 都道府県別回答数

「講習会」に関するアンケート



受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、本講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。

つきましては、下記アンケート実施にご協力をお願い申し上げます。

受講日：平成25年 月 日() 会場：_____ 会場(都道府県名でお書きください)

回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</p> <p>1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</p> <p>1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集(質問10迄)	<p>質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きます。(各項目ひとつに○)</p> <p>・テキスト 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>・DVD 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>・カットモデル(原寸模型) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. これからの住まいの省エネ化について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-2. 省エネ住宅の設計/施工について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-3. 省エネ基準と関連制度について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-4. リフォームについて 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>質問9. 修了考査について (ひとつに○)</p> <p>1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p>

質問10. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()
② 難しい・やりにくいと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり() 人工程度増加する
3. 坪あたり() 人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。

本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

質問1 業種をお聞かせ下さい。

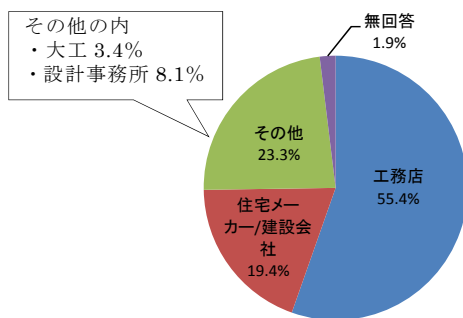
- 「工務店」が55.4%で最も多く、「住宅メーカー／建設会社」が19.4%の回答であった。「その他」は23.3%、主な内訳は「設計事務所」8.0%、「大工」3.4%、「建材卸売業」1.5%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」の所属先は「工務店」が76.8%で最も多く、「住宅メーカー／建設会社」は9.2%であった。
- 「職種／現場管理」の所属先は「工務店」が56.0%で最も多い。「住宅メーカー／建設会社」は35.9%で、「職種／施工」と比較し、割合が高くなっている。
- 「職種／設計」の所属先は「その他」が49.6%で最も多く、「工務店」が30.6%、「住宅メーカー／建設会社」が18.6%であった。「その他」の内の殆どが「設計事務所」と回答しており、「職種／設計」全体の39.7%であった。

《地域別》

- 「工務店」は中国地域61.6%、中部地域60.2%、北陸地域59.9%、関東地域57.0%と、以上の地域は60%前後を占め、北海道地域、東北地域、近畿地域、四国地域も50%以上の割合であった。九州地域のみ半数を割り込み、41.8%であった。
- 「住宅メーカー／建設会社」は、九州地域29.5%、北海道地域27.4%と30%弱を占め、他の地域は15.6%（四国地域）～21.6%（北陸地域）の範囲であった。



No.	業種	回答数	%
1	工務店	6108	55.4
2	住宅メーカー/建設会社	2137	19.4
3	その他	2569	23.3
	無回答	214	1.9
	全体	11028	100.0

図 I-1a 業種

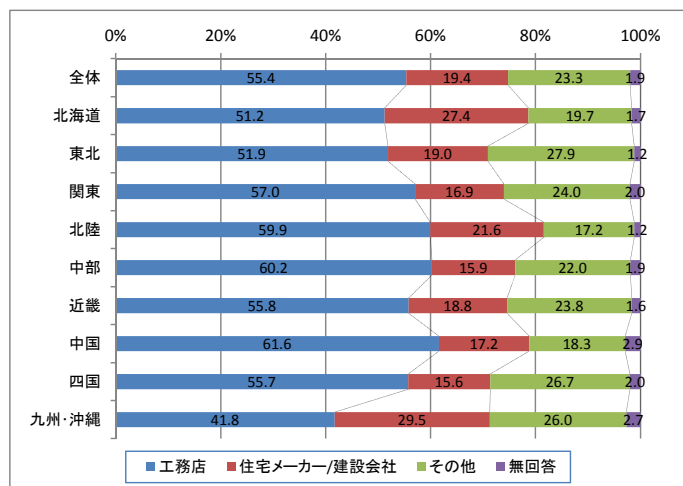


図 I-1c 地域別の所属業種

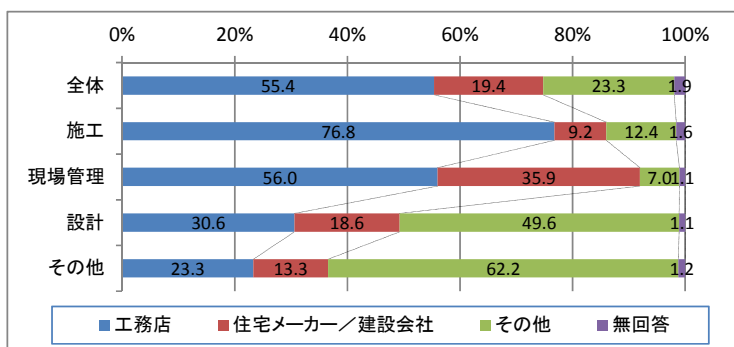


図 I-1b 職種別の所属業種

業種 3. その他	回答数	%
大工	378	3.4%
建設会社	3	0.0%
設計事務所	890	8.1%
建材販売	380	3.4%
各工種施工	83	0.8%
設備施工	76	0.7%
リフォーム施工	70	0.6%
不動産業	33	0.3%
行政	30	0.3%
金融業	24	0.2%
材木店	18	0.2%
プレカット業者	14	0.1%
製材業者	9	0.1%
未分類	115	1.0%
その他記入有り合計	2,123	19.3%
その他全体	2,569	23.3%
全体	11,028	100.0%

業種 3. その他	回答数	
大工	312	
大工	建築大工	46
大工	一人親方	15
大工	ハウスメーカー手間請	2
大工	常雇	1
大工	町場大工	1
大工	造作大工	1
建設会社	総合建設業	2
建設会社	地場ホールビルダー	1
設計事務所	設計事務所	885
設計事務所	自営(設計)	1
設計事務所	意匠設計事務所	1
設計事務所	設計コンサル	1
設計事務所	フリーランス建築士	1
設計事務所	デザイン事務所	1
建材販売	建材卸売業	168
建材販売	販売店	68
建材販売	木材、建材販売店	34
建材販売	住宅資材販売	29
建材販売	流通業者	19
建材販売	資材販売	19
建材販売	商社(木材、建材卸)	12
建材販売	サッシ、ガラス建材販売	10
建材販売	卸売業者	9
建材販売	問屋	7
建材販売	新建材問屋	1
建材販売	衛生機器販売業	1
建材販売	管工機材商社	1
建材販売	建築金物商社	1
建材販売	小売業	1
各工種施工	断熱施工業社	32
各工種施工	内装業	12
各工種施工	屋根工事業	6
各工種施工	建具、サッシ	5
各工種施工	建築板金	5
各工種施工	塗装業	5
各工種施工	建築塗装業	2
各工種施工	セルロースファイバー	2
各工種施工	板金工事業	2
各工種施工	外壁工事	1
各工種施工	木柵等	1
各工種施工	職人	1
各工種施工	造園業	1
各工種施工	現場発泡断熱工業	1
各工種施工	瓦屋根工事店	1
各工種施工	松長板金	1
各工種施工	タイル貼り業	1
各工種施工	断●工事店	1
各工種施工	クロス	1
各工種施工	インテリア建具、サッシ	1
各工種施工	鋼製建具	1
設備施工	設備設計、施工	38
設備施工	電気工事	25
設備施工	水道工事業	3
設備施工	空調設備	3
設備施工	ガス供給及びリフォーム他	1
設備施工	管工事	1
設備施工	配管工	1
設備施工	水回り設備	1
設備施工	機械器具設置	1
設備施工	機会整備技術員	1
設備施工	ガス会社	1
リフォーム施工	リフォーム業	58
リフォーム施工	住宅リフォーム	3
リフォーム施工	建築リフォーム	2
リフォーム施工	土木・リフォーム	1
リフォーム施工	耐震リフォーム	1
リフォーム施工	溝網造物・リフォーム工事	1
リフォーム施工	福本リフォーム	1
リフォーム施工	外装、設計、繕げん	1
リフォーム施工	床暖、冷暖房リフォーム	1
リフォーム施工	リモデル店	1
不動産業	不動産業	31
不動産業	建築、不動産	1
不動産業	建売り	1

業種 3. その他	回答数	
行政	行政	11
行政	官公庁	5
行政	公務員	5
行政	地方公務員	3
行政	役場建築課	2
行政	自治体	2
行政	県庁職員	1
行政	県職員	1
金融業	金融業	21
金融業	住宅金融	2
金融業	政府系金融機関	1
材木店	材木店	17
材木店	浜中材木店	1
プレカット業者	プレカット業者	14
製材業者	製材、請負業	9
未分類	個人、自営	13
未分類	建設コンサル	6
未分類	営業	6
未分類	職業訓練校	4
未分類	無職	4
未分類	宅建業者	4
未分類	団体職員	3
未分類	会社員	3
未分類	代理店	3
未分類	林業	3
未分類	システムエンジニア	2
未分類	学生	2
未分類	組合	2
未分類	事務	2
未分類	エネルギー産業	2
未分類	住宅管理	2
未分類	ビルメンテナンス	2
未分類	ディベロッパ	2
未分類	奈良の木マーケティング協議会	2
未分類	電力会社	2
未分類	NPO法人	2
未分類	保証会社	1
未分類	出版社	1
未分類	住宅コンサル	1
未分類	関連団体	1
未分類	社団法人	1
未分類	自由業	1
未分類	一般建築	1
未分類	フリー	1
未分類	アルバイト	1
未分類	評価機関	1
未分類	賃貸管理会社	1
未分類	通信	1
未分類	荒川製材所	1
未分類	土地家屋調査士	1
未分類	調査会社	1
未分類	公社	1
未分類	ソフトウェア(CAD)	1
未分類	公共職業訓練	1
未分類	コーディネーター事務所	1
未分類	大分県建設組合連合会	1
未分類	住宅機器メーカー	1
未分類	管理	1
未分類	VC本部	1
未分類	CADメーカー	1
未分類	土建業	1
未分類	確認検査機関	1
未分類	部材メーカー	1
未分類	下請	1
未分類	熱絶縁業	1
未分類	建築確認代行	1
未分類	独立行政法人	1
未分類	メーカー	1
未分類	建設労働組合県労	1
未分類	建設業協会	1
未分類	民間確認検査機関	1
未分類	性能評価機関	1
未分類	住宅瑕疵担保責任保険法人	1
未分類	サニーガラス	1
未分類	金属メーカー	1
未分類	居住職業訓練指導員	1
未分類	アドバイザー	1
未分類	企業内建築(発注側)	1
未分類	県団体	1
未分類	(株)土木建設科会社	1

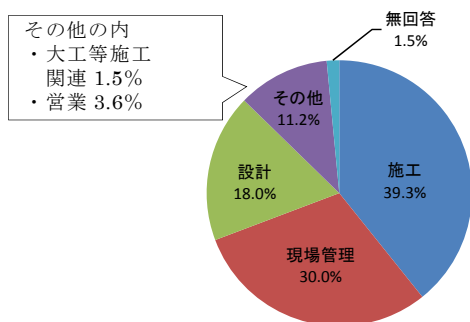
図 I-1d 業種「その他」記述

質問2 職種をお聞かせ下さい。

- 「施工」が39.3%で最も多く、「現場管理」が30.0%、「設計」が18.0%であった。「その他」は11.2%で、主な内訳は「営業」が3.6%、「大工」が1.3%、「建材卸売業」が0.5%であった。

《地域別》

- 「施工」は中国地域が50.7%と半数を占める以外は、40%を超えるのが関東地域(45.6%)、中部地域(42.1%)、北陸地域(40.4%)、30%を超えるのが、四国地域(34.6%)、九州地域(33.9%)、東北地域(31.7%)、近畿地域(31.4%)であった。北海道地域は19.9%であった。
- 「現場管理」は北海道地域が54.3%と半数以上を占め、他の地域は25.5%(関東地域)～35.2%(近畿地域)であった。
- 「設計」は東北地域が26.7%、四国地域が26.0%と多くなっているが、中国地方は10%を割り込み、9.6%であった。
- 北海道地域の受講者は施工が少なく、現場管理の占める割合が高い。
- 中国地域の受講者は施工の割合が高く、設計が少ない。



No.	職種	回答数	%
1	施工	4329	39.3
2	現場管理	3309	30.0
3	設計	1986	18.0
4	その他	1235	11.2
	無回答	169	1.5
	全体	11028	100.0

図 I -2a 職種

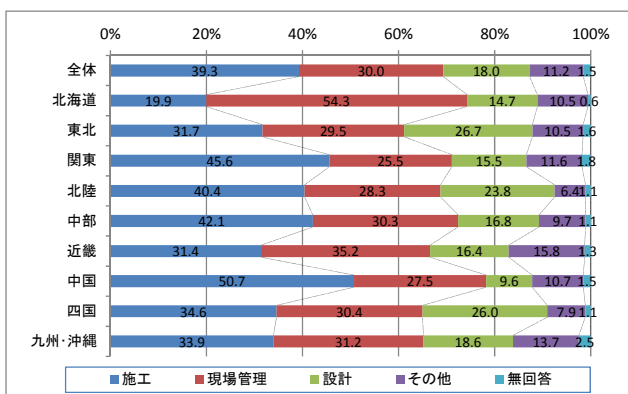


図 I -2b 地域別の受講者職種

職種 4. その他	回答数	%
施工	168	1.5%
現場管理	5	0.0%
設計	3	0.0%
設計系	14	0.1%
営業	401	3.6%
事業主等	76	0.7%
建材販売	53	0.5%
検査機関	11	0.1%
工務店	8	0.1%
行政	7	0.1%
未分類	151	1.4%
その他記入有合計	897	8.1%
その他全体	1,235	11.2%
全体	11,028	100.0%

職種 4. その他		回答数
大工	大工	124
大工	建築大工	14
大工	棟梁	1
大工	一人親方	1
職人	塗装工	7
職人	見習い	4
職人	設備工	3
職人	断熱工事	2
職人	電工	2
職人	建築板金業	2
職人	サッシ工	1
職人	メンテナンス、多能工	1
職人	左官	1
職人	タイル職人	1
職人	電気、空調設備	1
職人	意大工	1
職人	配管工	1
職人	職人	1
現場管理	管理	3
現場管理	工務	1
現場管理	現場監督	1
設計	工事監理	2
設計	建築士	1
設計系	コンサルタント	3
設計系	インテリアコーディネーター	3
設計系	プランニング部	1
設計系	ブレカットCAD	1
設計系	基準法、長期優良住宅、申請業務	1
設計系	通信(CAD)	1
設計系	ハウスジーン代理業務	1
設計系	図面・ホームページ	1
設計系	建築確認代行	1
設計系	CAD	1
営業	営業	400
営業	リフォーム事業部営業	1
事業主等	事業主	54
事業主等	会社役員	12
事業主等	個人事業	6
事業主等	自営業	2
事業主等	代表理事	1
事業主等	役員	1
建材販売	販売	18
建材販売	建材販売	11
建材販売	資材販売	8
建材販売	木材建材販売店	4
建材販売	製造販売	3
建材販売	納材	2
建材販売	卸業	2
建材販売	流通販売	2
建材販売	建築資材販売	1
建材販売	商社	1
建材販売	建設資材営業	1
検査機関	書類審査	3
検査機関	確認審査	2
検査機関	検査	2
検査機関	評価員	2
検査機関	検査員	1
検査機関	住宅関係審査、検査	1

職種 4. その他		回答数
工務店	アフターメンテナンス	3
工務店	建築業	2
工務店	工務店社員	2
工務店	建築請負	1
行政	行政	3
行政	官庁	1
行政	公務員	1
行政	建築行政	1
行政	住宅政策	1
未分類	事務職	29
未分類	すべての業務	27
未分類	積算	14
未分類	総務	8
未分類	開発	6
未分類	管理職	6
未分類	総合管理	5
未分類	商品開発	4
未分類	技術	2
未分類	業務	2
未分類	環境担当	2
未分類	無職	2
未分類	総合職	2
未分類	金融	2
未分類	調査、診断、鑑定	2
未分類	コーディネーター	2
未分類	指導員	2
未分類	企画	2
未分類	品質管理	2
未分類	プランナー	2
未分類	商品企画	2
未分類	長期優良住宅の普及	1
未分類	林業、木材業	1
未分類	フリー	1
未分類	講師	1
未分類	仕入・企画	1
未分類	試験研究	1
未分類	配送	1
未分類	編集	1
未分類	事業者支援業務	1
未分類	優良住宅促進	1
未分類	教員	1
未分類	ソフト開発、営業	1
未分類	業界の団体	1
未分類	建築土木	1
未分類	一般技術職	1
未分類	いろいろ	1
未分類	土地建物調査、測量、登記	1
未分類	職員訓練指導員	1
未分類	研究	1
未分類	元請	1
未分類	生産	1
未分類	建築一色	1
未分類	製品開発	1
未分類	公共職業訓練	1
未分類	請負	1
未分類	工場	1

図 I-2c 職種「その他」記述

質問3 年齢層をお聞かせ下さい。

- 「30代」26.4%、「50代」23.1%、「40代」22.7%、「60代以上」17.2%であった。「10代」「20代」は合わせても9.7%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」、「職種／設計」は全体平均に比べて「60代以上」の構成比が大きい。「職種／現場管理」は30代～50代の年齢層が多い。

《地域別》

- 「10代」、「20代」は地域による差はあまりなく10%前後と少ない。「30代」～「50代」は年代毎に見ると地域間で差はあるが、どの年代もおよそ20～30%を占める構成比となっている。「60代以上」は関東地域の20.5%が最も多く、北海道地域は10.2%で10～20代と同程度の割合となっている。

No.	年齢	回答数	%
1	10代	41	0.4
2	20代	1026	9.3
3	30代	2907	26.4
4	40代	2506	22.7
5	50代	2546	23.1
6	60代以上	1894	17.2
	無回答	108	1.0
	全体	11028	100.0

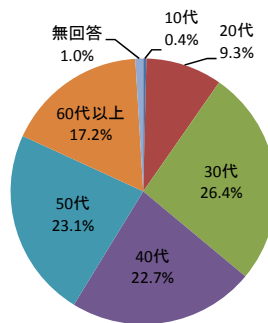


図 I-3a 年齢層

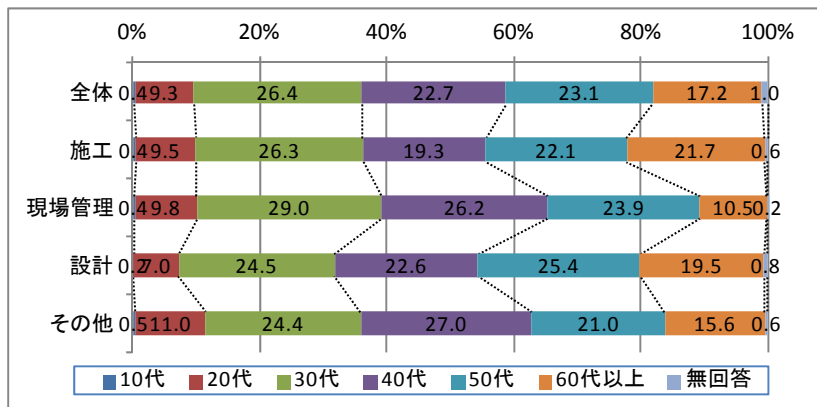


図 I-3b 職種別の受講者年齢層

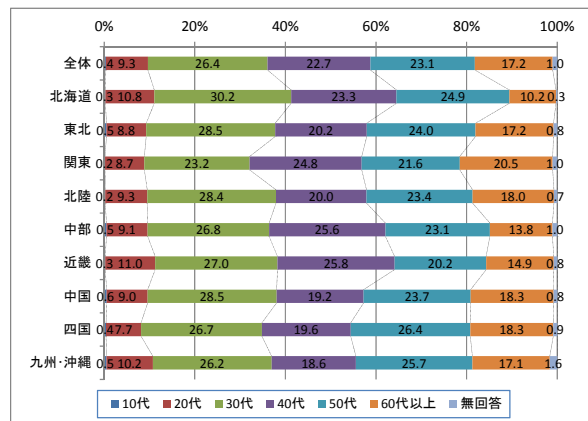


図 I-3c 地域別の受講者年齢層

質問4 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答)

- 「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」が43.3%、「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」が37.0%、「その他」が10.9%であった。
- 「各都道府県の地域協議会からの情報」は8.0%であった。
- 「その他」の内容で主なものは、「インターネットから」が1.1%、「クチコミ」が2.0%、「行政関係から」が0.2%、「公共・公益」が0.3%、「所属団体から」が3.6%、「新聞、業界紙等から」が0.9%であった。
- 「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」については「その他」の中で回答されたものを加えると46.8%であった。

《職種別》

- 職種別では「職種／施工」、「現場管理」が「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」からの認知経路が最も多く、「職種／設計」は、「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」からの認知経路が最も多かった。

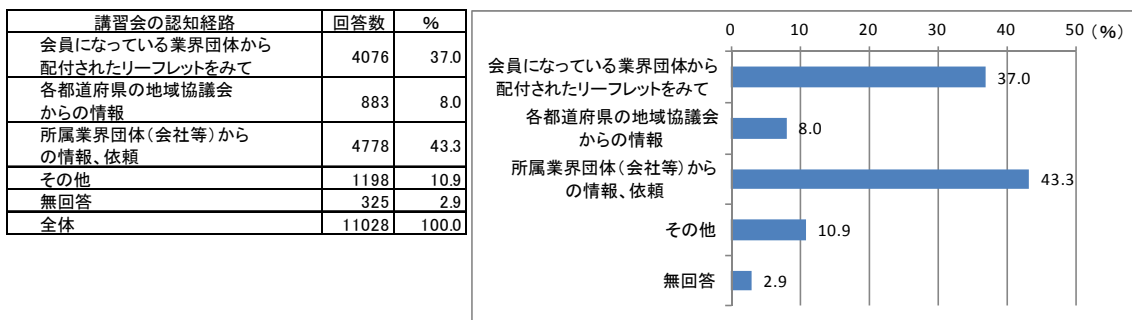


図 I-4a 講習会開催の認知経路

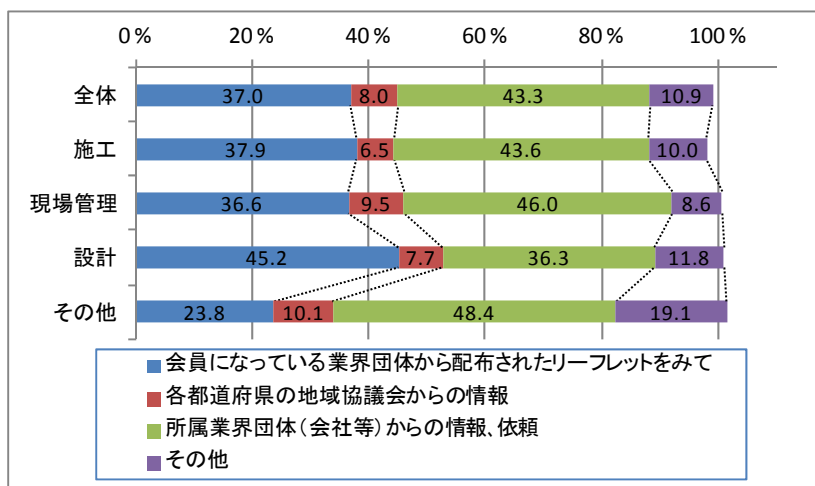


図 I-4b 職種別の認知経路

質問4 4. その他	回答数	%	質問4 4. その他	回答数	質問4 4. その他	回答数
インターネット	123	1.1%	行政 兵庫県から	3	土建組合 土建組合の案内	5
クチコミ	217	2.0%	行政 投機からの情報	3	土建組合 埼玉土建	5
行政関係	27	0.2%	行政 県庁にあったリーフレットを見て	1	土建組合 神奈川土建	5
公共、公益	33	0.3%	行政 県にて	1	土建組合 土建	4
所属団体、会社等	397	3.6%	行政 八雲町役場建築係から	1	土建組合 土建組合支部からのFAX	1
新聞、業界紙等	95	0.9%	行政 千葉県主催の説明会	1	土建組合 土建からの情報	1
他所イベント	6	0.1%	行政 埼玉県よりの通知	1	土建組合 土建組合案内	1
未分類	66	0.6%	行政 大阪府建設振興課	1	土建組合 土建	1
			行政 市役所のパンフをみて	1	商工会 商工会	5
その他記入有合計	964	8.7%	行政 市役所の情報コーナー	1	商工会 地元商工会からFAX	1
その他全体	1,198	10.9%	行政 県執行委員会	1	ブランド化 地域ブランド化事業からの情報	2
全体	11,028	100.0%	行政 大阪府からのお知らせ	1		
			行政 地方事務所配布資料	1	ブランド化 地域型住宅ブランド化事業グループ内での情報	1
質問4 4. その他	回答数		行政 新庄市役所都市整備課	1	ブランド化 プランド化事業から	1
インターネット	95		行政 道からの案内	1	ブランド化 プランド化事業から	1
インターネット	11		行政 県からの案内	1	木材関係 木材運搬	1
インターネット	1		行政 兵庫県工整備部住宅政策課	1	木材関係 金木体制協議会リーフレット	1
インターネット	1		行政 北海道からの運達	1	木材関係 和歌山県木材協同組合連合会	1
インターネット	1		行政 石川県環境部	1	設計関係 建築士会	33
インターネット	1		行政 マスコHP記事	1	設計関係 兵庫県建築士会	1
インターネット	1		行政 国土HP	1	設計関係 阪神支部からのメール	1
インターネット	1		行政 SNS	1	設計関係 山口県建築士会会報	1
インターネット	1		行政 他社工務店のブログで	1	設計関係 土会案内	1
インターネット	1		行政 アークレンドのHPにリンクが張ってあったので	1	設計関係 支会のみ報	1
インターネット	1		住宅改修事業者 県登録住宅改修業者登録の指定講習だったから	1	設計関係 事務所協会	1
インターネット	1		住宅改修事業者 住宅改修業者向け案内FAX	1	設計関係 土会	1
インターネット	1		住宅改修事業者 住宅改修事業者案内	1		
インターネット	1		公共、公益 まちづくりセンター	10	設計関係 岩手県建築士事務所協会からの配布	1
インターネット	1		公共、公益 住宅センターからのチラシ	5	設計関係 日本建築士会連合会	1
インターネット	1		公共、公益 東京都防災、建築まちづくりセンターからのメール	3	設計関係 県建築士事務所協会	1
インターネット	1		公共、公益 町づくりセンター	3	所属団体その他 NPO	2
インターネット	1		公共、公益 町づくりセンター	3	所属団体その他 IBEC	1
インターネット	1		公共、公益 大阪住宅センター	2	所属団体その他 省エネ推進協議会にて	4
インターネット	1		公共、公益 東北電力	1	所属団体その他 住宅保証機構	1
インターネット	1		公共、公益 長崎県住宅建築総合センター	1	所属団体その他 断崖協	1
インターネット	1		公共、公益 建築サポートセンター	1	所属団体その他 ナイス様からの案内による	6
インターネット	1		公共、公益 指定確認検査機関	1	所属団体その他 業界団体からのメール	2
クチコミ	34		公共、公益 建築センター	1	所属団体その他 副産校	2
クチコミ	24		公共、公益 認知居住宅センター	1	所属団体その他 団体からのメール情報	1
クチコミ	19		公共、公益 BELCA	1	所属団体その他 富士山住宅連協	1
クチコミ	19		公共、公益 建築住宅センター配布リーフレット	1	所属団体その他 埼玉県住いづくり協議会	1
クチコミ	12		公共、公益 静岡県住宅まちづくりセンター	1	所属団体その他 リフォームマスター協議会	1
クチコミ	8		公共、公益 (公財)とちぎ建設技術センター	1	所属団体その他 足立支部(執行委員会にて)	1
クチコミ	8		社内 会社からの情報	69	所属団体その他 会員のさそい	1
クチコミ	5		社内 社内回覧	18	所属団体その他 会員の方より案内	1
クチコミ	5		社内 上司からの紹介	9	所属団体その他 学校	1
クチコミ	5		社内 社長から知らされて	6	所属団体その他 保険組合のちらし	1
クチコミ	4		社内 親方から	5	所属団体その他 住まいづくり協議会	1
クチコミ	4		社内 自社から	2		
クチコミ	3		社内 代表者におしえてもらった	1	新聞、業界紙等 新聞広告	33
クチコミ	3		社内 善当より来た	1	新聞、業界紙等 建築雑誌	16
クチコミ	3		社内 自社の新聞広告	1	新聞、業界紙等 日経ホームビルダー	11
クチコミ	3		社内 地社員	1	新聞、業界紙等 新建築ハウジングメルマガ	10
クチコミ	3		社内 代表が講師の子	1	新聞、業界紙等 建設新聞	5
クチコミ	3		社内 経営者から	1	新聞、業界紙等 ホームビルダーより	3
クチコミ	2		社内 所長より	1	新聞、業界紙等 情報雑誌	3
クチコミ	2		社内 親交に入ってこいと言われた	1	新聞、業界紙等 業界紙	2
クチコミ	2		社内 本社からFAX	1	新聞、業界紙等 広告	2
クチコミ	2		建設関係組合等 建設組合	49	新聞、業界紙等 工務店新聞	1
クチコミ	2		建設関係組合等 組合	34	新聞、業界紙等 産経新聞	1
クチコミ	2		建設関係組合等 全建設連	14	新聞、業界紙等 チラシ	1
クチコミ	2		建設関係組合等 建築連合会	3	新聞、業界紙等 住宅情報誌	1
クチコミ	2		建設関係組合等 所属組合の知らせで	3	新聞、業界紙等 住宅通信社のメール	1
クチコミ	2		建設関係組合等 JBN	2	新聞、業界紙等 地域情報誌	1
クチコミ	2		建設関係組合等 県連から	2	新聞、業界紙等 新聞(デイリー-東北)	1
クチコミ	1		建設関係組合等 足立建築組合	1	新聞、業界紙等 新聞(西日本)	1
クチコミ	1		建設関係組合等 建技労	1	新聞、業界紙等 新聞、ホームページ	1
クチコミ	1		建設関係組合等 高知県中小建築業協会	1	新聞、業界紙等 静岡新聞紙上	1
クチコミ	1		建設関係組合等 からFAX	1	他所イベント 別の講習会	1
クチコミ	1		建設関係組合等 佐賀建連	1	他所イベント セミナー	1
クチコミ	1		建設関係組合等 全協建	1	他所イベント 他の講習会で	1
クチコミ	1		建設関係組合等 総合(全建設連)	1	他所イベント 住宅フェア会場での周知	1
クチコミ	1		建設関係組合等 大工組合	1	他所イベント 住宅博	1
クチコミ	1		建設関係組合等 中小建	1	他所イベント 先週末のナカムラ展による案内	1
クチコミ	1		建設関係組合等 建築職組合からの情報	1	未分類 メール	18
クチコミ	1		建設関係組合等 建築連の広報	1	未分類 振興局からのメールにより	1
クチコミ	1		建設関係組合等 建設ユニオン	1	未分類 FAX	16
クチコミ	1		建設関係組合等 鳥取市建築連合会	1	未分類 会場	6
クチコミ	1		建設関係組合等 天童建設総合組合	1	未分類 DM	5
クチコミ	1		建設関係組合等 宮崎県建築業協会	1	未分類 ダイレクト	1
クチコミ	1		建設関係組合等 県住宅センター-工務店連合会	1	未分類 三和さんよりDM	1
クチコミ	1		建設関係組合等 住建建設岐阜建労	1	未分類 支援センターからの案内文	1
クチコミ	1		建設労働組合 建労組合	5	未分類 どこからかわからないがDM	1
クチコミ	1		建設労働組合 フレッセ	3	未分類 お知らせ、DM、	1
クチコミ	1		建設労働組合 労働組合より	3	未分類 ありがとうございます	1
クチコミ	1		建設労働組合 大建労組合	2	未分類 封書で案内を頂きました	1
クチコミ	1		建設労働組合 福建労	2	未分類 後木さんより紹介、	1
クチコミ	1		建設労働組合 いわきウイング	2	未分類 小酒井講師	1
クチコミ	1		建設労働組合 青川建労	1	未分類 ハンフレット	1
クチコミ	1		建設労働組合 飯海建設労組	1	未分類 日本ハウジング情報コーナー	2
クチコミ	1		建設労働組合 全国建設労働組合瑞浪支部	1	未分類 断熱施工	1
クチコミ	1		建設労働組合 和歌山建設労働組合	1	未分類 木材市場	1
クチコミ	1		建設労働組合 大建労にて	1	未分類 Smile通信	1
クチコミ	1		建設労働組合 大阪建設労働組合	1	未分類 不明	3
クチコミ	1		建設労働組合 大分県建設労働組合より	1	未分類 徳島人	1
クチコミ	1		土建組合 東京土建	13	未分類 崎北部	1
クチコミ	1		土建組合 千葉土建	12	未分類 林	1
					未分類 ヒミツ	1

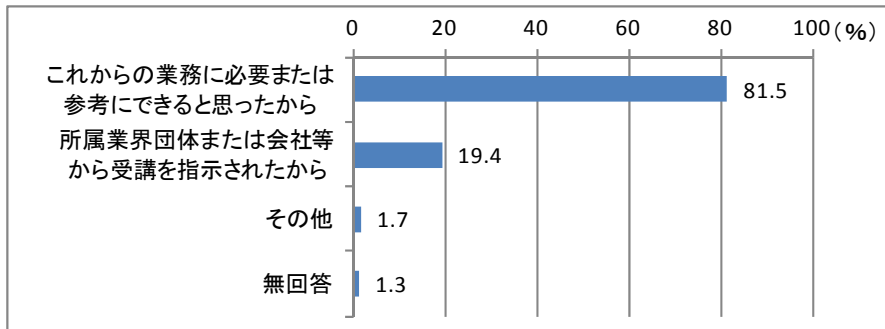
図 I-4c 認知経路「その他」記述

質問5 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数回答)

- 「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」が最も多く 81.5%、「所属業界団体または会社等から受講を指示されたから」が 19.4%であった。

《職種別》

- 職種別では「設計」の「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」が全体より 9.5ポイント高かった。



参加理由・目的	回答数	%
これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから	8992	81.5
所属業界団体または会社等から受講を指示されたから	2142	19.4
その他	188	1.7
無回答	145	1.3
全体	11028	100.0

図 I -5a 講習会への参加動機

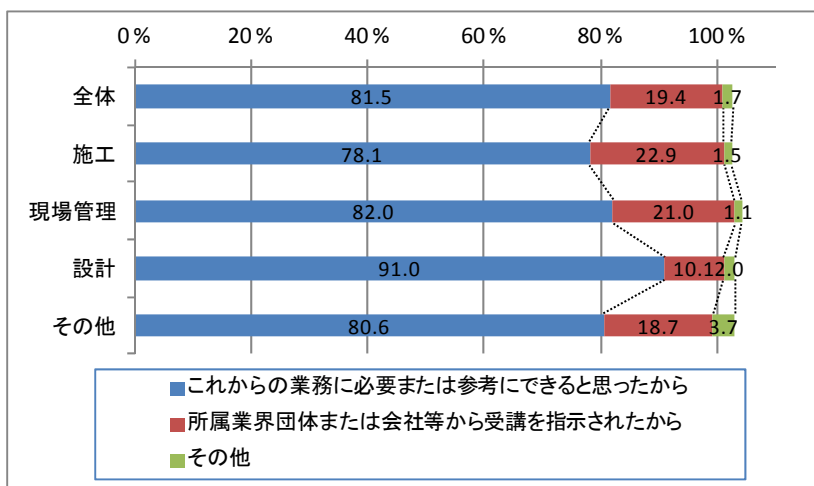


図 I -5b 職種別の参加動機

参加動機 3.その他	回答数	%
必要、参考に	35	0.3%
指示	14	0.1%
環境志向	3	0.0%
興味あり	8	0.1%
時代に対応	3	0.0%
指導のため	5	0.0%
紹介	11	0.1%
資格のため	22	0.2%
スキルアップ	13	0.1%
未分類	16	0.1%
その他記入有合計	130	1.2%
その他全体	188	1.7%
全体	11,028	100.0%

参加動機 3.その他	回答数	
必要、参考に	再認識	7
必要、参考に	自分の認識の確認	5
必要、参考に	長期優良等に生かしたいから	2
必要、参考に	必要性がある	2
必要、参考に	新しい情報入手	1
必要、参考に	等級4の実際の施工方法の確認	1
必要、参考に	基本に帰って学ぶため	1
必要、参考に	気密の連続性など、納得いかない部分があるので基本を確認したくて	1
必要、参考に	何かの役に立つかと思	1
必要、参考に	情報の更新の為	1
必要、参考に	研究の参考のため	1
必要、参考に	現場でのアドバイス確認	1
必要、参考に	高断熱高気密住宅は、今まで中途半端であり設計したくなかったが、今後やるなら本物の高断熱高気密住宅を…との思いから…	1
必要、参考に	「北方型住宅ECO」なら…OKかと…	1
必要、参考に	今後業界で講習済が必須になる場合を●みて	1
必要、参考に	最新の情報を知りたいから	1
必要、参考に	参考に	1
必要、参考に	仕事上で役に立つので	1
必要、参考に	正しい知識を得るために	1
必要、参考に	施主様に説明が出来る様になる為	1
必要、参考に	自営を考えている	1
必要、参考に	II地区なので正しい断熱施工必要	1
必要、参考に	自分で小さな家を建ててもかもしれないため内装のみの工事)	1
必要、参考に	不明点がたくさんあるので	1
指示	会社からの指示	12
指示	強制	1
指示	兵庫県からの受講指導	1
環境志向	原発ゼロに向けて必要な情報を集めたい	1
環境志向	省エネ、グリーンエコ化の一部として	1
環境志向	低炭素社会を推進する意味で大事な事だと考え	1
興味あり	興味があった為	6
興味あり	関心があった。	1
興味あり	リフォーム時の断熱施工に興味があったから	1
時代に対応	世の中の動きと合わせて	1
時代に対応	時代の進化	1
時代に対応	これからの動き	1
指導のため	他の人に説明の為に受けた	1
指導のため	下請業者の指導のため	1
指導のため	省エネ住宅の知識を深めアドバイスできる立場を目指しているため	1
指導のため	社内営業マンに対して講習会を行うため	1
指導のため	若手育成	1
紹介	組合から	2
紹介	友人に誘われて	1
紹介	ナカムラに、来てほしいと言われたから	1
紹介	建築組合	1
紹介	千葉土建組合課から	1
紹介	北海道住宅通信社からの紹介	1
紹介	埼玉土建	1
紹介	市住民課	1
紹介	設計事務所から	1
紹介	取引先から	1
資格のため	CPD単化取得の為	12
資格のため	エコアドバイザーの更新の為	3
資格のため	ODD対象である	2
資格のため	省エネ住環境の向上のためのアドバイザーになろうと考えているから	1
資格のため	石川県のエコアドバイザーが何かの更新のために役立つので	1
資格のため	色々な資格が欲しいから	1
資格のため	登録住宅改修業者のため	1
資格のため	修了証取得	1
スキルアップ	知識を増やしたい	4
スキルアップ	スキルアップ	2
スキルアップ	自己啓発	2
スキルアップ	技術習得	1
スキルアップ	少しでも勉強できればと思って	1
スキルアップ	何でも知ってるにこしたことがないから！！	1
スキルアップ	監督大工のスキルアップ	1
スキルアップ	勉強のため	1
未分類	代理で	2
未分類	近い場所だったから	2
未分類	おさまり	1
未分類	現在の状態	1
未分類	伝統建築専門にやっているものには困る問題だから	1
未分類	なんとなく	1
未分類	申込書を見て	1
未分類	リフォーム業	1
未分類	以前テキストを見せてもらった時、とても良くとまっていたから。	1
未分類	地元建材店	1
未分類	日経ホームビルダー	1
未分類	木造住宅省エネと林業、木材加工等の関係	1
未分類	住宅メーカー	1
未分類	住宅保証機構メール	1

図 I-5c 参加動機「その他」記述

質問6 今回の講習時間についてお聞きします。

- 「ちょうどよい」が最も多く 53.0%、「長い」が 38.3%、「短い」が 3.1%であった。
- 職種間で回答比率に大きな差は見受けられなかった。

今回の講習時間	回答数	%
長い	4223	38.3
ちょうどよい	5844	53.0
短い	340	3.1
無回答	621	5.6
全体	11028	100.0

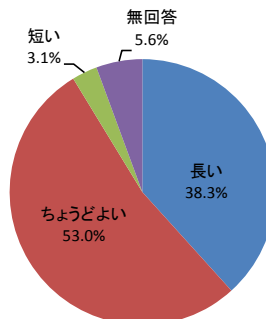


図 I-6 講習時間の長さの感じ方

質問7 テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きします。

質問7-1 テキスト

- テキストについては、「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」を合わせて75.7%、「普通」も含めると95.6%であった。
- 「わかりにくかった」、「大変わかりにくかった」は合わせて1.8%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より5.2ポイント低かった。
- 「職種／現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より2.9ポイント高かった。
- 「職種／設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体平均より6.3ポイント高かった。

テキスト	回答数	%
大変わかりやすかった	2543	23.1
わかりやすかった	5805	52.6
普通	2200	19.9
わかりにくかった	177	1.6
大変わかりにくかった	17	0.2
無回答	286	2.6
全体	11028	100.0

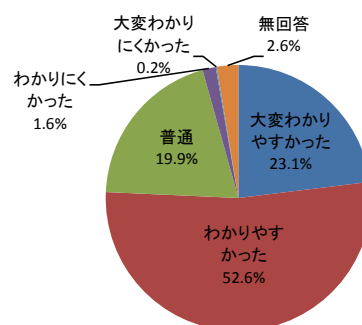
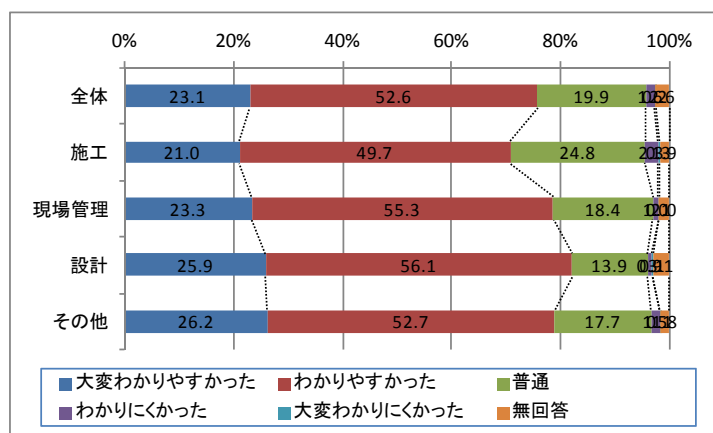


図 I-7-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	11028	23.1	52.6	19.9	1.6	0.2	2.6
施工	4329	21.0	49.7	24.8	2.3	0.3	1.9
(全体との差)		-2.0	-3.0	+4.8	+0.7	+0.1	-
現場管理	3309	23.3	55.3	18.4	0.1	0.1	2.0
(全体との差)		+0.2	+2.7	-1.6	-0.6	-0.1	-
設計	1986	25.9	56.1	13.9	0.9	0.1	3.1
(全体との差)		+2.8	+3.5	-6.1	-0.7	-0.1	-
その他	1235	26.2	52.7	17.7	1.5	0.1	1.8
(全体との差)		+3.1	+0.1	-2.2	-0.1	-0.1	-

図 I-7-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

質問 7-2 DVD

- DVDについては、「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」を合わせて78.4%がわかりやすかったと回答した。「普通」も含めると94.4%であった。
- 「わかりにくかった」、「大変わかりにくかった」と感じた割合は合わせて0.9%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より2.6ポイント低かった。
- 「職種／現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より2.3ポイント高かった。
- 「職種／設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体平均より4.3ポイント高かった。

DVD	回答数	%
大変わかりやすかった	2965	26.9
わかりやすかった	5681	51.5
普通	1759	16.0
わかりにくかった	86	0.8
大変わかりにくかった	9	0.1
無回答	528	4.8
全体	11028	100.0

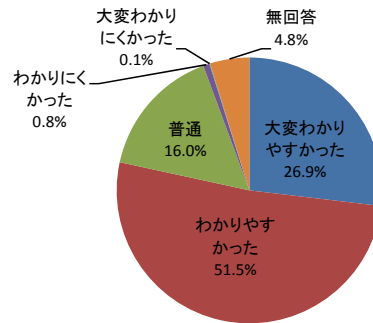
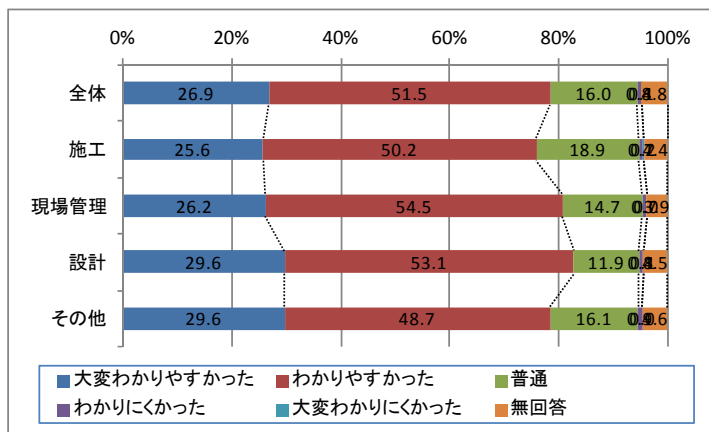


図 I-7-2a DVDのわかりやすさ



	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答
全体	11028	26.9	51.5	16.0	0.8	0.1	4.8
施工	4329	25.6	50.2	18.9	0.7	0.2	4.4
(全体との差)		-1.2	-1.3	+2.9	-0.0	+0.1	-
現場管理	3309	26.2	54.5	14.7	0.7	0.0	3.9
(全体との差)		-0.7	+2.9	-1.3	-0.1	-0.1	-
設計	1986	29.6	53.1	11.9	0.8	0.1	4.5
(全体との差)		+2.7	+1.6	-4.0	-0.0	+0.0	-
その他	1235	29.6	48.7	16.1	0.9	0.0	4.6
(全体との差)		+2.7	-2.8	+0.2	+0.1	-0.1	-

図 I-7-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

質問 7-3 カットモデル

- カットモデルについては、「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」を合わせて 63.6%、「普通」も含める 83.7%であった。
- 「わかりにくかった」、「大変わかりにくかった」は合わせて 3.3%であった。
尚、北海道地域の講習ではカットモデルを使用していない。

《職種別》

- 職種間で回答比率に大きな差は見受けられなかった。

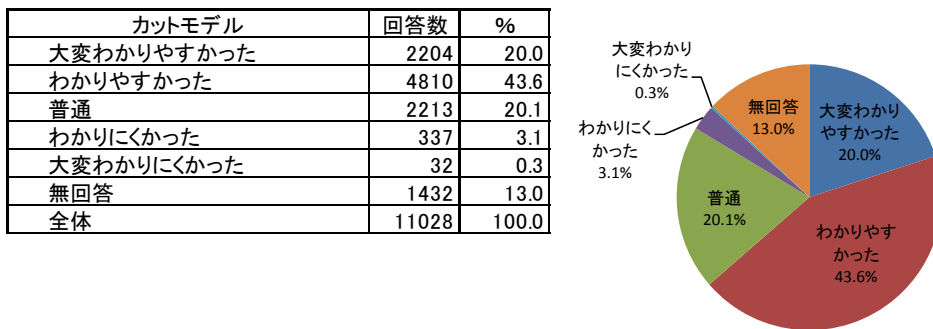
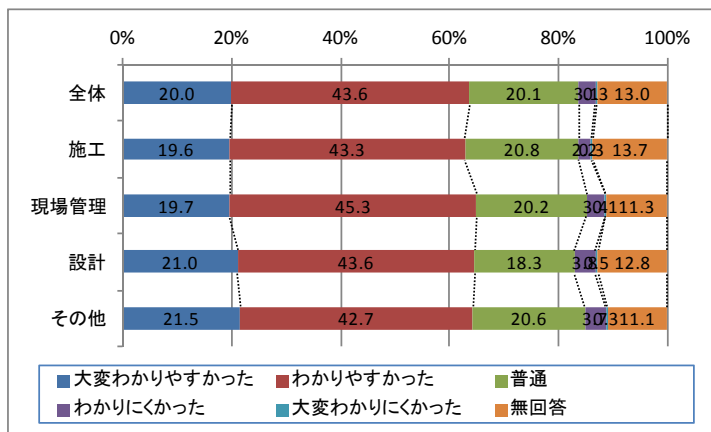


図 I-7-3a カットモデルのわかりやすさ



	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	11028	20.0	43.6	20.1	3.1	0.3	13.0
施工	4329	19.6	43.3	20.8	2.2	0.3	13.7
(全体との差)		-0.4	-0.3	+0.8	-0.8	+0.1	-
現場管理	3309	19.7	45.3	20.2	3.4	0.1	11.3
(全体との差)		-0.3	+1.7	+0.1	+0.4	-0.2	-
設計	1986	21.0	43.6	18.3	3.8	0.5	12.8
(全体との差)		+1.1	-0.1	-1.7	+0.8	+0.2	-
その他	1235	21.5	42.7	20.6	3.7	0.3	11.1
(全体との差)		+1.6	-0.9	+0.6	+0.7	+0.0	-

図 I-7-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

質問 8 講義内容についてお伺いします。

質問 8-1 これからの住まいの省エネについて

- テキスト「第1章／これからの住まいの省エネ化」の講義については「難しいとは思わない」、「易しい」を合わせて78.0%であった。「難しかった」は19.0%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より7.3ポイント低かった。
- 「職種／現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より5.2ポイント高かった。
- 「職種／設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より8.4ポイント高かった。

《地域別》

- 北海道地域は「難しかった」が6.9%で少ない。他の地域は14.0%（東北地域）～22.4%（北陸地域、中国地域）であった。

これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章)	回答数	%
難しかった	2090	19.0
難しいとは思わない	8010	72.6
易しい	595	5.4
無回答	333	3.0
全体	11028	100.0

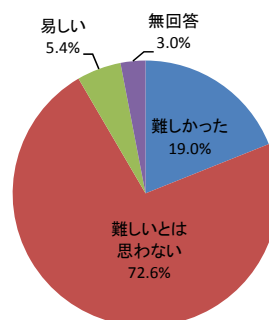


図 I-8-1a 「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	19.0	72.6	5.4	3.0
施工 (全体との差)	4329	25.8 +6.9	66.8 -5.8	3.9 -1.5	3.5
現場管理 (全体との差)	3309	15.1 -3.9	78.2 +5.6	5.0 -0.4	1.7
設計 (全体との差)	1986	12.1 -6.9	78.2 +5.6	8.2 +2.8	1.5
その他 (全体との差)	1235	16.3 -2.7	73.4 +0.7	7.5 +2.1	2.8

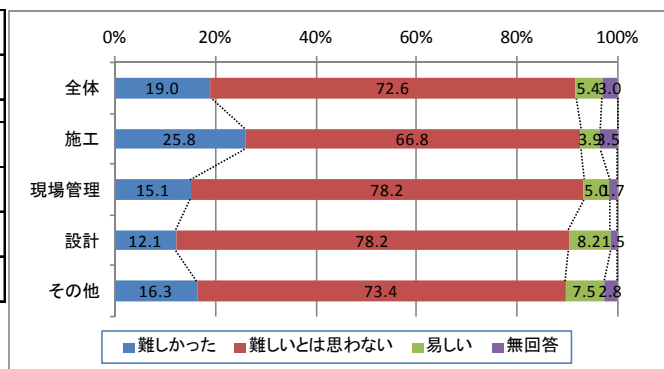


図 I-8-1b 職種別の「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	19.0	72.6	5.4	3.0
北海道 (全体との差)	361	6.9 -12.0	84.2 +11.6	6.6 +1.3	2.2
東北 (全体との差)	1197	14.0 -5.0	77.9 +5.2	5.8 +0.5	2.3
関東 (全体との差)	2880	19.2 +0.2	72.0 -0.7	5.6 +0.2	3.2
北陸 (全体との差)	841	22.4 +3.4	71.0 -1.6	5.2 -0.2	1.4
中部 (全体との差)	1927	21.4 +2.4	71.0 -1.6	4.6 -0.8	3.0
近畿 (全体との差)	1173	17.7 -1.2	73.8 +1.2	5.8 +0.4	2.6
中国 (全体との差)	854	22.4 +3.4	69.2 -3.4	4.0 -1.4	4.4
四国 (全体との差)	454	21.6 +2.6	70.3 -2.4	5.7 +0.3	2.4
九州・沖縄 (全体との差)	1341	18.6 -0.4	71.5 -1.1	5.9 +0.5	4.0

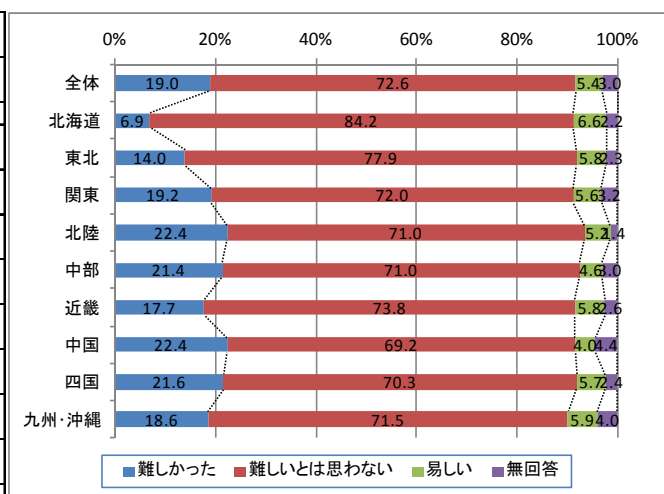


図 I-8-1c 地域別の「第1章／これからの住まいの省エネ化」について

質問 8-2 省エネ住宅の設計/施工について

- テキスト「第2章/住宅の断熱設計」、「第3章/住宅の断熱施工」の講義については「難しいとは思わない」、「易しい」を合わせて74.4%であった。「難しかった」は22.4%であった。

《職種別》

- 「職種/施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より6.1ポイント低かった。
- 「職種/現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より4.9ポイント高かった。
- 「職種/設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より7.8ポイント高かった。

《地域別》

- 北海道地域は「難しかった」が8.6%であった。
- その他の地域の「難しかった」は17.0%(東北地域)~29.1%(北陸地域)で、東北地域以外は20%を超えている。

省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章)	回答数	%
難しかった	2466	22.4
難しいとは思わない	7754	70.3
易しい	453	4.1
無回答	355	3.2
全体	11028	100.0

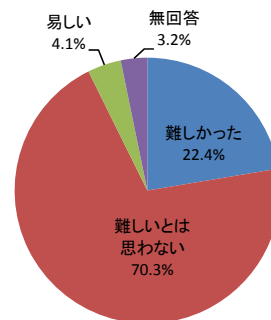


図 I-8-2a 「第2章/住宅の断熱設計」「第3章/住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	22.4	70.3	4.1	3.2
施工 (全体との差)	4329	27.7 +5.3	65.1 -5.2	3.2 -0.9	4.1 -
現場管理 (全体との差)	3309	18.9 -3.4	75.3 +5.0	4.0 -0.1	1.7 -
設計 (全体との差)	1986	16.5 -5.9	76.1 +5.8	6.1 +2.0	1.3 -
その他 (全体との差)	1235	22.9 +0.6	69.9 -0.4	4.6 +0.5	2.6 -

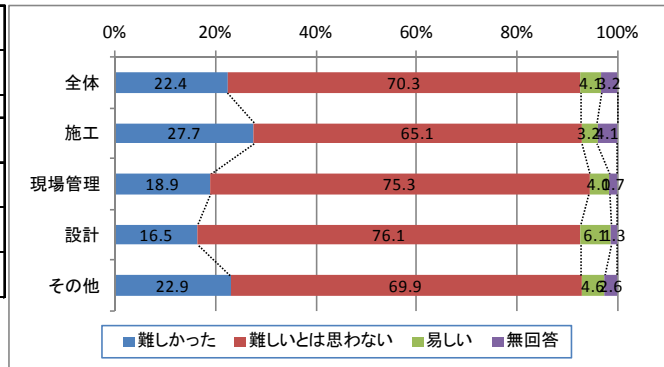


図 I-8-2b 職種別の「第2章/住宅の断熱設計」「第3章/住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	22.4	70.3	4.1	3.2
北海道 (全体との差)	361	8.6 -13.8	82.8 +12.5	6.4 +2.3	2.2 -
東北 (全体との差)	1197	17.0 -5.3	75.3 +5.0	5.3 +1.2	2.4 -
関東 (全体との差)	2880	22.2 -0.1	69.6 -0.7	4.5 +0.4	3.7 -
北陸 (全体との差)	841	29.1 +6.8	65.4 -4.9	3.6 -0.5	1.9 -
中部 (全体との差)	1927	24.3 +2.0	69.6 -0.7	3.1 -1.0	2.9 -
近畿 (全体との差)	1173	22.2 -0.2	71.3 +1.0	4.0 -0.1	2.6 -
中国 (全体との差)	854	24.9 +2.6	67.0 -3.3	3.3 -0.8	4.8 -
四国 (全体との差)	454	24.4 +2.1	68.7 -1.6	4.2 +0.1	2.6 -
九州・沖縄 (全体との差)	1341	21.8 -0.5	69.9 -0.4	4.0 -0.2	4.3 -

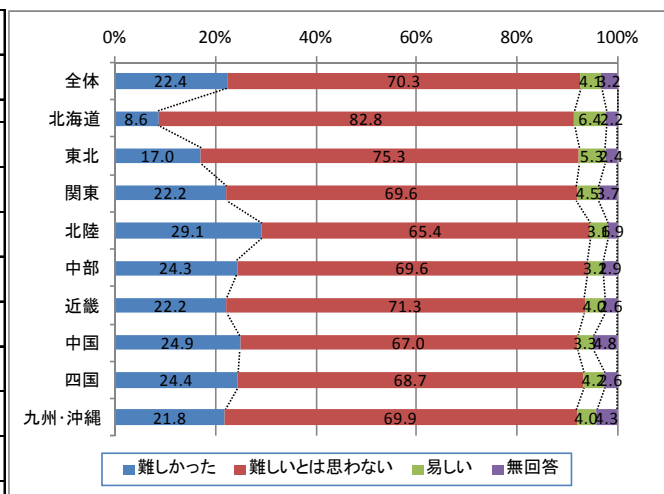


図 I-8-2c 地域別の「第2章/住宅の断熱設計」「第3章/住宅の断熱施工」について

質問 8-3 省エネ基準と関連制度について

- 別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」の講義については「難しいとは思わない」、「易しい」を合わせて 69.4%であった。「難しかった」は 26.6%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より 7.4 ポイント低かった。
- 「職種／現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より 5.0 ポイント高かった。
- 「職種／設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より 8.5 ポイント高かった。

《地域別》

- 北海道地域は「難しかった」が 11.6%であった。
- その他の地域の「難しかった」は 21.7%（東北地域）～30.2%（北陸地域）で 20%を超えている。

省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト)	回答数	%
難しかった	2930	26.6
難しいとは思わない	7248	65.7
易しい	401	3.6
無回答	449	4.1
全体	11028	100.0

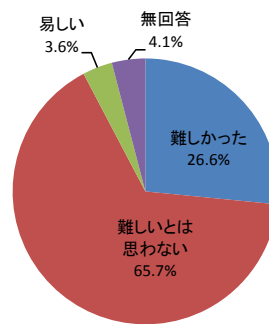


図 I-8-3a 「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	26.6	65.7	3.6	4.1
施工 (全体との差)	4329	32.8 +6.3	59.2 -6.5	2.8 -0.8	5.2
現場管理 (全体との差)	3309	23.1 -3.4	71.2 +5.5	3.2 -0.4	2.4
設計 (全体との差)	1986	20.3 -6.2	72.6 +6.9	5.3 +1.7	1.8
その他 (全体との差)	1235	24.4 -2.2	66.9 +1.2	5.0 +1.4	3.7

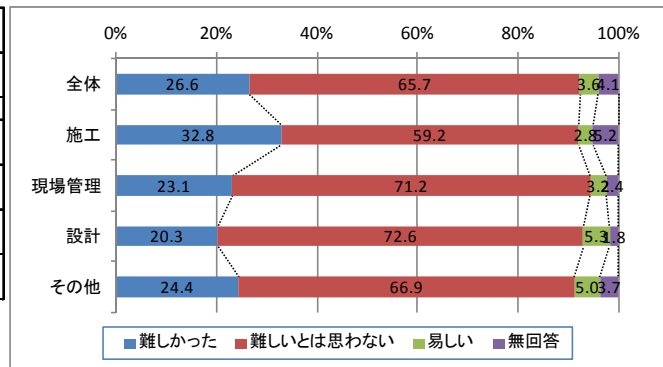


図 I-8-3b 職種別の「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	26.6	65.7	3.6	4.1
北海道 (全体との差)	361	11.6 -14.9	81.2 +15.4	5.0 +1.3	2.2
東北 (全体との差)	1197	21.7 -4.8	70.8 +5.0	4.5 +0.9	3.0
関東 (全体との差)	2880	26.4 -0.2	65.0 -0.7	3.8 +0.2	4.8
北陸 (全体との差)	841	30.2 +3.6	64.3 -1.4	3.1 -0.5	2.4
中部 (全体との差)	1927	29.5 +2.9	64.0 -1.7	2.9 -0.7	3.6
近畿 (全体との差)	1173	27.0 +0.5	66.2 +0.4	3.2 -0.4	3.6
中国 (全体との差)	854	28.3 +1.8	61.9 -3.8	3.3 -0.4	6.4
四国 (全体との差)	454	26.7 +0.1	65.4 -0.3	4.2 +0.5	3.7
九州・沖縄 (全体との差)	1341	27.3 +0.7	64.1 -1.7	3.9 +0.2	4.8

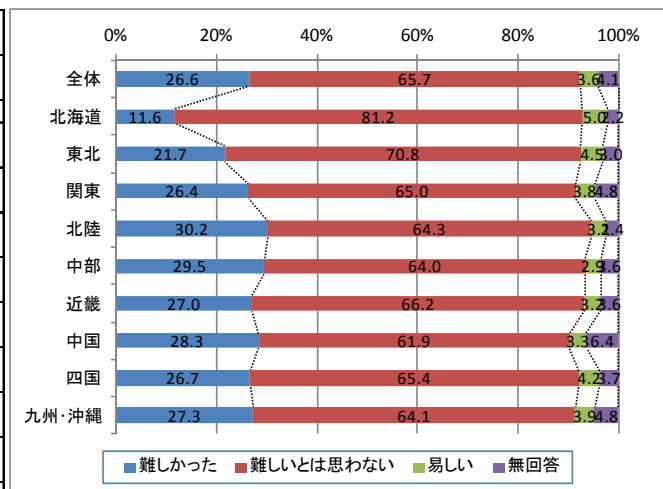


図 I-8-3c 地域別の「別冊テキスト／省エネ基準と関連制度」について

質問 8-4 リフォームについて

- 「第4章／住宅の断熱リフォーム」の講義については「難しいとは思わない」、「易しい」を合わせて70.4%であった。「難しかった」は23.8%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より4.1ポイント低かった。
- 「職種／現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より4.3ポイント高かった。
- 「職種／設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より3.5ポイント高かった。

《地域別》

- 北海道地域は「難しかった」が11.9%であった。
- その他の地域の「難しかった」は20.5%（東北地域）～27.7%（北陸地域）で20%を超えている。
- 北陸地域はテキスト全般について「難しかった」の割合が地域間で最も高かった。

リフォームについて (テキスト第4章)	回答数	%
難しかった	2627	23.8
難しいとは思わない	7370	66.8
易しい	391	3.5
無回答	640	5.8
全体	11028	100.0

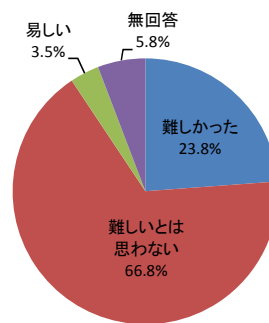


図 I-8-4a 「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	23.8	66.8	3.5	5.8
施工 (全体との差)	4329	27.7 +3.9	63.4 -3.4	3.0 -0.6	5.9
現場管理 (全体との差)	3309	21.3 -2.5	71.7 +4.8	3.0 -0.5	4.0
設計 (全体との差)	1986	20.6 -3.2	69.0 +2.2	4.9 +1.4	5.5
その他 (全体との差)	1235	22.6 -1.2	66.6 -0.2	4.6 +1.1	6.2

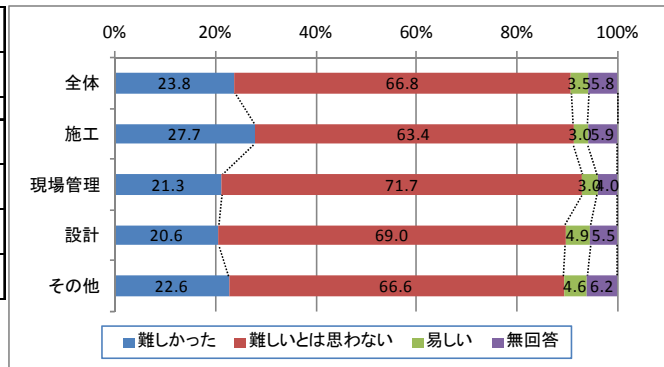


図 I-8-4b 職種別の「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	23.8	66.8	3.5	5.8
北海道 (全体との差)	361	11.9 -11.9	80.3 +13.5	4.7 +1.2	3.0
東北 (全体との差)	1197	20.5 -3.4	71.6 +4.8	4.3 +0.8	3.6
関東 (全体との差)	2880	24.7 +0.9	65.1 -1.7	4.0 +0.5	6.1
北陸 (全体との差)	841	27.7 +3.9	65.4 -1.4	3.0 -0.6	3.9
中部 (全体との差)	1927	24.8 +1.0	66.1 -0.8	3.2 -0.4	6.0
近畿 (全体との差)	1173	22.8 -1.1	68.7 +1.9	3.5 -0.1	5.0
中国 (全体との差)	854	25.9 +2.1	64.3 -2.5	3.2 -0.4	6.7
四国 (全体との差)	454	27.1 +3.3	65.9 -1.0	2.4 -1.1	4.6
九州・沖縄 (全体との差)	1341	22.8 -1.0	64.9 -2.0	3.1 -0.5	9.2

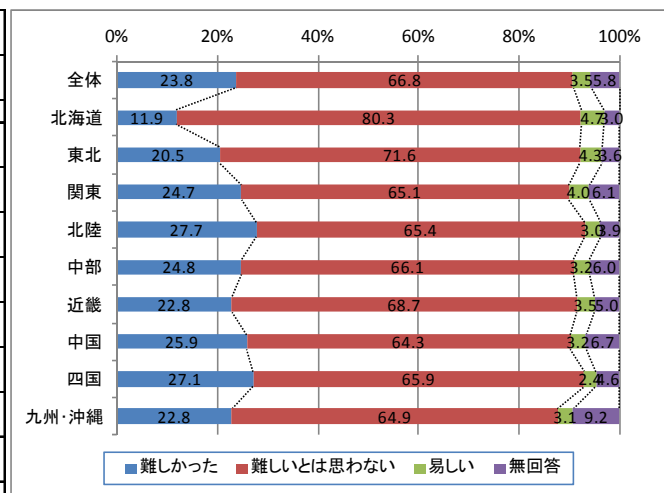


図 I-8-4c 地域別の「第4章／住宅の断熱リフォーム」について

質問9 修了考査について

- 修了考査については「難しいとは思わない」、「易しい」を合わせて69.4%であった。
- 「難しかった」は18.7%であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より6.0ポイント低かった。
- 「職種／現場管理」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より6.2ポイント高かった。
- 「職種／設計」は「わかりやすかった」と感じた割合が全体より6.6ポイント高かった。

《地域別》

- 北海道地域は「難しかった」が11.9%であった。
- その他の地域の「難しかった」は16.0%（近畿地域）～21.0%（北陸地域）であった。

修了考査	回答数	%
難しかった	2057	18.7
難しいとは思わない	6674	60.5
易しい	981	8.9
無回答	1316	11.9
全体	11028	100.0

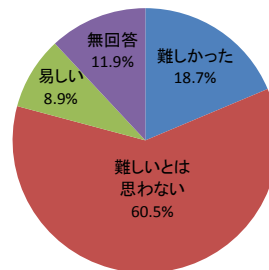


図 I-9a 修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	18.7	60.5	8.9	11.9
施工 (全体との差)	4329	24.0 +5.4	56.5 -4.0	6.8 -2.1	12.6 -
現場管理 (全体との差)	3309	14.6 -4.1	65.7 +5.2	9.9 +1.0	9.8 -
設計 (全体との差)	1986	12.3 -6.4	63.8 +3.3	12.2 +3.3	11.7 -
その他 (全体との差)	1235	20.7 +2.1	58.6 -1.9	8.7 -0.2	12.0 -

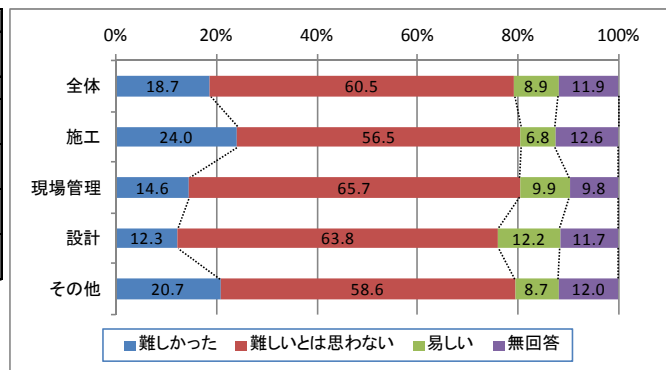


図 I-9b 職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	11028	18.7	60.5	8.9	11.9
北海道 (全体との差)	361	11.9 -6.7	64.5 +4.0	9.4 +0.5	14.1 -
東北 (全体との差)	1197	18.4 -0.3	62.2 +1.6	8.6 -0.3	10.9 -
関東 (全体との差)	2880	19.4 +0.8	58.6 -1.9	8.6 -0.3	13.4 -
北陸 (全体との差)	841	21.0 +2.4	61.1 +0.6	8.9 +0.0	8.9 -
中部 (全体との差)	1927	20.2 +1.5	59.0 -1.5	8.1 -0.7	12.7 -
近畿 (全体との差)	1173	16.0 -2.6	61.7 +1.2	11.6 +2.7	10.7 -
中国 (全体との差)	854	19.9 +1.3	61.1 +0.6	7.8 -1.1	11.1 -
四国 (全体との差)	454	19.8 +1.2	60.8 +0.3	7.0 -1.8	12.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	1341	16.5 -2.2	62.4 +1.9	9.6 +0.7	11.5 -

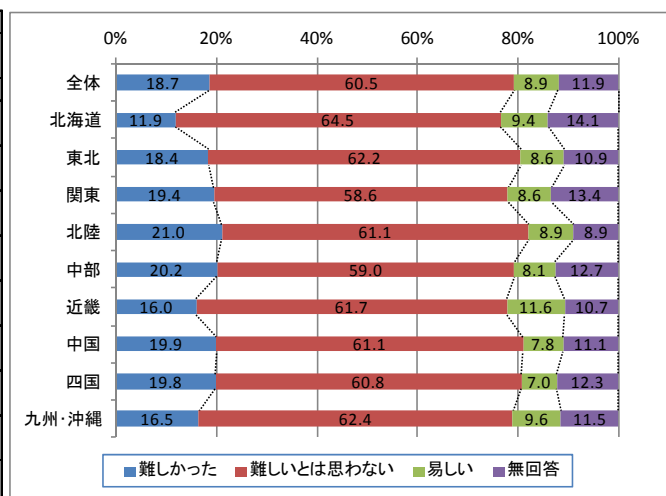


図 I-9c 地域別の修了考査について

質問 10 講師の説明についてお聞きします。

- 講師の説明については「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」を合わせて 47.3%、「普通」も含めると 72.9%であった。
- 「わかりにくかった」、「大変わかりにくかった」と感じた割合は 4.7%であった。
- 無回答は 22.5%であった。

講師の説明	回答数	%
大変わかりやすかった	1350	12.2
わかりやすかった	3868	35.1
普通	2818	25.6
わかりにくかった	436	4.0
大変わかりにくかった	80	0.7
無回答	2476	22.5
全体	11028	100.0

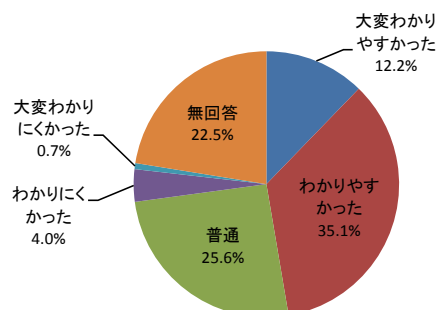


図 I-10 講師の説明について

質問 11 省エネ施工についてお答えください。

質問 11-1 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段施工している「屋根・天井」の断熱工法は「天井断熱」が最も多く 62.2%、「垂木間充填断熱」が 15.5%、「屋根野地上断熱」が 10.2%であった。

《地域別》

- いずれの地域についても「天井断熱」が他の工法より際立って多く、次いで「垂木間充填断熱」、「屋根野地上断熱」の順となる傾向は同じであった。

屋根・天井の断熱工法	回答数	%
天井断熱	6854	62.2
屋根野地上断熱	1128	10.2
垂木間充填断熱	1711	15.5
無回答	2531	23.0
全体	11028	100.0

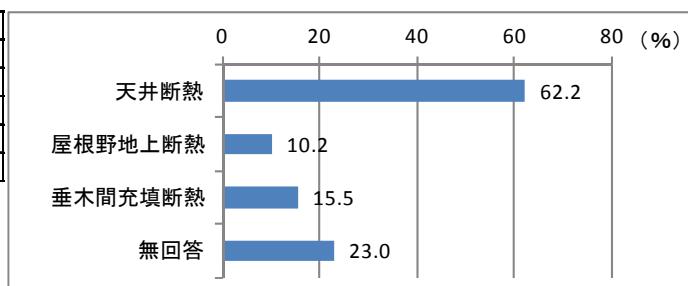


図 I-11-1①a 普段施工している屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	11028	62.2	10.2	15.5	23.0
北海道 (全体との差)	361	65.1 +2.9	11.9 +1.7	12.7 -2.8	18.8
東北 (全体との差)	1197	69.9 +7.8	10.8 +0.5	11.9 -3.7	16.9
関東 (全体との差)	2880	59.9 -2.3	11.6 +1.3	16.0 +0.5	24.7
北陸 (全体との差)	841	66.7 +4.6	6.7 -3.6	12.1 -3.4	20.5
中部 (全体との差)	1927	63.1 +0.9	10.4 +0.2	20.4 +4.9	20.0
近畿 (全体との差)	1173	55.2 -6.9	10.7 +0.4	16.5 +0.9	28.5
中国 (全体との差)	854	67.9 +5.8	8.3 -1.9	13.3 -2.2	19.0
四国 (全体との差)	454	55.7 -6.4	6.8 -3.4	13.0 -2.5	35.0
九州・沖縄 (全体との差)	1341	59.7 -2.5	10.4 +0.2	14.8 -0.7	25.1

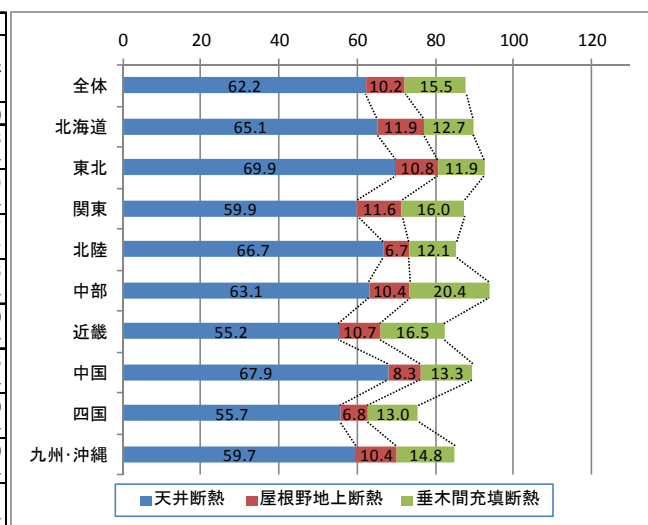


図 I-11-1①b 地域別の普段施工している屋根・天井の断熱工法

質問 11-1 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段施工している「外壁」の断熱工法は「充填断熱」が最も多く 63.7%、「外張断熱」が 9.9%、「充填外張併用断熱」が 5.1%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「充填外張併用断熱」が 39.9%と最も多く、「充填断熱」が 32.4%、「外張断熱」が 15.2%であった。
- 東北地域は「充填断熱」が最も多く 63.7%、「外張断熱」18.0%、「充填外張併用断熱」6.8%であった。
- その他の地域も「充填断熱」が 54.6% (四国地域)～69.5% (中部地域)で最多だが、「外張断熱」は 6.9% (近畿地域)～10.1% (北陸地域)と少なくなる。

外壁の断熱工法	回答数	%
充填断熱	7029	63.7
外張断熱	1097	9.9
充填外張併用断熱	562	5.1
無回答	2751	24.9
全体	11028	100.0

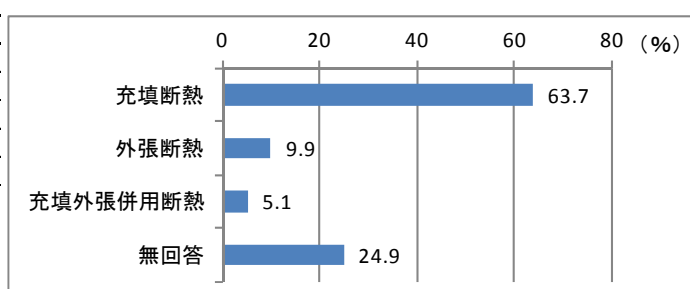


図 I-11-1②a 普段施工している外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	11028	63.7	9.9	5.1	24.9
北海道	361	32.4	15.2	39.9	17.5
(全体との差)		-31.3	+5.3	+34.8	-
東北	1197	63.7	18.0	6.8	18.4
(全体との差)		-0.1	+8.0	+1.7	-
関東	2880	64.1	9.7	3.2	26.7
(全体との差)		+0.4	-0.3	-1.9	-
北陸	841	68.4	10.1	4.0	21.9
(全体との差)		+4.6	+0.2	-1.1	-
中部	1927	69.5	8.8	4.0	21.6
(全体との差)		+5.8	-1.1	-1.0	-
近畿	1173	62.7	6.9	2.7	30.1
(全体との差)		-1.1	-3.0	-2.4	-
中国	854	68.6	7.0	4.7	22.7
(全体との差)		+4.9	-2.9	-0.4	-
四国	454	54.6	7.0	2.9	37.4
(全体との差)		-9.1	-2.9	-2.2	-
九州・沖縄	1341	61.1	9.0	3.6	28.6
(全体との差)		-2.6	-0.9	-1.5	-

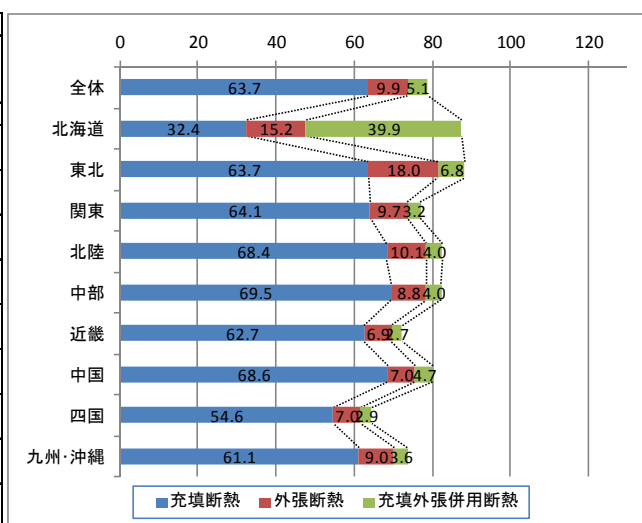


図 I-11-1②b 地域別の普段施工している外壁の断熱工法

質問 11-1 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段施工している「床・基礎」の断熱工法は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 39.7%、「床断熱(大引間充填)」が 24.8%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 6.3%、「基礎断熱」が 12.8%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「基礎断熱」が最も多く 54.3%であった。
- 東北地域は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 33.9%、次いで「床断熱(大引間充填)」が 28.2%であった。「基礎断熱」は 22.8%でそれらより少ないが 20%を超えている。
- その他の地域は「床断熱(根太間充填)」が 32.9%(近畿地域)～51.0%(北陸地域)、「床断熱(大引間充填)」が 16.7%(四国地域)～33.6%(近畿地域)となっており、「基礎断熱」は 7.0%(四国地域)～13.6%(九州地域)と少なくなっている。
- 北海道地域とその他の地域とでは、床暖熱と基礎断熱の割合が逆転する。
- 東北地域は、北海道を除くその他の地域と比較して、床暖熱の割合が基礎断熱より高いことでは同じだが、基礎断熱の割合自体は他の地域より高くなっている。

床・基礎の断熱工法	回答数	%
床断熱(根太間充填)	4381	39.7
床断熱(大引間充填)	2735	24.8
床断熱(根太+大引間充填)	696	6.3
基礎断熱	1411	12.8
無回答	2752	25.0
全体	11028	100.0

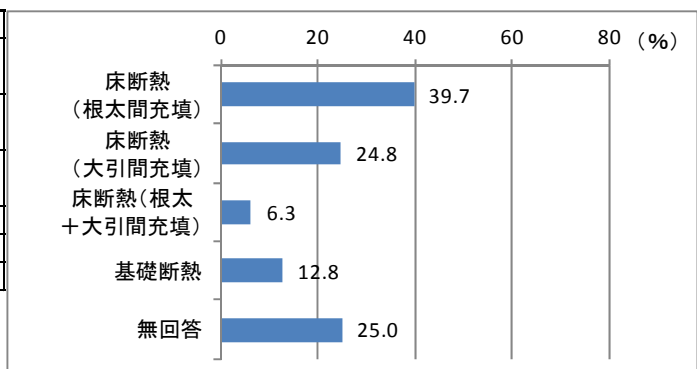


図 I-11-1③a 普段施工している床・基礎の断熱工法

	合計(回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱(根太間充填)	床断熱(大引間充填)	床断熱(根太+大引間充填)	基礎断熱	
全体	11028	39.7	24.8	6.3	12.8	25.0
北海道	361	12.2	10.2	12.2	54.3	18.3
(全体との差)		-27.5	-14.6	+5.9	+41.5	-
東北	1197	33.9	28.2	6.6	22.8	19.2
(全体との差)		-5.8	+3.4	+0.3	+10.0	-
関東	2880	40.3	25.0	6.1	10.9	25.9
(全体との差)		+0.6	+0.2	-0.2	-1.9	-
北陸	841	51.0	17.7	5.6	9.0	22.0
(全体との差)		+11.3	-7.1	-0.7	-3.8	-
中部	1927	42.9	28.7	6.0	9.6	22.0
(全体との差)		+3.1	+3.9	-0.3	-3.2	-
近畿	1173	32.9	33.6	6.3	6.8	30.0
(全体との差)		-6.8	+8.8	-0.0	-6.0	-
中国	854	45.2	27.3	8.1	8.5	21.0
(全体との差)		+5.5	+2.5	+1.8	-4.2	-
四国	454	42.1	16.7	3.3	7.0	36.8
(全体との差)		+2.3	-8.1	-3.0	-5.7	-
九州・沖縄	1341	41.2	17.6	5.7	13.6	30.1
(全体との差)		+1.4	-7.2	-0.6	+0.9	-

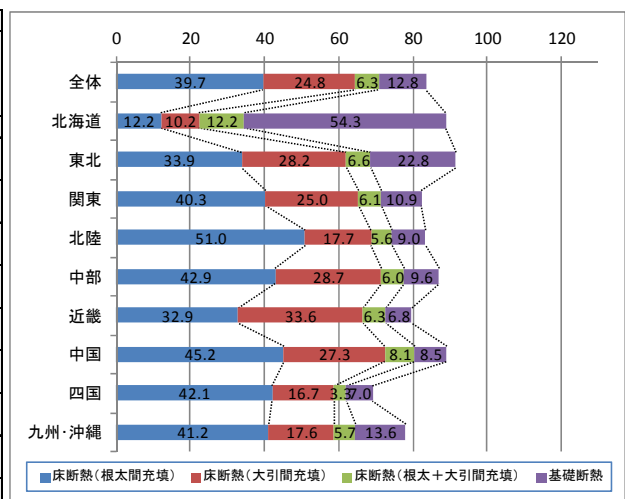


図 I-11-1③b 地域別の普段施工している床・基礎の断熱工法

質問 11-1 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 84.0%、「垂木間充填断熱」が 19.6%、「屋根野地上断熱」が 9.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 55.1%と最多ではあるが、「屋根野地上断熱」も 47.3%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」は 27.4%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 75.4%、「垂木間充填断熱」が 31.0%、「屋根野地上断熱」が 24.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
全体	11028	62.2	10.2	15.5	23.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	7029	84.0	9.1	19.6	1.1
	外張断熱	1097	55.1	47.3	27.4	3.7
	充填外張 併用断熱	562	75.4	24.9	31.0	1.4

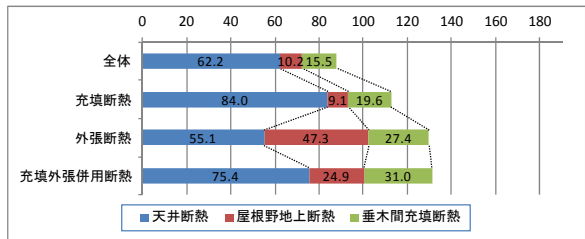


図 I-11-1④a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 87.2%、「垂木間充填断熱」が 12.0%、「屋根野地上断熱」が 9.4%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 50.9%と最多ではあるが、「屋根野地上断熱」も 43.6%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」が 18.2%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 83.3%、「垂木間充填断熱」が 18.8%、「屋根野地上断熱」が 10.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北海道全体	361	65.1	11.9	12.7	18.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	117	87.2	9.4	12.0	1.7
	外張断熱	55	50.9	43.6	18.2	5.5
	充填外張 併用断熱	144	83.3	10.4	18.8	0.7

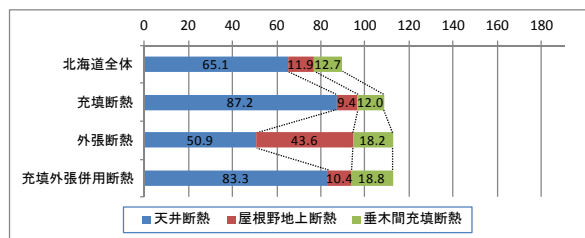


図 I-11-1④b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 91.6%、「垂木間充填断熱」が 11.9%、「屋根野地上断熱」が 7.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 60.9%と最多ではあるが、「屋根野地上断熱」も 40.5%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」が 24.7%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.5%、「垂木間充填断熱」が 34.6%、「屋根野地上断熱」が 29.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
東北全体	1197	69.9	10.8	11.9	16.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	762	91.6	7.1	11.9	0.3
	外張断熱	215	60.9	40.5	24.7	1.4
	充填外張 併用断熱	81	76.5	29.6	34.6	0.0

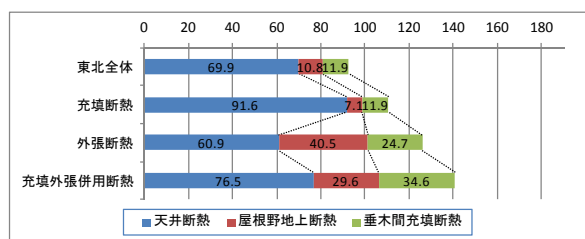


図 I-11-1④c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 83.0%、「垂木間充填断熱」が 20.8%、「屋根野地上断熱」が 10.4%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が 54.7%と最多ではあるが、「天井断熱」も 48.9%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」が 26.6%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.9%、「垂木間充填断熱」が 42.4%、「屋根野地上断熱」が 39.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
関東全体	2880	59.9	11.6	16.0	24.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1846	83.0	10.4	20.8	1.6
	外張断熱	278	48.9	54.7	26.6	4.7
	充填外張 併用断熱	92	73.9	39.1	42.4	3.3

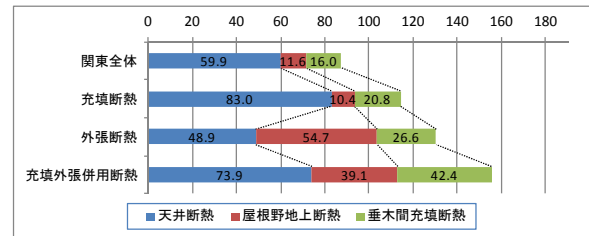


図 I-11-1④d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 88.5%、「垂木間充填断熱」が 13.4%、「屋根野地上断熱」が 5.4%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 52.9%、「屋根野地上断熱」が 34.1%、「垂木間充填断熱」が 31.8%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 61.8%、「垂木間充填断熱」が 32.4%、「屋根野地上断熱」が 20.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北陸全体	841	66.7	6.7	12.1	20.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	575	88.5	5.4	13.4	0.3
	外張断熱	85	52.9	34.1	31.8	8.2
	充填外張 併用断熱	34	61.8	20.6	32.4	2.9

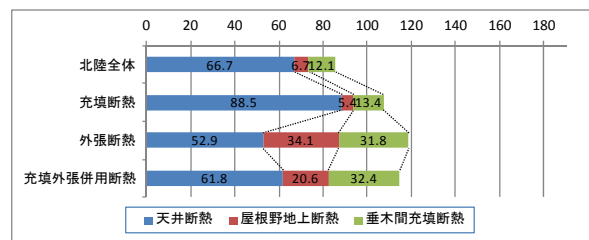


図 I-11-1④e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 81.0%、「垂木間充填断熱」が 25.6%、「屋根野地上断熱」が 9.0%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 58.8%と最多ではあるが、「屋根野地上断熱」も 50.6%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」が 31.8%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 74.4%、「垂木間充填断熱」が 34.6%、「屋根野地上断熱」が 28.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中部全体	1927	63.1	10.4	20.4	20.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1340	81.0	9.0	25.6	1.3
	外張断熱	170	58.8	50.6	31.8	3.5
	充填外張 併用断熱	78	74.4	28.2	34.6	1.3

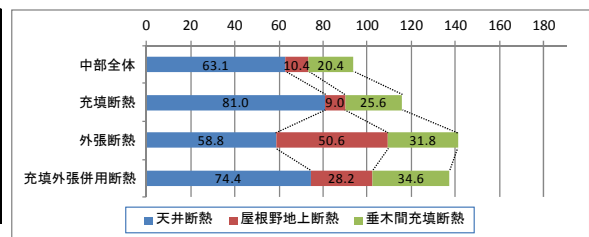


図 I-11-1④f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 79.6%、「垂木間充填断熱」が 22.2%、「屋根野地上断熱」が 11.0%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が 55.6%と最多ではあるが、「天井断熱」も 53.1%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」が 27.2%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 71.9%、「垂木間充填断熱」が 46.9%、「屋根野地上断熱」が 34.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
近畿全体	1173	55.2	10.7	16.5	28.5
断熱 工法 外壁	充填断熱	79.6	11.0	22.2	1.2
	外張断熱	53.1	55.6	27.2	3.7
	充填外張 併用断熱	32	71.9	34.4	46.9

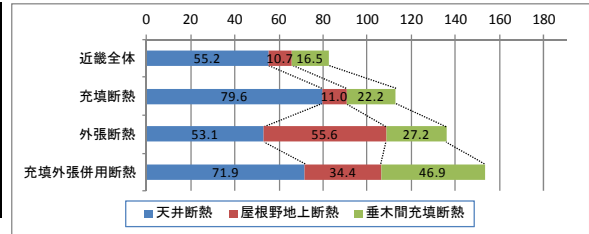


図 I-11-1④g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 84.5%、「垂木間充填断熱」が 15.4%、「屋根野地上断熱」が 8.5%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 60.0%、「屋根野地上断熱」が 48.3%、「垂木間充填断熱」が 38.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 65.0%、「屋根野地上断熱」が 27.5%、「垂木間充填断熱」が 22.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
中国全体	854	67.9	8.3	13.3	19.0
断熱 工法 外壁	充填断熱	84.5	8.5	15.4	1.2
	外張断熱	60.0	48.3	38.3	1.7
	充填外張 併用断熱	40	65.0	27.5	22.5

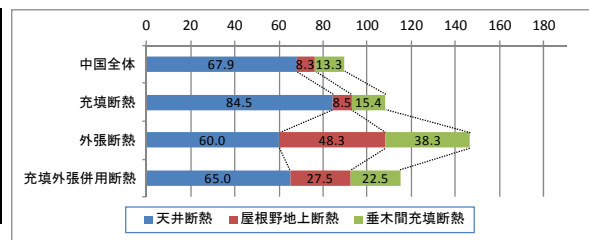


図 I-11-1④h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 89.9%、「垂木間充填断熱」が 18.5%、「屋根野地上断熱」が 8.5%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 53.1%、「垂木間充填断熱」が 40.6%、「屋根野地上断熱」が 34.4%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 84.6%、「垂木間充填断熱」が 46.2%、「屋根野地上断熱」が 23.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
四国全体	454	55.7	6.8	13.0	35.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	89.9	8.5	18.5	0.0	
	外張断熱	32	53.1	34.4	40.6	3.1
	充填外張 併用断熱	13	84.6	23.1	46.2	0.0

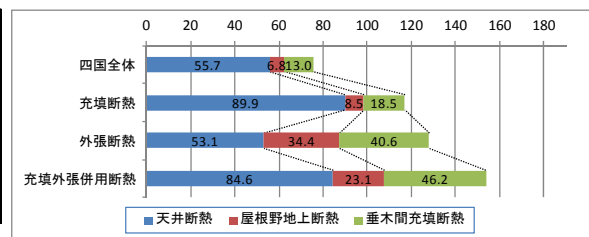


図 I-11-1④i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.2%、「垂木間充填断熱」が 20.7%、「屋根野地上断熱」が 10.0%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 56.2%、「屋根野地上断熱」が 46.3%、「垂木間充填断熱」が 20.7%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 72.9%、「垂木間充填断熱」が 25.0%、「屋根野地上断熱」が 22.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
九州・沖縄全体	1341	59.7	10.4	14.8	25.1
断熱 工法 外壁	充填断熱	82.2	10.0	20.7	1.5
	外張断熱	56.2	46.3	20.7	3.3
	充填外張 併用断熱	48	72.9	22.9	25.0

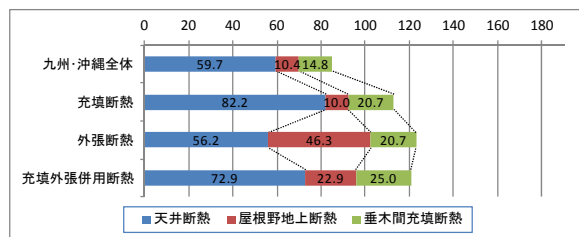


図 I-11-1④j 同 九州・沖縄地域

質問 11-1 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「床断熱(根太間充填)」が 54.3%、「床断熱(大引間充填)」が 34.7%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.9%、「基礎断熱」が 11.7%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 47.9%、「床断熱(根太間充填)」が 37.8%、「床断熱(大引間充填)」が 27.4%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 9.6%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 46.6%、「床断熱(根太間充填)」が 37.0%、「床断熱(大引間充填)」が 28.1%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 15.5%であった。
- 外壁の外張工法と併用工法について、床の工法との組合せは似通った傾向で、「基礎断熱」との組合せが多くなっている。

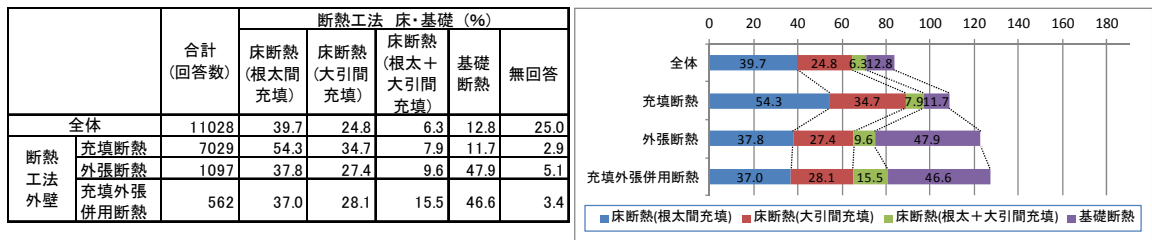


図 I-11-1⑤a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 43.6%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 20.5%、「床断熱(大引間充填)」が 17.9%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 23.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 83.6%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 9.1%、「床断熱(大引間充填)」が 3.6%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 75.7%、床断熱は「床断熱(大引間充填)」、「床断熱(根太+大引間充填)」が共に 12.5%、「床断熱(根太間充填)」が 11.8%であった。
- 北海道地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても基礎断熱が最多であった。特に外張、併用の場合は基礎断熱の割合が高くなる。

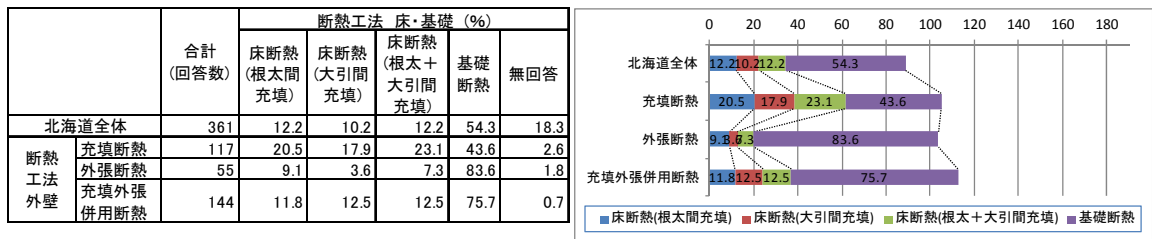


図 I-11-1⑤b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 20.1%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 45.1%、「床断熱(大引間充填)」が 39.6%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.9%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 60.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 31.2%、「床断熱(大引間充填)」が 22.8%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 6.5%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 63.0%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 29.6%、「床断熱(大引間充填)」が 30.9%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 12.3%であった。
- 東北地域では外壁充填断熱は根太間、大引間の床断熱との組合せ、外壁外張りとは併用断熱は基礎断熱との組合せの割合が高くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
東北全体	1197	33.9	28.2	6.6	22.8	19.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	762	45.1	39.6	7.9	20.1	1.8
	外張断熱	215	31.2	22.8	6.5	60.5	3.7
	充填外張 併用断熱	81	29.6	30.9	12.3	63.0	3.7

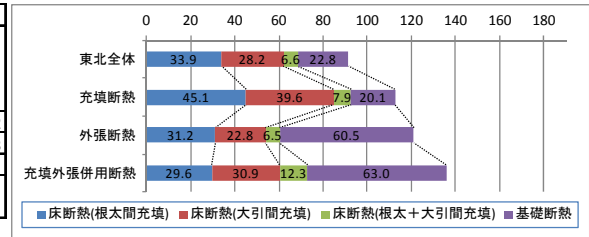


図 I-11-1⑤c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは、「基礎断熱」が 9.9%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 55.3%、「床断熱(大引間充填)」が 34.9%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 8.2%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 50.7%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 36.3%、「床断熱(大引間充填)」が 27.0%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 10.8%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 32.6%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 50.0%、「床断熱(大引間充填)」が 38.0%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 15.2%であった。
- 関東地域では、外壁充填と併用断熱は根太間の床断熱との組合せ、外壁外張断熱は基礎断熱との組合せの割合が高くなる。北海道地域、東北地域と比較し、基礎断熱との組合せの割合は低くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
関東全体	2880	40.3	25.0	6.1	10.9	25.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1846	55.3	34.9	8.2	9.9	2.6
	外張断熱	278	36.3	27.0	10.8	50.7	6.8
	充填外張 併用断熱	92	50.0	38.0	15.2	32.6	6.5

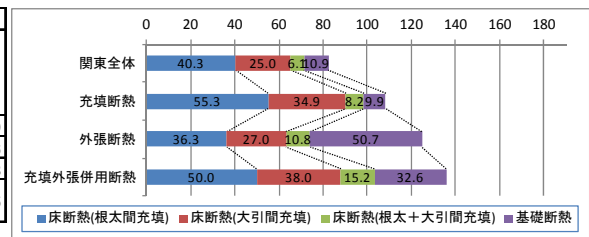


図 I-11-1⑤d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 7.0%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 67.1%、「床断熱(大引間充填)」が 23.3%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 6.3%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 43.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 43.5%、「床断熱(大引間充填)」が 20.0%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.1%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 35.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 41.2%、「床断熱(大引間充填)」が 26.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 17.6%であった。
- 北陸地域では外壁充填断熱は根太間の床断熱との組合せ、外壁外張と併用断熱は基礎断熱と根太間の床断熱との組合せの割合が高くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北陸全体	841	51.0	17.7	5.6	9.0	22.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	575	67.1	23.3	6.3	7.0	2.8
	外張断熱	85	43.5	20.0	7.1	43.5	3.5
	充填外張 併用断熱	34	41.2	26.5	17.6	35.3	0.0

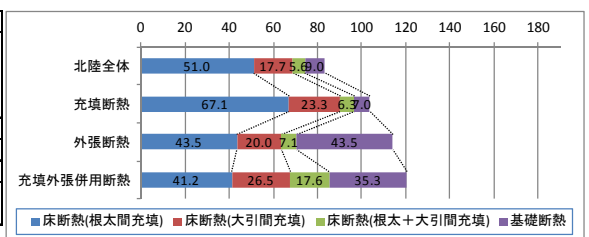


図 I-11-1⑤e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 9.4%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 55.4%、「床断熱(大引間充填)」が 37.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 6.6%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 37.1%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 41.2%、「床断熱(大引間充填)」が 33.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 11.8%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 30.8%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 46.2%、「床断熱(大引間充填)」が 37.2%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 24.4%であった。
- 中部地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
中部全体	1927	42.9	28.7	6.0	9.6	22.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1340	55.4	37.5	6.6	9.4	3.1
	外張断熱	170	41.2	33.5	11.8	37.1	4.1
	充填外張 併用断熱	78	46.2	37.2	24.4	30.8	1.3

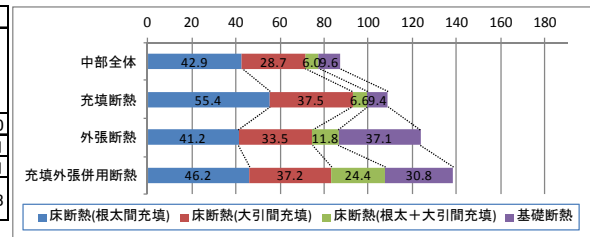


図 I-11-1(5)f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 6.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 45.4%、「床断熱(大引間充填)」が 49.0%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 8.8%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 46.9%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 43.2%、「床断熱(大引間充填)」が 37.0%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.4%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 28.1%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(大引間充填)」共 53.1%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 15.6%であった。
- 近畿地域は外壁充填と併用断熱は根太間、大引間の床断熱との組合せの割合が高くなる。外壁外張断熱は基礎断熱、根太間、大引間の床断熱と差はあまり無い。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)					
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	無回答	
近畿全体	1173	32.9	33.6	6.3	6.8	30.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	735	45.4	49.0	8.8	6.5	3.3
	外張断熱	81	43.2	37.0	7.4	46.9	2.5
	充填外張 併用断熱	32	53.1	53.1	15.6	28.1	3.1

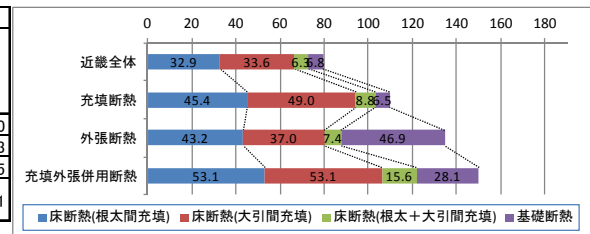


図 I-11-1(5)g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 9.4%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 55.6%、「床断熱(大引間充填)」が 34.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 9.6%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 33.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 51.7%、「床断熱(大引間充填)」が 46.7%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 18.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 22.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 50.0%、「床断熱(大引間充填)」が 37.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 12.5%であった。
- 中部地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中国全体	854	45.2	27.3	8.1	8.5	21.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	586	55.6	34.5	9.6	9.4	3.1
	外張断熱	60	51.7	46.7	18.3	33.3	1.7
	充填外張 併用断熱	40	50.0	37.5	12.5	22.5	2.5

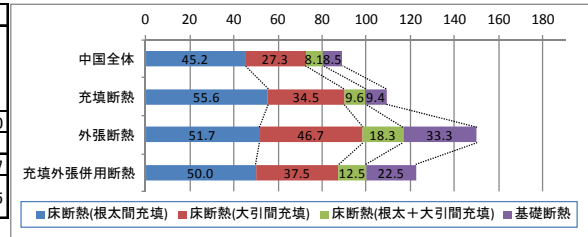


図 I-11-1⑤h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 8.9%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 67.3%、「床断熱(大引間充填)」が 26.2%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 5.2%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 31.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 46.9%、「床断熱(大引間充填)」が 34.4%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 12.5%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 30.8%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 76.9%、「床断熱(大引間充填)」、「床断熱(根太+大引間充填)」共 23.1%であった。
- 四国地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
四国全体	454	42.1	16.7	3.3	7.0	36.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	248	67.3	26.2	5.2	8.9	2.0
	外張断熱	32	46.9	34.4	12.5	31.3	6.3
	充填外張 併用断熱	13	76.9	23.1	23.1	30.8	0.0

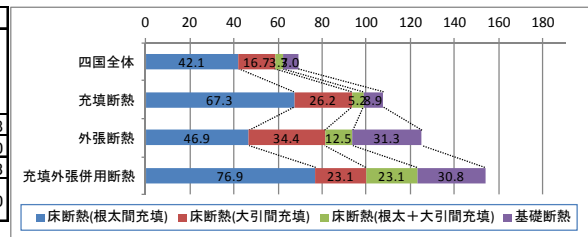


図 I-11-1⑤i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 17.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 57.6%、「床断熱(大引間充填)」が 25.1%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.3%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 33.9%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 44.6%、「床断熱(大引間充填)」が 26.4%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 8.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 29.2%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 50.0%、「床断熱(大引間充填)」、「床断熱(根太+大引間充填)」共 14.6%であった。
- 九州地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
九州・沖縄全体	1341	41.2	17.6	5.7	13.6	30.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	820	57.6	25.1	7.3	17.3	4.3
	外張断熱	121	44.6	26.4	8.3	33.9	10.7
	充填外張 併用断熱	48	50.0	14.6	14.6	29.2	12.5

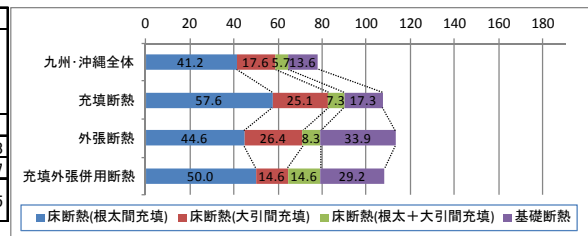


図 I-11-1⑤j 同 九州・沖縄地域

質問 11-2 11-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段施工している「屋根・天井」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.9%、「発泡プラスチック系断熱材」が 21.4%、「その他」が 10.5%であった。

《地域別》

- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が 72.0% (北海道地域)～82.5% (中国地域) で最多となっている。
- 「発泡プラスチック系断熱材」は北海道地域が 14.7%、北陸地域が 16.9% で 20% を下回るが、他の地域は 20.0% (近畿地域)～23.3% (東北地域) となっている。

屋根・天井の断熱材料	回答数	%
グラスウール、 ロックウール	6702	78.9
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	1817	21.4
その他	888	10.5
無回答	107	1.3
全体	8497	100.0

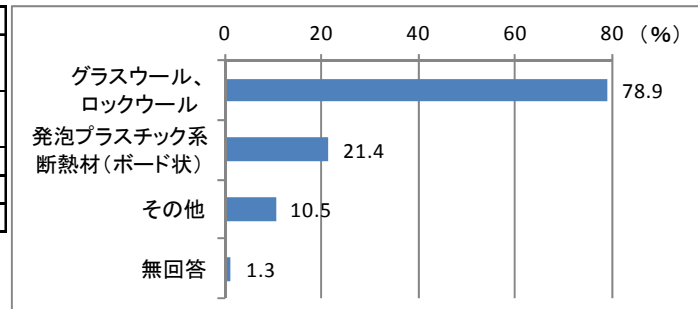


図 I-11-2①a 普段施工している屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボ-ド状)	その他	無回答
全体	8497	78.9	21.4	10.5	1.3
北海道 (全体との差)	293	72.0 -6.9	14.7 -6.7	20.1 +9.7	2.4 -
東北 (全体との差)	995	78.6 -0.3	23.3 +1.9	7.8 -2.6	0.9 -
関東 (全体との差)	2169	80.4 +1.5	21.8 +0.4	9.2 -1.3	1.6 -
北陸 (全体との差)	669	79.8 +0.9	16.9 -4.5	11.8 +1.4	0.9 -
中部 (全体との差)	1541	75.3 -3.6	23.2 +1.8	13.6 +3.2	1.2 -
近畿 (全体との差)	839	79.0 +0.1	20.0 -1.4	13.1 +2.7	0.6 -
中国 (全体との差)	692	82.5 +3.6	21.1 -0.3	7.2 -3.2	1.3 -
四国 (全体との差)	295	81.7 +2.8	21.4 -0.0	8.1 -2.3	0.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	1004	79.3 +0.4	22.0 +0.6	7.9 -2.6	1.7 -

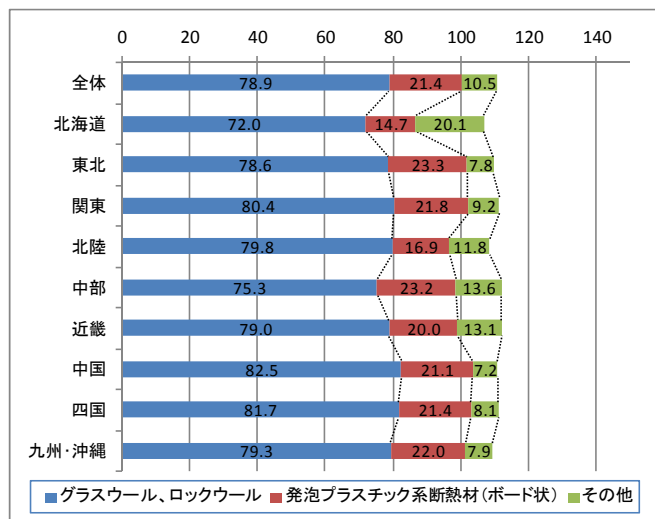


図 I-11-2①b 地域別の普段施工している屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	228	2.7%
吹込グラスウール、ロックウール	7	0.1%
吹込その他	36	0.4%
現場発泡ウレタン(a)	249	2.9%
発泡プラスチック系(ボ-ド状)(b)	16	0.2%
ウレタン(aかbか不明)	118	1.4%
ポリエステル	22	0.3%
木質系	15	0.2%
羊毛	59	0.7%
コルク	3	0.0%
未分類	45	0.5%
その他記入有り合計	798	9.4%
その他全体	888	10.5%
全体	8497	100.0%

図 I-11-2①c 普段施工している屋根・天井の断熱材料「その他」記述

質問 11-2 11-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段施工している「外壁」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.2%、「発泡プラスチック系断熱材」が 21.1%、「その他」が 10.7%であった。

《地域別》

- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が 71.5% (北海道地域)～82.4% (四国地域) で最多となっている。
- 「発泡プラスチック系断熱材」は北海道地域が 46.3%、東北地域が 28.6% で他の地域より大きい割合となっており、その他の地域は 17.6% (関東地域)～21.2% (中部地域) で、20%前後となっている。

外壁の断熱材料	回答数	%
グラスウール、ロックウール	6475	78.2
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	1743	21.1
その他	883	10.7
無回答	107	1.3
全体	8277	100.0

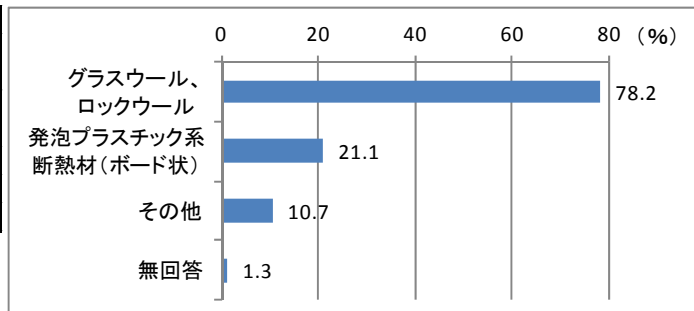


図 I-11-2②a 普段施工している外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	8277	78.2	21.1	10.7	1.3
北海道	298	71.5	46.3	11.4	2.3
(全体との差)		-6.8	+25.3	+0.7	-
東北	977	76.2	28.6	7.2	0.7
(全体との差)		-2.1	+7.5	-3.5	-
関東	2112	80.7	17.6	9.2	1.8
(全体との差)		+2.5	-3.4	-1.5	-
北陸	657	78.8	18.1	12.0	1.2
(全体との差)		+0.6	-2.9	+1.4	-
中部	1511	74.8	21.2	14.7	1.1
(全体との差)		-3.4	+0.2	+4.0	-
近畿	820	75.9	18.7	14.6	1.1
(全体との差)		-2.4	-2.4	+4.0	-
中国	660	81.4	20.0	7.7	1.1
(全体との差)		+3.1	-1.1	-2.9	-
四国	284	82.4	19.7	8.5	0.4
(全体との差)		+4.2	-1.3	-2.2	-
九州・沖縄	958	80.7	18.1	9.3	1.6
(全体との差)		+2.5	-3.0	-1.4	-

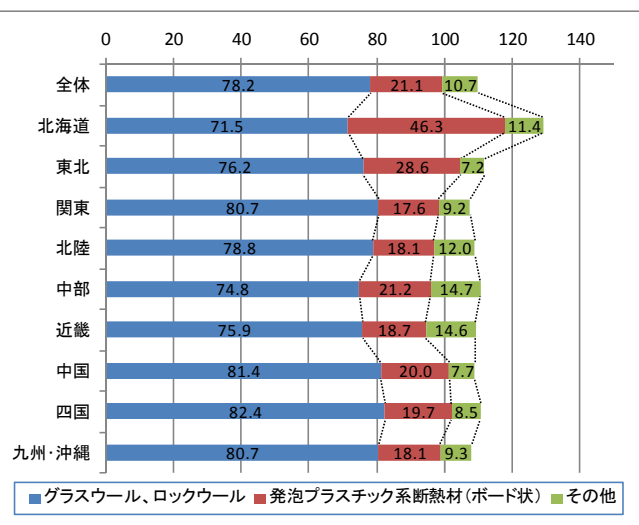


図 I-11-2②b 地域別の普段施工している外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	208	2.5%
吹込グラスウール、ロックウール		0.0%
吹込その他	2	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	391	4.7%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	22	0.3%
ウレタン(aかbか不明)		0.0%
ポリエステル	25	0.3%
木質系	5	0.1%
羊毛	69	0.8%
コルク	3	0.0%
未分類	65	0.8%
その他記入有り合計	790	9.5%
その他全体	883	10.7%
全体	8277	100.0%

図 I-11-2②c 普段施工している外壁の断熱材料「その他」記述

質問 11-2 11-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段施工している「床・基礎」の断熱材は「発泡プラスチック系断熱材」が最も多く 78.0%、「グラスウール・ロックウール」が 20.6%、「その他」が 5.3%であった。

《地域別》

- いずれの地域も「発泡プラスチック系断熱材」が 65.8% (北海道地域)～85.8% (中国地域) で最多となっている。
- 「グラスウール・ロックウール」は北海道地域は 33.9% で他の地域より少し大きい割合となっている。その他の地域は 12.0% (北陸地域)～25.0% (関東地域) となっている。

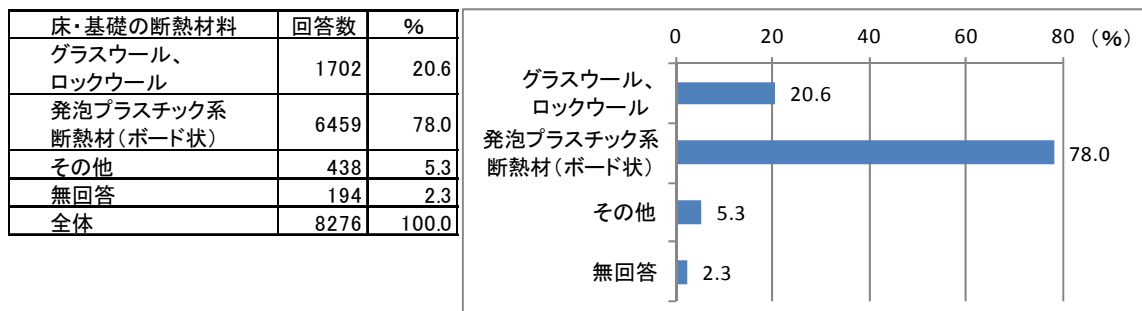


図 I-11-2③a 普段施工している床・基礎の断熱材料

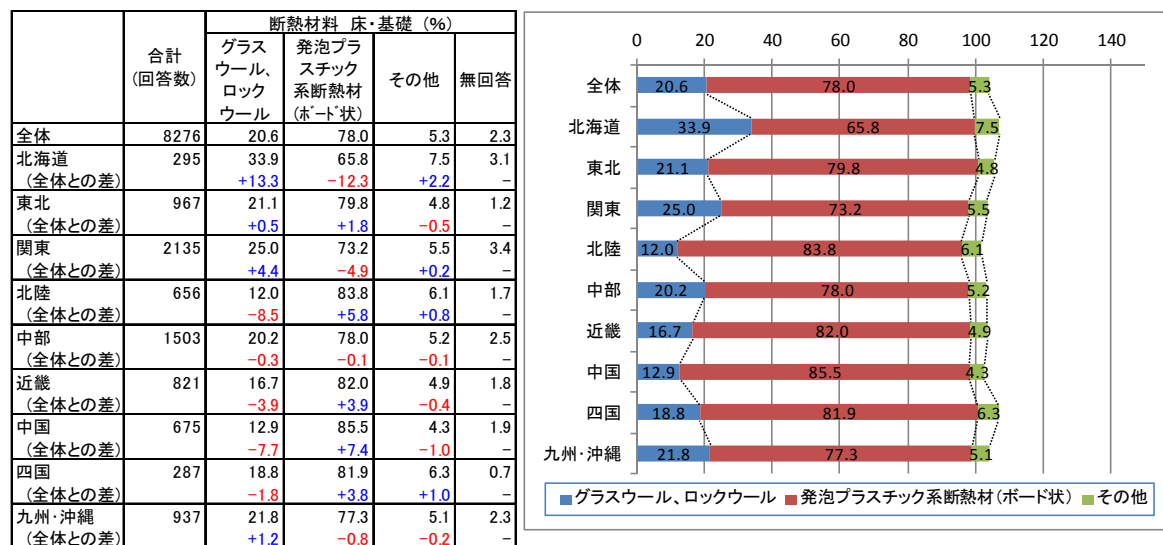


図 I-11-2③b 地域別の普段施工している床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	91	1.1%
吹込グラスウール、ロックウール	2	0.0%
吹込その他	1	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	143	1.7%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	55	0.7%
ウレタン(aかbか不明)	1	0.0%
ポリエステル	9	0.1%
木質系	2	0.0%
羊毛	21	0.3%
コルク	3	0.0%
未分類	22	0.3%
その他記入有り合計	350	4.2%
その他全体	438	5.3%
全体	8276	100.0%

図 I-11-2③c 普段施工している床・基礎の断熱材料「その他」記述

質問 11-2 11-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 94.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 15.4%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 70.8%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 55.6%であった。外壁にグラスウール等を使用する場合程の差は見られない。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が 87.3%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 25.5%であった。
- 「外壁／その他」と「屋根・天井／その他」の組合せは、その内の約 8 割が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば屋根・天井、外壁共にセルローズファイバーである組合せ)

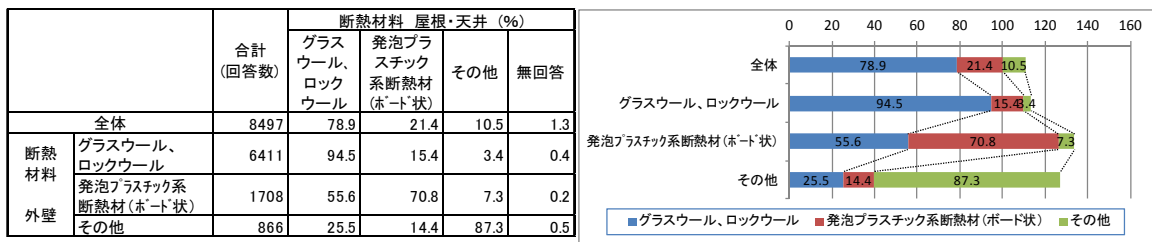


図 I-11-2④a1 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	175	23.1%
吹込GW RW × 吹込GW RW	0	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	1	0.1%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	344	45.5%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	12	1.6%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	0	0.0%
ポリエステル × ポリエステル	20	2.6%
木質系 × 木質系	5	0.7%
羊毛 × 羊毛	53	7.0%
コルク × コルク	3	0.4%
未分類 × 未分類	15	2.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	628	83.1%
異なる断熱材料の組合せ、片方未記入、両方未記入	128	16.9%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	756	100.0%

図 I-11-2④a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 85.8%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 10.4%、「屋根・天井／その他」が 14.2%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 68.9%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 29.6%、「屋根・天井／その他」が 19.3%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が 87.9%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 21.2%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 3.0%であった。
- 北海道地域では外壁がグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材のいずれの組合せについてもグラスウール・ロックウールが最多であった。

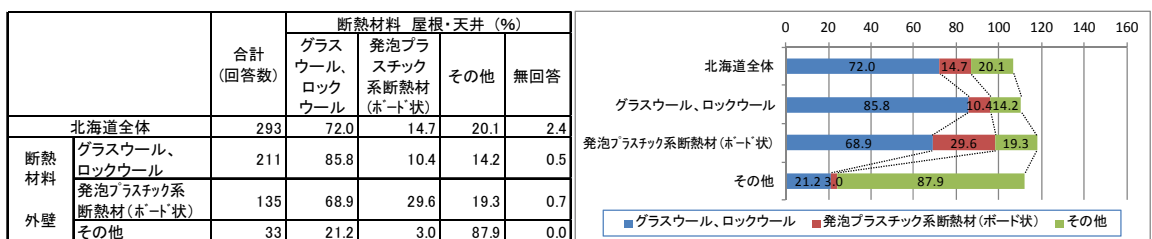


図 I-11-2④b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が94.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が15.0%であった。「屋根・天井／その他」が2.4%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が54.3%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が68.3%、「屋根・天井／その他」が7.9%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が84.3%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が25.7%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が15.7%であった。
- 東北地域では外壁がグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材のいずれの組合せについてもグラスウール・ロックウールが最多であった。

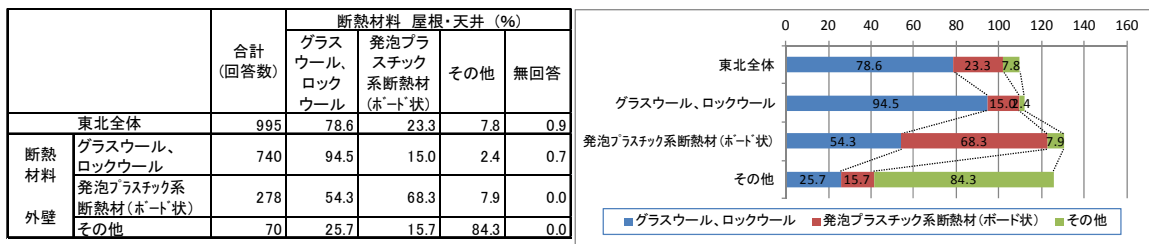


図 I-11-2④c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が95.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が15.6%、「屋根・天井／その他」が3.1%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が50.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が82.4%、「屋根・天井／その他」が7.0%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が87.2%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が25.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が16.0%であった。

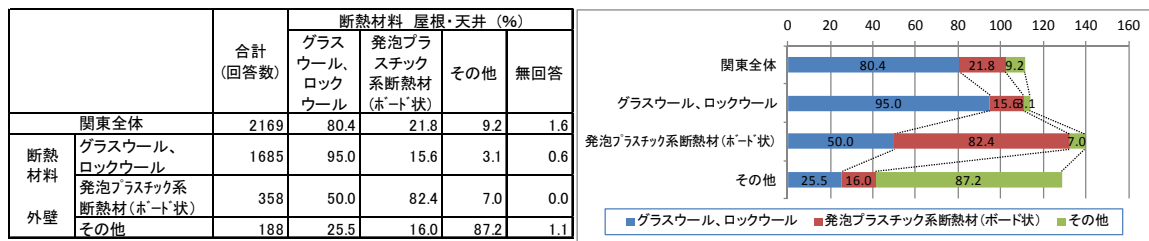


図 I-11-2④d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が97.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が10.1%、「屋根・天井／その他」が3.7%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が46.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が82.3%、「屋根・天井／その他」が1.8%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が92.3%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が25.6%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が6.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック系 断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	669	79.8	16.9	11.8	0.9	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	514	97.1	10.1	3.7	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	113	46.0	82.3	1.8	0.0
	その他	78	25.6	6.4	92.3	0.0

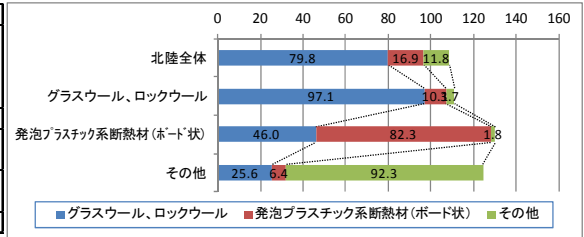


図 I-11-2④e 同 北陸地域

[中部地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 93.9%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 17.6%、「屋根・天井／その他」が 3.7%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 57.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 71.1%、「屋根・天井／その他」が 5.7%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が 87.3%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 23.2%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 14.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック系 断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1541	75.3	23.2	13.6	1.2	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1117	93.9	17.6	3.7	0.4
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	315	57.1	71.1	5.7	0.6
	その他	220	23.2	14.1	87.3	0.5

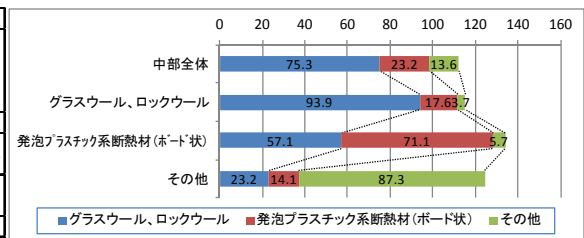


図 I-11-2④f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 94.8%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 15.9%、「屋根・天井／その他」が 3.6%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 60.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 67.8%、「屋根・天井／その他」が 7.2%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が 89.6%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 27.8%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 14.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック系 断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	839	79.0	20.0	13.1	0.6	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	618	94.8	15.9	3.6	0.2
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	152	60.5	67.8	7.2	0.0
	その他	115	27.8	14.8	89.6	0.0

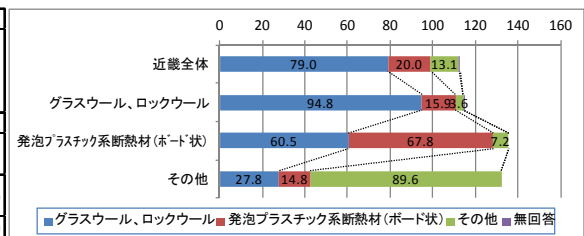


図 I-11-2④g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 94.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 17.2%、「屋根・天井／その他」が 1.5%であった。

- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 60.6%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 70.5%、「屋根・天井／その他」が 3.8%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が 92.0%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 24.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 6.0%であった。）

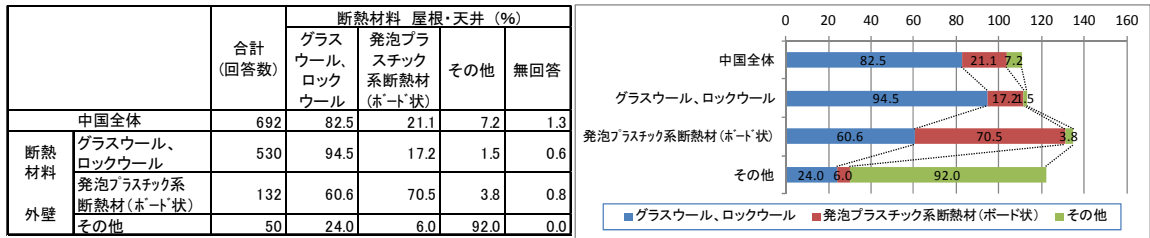


図 I-11-2④h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 94.9%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 15.4%、「屋根・天井／その他」が 3.4%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 54.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 72.7%、「屋根・天井／その他」が 5.5%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは、「屋根・天井／その他」が 87.5%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 25.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 20.8%であった。

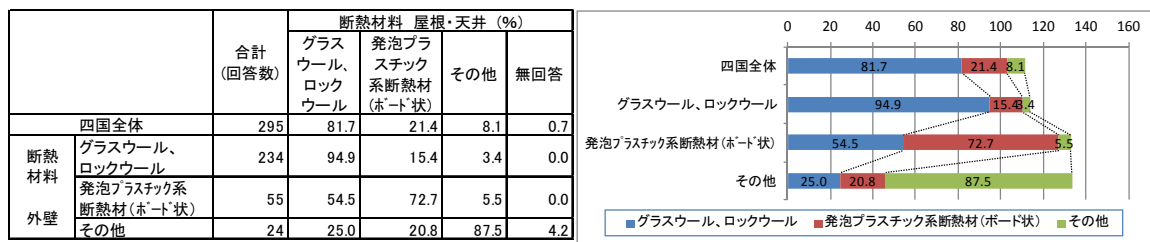


図 I-11-2④i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 94.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 15.4%、「屋根・天井／その他」が 2.5%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 54.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 77.6%、「屋根・天井／その他」が 7.6%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が 79.5%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 30.7%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材」が 25.0%であった。

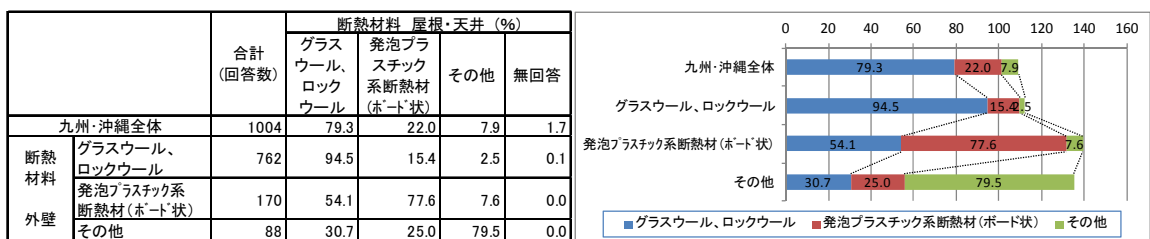


図 I-11-2④j 同 九州・沖縄地域

質問 11-2 11-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 79.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 24.6%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 92.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 18.6%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 61.8%、「床・基礎／その他」が 41.2%であった。
- 外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。
- 「外壁／その他」と「床・基礎／その他」の組合せは、その内の約 7 割が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば外壁、床・基礎共にセルローズファイバーである組合せ)

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8276	20.6	78.0	5.3	2.3
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	24.6	79.3	1.9	1.3
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	18.6	92.0	3.5	1.7
外壁	その他	10.0	61.8	41.2	1.1

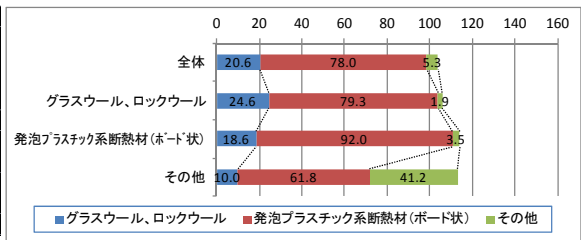


図 I-11-2⑤a1 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	85	24.1%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	0	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	0	0.0%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	131	37.1%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	6	1.7%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	0	0.0%
ポリエステル × ポリエステル	6	1.7%
木質系 × 木質系	7	2.0%
羊毛 × 羊毛	19	5.4%
コルク × コルク	3	0.8%
未分類 × 未分類	6	1.7%
同じ断熱材料の組合せ 合計	263	74.5%
異なる断熱材料の組合せ、片方未記入、両方未記入	90	25.5%
断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」 合計	353	100.0%

図 I-11-2⑤a2 外壁と床・基礎の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 64.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 44.5%、「床・基礎／その他」が 2.9%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 87.7%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 23.9%、「屋根・天井／その他」が 6.5%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が 55.9%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 44.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 17.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北海道全体	295	33.9	65.8	7.5	3.1
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	44.5	64.1	2.9	1.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	23.9	87.7	6.5	0.0
外壁	その他	17.6	44.1	55.9	0.0

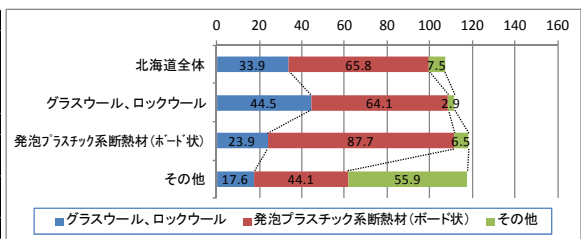


図 I-11-2⑤b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が80.2%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が25.2%、「床・基礎／その他」が2.1%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が94.5%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が16.6%、「屋根・天井／その他」が2.6%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が52.9%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」も同じく52.9%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が11.8%であった。

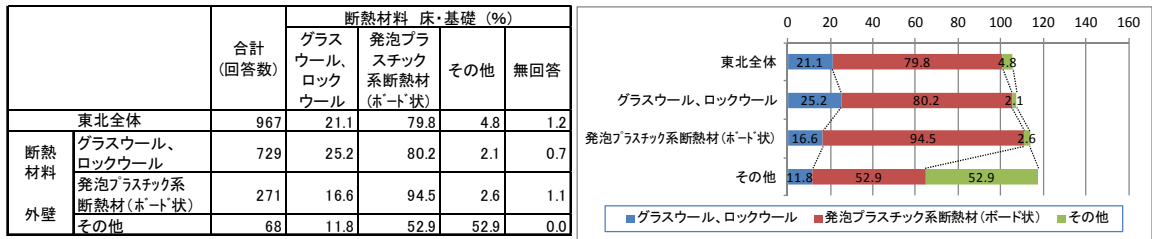


図 I-11-2⑤c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が73.6%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が30.1%、「床・基礎／その他」が2.2%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が92.5%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が21.7%、「屋根・天井／その他」が4.5%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が45.5%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が57.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が12.2%であった。

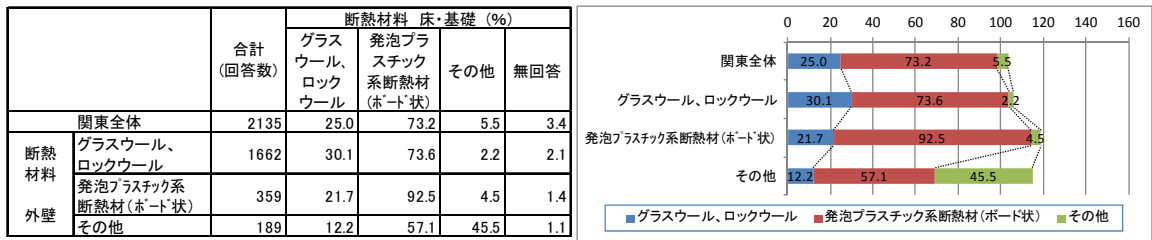


図 I-11-2⑤d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が86.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が14.5%、「床・基礎／その他」が2.2%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が95.6%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が10.5%、「屋根・天井／その他」が1.8%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が39.5%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が65.8%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が6.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	656	12.0	83.8	6.1	1.7	
断熱材料						
外壁						
断熱材料	グラスウール、ロックウール	504	14.5	86.1	2.2	0.8
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	114	10.5	95.6	1.8	0.9
外壁	その他	76	6.6	65.8	39.5	0.0

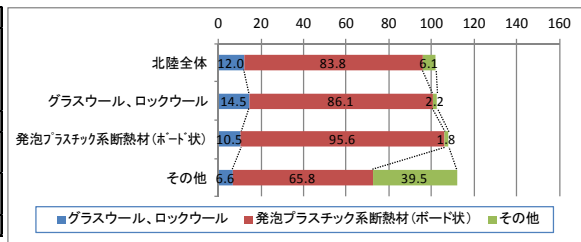


図 I-11-2⑤e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 79.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 24.6%、「床・基礎／その他」が 1.6%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 91.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 16.8%、「屋根・天井／その他」が 2.9%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が 30.1%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 67.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 7.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1503	20.2	78.0	5.2	2.5	
断熱材料						
外壁						
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1093	24.6	79.1	1.6	1.5
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	315	16.8	91.1	2.9	2.5
外壁	その他	216	7.9	67.1	30.1	2.3

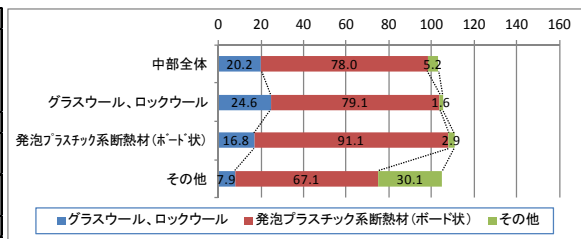


図 I-11-2⑤f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 84.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 19.6%、「床・基礎／その他」が 1.2%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 91.4%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 15.2%、「屋根・天井／その他」が 2.0%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が 31.3%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 71.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 5.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	821	16.7	82.0	4.9	1.8	
断熱材料						
外壁						
断熱材料	グラスウール、ロックウール	606	19.6	84.0	1.2	1.2
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	151	15.2	91.4	2.0	2.6
外壁	その他	115	5.2	71.3	31.3	0.0

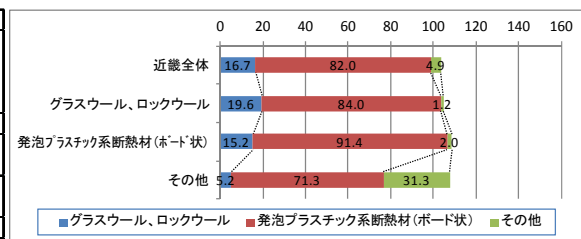


図 I-11-2⑤g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が 87.9%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 14.6%、「床・基礎／その他」が 1.3%であった。

- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が92.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が18.9%、「屋根・天井／その他」が2.4%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が48.0%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が62.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が2.0%であった。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
中国全体		675	12.9	85.5	4.3	1.9
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	520	14.6	87.9	1.3	1.3
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	127	18.9	92.1	2.4	1.6
外壁	その他	50	2.0	62.0	48.0	0.0

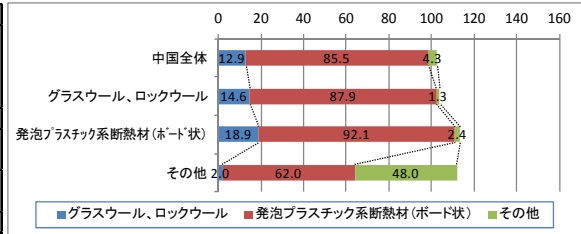


図 I-11-2⑤h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が84.8%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が19.5%、「床・基礎／その他」が3.5%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が88.7%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が18.9%、「屋根・天井／その他」が7.5%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が65.2%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が56.5%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が17.4%であった。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
四国全体		287	18.8	81.9	6.3	0.7
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	231	19.5	84.8	3.5	0.4
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	53	18.9	88.7	7.5	1.9
外壁	その他	23	17.4	56.5	65.2	0.0

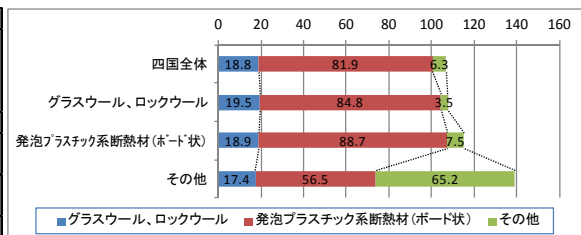


図 I-11-2⑤i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が79.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が25.7%、「床・基礎／その他」が1.6%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が91.4%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が22.2%、「屋根・天井／その他」が3.7%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が48.8%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材」が58.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が18.6%であった。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
九州・沖縄全体		937	21.8	77.3	5.1	2.3
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	738	25.7	79.0	1.6	0.8
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	162	22.2	91.4	3.7	2.5
外壁	その他	86	18.6	58.1	48.8	2.3

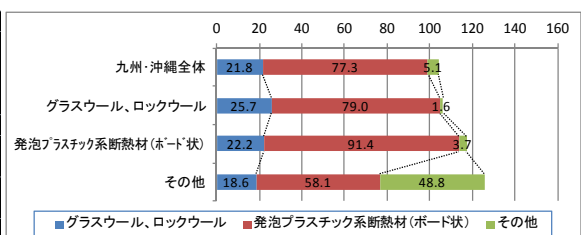


図 I-11-2⑤j 同 九州・沖縄地域

質問 11-1 断熱工法 × 質問 11-2 断熱材料

①「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.8%、「その他」が 6.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 65.2%であった。(「グラスウール・ロックウール」が 51.9%、「その他」が 15.0%であった。)
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 53.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 49.0%、「その他」が 28.2%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
全体	8497	78.9	21.4	10.5	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	6854	90.4	14.8	6.9	1.1
	屋根野地上断熱	1128	51.9	65.2	15.0	2.0
	垂木間充填断熱	1711	53.0	49.0	28.2	1.7

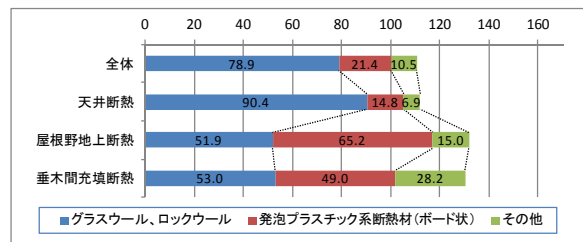


図 I-11-1x11-2①a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 76.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 10.2%、「その他」が 21.7%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 58.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 55.8%、「その他」が 11.6%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 73.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 26.1%、「その他」が 15.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	293	72.0	14.7	20.1	2.4	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	235	76.6	10.2	21.7	1.7
	屋根野地上断熱	43	58.1	55.8	11.6	7.0
	垂木間充填断熱	46	73.9	26.1	15.2	2.2

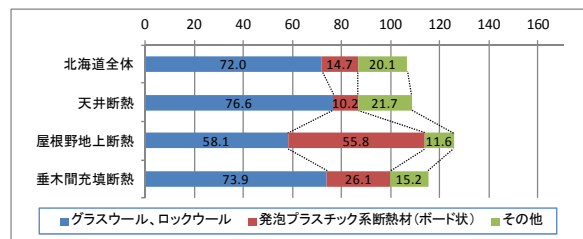


図 I-11-1x11-2①b 同 北海道地域

〔東北地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.4%、「その他」が 6.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.6%、「グラスウール・ロックウール」が 44.2%、「その他」が 10.9%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 56.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 57.0%、「その他」が 19.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	995	78.6	23.3	7.8	0.9	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	837	87.5	16.4	6.2	0.8
	屋根野地上断熱	129	44.2	80.6	10.9	0.8
	垂木間充填断熱	142	56.3	57.0	19.0	0.7

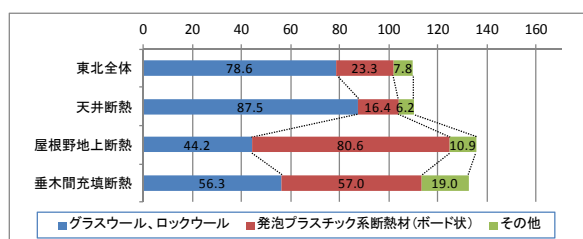


図 I-11-1x11-2①c 同 東北地域

〔関東地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 15.3%、「その他」が 5.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 54.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 64.0%、「その他」が 16.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 61.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 48.1%、「その他」が 23.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	2169	80.4	21.8	9.2	1.6	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1725	91.6	15.3	5.9	1.4
	屋根野地上断熱	333	54.7	64.0	16.2	1.5
	垂木間充填断熱	462	61.5	48.1	23.6	2.2

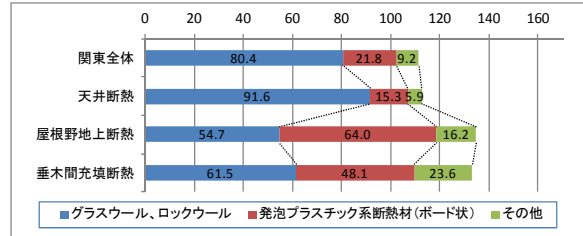


図 I-11-1x11-2①d 同 関東地域

〔北陸地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 11.6%、「その他」が 7.6%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 51.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 67.9%、「その他」が 8.9%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 39.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」、「その他」が共に 43.1%であった。それぞれ同じ程度に使用されている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	669	79.8	16.9	11.8	0.9	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	561	90.6	11.6	7.1	0.9
	屋根野地上断熱	56	51.8	67.9	8.9	1.8
	垂木間充填断熱	102	39.2	43.1	43.1	0.0

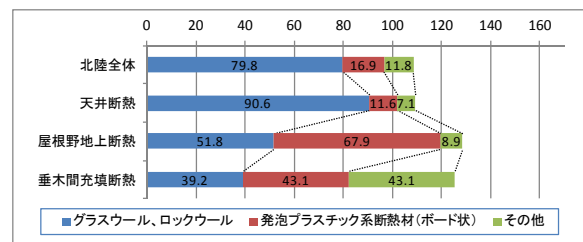


図 I-11-1x11-2①e 同 北陸地域

〔中部地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 89.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.0%、「その他」が 8.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 51.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 60.5%、「その他」が 21.0%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 45.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 49.0%、「その他」が 32.7%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1541	75.3	23.2	13.6	1.2	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1215	89.1	16.0	8.9	1.1
	屋根野地上断熱	200	51.5	60.5	21.0	3.0
	垂木間充填断熱	394	45.7	49.0	32.7	1.3

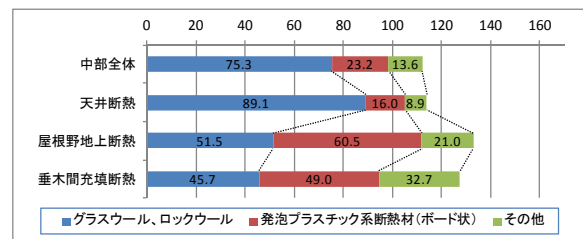


図 I-11-1x11-2①f 同 中部地域

〔近畿地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 93.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.4%、「その他」が 5.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 59.2%、「グラスウール・ロックウール」が 47.2%、「その他」が 19.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 52.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 42.5%、「その他」が 39.9%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	839	79.0	20.0	13.1	0.6	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	648	93.5	14.4	5.9	0.6
	屋根野地上断熱	125	47.2	59.2	19.2	0.8
	垂木間充填断熱	193	52.3	42.5	39.9	1.0

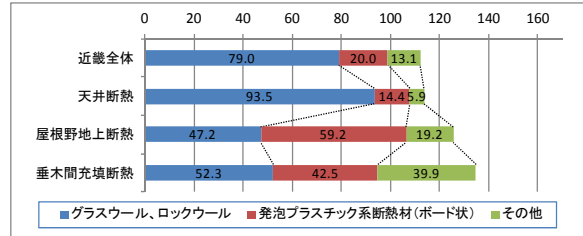


図 I-11-1x11-2①g 同 近畿地域

〔中国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 93.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.3%、「その他」が 4.0%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 54.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 64.8%、「その他」が 8.5%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 47.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 58.8%、「その他」が 22.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	692	82.5	21.1	7.2	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	580	93.3	14.3	4.0	0.9
	屋根野地上断熱	71	54.9	64.8	8.5	4.2
	垂木間充填断熱	114	47.4	58.8	22.8	3.5

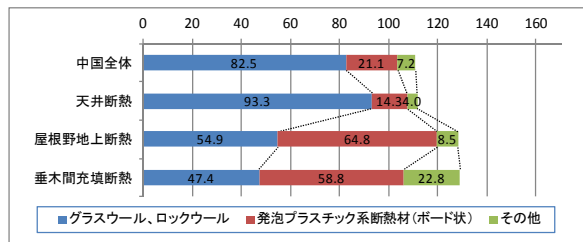


図 I-11-1x11-2①h 同 中国地域

〔四国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 15.4%、「その他」が 5.5%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 61.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 67.7%、「その他」が 16.1%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 47.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 57.6%、「その他」が 27.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	295	81.7	21.4	8.1	0.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	253	91.7	15.4	5.5	0.8
	屋根野地上断熱	31	61.3	67.7	16.1	0.0
	垂木間充填断熱	59	47.5	57.6	27.1	0.0

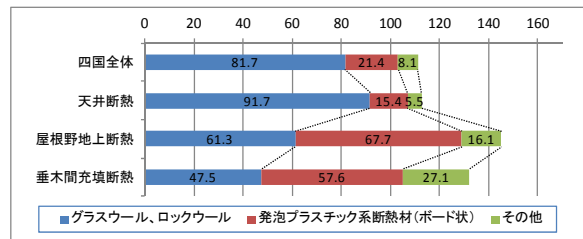


図 I-11-1x11-2①i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 13.9%、「その他」が 5.3%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 67.1%、「グラスウール・ロックウール」も 51.4%で多くなっている。「その他」が 10.0%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 53.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 52.3%、「その他」が 24.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体	1004	79.3	22.0	7.9	1.7
断熱工法					
天井断熱	800	91.6	13.9	5.3	1.8
屋根野地上断熱	140	51.4	67.1	10.0	1.4
垂木間充填断熱	199	53.3	52.3	24.1	3.0

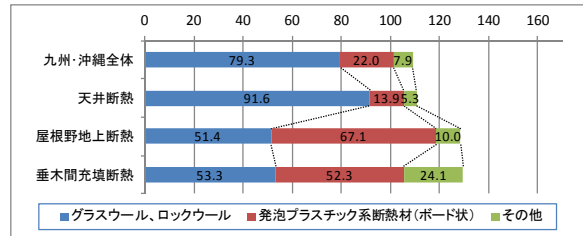


図 I-11-1x11-2①j 同 九州・沖縄地域

①屋根・天井 11-2材料 その他 × 11-1工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未分 類	小計	地域 合計	回答 数合計
	木質 繊維系	無機 繊維系												
		セルローズ ファイバー	GW RW											
北海道	天井	9	5	29	1	4						49	61	1004
	野地上				3	2						5		
	垂木間				2	2						7		
東北	天井	20	1	3	10	10			1		4	50	86	
	野地上	1			2	1	1	1	1		2	10		
	垂木間	4			11	2	6	1	1	1	1	26		
関東	天井	45		2	19	3	6	1		11	2	89	227	
	野地上	14			9	2	3	2	5	2	4	41		
	垂木間	31			35	2	15	1	1	5	7	97		
北陸	天井	17			7	1	7			2	2	36	79	
	野地上	1			1		2				1	5		
	垂木間	6			21		10		1			38		
中部	天井	37		1	23	1	7	5	4	17	3	98	259	
	野地上	5		1	10	2	1	8	2	5	5	39		
	垂木間	28			56	1	20	7	3	3	4	122		
近畿	天井	8			11	1	5	1	1	4	1	33	126	
	野地上	3			8		4	1	1	3	3	23		
	垂木間	15			26	2	15	4	1	4	2	70		
中国	天井	6			3		5			3	2	19	47	
	野地上	1			1		1			1	1	5		
	垂木間	7			9		3				4	23		
四国	天井	4			3			2			3	12	29	
	野地上				2			2			1	5		
	垂木間	2			7		7	2			1	12		
九州・ 沖縄	天井	16			13		1	1		3	4	38	90	
	野地上	4			3		2			1		10		
	垂木間	15			13		7			3	4	42		
小計	天井	162	6	35	90	8	45	10	5	41	1	21	424	
	野地上	29		1	39	5	16	13	9	11	3	17	143	
	垂木間	108		2	179	9	78	15	5	17	1	23	437	
材料合計	299	6	38	308	22	139	38	19	69	5	61			
回答数合計	1004													

図 I-11-1x11-2①k 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問 11-1 断熱工法 × 質問 11-2 断熱材料

②「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 84.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.4%、「その他」が 11.0%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.6%、「グラスウール・ロックウール」も 47.0%で多くなっている。「その他」が 8.5%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 73.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 52.5%、「その他」が 16.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	8277	78.2	21.1	10.7	1.3	
断熱工法 外壁	充填断熱	7029	84.0	14.4	11.0	1.2
	外張断熱	1097	47.0	68.6	8.5	1.8
	充填外張併用断熱	562	73.5	52.5	16.0	0.9

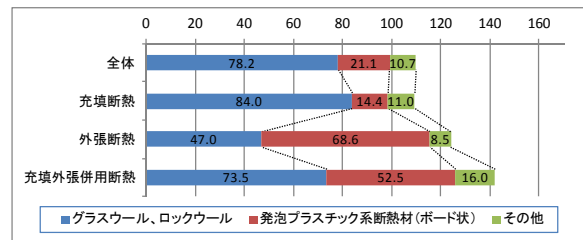


図 I-11-1x11-2②a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 12.0%、「その他」が 12.8%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.4%、「グラスウール・ロックウール」が 25.5%、「その他」が 12.7%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 81.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 66.0%、「その他」が 9.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	298	71.5	46.3	11.4	2.3	
断熱工法 外壁	充填断熱	117	83.8	12.0	12.8	0.9
	外張断熱	55	25.5	76.4	12.7	9.1
	充填外張併用断熱	144	81.3	66.0	9.7	0.7

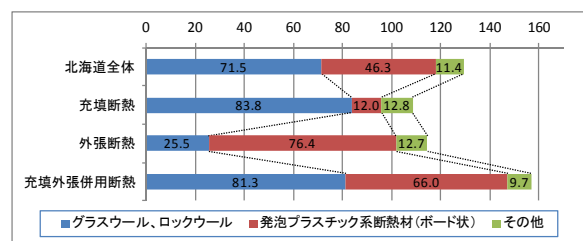


図 I-11-1x11-2②b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.6%、「その他」が 7.6%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.3%、「グラスウール・ロックウール」が 42.8%、「その他」が 6.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 79.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.7%、「その他」が 8.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	977	76.2	28.6	7.2	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	762	86.9	17.6	7.6	0.7
	外張断熱	215	42.8	76.3	6.0	0.9
	充填外張併用断熱	81	79.0	61.7	8.6	0.0

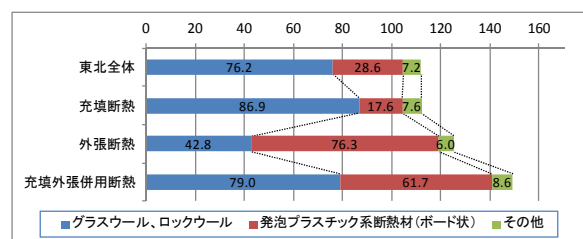


図 I-11-1x11-2②c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 11.8%、「その他」が 9.8%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.7%、「グラスウール・ロックウール」が 48.6%、「その他」が 7.6%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 46.7%、「その他」が 15.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	2112	80.7	17.6	9.2	1.8	
断熱工法 外壁	充填断熱	1846	86.2	11.8	9.8	1.7
	外張断熱	278	48.6	68.7	7.6	2.2
	充填外張併用断熱	92	72.8	46.7	15.2	0.0

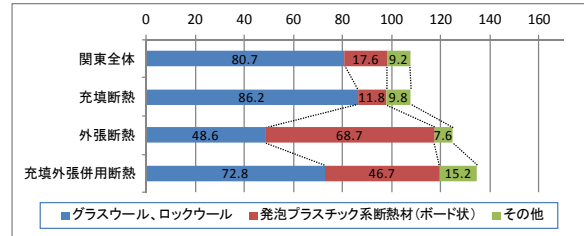


図 I-11-1x11-2②d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 84.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 11.5%、「その他」が 12.7%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 71.8%、「グラスウール・ロックウール」も 51.8%で多くなっている。「その他」が 5.9%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 64.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.0%、「その他」が 23.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	657	78.8	18.1	12.0	1.2	
断熱工法 外壁	充填断熱	575	84.5	11.5	12.7	1.0
	外張断熱	85	51.8	71.8	5.9	0.0
	充填外張併用断熱	34	64.7	50.0	23.5	5.9

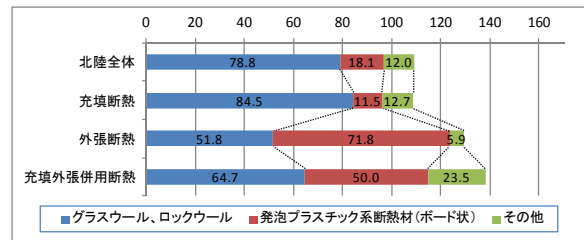


図 I-11-1x11-2②e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.5%、「その他」が 15.0%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 64.7%、「グラスウール・ロックウール」も 50.0%多くなっている。「その他」が 8.2%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 60.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 51.3%、「その他」が 26.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1511	74.8	21.2	14.7	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	1340	79.2	16.5	15.0	1.0
	外張断熱	170	50.0	64.7	8.2	2.4
	充填外張併用断熱	78	60.3	51.3	26.9	0.0

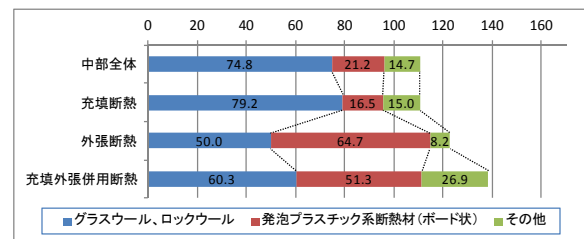


図 I-11-1x11-2②f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 80.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 15.0%、「その他」が 14.4%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 61.7%、「グラスウール・ロックウール」が 40.7%、「その他」が 18.5%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 43.8%、「その他」が 28.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	820	75.9	18.7	14.6	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	735	80.4	15.0	14.4	1.1
	外張断熱	81	40.7	61.7	18.5	1.2
	充填外張併用断熱	32	65.6	43.8	28.1	0.0

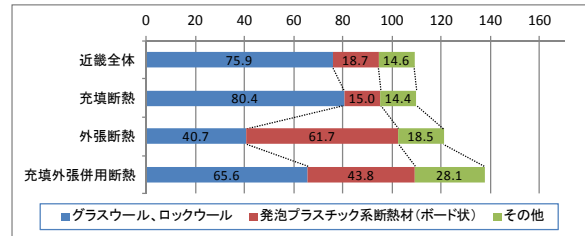


図 I-11-1x11-2②g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 84.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.9%、「その他」が 7.3%であった。
- 「外張断熱」は「グラスウール・ロックウール」、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が共に 58.3%、「その他」が 8.3%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 80.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 30.0%、「その他」が 17.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	660	81.4	20.0	7.7	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	586	84.0	17.9	7.3	1.0
	外張断熱	60	58.3	58.3	8.3	1.7
	充填外張併用断熱	40	80.0	30.0	17.5	0.0

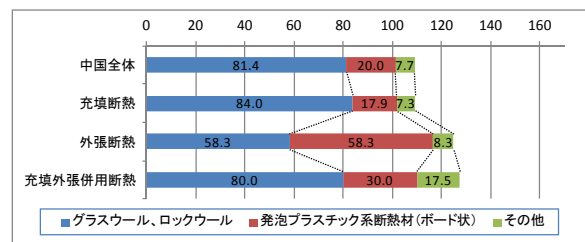


図 I-11-1x11-2②h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.9%、「その他」が 8.1%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.8%、「グラスウール・ロックウール」も 50.0%で多くなっている。「その他」が 9.4%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 84.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 46.2%、「その他」が 30.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
四国全体	284	82.4	19.7	8.5	0.4	
断熱工法 外壁	充填断熱	248	87.1	14.9	8.1	0.4
	外張断熱	32	50.0	68.8	9.4	0.0
	充填外張併用断熱	13	84.6	46.2	30.8	0.0

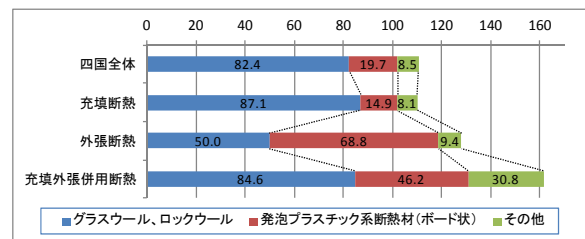


図 I-11-1x11-2②i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 12.9%、「その他」が 9.8%であった。
- 「外張断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 51.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 64.5%、「その他」が 8.3%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 66.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 37.5%、「その他」が 12.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体	958	80.7	18.1	9.3	1.6
断熱工法	充填断熱	86.0	12.9	9.8	1.5
	外張断熱	51.2	64.5	8.3	0.8
	充填外張併用断熱	48	66.7	37.5	12.5

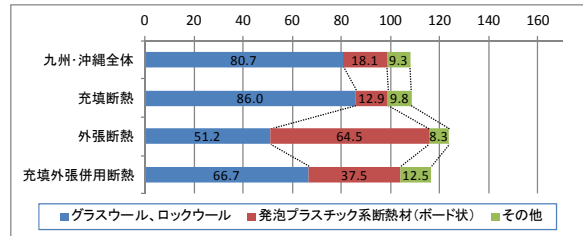


図 I-11-1x11-2②j 同 九州・沖縄地域

②外壁 11-2材料 その他 × 11-1工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラ スチック系 (ホ-ド状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未 分類	小 計	地域 合計	回 答 数 合 計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明												
	セルローズ ファイバー	GW RW													
北海道	充填	1		2	10						2	15	34	855	
	外張				3	4						7			
	併用				7	4					1	12			
東北	充填	16			29	1		1	2		4	54	69		
	外張				3	3					2	8			
	併用	1			4	1			1			7			
関東	充填	54			75	2		3	1	20	9	164	189		
	外張	6			3	2		1	1		2	15			
	併用	2			4	1		1			2	10			
北陸	充填	18			41	1			2		4	66	77		
	外張	1			2						2	5			
	併用	1			4						1	6			
中部	充填	42			101	4		9	2	20	12	190	224		
	外張	2			5	1		3			2	13			
	併用	10			4			2	2		3	21			
近畿	充填	23			54	1		4		7	9	98	116		
	外張				6	2				3	1	12			
	併用				4				1	1		6			
中国	充填	13			15				3		4	35	47		
	外張	1			4							5			
	併用	2			4						1	7			
四国	充填	6			8			1			2	17	22		
	外張				2						1	3			
	併用				1						1	2			
九州・ 沖縄	充填	22			27			1		12	3	65	77		
	外張	1			2				1		2	6			
	併用				6							6			
小計	充填	195		2	360	9		19	4	66	49	704			
	外張	11			30	12		4	1	1	3	12			74
	併用	16			38	6		3		4	1	9			77
材料合計	222		2		428	27		26	5	71	4	70			
回答数合計		224												855	

図 I-11-1x11-2②k 外壁の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問 11-1 断熱工法 × 質問 11-2 断熱材料

③「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.5%、「グラスウール・ロックウール」が 23.8%、「その他」が 3.6%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.9%、「グラスウール・ロックウール」が 21.6%、「その他」が 6.4%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 70.8%、「グラスウール・ロックウール」が 35.3%、「その他」が 8.2%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.5%、「グラスウール・ロックウール」が 14.0%、「その他」が 10.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	8276	20.6	78.0	5.3	2.3	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	4381	23.8	77.5	3.6	2.4
	床断熱(大引間充填)	2735	21.6	78.9	6.4	2.1
	床断熱(根太+大引間充填)	696	35.3	70.8	8.2	3.6
床・基礎	床断熱	7302	22.7	77.1	4.8	2.3
	基礎断熱	1411	14.0	86.5	10.3	2.1

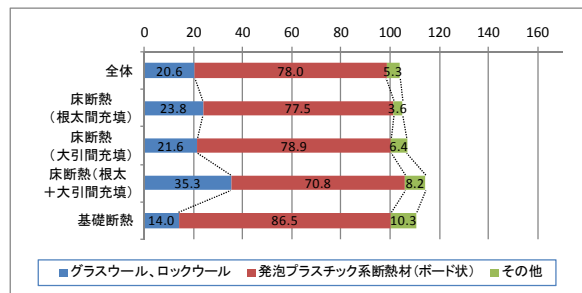


図 I-11-1x11-2③a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 77.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 22.7%、「その他」が 11.4%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 45.9%、「その他」が 10.8%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 34.1%、「その他」が 6.8%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.2%、「グラスウール・ロックウール」が 12.2%、「その他」が 7.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	295	33.9	65.8	7.5	3.1	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	44	77.3	22.7	11.4	0.0
	床断熱(大引間充填)	37	64.9	45.9	10.8	0.0
	床断熱(根太+大引間充填)	44	86.4	34.1	6.8	2.3
基礎断熱	196	12.2	86.2	7.1	4.1	

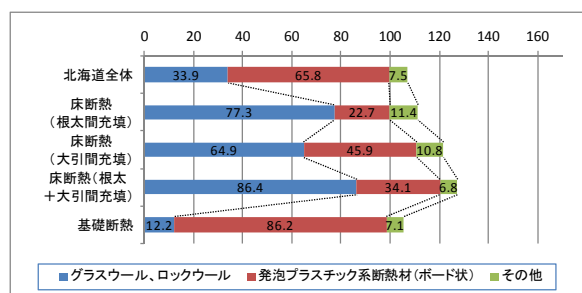


図 I-11-1x11-2③b 同 北海道地域

〔東北地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.6%、「グラスウール・ロックウール」が 25.9%、「その他」が 3.0%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.7%、「グラスウール・ロックウール」が 22.8%、「その他」が 5.0%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 62.0%、「グラスウール・ロックウール」も 48.1%で多くなっている。「その他」が 6.3%であった。

- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.5%、「グラスウール・ロックウール」が 13.9%、「その他」が 8.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	967	21.1	79.8	4.8	1.2	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	406	25.9	79.6	3.0	1.2
	床断熱(大引間充填)	337	22.8	80.7	5.0	1.2
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	79	48.1	62.0	6.3	0.0
	基礎断熱	273	13.9	87.5	8.1	1.5

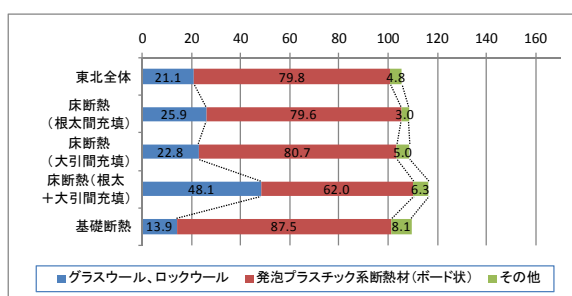


図 I-11-1x11-2③c 同 東北地域

〔関東地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.2%、「グラスウール・ロックウール」が 26.8%、「その他」が 3.7%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 69.7%、「グラスウール・ロックウール」が 29.2%、「その他」が 7.8%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 72.9%、「グラスウール・ロックウール」が 38.4%、「その他」が 9.0%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.9%、「グラスウール・ロックウール」が 19.5%、「その他」が 9.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	2135	25.0	73.2	5.5	3.4	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1161	26.8	74.2	3.7	3.9
	床断熱(大引間充填)	720	29.2	69.7	7.8	3.5
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	177	38.4	72.9	9.0	2.8
	基礎断熱	313	19.5	86.9	9.9	1.3

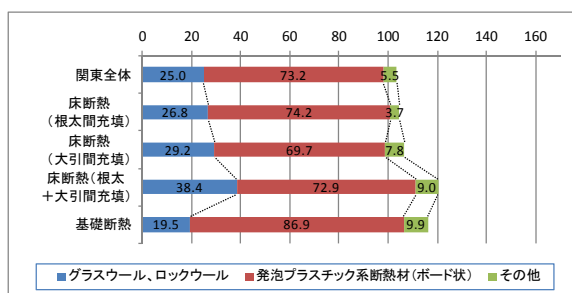


図 I-11-1x11-2③d 同 関東地域

〔北陸地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.3%、「グラスウール・ロックウール」が 12.8%、「その他」が 4.0%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.9%、「グラスウール・ロックウール」が 12.8%、「その他」が 10.7%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.9%、「グラスウール・ロックウール」が 12.8%、「その他」が 8.5%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.2%、「グラスウール・ロックウール」が 7.9%、「その他」が 11.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	656	12.0	83.8	6.1	1.7	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	429	12.8	85.3	4.0	1.4
	床断熱(大引間充填)	149	12.8	81.9	10.7	1.3
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	47	12.8	80.9	8.5	6.4
	基礎断熱	76	7.9	88.2	11.8	0.0

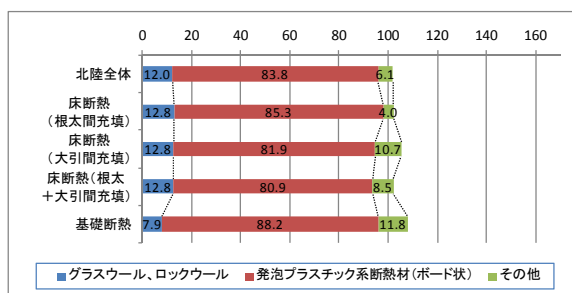


図 I-11-1x11-2③e 同 北陸地域

〔中部地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 75.4%、「グラスウール・ロックウール」が 25.4%、「その他」が 3.8%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.6%、「グラスウール・ロックウール」が 17.2%、「その他」が 5.8%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.0%、「グラスウール・ロックウール」が 27.0%、「その他」が 12.2%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.2%、「グラスウール・ロックウール」が 11.4%、「その他」が 11.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	1503	20.2	78.0	5.2	2.5	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	826	25.4	75.4	3.8	2.3
	床断熱(大引間充填)	553	17.2	81.6	5.8	2.0
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	115	27.0	73.0	12.2	4.3
	基礎断熱	185	11.4	83.2	11.9	4.3

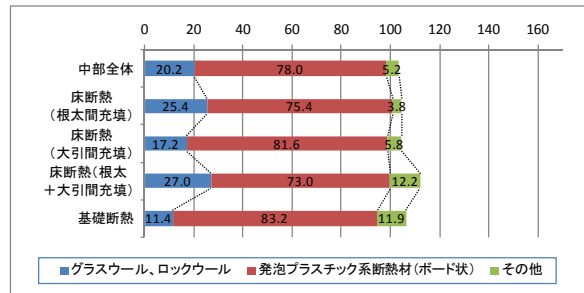


図 I-11-1x11-2③f 同 中部地域

〔近畿地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.1%、「グラスウール・ロックウール」が 18.7%、「その他」が 3.4%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.2%、「グラスウール・ロックウール」が 18.5%、「その他」が 5.1%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.1%、「グラスウール・ロックウール」が 18.9%、「その他」が 5.4%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.3%、「グラスウール・ロックウール」が 11.3%、「その他」が 11.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	821	16.7	82.0	4.9	1.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	386	18.7	82.1	3.4	2.6
	床断熱(大引間充填)	394	18.5	83.2	5.1	1.0
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	74	18.9	81.1	5.4	5.4
	基礎断熱	80	11.3	86.3	11.3	1.3

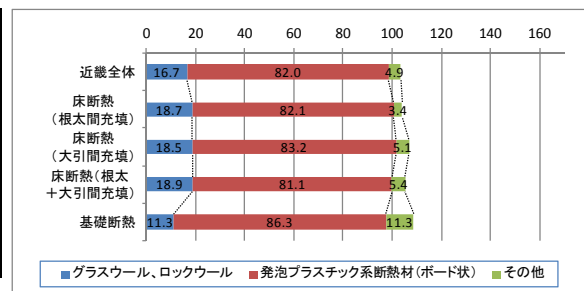


図 I-11-1x11-2③g 同 近畿地域

〔中国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.8%、「グラスウール・ロックウール」が 16.6%、「その他」が 1.3%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.7%、「グラスウール・ロックウール」が 12.4%、「その他」が 4.3%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.4%、「グラスウール・ロックウール」が 20.3%、「その他」が 4.3%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.6%、「グラスウール・ロックウール」が 9.6%、「その他」が 17.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	
中国全体	675	12.9	85.5	4.3	1.9
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	16.6	85.8	1.3	2.1
	床断熱 (大引間充填)	12.4	86.7	4.3	2.6
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	20.3	88.4	4.3	2.9
	基礎断熱	9.6	83.6	17.8	0.0

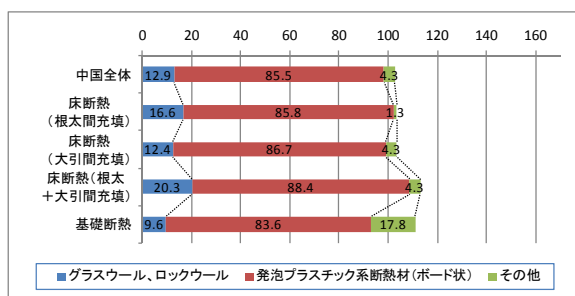


図 I-11-1x11-2③h 同 中国地域

〔四国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.6%、「グラスウール・ロックウール」が 20.9%、「その他」が 5.8%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.2%、「グラスウール・ロックウール」が 15.8%、「その他」が 2.6%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.7%、「グラスウール・ロックウール」が 46.7%、「その他」が 13.3%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.5%、「グラスウール・ロックウール」が 21.9%、「その他」が 18.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	
四国全体	287	18.8	81.9	6.3	0.7
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	20.9	80.6	5.8	0.5
	床断熱 (大引間充填)	15.8	88.2	2.6	2.6
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	46.7	66.7	13.3	6.7
	基礎断熱	21.9	87.5	18.8	0.0

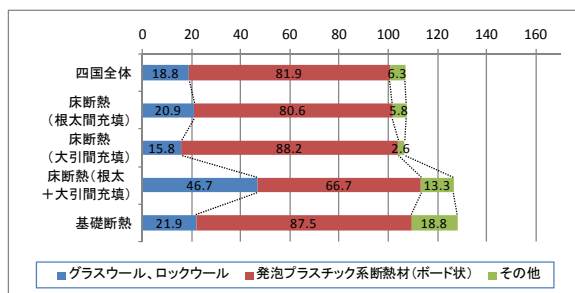


図 I-11-1x11-2③i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.6%、「グラスウール・ロックウール」が 27.5%、「その他」が 3.8%であった。
- 「床断熱(大引間充填)断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.1%、「グラスウール・ロックウール」が 21.6%、「その他」が 7.6%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 61.8%、「グラスウール・ロックウール」が 39.5%、「その他」が 7.9%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.0%、「グラスウール・ロックウール」が 13.1%、「その他」が 10.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	
九州・沖縄全体	937	21.8	77.3	5.1	2.3
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	27.5	74.6	3.8	2.4
	床断熱 (大引間充填)	21.6	83.1	7.6	1.3
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	39.5	61.8	7.9	5.3
	基礎断熱	13.1	88.0	10.4	2.7

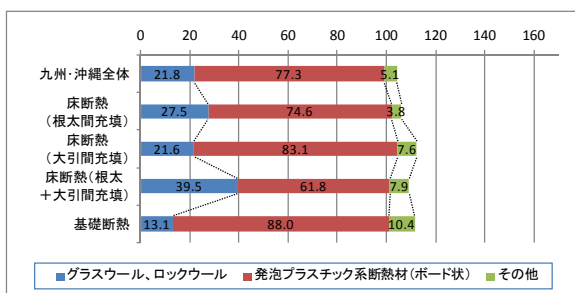


図 I-11-1x11-2③j 同 九州・沖縄地域

③床・基礎 11-2材料 その他 × 11-1工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラ スチック系 (ホード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ホリエ ステル	木 質 系	羊 毛	コ ル ク	そ の 他	未 分 類	地 域 合 計	回 答 数 合 計
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明											
	セルローズ ファイバー	GW RW												
北海道	根太間	1		3								4	25	427
	大引間			4								4		
	根+大	1	1	1								3		
	基礎	1		8	4						1	14		
東北	根太間	4		4	2							10	46	
	大引間	6		4	3			1				14		
	根+大	1		2	1							4		
	基礎			13	4						1	18		
関東	根太間	12		7	3		1		2		4	29	110	
	大引間	16		11	10				3		4	44		
	根+大	4		6	1							11		
	基礎	3		19	2						2	26		
北陸	根太間	3		4	3						1	11	35	
	大引間	6		5	2							13		
	根+大	1		1								2		
	基礎			9								9		
中部	根太間	11		4	6		1		6			28	93	
	大引間	10		5	8		3	1	2		2	31		
	根+大	8		3			1		1		1	14		
	基礎	5		8	4				1		2	20		
近畿	根太間	1		3	2					3		9	35	
	大引間	5		7					2		2	16		
	根+大			2	1							3		
	基礎	1		5						1		7		
中国	根太間			1					2			3	22	
	大引間	4		2							1	7		
	根+大			1								1		
	基礎	1		10								11		
四国	根太間	1		4			2		1			8	13	
	大引間	1					1					2		
	根+大			1								1		
	基礎				1		1					2		
九州・ 沖縄	根太間	7		4	2	1						14	48	
	大引間	3		5	2				3		2	15		
	根+大	3										3		
	基礎	3		12	1							16		
小計	根太間	39	1		34	18	1	4		11	3	5	116	
	大引間	51			43	25		4	2	10		11	146	
	根+大	17	1	1	17	3		1		1		1	42	
	基礎	13	1		84	16		1		1	1	6	123	
材料合計	120	3	1	178	62	1	10	2	23	4	23			
合計	124			427										

図 I-11-1x11-2③k 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問 11-3 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

①「今まで正しく施工していなかったところ」

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」は、「気流止めの施工」が 36.7%、「筋かい部への施工」が 27.4%、「壁への施工」が 14.9%であった。

《地域別》

- 北海道地域は、「気流止めの施工」が 10.0%で最多となった以外、他の項目は 0.3%(真壁への施工)～4.2%(浴室への施工)、無回答が 76.2%であった。「今まで正しく施工していなかったところ」への回答率が他の地域に比べて大幅に少なくなっている。
- 北海道以外ではいずれの地域についても、「気流止めの施工」が最多で 32.9%(近畿地域)～43.6%(北陸地域)、次いで「筋かい部への施工」が 24.4%(四国地域)～31.3%(北陸地域)であった。

今まで正しく施工していなかったところ	回答数	%
壁への施工	1642	14.9
屋根への施工	689	6.2
天井への施工	1035	9.4
下屋への施工	894	8.1
筋かい部への施工	3020	27.4
真壁への施工	617	5.6
浴室への施工	1848	16.8
気流止めの施工	4051	36.7
基礎への施工	1122	10.2
その他	326	3.0
無回答	4374	39.7
全体	11028	100.0

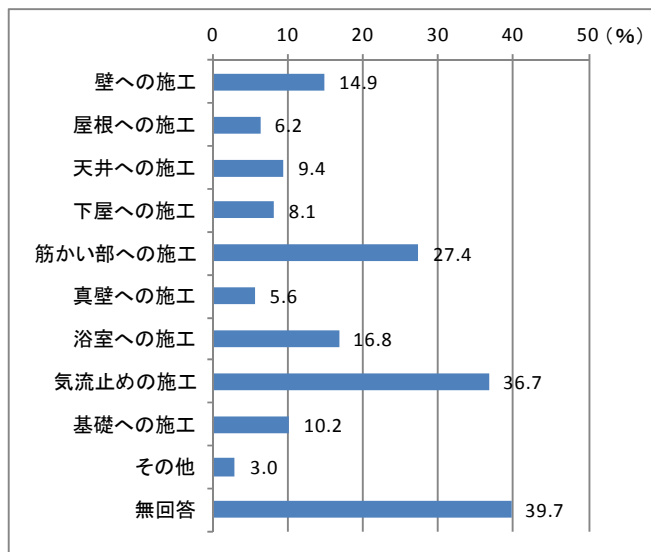


図 I-11-3①a 今まで正しく施工していなかったところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	11028	6654	60.3	14.9	6.2	9.4	8.1	27.4	5.6	16.8	36.7	10.2	3.0	39.7
北海道	361	86	23.8	2.2	3.6	1.7	3.9	0.3	4.2	10.0	1.7	1.4	76.2	
東北	1197	739	61.7	12.8	5.4	7.9	8.2	29.3	5.5	14.5	35.5	5.9	3.2	38.3
関東	2880	1740	60.4	15.8	5.6	9.3	8.0	27.2	7.2	18.4	36.6	11.4	3.1	39.6
北陸	841	555	66.0	16.8	8.1	11.9	8.4	31.3	6.8	20.8	43.6	12.4	3.0	34.0
中部	1927	1244	64.6	15.6	6.4	10.0	9.0	30.7	6.2	17.2	40.5	11.3	2.7	35.4
近畿	1173	669	57.0	14.0	5.9	9.6	9.0	24.7	3.6	16.3	32.9	10.9	3.7	43.0
中国	854	599	70.1	18.9	8.7	13.5	9.3	31.1	6.7	19.6	45.4	12.3	2.9	29.9
四国	454	246	54.2	12.6	6.2	8.6	6.6	24.4	3.7	15.0	33.9	7.0	3.7	45.8
九州・沖縄	1341	776	57.9	15.1	6.6	7.8	7.0	26.1	3.8	14.5	34.3	9.8	2.3	42.1

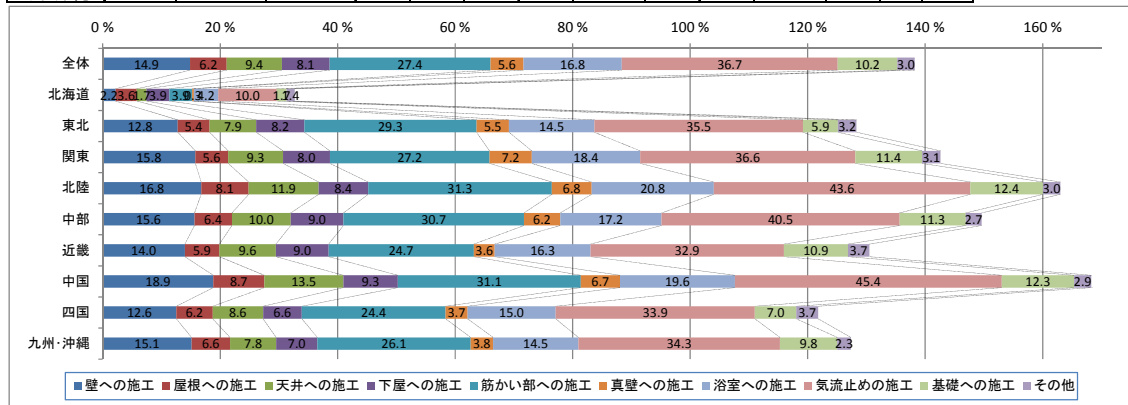


図 I-11-3①b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

① 今まで正しく施工していなかったところ				① 今まで正しく施工していなかったところ				① 今まで正しく施工していなかったところ			
10. その他	テキスト	回答数	%	10. その他	回答数	10. その他	回答数				
施工できている	—	128	1.2%	施工できている	106	外壁	窓上下のみみのところ	1			
殆どできていない	—	12	0.1%	施工できている	14	外壁	桁までPE張り	1			
気密・防湿施工	2.2.4-5	18	0.2%	施工できている	1	壁と天井の取合い部	とり合い壁・天井	1			
通気層	2.2.7	2	0.0%	施工できている	1	壁と天井の取合い部	間仕切り上の断熱	1			
気流止め	2.2.8	3	0.0%	施工できている	1	壁と天井の取合い部	間仕切り壁上部	1			
基礎	3.1.1	0	0.0%	施工できている	1	天井	天井部分	1			
土間	3.1.2	12	0.1%	施工できている	1	天井	小屋ら	1			
床	3.1.3	12	0.1%	施工できている	1	天井	天井への防湿フィルムは使っていない	1			
床と壁の取合い部	3.1.4	3	0.0%	施工できている	1	天井	天井への防湿フィルムは使っていない	1			
外気に接する床	3.1.5	7	0.1%	施工できている	1	下屋	防湿フィルムの処理	1			
外壁	3.1.6	18	0.2%	殆どできていない	4	下屋部分・浴室内部ボード貼り	下屋部分、浴室内部ボード貼り	1			
壁と天井の取合い部	3.1.7	3	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	コンセントボックスまわり	10			
天井	3.1.8	3	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	スイッチまわり	2			
下屋	3.1.9	1	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	コンセント、スイッチ周り	1			
屋根	3.1.10	0	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	スリーブ、コンセント部分の施工	1			
コンセントボックス等	3.1.11	22	0.2%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	スイッチ、コンセント、点検口その他回り	1			
貫通部位・点検口廻り	3.1.12	16	0.1%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	コンセント、パイプ等	1			
外張断熱	3.2	3	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	充填の電気ボックスの気密	1			
リフォーム	4	1	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	BOX電気	1			
取合い	—	2	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	電機BOXやダクト廻り	1			
DVD バルコニー	—	3	0.0%	殆どできていない	1	コンセントボックス等	SW、コンセント廻り	1			
未分類	—	8	0.1%	気密・防湿施工	3	コンセントボックス等	間仕切り壁のみ、コンセントBOXとか	1			
不明	—	8	0.1%	気密・防湿施工	1	コンセントボックス等	電気BOX	1			
その他記入有合計	285	2.6%	気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	スリーブ、コンセント部分の施工	1				
その他全体	326	3.0%	気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	タレ下りによるすき間と換気、給排気、パイプ廻り	1				
全体	11,028	100.0%	気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	スイッチ、コンセント、点検口その他回り	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	コンセント、パイプ等	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	コンセント、パイプ等	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	設備へのだんねつ	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	ボルト処理	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	設備開口部	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	羽子板ボルトなどの熱橋部	1				
			気密・防湿施工	1	貫通部位・点検口廻り	羽子板等の金物まわり	1				
			気密・防湿施工	2	貫通部位・点検口廻り	電機BOXやダクト廻り	1				
			通気層	1	貫通部位・点検口廻り	現場発泡ウレタン	1				
			通気層	1	貫通部位・点検口廻り	エアコンスリーブの施工の注意喚起	1				
			気流止め	3	貫通部位・点検口廻り	貫通部分の処理	1				
			土間	2	貫通部位・点検口廻り	設備回りのダクト回りに気密テープ貼りをしていない	1				
			土間	2	貫通部位・点検口廻り	点検口	1				
			土間	2	貫通部位・点検口廻り	配管まわりの気密、UBまわりのボードまわり等が正しくできていないかも	1				
			土間	1	外張断熱	ボード系断熱材の気密施工	1				
			土間	1	外張断熱	屋根上からなど屋外からの施工	1				
			土間	1	外張断熱	外熱との併用	1				
			土間	1	リフォーム	リフォーム時の気密処理、気流止め	1				
			床	3	取合い	各部の取合い	1				
			床	3	取合い	取り合い部分	1				
			床	1	DVD バルコニー	バルコニー部	1				
			床	1	DVD バルコニー	FRP内の通気	1				
			床	1	DVD バルコニー	居室上部のバルコニー	1				
			床	1	未分類	施工法	1				
			床	1	未分類	そもそも今まで高気密住宅を施工していない一請けている会社の自己判断により	1				
			床と壁の取合い部	1	未分類	タレ下りによるすき間と換気、給排気、パイプ廻り	1				
			床と壁の取合い部	1	未分類	職人さんの認知や意識レベル	1				
			床と壁の取合い部	1	未分類	基礎は通風を大切にしている	1				
			外気に接する床	3	未分類	入社してで現場の把握が出来ていません	1				
			外気に接する床	1	未分類	ガラスウールのみ	1				
			外気に接する床	1	未分類	研修の説明を受けたら今回の施工方法に疑問がある	1				
			外気に接する床	1	不明	次世代はクリアしている	1				
			外壁	5	不明	トイレ	1				
			外壁	3	不明	パツンで金やっています	1				
			外壁	2	不明	材木を使っていない	1				
			外壁	1	不明	専門の友人に確認	1				
			外壁	1	不明	8番の風の動き方がわからない	1				
			外壁	1	不明	等級4は未経験	1				
			外壁	1	不明	木束	1				

図 I-11-3①c 今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述

質問 11-3 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

②「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「難しい・やりにくいと感じたところ」は、「筋かい部への施工」が 28.2%、「気流止めの施工」が 22.2%、「屋根への施工」が 11.3%であった。

《地域別》

- 北海道地域は、「気流止めの施工」が 11.4%で最多、「下屋への施工」が 10.8%、無回答が 65.9%であった。「難しい・やりにくいと感じたところ」も①と同様、回答率が他の地域に比べて大幅に少なくなっている。
- 北海道以外ではいずれの地域についても、「筋かい部への施工」が最多で 25.1%(九州・沖縄地域)～33.5%(中国地域)、次いで「気流止めの施工」が 18.3%(九州・沖縄地域)～28.8%(北陸地域)となっている。
- ①と②とでは、「筋かい部への施工」と「気流止めの施工」への回答比率の多さが逆転するのは、全体傾向と同じであった。

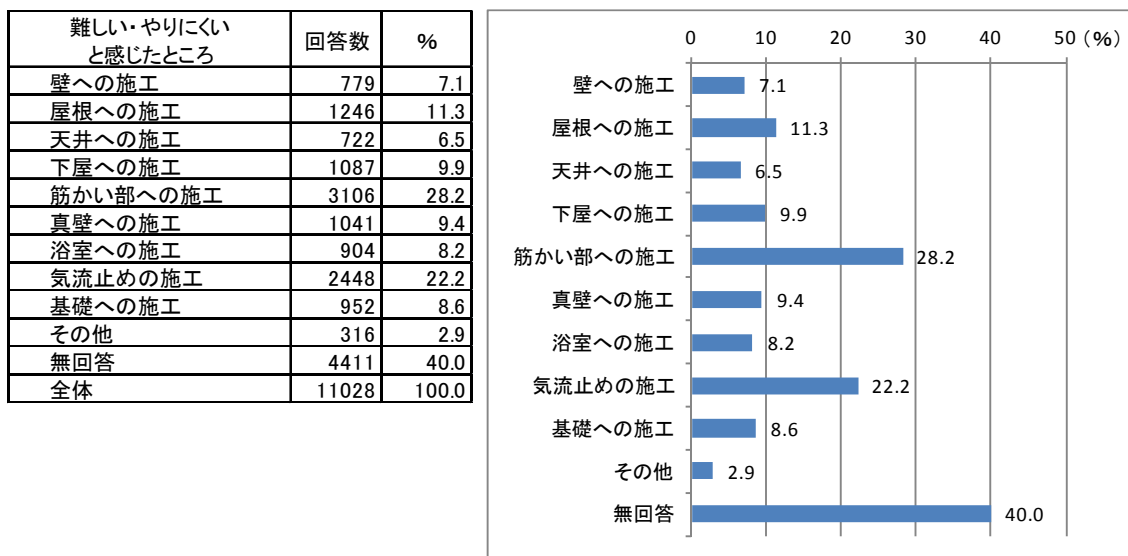


図 I-11-3②a 難しい・やりにくいと感じたところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいと感じたところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	11028	6617	60.0	7.1	11.3	6.5	9.9	28.2	9.4	8.2	22.2	8.6	2.9	40.0
北海道	361	123	34.1	1.7	6.1	1.4	10.8	7.5	3.0	4.4	11.4	1.4	1.9	65.9
東北	1197	742	62.0	7.0	11.2	5.8	12.1	27.7	12.4	6.7	18.9	5.3	2.7	38.0
関東	2880	1717	59.6	6.3	10.7	6.9	9.2	29.7	10.6	8.4	23.0	9.0	3.3	40.4
北陸	841	559	66.5	8.7	13.2	7.4	11.1	31.6	8.0	11.8	28.8	10.5	2.9	33.5
中部	1927	1257	65.2	8.0	12.8	8.0	11.5	31.6	10.6	8.7	25.7	10.0	3.1	34.8
近畿	1173	653	55.7	6.1	9.4	5.0	8.8	24.0	7.7	8.4	19.9	10.7	3.2	44.3
中国	854	583	68.3	10.0	16.2	9.3	11.2	33.5	11.0	8.4	24.8	10.4	2.2	31.7
四国	454	242	53.3	4.6	7.7	6.6	7.9	25.6	7.3	9.0	20.3	6.8	2.9	46.7
九州・沖縄	1341	741	55.3	7.6	10.5	4.8	6.6	25.1	6.6	6.5	18.3	7.3	2.2	44.7

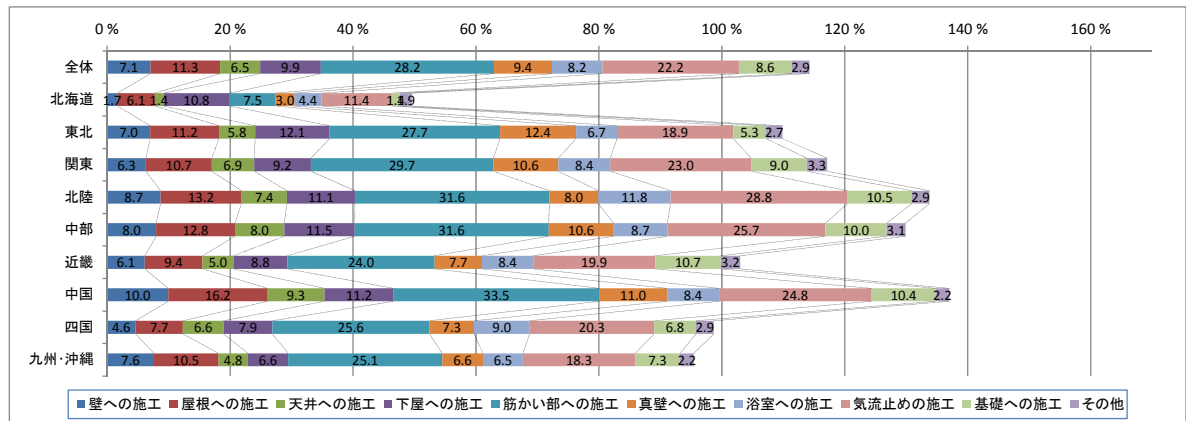


図 I-11-3②b 地域別の難しい・やりにくいと感じたところ

② 難しい・やりにくいと感じたところ				② 難しい・やりにくいと感じたところ				② 難しい・やりにくいと感じたところ			
10. その他				10. その他				10. その他			
テキスト	回答数	%		テキスト	回答数	%		テキスト	回答数	%	
感じない	—	87	0.8%	感じない	特になし	83		コンセントボックス等	電気配線廻り	1	
殆ど	—	24	0.2%	感じない	設計者なので直接は感じない	1		コンセントボックス等	給排水管の貫通、デンキ配線	1	
断熱層	2.2.3	1	0.0%	感じない	難しくはないが	1		コンセントボックス等	配線、配管の先行施工	1	
気密・防湿施工	2.2.4-5	28	0.3%	感じない	施工手間がかかりそう	1		コンセントボックス等	→変更がきかない	1	
通気層	2.2.7	2	0.0%	感じない	現状施工しております	1		コンセントボックス等	BOX、設備まわり	1	
気流止め	2.2.8	1	0.0%	感じない	外壁工法のため、難しい所ナン	1		貫通部位・点検口廻り	スリーブ、コンセント部分の施工	1	
基礎	3.1.1	0	0.0%	殆ど	全体的に	18		貫通部位・点検口廻り	スリーブや電気ボックス	1	
土間	3.1.2	7	0.1%	殆ど	充填断熱全て	2		貫通部位・点検口廻り	スリーブ部、コンセント部	1	
床	3.1.3	4	0.0%	殆ど	全体的に細かいところ	1		貫通部位・点検口廻り	設備へのだんねつ	1	
床と壁の取合い部	3.1.4	1	0.0%	殆ど	に神経を使っ	1		貫通部位・点検口廻り	コンセント、パイプ等	1	
外気に接する床	3.1.5	3	0.0%	殆ど	すべてやりこいと感じました	1		貫通部位・点検口廻り	ホールダウン金物等に	1	
外壁	3.1.6	9	0.1%	殆ど	ほぼ全般	1		貫通部位・点検口廻り	じゃまされる部位	1	
壁と天井の取合い部	3.1.7	2	0.0%	殆ど	上、全部	1		貫通部位・点検口廻り	羽子板ボルトなどの熱橋部	1	
天井	3.1.8	0	0.0%	断熱層	断熱の連続	1		貫通部位・点検口廻り	開口部、貫通スリーブ、コンセント	1	
下屋	3.1.9	0	0.0%	気密・防湿施工	気密テープの施工	11		貫通部位・点検口廻り	各取合い部、貫通部	1	
屋根	3.1.10	0	0.0%	気密・防湿施工	気密処理	5		貫通部位・点検口廻り	貫通、コンセント部	1	
コンセントボックス等	3.1.11	41	0.4%	気密・防湿施工	防湿層の施工	5		貫通部位・点検口廻り	貫通部の施工	1	
貫通部位・点検口廻り	3.1.12	17	0.2%	気密・防湿施工	ビニール貼り	1		貫通部位・点検口廻り	設備開口部	1	
外張断熱	3.2	4	0.0%	気密・防湿施工	全てにおいて30mmの	1		貫通部位・点検口廻り	電機BOXやダクト廻り	1	
リフォーム	4	11	0.1%	気密・防湿施工	防湿フィルムが要る所	1		貫通部位・点検口廻り	給排水管の貫通、デンキ配線	1	
取合い	—	4	0.0%	気密・防湿施工	充填断熱の防湿層の連続	1		貫通部位・点検口廻り	金物	1	
DVD バルコニー	—	5	0.0%	気密・防湿施工	胴縁、下地材補強材部	1		貫通部位・点検口廻り	金物との取合い	1	
未分類	—	24	0.2%	気密・防湿施工	防湿剤の使用	1		外張断熱	外断熱工法全般	2	
不明	—	2	0.0%	気密・防湿施工	防湿フィルムの処理、下屋部分	1		外張断熱	屋根断熱の場合の	1	
その他記入有合計		277	2.5%	気密・防湿施工	検査目	1		外張断熱	通気層施工(水)	1	
その他全体		316	2.9%	通気層	通気口について断熱との取合	1		外張断熱	外断熱の通気層の施工	1	
全体		11,028	100.0%	通気層	通気の方法	1		リフォーム	リフォーム	3	
				気流止め	気流止めと暴風シートの取合部	1		リフォーム	断熱リフォーム	2	
				土間	玄関、風呂	1		リフォーム	住宅の断熱リフォーム	1	
				土間	玄関	1		リフォーム	リフォーム工事での	1	
				土間	玄関土間	1		リフォーム	気密(断熱)の連続性	1	
				土間	土間下	1		リフォーム	リフォーム時、グラスウールを	1	
				土間	土間	1		リフォーム	使用する場合すべての項目で	1	
				土間	土壁の場合	1		リフォーム	リフォーム時の気流止め	1	
				土間	4mm以上の、玄関等の断熱	1		リフォーム	リフォーム断熱のコスト問題	1	
				床	床	2		リフォーム	改修時の全ての部分	1	
				床	床と柱等の部分	1		取合い	取合い部の施工	3	
				床	根太間の施工	1		取合い	取合い	1	
				床と壁の取合い部	根太と壁の取合い部分	1		DVD バルコニー	バルコニー廻り	2	
				外気に接する床	外気に接する床	1		DVD バルコニー	バルコニー部(床、腰カベ)	1	
				外気に接する床	オーバハンク部分の床	1		DVD バルコニー	の通気層確保	1	
				外気に接する床	オーバハンク	1		DVD バルコニー	ベランダ下屋	1	
				外壁	開口部	2		DVD バルコニー	居室上部のバルコニー	1	
				外壁	窓廻り	1		未分類	出隅、入隅の施工	1	
				外壁	桁までPB張り	1		未分類	壁の入隅	1	
				外壁	開口部、貫通スリーブ、コンセント	1		未分類	フラットルーフの	1	
				外壁	開口部廻り 気密	1		未分類	ブローイング断熱	1	
				外壁	サッシまわり	1		未分類	下屋の通気層	1	
				外壁	窓下、窓上の施工	1		未分類	間仕切のテープはり	1	
				外壁	すじかい部分	1		未分類	耐火ボードの先貼り	1	
				壁と天井の取合い部	壁と屋根の断熱材の取合い	1		未分類	気流口の確保	1	
				壁と天井の取合い部	壁天井とり合い	1		未分類	狭い箇所への充填	1	
				コンセントボックス等	コンセントボックスまわり	11		未分類	すべてここまでのやる	1	
				コンセントボックス等	スイッチBOXの気流止め	2		未分類	準備ではない。	1	
				コンセントボックス等	コンセント	2		未分類	職人さんの認知or	1	
				コンセントボックス等	電気コンセントBOX	2		未分類	意識ハット 啓蒙活動	1	
				コンセントボックス等	コンセント等スキの処理	1		未分類	なれてきたら良い	1	
				コンセントボックス等	スリーブ、コンセント部分の施工	1		未分類	大工さんだけで施工は	1	
				コンセントボックス等	スリーブや電気ボックス	1		未分類	わずかしい	1	
				コンセントボックス等	スリーブ部、コンセント部	1		未分類	研修の説明を受けたら今回	1	
				コンセントボックス等	設備廻り(配管、配線)	1		未分類	の施工方法に疑問がある。	1	
				コンセントボックス等	コンセント、パイプ等	1		未分類	現場発泡ウレタン	1	
				コンセントボックス等	コンセント等の設備部分	1		未分類	細部の気くばり	1	
				コンセントボックス等	充填断熱工法時の電気BOX	1		未分類	めんどうなだけ	1	
				コンセントボックス等	コンセント・スイッチ廻り	1		未分類	やってみないとわからない?	1	
				コンセントボックス等	コンセントの部分施工	1		未分類	手間がかかる	1	
				コンセントボックス等	開口部、貫通スリーブ、コンセント	1		未分類	サーモワールは防湿が必要で	1	
				コンセントボックス等	SW、コンセント廻り	1		未分類	ないが、気流止めは必要か?	1	
				コンセントボックス等	貫通、コンセント部	1		未分類	制度への適合	1	
				コンセントボックス等	設備箇所	1		未分類	かけだてでわからない	1	
				コンセントボックス等	電機BOXやダクト廻り	1		未分類	グラスウール	1	
				コンセントボックス等	電気工事との連携	1		未分類	網状断熱材施工はよくない	1	
				コンセントボックス等	電気設備への施工と設備業者等	1		未分類	和風建築における軒まわり	1	
				コンセントボックス等	電気配線等と、断熱材との取合い	1		不明	トイレ	1	
				コンセントボックス等	電気設備、スイッチ、	1		不明	施行予定なし	1	
				コンセントボックス等	コンセント廻り他	1					

図 I-11-3②c 難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述

質問 11-4 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答)

- 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 34.6%、「住宅生産関連団体の講習会などから」が 22.2%、「公的講習会・仕様書から」が 20.5% の順であった。

《職種別》

- 「職種／施工」は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 29.0%で最も多く、次に「職場内研修から」は 21.6%であった。
- 「職種／現場管理」は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 41.4%で最も多く、次に「住宅生産関連団体の講習会などから」が 25.8%であった。
- 「職種／設計」は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 38.7%で最も多く、次に「公的講習会・仕様書から」が 32.5%であった。また他の職種と比べ、「建築雑誌から」が 21.9%と多かった。

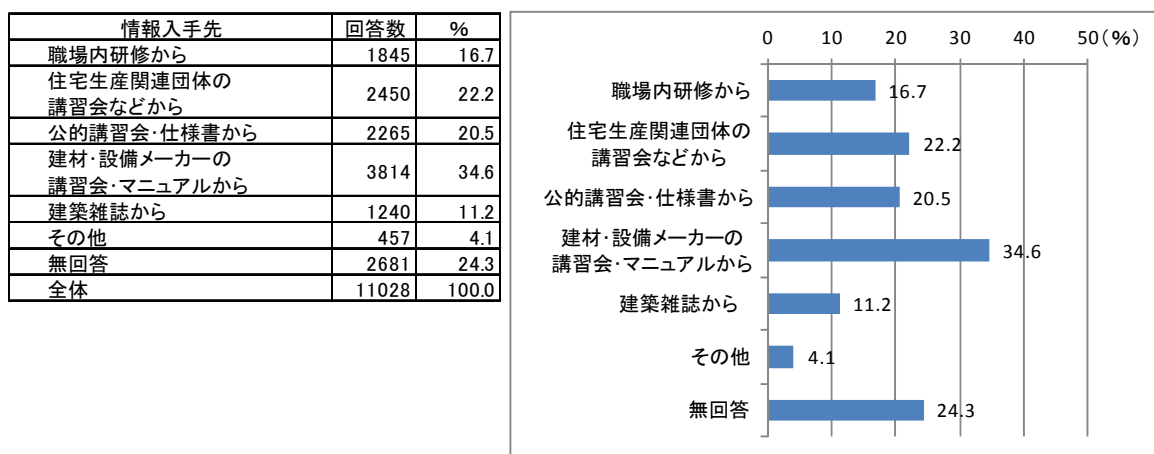


図 I-11-4a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

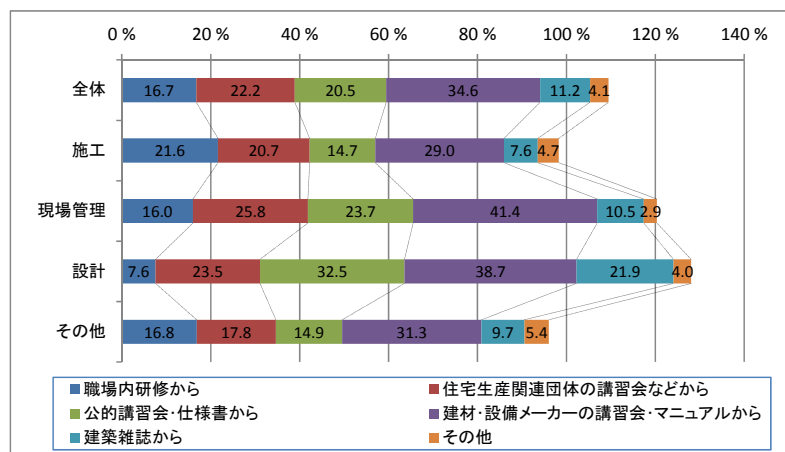


図 I-11-4b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

情報入手先 6. その他				6. その他				6. その他			
情報入手先	回答数	%		回答数		回答数		回答数			
職場関係	28	0.3%	職場関係 会社	7	専門メディア	パンフレット	1	専門メディア	パンフレット		
建材メーカー	7	0.1%	職場関係 親方から	5	専門メディア	書店	1	専門メディア	書店		
インターネット	67	0.6%	職場関係 先輩	3	専門メディア	住宅新聞	1	専門メディア	住宅新聞		
所属団体	103	0.9%	職場関係 上司	1	専門メディア	建築DVD	1	専門メディア	建築DVD		
専門メディア	7	0.1%	職場関係 フランチャイズなので本部から	1	専門メディア	書籍より	1	専門メディア	書籍より		
仕様書、マニュアル	4	0.0%	職場関係 会社、現場内で相談改善等独自	1	専門メディア	新聞	1	専門メディア	新聞		
人的ネットワーク	57	0.5%	職場関係 会社から	1	専門メディア	雑誌	1	専門メディア	雑誌		
その他講習会等	6	0.1%	職場関係 会社か仲間から	1	仕様書、マニュアル	各種メーカーやマニュアルから	1	仕様書、マニュアル	各種メーカーやマニュアルから		
ハウスメーカー	3	0.0%	職場関係 会社の管理者	1	仕様書、マニュアル	建設会社のディテールから	1	仕様書、マニュアル	建設会社のディテールから		
現場	19	0.2%	職場関係 親父	1	仕様書、マニュアル	住宅金融支援機構の仕様書	1	仕様書、マニュアル	住宅金融支援機構の仕様書		
海外情報	2	0.0%	職場関係 当事者の講習にて	1	仕様書、マニュアル	仕様書、設計図書	1	仕様書、マニュアル	仕様書、設計図書		
自分で調べる	4	0.0%	職場関係 仕事先	1	人的ネットワーク	知人から	12	人的ネットワーク	知人から		
省エネ団体	7	0.1%	職場関係 断熱専門の親会社から	1	人的ネットワーク	設計士	9	人的ネットワーク	設計士		
未分類	21	0.2%	職場関係 社内	1	人的ネットワーク	同業者から	6	人的ネットワーク	同業者から		
不明	1	0.0%	職場関係 自社オリジナル(海外、ドイツ、スイス、オーストラリア情報)	1	人的ネットワーク	仲間内での情報交換	4	人的ネットワーク	仲間内での情報交換		
その他記入有合計	336	3.0%	職場関係 自主開発	1	人的ネットワーク	大工から聞く	3	人的ネットワーク	大工から聞く		
その他全体	457	4.1%	建材メーカー ナショナル建材	1	人的ネットワーク	岡田君のおさそい	2	人的ネットワーク	岡田君のおさそい		
全体	11,028	100.0%	建材メーカー 建材店	1	人的ネットワーク	人間関係で知る	1	人的ネットワーク	人間関係で知る		
			建材メーカー メーカーカタログ	1	人的ネットワーク	同業友人	1	人的ネットワーク	同業友人		
			建材メーカー UXILSW	1	人的ネットワーク	断熱材納入先	1	人的ネットワーク	断熱材納入先		
			建材メーカー 参加メーカーから	1	人的ネットワーク	職人仲間から	1	人的ネットワーク	職人仲間から		
			建材メーカー メーカー売込み	1	人的ネットワーク	建材業者より	1	人的ネットワーク	建材業者より		
			建材メーカー ジュウテック横浜からの案内	1	人的ネットワーク	設計事務所	1	人的ネットワーク	設計事務所		
			インターネット インターネット	28	人的ネットワーク	建材店から	1	人的ネットワーク	建材店から		
			インターネット ネットより	16	人的ネットワーク	マルタイ	1	人的ネットワーク	マルタイ		
			インターネット web	6	人的ネットワーク	元請業者から	1	人的ネットワーク	元請業者から		
			インターネット HP	4	人的ネットワーク	詳しい友人から	1	人的ネットワーク	詳しい友人から		
			インターネット ホームページ	2	人的ネットワーク	顧客である各施工店	1	人的ネットワーク	顧客である各施工店		
			インターネット 他社のホームページを参考に	1	人的ネットワーク	工務店仲間から	1	人的ネットワーク	工務店仲間から		
			インターネット メーカーホームページ	1	人的ネットワーク	材木やから	1	人的ネットワーク	材木やから		
			インターネット 建材メーカーのホームページ	1	人的ネットワーク	材木屋	1	人的ネットワーク	材木屋		
			インターネット 建材設備メーカーHP	1	人的ネットワーク	材木屋	1	人的ネットワーク	材木屋		
			インターネット アイベックHP	1	人的ネットワーク	みんなの話を聞いて	1	人的ネットワーク	みんなの話を聞いて		
			インターネット パソコン	1	人的ネットワーク	施工管理者から	1	人的ネットワーク	施工管理者から		
			インターネット IT	1	人的ネットワーク	施工業者	1	人的ネットワーク	施工業者		
			インターネット NET	1	人的ネットワーク	取引している建築事務所	1	人的ネットワーク	取引している建築事務所		
			インターネット インターネット(メーカーのHP)	1	人的ネットワーク	取引先	1	人的ネットワーク	取引先		
			インターネット インターネット、メーカーマニュアル	1	人的ネットワーク	グループ勉強会	1	その他講習会等	グループ勉強会		
			インターネット インターネット、フェイスブック	1	その他講習会等	学校	1	その他講習会等	学校		
			所属団体 組合からの案内	19	その他講習会等	研究会	1	その他講習会等	研究会		
			所属団体 建設組合	19	その他講習会等	工法講習	1	その他講習会等	工法講習		
			所属団体 建築士会	10	その他講習会等	催し等、展示会等	1	その他講習会等	催し等、展示会等		
			所属団体 土建組合	7	その他講習会等	専門講習会等(エコ)	1	その他講習会等	専門講習会等(エコ)		
			所属団体 労働組合	3	その他講習会等	毎日イベント	1	その他講習会等	毎日イベント		
			所属団体 埼玉土建	3	ハウスメーカー	ハウスメーカー	2	ハウスメーカー	ハウスメーカー		
			所属団体 千葉土建	2	ハウスメーカー	住宅メーカーから	1	現場	現場		
			所属団体 東京土建	2	現場	現場	18	現場	現場		
			所属団体 金建総連	2	現場	建築現場にて	1	海外情報	海外情報、主にスイス		
			所属団体 大工組合	2	海外情報	各国の情報	1	海外情報	各国の情報		
			所属団体 建設関係	2	自分で調べる	必要にせまられて、色々調べたり、聞いたりして。	1	自分で調べる	必要にせまられて、色々調べたり、聞いたりして。		
			所属団体 工務士会	2	自分で調べる	研究して入れる	1	自分で調べる	研究して入れる		
			所属団体 所属団体	2	自分で調べる	自分で調べる	1	自分で調べる	自分で調べる		
			所属団体 事務所協会	2	自分で調べる	自分	1	自分で調べる	自分		
			所属団体 愛建連	1	省エネ団体	新住協	3	省エネ団体	新住協		
			所属団体 全建	1	省エネ団体	BIS講習会	1	省エネ団体	BIS講習会		
			所属団体 加入だんだん代からのお知らせ	1	省エネ団体	省エネルギー機構より	1	省エネ団体	省エネルギー機構より		
			所属団体 加入団体からの案内	1	省エネ団体	IBEC	1	省エネ団体	IBEC		
			所属団体 JIA	1	省エネ団体	ハッショ協会	1	未分類	いろいろ		
			所属団体 全建総連岐阜建労	1	未分類	FAX	2	未分類	FAX		
			所属団体 福建労	1	未分類	案内のFAXあり	1	未分類	案内のFAXあり		
			所属団体 所属団体のセミナー	1	未分類	メール	1	未分類	メール		
			所属団体 全建組合	1	未分類	町づくりセンター	2	未分類	町づくりセンター		
			所属団体 土建事務所	1	未分類	愛知県住宅センター	1	未分類	愛知県住宅センター		
			所属団体 北部組合	1	未分類	東京都防災・建築まちづくりセンター	1	未分類	東京都防災・建築まちづくりセンター		
			所属団体 建築連合会	1	未分類	JIO	1	未分類	JIO		
			所属団体 所属組合から	1	未分類	保証機構	1	未分類	保証機構		
			所属団体 所属団体からのメール	1	未分類	専門人から	1	未分類	専門人から		
			所属団体 県連	1	未分類	南雄三	1	未分類	南雄三		
			所属団体 商工会	1	未分類	茨木	1	未分類	茨木		
			所属団体 JBN	1	未分類	情報ナシ	1	未分類	情報ナシ		
			所属団体 国保連	1	未分類	職人任せ	1	未分類	職人任せ		
			所属団体 全建密知	1	未分類	前職より	1	未分類	前職より		
			所属団体 FP	1	未分類	役場	1	未分類	役場		
			所属団体 全建連ウイングいわき	1	未分類	不動産関連の資料から	1	未分類	不動産関連の資料から		
			所属団体 足立支部	1	未分類	優良企業より購入、サポート	1	未分類	優良企業より購入、サポート		
			所属団体 大建労から	1	不明	204住宅	1	不明	204住宅		
			所属団体 土会	1							
			所属団体 FAX、千葉土建	1							
			所属団体 土建のメール	1							

図 I-11-4c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

質問 11-5 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

- 今回の講習内容で施工する場合の手間については「坪あたり人工が増加する」が 39.9% で最も多く、負担に感じた受講者が多い。
- 増加の平均は 1.4 人工。
- 「ほとんど変わらない」、「坪あたり人工が減少する」と回答した合計は全体のわずか 24.6% であった。

《職種別》

- 「坪あたり人工が増加する」が「施工」46.4%、「現場管理」42.6%、「設計」34.5%であった。
- 「ほとんど変わらない」は「施工」20.2%、「現場管理」30.0%、「設計」25.9%であった。

《地域別》

- 「ほとんど変わらない」への回答は北海道地域が 59.8%、東北地域 31.9%で、その他の地域が 15.4% (四国地域) ~ 24.2% (近畿地域) となっているのと比較して、回答が多くなっている。
- 「坪あたり人工が増加する」への回答は北海道地域が 12.5%で、その他の地域の 37.0% (九州・沖縄地域) ~ 46.7% (北陸地域) より少なくなっている。
- 「坪あたり人工が減少する」への回答は地域毎の差は無く、0.2% (四国地域) ~ 0.9% (九州・沖縄地域) と少なかった。

手間	回答数	%
ほとんど変わらない	2644	24.0
坪あたり人工が増加する	4403	39.9
坪あたり人工が減少する	71	0.6
無回答	3940	35.7
全体	11028	100.0

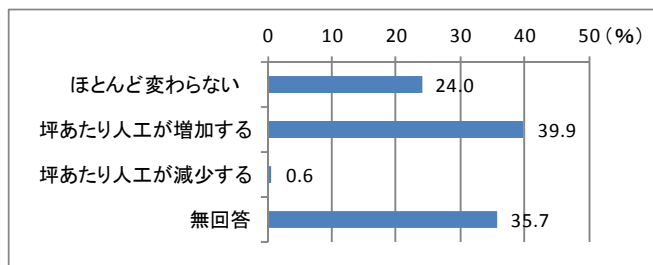


図 I-11-5a 今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	11028	24.0	39.9	0.6	35.7
施工	4329	20.2	46.4	0.8	32.9
(全体との差)		-3.8	+6.5	+0.2	-
現場管理	3309	30.0	42.6	0.4	27.1
(全体との差)		+6.0	+2.7	-0.2	-
設計	1986	25.9	34.5	0.7	39.2
(全体との差)		+1.9	-5.4	+0.1	-
その他	1235	19.1	21.3	0.6	59.1
(全体との差)		-4.9	-18.6	-0.1	-

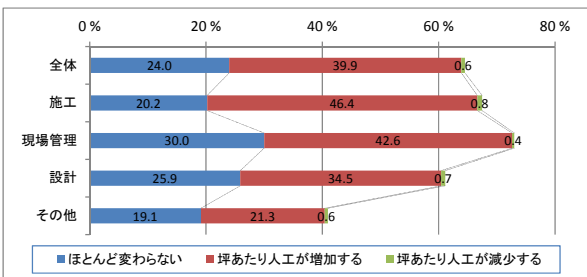


図 I-11-5b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	11028	24.0	39.9	0.6	35.7
北海道	361	59.8	12.5	0.6	27.4
(全体との差)		+35.9	-27.5	-0.1	-
東北	1197	31.9	37.6	0.8	30.1
(全体との差)		+7.9	-2.3	+0.2	-
関東	2880	21.0	41.8	0.7	36.7
(全体との差)		-2.9	+1.9	+0.1	-
北陸	841	20.5	46.7	0.4	32.7
(全体との差)		-3.5	+6.8	-0.3	-
中部	1927	22.7	43.2	0.6	33.7
(全体との差)		-1.2	+3.3	-0.0	-
近畿	1173	24.2	35.8	0.4	39.9
(全体との差)		+0.2	-4.1	-0.2	-
中国	854	19.8	45.4	0.6	34.5
(全体との差)		-4.2	+5.5	-0.1	-
四国	454	15.4	38.5	0.2	45.8
(全体との差)		-8.6	-1.4	-0.4	-
九州・沖縄	1341	22.9	37.0	0.9	39.3
(全体との差)		-1.1	-2.9	+0.3	-

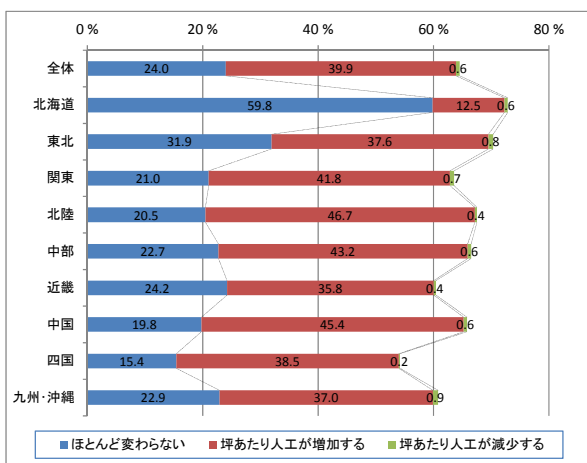


図 I-11-5c 地域別の今回の講習内容で施工する場合の手間

質問 11-6 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

- 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては「現場施工者」が47.3%で最も多かった。「施工管理者」が32.2%、「設計従事者」が22.4%と続く結果となった。

《職種別》

- いずれの職種も「現場施工者」が最多であったが、それぞれ次に多いのは「職種／現場管理」は「施工管理者」、「職種／設計」は「設計従事者」となっており、自身の意識啓発が必要とする回答が多くなっている。

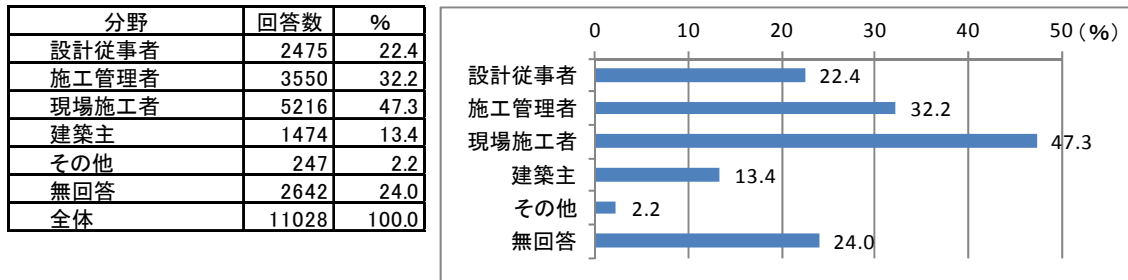


図 I-11-6a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

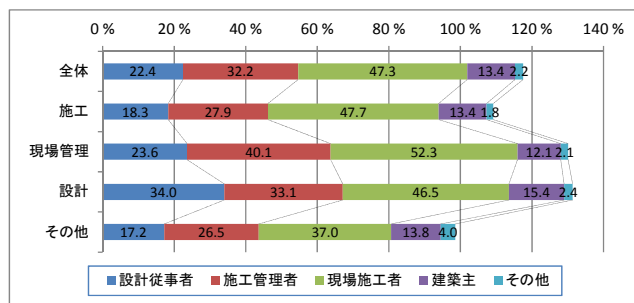


図 I-11-6b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

分野 5. その他	回答数	%	分野 5. その他	回答数	分野 5. その他	回答数		
設計従事者	5	0.0%	設計従事者	設計者、現場責任者、元請者	1	行政	国: 基準法改正が必要	1
施工管理者	1	0.0%	設計従事者	監理者	1	行政	国が(国土交通省) 訴え(差借する)	1
現場施工者	22	0.2%	設計従事者	設計・施工、2者一体	1	行政	国家	1
建築主	16	0.1%	設計従事者	設計者、施工者、費用の事が有るので建築主	1	行政	国家がしっかり予算を付けること	1
設備施工者	4	0.0%	設計従事者	いわゆる設計事務所には断熱施工に関して無知なところが多い	1	行政	法規基準を設けること	1
工務店	5	0.0%	施工管理者	設計者、現場責任者、元請者	1	行政	国交	1
経営者	12	0.1%	現場施工者	大工	9	行政	国土交通省	1
営業	7	0.1%	現場施工者	作業者	2	行政	投所	1
会社全体	6	0.1%	現場施工者	下職含む	1	行政	国土交通省とメーカー	1
建材メーカー	9	0.1%	現場施工者	下請業者	1	行政	国土交通省及び関連団体	1
建材販売	3	0.0%	現場施工者	各職種の職人の方	1	マスコミ	建主、行政、マスコミ	1
ハウスメーカー	1	0.0%	現場施工者	施工者	1	マスコミ	マスメディア	1
不動産業者	2	0.0%	現場施工者	職人の把握	1	関係する全ての人	全ての人間	58
検査機関	1	0.0%	現場施工者	職方(特に大工)	1	関係する全ての人	関係者すべて	3
公的機関	1	0.0%	現場施工者	設計・施工、2者一体	1	関係する全ての人	関わらない人全て	3
行政	28	0.3%	現場施工者	設計者、施工者、費用の事が有るので建築主	1	関係する全ての人	消費者全般、建築・建材関連業者全般、建築学科の学生	1
マスコミ	2	0.0%	現場施工者	現場施工者	1	関係する全ての人	すべて、お客様も含めて	1
関係する全ての人	71	0.6%	現場施工者	木工事	1	関係する全ての人	各立場で認識が必要です。	1
国民全て	3	0.0%	現場施工者	○同じ工法でも、現場の職人が変われば、全然違う。施工者の多く知ってもらわなければならない。施工者の多く知っているから、○しつかり断熱、気密している人(知っている)は、意外と少ないと感じる○内壁をはがさず、外壁交換時の充填、断熱についての気密シートの扱いができないのですが、何か方法は？	1	関係する全ての人	住宅建設に係る全ての人々	1
その他	10	0.1%	建築主	施主	5	関係する全ての人	関係者おおよその方々	1
不明	21	0.2%	建築主	お客	3	関係する全ての人	工事に関連する業者すべて	1
その他記入有合計	230	2.1%	建築主	材料、施工費が上がるが、お客様次第ではないか。良い事は分っているから。	1	関係する全ての人	建主は言わず皆必要	1
その他全体	247	2.2%	建築主	エンドユーザー	1	国民全て	消費者全般、建築・建材関連業者全般、建築学科の学生	1
全体	11,028	100.0%	建築主	特に建築主に対しての啓蒙(業者側が勉強が前提)	1	国民全て	国民全て	1
			建築主	建主、行政、マスコミ	1	国民全て	国民全て、発注者	1
			建築主	建築主が断熱のマニュアルを持って、せざるえないので、一気に普及すると思う。もしくは、第3者検査+罰則をつくる。	1	未分類	消費者全般、建築・建材関連業者全般、建築学科の学生	1
			建築主	建築主への予算	1	未分類	福祉医療関係	1
			建築主	設計者、施工者、費用の事が有るので建築主	1	未分類	なし	1
			建築主	この施工方法をとると、坪単価を上げないと出来ないのので、施主の理解が必要	1	未分類	木を活かす建築推進協議会、職人をばかにしすぎて。	1
			設備施工者	設備関係	1	未分類	建築主が断熱のマニュアルを持って、せざるえないので、一気に普及すると思う。もしくは、第3者検査+罰則をつくる。	1
			設備施工者	電気、水道業者も含んで	1	未分類	まだわからない	1
			設備施工者	電気工事者	1	未分類	現場で指導する者が必要	1
			設備施工者	電気工事施工者、設備施工者	1	未分類	政治家	1
			工務店	兼土工務店	1	未分類	専門の断熱業者の育成	1
			工務店	設計者、現場責任者、元請者	1	未分類	断熱工事専門認定業者の育成	1
			工務店	建設業者	1	不明	心をこめて断熱を入れること	1
			工務店	元請	1	不明	メーカーの断熱材の価格	1
			工務店	工務店	1	不明	雨水もれへの学習がしたい。リフォーム用。	1
			経営者	経営者	3	不明	世間の流れ	1
			経営者	工務店の経営者	2	不明	ODもられないですか	1
			経営者	建設会社に入る事	1	不明	ただし、法律で規制すべきではない!	1
			経営者	建設会社のトップ	1	不明	日本家屋の本来の良さも認めるべき	1
			経営者	社長	1	不明	図面(設計図書を施工レベル12)	1
			経営者	充填断熱なら大工、コスト増加のため社長の考え	1	不明	テストがあるとは思わなかった。メリットは?	1
			経営者	代表	1	不明	1施工要領(図)等の図面への落とし込み	1
			経営者	代表取締役	1	不明	2現場でどれだけ注意できるか	1
			経営者	中小零細工務店の社長	1	不明	3講習に出て来ないのもむずかしい。それと全てを理解できるかどうか。	1
			営業	営業	6	不明	細かい所で意識していない、つい施工不備になりそうなのであったので、現場でのチェックと指導を行いたいと思います。講習中も、ハツと思う所が何点ありましたので、今日受講出来て、とても勉強になりました。ありがとうございました。	1
			営業	営業 大工単価の向上、工期の延長	1	不明	社会的●●	1
			会社全体	会社全体	2	不明	建築費にはねかえて行く	1
			会社全体	会社	2	不明	職人に渡す金を下げないこと!	1
			会社全体	スタッフ全員	1	不明	工事元請見知り	1
			会社全体	会社として省エネ施工を一体化して理解すること	1	不明	吹付断熱を壁内、野地板裏に施工する仕様で22条地域のように、壁勝ちでPRを垂木、小屋梁まで張り上げる場合、壁、天井取合い部分の気密フィルムはどこに施工したら良いですか?	1
			建材メーカー	建材メーカー	1	不明	総合的な視点に立った理念及技術方針が必要	1
			建材メーカー	建材メーカー 商品と価格	1	不明	コスト	1
			建材メーカー	新建材メーカー	1	不明	断熱メーカーのPR	1
			建材メーカー	メーカー	1	不明	第三者機関に管理させる以外無いと思う。	1
			建材メーカー	断熱材製造業者	1	不明	断熱性能というひとつの側面からしか考えていないことが不満である。人間が暮らす環境である以上、健康な身体と心を取り戻せる家が必要だと思う。科学的見地は大切だが、それが全てと思うのは、化学に依存する人間の傲慢である。豊さを感じる最大の要因は、「副熱」によるものだが、「断熱」にしか触れていない。たった数パーセントのことに、あまりにこだわり過ぎてはいないだろうか?	1
			建材メーカー	断熱材メーカー	1	不明	○同じ工法でも、現場の職人が変われば、全然違う。施工者の多く知っている人(知っている)は、意外と少ないと感じる○内壁をはがさず、外壁交換時の充填、断熱についての気密シートの扱いができないのですが、何か方法は?	1
			建材メーカー	販売者、セールス	1			
			建材メーカー	副資材他の配給者	1			
			建材メーカー	国土交通省とメーカー	1			
			建材販売	販売店	1			
			建材販売	問屋	1			
			建材販売	資材販売業	1			
			ハウスメーカー	住宅メーカー	1			
			不動産業者	不動産業者(建築)	1			
			不動産業者	不動産(販売元)	1			
			検査機関	検査機関の担当員の見解等のズレ	1			
			公的機関	公的機関	1			
			行政	国	10			
			行政	行政	5			
			行政	政府	1			
			行政	建主、行政、マスコミ	1			
			行政	国、県	1			

図 I-11-6c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

質問 12 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

質問12 講習会の内容等についての意見、質問	回答数	%	%	回答数
質疑、指摘	152	11.9%	1.4%	
○ テキスト(ページ数明記)				29
○ DVD				2
○ 模型				2
○ 考査				11
○ 省エネ全般				4
○ 工法				4
○ 結露				2
○ 防湿、気密				30
○ 外壁通気				4
○ 気流止め				8
○ 開口部				1
○ 基礎断熱・床断熱				6
○ 床下換気				10
○ 壁・開口部まわり				5
○ 天井断熱・屋根断熱				6
○ 小屋裏換気・屋根通気				3
○ 外張断熱				6
○ リフォーム				5
○ 種類、厚み				5
○ その他				6
○ 不明部分				3
施工手間についての意見	56	4.4%	0.5%	
○ 施工手間増・コスト増				50
○ 施工手間減				1
○ その他				5
これまでの施工方法とギャップがあった	22	1.7%	0.2%	
要望、意見など	791	61.7%	7.2%	
● 教材、考査、アンケート	105	8.2%	1.0%	
○ テキスト				34
○ DVD				21
○ 模型				20
○ 考査				17
○ アンケート				2
○ 新たな資料などの要望				11
● 講習の内容、講習スタイルについて	323	25.2%	2.9%	
○ ツールを用いた説明				53
○ 内容重複				25
○ 読み上げる説明				41
○ 要点整理を希望				9
○ 施工者向けを希望				10
○ 工法・材料の切口				39
○ 設備施工の切口				5
○ リフォームの切口				2
○ 具体例、実例				33
○ 実習、実演				14
○ 地域毎の説明				8
○ 断熱の重要性の切口				4
○ もっと詳しくを希望				5
○ 講習の分化を希望				9
○ 講習形態提言				8
○ 講習自体への批判				4
○ 新基準等情報希望				18
○ 社内教育				5
○ 講習内容以外の要望				24

(つづき)				
○ その他				7
● 講習時間、時間割	102	8.0%	0.9%	
○ 時間不足、説明速い				48
○ 時間適切				1
○ 時間長い				17
○ 時間配分				36
● 講習会運営	63	4.9%	0.6%	
○ 広報、案内				9
○ 開催時期、曜日				17
○ 参加費				4
○ 個人情報公開				1
○ 会場				32
● 講師の説明	72	5.6%	0.7%	
○ 講師の説明(良い)				9
○ 講師の説明(話し方)				25
○ 講師の説明(質)				26
○ 講師の説明(進行)				12
● 態度・マナー	16	1.2%	0.1%	
○ 態度・マナー(講師)				4
○ 態度・マナー(スタッフ)				7
○ 態度・マナー(受講者)				5
● 省エネ施工への理解を求めたい対象	45	3.5%	0.4%	
○ 大工、職人				20
○ 設備工、下職				8
○ 設計者、管理者				6
○ 建主				11
● 制度、特定の工法、材料について	65	5.1%	0.6%	
○ 各種制度				4
○ 行政施策				8
○ 断熱のあり方				22
○ 地域性				2
○ 断熱施工				5
○ 伝統工法				5
○ 特定の工法・材料				17
○ リフォーム				2
受講後の感想など	344	26.9%	3.1%	
○ 施工できている				3
○ (再)確認ができた				11
○ 考え直す、いかしたい				32
○ 大事だとわかった				6
○ 心配				3
○ 為になる、役立つ				13
○ 参考になった				34
○ 勉強になった				76
○ 良かった				30
○ 継続的に学ぶ				2
○ また参加したい				17
○ 難しかった、分かりにくかった				5
○ わかりやすかった				36
○ 感謝				36
○ その他				40
特になし	91	7.1%	0.8%	
不明	14	1.1%	0.1%	
質問12自由記述 全体	1,281	100.0%	11.6%	
回答全体	11,028		100.0%	

図 I-12 講習会の内容等についての意見、質問

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	設計	テキスト p002 (ページ判別可)	テキスト1.1.地球温暖化と…その下部アンダーライン中で石油、天然ガス、石油等の化石燃料を…とあるが、石油、石油とかさなるのはおかしい!! どちらかが石炭と書くべきではないか! P78注意事項で窓呂、まぐさから床→十品とすべきだ。や胴作まで…	29	テキスト (ページ判別可)
四国	現場管理	テキスト p006 (ページ判別可)	エネルギー消費グラフで浴房と暖房の消費統計は電気の消費とエネルギーの消費では、ちがいが大きいのではないのでしょうか?		
近畿	その他	テキスト p008 (ページ判別可)	P8の国民アンケートの実施時期、方法(インターネットモニター)、数をおねがいします。断熱施工DVDを配布、販売希望。又DVDにテキストの頁数を入れ、DVDを使って3章の解説を希望。テキストの正誤は印刷で配布を希望します。		
関東	その他	テキスト p030 (ページ判別可)	テキストP30の説明で、「硬質ウレタンフォームは透湿抵抗が小さいので防湿層が必要です」とありましたが間違いです。注釈にある通りある特定の品種のみ(9526A種3)であり、誤解を与えますので、以後訂正して下さい。施工模型の説明で「外張断熱ではホールダウン金物に気密シートを貼るように」と解釈不明な説明がありました。基礎(外)断熱かでホールダウンの熱橋対策が違いますが、対策が必要なのは床断熱です(充填断熱)です。間違った説明ですので以後訂正下さい。		
関東	現場管理	テキスト p039 (ページ判別可)	C値は室内から外に流出する空気量(1時間当たり)を対面積で割ったもので現実のスキマ面積ではないですよね? だからスキマ相当面積といいませんか?		
北海道	現場管理	テキスト p042 (ページ判別可)	住宅各部位の熱損失の割合を見た時、換気による損失が30%を占めるにもかかわらずテキストにおいても説明においてもほとんど触れられていない点が問題だと思ふ。テキストP42の水蒸気を通しやすくとありますが合板を貼ってはまずいです。		
東北	その他	テキスト p043 (ページ判別可)	・H24基準の施行はH25、10月、経済措置はH27、3月までになったと聞きました。・テキストP43の最下部図で「③気密層」の位置は誤解を招くのでは? 様々な工法があるのでは許容されると思いますか。		
東北	その他	テキスト p043 (ページ判別可)	テキストP43の外張断熱工法の図(一番下の図)の③気密層の位置が違っているように思います。		
近畿	設計	テキスト p044 (ページ判別可)	P44、断熱材の施工状態により熱量流率が低下するとありますが、幅Wに対して、各項目どれくらいの許容量があり、Wに対してどれくらい寸法を大きくしてしまおうと項目の数値になるのか?		
中部	その他	テキスト p049 (ページ判別可)	①テキストP49の5種気密層の優先順位は(効果順位)は? ②現場吹付けウレタンのA種1、2はなぜ防湿層をもうけなくてもいいのか? ③筋かいのたすき掛けの所はどうすればいいですか? takedream0277@yahoo.co.jpへ回答頂ければ助かります。		
関東	施工	テキスト p051 (ページ判別可)	外壁の通気層の厚さは15mm以上とテキストP51に書かれていましたが18mm以上と思ってました? どっちですか? 15mm以上or18mm以上		
近畿	その他	テキスト p065 (ページ判別可)	P121 上部右側図 床根太の矢印先が間違っています。P121 上部左側図 せつこうボードの矢印先が他図と比べあいまいです。P65の写真 ヘルメットをかぶっていないのは不適では?		
近畿	施工	テキスト p069 (ページ判別可)	・ペランダは「屋根」なのか? その場合はどのように「通気層」を設置するのか? ・屋根断熱で吹付け工法の場合「下屋の通気層」はどのように壁の通気層をつなぐのか? ・テキストを朗読するのみならずテキストだけで良いと思う。(朗読する時間をその説明に使ってほしい) ・質疑応答に対応して欲しい ☆テキストP69 「湿気の排出を妨げない構成」とは? 基準値や具体例は? 定常計算でないダメなのか? ☆テキストP132 ・床下施工は「酸欠事故」の可能性があり危険 ・至近距離からの吹付けは厚みのコントロールや精度維持が困難。 ・養生不可 ・通気パッキンを使用している物件だと埋めてしまう可能性大。		
近畿	現場管理	テキスト p075 (ページ判別可)	外気に接する床の防湿層について、P75では「別張り防湿層」の明記があるが、P121(下段例の図面)では防湿フィルムが連続していない、これは何故でしょうか? 軸組と枠組み工法の違い?		
東北	設計	テキスト p078 (ページ判別可)	テキスト1.1.地球温暖化と…その下部アンダーライン中で石油、天然ガス、石油等の化石燃料を…とあるが、石油、石油とかさなるのはおかしい!! どちらかが石炭と書くべきではないか! P78注意事項で窓呂、まぐさから床→十品とすべきだ。や胴作まで…		
近畿	現場管理	テキスト p082 (ページ判別可)	テキストP82 内部壁の野縁ラインと桁梁との間の断熱材はなぜ必要なのか? 天井断熱材のスキマをなくす為ですか?		
中部	設計	テキスト p085 (ページ判別可)	・充填断熱工法において、筋違いがある壁の気流止めの仕方はどの様な方法が理想でしょうか? ・充填断熱工法(テキストP85)1.9下屋について、野縁上の断熱材(防湿材)の防湿材が30mm以上重ねて貼れる納まりであれば、別張り防湿層は省く事が出来ますか? ・断熱において、室内側から、垂木間断熱→野地板→通気垂木→野地板→仕上の順の施工の場合、防湿層の納め方はどうしたらよいか?		
関東	設計	テキスト p086 (ページ判別可)	テキスト内に具体的な断熱比較表、があると良いと思いました。P86の斜天井で傾斜天井図が不明と説明が有った。現実的な例示をしてほしい。		
中部	現場管理	テキスト p098 (ページ判別可)	テキストP98にある開口部廻りの気密の納まりを細かく教えてほしい※先張防水シートと透湿シートの取合い(貼り合わせ)の納まり		
中部	設計	テキスト p110 (ページ判別可)	講師テキストと合わせて欲しいですね。請負者がしっかり技術を認識して欲しいです。図面とDVD映像で異なるところがありますので、解説が必要と思います。(PM、テキスト時には解説ありました)P121下図Ⅲ～Vの床面の折り曲げは必要ですか? P110とP112の断熱の納まり方、ヤネでやれば天井はよいのか? ヤネでやらず天井でやるのか? どちらでもよいのでしょうか。P111はギモン。		
近畿	その他	テキスト p121 (ページ判別可)	P121 上部右側図 床根太の矢印先が間違っています。P121 上部左側図 せつこうボードの矢印先が他図と比べあいまいです。P65の写真 ヘルメットをかぶっていないのは不適では?		
近畿	その他	テキスト p121 (ページ判別可)	P121 上部右側図 床根太の矢印先が間違っています。P121 上部左側図 せつこうボードの矢印先が他図と比べあいまいです。P65の写真 ヘルメットをかぶっていないのは不適では?		
中部	設計	テキスト p121 (ページ判別可)	講師テキストと合わせて欲しいですね。請負者がしっかり技術を認識して欲しいです。図面とDVD映像で異なるところがありますので、解説が必要と思います。(PM、テキスト時には解説ありました)P121下図Ⅲ～Vの床面の折り曲げは必要ですか? P110とP112の断熱の納まり方、ヤネでやれば天井はよいのか? ヤネでやらず天井でやるのか? どちらでもよいのでしょうか。P111はギモン。		
関東	現場管理	テキスト p121 (ページ判別可)	テキストP121 外気に接する床と外壁の取合い部(例)Ⅲ～V地域 2F防湿フィルム 30m/m以上折下げ寸法表示はないが図に表示有り		
近畿	現場管理	テキスト p130 (ページ判別可)	P130～132(テキスト)床下が土砂の場合、防湿フィルムを敷いても施工精度が悪くなり、下からの湿気に対応できずにカビがはえたり、シロアリの害などにあうなど、不利なことはないですか。		
近畿	施工	テキスト p132 (ページ判別可)	・ペランダは「屋根」なのか? その場合はどのように「通気層」を設置するのか? ・屋根断熱で吹付け工法の場合「下屋の通気層」はどのように壁の通気層をつなぐのか? ・テキストを朗読するのみならずテキストだけで良いと思う。(朗読する時間をその説明に使ってほしい) ・質疑応答に対応して欲しい ☆テキストP69 「湿気の排出を妨げない構成」とは? 基準値や具体例は? 定常計算でないダメなのか? ☆テキストP132 ・床下施工は「酸欠事故」の可能性があり危険 ・至近距離からの吹付けは厚みのコントロールや精度維持が困難。 ・養生不可 ・通気パッキンを使用している物件だと埋めてしまう可能性大。 ⇒採用できない場合がある事を示唆してほしい。		
北海道	現場管理	テキスト (ページ判別可)	住宅各部位の熱損失の割合を見た時、換気による損失が30%を占めるにもかかわらずテキストにおいても説明においてもほとんど触れられていない点が問題だと思ふ。テキストP42の水蒸気を通しやすくとありますが合板を貼ってはまずいですね!		
関東	その他	テキスト・別冊 p13 (ページ判別可)	・充填断熱-防湿気密シートの施工精度は施工者によって差が出る? 断熱性能基準(R値)がⅢ～V同一というのはいいか? ・外張断熱-屋根断熱の棟換気部材の必要割合はどの程度か? 50%?		
近畿	設計	テキスト・別冊 (ページ判別可)	省エネ住宅の見直しや認定低炭素住宅制度の創設がありますが、それに対してテキストは改訂されますか? 改訂があるなら、その時期、入手方法を教えてください。		
東北	設計	DVD	DVDでの屋根通気タルポの厚みがたいぶ大きく見えたが、以前30mmを超えるのと通気層内部で対流が発生して良くないという事があります。夏を考えると通気層は大きくしたいと思っているのですが、何センチ程度までは大丈夫なものでしょうか?	2	DVD
関東	設計	DVD	DVDで外壁通気層からの吸気で小屋裏換気の吸気を良くしている様な映像が見られましたが、軒裏換気口は別途で求められるのが一般的かと思います。		
東北	設計	模型	カチモデルの通気のとり方が、サッシ周囲など、30mm確保していない。下部の通気もとられてないので、参考にならない。まちがった工法を教えているので、直してほしい。	2	模型
関東	その他	模型	テキストP30の説明で、「硬質ウレタンフォームは透湿抵抗が小さいので防湿層が必要です」とありましたが間違いです。注釈にある通りある特定の品種のみ(9526A種3)であり、誤解を与えますので、以後訂正して下さい。施工模型の説明で「外張断熱ではホールダウン金物に気密シートを貼るように」と解釈不明な説明がありました。基礎(外)断熱かでホールダウンの熱橋対策が違いますが、対策が必要なのは床断熱です(充填断熱)です。間違った説明ですので以後訂正下さい。		
北海道	現場管理	考查	考查の問題に不適当な表現があると思います。基礎断熱時の浴室床下の断熱気密施工は簡略化できるのであって、不要ではありません。開口部の室内側からの気密シールは防湿シートと連続させての施工が必要なので、言葉足らずです。少々解答に戸惑い間違った回答をしてしまいました。	11	考查
東北	設計	考查	ゼロエネルギー化促進事業についての詳しい説明と設計方法の講習会。設問(11)(12)の解答に疑問。(11)の発砲ウレタンの吹付けが必要ではないか。(12)の気密テープを用いるのではなく、防水層で連続する事が重要ではないでしょうか。		
東北	その他	考查	問題の20番については「方法となり」とあるが、「方法の場合」とすべきでは? この方法しかない様に受け取られ、それ以外にもある認識で考えると間違える。		
関東	施工	考查	考查NO.15「胴差・●行まで防湿フィルムを施工」? 30m/m重ねなくてもよいのか? NO.15キズ断熱については外張だけでなく充填の場合でも床断熱を行う場合もある。キズ断熱が外張に体系分けされるのならなぜテキストで充填の所に記載されているのか? 納得できない。		
関東	設計	考查	考查(12)(13)がどちらともとれる印象で悩みました。		
関東	設計	考查	考查の②は住宅全体とあるからには、開口部も入れるべき設問 透湿防水シートを除き、の意味が不明で不適切な設問		

関東	その他	調査	修了調査問題②について、問題文中の「日射遮断などの夏対策の」この部分だけに「夏対策」を入れるとこの設問は○でも×でもとれるのでは？もし「夏対策」を入れるなら、この前の文の「断熱性能の向上」の前に「夏・冬対策」などを入れないと不自然だと感じる。	
近畿	現場管理	調査	②の問題とP18の正合性は？	
近畿	現場管理	調査	⑧の答えは、×ではないでしょうか？テキストと問題が合っていないと思います。	
中国	現場管理	調査	問題12はひっかけで不適切だと思う。	
九州・沖縄	現場管理	調査	問題12はテキスト通りの施工ではないのに○なのは納得いかない。	
関東	施工	省エネ全般	今日までの断熱施工は断熱材が入ってはいけいという意識で施工していましたが、機能、性能を考慮した施工をしなくてはならないと意識しました。又建物に対してはどうかという疑問が多くなってきました。柱、壁間の通気が遮断されて木に対しては良くないではないか？	4 省エネ全般
関東	現場管理	省エネ全般	2020年の断熱化の達成率と2020年に断熱化によって実質的に日本全体で次エネルギーをどの位省エネできますか。高断熱化によるコストアップ分、省エネ数が減少した場合の責任は誰にありますか？	
中部	設計	省エネ全般	IV、V地域での断熱施工はここまで必要ですか？	
中国	現場管理	省エネ全般	将来、検査体制はどうなりますか？	
関東	設計	工法	充填断熱工法、外張断熱工法の長所、短所を知りたいです。	4 工法
中部	施工	工法	真壁の場合の断熱の方法(おすすめ)があれば教えてください(コストの有無はなし)	
中国	設計	工法	1 外張断熱と充填断熱の各メリット、デメリットを教えてください。2 外張と充填の断熱性能を比較した時に例えばQ値はどちらが良いのか教えてください	
中国	設計	工法	1 外張断熱と充填断熱の各メリット、デメリットを教えてください。2 外張と充填の断熱性能を比較した時に例えばQ値はどちらが良いのか教えてください	
東北	現場管理	結露	1穴、くぎ等でも結露するので、大工さんや関係者の認識を高める事要2大工さん達にも講習を受けさせたいと思います。(設備関係者も必要です)	2 結露
中国	施工	結露	結露等の考え方に矛盾があるように思う。	
北海道	現場管理	防湿、気密	・付加断熱の場合繊維系の断熱材の外側にボード系を貼るが(XPSの場合)室内側にポリフィルム室外側にも防湿層が来てしまうのではないのでしょうか？ウレタンフォームやフェノールなら良いけれど、XPSは向いてないのでしょうか？テープ貼らなければ良いのか？それともまったく考え方が違うのか？不思議です。・通気層でタテ胴線は18mm、ヨコ胴線の通気ホールの寸法が出てなかったように思いました。どのくらい必要でしょうか？・木製サッシの気密化が難しい。今回関係ないが…	30 防湿、気密
東北	現場管理	防湿、気密	構造用合板は透湿性が有ると考えるのでしょうか？P78、79の写真を見ると断熱材の外側に構造用合板が張ってありますが、透湿性が無いと考えると(気密性があると考えると)、断熱材内部に入った湿気の逃げ場がなくなります。外張りの所の説明では、気密テープを張る事で気密が見えるようになっていました…。また構造用合板の外側に透湿防水シートを張った上で通気胴グチ+外壁を張っている現場を見ますが…どうなのでしょう？回答はinfo@1kanouya.com 樋口までお願いします。	
東北	現場管理	防湿、気密	充填断熱工法で施工した場合、C値はどのくらい値になりますか。	
東北	設計	防湿、気密	講習会側の準備不足を感じました。気密が大事との事でしたが、気密シートや気密テープは強い地震の際、破れたりしないのでしょうか。又、破れた場合の損傷箇所の発見方法や修理方法はどの様な物があるのでしょうか。	
東北	設計	防湿、気密	今回の断熱について実際の気密レベルを検証してほしい。(今現在は気密シート貼りしています)	
関東	施工	防湿、気密	・天井の断熱材は、何故野縁の間に取れないのか？隙間があいては、意味がないのではないだろうか？・下屋も何故に天井と同じ施工なのに、防湿材を貼らないのか。	
関東	現場管理	防湿、気密	・気密テープは色により異なっているのでしょうか(白、黒)・キノ断熱と白蟻の注意点をもう少し詳しくした方がよい。☆本州と北海道とは異なるから。危険だと思。	
関東	現場管理	防湿、気密	・外張断熱の場合、部屋内から壁内に入った湿気はどこから抜けますか？・基礎断熱をして基礎と土台を気密とした場合は、気流止めはいらぬのではないか。・床下断熱の場合、床下換気をしてはけないですか。床下が密閉されていると長い年月の間木材の腐朽が心配です。	
関東	現場管理	防湿、気密	・電気配線をプラスチックカバーに入れたあとの穴はふさぐのですか ・外断熱で使用するビスの長さを決める公式はありますか。	
関東	現場管理	防湿、気密	室内側の床、壁、天井に防湿フィルムを施工する様になっておりますが、どの種類の断熱材でも同様に施工しなければいけないのでしょうか？建物や人の呼吸が出来なくなるのでは。	
関東	設計	防湿、気密	壁断熱材には、別張防湿材の施工は不要で、天井断熱材には、別張防湿材が必要な理由は？	
関東	設計	防湿、気密	吹付断熱材の屋根、天井施工の場合、防湿層をどうするか？	
関東	無回答	防湿、気密	気密と防露の計画であいまいな点が多い。	
北陸	現場管理	防湿、気密	施工方法が決定していない所(PBを桁まで張った時の天井防湿フィルムとのとりあい)が決まったら教えてください。	
中部	設計	防湿、気密	・充填断熱工法において、筋違がある壁の気流止めの仕方どの様な方法が理想でしょうか？・充填断熱工法(テキストP85)1.9下屋について、野縁上の断熱材(防湿材付)の防湿材が30mm以上重ねて貼れる納まりであれば、別張り防湿層は省く事が出来ますか？・屋断熱において、室内側から、垂木間断熱→野地板→通気垂木→野地板→仕上の順の施工の場合、防湿層の納め方はどうしたらよいのか？	
中部	設計	防湿、気密	こんなに密ベシして本当にくらくらしない？60年～100年先方が一の時どうするの？	
中部	設計	防湿、気密	たすき掛けすじかいの断熱施工は不十分と思われる。50m/mを2回貼るなどがよいのでは？外壁気密シート押えは、天井裏がボードの場合どのように天井と連続させるのか明確な記述が無い。テキストは良く出来ているのでインデックス等を用意しように見やすくすすしと使いやすいと思。	
中部	設計	防湿、気密	袋入GWの扱いと気密シート施工の扱いが同等でよいのか？袋入GWは逃げでしかないと思う。あれで気密が出るのか？	
中部	その他	防湿、気密	①テキストP49の5種気密層の優先順位は(効果順位)は？②現場吹付けウレタンのA種1、2はなぜ防湿層をもうけなくてもいいのか？③筋かいのたすき掛けの所はどのようにすればいいですか？takeidream0277@yahoo.co.jpへ回答頂ければ助かります。	
中部	その他	防湿、気密	気密テープに替えてシーリングでも可であるか。	
中部	無回答	防湿、気密	充填断熱の場合で、室内側に胴線施工する場合、気密層の取り方について分かりません。断熱材の防湿フィルムを直接内装仕上げ材(プasterボード)でおさえられない時。	
近畿	現場管理	防湿、気密	・吹付断熱の場合も気密シートの施工が必要ですか？・玄関土間の断熱は義務付けられているものですか？(当社ではしていないので)・壁の断熱を充てんする際、天井よりもP.Bで押さえる必要はありますか？・SB廻りは吹付断熱でも気密シート+P.Bにしなければなりませんか？	
近畿	現場管理	防湿、気密	・吹付断熱の場合も気密シートの施工が必要ですか？・玄関土間の断熱は義務付けられているものですか？(当社ではしていないので)・壁の断熱を充てんする際、天井よりもP.Bで押さえる必要はありますか？・SB廻りは吹付断熱でも気密シート+P.Bにしなければなりませんか？	
近畿	現場管理	防湿、気密	気密テープと気密シートの対応年数が気になります。	
中国	施工	防湿、気密	内部のボード貼りで、現在断熱材の上に横胴線を打ち、PBを貼っているが、防湿シートは断熱材の直面上、横胴線の上に貼りボードを貼るのか、どちらでしょうか？(解答いただきました)	
中国	設計	防湿、気密	壁のボードを張る場合、下地板は使わない方が良いという事でしょうか。	
中国	その他	防湿、気密	断熱材のフィルムをはがして施工すると、止める所がなくなるので断熱材が下がりはしないか？	
四国	設計	防湿、気密	大引間に床断熱(押出法ボスチレンフォーム)をした場合、階段下等、床仕上のない部分にも、気密層として床下地が必要ですか？	
九州・沖縄	設計	防湿、気密	気密工事の重要性をもっと伝えていただきたい。 気密テープの耐用年数が問題ではないか。断熱リフォームは新築より工事費がかかる。地震時のゆれによって気密能力がおちる問題はどうか。(木造はゆれることを前提に作られているはず)24時間換気とあわない。西日本は多くの地域で白蟻がいるので工法としてそぐわないのではないか。	
北海道	現場管理	外壁通気	・付加断熱の場合繊維系の断熱材の外側にボード系を貼るが(XPSの場合)室内側にポリフィルム室外側にも防湿層が来てしまうのではないのでしょうか？ウレタンフォームやフェノールなら良いけれど、XPSは向いてないのでしょうか？テープ貼らなければ良いのか？それともまったく考え方が違うのか？不思議です。・通気層でタテ胴線は18mm、ヨコ胴線の通気ホールの寸法が出てなかったように思いました。どのくらい必要でしょうか？・木製サッシの気密化が難しい。今回関係ないが…	4 外壁通気
関東	施工	外壁通気	外張断熱仕様で、断熱材のように、防湿フィルムを貼ると、その内に通気層が止まってしまいませんか？	
中部	現場管理	外壁通気	外張断熱施工でサッシ取合いの15mm以上の外壁下張材(胴線)を18mm以上のエアホール胴線を使えば30mm程度のすき間は必要無いのでしょうか？	
近畿	現場管理	外壁通気	充填断熱(壁部)で外壁の通気層の必要性に関して、外部に構造合板を張ってから透湿シートを張って通気層を作っても、合板が壁内からの除湿をそそいでいることになりませんか？	
関東	施工	気流止め	屋上、ベランダ等で防水下地としてモルタル(仮に5cm厚)を施工した場合でも断熱材は下地内に必要なのですか？金物等で通気防止材(間柱の間)がうまく施工出来ないときは現場発泡断熱材で補強が可能でしょうか？	8 気流止め
関東	施工	気流止め	具体的な事例を含め内容(現場に役立つ話等)が聞きたい。通気止めに関し、プレカット剛床の場合には、不要なのではないのでしょうか？	
関東	現場管理	気流止め	・外張断熱の場合、部屋内から壁内に入った湿気はどこから抜けますか？・基礎断熱をして基礎と土台を気密とした場合は、気流止めはいらぬのではないか。・床下断熱の場合、床下換気をしてはけないですか。床下が密閉されていると長い年月の間木材の腐朽が心配です。	

北陸	現場管理	気流止め	①気流止めと壁と天井や床と壁の取り合いは、壁部分を床まで伸ばすや天井まで伸ばしても必要なです。②開口部周囲側のすきまは、断熱を入れ気密テープを貼る施工方法でいいですか。	
中部	施工	気流止め	気流止が理解できない。	
中部	設計	気流止め	・充填断熱工法において、筋違がある壁の気流止めの仕方ほどの様な方法が理想でしょうか？・充填断熱工法(テキストP85)1.9下屋について、野縁上の断熱材(防湿材付)の防湿材が30mm以上重ねて貼れる納まりであれば、別張り防湿層は省く事が出来ますか？・屋断熱において、室内側から、垂木間断熱一野地板一通気垂木一野地板一仕上の順の施工の場合、防湿層の納め方はどうしたらよいのか？	
中部	その他	気流止め	①特にリフォームの断熱改修について、様々なケーススタディで実例をもとに知りたい②外張断熱(壁)で気流止めを施した場合、その室内の温度は低温度の状態を保てるのか	
近畿	現場管理	気流止め	気流止め(寸法指示なし××?)と防火ファイヤーストップ(寸法指示あり30×40?)との関係を明確にしたい。	
北陸	その他	開口部	「ドアは開口部でなく、壁に含める」と2/21改正省エネ講習で説明うけました。ドア、サッシとも開口部として扱わないのでしょうか？トレードオフ使用検定などは撤廃しきれないほど、住宅の品質には疑問が残る事を世主は感じてくる時代なんじゃないかと思いました。	1
関東	施工	基礎断熱・床断熱	床下断熱の厚み、トレードオフについて(根太間450以上)ネグレスの場合、適用されるのか？	6
関東	現場管理	基礎断熱・床断熱	・気密テープは色により異なるのでほしいのか(白、黒)・キノ断熱と白蟻の注意点をもちと詳しくした方がよい。☆本州と北海道とは異なるから、危険だと思ふ。	
関東	現場管理	基礎断熱・床断熱	外断熱の床下の換気はどうするのか(換気量)？スリットだけでOK？	
近畿	現場管理	基礎断熱・床断熱	・吹付断熱の場合も気密シーツの施工が必要ですか？・玄関土間の断熱は義務付けられているものですか？(当社ではしていないので)・壁の断熱を充てんする際、天井よりもP.Bで押さえる必要はありますか？・SB廻りは吹付断熱でも気密シート+P.Bにしなればなりませんか？	
近畿	設計	基礎断熱・床断熱	・土台に気密パッキンと使用とありますが、建築基準法の床下換気とのからみは？・外断熱で熱幅帽子の為、間仕切の基礎立上りも断熱補強とありますが、地域により緩和はありますか(IV地域)	
四国	現場管理	基礎断熱・床断熱	基礎断熱で、蟻害が生じることがあるので防蟻処理を…。とありますが、具体的にどのような処理があるのでしょうか？ボード状断熱材にその様な処理をしたものがあるのでしょうか？それとも、地盤面の土壌処理をするとか、そういう程度でしょうか？	
関東	現場管理	床下換気	・外張断熱の場合、部屋内から壁内に入った湿気はどこから抜けますか？・基礎断熱をして基礎と土台を気密とした場合は、気流止めはいらぬのではないか。・床下断熱の場合、床下換気をしてはけないですか。床下が密閉されていると長い年月の間木材の腐朽が心配です。	10
関東	現場管理	床下換気	もっと身近な場所で開催してほしい。キノを断熱して開った場合、床下の換気はどう考えますか。	
関東	現場管理	床下換気	リフォームで単に床下の換気を止めてほしいのか、もしくはいいのでしょうか。ちよっと心配	
関東	設計	床下換気	講習会場としての女性トイレの設置。階段に手すり(基準法で義務づけられている)の設置。気密パッキンと基礎パッキンが図の中にあるが、つらい分けの必要性、床下換気はどうなのか、外部か内部か？	
関東	その他	床下換気	耐久性の面で1階床下の換気についてどのような配慮が必要となりますか？窓の断熱リフォームにおける「窓台は荷重が増加した場合の下地の構造強度」の具体的な確認方法はどのようになりますか？	
中部	施工	床下換気	床下換気口をふさいで大丈夫でしょうか？	
中部	現場管理	床下換気	キノ断熱の場合の換気扇等必要ではないか。床下がカビ…コンクリートのドタ(ラドン)	
近畿	現場管理	床下換気	外張断熱における床下の換気に疑問があります(通気がない)また、ホールダウン等の金物による熱費流も気になる部分です。	
近畿	設計	床下換気	・土台に気密パッキンと使用とありますが、建築基準法の床下換気とのからみは？・外断熱で熱幅帽子の為、間仕切の基礎立上りも断熱補強とありますが、地域により緩和はありますか(IV地域)	
近畿	設計	床下換気	基礎断熱の場合、基礎上に気密パッキンを取付ますが、その場合、床下換気はどう考えるのでしょうか？	
関東	施工	壁・開口部まわり	ビデオなどではスズカイ部において、室内側の部分についての説明だけだったが、外壁側にあるスズカイ部はただおしつけての施工で良いのですか。	5
北陸	現場管理	壁・開口部まわり	①気流止めと壁と天井や床と壁の取り合いは、壁部分を床まで伸ばすや天井まで伸ばしても必要なです。②開口部周囲側のすきまは、断熱を入れ気密テープを貼る施工方法でいいですか。	
中部	設計	壁・開口部まわり	たすき掛けすじかいの断熱施工は不十分と思われる。50m/mを2回貼るなどがよいのでは？外壁気密シート押えは、天井裏がボードの場合のように天井と連続させるのか明確な記述が無い。テキストは良く出来ているのでインデックス等を用意しさらに見やすくすると使いやすそうと思われる。	
中部	その他	壁・開口部まわり	①テキストP49の5種気密層の優先順位は(効果順位)は？②現場吹付けウレタンのA種1、2はなぜ防湿層をもうけなくてもいいのか？③筋かいのたすき掛けの所はどうすればいいですか？ takedream0277@yahoo.co.jpへ回答頂ければ助かります。	
中国	施工	壁・開口部まわり	内部ボード下地を間柱直ではなく、野地下地とした場合の、施工方は？	
関東	施工	天井断熱・屋根断熱	・天井の断熱材は、何故野縁の間に入れないのか？隙間があいては、意味がないのではないだろうか？・下屋も何故に天井と同じ施工なのに、防湿材を貼らないのか。	6
関東	施工	天井断熱・屋根断熱	屋上、ベランダ等で防水下地としてモルタル(仮に5cm厚)を施工した場合でも断熱材は下地内に必要なのですか？金物等で通気防止材(間柱の間)がうまく施工出来ないときは現場発泡断熱材で補強が可能でしょうか？	
関東	現場管理	天井断熱・屋根断熱	充填断熱の場合、天井野縁の施工方法の説明がありませんでした。格子天井にすれば防湿フィルムは貼らなくて良いのでは？電気配線のタイミング等の指導もあつた方がよいかと思ひます。	
北陸	施工	天井断熱・屋根断熱	イナゴ天井の時は(敷き込み断熱)防湿フィルム？	
中部	施工	天井断熱・屋根断熱	天井断熱で、2枚かさねて施工してもいいか？T100+2枚でT200になるのか？	
中部	設計	天井断熱・屋根断熱	天井の断熱がうまくできていないのかと思ひました。2×4や屋根断熱のように根太、垂木間に止めていく方法ならできそうですが、天井に敷設するだけでは気密出てもいいと感じました。	
関東	その他	小屋裏換気・屋根通気	・充填断熱一防湿気密シーツの施工精度は施工者によって差が出る？断熱性能基準(R値)がIII～V同一というのはいかか？・外張断熱一屋根断熱の棟換気部材の必要割合はどの程度か？50%？	3
北陸	現場管理	小屋裏換気・屋根通気	・暖房時ではない冷房時は結露は反対になりますが、その点の説明も少しほしかった。・雪国でも棟換気は良いですか。	
近畿	施工	小屋裏換気・屋根通気	・ベランダは「屋根」なのか？その場合どのように「通気層」を設置するのか？・屋根断熱で吹付け工法の場合「下屋の通気層」はどのように壁の通気層をつなぐのか？・テキストを朗読するのみならテキストだけで良いと思う。(朗読する時間を他の説明に使ってほしい)・質疑応答に対応して欲しい ☆テキストP69「湿気の排出を妨げない構成」とは？基準値や具体例は？定常計算でないダメなのか？ ☆テキストP132「床下施工」「酸欠事故」の可能性が危険 ☆近距離からの吹付けは厚みのコントロールや精度維持が困難。・養生不可・通気パッキンを使用している物件だと埋めてしまう可能性大。⇒採用できない場合がある事を示唆してほしい。	
東北	設計	外張断熱	設計段階での方針も重要ですが、施工精度でも左右されるので、その部分の教育も必要だと思います。質問です。外断熱のコーナー納まりです。この断熱材を柱とカットするよりも、貼り伸ばした方が胴縁とコーナー材の取合いが強いのではないのでしょうか？ぶ留まりの問題ですか？	6
関東	現場管理	外張断熱	・電気の配線をブラスチックカバーに入れたあとの穴はふさぐのですか	
中部	施工	外張断熱	・外断熱で使用するビスの長さを決める公式はありますか。	
中部	施工	外張断熱	外側断熱の場合のキノ仕上がりについて。	
中部	施工	外張断熱	外張断熱で、基礎断熱なしで、床下は外部とする工法もよいのでしょうか？	
中部	施工	外張断熱	外張断熱について、ギモンがあります。	
九州・沖縄	現場管理	外張断熱	外張り断熱に関して、鹿児島には適していない所はどういった事柄からなののでしょうか？	
関東	施工	リフォーム	私の場合、リフォームがほとんどなので部分的に断熱をして意味があるかどうか？	5
関東	その他	リフォーム	耐久性の面で1階床下の換気についてどのような配慮が必要となりますか？窓の断熱リフォームにおける「窓台は荷重が増加した場合の下地の構造強度」の具体的な確認方法はどのようになりますか？	
北陸	設計	リフォーム	断熱リフォームって「サッシだけ」「床だけ」などで部分的にやっちゃったら逆に影響とかないんですかね？	
中国	設計	リフォーム	壁や屋根の断熱リフォームについて、「柱、間柱等の構造耐力、耐久性の確認してください」とありましたが、具体的にどのよう確認するのですか？構造計算ですか？	
九州・沖縄	現場管理	リフォーム	リフォームの場合の充填断熱のやりかた、一部のリフォームしかない場合、たとえば、床だけリフォームする場合は、床断熱だけしたほうが良いのか？教えてください。	
中部	その他	種類、厚み	セルロースファイバーを使用する場合、室内側はどう施工すべきでしょうか？	5
近畿	施工	種類、厚み	実際、京都府内において、外張断熱を施工する場合、スタイロフォームetc何mmの厚さが必要ですか？	
近畿	施工	種類、厚み	土かべ(2まいあらかべ)の断熱効果はあるのか？(屋根への土)	
近畿	施工	種類、厚み	真壁(10cm程度)ほどの程度の断熱になるか？	
九州・沖縄	施工	種類、厚み	断熱材の厚み、内壁、外壁の材料の厚み、種類はなんでもよいのか？	
北海道	現場管理	その他	現在BIS(CASBEE勉強中)の資格がありそれぞれの兼ね合いはどうなりますか？	6
北陸	その他	その他	・DVD天井、床点検口の断熱材の施工方法も入れて欲しい。・2013年4月より認定低炭素住宅制度が開始され、住宅の断熱基準はQ値ではなく、外皮見付面積I値で表すのではないのか？	
中部	施工	その他	・IBECより次世代区分はすでにTV(a)(b)地域で分れています。大変勉強になりました。グラスウールとフェノールでも、鉄-コンクリート-木材ほどの熱伝導差異がない事を改めて知りました。入の値、w/(m・k)が違うと実体験でどれくらい体感値がかわるのかを知りたいです。	

中部	設計	その他	省エネ対策では床下空間は屋内側となるとおいくのですが、シックハウス対策では換気対象面積(体積)には含まれていないと思います。動きとしてはどうなりますか？		
中部	設計	その他	施工の良し悪しによるデータの差が知りたいです。部位によるものも知りたいです。		
九州・沖縄	現場管理	その他	今後、省エネ住宅が義務となるのか(強制)等の動きを教えてください		
関東	その他	不明部分有	・通気層の確保は断熱材で確保する施工になっているが、現実には通気層の確保は厳しい。通気層を確保するスプレーが必要である。(7)100mmの断熱材は不可能)・リフォーム断熱施工は千差万別の建物があるので一概には対応できないと思う。画一的なリフォーム方法を明記すべきではない。	3	不明部分有
近畿	現場管理	不明部分有	・吹付断熱の場合も気密シートの施工が必要ですか？・玄関間の断熱は義務付けられているものですか？(当社ではしていない)・壁の断熱を充てんする際、天井よりもP.Bで押さえる必要はありますか？・SB廻りは吹付断熱でも気密シート+P.Bにしなければなりませんか？		
近畿	施工	不明部分有	プラスチック、ロックワールなど化学製品ばかりの断熱だけでなく、カベエなどの断熱はだめなのでしょうか？つくり上げる物はいずれ解体する時が来ます。その時のCO2の事を考えておられるのでしょうか？		

施工手間についての意見

56

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
関東	施工	工事費見直し	責任施工としては、重要な内容だと思った。ただ、断熱施工も大事だが、それに合わせての 工費の見直しも重要だ と感じた。	50	施工手間増 ・コスト増
中部	現場管理	コストアップ	全てコストにはねかえるので、技術的なことよりこちらが大変だ と思う。		
東北	設計	コストのこと知りたい	充填断熱、外張り断熱工法の比較について、建物全体の性能、コスト、施工性等の具体的な数値での比較があるとよかった。施工性については、標準的建物(30T~40T)の仕上材・人口等の資料があればよかった！		
関東	施工	コストのこと知りたい	坪あたりの費用めやす		
関東	現場管理	コストのこと知りたい	講習内容は良かったが、コストや施工性についての考え方も少し話を聞いて欲しいかった。		
近畿	現場管理	コストのこと知りたい	充填工法とくらべ外張り工法のデメリットが多く感じましたが、コスト面での比較がききたかった。		
東北	現場管理	コスト増	床下の断熱リフォームについての調査方法又コストは、 費用が多分にかかると 思いますが？(55年以前の建物)参考(実例集)的な実案がありますか。		
東北	その他	コスト増	良い施工をするためにはお金がかかる事 なので、かかる金額にも驚かなくてよかったです。		
北陸	設計	コスト増	在来軸組工法にグラスウール充填工法を取り入れると、防湿層を確保する上で、 確実 に 大工手間 が 上昇 する。防湿層の施工向上もしくは簡素化が必要。		
中部	施工	コスト増	住宅の 坪単価が高くなりそう		
中部	施工	コスト増	本日の施工法はコスト高につながると思われ ！施工精度に難あり！		
中部	現場管理	コスト増	この断熱気密を副資材を使って完ぺきに施工すると考えると、従来の断熱材をつめ込むだけの断熱方法より、 施工手間 が 上り 、 材木費 が かさね と 思う ので、吹込み工法の方が現実的な気がする。修了調査の解答をしている時に、係の人が話しているうさかった		
近畿	現場管理	コスト増	11-5の質問は 手間は上るとは思いますが 、坪あたりという単位ではわからない。		
中国	施工	コスト増	手間受けで仕事する以上、それなりの単価と、工期がないとできないと思う。講習会と現場の状況(金額、坪単価)は違うと思う。 (結論)時間(工期)と単価があれば出来る！！		
九州・沖縄	現場管理	コスト増	やっこの様な講習会が開かれて大変うれしい。但し、在来のグラスウール等では、 かなり費用がアップ すると思われ。 断熱 に関する、手間代、予算を確保することが重要である。		
関東	施工	実際は難しい	規格どうい施工するには コストが大になり、なかなか施工がみつからない 、と思われ。		
関東	現場管理	実際は難しい	施工主の出せる金額に左右される ため、正しい施工が出来ない場合もあると思われる。今後正しい施工を基本に現場を管理したいと思う。		
北陸	施工	実際は難しい	現場施工者(大工)としては 手間がかかるように思 います。 建築主が追加分(断熱にかかるお金)を出費してくれるか？ 高断熱の住まいもわかりますが、もう少し別の方法があるのでは？		
中部	現場管理	実際は難しい	関係者は何でも対応できると思うが、 施工主の希望はあるがコストの問題でなかなか進まない		
中部	現場管理	実際は難しい	この地域にあった(IV地域)特例の仕様の説明が欲しい。特例を利用した コストUPを押えた方法を普及しないことには、採用しづらいのでは…		
中部	現場管理	実際は難しい	省エネについてこれだけの手間をかける事は、 費用がかさみ難しい と思う		
九州・沖縄	設計	実際は難しい	お客様に予算にあわせていくと、断熱材は等級3程度 になってしまふ。		
東北	設計	施工手間(だけ)増	講習内容を設計に折こめるかが不明。		
東北	設計	施工手間(だけ)増	外断熱は人手が かか り過ぎる。		
関東	施工	施工手間(だけ)増	まだ、省エネ施工してないのでわからないですが手間は 少し かかると思っています。		
関東	施工	施工手間(だけ)増	製度化された事について、そもそも施工主に対しての周知が全くない現状で、建築会社側が対応すれば金額的、工期的にも不良業者の台頭を許す事になると思われ。同時進行で周知徹底を望む。現場での説明は手間代が発生しない上に、一番手間のかかる仕事となります。又、外断熱の断熱材の上に下地を組む手法は火災の時に外壁屋根が一瞬ではがれ落ちる原因となり得ると思われ。断熱材のカットについてもカッターを使用すれば曲がる直が出ないということ解消するため丸ノコ盤を使用すればすぐに切れなくなる、あおられる等問題点が多いのに現場加工にたよらなければならぬ施工方法は安全な作業とは反対向きだと思。特にリフォームに関しては施工性、安全性は現場側からは考えられていない。		
関東	現場管理	施工手間(だけ)増	当者の充填断熱工法は全然新しくなかったと痛感すると共に、これだけ手間が増えるなら、断熱性能が高く確実な発泡ウレタ断熱を中心にした方がよいか、と思いました。高橋さんはもっとハキハキした声で話して下さい。教科書ばかり見ていないで、 大変勉強 になりました。これで1000円は安い。		
北陸	施工	施工手間(だけ)増	講習会の内容は、十分に理解しているが、施工方法だけでなく、現実、施工する手間などと結びつけて、施工者の立場も見て、改善して欲しい。やる事は増え、内容は厳しくなり、手間は下がるといったような現実が職人減少という問題を、うんでいます。家を建てるという事に対し、家だけでなく、それにたずさわる周囲の人々の環境改善も、良い住宅を造るための第一歩ではないだろうか。		
中部	施工	施工手間(だけ)増	現場の施工手間が増えても、手間賃を増やさないと元請が少なからずいるため、現場の負担が増えて困ります。そのためか、施工者のなかにも手抜き工事をする方も見られます。意識改革だけで、 済む問題ではない のでは？		
中部	現場管理	施工手間(だけ)増	坪あたりの手間増加はやらないですが、 普段の2倍以上は手間がかかると 思っています。		
中部	設計	施工手間(だけ)増	手間のかかる仕事だと思。		
四国	施工	施工手間(だけ)増	実際の施工は すく 手間がかかる。		
関東	現場管理	大工にしよせ	1、電気工事店、設備工事店の断熱施工に対しての講習会も集めてほしい。2、 建設会社、ビルダー代表者に大工手間代を必ず断熱施工費とプラスすること 。(大工から一番出る問題であり、今もお金をもらえない。オレ達はボランティアでない)など(施工するのは大工です。正しい施工がいかにか大事か一度考えなおしたい)		
中部	施工	大工にしよせ	きちんとした仕事を行うには、見合った賃金が求められる。		
中国	施工	大工にしよせ	お金がかかる事である のでなかなか大変だと思。大工等の施工者にしよせがこない様に考えてほしい		
関東	施工	建て主のその他	施工費等上がる事が考えられますので、お客様とよく相談しながらすすめていきたい と考えております。		
関東	施工	建て主のその他	屋根で外張り断熱を行う場合、実質屋根を2度作るようで、 その場合の手間、材料費の増加、建築主の負担が心配される。		
関東	その他	建て主のその他	宣伝が多かった。 省エネ住宅はおもいのほかに金額がはりそう だ。お客様にとって本当にメリットがあるのかギモンです。		
関東	その他	建主の理解望む	省エネ住宅でコストの件が有り 建主との協力 必要		
北陸	施工	建主の理解望む	工賃が安く押さえられている中、このような断熱施工を行っていくには、 住宅メーカーや建築主のコストの理解が必要ではない でしょうか。		
近畿	現場管理	建主の理解望む	・標準仕様書の確認が要、TASS等も。・このコスト増をどこでカバー出来るのか？イニシャルをランニング減で何年でペイできるのか、 消費者の理解も必要 。		
中国	その他	建主の理解望む	・施工性に関する留意点はもっと施工者側に手厚い内容とすべき。(真壁や外壁湿式工法などはより丁寧に)・ 材料、手間のコストアップについても触れ、施工側にも理解が求められることができるよう配慮できないか？		
九州・沖縄	現場管理	建主の理解望む	講習会の説明通りの施工をするには、手間が増えて 実際の現場では、なかなか難しいのではないかと感じました。 建築主がそれだけのコストアップを理解してもらえれば良い のですが		
近畿	施工	単価次第	やはり単価次第でしょう。講師さんも、もっとなれたら、うまくいくでしょう		
近畿	現場管理	単価次第	実施するにあたり坪単価が？		
関東	施工	負担はどこ？	省エネルギー住宅にする 住宅の価格が10%ぐらい上昇する と思しますので、 そのしよせは誰！ 低価格で快適な住宅の講習会を開いてほしいです。		
関東	施工	負担はどこ？	しかりごもっともな内容であるが、 費用負担は誰がする のか？大工職の手間は下がる事はあっても上がっていないのが現状。 適切なコスト負担が必要 。建主、施工業者共に！		
中国	現場管理	負担はどこ？	断熱仕様一商品名でないイメージできない。現場の意見・要望が取り入れられているのか？…一方的な工事に聞こえてしまった。スピードを問われ、予算減少で「手間代を断熱用へのアピール」をして欲しい。 工事が複雑になった分の費用は誰が負担してくれる のか？+加湿器を使う人が多い。ファンヒーターのないお宅はない。災害で停電の時にどうする。木材の水分をどう考える…もう少し人と木に優しくしたいと思いました。		
中部	無回答	見積もりどうするか	坪単価をおさえていく場合に 手間が増加する事 でどう見積りを出すか？		

関東	施工	予算きびしい	講習会での断熱材、気密は十分だじだとわかるのですが、最終的には、 施工の予算がきびしい 。この性能にするには、手間がかなり、かなりの金額になってしまう。努力義務ではなく、国で、決定した方が、施工主になっとくできる。		
関東	施工	予算きびしい	予算的にこのやり方はきびしい。	1	施工手間減
九州・沖縄	現場管理	施工手間減	この講習会が広まり、施工が正しく、行われれば坪あたりの人工は下がると 思います。施工の質があると思います。		
北陸	現場管理	施工手間その他	断熱材の施工方法が、かなり、大変になる事がわかった。	5	その他
中部	現場管理	施工手間その他	棟換気部分の材入荷が…！施工面が…！雨もり等		
近畿	その他	施工手間その他	価格面において職人の問題、職人啓発が問題の様。		
中国	現場管理	施工手間その他	現場、大工が職人では、現実無理です。 断熱専門業が必要 。家強度の野地板を施工します。		
四国	施工	施工手間その他	大手住宅メーカーと同じレベルの仕事をしなくてはならない。		

これまでの施工方法とギャップがあったという意見

22

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	設計	ギャップあり	今まで、マニュアル通り指導してきたつもりでしたが、 施工出来ていない所があり 、とても勉強になったし、講習を受けて良かったと思います。この様な講習をどんどんお願いします。	22	
東北	設計	ギャップあり	現場施工方法の間違いがわかり 大変勉強になりました。		
関東	施工	ギャップあり	今までしていた 施工に少し誤りがあった ので今回の講習を聞き明日からの仕事に役立てたいと思います。本日はありがとうございました。		
関東	施工	ギャップあり	今まで 充填断熱の施工を、いいかげんに行っていた 。今日の講習で大変参考になりました。		
関東	施工	ギャップあり	内容がわからない訳でもないのですが、実務となると… 実際には出入りしている各ハウスメーカーのマニュアルに添って施工しています。		
関東	施工	ギャップあり	わかりやすかったです。別の内容でも講習があればいいと思います。 この内容で仕事をおこなうには実際にはきびしいと思います。 ありがとうございました。		
関東	現場管理	ギャップあり	大変勉強になりました。 今までの施工の仕方が少しまちがっていたところがありました。		
関東	現場管理	ギャップあり	大変勉強になった。 当者の充填断熱工法は全然正しくなかったと痛感する と共に、これだけ手間が増えるなら、断熱性能が高く確実な発泡ウレタン断熱を中心にした方がよいかな、と思いました。高橋さんはもっとハキハキした声で話して下さい。教科書ばかり見てないで、大変勉強になりました。これで1000円は安い。		
関東	現場管理	ギャップあり	理想と現実の差を思い知らされました。 現場施工者(大工、電気、水道他)が実行出来なければ実現は難しいかと、常駐管理は非現実的		
関東	設計	ギャップあり	今回、講習を受講した事により、 これまであてまわっていた部分の確認と 、今後、現場施工に立ち合う際にアドバイスを適切に行う事ができるとも、良い内容だと思え、機会があれば同様の受講を積極的に活用していきたい。		
関東	設計	ギャップあり	実際の施工していた内容との違いや間違いなどが確認出来て非常に良かった。		
中部	施工	ギャップあり	この断熱工事に関しては 今までやって来たことはほとんどダメでした。おどろいた。		
中部	施工	ギャップあり	自分のレベルがひどいと思う。 もっと勉強しなくては今までの仕事とちがいがすぎる。本当にならなくてはいけないことか？施工主様がのぞんでいない。今のところわが社では。		
中部	現場管理	ギャップあり	今まで断熱材の取付方法がぜんぜん違って いたから正しい施工方法の勉強になりました。ありがとうございました。		
中部	その他	ギャップあり	ホームインスペクションをしています、 本日学んだとおりに施工している現場は皆無です。 (一部優良な工務店はある)そもそも監理建築士が現場をみていないので、管理者や施工者は間違っていることも気づいていないのです。この種の研修を続けていくととも、フォロー研修もおもしろいと思います。前途は永い…。		
近畿	施工	ギャップあり	基礎何のギモンもなくなっている断熱施工が、十分ではない事が解りました。 良い建物を造り、施工様が安心できる家作りをして行きたいと思えます。		
近畿	設計	ギャップあり	たいへん役に立つ講習会でした。 実際テキスト通りにきっちり施工している所は少ない と思います。建築にたずさわる者は、とにかく勉強しなければなりません。ありがとうございました。		
中国	施工	ギャップあり	断熱材の入力方で徹底していることで、 断熱の入力方がとても大事な事がわかりました。 これから現場でやっていき、よりよい家を造りたいと思います。		
四国	現場管理	ギャップあり	今回参加してみて、 現場とは違う施工をしていたので、たいへん勉強 になりました。		
九州・沖縄	施工	ギャップあり	これ迄だ張り付けたいと思ってやっていたが、 気密性や通気性が正確でなければ省エネにはつながらないと思つた。良い講習会でありました。		
九州・沖縄	現場管理	ギャップあり	リフォームの断熱工事はかなり技術力が必要と思つた。		
九州・沖縄	設計	ギャップあり	現場の職人さんはまだ壁紙の側面に打ちつける人が多い。 指示してもなかなかおしてくれない箇所もある。今度テキスト持参で指示したい。ありがとうございました。		

要望、意見など(教材、考査、アンケート)

105

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	設計	テキスト(良い)	DVDの説明がとてもわかりやすいので、悪い施工例も合わせていただければ、現場従事者への説明が仕安いと思えます。テキストもカラーなのでわかりやすいです。	34	テキスト
東北	設計	テキスト(良い)	テキストに一部あやまりが有ったが良くできていると思つた。		
関東	施工	テキスト(良い)	分かりやすいテキストで講師の方からの説明も分かりやすかったです。おつかれ様でした。		
関東	現場管理	テキスト(良い)	テキストの出来が良いと思つた。		
関東	設計	テキスト(良い)	テキストがわかりやすいものだった。講師の方が早口でわかりやすかった。		
中部	現場管理	テキスト(良い)	テキストが図が多くて分かりやすかったです。今回のテキストはこれからも、何でも見直していってほしいなと思つています。		
中部	設計	テキスト(良い)	テキストの文字が大きくてよい		
近畿	その他	テキスト(良い)	配布されるテキストが大変素晴らしい物なので、もう一部頂けると大変ありがたいです。		
四国	設計	テキスト(良い)	テキスト大変わかりやすくて参考になります。ありがとうございました。		
九州・沖縄	施工	テキスト(良い)	テキストの内容がわかりやすかつた。模型解説も一見でよかつた。		
関東	その他	テキスト(良い)	講習会で使用したテキストを市販していただきたい。		
中部	設計	テキスト(良くない)	テキスト、講習の内容が、現場施工者向けではない。用語や部材を、商品名や一般的な通称(現場でつかう)をつかって説明すると、大工などでもわかりやすかつたのではないかと		
四国	現場管理	テキスト(良くない)	テキストの不備。		
東北	現場管理	テキスト(図表写真)	使用されている写真が、白黒だったヘルメットを使用していなかつたり不適切、ピントもあつていないし、第1章はいいらない。		
関東	その他	テキスト(図表写真)	午前中の講義はかなり残念。読めはわかる概要や背景ばかりを説明して、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは？テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペンを引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらに上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいいか？内部のみ使用するにしても、承諾は必要です。		
北陸	その他	テキスト(図表写真)	大変勉強になりました。ありがとうございました。*テキストの写真が画素数低くて、みにくかつたのが唯一気になりました。		
中部	現場管理	テキスト(図表写真)	資料の写真家カラーや白黒、ゴツゴツ、高かつピンボケ		
四国	現場管理	テキスト(図表写真)	テキストに記載されている解説図表の文字が読みづらいものが多い。		
九州・沖縄	施工	テキスト(図表写真)	本の写真の画像が汚かつた。模型の説明の音がきこれなかつた。		
九州・沖縄	設計	テキスト(図表写真)	テキストの写真がもう少し見やすいサイズ、解像度であればなおわかりやすかつたと思つています。		
関東	その他	テキスト(正誤)	正誤表の内容が多い。		
関東	その他	テキスト(正誤)	テキストの正誤が多かつたと思つています。		
四国	設計	テキスト(正誤)	テキストの誤字が気になりました。		
九州・沖縄	設計	テキスト(正誤)	講師との時間調整をしてほしい。テキストの誤字等有り。		
関東	その他	テキスト(紙質)	午前中の講義はかなり残念。読めはわかる概要や背景ばかりを説明して、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは？テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペンを引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらに上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいいか？内部のみ使用するにしても、承諾は必要です。		
東北	現場管理	テキスト(良くない-第1章)	使用されている写真が、白黒だったヘルメットを使用していなかつたり不適切、ピントもあつていないし、第1章はいいらない。		
関東	その他	テキスト(良くない-第4章)	*通気層の確保は断熱材で確保する施工になっているが、現実には通気層の確保は厳しい。通気層を確保するスパーサーが必要である。(ア)100mmの断熱材は不可能)リフォーム断熱施工は千差万別の建物があるので一概には対応できないと思う。画一的なリフォーム方法を明記すべきではない。		
関東	その他	テキスト(良くない-第4章)	リフォーム内容が残念、参考にならない。		

近畿	設計	テキスト (良くない-第4章)	住宅の省エネルギー化には賛成だが、本来わが国の気候、風土に的した建物があるのは現実である。全ての建物を画一的な方法により断熱等を考慮する事には大反対である。テキストのリフォームのヒアリングについても現状に不満を持っている人が多くない、誘導する様な書き方は良く無いと思う。		
近畿	その他	テキスト (良くない-第4章)	(A講師)テキストを読み上げるならもっと話しなれた講師を選定すべきである。リハリがなく何が重要なかわからなかった。講義とDVDの内容が同じ事が多く、まずDVDを見てから講義はDVDの補足説明でも良いのでは？断熱リフォームについては部位ごとの話しで実際はかま、床、マド、天井等トータルで検討しなければならぬ事で建前の内容であった。		
関東	設計	テキスト(要望)	テキスト内に具体的な断熱比較表、があると良いと思いました。P86の斜天井で傾斜天井図が不明と説明が有った。現実的な例示をしてほしい。		
中部	設計	テキスト(要望)	たすき掛けすじの断熱施工法は不十分と思われる。50m/mを2回貼るなどがよいのでは？外壁気密シート押えは、天井裏がボードの場合どのように天井と連続させるのか明確な記述が無い。テキストは良く出来ているのでインデックス等を用意しさらに見やすくすると使いやすいと思われる。		
中国	設計	テキスト(要望)	テキスト等で言われている断熱についてどの程度のもの事なのかを、記入してほしかった(天井、壁、床でどれを使用した際にはその程度か)		
九州・沖縄	設計	テキスト別冊(要望)	テキスト別冊において、計算例等を記載してほしい。(熱貫流率、熱損失係数)		
北海道	現場管理	DVD(良い)	本日みたDVDを会社従業員、職人にもみせた。	21	DVD
北海道	設計	DVD(良い)	DVDが良かったです。是非販売ないしは業界団体への貸出を希望します。		
東北	設計	DVD(良い)	DVDの説明がとてもわかりやすいので、悪い施工例も合わせていただければ、現場従事者への説明が仕安いと思います。テキストもカラーなのでわかりやすいです。		
東北	設計	DVD(良い)	断熱の施工のDVDは良かった。具体的な作業でした。取りかかるところから完成までカットなしの映像が良い。		
関東	現場管理	DVD(良い)	内容は重要なことだったが、講師の説明が分かりやすかった。DVDの施工方法は分かりやすかったと思う。		
関東	設計	DVD(良い)	大変勉強になりました。DVDを職人たちと見たいと思います。		
北陸	施工	DVD(良い)	テキストやDVDは分かりやすいが、講師がへタで時間が短い事もあり、分かりにくかった。初心者では、あまり理解できないかもしれない。		
中部	施工	DVD(良い)	DVDの配布は良いと思った。分かりやすいし、施工方法が具体的に理解できたので。今後、見返したいとも思った。		
中部	現場管理	DVD(良い)	講師の方が頼りない。講師側と受講側のテキストが違うのはまずいと思う。DVDは解り易いので良い。		
中部	その他	DVD(良い)	素人なので、断熱施工DVD放映があって助かった。テキストだけでもわかりにくかったと思います。ありがとうございました。		
近畿	施工	DVD(良い)	DVDの配布はありがたいです。		
中国	設計	DVD(良い)	DVDは良いですね。社に戻ってから他社員にみせます。		
九州・沖縄	施工	DVD(良い)	DVDはよくわかった。今後も出来るだけ映像でやってもらいたい。		
北海道	現場管理	DVD(ほしい)	今回のDVDがほしい		
北海道	その他	DVD(ほしい)	今日使用したDVDが欲しいと思います。		
近畿	現場管理	DVD(ほしい)	DVDが分かりやすかったので配布して欲しい。		
四国	設計	DVD(良くない)	模型のDVDは使わない方がよい。		
東北	設計	DVD(要望)	DVDの説明がとてもわかりやすいので、悪い施工例も合わせていただければ、現場従事者への説明が仕安いと思います。テキストもカラーなのでわかりやすいです。		
北陸	その他	DVD(要望)	・DVD天井、床点検口の断熱材の施工方法も入れて欲しい。・2013年4月より認定低炭素住宅制度が開始され、住宅の断熱基準はQ値ではなく、外皮見付面積Q値で表すのではないのか？ ・BPECより次世代区分はすでにTV(a)(b)地域で分れています。		
中部	現場管理	DVD(要望)	今後は現場施工についてのDVD等の説明があればわかりやすいと思う。		
四国	設計	DVD(要望)	DVDに算定用webプログラムを入れて頂けるとありがたいです。		
関東	施工	模型(良い)	模型が見やすかった	20	模型
関東	現場管理	模型(良い)	大変わかりやすく、模型が特に良かったです。参考になりました。		
関東	設計	模型(良い)	実物の模型があって大変良かったです。		
関東	設計	模型(良い)	モックアップがとてもわかりやすかったので素晴らしいと思いました。		
関東	その他	模型(良い)	模型があり、施工の理解が大変深まった。		
中部	設計	模型(良い)	とてもわかりやすく、良い講習会だったと思います。模型も見ればより理解が深まりました。ありがとうございました。		
九州・沖縄	施工	模型(良い)	実際の本等(モデル)があり理解しやすかったです。良ければ現場員にも見学させたいのですがよろしくお願ひします。		
九州・沖縄	現場管理	模型(良い)	模型を見れたことが、非常にわかりやすくて良かったです。		
東北	施工	模型(良くない)	アンケートが長過ぎ！途中で面倒なので書くのがいやになった。書く側の立場にもなって！自分達のことしか考えていないのではと思う。アンケートはもっと簡略化をした方がいいと思う。それと模型が悪い施工例ばかりは、参考にならないのでは。		
東北	現場管理	模型(良くない)	・今までの施工方法と特に変更はなく、参考にならなかった。・住宅模型の施工ミスが多くて面白かった！・主旨がよく分からない(当たり前)のことが今までに出ていなかったのか？施工不良が多かったのか？		
近畿	現場管理	模型(良くない)	施工事例写真がもっと多ければ、わかり易くなるのではないのか？カットモデルは基礎部分や、天井通気部分のかわり難い。説明、質問をもっと受けつけるべきだと思う。		
近畿	その他	模型(良くない)	講師がテキスト丸読みであるのなら、テキスト配布のみで充分なのではないかと思う。カットモデルの内容が不十分だと思う。		
中国	現場管理	模型(良くない)	午前中の第1章が長すぎ、第2章が不足。カットモデルの施工があまりよくなかった。タイムスケジュール(時間制)がましかった。		
九州・沖縄	設計	模型(良くない)	モデルモケイが小さい。		
関東	施工	模型(要望)	・模型に熱的境界のラインを明示してほしい。U値の説明をしてほしかった。(模型で)		
関東	現場管理	模型(要望)	時間が押したからといって早口での説明はこまる。マイクがあるので使用するべき。実物大模型はあくまでも理想、電気配線等が入っている状況の模型があると良い。		
関東	設計	模型(要望)	実際のモデルがあるのは、目にみえてわかりやすかったと思う。外断熱は色分けしてもらえれば、よりわかりやすくなると思う。		
近畿	現場管理	模型(要望)	カットモデルでの説明が分かりにくかった。もう少し分かりやすい模型があったら良いと思います。		
近畿	設計	模型(要望)	説明の仕方等もう少し練習したり、まとめた方が良いと思います。カットモデルの充填断熱部分の羽子板ボルトの断熱補強しておいて下さい。		
関東	施工	模型(要望)	模型が断熱材の厚み等で性能がちがいが有り外と内断熱の同じ性能の物で模型を作ってもらいたい。		
関東	施工	考查(難しい)	修了考查むずかった	17	考查
北海道	現場管理	考查(分かりにくい)	考查に出るところが、わかりにくかった。		
関東	施工	考查(分かりにくい)	考查の問題でややこしいのがあったのが…		
関東	現場管理	考查(分かりにくい)	講義時間は長い内容がはしりすぎる。テンポが早くて着いて行くのが大変。		
関東	現場管理	考查(分かりにくい)	考查のポイントもよくわからない。		
関東	現場管理	考查(分かりにくい)	修了考查の設問が面白い設問があり、判定になやみました。		
関東	現場管理	考查(分かりにくい)	問題が面白い。		
関東	その他	考查(分かりにくい)	考查の問題文の一部でどちらともとれる様な表現があり、分からない点があった。		
中部	設計	考查(分かりにくい)	問題の文章が分かりにくかった。		
中国	その他	考查(分かりにくい)	意味のわかりにくい問題になっている。		
北海道	設計	考查(要望)	考查の解説あってよかったと思います。なかなかこういう機会はありません		
東北	現場管理	考查(要望)	考查はテキストを見て良いのでは意味がないと思う。でなければ、もっと難しくすべきである。		
北陸	設計	考查(要望)	講習会テキストの表現と修了考查の問題の表現を一致させてもらわないと、分かっていても間違いになってしまうので、後は一致させたほうが良いと思う。		
中国	現場管理	考查(要望)	もう少し考查は厳しく。		
九州・沖縄	施工	考查(要望)	考查問題解説は必要ないと思う。設備工事にはわかりにくい。		
関東	現場管理	考查(その他)	このやり方であればほとんどの方が合格するが、しっかりと理解していないと同じ設計でも施工者によって断熱性能に差が生じそう。考查の意義がわからない。		
近畿	設計	考查(その他)	考查にて○×にて解答とありましたが、一問数字記入の問題があるのはなぜ？		
九州・沖縄	現場管理	考查(その他)	考查問題の裏があると思わなかった。		
東北	施工	アンケート	アンケートが長過ぎ！途中で面倒なので書くのがいやになった。書く側の立場にもなって！自分達のことしか考えていないのではと思う。アンケートはもっと簡略化をした方がいいと思う。それと模型が悪い施工例ばかりは、参考にならないのでは。	2	アンケート
東北	施工	アンケート	アンケートがわかりにくい(別紙)		
近畿	その他	資料要望 (教材のデジタルデータ)	P8の国民アンケートの実施時期、方法(インターネットモニター)、数をおねがいします。断熱施工DVDを配布、販売希望。又DVDにテキストの頁数を入れ、DVDを使って3章の解説を希望。テキストの正誤は印刷で配布を希望します。	11	資料要望
四国	現場管理	資料要望 (教材のデジタルデータ)	テキストのPDF、写真画像JPGをCDで配布してほしい。Ipadに入れたり、現場への指示、お施主様への説明に使用できる。		

九州・沖縄	その他	資料要望 (教材のデジタルデータ)	テキスト第一章の内容については、営業で活用したいので、デジタルのデータかWebでダウンロード出来るとうりがないです。水曜日の講習会は、やめてほしいです。
九州・沖縄	設計	資料要望(Q&A解説書)	①実際の施工に当たってのQ&Aの解説書などを、添付した資料がいる②断熱材の種類によっては、施工方法が異なるので、その対応を指導すること。メーカーのマニュアル等もDVDに資料として配布してほしい。
関東	施工	資料要望(簡易解説書)	簡単パンフにてだれでもわかる事、みんながわかる事一だれがやるの、金はだれがだすの？
関東	現場管理	資料要望(簡易解説書)	現場でちょっとしたポケット版の解説書があると良いと思う。
関東	現場管理	資料要望(簡易解説書)	省エネ住宅は喫緊の課題でもあり、とても有意義な講習であった。現場での施工を徹底させる上でも、職人に配布できるようなリーフレットがあると、とても助かる。
関東	設計	資料要望(仕様書、図面)	質問してある程度解決したが、屋根上バルコニーの場合の施工詳細などをややこしいところを図入りで解説してほしい。基本的なことはもう皆、既知知っている、施工しているのではないかと、(してないと、内部結露等大変)もっと詳細にわたる。気流止めや、フィルムの重ね貼り、貼りのばしなど、注意点を重点的に図入りで解説して欲しい。DVDは大工さんにはよいが、工務店社長等管理者や、設計監理の面では書面としてほしい。(施工からきちんとみてほしいといわれる)「きちんと」の基準を示していく。書面(図)があれば、わかりやすい。こういう講習はもっと徹底して行えばいいと思うので、今回は大変有意義でした。
中部	設計	資料要望(仕様書、図面)	①講義中、司会者と行政担当者が講義室内で会話して騒がしく、講義に集中できなかった。主催者として信じ難い行為である。
九州・沖縄	現場管理	資料要望(仕様書、図面)	グラスウールで断熱する際に、筋交の裏の切れ端が悪くないか、施工要領なり標準図がほしいと思います。大工や、施工主の間に答えられません！
近畿	施工	資料要望(モデル住宅)	1日で大変十分なことをわかりやすく説明していただきました。モデル住宅を常設でおいでもらえるようにして下さい。省エネ、耐震等かねて。

要望、意見など(講習の内容、講習スタイルについて)

323

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	現場管理	説明方法(映像)	口答での説明だった為、理解しづらい所もあった。スライド等もおもませて頂けるとも理解し易かったかと思いました。	53	ツールを用いた説明
関東	設計	説明方法(映像)	画面使って説明してくれた方が分かりやすかったです。		
関東	その他	説明方法(映像)	時間が限られているのはわかるが、かけ足すぎて理解する時間が無いま次へ次へという感じだったので残念です。(特にAMの講義)施主の講義は、DVDと並行しながらの解説という形の方がわかりやすい。		
北陸	施工	説明方法(映像)	もうちょっと施工しているビデオがあればいいと思います。		
中部	施工	説明方法(映像)	DVDの内容とテキストの内容が重複しているので、DVDで流す映像に合わせて解説していくのはいかがでしょうか。		
中国	施工	説明方法(映像)	DVDを見ながら説明した方が分かりやすいのではなかったかな！		
中国	設計	説明方法(映像)	マイクをピンマイクやスタンドに変えることで少しはセスターを交えて行ってもらえれば、頭を上げる機会も増え、頭に入りやすいのでは…。プロジェクターの使用は分かりやすいが、もう少し大きくはっきりした画像であれば尚良い。		
九州・沖縄	現場管理	説明方法(映像)	プロジェクターを使って講習してほしい。		
九州・沖縄	設計	説明方法(映像)	今後も継続してほしい。モックアップもしくはDVDなどメディアも用いて理解しやすい工夫が欲しい。		
関東	その他	説明方法(順序)	午前中の講義はかなり残念。読めはわかる概要や背景ばかりを説明していて、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは？テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペン引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらに上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいかがなものか？内部でのみ使用するにしても、承諾は必要です。		
近畿	設計	説明方法(順序)	施工DVD放映は講義の後の方が理解しやすかった。ホワイトボード等の使用があった方がよかったです。		
近畿	その他	説明方法(順序)	(A講師)テキストを読み上げるならもっと話した講師を選定すべきである。リハビリがなくて何が重要なかわからなかった。講義とDVDの内容が同じ事が多く、まずDVDを見てから講義はDVDの補足説明でも良いのでは？断熱フォームについては部位ごとの話で実際は床、床、天井等トータルで検討しなければならぬ事で建前の内容であった。		
関東	現場管理	説明方法(図解・写真)	写真等での説明がもっとあった方が良かった。		
関東	設計	説明方法(図解・写真)	もう少し断熱詳細図があれば良いかと思う。		
中部	現場管理	説明方法(図解・写真)	現地説明の図面内の写真が非常にわかりやすくかつ資料として残念です。これから何回も講習会を行うのでしたらぜひ素晴らしい資料にしていきたい。		
近畿	施工	説明方法(図解・写真)	講師の方の解説があつて確認できる図説が何か所もあり、肝心の部分は文字を変えても良いと思いました。2人目の講師は慣れないのかもしれませんが、模型の解説がつかみ所がたくさんあったので模型の矢印の手直しとマニュアル化した方が良いと思います。		
東北	その他	説明方法(丁寧に)	もっといいねいに説明をして欲しい。		
近畿	現場管理	説明方法(テキスト解説)	講習は本の解説も欲しかった。		
中部	施工	説明方法(パワーポイント)	パワーポイントなどを利用して、説明、講義したほうがわかりやすいと思う。		
中部	現場管理	説明方法(パワーポイント)	ホワイトボードやパワーポイントを使用し、テキストの棒読みはやめよう。つまらん。テキスト読めばわかることばかり、時間のムダ！改善しよう。		
中部	現場管理	説明方法(ホワイトボード)	ホワイトボードも使用してもらいたかった。		
中部	現場管理	説明方法(ホワイトボード)	ホワイトボードやパワーポイントを使用し、テキストの棒読みはやめよう。つまらん。テキスト読めばわかることばかり、時間のムダ！改善しよう。		
近畿	設計	説明方法(ホワイトボード)	施工DVD放映は講義の後の方が理解しやすかった。ホワイトボード等の使用があった方がよかったです。		
関東	現場管理	説明方法(マイク)	時間が押したからといって早口での説明はこまる。マイクがあるので使用すべき。実物大模型はあくまでも理想、電気配線等が入っている状況の模型があると良い。		
北陸	現場管理	説明方法(マイク)	声が聞き取りにくい部分あり、マイク、スピーカーを使えば		
中国	現場管理	説明方法(マイク)	マイクの使用を考えて下さい。		
中国	設計	説明方法(マイク)	マイクをピンマイクやスタンドに変えることで少しはセスターを交えて行ってもらえれば、頭を上げる機会も増え、頭に入りやすいのでは…。プロジェクターの使用は分かりやすいが、もう少し大きくはっきりした画像であれば尚良い。		
九州・沖縄	施工	説明方法(マイク)	本の写真の画像が汚かった。模型の説明の音がききとれなかった。		
九州・沖縄	施工	説明方法(マイク)	マイクを付けて講義をお願いしたい。		
東北	現場管理	説明方法(模型)	カットモデルが見えなくて残念…。		
関東	施工	説明方法(模型)	カットモデルがなかったのが残念だった。		
中部	現場管理	説明方法(模型)	座学に関しては、講師の方がテキストを読んでいるだけなので、要点の説明だけにして頂き、模型の説明を増やした方が良いと思います。模型一つに対しての人数が多いので、模型を増やすか人数制限をして一つに対して10~15人で見れるようにした。		
中部	その他	説明方法(模型)	もう少しゆっくり話して欲しい。ミニチュアを使っての講習はもう少し工夫して下さい。		
近畿	施工	説明方法(模型)	カットモデルは受講者が多くて良く見えなかった。		
近畿	施工	説明方法(模型)	講師の方の解説があつて確認できる図説が何か所もあり、肝心の部分は文字を変えても良いと思いました。2人目の講師は慣れないのかもしれませんが、模型の解説がつかみ所がたくさんあったので模型の矢印の手直しとマニュアル化した方が良いと思います。		
九州・沖縄	設計	説明方法(模型)	今後も継続してほしい。モックアップもしくはDVDなどメディアも用いて理解しやすい工夫が欲しい。		
北海道	現場管理	説明方法(良い・悪い)	分かりやすかった。是非社内教育で使いたい。特にDVDの内容が良かった。		
東北	設計	説明方法(良い・悪い)	模型をみながら(先に講習があり)の説明はわかりやすかった。もう少し模型をみて、しゅうてん式、外断熱式を具体的にききたい部分があった。断熱材のつかい方、長短ふくめて各メーカー枠をはずしてはよかった。		
関東	設計	説明方法(良い・悪い)	テキスト、DVD、模型の3つでわかりやすかったです。ありがとうございました。		
北陸	設計	説明方法(良い・悪い)	テキストなどわかりやすくまとめであり、DVDもあって良かったです。ありがとうございました。		
中部	現場管理	説明方法(良い・悪い)	テキスト、DVDも写真等を豊富に作ってあり、わかりやすかったです。		
中部	設計	説明方法(良い・悪い)	DVD、現場模型、座学等があり、長時間ではあるが、よく理解できた。		
四国	設計	説明方法(良い・悪い)	DVDとか模型を使って説明していただいたのは、本だけではわかりやすかったです。		
九州・沖縄	施工	説明方法(良い・悪い)	テキストの内容がわかりやすかった。模型解説は一回でよかった。		
北海道	現場管理	説明方法(新旧版の違い)	講師の持っているテキストは古いのでは？		
関東	施工	説明方法(新旧版の違い)	テキストには載っていない表の話をされた。テキストP15(2)の項目		
関東	設計	説明方法(新旧版の違い)	講師の方も同じ本でお話された方がいいたと思います。		
中部	施工	説明方法(新旧版の違い)	講師とこちらのテキストの内容がちがった。		
中部	現場管理	説明方法(新旧版の違い)	講師の方が軽いな。講師側と受講側のテキストが違うのはまずいと思う。DVDは解り易いので良いし、講師のテキストと内容がちがっているところがあり、説明されてもこちらのテキストには記載されていないので分からない所がある。		
中部	設計	説明方法(新旧版の違い)	講師がテキストと合わせて欲しいですね。請負者がしっかり技術を認識して欲しいです。図面とDVD映像で異なるところがあるので、解説が必要だと思います。(PM、テキスト時には解説ありました)P121下図Ⅲ~Ⅴの床面の折曲げは必要ですか？P110とP112の断熱の納まり方、ヤネでやれば天井はよいのか？ヤネでやらず天井でやるのか？どちらでもよいのでしょうか。P111はギモン。		
中国	施工	説明方法(新旧版の違い)	講師が新しいテキストを使っていない。時間配分がへた。説明が早い。		
四国	施工	説明方法(新旧版の違い)	赤字の説明をしていたが、テキストには赤字が無かったです。		
北陸	現場管理	内容重複(良い)	同じ内容を繰り返す事が多く、良く理解出来た。	25	内容重複

北海道	その他	内容重複(良くない)	ダブる事が多いのできずらかった。	
関東	施工	内容重複(良くない)	同じ事の繰り返しが多かった。	
中部	設計	内容重複(良くない)	時間がないので早すぎた(説明)同じ事を重複しているので、要点をまとめて欲しい。	
中国	施工	内容重複(良くない)	あたりまえすぎてた。同じ事の繰り返し(説明)がある。	
九州・沖縄	設計	内容重複(良くない)	同じ内容を何度も説明するところがあり、内容のわりには時間が長いと思います。	
関東	施工	内容重複(講義・DVD・模型)	模型解説とDVD放映だけでテキストを読むだけの時間はいらぬと思う。最終的に時間が足りなくなり一気にページを進めている感じがした。	
九州・沖縄	現場管理	内容重複(講義・DVD・模型)	DVD、講義、模型の説明と同じ内容の説明を3回もする必要があるのでしょうか。	
関東	施工	内容重複(講義・DVD)	DVDと午後の講習が同じことのくりかえしなので時間むだだと思います。	
関東	施工	内容重複(講義・DVD)	午前中、DVDと重なる部分は省略してほしい。	
関東	現場管理	内容重複(講義・DVD)	講義内容とDVD放映の内容が同じなので、DVD放映だけで良いのではと思った。	
中部	その他	内容重複(講義・DVD)	DVDと午後の最初が重複していた店が気に入った。	
近畿	その他	内容重複(講義・DVD)	(A講師)テキストを読み上げるならもっと話しなれた講師を選定すべきである。メリハリがなく何が重要なかわからなかった。講義とDVDの内容が同じ事が多く、まずDVDを見てから講義はDVDの補足説明でも良いのでは？断熱リフォームについては部位ごとだけの話して実際はかべ、床、マド、天井等トータルで検討しなければならない事で建前の内容であった。	
近畿	その他	内容重複(講義・DVD)	DVDの放映内容と講師の講義の内容が重複している。プログラムに無駄ありだと思う。吹付ウレタン工法についての内容が少ない。吹込み用法についても内容が少な。講師の交代のタイミングが悪い。	
中国	現場管理	内容重複(講義・DVD)	DVDで説明あった所は、講習での説明は、必要が無いと感じた。テキストを読んで分かるような説明は必要が無いと感じた。	
四国	設計	内容重複(講義・DVD)	DVD放映だけよかったと思う。時間短縮にもなったし…テキストを読むだけなら家で…	
東北	設計	内容重複(テキスト・DVD)	DVDとテキストがダブっているので省略しテキスト別冊の後半に時間かける！	
東北	設計	内容重複(テキスト・DVD)	DVD放映の内容がテキストにのっているのではなくてもよいのでは？	
関東	現場管理	内容重複(テキスト・DVD)	大変勉強になりました。DVDとテキストの説明が重複しているところがあったので、どちらかを変えた方がより有効に時間を使えるのではないのでしょうか。ありがとうございました。	
中部	施工	内容重複(テキスト・DVD)	DVDの内容とテキストの内容が重複しているので、DVDで流す映像に合わせて解説していくのはいかがでしょうか。	
中部	施工	内容重複(テキスト・DVD)	次世代基準や温熱等級4についての確認の意味ではいい機会だと思いますが、テキストの内容とDVDが重複しており、他の項目に時間が割けるのでは、と感じました。断熱義務化や、新世代基準についての、今後の話に少し触れていただければよかったですと思安。	
近畿	その他	内容重複(テキスト・DVD)	3章の説明はDVDとほぼかわらないので不要では？！	
九州・沖縄	その他	内容重複(テキスト・DVD)	テキスト(講義)やDVDの内容の重複箇所が多いので精査して頂くと考えます。	
関東	その他	内容重複(テキスト・その他)	テキストでわかる所は、省略しても良い。	
関東	その他	内容重複(テキスト内)	テキスト内で重複している部分が多い。テキストを補足するだけの講習は意味がないのでは？	
東北	施工	読み上げ	テキストを読み上げるだけの講習はつまらないです。	41
東北	施工	読み上げ	テキストを読むだけの講義に意味があるのか。各値の計算手法や、施工の実例に沿った講義が必要では？実際の現場と理想のギャップが大きいのに、他の現場の人の意見交換なども有効ではないか。	
関東	現場管理	読み上げ	次世代省エネ基準を施工したところの人にとっては既に理解している内容で物足りなさを感じました。もっと踏み込んだレベルの高い内容を期待していたので、正直がっかりしました。前半の講師も事務的ではなく、現場経験のあるの方が良いのではないのでしょうか。これではテキストを読むのと同じです。講習者も現場の第一線で仕事している方々なので、現場での問題点などを加味した内容であれば、省エネ施工の問題解決にもつながり、住宅の省エネ化のレベルアップにつながるのではないのでしょうか。	
関東	現場管理	読み上げ	テキストを読み上げるだけの説明なら講師は必要ないと思いました。特に後半の講師。	
関東	設計	読み上げ	講義の時間は良いと思いますが、すべてのページを講義するので進み方が早すぎると思います。テキストを読んでいるだけなので印象深い講義ではなかった。	
関東	設計	読み上げ	時間が長すぎるように思います。テキストを読み上げるだけでは講習の意味が無いと思います。具体例を上げながら解説をして頂きたかった。無理にテキストの全てに触れる必要はないと思います。テキストへの書込みが多くなるような講習をおこなうの講師が声小さく何を言っているかわからない。ただテキストを読んだだけな印象があった。講習自体は早めの案内をお願いしたい。	
関東	その他	読み上げ	午前中の講義はかなり残念。読めばわかる概要や背景ばかりを説明していて、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは？テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペンも引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらに上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいかぬのか？内部でのみ使用するにしても、承諾は必要です。	
中部	現場管理	読み上げ	本を読むだけなら講習になってない。	
中部	その他	読み上げ	さて読み上げ研修というスタイルになりますが、理解しているのでしょうか？	
中部	その他	読み上げ	テキストを読んでいるだけの講習会のように感じました。	
近畿	その他	読み上げ	テキストの内容をなぞっているだけの印象の講習でした。	
近畿	無回答	読み上げ	寒い(風)、集中できない。講習会を行うと言うのは、大変難しいものだと思いますが、読んで聞かせるだけなら、きちんと間違えず読んで欲しい。	
中国	設計	読み上げ	テキストを読むだけなら家ででもできる。	
四国	現場管理	読み上げ	全体にわかりやすかったですが、外断熱の説明は聞きとりにくかったですし、読んだだけでたね。	
九州・沖縄	設計	読み上げ	テキストを読むだけの講師なら要らない。	
九州・沖縄	その他	読み上げ	テキストを読むだけの講師はどうかと思う。勤務時間中に来ているのもっと気合いを入れて解説してもらいたい。非常に残念。只内容はとても勉強になり今後の仕事に活かしていきたい。	
関東	施工	読み上げ(DVD等)	書いてある事を棒読みするだけの講師の有無に疑問が残る。DVDの方がよほど為になったし、分かり易かった。不要な物を省いて、もっと簡素化してほしい。	
中部	現場管理	読み上げ(DVD等)	座席に関しては、講師の方がテキストを読んでいるだけなので、要点の説明だけにして頂き、模型の説明を増やした方が良いと思います。模型一つに対しての人数が多いので、模型を増やすか人数制限をして一つに対して10~15人で見れるようにした方が良いと思います。	
近畿	施工	読み上げ(DVD等)	講師が参考書をそのまま読む場面が多く、長く感じた。DVDと模型説明でほとんど理解できたと思う。なので模型説明の段取りは上手くやってほしい。	
近畿	その他	読み上げ(DVD等)	講師がテキスト丸読みであるのなら、テキスト配布のみで充分なのではないかと思う。カットモデルの内容が不十分と思う。	
近畿	その他	読み上げ(DVD等)	テキストを読んで、それを聞くだけなら全てDVDで問題ないと感じた。	
東北	設計	読み上げ(時間)	本を読むだけの講習会はやめてほしい。時間のムダ！！	
関東	施工	読み上げ(時間)	テキストをなぞるだけなら半日で終わらせて！！	
関東	その他	読み上げ(時間)	テキストを読み上げる以外の方法で覚えさせない方法をしてほしい。一日長すぎると思う。	
北陸	設計	読み上げ(時間)	3章の説明がテキスト棒読み。読むだけなら時間を短くしてほしい。何が大事なのかもよくわからなかった。	
中部	施工	読み上げ(時間)	テキスト丸読みで時間のむだ。模型の解説や実技をする事で時間の短縮化をはかると良い。	
中部	現場管理	読み上げ(時間)	ホワイトボードやパワーポイントを使用し、テキストの棒読みはやめよう。つまらん。テキスト読めばわかることばかり、時間のムダ！改善よ。	
近畿	施工	読み上げ(時間)	「テキストの読みあわせ」的な説明、講習は時間もつたないと思いました。	
近畿	施工	読み上げ(時間)	「ペランダは「屋根」なのか？その場合はどのように「通気層」を設置するのか？・屋根断熱で吹付け工法の場合「下屋の通気層」はどのように壁の通気層をつなぐのか？・テキストを朗読するのみならテキストだけで良いと思う。(朗読する時間を他の説明に使ってほしい)・質疑応答に対応して欲しい ☆テキストP69「湿気の排出を妨げない構成」とは？基準値や具体例は？定常計算でないとかダメなのか？ ☆テキストP132「床下施工は「酸欠事故」の可能性があり危険」・至近距離からの吹付けは厚みのコントロールや精度維持が困難。・養生不可・通気パッキンを使用している物件だと埋めてしまいう可能性大。	
近畿	現場管理	読み上げ(時間)	講習会の時間を縮めた方が良い。講師の先生方に関係なく、只のテキストの朗読会になっている。	
近畿	その他	読み上げ(時間)	だから、参考書を読んでいるだけで時間がムダに思った。エアコンが寒く体調が悪くなった。	
関東	現場管理	読み上げ(判りにくい)	講師の方には申し訳ありませんが、本を読むだけで良いなら、価値はないと思います。もう少し踏み込んだ解説が聞きたかった。	
中部	施工	読み上げ(判りにくい)	講師の説明が本を読んでいただけで、くわしく説明があれば、さらによかった。	
中部	設計	読み上げ(判りにくい)	全ての項目を言うのではなく、大切な所をもう少し絞って話してほしい。本に書いてあることをただ読むのはやめてほしい。	
中部	設計	読み上げ(判りにくい)	テキストの読み聞かせの講習ではメリハリがない。	
近畿	施工	読み上げ(判りにくい)	テキストをただ読み進めるだけでは実感として伝わってこない。設計、施工の視点に立った、現場の経験や体験を織り交ぜた講習してほしいとなかなか伝わってこない(講師A氏)	
近畿	設計	読み上げ(判りにくい)	リフォーム関係の講師の出来が悪い。スケジュールを守ってポイントを説明して欲しい。テキストを読むだけでは自習と同じで、しかもわかりにくい。	
近畿	その他	読み上げ(判りにくい)	(A講師)テキストを読み上げるならもっと話しなれた講師を選定すべきである。メリハリがなく何が重要なかわからなかった。講義とDVDの内容が同じ事が多く、まずDVDを見てから講義はDVDの補足説明でも良いのでは？断熱リフォームについては部位ごとだけの話して実際はかべ、床、マド、天井等トータルで検討しなければならない事で建前の内容であった。	

九州・沖縄	施工	読み上げ(判りにくい)	テキストよんでるだけでわかりずかった		
九州・沖縄	現場管理	読み上げ(判りにくい)	テキスト読んだけどはなくて、もう少し説明がほしかった。DVD、模型は大変参考になった。		
関東	無回答	要点整理を希望	的を絞ってもらっても良いと思う(内容が濃いので)	9	要点整理を希望
中部	施工	要点整理を希望	話しが長いのでわかりづらい。もう少しゆっくり丁寧に説明してほしい。		
中部	施工	要点整理を希望	要点をもう少し解説してほしい。		
中部	設計	要点整理を希望	浅く広すぎるのでもう少ししぼった方が良いのでは。		
中部	その他	要点整理を希望	広範囲のため全体理解が少しぼやけた。		
近畿	施工	要点整理を希望	1.生意気言わせてもらえば、内容をもう少しまとめた形で教えて下さい。2.本日の講習で知らなかった事も知る事が出来ました。有り難うございました。		
近畿	設計	要点整理を希望	外張断熱工法以降の説明がわからなかった。ポイントがつかめない。		
近畿	その他	要点整理を希望	ポイント、要点を話してほしい。		
中国	施工	要点整理を希望	要点をわかりやすく説明していただいて、時間は守っていただきたい。		
東北	設計	施工者向けを希望	設計段階での方針も重要ですが、施工精度でも左右されるので、その部分の教育も必要だと思います。質問です。外断熱のコーナー納まりです。この断熱材を柱芯でカットするよりも、貼り伸ばした方が胴縁とコーナー材の取合いが強いのではないのでしょうか？ 芯留まりの問題ですか？	10	施工者向けを希望
東北	その他	施工者向けを希望	専門用語等分らないところもありましたが、モデル見学も含め理解できたところも多く助かりました。		
関東	施工	施工者向けを希望	現場施工者としては断熱材はkgではなく厚みで表現してもらいたい。床の厚み、かべの厚み。		
関東	現場管理	施工者向けを希望	今回の講習内容は今までの基準の説明ですね。今後改定される「省エネ新基準」にて変更される内容説明がなく不満があります。(改定後変更される、なくなる規定もあります)・技術者には第1,2章、内容をくわいて欲しい(専門すぎないか?)・施工中の実際問題点をくわくして欲しい。この講習会対象者をほり下げないといけない内容ですね。集め方を考えた方がよい。低レベル者はHPも関連業者も知らない。ただのやっていますよ!!イメージ強いです。		
関東	その他	施工者向けを希望	午前中の講義はかた残り残念。読めばわかる概要や背景ばかりを説明していて、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは?テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペンを引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらには上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいかがなものか?内部でのみ使用するにしても、承諾は必要です。		
中部	設計	施工者向けを希望	大工対象では講義は難解だと思う。模型の解説を中心に、半日程度のプログラムが適当と思う。		
近畿	その他	施工者向けを希望	一律に読み上げは時間の制約もあるので、施工技術にウエイトをおいた内容にされてはと感じました。		
中国	施工	施工者向けを希望	現場で施工する大工を対象にする講習よりも、通常の建築士や現場管理者に対するものより、範囲を狭くして内容をわかりやすくした方がよいと思います。単語とか。		
中国	施工	施工者向けを希望	大工が受ける講習なのに、難しい表現が使われていた。		
中国	その他	施工者向けを希望	・施工性に関する留意点をもっと施工者側に手厚い内容とすべき。(真壁や外壁湿式工法などはより丁寧)・材料、手間のコストアップについても触れ、施工側にも理解が求められることができるよう配慮できないか?		
東北	設計	工法・材料の切ロ(躯体工法)	2×4工法(枠組壁工法)についての内容も多少あった方がよい	39	工法・材料の切ロ
関東	設計	工法・材料の切ロ(躯体工法)	設計事務所を営んでいる立場で参加したが、内容はとても参考になった。枠組壁工法がメインなので、そちらも詳しく解説して欲しい。アンケートの質問が設計にはあわない項目もあり、選択できないものもあった。		
北陸	現場管理	工法・材料の切ロ(躯体工法)	パネル工法での施工が聞きたかった。(内断熱)		
関東	現場管理	工法・材料の切ロ(施工性)	施工が簡単かつ、きちんとした施工が可能なる方法を写真等で公開してほしい。		
中部	その他	工法・材料の切ロ(施工性)	もっと施工性の良いやり方を提案してほしい。		
中部	現場管理	工法・材料の切ロ(その他)	高気密でない工法もおしえて頂きたい		
九州・沖縄	現場管理	工法・材料の切ロ(その他)	羊毛とかのエコ建材についての講習内容が無かったので、残念だった。トリプルサッシの性能も有ると良かったと思う。エコキュートと、電気温水器(普通)の比較データも有ると良かったと思う。		
関東	現場管理	工法・材料の切ロ(他の制度との関連)	現場では品確法の瑕疵保険の施工方法を守らなければならないので防水シートが、気密されればならない事は無いので、その内容もあくの上、講習してほしいと思います。		
東北	現場管理	工法・材料の切ロ(工法)	工法的な説明でしたが「どの工法がとびぬけて良いのか?」その様な仕組みや取組みでのお話しがとっても良いのではないのでしょうか。とても参考になりました。		
関東	設計	工法・材料の切ロ(工法)	断熱材の種類や工法のメリット、デメリットを詳しく教えてほしい。(施工性、価格、性能etc)		
関東	その他	工法・材料の切ロ(工法)	健康の観点から見た断熱の重要性について、もう少し重点をおいてほしい。断熱性能と表面温度→快適性への説明が欲しい。充填と外張両方の説明は焦点がぼけるので、どちらかにした方がよい?		
近畿	施工	工法・材料の切ロ(工法)	断熱方法の価格を知りたい。		
近畿	設計	工法・材料の切ロ(工法)	工法ごとのタテ割りで説明した方がわかりやすいと思った。		
九州・沖縄	施工	工法・材料の切ロ(工法)	サイディング、アルミサッシが前提での例ばかりだったので、仕上材の違いによる断熱施工の説明が必要ですよ。		
九州・沖縄	現場管理	工法・材料の切ロ(工法)	断熱材の施工方法で様々な断熱工法がありますが、建物の耐久性や施工コストを比較した場合のコスト等がわかれば、どこに重点を置いた施工が施主の希望に沿ったものか、比較例があれば参考になると思います。		
東北	現場管理	工法・材料の切ロ(材料)	現場発泡系の注意点についても詳しく知りたかった。・遮熱シートについても触れてほしい。・各断熱材の製造及び廃棄の際に発注するCO2量についても、一瞥表に入れて頂けるとありがたいです。		
関東	設計	工法・材料の切ロ(材料)	断熱材の種類や工法のメリット、デメリットを詳しく教えてほしい。(施工性、価格、性能etc)		
関東	その他	工法・材料の切ロ(材料)	現場発泡断熱材を用いた納まりなども、今以上に盛込んで欲しい。		
関東	その他	工法・材料の切ロ(材料)	今回の講習は大変勉強になりました。ありがとうございました。断熱材はスタイロ、GWが取り上げられていましたが、実際は、発泡ウレタン、セルロースファイバーも注目を浴びているので、次回は取り上げほしい。		
中部	施工	工法・材料の切ロ(材料)	グラスウール等ウレタン系、繊維系等を平等の評価でやって欲しい工法も材質が変わると違うので聞きたかった。		
中部	施工	工法・材料の切ロ(材料)	使用する材の商品名もわかる方がよい		
中部	現場管理	工法・材料の切ロ(材料)	時間的に短いのではかたないが、断熱材でグラスウールの場合、ロックウールの場合、セルロースの場合等々の施工方法が知りたかった。		
中部	設計	工法・材料の切ロ(材料)	セルロースファイバー仕様の気密住宅の施工方法を確認したい。		
中部	その他	工法・材料の切ロ(材料)	IV地域における具体的な断熱材の厚さ、施工方法を、明確に教えてほしい。現場発泡ウレタンの説明解説が聞きたい。		
中部	その他	工法・材料の切ロ(材料)	グラスウールでも、防湿フィルム付のモノと、そうではないモノがあると説明された方がよいと思います。悪い施工例も教えていただいたので勉強になりました。ありがとうございました。		
近畿	施工	工法・材料の切ロ(材料)	塗装用断熱塗料についての内容があればと思います。		
近畿	現場管理	工法・材料の切ロ(材料)	気密テープや防湿フィルム使用において例えばどのメーカーのものがあるかなど知りたかった。		
近畿	現場管理	工法・材料の切ロ(材料)	商品名も出していただけたら良いと思う。今、町場でやっている住宅を参考にして、リフォームの時にいるあるのでむずかしい。		
近畿	その他	工法・材料の切ロ(材料)	DVDの放映内容と講師の講義の内容が重複している。プログラムに無駄ありだと思う。吹付ウレタン工法についての内容が少ない。吹込み工法についても内容が少ない。講師の交代のタイミングが悪い。		
九州・沖縄	施工	工法・材料の切ロ(材料)	断熱材及び材料の金額がほしい。		
九州・沖縄	現場管理	工法・材料の切ロ(材料)	羊毛とかのエコ建材についての講習内容が無かったので、残念だった。トリプルサッシの性能も有ると良かったと思う。エコキュートと、電気温水器(普通)の比較データも有ると良かったと思う。		
九州・沖縄	設計	工法・材料の切ロ(材料)	①実際の施工に当たってのQ&Aの解説書などを、添付した資料が②断熱材の種類によっては、施工方法が異なるので、その対応を指導すること。メーカーのマニュアル等もDVDに資料として配布してほしい。		
関東	施工	工法・材料の切ロ(部位)	開口部断熱が最も割合として大きい窓が、窓、玄関の断熱説明がほとんど無残。サッシメーカー、硝子メーカーの製品品質に左右されてしまうのは理解できますが...		
関東	設計	工法・材料の切ロ(部位)	県庁センターの温熱環境は最悪。天井面野線下への別張防湿フィルムの必要性、施工省略にちうでもう少しくわく説明がほしかった。		
関東	設計	工法・材料の切ロ(部位)	質問である程度解決したが、屋根上バルコニーの場合の施工詳細などをややこしいところを図入りで解説してほしい。基本的なことではもう皆、既に知っている、施工しているのではないかと。してないと、内部結露等大変)もっと詳細にわたる。気流止めや、フィルムの重ね貼り、貼りのぼしなど、注意点を重点的に図入りで解説して欲しい。DVDは大工さん(には)よいが、工務店社長等管理者や、設計監理の面では書面としてほしい。(施主からきちんとみてほしいといわれる)「きちんと」の基準を示すに。書面(図)があれば、わかりやすい。こういう講習はもっと徹底して行えばよいと思うので、今回は大変有意義でした。		
中部	現場管理	工法・材料の切ロ(部位)	内部、胴縁施工した場合の気密確保について(ボードのけた、梁部での取め方)説明してほしい		
中部	設計	工法・材料の切ロ(部位)	バラバット屋根、バルコニー部の施工例が必要に思えます。		
近畿	施工	工法・材料の切ロ(部位)	RCの場合の断熱と屋根に太陽光を取り付けた場合の断熱のあり方を聞きたかったのですし、もう少し進んだ事を聞きたかったです。		
近畿	現場管理	工法・材料の切ロ(部位)	天井点検口の扱いなど、細部の分かる資料も頂き良かった。		
東北	設計	設備施工の切ロ	このような高断熱工事を計画する時、壁内配管等の、施工方法など取合い工事についても説明があってもいいのではないかと。	5	設備施工の切ロ
東北	その他	設備施工の切ロ	設備関係(電気、ガス、水道、油(灯油))の取合い		
関東	現場管理	設備施工の切ロ	1.電気線廻りの施工方法と断熱施工との関係を詳しく。2.断熱施工をしなかった場合の被害(ダメージ)状況を詳しく。		

関東	現場管理	設備施工の切口	充填断熱の場合、天井野縁の施工方法の説明がありませんでした。格子天井にすれば防湿フィルムは貼らなくても良いのでは？電気配線のタイミング等の指導もあった方が良かったと思います。	
九州・沖縄	現場管理	設備施工の切口	ダウンライト施工部位の詳細が不明です。	
関東	その他	リフォームの切口	断熱リフォームに関する説明を多くしてほしい。	2
中国	施工	リフォームの切口	リフォームで真空材等の内張りについてあれば良かった。	
関東	施工	具体例、実例	具体的な事例を含め内容(現場に役立つ話等)が聞きたい。通気止めに関し、プレカット剛床の場合には、不要なのではないでしょうか？	33
関東	設計	具体例、実例	省エネの方向性は良いと思うが、トレードオフ等ゆるくなる方向があるので、筋カイ部の断熱のやり方は手間がかかる。安全でないとも効果なし。実例をすばらしいものにして欲しい。	
関東	設計	具体例、実例	もう少し具体的な断熱・気密設計・施工の話がききたい。例、断熱材〇〇:〇〇m/mで、どの程度の性能 この仕様で施工した場合の程度のコストアップ、等	
関東	その他	具体例、実例	限られた中で、非常にリフォームが多く、説明することは難しいと思いますが、説明が抽象的だった。実例をもっと出しながら、なぜ〇〇でないとかダメなのか、などポイントになる所の説明は具体的に。	
中部	施工	具体例、実例	講師の方は、説明するのに大変だと思います。資料の、棒読みではなく、参考例を併せた説明をされると、より良く解ると思います。どうもありがとうございました。	
四国	設計	具体例、実例	今回のように模型やDVDなどで事例解説があると理解しやすいです。	
九州・沖縄	設計	具体例、実例(計算例)	具体的に計算例があれば理解しやすいと思います。	
北陸	現場管理	具体例、実例(見学会)	講習会もよいが、住宅の現場の見学会もあって良いと思う。	
北陸	設計	具体例、実例(見学会)	実際の現場で講習をやっていると頂けると有り難いです。	
近畿	施工	具体例、実例(見学会)	工法等で実際の施工現場等を見て見たい。	
関東	設計	具体例、実例(材料)	Q値、R値等の商品名一覧等の資料があればもっと分かりやすい。実際に使用される材料一覧	
中国	現場管理	具体例、実例(材料)	断熱仕様→商品名でないイメージできない。現場の意見・要望が取り入れられているのか？…一方的な工事に聞こえてしまった。スピードを問われ、予算減少で「手間代を断熱用へのアップ」をして欲しい。工事が複雑になった分の費用は誰が負担してくれるのか？加湿器を使う人が多い。ファンヒーターのないお宅はない。災害で停電の時にどうする。木材の水分をどう考える…もう少し人と木に優しく欲しいと思いました。	
中部	現場管理	具体例、実例(実物)	①実物を持ってきての説明があると解りやすい。②審査のための講習という考えはやめた方がよいのでは	
四国	設計	具体例、実例(実物)	断熱材の種類が沢山ありますが、実物(カットサンプル)を用意して頂いて頂いたら良かったと思います。	
東北	現場管理	具体例、実例(施工事例)	リフォーム改修で図では簡単に説明しているのが、はたして現実的なのか？施工写真でもあればもう少しわかりやすかったです。	
中部	施工	具体例、実例(施工事例)	実物大の施工例があれば見学したい	
中部	その他	具体例、実例(施工事例)	①特にリフォームの断熱改修について、様々なケーススタディで実例をもとに知りたい②外張断熱(壁)で気流止めを施した場合、その屋内の温度は低温度の状態を保持するのか	
近畿	現場管理	具体例、実例(施工事例)	施工事例写真がもっと多ければ、わかり易くなるのではないかと？カットモデルは基礎部分や、天井通気部分の部分がわかりにくい。説明、質問をもっと受けつけたいと思う。	
中国	施工	具体例、実例(施工事例)	もっといろいろな施工例の内容があれば良いと思います。	
四国	施工	具体例、実例(施工事例)	長期有良住宅などの省エネ充満の施工例など(断熱材の種類など)実際の例などで、何を使ったなど教えてもらえるとよい。	
中部	施工	具体例、実例(施工方法)	確実に施工出来て手間の少ない施工方法を知りたいです。(よく普及しているものなど)	
近畿	設計	具体例、実例(施工方法)	施工方法、納め方等、詳細な所が具体的に資料があればもっと良い。	
九州・沖縄	設計	具体例、実例(施工方法)	どのような断熱をどこに施工するか、具体例がもっと欲しい。沖縄の住宅に向いている工法等の事例が欲しい。	
関東	現場管理	具体例、実例(断熱効果)	断熱の対策をする事でどの位、変化があるのかそれによってどの位電気料金が変わるのか、具体例があれば顧客への話もしやすくなると思う。	
中部	現場管理	具体例、実例(断熱効果)	どうしてその様な施工をするのか？そうしないとうなるのか？具体的な例で出しても良かった。	
関東	現場管理	具体例、実例(問題点)	今回の講習内容は今までの基準の説明ですね。今後改定される「省エネ新基準」にて変更される内容説明がなく不満があります。(改定後変更される、なくなる規定もあります)・技術者には第1、2章、内容をくわいて欲しい(専門すぎないか?)・施工中の実際問題点をくわくして欲しい。この講習会対象者をほり下げないといけない内容ですね。集め方を考慮した方がよい。低レベル者はHPも関連業者も知らない。ただのやっていますよ!!イメージ強いです。	
関東	現場管理	具体例、実例(問題点)	次世代省エネ基準を施工したところ人にとっては既に理解している内容で物足りなさを感じました。もっと踏み込んだレベルの高い内容を期待していたので、正直がっかりしました。前半の講師も事務的ではなく、現場経験のある方がよいのではないのでしょうか。これではテキストを読むのと同じです。講習者も現場の第一線で仕事している方々なので、現場での問題点などを加味した内容であれば、省エネ施工の問題解決にもつながり、住宅の省エネ化のレベルアップにつながるのではないのでしょうか。	
四国	現場管理	具体例、実例(問題点)	納め方などはある程度理解出来たので、現場での問題点やその対応方法などありましたらおしえていただきたい。	
東北	設計	具体例、実例(悪い例)	DVDの説明がともわたりやすいので、悪い施工例も合わせていただければ、現場従事者への説明が仕安いと思います。テキストもカラーなのでわかりやすいです。	
関東	その他	具体例、実例(悪い例)	テキスト以外で、実務上における成功例や失敗例等の内容があれば、より身に付く講習となると思います。本日はありがとうございました。	
中部	設計	具体例、実例(悪い例)	実際の現場で起こりやすい施工ミス等	
近畿	設計	具体例、実例(悪い例)	施工者にはもっと具体例をたくさん。制度、法律はあとで自宅に読んでもらう。(テキストの最初の方は)実例で出ていない具体例を明示して、わかりやすく失敗写真なども多くして悪いところを見せる	
九州・沖縄	設計	具体例、実例(悪い例)	よくあるNGの事例写真etcであると分かり易いと思います。	
東北	現場管理	実習、実演	実際の施工してみる講習会があっても良いかも。見るだけでは理解しているようでも、実際に出来ないかもしれない。	14
東北	設計	実習、実演	現場施工者(大工)に実習を含めた講習会がより良いと思います。施工する人の技量によるところ大です。	
関東	施工	実習、実演	断熱材の入れ方を実演、実習させた方が現場の人は助かる。	
中部	現場管理	実習、実演	実際に断熱施工するところがあると良かった。	
中部	現場管理	実習、実演	実務的な内容で技術指導等が、今後講習等で行って頂けると非常にありがたいです。どうしても机上での話で終わってしまうような気がしますので。	
近畿	現場管理	実習、実演	実際の施工を元に話してほしい。教材にそったのみではなく。	
近畿	現場管理	実習、実演	ポイントを施工体験できると良かったかも…	
近畿	設計	実習、実演	時間等の制約があつて難しいとは思いますが、実際の骨組みのみの状態だから施工手順を一通り見られたら、より分かり易いのかと思う。DVDでもよいので。	
中国	施工	実習、実演	実習があればより現場ですぐに施工出来る様になると思った。	
中国	現場管理	実習、実演	実際に断熱材を施工する所を見たい。完成した物だけでは、分からない所があるので。	
四国	現場管理	実習、実演	実技があれば良かったと思う。メーカーの施工マニュアルをもっと知ってもらうべきだ。	
九州・沖縄	施工	実習、実演	施工実演していただきながら施工解説をしていただければよりわかり易いと思いました。質問にたいして実演していただくなど…これからの業務に十分役立てる事ができます。ありがとうございました。	
九州・沖縄	施工	実習、実演	模型での解説がありました。実技等も少し取り入れてもらえばもっと解り易くなるのではと思いました。	
九州・沖縄	設計	実習、実演	具体的な計算、演習	
東北	現場管理	地域毎の説明	II地域以上の断熱についてくわく説明してほしい。	8
東北	現場管理	地域毎の説明	地域に合ったレベルの話しを聞いたかった。	
関東	現場管理	地域毎の説明	・気密テープは色により異なっているのでしょうか(白、黒)・キノ断熱と白蟻の注意点をもっと詳しくした方がよい。☆本州と北海道とは異なるから。危険だと思う。	
関東	現場管理	地域毎の説明	IIIII地域の話ししてほしい。	
北陸	設計	地域毎の説明	コストと性能のバランスが取れた省エネ工法で北陸の気候に適した仕様を解説して欲しい。新しい省エネ基準について知りたい。	
中部	現場管理	地域毎の説明	この地域にあった(IV地域)特例の仕様の説明が欲しい。特例を利用したコストUPを押えた方法を普及しないことには、採用しづらいのでは…	
中部	設計	地域毎の説明	断熱地域区分(高山II地域)ごとの仕様説明がもっとほしい。	
中部	その他	地域毎の説明	IV地域における具体的な断熱材の厚さ、施工方法を、明確に教えてほしい。現場発泡ウレタンの説明解説が聞きたい。	
関東	現場管理	断熱の重要性の切口	1.電気配線廻りの施工方法と断熱施工との関係を詳しく。2.断熱施工をしなかった場合の被害(ダメージ)状況を詳しく。	4
関東	その他	断熱の重要性の切口	健康の観点から見た断熱の重要性について、もう少し重点をおいてほしい。断熱性能と表面温度→快適性への説明が欲しい。充填と外張両方の説明は焦点がぼけるので、どちらかにした方がよい?	
関東	その他	断熱の重要性の切口	健康の観点から見た断熱の重要性について、もう少し重点をおいてほしい。断熱性能と表面温度→快適性への説明が欲しい。充填と外張両方の説明は焦点がぼけるので、どちらかにした方がよい?	
北陸	設計	断熱の重要性の切口	午前中の講習内容で、気流止めと外壁通気の内容が不明確でした。建物内での室温均等化による結露防止についてくわく説明があると断熱・気密の重要性が理解出来ると思えます。生活する室が温かければ良いと思っている人が多数ですから。	
東北	設計	もっと詳しくを希望	盛岡(岩手県)の場合、講習会内容のレベルをあげた方がよい。Q値を切る断熱施工方法の講習が良い。	5

関東	現場管理	もっと詳しくを希望	次世代省エネ基準を施工したことある人にとっては既に理解している内容で物足りなさを感じました。もっと踏み込んだレベルの高い内容を期待していたので、正直がっかりしました。前半の講師も事務的ではなく、現場経験のあるの方が良いのではないのでしょうか。これではテキストを読むのと同じです。講習者も現場の第一線で仕事している方々なので、現場での問題点などを加味した内容であれば、省エネ施工の問題解決にもつながり、住宅の省エネ化のレベルアップにつながるのではないのでしょうか。	を希望
中部	施工	もっと詳しくを希望	もっと濃い内容がいりいな。	
中部	その他	もっと詳しくを希望	国主導の講習で組合員の為になるとは思わなかった。もう一歩踏み込んだ内容にしてほしい	
近畿	現場管理	もっと詳しくを希望	もう少し切り込んだ説明がほしいと思います。(基準等、省エネ等について)	
東北	現場管理	講習の分化を希望	会社の工法と関係ない部分が多かったので、工法ごとにセミナーがあれば、あきにくかったと思う。	9
関東	現場管理	講習の分化を希望	充填と外張を分けて講習会を開いてほしい	講習の分化を希望
関東	設計	講習の分化を希望	施工者のみが受講者ではありません。日常使用している等、講師は施工者のみが受講しているとの前提で講義しているのは問題である。	
関東	その他	講習の分化を希望	今回の講習は、工務店(大工)職人向け色が強かったようです。他の部門での注意点なども、ウエイトとしてあると良かった感じます。(設計、工事担当)	
中部	設計	講習の分化を希望	実務的なところ、また知りたいので、ステップアップしたような講習またひらいて下さい。とても勉強になりました。ありがとうございます。	
四国	現場管理	講習の分化を希望	良かったと思うけど、もっとレベルの高い講習も希望します。ほとんど知っていたので。テキストなしで調査いけたので、100点はとれなかったけど。	
九州・沖縄	現場管理	講習の分化を希望	住宅リフォームでの留意点等、リフォームを中心として講習は、行わないのでしょうか?	
九州・沖縄	設計	講習の分化を希望	設計事務所を営んでおり、大工へしっかり指示できるように学びました。その様な視点での講習会があつて良いかも。	
九州・沖縄	その他	講習の分化を希望	気密、断熱施工を管理してきた方から言うと「初歩的すぎた」です。講習の募集をかける時に「初心者向け」「経験者向け」等のくくりがあると助かります。	
東北	施工	講習形態提言	テキストを読むだけの講義に意味があるのか。各値の計算手法や、施工の実例に沿った講義が必要では?実際の現場と理想のギャップが大きいのに、他の現場の人との意見交換なども有効ではないか。	8
北陸	設計	講習形態提言	断熱材の施工には知識と技術が必要なので、断熱材製造メーカーから直接施工の講習をうけたい!!	講習形態提言
中部	施工	講習形態提言	断熱時間関係のメーカーから話をしてもらいたいのではないか?	
中部	その他	講習形態提言	ビデオ講習でもよいのでは、	
近畿	現場管理	講習形態提言	講習という会でもDVD(映像)を見る方がよく理解でき、現場作業者にも見ってもらって、作業向上にもなると思います。	
四国	施工	講習形態提言	現状施工上の問題点や、ギモンに思う箇所をリアリテで、正しき施工へ導くような講義にして頂けるとわかりやすい。他の施工方法も共有できて良いと思います。	
九州・沖縄	現場管理	講習形態提言	講師の方が大変そうなので、事務局でもっとDVDを作成すれば良いのでは。そうすればもっとたくさんの方が講習をいろんな場所で出来るのではないのでしょうか?	
九州・沖縄	現場管理	講習形態提言	テキストを郵送して勉強してもらい、もうちょっとついでに調査をして意識を高め、資格の権威を強めてほしい。高气密は必要なのでは?	
中部	現場管理	講習自体への批判	①実物を持ってきての説明があると解りやすい。②調査のための講習という考えはやめた方が良いのでは	4
中部	現場管理	講習自体への批判	施工について、「そうしなければならぬこと」と、「そうしたほうが良いこと」の違いがあるように思います。断熱等級の視点から正しいことが全て正しいとは思えないから、行政や研究者の考えを、そのまま正しいとするのは考え物です。	講習自体への批判
近畿	現場管理	講習自体への批判	講習者が下を向いて受講も下を向く。こんなあり?プロジェクトぐらい用意したほうが…。無駄だからやめたほうが良い。	
中国	現場管理	講習自体への批判	断熱仕様→商品名でないイメージできない。現場の意見・要望が取り入れられているのか?…一方的な工法に聞こえてしまった。スピードを問われ、予算減少で「手間代を断熱用へのアップル」をして欲しい。工事が複雑になった分の費用は誰が負担してくれるのか?加湿器を使う人が多い。ファンヒーターのないお宅はない。災害で停電の時どうする。木材の水分をどう考える…もう少し人と木に優しく欲しいと思いました。	
東北	施工	新基準等情報希望	今後、低炭素化住宅の講習も行ってほしい。	18
東北	現場管理	新基準等情報希望	平成32年に向けてエネルギー施工技術がどのように変化していくであろうか。今後の見通し、方向性について、決定してなくてももう少し具体的に知りたかった。	新基準等情報希望
東北	設計	新基準等情報希望	省エネ基準の法律解説及び申請手続きについて講習してもらいたい。二種特建築物に該当するのは住宅だけなのか。	
東北	設計	新基準等情報希望	ゼロエネルギー化促進事業についての詳しい説明と設計方法の講習会。設問(11)(12)の解答に疑問。(11)の発砲ウレタン吹付けが必要ではないか。(12)の気密テープを用いるのではなく、防水層で連続する事が重要ではないでしょうか。	
関東	現場管理	新基準等情報希望	今回の講習内容は今までの基準の説明ですね。今後改定される「省エネ新基準」にて変更される内容説明がなく不満があります。(改定後変更される、なくなる規定もあります)技術者には第1,2章、内容をくたいで欲しい(専門すぎないか?)・施工中の実際問題点をくわしくして欲しい。この講習会対象者をほり下げないといけない内容ですね。集め方を考えた方がよい。低レベル者はHPも関連業者も知らない。ただのやっていますよ!!イメージ強いです。	
関東	その他	新基準等情報希望	H24 12/4~新しい省エネ基準の情報が欲しい。次世代といってもH11基準なので10年前の基準、欧米とは比べられないと思う。	
関東	その他	新基準等情報希望	今後の省エネ基準となるH24基準との関係性や内容など詳しくやって欲しい。	
関東	その他	新基準等情報希望	テキスト内容と講習時間がマッチングしてないと思いますが、今回以上の時間を割くのも厳しいので、結果として、適切だと感じました。今後の基準に沿ってバージョンアップの講習をよろしくお願ひします。ありがとうございます。当初のスケジュールは17:00終了かと思いますが…長くされるのはきついです。	
北陸	設計	新基準等情報希望	コストと性能のバランスが取れた省エネ工法で北陸の気候に適した仕様を解説して欲しい。	
北陸	設計	新基準等情報希望	新しい省エネ基準について知りたい。	
北陸	設計	新基準等情報希望	ゼロエネルギーも内容をもっと研修の中に入れてほしい。	
北陸	設計	新基準等情報希望	省エネ基準の改定でU値換算表示申請書について勉強会をお願いします。	
中部	施工	新基準等情報希望	こんど新基準の外皮、値と一次エネルギーのことについて説明が聞きたかった	
中部	施工	新基準等情報希望	次世代基準や温熱等級4についての確認の意味ではよい機会だと思いますが、テキストの内容とDVDが重複しており、他の項目に時間が割けるのでは、と感じました。断熱義務化や、新世代基準についての、今後の話に少し触れていただければよかったです。	
近畿	施工	新基準等情報希望	今回、4/1(非住)と10/1(住宅)から施工される省エネ法に時期的に近い開催の為、それに関連する講習と思っていたが違ふようでした。いろんな法制度が出てきており、何が基準なのか分からなくなってきました。まず、4/1、10/1から施工される基準の内容(対象、仕様)が知りたいです。	
近畿	その他	新基準等情報希望	是非、継続して講習会を開催して頂きたい。また、省エネ基準改正されるとの事ですので、解説の講習会を開催を希望します	
中国	設計	新基準等情報希望	性能規定による細部の考え方(熱橋等)についての講習がして欲しい。吹抜け等溶接が多くなる場合が多々ある為使用規定はあまり使用しない。	
四国	設計	新基準等情報希望	省エネ基準と税政、補助金等についてレクチャーをお願いします。	
九州・沖縄	施工	新基準等情報希望	低炭素認定住宅、ゼロエネ住宅の情報についてもほしかった。	
北海道	現場管理	社内教育	分り易かった。是非社内教育で使いたい。特にDVDの内容が良かった。	5
中部	現場管理	社内教育	会社内で断熱仕様について検討が必要だと感じます。	社内教育
近畿	その他	社内教育	DVDがとてもよくできていたので、社内研修等で利用したいのですが、どこで購入もしくはお借りすることができのでしょうか?	
九州・沖縄	現場管理	社内教育	今までマニュアルだけで、手さぐり状態で施工して来た。自分1人だけが分っていてもダメで現場に入る人間の全てが理解していないといけない。DVDを活用し社内に講習しようと思っている。	
九州・沖縄	現場管理	社内教育	もっと詳しく知りたい所が多かった。会社単位で講習会をやってもらいたい。(大工、施工管理者、設計)各部署だけでなく全体が知らないとな。	
東北	設計	講習内容以外の要望	大変わかりやすい講義でした。「理屈」を理解できたと思います。今後、トップランナー基準の講習等あればぜひ参加したいです。	24
関東	施工	講習内容以外の要望	省エネ等級住宅にする住宅の価格が10%ぐらい上昇すると思いますので、そのしよよせは誰!低価格で快適な住宅の講習会を開いてほしいです。	講習内容以外の要望
関東	その他	講習内容以外の要望	今後いろいろな講習会が必要	
中部	現場管理	講習内容以外の要望	自立循環型住宅のセミナーも定期的に開催してほしい。	
近畿	施工	講習内容以外の要望	奈良県森林技術センター式スギ厚板耐加壁についてくわしく知りたい。	
近畿	施工	講習内容以外の要望	RCの場合の断熱と屋根に太陽光を取り付けた場合の断熱のあり方を聞きたかったのですし、もう1歩進んだ事を聞きたかったです。	
九州・沖縄	設計	講習内容以外の要望	よりRC造の内容と新しい省エネ法の計算方法を明示して頂ければ嬉しい。	
関東	施工	講習内容以外の要望	補助金などについても聞きたかった。テストの時間をもう少し短くても良いのでは?	
関東	その他	講習内容以外の要望	関連制度との関係をくわしく知りたかった。リフォームに関しても新築に関しても「これが正解」というのが無いことがわかった。有る意味安心した。	
中部	その他	講習内容以外の要望	施工の説明だけでなく、支援制度の説明もしてほしい。	

関東	施工	講習内容以外の要望 (設計)	・模型に熱的境界のラインを明示してほしい・U値の説明をしてほしかった。(模型で)	
関東	施工	講習内容以外の要望 (設計)	グラスウールでの施工例ばかりだったのが残念。今後の住宅のあるべき姿、目指す場所を考えると、グラスウールではもう古すぎる気がする。北海道やドイツの建築手法も多少学ばれたかった。	
関東	施工	講習内容以外の要望 (設計)	パッシブソーラーと小屋裏部屋の扱いについて詳細に知りたい。	
関東	現場管理	講習内容以外の要望 (設計)	実際のU値、Q値の解説をしていただきたい。 開口部の日射遮蔽について、天窓の考え方を解説していただきたい。	
関東	現場管理	講習内容以外の要望 (設計)	熱てい抗値の計算やQ値の計算・低炭素などで必要なインターネットの計算等をもっとやってもらいたかった。	
関東	設計	講習内容以外の要望 (設計)	IV地区の施工方法については良く分かった。大工さんとやってもらえるかが大いに心配。省エネ基準、品確法、性能表示、フラット35等の区別が良く分からない。施工上の違い手続きの違い等が知りたかった。	
関東	その他	講習内容以外の要望 (設計)	省エネルギーの基準など、住宅事業建築主の判断基準の報告義務などについて、具体的な内容が知りたかった。	
北陸	現場管理	講習内容以外の要望 (設計)	・暖房時ではない冷房時は結露は反対になりますが、その点の説明も少しほしかった。・雪国でも棟換気は良いですか。	
北陸	設計	講習内容以外の要望 (設計)	高气密、高断熱の住宅での、結露対策や換気計画について、より詳しく教えて頂けるキカイがあればと思います。	
近畿	設計	講習内容以外の要望 (設計)	駅から徒歩20分は雨だとなかなか遠かったです。本日は「施工技術者講習」だからなのですかね、性能(PAL)、仕様(ポイント)の計算解説ももう少し知りたかったです。でも監理する上でとても参考になりました。	
中国	施工	講習内容以外の要望 (耐震)	今回の様な説明会をお願いします。耐震補強。	
中部	設計	講習内容以外の要望 (手続)	フラット35や、長期優良住宅をとるための、断熱性能を証明する書類等の申請方法等も知りたかったです。	
関東	施工	講習内容以外の要望 (新情報)	これからの時代は、グラスウールではないのでは？と感じます。硬質発泡ウレタンにて施工した方が高气密と省エネになるので、グラスウール等の説明は必要ないと思います。できれば新しい技術や施工方法をしりたかった。	
近畿	設計	講習内容以外の要望 (新情報)	現状、次世代仕様で施工しているの、新しい情報、工法のアナウンスが無かったので…	
関東	現場管理	その他	カタログ施工の詳細が図式化されているのが多くて解りやすい。	7
関東	その他	その他	気流止めの重要さをよく理解させていただいた。ややもすれば手間がかかるので、抜け落ちてしまう事があろうと考えさせられた。今後もこのような機会は継続に行う事が必要と感じた。	その他
関東	その他	その他	充填断熱の気流止めにに関してくわしく教えてもらい、大変助かりました。	
北陸	設計	その他	午前中の講習内容で、気流止めと外壁通気の内容が不明確でした。建物内での室温均等化による結露防止についてくわしく説明があると断熱・気密の重要性が理解出来ると思われれます。生活する室が温かければ良いと思っている人が多数ですとか。	
北陸	設計	その他	・断熱施工を、マニュアル通りに施工した場合、換気や湿気に対する項目も、マニュアルに追加し、VUC並びにアトビー等の事も考えて、作成して下さい。	
中部	設計	その他	外壁、断熱の説明は判り難い。	
近畿	その他	その他	全体にくわしい説明があまり無かったのでわかりづらい部分がありました。	

要望、意見など(講習時間、時間割)

102

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	現場管理	時間不足、説明速い	時間が少なかつた様な気がします。	48	時間不足、説明速い
東北	設計	時間不足、説明速い	もう少し時間をかけての講習が必要と思う。		
東北	その他	時間不足、説明速い	説明早足だった。		
関東	施工	時間不足、説明速い	講習テキストが多く時間がたりない。		
関東	施工	時間不足、説明速い	午前中のカリキュラムについて時間的な無理がある様に思います。内容的にはたいへん勉強になりましたが設計士側(計算や数値)を施工者側との温度差があると思われるのでもう少し解り易く、ていねいに講習を受けた方が本当に理解出来る様にして		
関東	施工	時間不足、説明速い	時間が少たりない気がしました。		
関東	施工	時間不足、説明速い	時間的な制約があり過ぎて内容の充実が後回しになっているように感じます。講習会の目的を達成されるためにはもっと時間をかけて、理解度を高める必要があると思います。受講する人のレベルによっては、時間、内容に再考が必要かと思われれます。		
関東	施工	時間不足、説明速い	短時間で盛りだくさんで、63才の身には、つらいのがやっつてでした。講義内容がほとんどわかり易かつたと思います。コーヒーごちそうさまでした。		
関東	施工	時間不足、説明速い	内容からみて、もっと時間をかけるべきだ。ただやれば良いという事でもないと思う。このような施工をした場合、現場施工者に負担を押し付けられないで、しっかり面倒見てほしい。		
関東	施工	時間不足、説明速い	流れが早いのでついていくのが辛い。		
関東	施工	時間不足、説明速い	流れが速くてついていけない。時間に限りがあるからしかたないかもしれないけど		
関東	施工	時間不足、説明速い	もう少し時間が欲しかった。1回ではしかたないか。		
関東	現場管理	時間不足、説明速い	2日間位に分けて講習した方が分り易いです。		
関東	現場管理	時間不足、説明速い	講義時間は長い内容がははりすぎる。テンポが早くて着いて行くのが大変。考查のポイントもよくわからない。		
関東	現場管理	時間不足、説明速い	講義の速度が速すぎる。途中で質問できる時間が欲しかった。		
関東	現場管理	時間不足、説明速い	講習時間に対して内容が多いので、理解しきれない部分もあつた。		
関東	現場管理	時間不足、説明速い	時間が押したからといって早口での説明はこまる。マイクがあるので使用するべき。実物大模型はあくまでも理想、電気配線等が入っている状況の模型があると良い。		
関東	現場管理	時間不足、説明速い	わかりやすかつたがはやすぎてついて行くのが大変でした。		
関東	設計	時間不足、説明速い	講義の時間は良いと思いますが、すべてのページを講義するので進み方が早すぎると思います。テキストを読んでいるだけで印象深い講義ではなかつた。		
関東	設計	時間不足、説明速い	午前中の講義はもう少し時間があれば良かったと思ひました。		
関東	設計	時間不足、説明速い	内容に対して、時間が無過ぎたと思ひます。		
関東	その他	時間不足、説明速い	講習のスピードが大変早く大変でした。もう少しゆっくり講習を行つてほしかつたです。		
関東	その他	時間不足、説明速い	時間が限られているのはわかるが、かけ足すぎて理解する時間が無いまま次へ次へという感じだつたのが残念です。(特にAMの講義)施主の講義は、DVDと並行しながらの解説という形の方がわかりやすい。		
関東	その他	時間不足、説明速い	時間が足りない様で、内容が飛び飛びになつてます。		
関東	その他	時間不足、説明速い	時間が無い為仕方が無いのですが、説明が早過ぎました。		
北陸	施工	時間不足、説明速い	進むのが早い		
北陸	現場管理	時間不足、説明速い	講義内容が多いのに時間がない様な気がします。		
北陸	現場管理	時間不足、説明速い	午前中の講習内容が時間が短かつたためか、内容を理解するというより、とにかく時間内に決められたページ数を進んだだけに感じました。		
北陸	その他	時間不足、説明速い	午前中は時間が短くスピードが速すぎた。 午後は時間的にもちょうど良く分りやすかつた。		
中部	施工	時間不足、説明速い	2日ほしい		
中部	施工	時間不足、説明速い	講習を2日位でゆっくりやつてほしい。		
中部	施工	時間不足、説明速い	時間が足りない為でしょうか、説明が早く飛びすぎでわかりにくい所も。		
中部	施工	時間不足、説明速い	ちょっとベースが早くて解りにくかつた。		
中部	施工	時間不足、説明速い	予備知識があれば1日の講習内容で良いが、理解が足りない人が多いと思う。		
中部	設計	時間不足、説明速い	講師解説がかなり飛ばしてみえたので、もう少し時間が欲しく思つた。		
中部	設計	時間不足、説明速い	時間が無いので早すぎた(説明)同じ事を重複しているの、要点をまとめて欲しい。		
中部	設計	時間不足、説明速い	スピードが早く、ついてゆくのが少し難。		
中部	設計	時間不足、説明速い	全体的に講習スピードが早く、部分的に時間を取つていただきたい。		
中部	その他	時間不足、説明速い	もう少しゆっくり話して欲しい。ミニチュアを使つての講習はもう少し工夫して下さい。		
近畿	施工	時間不足、説明速い	もう少し時間に余裕のある説明がしていただきたいかつたです。		
近畿	現場管理	時間不足、説明速い	スピード早すぎます。(時間不足)		
近畿	設計	時間不足、説明速い	講習のスピードが速かつたのでついていくのが大変でした。		
中国	施工	時間不足、説明速い	講師が新しいテキストを使つていない。時間配分がヘタ。説明が早い。		
四国	その他	時間不足、説明速い	後で読み返せば分りますが、全体的にスピードが速かつたのが残念でした。1日しか無いので仕方ないですが…。ありがたうございました。		
九州、沖縄	現場管理	時間不足、説明速い	・テキストの内容を理解するには、時間が短いどうしても講師の方の話が早くなり解りにくくなる。・平成11年度基準に施工者の技術が追いつくのか心配		
九州、沖縄	現場管理	時間不足、説明速い	ベースが早い箇所があつたので、理解しにくい部分もありましたが改めて理解出来た部分がたくさんあつたので良かったです。		
九州、沖縄	設計	時間不足、説明速い	テキストの内容を急ピッチで進めていったので、多少わかりにくい部分もあつた。		
九州、沖縄	無回答	時間不足、説明速い	時間があつたとしてももう少しゆっくりした説明の方がわかりやすい。		

関東	その他	時間適切	テキスト内容と講習時間がマッチングしていないと思いますが、今回以上の時間を割くのも厳しいので、結果として、適切だと感じました。今後の基準に沿うべくバージョンアップの講習をよろしくお願ひします。ありがとうございました。当初のスケジュールは17:00終了かと思ひますが…長くされるのはきついです。	1	時間適切
東北	設計	時間長い	今回の講習で教わった技術に関しては以前から高気密、高断熱をしてきた業者としては、1日の講習は長かった。	17	時間長い
関東	現場管理	時間長い	講義時間は長い内容がはしょりすぎる。テンポが早くて着いて行くのが大変。		
関東	設計	時間長い	時間が長すぎるように思ひます。テキストを読み上げるだけでは講習の意味が無いと思ひます。具体例を上げながら解説をして頂きたかった。無理にテキストの全てに触れる必要はないと思ひます。テキストへの書込みが多くなるような講習をお願いします。		
関東	現場管理	時間長い	丸一日が長く、DVDと、講義、模型の説明が内容が重複しているので、時間のムダだと思ひました。		
近畿	その他	時間長い	長い。司会進行の人間にハキがなさすぎる。見ててイライラする。		
中国	施工	時間長い	時間が長いのが疲れましたが、講師の方々の説明が分かりやすかったので有意義な時間だったと思ひます。		
九州・沖縄	設計	時間長い	講習時間が長いです。		
九州・沖縄	その他	時間長い	説明が長いです。途中眠たくなりました。		
九州・沖縄	施工	時間長い	長い。		
北海道	施工	時間長い(短く)	半日で終る内容にしたいです。		
東北	現場管理	時間長い(短く)	内容が盛りだくさんで急ぎ足だし、疲れます。設計者、管理者向けと現場向けに分けてポイントをしぼった短時間の講習に出来るか良いと思ひます。		
東北	設計	時間長い(短く)	半日でいいと思ひます。		
東北	現場管理	時間長い(短く)	もう少し要点をまとめていれば、時間も短く出来たと思う。		
東北	現場管理	時間長い(短く)	もっと時間を短くしてほしい。		
関東	設計	時間長い(短く)	修了時間を1時間ていど短縮してほしい。充分でできると思ひます		
中部	現場管理	時間長い(短く)	時間をもっと短くしてもいいかと思ひます。		
九州・沖縄	現場管理	時間長い(短く)	誰でもわかりやすい講習会でした。が時間を取りすぎな気がします。今回同じ話を3回聞いた部分もあります。模型解説(一日瞭然)まであるのでまた短くなるのではないかとと思ひました。皆さま(講習者)も一日セミナーは大変かと思ひます。本日はありがとうございました。		
中部	その他	時間配分(移動)	講習の3回の往復はやめてほしい。	36	時間配分
関東	施工	時間配分(調査)	補助金などについても聞きたかった。テストの時間をもう少し短くしても良いのでは？		
関東	施工	時間配分(質疑)	質疑応答の時間が欲しかった。		
関東	施工	時間配分(質疑)	テキストの読み上げは後でもできるので、質問を受ける時間があれば良かったと思ひます。		
関東	施工	時間配分(質疑)	模型の説明をその場で解答が欲しかった。		
関東	現場管理	時間配分(質疑)	25分の空き時間がムダ。調査の時間に当てるとか…。こまかい休憩は不要。質問の時間をとってほしい。		
関東	現場管理	時間配分(質疑)	講義の速度が速すぎる。途中で質問できる時間が欲しかった		
関東	現場管理	時間配分(質疑)	質がが必要と思ひました		
関東	設計	時間配分(質疑)	断熱工法の内容は理解あるが、完璧な施工であることが前提となる。現実には様々な不具合等があるものとするが、どういった現象が発生しているのか等開示できるか質問時間を確保してほしい。		
近畿	施工	時間配分(質疑)	「ペナダは「屋根」なのか？その場合どのように「通気層」を設置するのか？・屋根断熱で吹付け工法の場合「下屋の通気層」はどのように壁の通気層をつなぐのか？・テキストを朗読するのみならテキストだけで良いと思う。(朗読する時間を他の説明に使ってほしい)・質疑応答に対応して欲しい ☆テキストP69「湿気の排出を妨げない構成」とは？基準値や具体例は？定常計算でないダメなのか？ ☆テキストP132・床下施工は「酸欠事故」の可能性があり危険・近距離からの吹付けは厚みのコントロールや精度維持が困難。・養生不可・通気バックンを使用している物件だと埋めてしまう可能性大 ⇒採用		
近畿	現場管理	時間配分(質疑)	講習内容の質問がこの書面のみとはありえない。わからない事は都度聞きたい。		
近畿	現場管理	時間配分(質疑)	施工事例写真がもっと多ければ、わかり易くなるのではないかと？カットモデルは基礎部分や、天井通気部分のわかり難い。説明、質問をもっと受けつけるべきだと思ひます。		
近畿	その他	時間配分(質疑)	この場で質問できないシステムはどうなのかと思ひました。		
九州・沖縄	その他	時間配分(質疑)	質問等時間があれば良かった		
関東	設計	時間配分(施工)	渡部さんの講義で、1章はいいないに最後の3章はかけあして。1章より3章の方が実務での活用できる内容であり、3章を特にていねいに説明してほしい。		
関東	その他	時間配分(施工)	施工部分にももう少し時間を取って欲しい。		
中国	その他	時間配分(施工)	施工についての講習時間が長いほうが良いのではないかとと思ひます		
四国	設計	時間配分(施工)	もう少し施工部分に時間をとってほしい。		
関東	施工	時間配分(模型)	模型説明の時間の使い方が不満		
関東	現場管理	時間配分(模型)	模型解説はいいない。もっと短い時間でも説明は十分にできるのでは。		
中部	施工	時間配分(模型)	もう少し詳しくカットモデルを見ればよい		
中国	施工	時間配分(良くない)	講師が新しいテキストを使っていない。時間配分がヘタ。説明が早い。		
九州・沖縄	設計	時間配分(良くない)	もう少しめりはりがあると良かったです。		
九州・沖縄	その他	時間配分(良くない)	時間の配分に少し問題があったと思ひます。		
東北	現場管理	時間配分(休憩)	休憩時間のとり方についてももう少し考えてほしい！講習が長すぎる		
関東	現場管理	時間配分(休憩)	トイレタイムは確保してほしい		
関東	現場管理	時間配分(休憩)	もう少し休憩がほしい		
北陸	設計	時間配分(休憩)	短くていいので、休憩をこまめに入れてほしい。講義に集中できない。		
近畿	現場管理	時間配分(休憩)	12:30~1:40の100分間は少し長いので休憩を必要と思った。		
中国	施工	時間配分(休憩)	休憩時間が欲しい		
中国	現場管理	時間配分(休憩)	カリキュラムに休憩15分と書くのなら休憩時間を取るべき。DVDの音が聞き取りにくい。講習会の準備に問題あり。時間等スムーズに進行すべき。今まで受けた講習会で一番レベルが低い講習会だった。		
四国	設計	時間配分(休憩)	人の集中できる時間を考えると、講義75分は長すぎる。5分休憩を入れると良いと思ひます。		
九州・沖縄	現場管理	時間配分(休憩)	講義の時間が長く集中力が落ちます。休憩を50~60分置きに取ったほうが良いかと思ひます。講習会の内容については、再認識できた分もあり大変勉強になりました。ありがとうございました。		
九州・沖縄	現場管理	時間配分(休憩)	時間配分をしっかりとって欲しい。休憩もなければ時間も押しつりなスピードアップ。午前中は異常に寒く、午後からは過剰暖房でした。スタッフはもっと動いて下さい。午前9:30~11:30まで2H休憩なし。午後12:40~16:05 3時間25分休憩なし		
中国	現場管理	時間配分(時間割表)	午前中の第1章が長すぎ、第2章が不足。カットモデルの施工があまりよくなかった。		
九州・沖縄	設計	時間配分(時間割表)	タイムスケジュール(時間制)が良かった。		
九州・沖縄	設計	時間配分(時間割表)	講習の時間割を表示して欲しかった。		

要望、意見など(講習会運営)

63

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
関東	現場管理	広報、案内	・講習会がある事すら、知らない大工さんが沢山おられます。	9	広報、案内
関東	施工	広報、案内	・建築主は、ほとんど断熱気密の重要性を知らません。		
関東	現場管理	広報、案内	もっと一般的に講習会をCMした方が良くと思ひます。講習修了者の中から各地域について、指導員としてのマイスター制度をつくらせたいと思ひます。		
関東	現場管理	広報、案内	・今回の講習内容は今までの基準の説明ですね。今後改定される「省エネ新基準」にて変更される内容説明がなく不満であります。(改定後変更される、なくなる規定もあります)・技術者には第1、2章、内容をくたくたくして欲しい(専門すぎないか?)・施工中の実際問題点をくたくたくして欲しい。・この講習会対象者をほり下げないといけない内容ですね。集め方を考慮した方がよい。低レベル者はHPも関連業者も知らない。ただのやっていますよ！イメージ強いです。		
関東	その他	広報、案内	本講習会の存在を知らない人がたくさんいます。業界全体への周知できるようにしてほしい。		
四国	設計	広報、案内	講習会の案内FAXを下さい。		
九州・沖縄	現場管理	広報、案内	案内にCPD対象講習の有無を必ず記載して下さい。(受講者が増えます)		
関東	施工	思っていたのと違った	断熱マイスターと一緒に内容だったため、必要ないと感じた。時間を返してほしい。		
関東	施工	思っていたのと違った	断熱マイスターの講習と多々かぶっている。		
関東	設計	思っていたのと違った	技術者向けの講習とは知らず受けていました。内容としては面白かったです。ただ設計アシスタント職で、木造住宅は特にやっていないので、あまり関わりはないかと思ひました。		
関東	施工	開催時期(継続)	全国にエコハウスというのが20棟くらいあるらしいのですが、山梨にも2棟あります。そのエコハウスで、2、3棟しか、断熱性能が出ていなかったと、大金をかけてもいくら良い断熱を入れても施工者の意識や知識不足、本当に残念です。当然山梨は残念の2棟でした。もっととどんどんこう回を開いてもらいたいと思ひます。ただの家を作って、多くの税金を使うより、もっと底辺をかためてほしいと思ひます。	17	開催時期
関東	その他	開催時期(継続)	気流止めの重要性をよく理解させてほしい。ややもすれば手間がかかるので、抜け落ちてしまう事があるかと考えさせられた。今後もこのような機会は継続して行う事が必要と感じた。		
近畿	その他	開催時期(継続)	是非、継続して講習会を開催してほしい。また、省エネ基準改正されるとの事ですので、解説の講習会を開催を希望します		

中国	現場管理	開催時期(継続)	こういうのをどんでんして下さい！		
四国	現場管理	開催時期(継続)	これからも継続して行ってほしいです。		
九州・沖縄	設計	開催時期(継続)	今後も継続してほしい。モックアップもしくはDVDなどメディアも用いて理解しやすい工夫が欲しい。		
東北	施工	開催時期(定期)	毎年この内容で講習必要。無料で！！		
北陸	その他	開催時期(定期)	月1回お願いします		
四国	施工	開催時期(定期)	定期的に講習をしていただけたら勉強になる。		
四国	設計	開催時期(定期)	今回の様な講義が定期的であれば良いと思う。		
九州・沖縄	現場管理	開催時期(定期)	現場に常駐する技能士の育成指導を定期的に講習会などで普及、指導をお願いします。		
中国	施工	開催時期(曜日)	講習日が日曜日であれば良いですが		
中国	現場管理	開催時期(曜日)	平日にしてほしい。スタートをはやくして、15:30ごろには終了してほしい。		
四国	現場管理	開催時期(曜日)	土、日曜日に開催してほしい		
九州・沖縄	その他	開催時期(曜日)	テキスト第一章の内容については、営業で活用したいので、デジタルのデータかWebでダウンロード出来るとうありがたいです。水曜日の講習会は、やめてほしいです。		
北海道	現場管理	開催時期(閑暇期)	忙しい時期を外して頂けると助かります(職人さん達も参加増えると思います)		
北海道	現場管理	開催時期(閑暇期)	時期について北海道の場合この10月11月12月1日中時間を取られるのは大変キツイです。1月後半～2月3月中に講習会を開いて頂ければよいと思います。		
東北	施工	参加費	毎年この内容で講習必要。無料で！！	4	参加費
関東	施工	参加費	講習会で¥1000は、安かったので参加しやすかったです。		
関東	現場管理	参加費	当者の充填断熱工法は全然正しくなかったと痛感すると共に、これだけ手間が増えるなら、断熱性能が高く確実な発泡ウレタン断熱を中心にした方がよいか、と思いました。高橋さんはもっとハキハキした声で話して下さい。教科書ばかり見てないで、大変勉強になりました。これで1000円は安い。		
中国	その他	参加費	これだけの教材と講習で1000円は安い！ありがとうございました。		
関東	その他	個人情報公開	個人情報となりますので、公開してよいか否かについては修了者に全員にご確認をお願いします。公開は望みません。	1	個人情報公開
北海道	現場管理	会場(DVD見えず)	席が後ろでしたので、DVDがほとんど見れませんでした…。	32	会場
関東	施工	会場(DVD見えず)	後の人がDVDが見づらい、後ろにもおいてほしい		
中部	施工	会場(DVD見えず)	TVが見えない。せまい。		
中部	現場管理	会場(DVD見えず)	講師の声がもごもこ言っていて半分以上聞きとれなかった。間違った模型を見てもDVDがまともに見れないなら必要が無い。		
近畿	施工	会場(DVD見えず)	DVDが見にくい。もっと画面を上上げるべき。人の頭ばかり見える！		
九州・沖縄	設計	会場(DVD見えず)	講師の声が小さい。DVD放映が後方から見づらい。		
近畿	設計	会場(アクセス)	駅から徒歩20分は雨だとなかなか遠かったです。今日は「施工技術者講習」だからなのですかね、性能(PAL)、仕様(ボイラ)の計算解説も少し知りたかったです。でも監理する上でとても参考になりました。		
近畿	現場管理	会場(案内図案内内)	地図にJRの記載がありました。近くまで来ているのにわからなかったの、もう少し説明があればうれしかったです。		
関東	設計	会場(音)	後ろの席だったので少し聞こえにくかったです。		
九州・沖縄	設計	会場(音)	会場がうるさい。ドアを開けるたび講義の音がきこえない。		
東北	設計	会場(寒い)	会場のコールドドラフトが気になりました。		
東北	設計	会場(寒い)	講習会の内容は良いが、暖房がまずい。		
東北	設計	会場(寒い)	さむくて集中できない。もう少しちゃんとした会場でやってほしい。		
関東	施工	会場(寒い)	講習会場が寒かった。		
関東	現場管理	会場(寒い)	すごく寒かったです。		
関東	設計	会場(寒い)	足元が寒かったので、暖かい会場にしてほしい。音響がもう少しよければと思う。		
関東	設計	会場(寒い)	冬期におけるカットモデルの外部での説明はつらいです。		
関東	その他	会場(寒い)	さむかった		
関東	その他	会場(寒い)	寒かったです。断熱のセミナーですので、その点も気を使っていた。会場が良かったです。たまにこのような講習会をやっていただくと、社員教育にも役に立つのでいいと思います。		
中部	施工	会場(寒い)	会場が寒かったので次回ほっと暖かい会場を希望します		
中部	現場管理	会場(寒い)	会場がさむかった(DVDの時)		
近畿	その他	会場(寒い)	だらだら、参考書を読んでいるだけで時間がムダに思った。エアコンが寒く体調が悪くなった。		
近畿	無回答	会場(寒い)	寒い(風)、集中できない。講習会を行うと言うのは、大変難しいものだと思いますが、読んで聞かせるだけなら、きちんと間違えず読んで欲しい。		
九州・沖縄	現場管理	会場(寒い)	時間配分をしっかりと欲しい。休憩もなければ時間も押しつりなスピードアップ。午前中は異常に寒く、午後からは過剰暖房でした。スタッフはもっと動いて下さい。午前9:30～11:30まで2H休憩なし。午後12:40～16:05 3時間25分休憩なし。		
九州・沖縄	設計	会場(寒い)	カットモデルはわかりやすかったが、雨天時や季節(今時期の様に寒い季節)における対策をしていただきたかった(例えば、外で説明する旨を書くなど。)		
九州・沖縄	現場管理	会場(狭い)	会場がせまい。		
九州・沖縄	設計	会場(狭い)	会場が狭く、3人席は気の毒だった。空調も切换できず不適切。		
関東	設計	会場(トイレ)	講習会場としての女性用トイレの設置。階段に手すり(基準法で義務づけられている)の設置。気密バックキックと基礎バックキックが図の中にあるが、つかい分けの必要性、床下換気はどうなるのか、外部か内部かつかい？		
関東	現場管理	会場(その他)	もっと身近な場所で開催してほしい。キズを断熱して開けた場合、床下の換気はどう考えますか。		
中部	現場管理	会場(その他)	次回は飯田で		
中国	現場管理	会場(その他)	この様な講習会は、今回同様、ある企業の一室をお借りして受講したい。なぜなら、他社の勉強になり、又、ビジネス交流が図れる。今回の場所は(ワッペイワールドのビル)大変良かった。		
中国	設計	会場(その他)	鳥取県は県連会館だけでも良いと思います。(来年以降は)模型の移動が大変かと思われます。		

要望、意見など(講師の説明)

72

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	設計	講師の説明(良い)	講師の方の説明が大変わかりやすく時間の無い中様々な事例なども折り込んでのお話しは、理解しやすい内容となっていて良かったと思います。	9	良い評価
東北	その他	講師の説明(良い)	講師の方々の説明がわかりやすかった。		
関東	施工	講師の説明(良い)	菊地功講師は、大変理解しやすく、よかったです。		
関東	施工	講師の説明(良い)	講師が大変良かった。感謝！		
関東	施工	講師の説明(良い)	分かりやすいテキストで講師の方からの説明も分かりやすかったです。おつかれ様でした。		
北陸	施工	講師の説明(良い)	午後の先生の話は分かりやすかった。		
中部	施工	講師の説明(良い)	講師の方の説明が丁寧でとても良かった。これからもこのような講習にぜひ参加したいです。ありがとうございました。		
中国	施工	講師の説明(良い)	時間が長いのが疲れましたが、講師の方々の説明が分かりやすかったので有意義な時間だったと思います。		
四国	施工	講師の説明(良い)	講師の方の話が面白く1日が短く感じた。		
北海道	現場管理	講師の説明(話し方)	講師①「えー、えー」うるさく内容聞きにくい	25	講師の説明(話し方)
関東	施工	講師の説明(話し方)	午後から説明が聞き取りにくかった。		
関東	施工	講師の説明(話し方)	説明口調が早すぎる。		
関東	施工	講師の説明(話し方)	発声の音量をもう少し高くしてもよい。聞き取りにくい。		
関東	現場管理	講師の説明(話し方)	講師が早口過ぎる。不慣れで聞き取りにくさを感じました。		
関東	現場管理	講師の説明(話し方)	講師の方の話すスピードが早く、又、音量が小さくて聞き辛かった。		
関東	現場管理	講師の説明(話し方)	講師の声が小さい。		
関東	現場管理	講師の説明(話し方)	講師の話はかなり理解出来たと思いますが、話し方が少し早いと感じました。		
関東	現場管理	講師の説明(話し方)	当者の充填断熱工法は全然正しくなかったと痛感すると共に、これだけ手間が増えるなら、断熱性能が高く確実な発泡ウレタン断熱を中心にした方がよいか、と思いました。高橋さんはもっとハキハキした声で話して下さい。教科書ばかり見てないで、大変勉強になりました。これで1000円は安い。		
関東	設計	講師の説明(話し方)	テキストがわかりやすいものだった。講師の方が早口でわかりやすかった。		
関東	その他	講師の説明(話し方)	午後の講習の講師が声小さく何を言っているのかわからない。ただテキストを読んでもるだけな印象があった。講習自体は早めの案内をお願いします。		
関東	その他	講師の説明(話し方)	最後まで同じ講師で説明下されば聞き取りやすかったと思います。		
関東	施工	講師の説明(話し方)	話がボソボソで少し聞きづらい		
中部	現場管理	講師の説明(話し方)	講師の声がもごもこ言っていて半分以上聞きとれなかった。間違った模型を見てもDVDがまともに見れないなら必要が無い。		
中部	現場管理	講師の説明(話し方)	早口でわかりにくかった。		

中部	設計	講師の説明(話し方)	講師の話し方に問題。声を大きくはっきり、生徒にわかるやすく、声にめりはりをつける。人に理解をさせる仕事である事の責任が不足している。		
中部	その他	講師の説明(話し方)	女性の講師の話し方が聞き取りにくい。		
近畿	設計	講師の説明(話し方)	2人講師、何話しているのかわからなかった。要点をまとめて話してほしい。		
中国	施工	講師の説明(話し方)	講師の声が聞き取りにくかった。		
中国	施工	講師の説明(話し方)	女性講師のしゃべりが下手すぎ。テキストそのまま読むなら講師はいらない。		
中国	現場管理	講師の説明(話し方)	午後の講師の説明は聞き取りにくい。講師としてほ...		
中国	設計	講師の説明(話し方)	もっと活字のよい方を採用して下さい。低炭素建築物の認定制度の位置づけがよくわからない→こちらの認定申請では面積での区分けはないです。地域区分も細分化されています。		
九州・沖縄	施工	講師の説明(話し方)	講師の声がききとりにくい。重要な所をポイントをしぼって話をまとめてほしい。		
九州・沖縄	現場管理	講師の説明(話し方)	講師の声が小さく、ボソボソとした口調で後の方よく聞こえなかった。(特に午後)		
九州・沖縄	設計	講師の説明(話し方)	講師の声が小さい。DVD放映が後方から見づらい。		
北海道	現場管理	講師の説明(質)	講師の電化住宅に関する発言には誤解を招きやすいものがあった。個人的な見解なのか北総研としての見解なのか疑問。	26	講師の説明(質)
東北	現場管理	講師の説明(質)	もう少しわかりやすい講義をお願いしたい。(労歴の差がある)		
関東	施工	講師の説明(質)	2人目の講師が非常に悪いと思いました。ダラダラと読むだけ、最悪です。		
関東	現場管理	講師の説明(質)	内容は重要なことだったが、講師の説明がわかりやすかった。DVDの施工方法は分かりやすかったと思う。		
関東	設計	講師の説明(質)	前の先生の方が、説明がうまかった。後半の人は、ただ読んでいて、判りづらい。		
関東	その他	講師の説明(質)	講習する方には、より伝える姿勢を望みます。		
関東	その他	講師の説明(質)	説明にもう少しメリハリを付けて行って欲しかった。		
北陸	施工	講師の説明(質)	講師の説明が下手すぎる。		
北陸	施工	講師の説明(質)	テキストやDVDは分かりやすいが、講師がへたで時間が短い事もあり、分かりにくかった。初心者では、あまり理解できないかもしれない。		
北陸	現場管理	講師の説明(質)	講師の読解力の向上が必要?		
北陸	現場管理	講師の説明(質)	講師の力量により内容等が変わる場合がある。同一のDVDの方が良いのでは?		
中部	施工	講師の説明(質)	講師の説明が速く、もうすこし、重要な所は、ゆっくりお願いしたい。しかし、DVDで補足できたと思う。		
中部	現場管理	講師の説明(質)	講師の方が頼りない。講師側と受講側のテキストが違うのはまずいと思う。DVDは解り易いのでよし。		
中部	設計	講師の説明(質)	講師の説明が悪い。内容を十分理解しているとは思えない。DVDの方が良い。		
中部	設計	講師の説明(質)	大事だと思います。や、テキスト見てもらえば判ると思いますが...。DVD見れば分る等、講師として、不適切な言葉遣いが多く、分かりづらく、皆さんたいくつそうでした。		
中部	その他	講師の説明(質)	会自体がグズグズのダラダラ、もう少しきつくすべきでは?講師の先生の解説は下手だった。		
中部	その他	講師の説明(質)	講師の説明のテンポが早くわかりにくい。職人にもわかるように、もっと研究してほしい。むずかしいと思いますが、よろしくご検討をお願いします。		
近畿	施工	講師の説明(質)	講師の質が悪すぎる。		
近畿	施工	講師の説明(質)	やはり単価次第でしょう。講師さんも、もっとなれたら、うまいくでしょう		
近畿	現場管理	講師の説明(質)	講師の説明がわかりにくい所があった。もっとしっかりと対応してほしい。		
近畿	現場管理	講師の説明(質)	申し訳ありませんが、お二人の講師の方に問題があるのではないのでしょうか。お一人は元気がなく、もうお一人の方はもごもご何を言っておられるのか解らない。講師の方がご自分で何を説明するかを事前によく理解してから(シュミレーション)の方が良いと思います。誤字(言い間違い)が多過ぎます。厳しいですが、今後必要な内容だと思いますので。		
近畿	設計	講師の説明(質)	講師は少なくとも話し方が出来る人に。又、私見は不用		
近畿	設計	講師の説明(質)	説明の仕方等もうちょっと練習したり、まとめた方が良いと思います。カットモデルの充填断熱部分の羽子板ボルトの断熱補強しておいて下さい		
中国	現場管理	講師の説明(質)	元広さんただ読んでるだけなのにゆっくりで長い		
中国	施工	講師の説明(質)	後半の講師の講師の説明が分かりづらかった。		
九州・沖縄	その他	講師の説明(質)	講師の説明がお二人とも、ものすごくわかりにくかった。説明している本人がわかかって説明しているのかわからない。もっとレベルの高い講義と、わかりやすい説明の方が良い。基本もわかっていない人に講師をさせるのはどうかと思います		
東北	設計	講師の説明(進行)	講習会側の準備不足を感じました。気密が大事との事でしたが、気密シートや気密テープは強い地震の際、破れたりしないのでしょうか。又、破れた場合の損傷箇所の発見方法や修理方法はどの様な物があるのでしょうか。	12	講師の説明(進行)
関東	その他	講師の説明(進行)	テキスト内容と講習時間がマッチングしていないと思いますが、今回以上の時間を割くのも厳しいので、結果として、適切だと感じました。今後の基準に沿ったバージョンアップの講習をよろしく願います。ありがとうございました。当初のスケジュールは17:00終了かとも思いますが...長くされるのはきついです。		
北陸	施工	講師の説明(進行)	午前の講師はわかりにくく、時間も使いすぎ、午後の講師はスムーズかつ、わかりやすかった。充填断熱の正しい施工方法を見るとき、いっす吹付け断熱した方が楽だと思った。		
北陸	現場管理	講師の説明(進行)	DVD取扱い等は機器に詳しい人がやるべきではないか? また事前の動作確認、使用方法確認をしておくべきではないか?		
北陸	現場管理	講師の説明(進行)	講師の質の向上。時間の配分。体調管理。		
近畿	設計	講師の説明(進行)	時間内で講習を終らす様に練習して下さい(松田先生)。話すスピード、要点、等。		
近畿	設計	講師の説明(進行)	リフォーム関係の講師の出来が悪い。スケジュールを守ってポイントを説明して欲しい。テキストを読むだけでは自習と同じで、しかもわかりにくい。		
中国	施工	講師の説明(進行)	講師の方は、知識だけでなく話し方や、進行の事を勉強してから講習を行ってほしい。大変、分かりづらい内容が少なからずDVDで充分)時間も長い割に内容がレベル低い、もっと短時間で内容を濃くしてほしい。		
中国	施工	講師の説明(進行)	おぼさんの進め方が非常に悪かった。		
中国	施工	講師の説明(進行)	要点をわかりやすく説明していただいて、時間は守っていただきたい。		
九州・沖縄	施工	講師の説明(進行)	講師(1)が時間を守らない。休み時間なし。昼食40分に短縮になった。きもちわるい講習会だった。		
九州・沖縄	現場管理	講師の説明(進行)	時間配分をしっかりとって欲しい。休憩もなければ時間も押しつぶされてムリなスピードアップ。午前中は異常に寒く、午後からは過剰暖房でした。スタッフはもっと動いて下さい。午前9:30~11:30まで2H休憩なし。午後12:40~16:05 3時間25分休憩なし。		

要望、意見など(態度・マナー)

16

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
北海道	施工	態度・マナー(講師)	講師の皆さん座ったままの講義って我々受講者に対して無礼極まりない事だって気付いて下さい。立って話せばいくら声の通りも良くなるはず。今後の御参考まで! 司会者の方言の歯切れがわるくて聞き取りにくかったです。	4	態度・マナー(講師)
関東	その他	態度・マナー(講師)	午前中の講義はかなり残念。読めばわかる概要や背景ばかりを説明していて、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは? テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペンも引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらに上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいかがなものか? 内部でのみ使用するにしても、承諾は必要です。		
中部	設計	態度・マナー(講師)	控え講師の方が講義中私語が多く、講義が聞こえなかった。		
近畿	施工	態度・マナー(講師)	講習について、個人の意見、考えが多過ぎ、あまりにも人を見下したような事を言いすぎ、大工にさせる? 指示するとかどちゃうんですか? 床断熱、床暖房をちゃんと出来てないんですか? 外壁に筋交い入れたら、ちゃんと出来ないんですか? しゃべっている時、スポンのポケットに手を入れてしゃべる講師ははじめて、気分悪い。まったんの職人が施工しているのか? あんたが1番えらいと思ってるから、他の人が考えていないみたいにしやべっている。今日は色々な工法があるけど、それにはこうやってちゃんとなる方法の講義がしたいんですか?		
関東	現場管理	態度・マナー(スタッフ)	講習中にスタッフの出入りが大変多く気になった。出入口を講習室の後方にあると良いと思う。	7	態度・マナー(スタッフ)
関東	現場管理	態度・マナー(スタッフ)	事務的な打合せを後の方で行っていきざわり。		
関東	設計	態度・マナー(スタッフ)	後の方でスタッフの話し声が講義中にあり、少々うるさかったです。		
関東	その他	態度・マナー(スタッフ)	午前中の講義はかなり残念。読めばわかる概要や背景ばかりを説明していて、肝心の仕様解説が疎かになっていた。先にDVDを見てから進めれば良かったのでは? テキストの紙質がツルツルなので、蛍光ペンも引いても手についてしまう。また、写真やイラストの画素が荒い部分は修正して欲しい。午後の講義も残念。細かい注意点やテクニックを知りたいのに、テキストを読んでいるだけだった。さらに上から目線的で(仕方ないが)聞いていて苦痛だった。また、事前に断りもなく、受講者の写真を撮るのはいかがなものか? 内部でのみ使用するにしても、承諾は必要です。		
中部	現場管理	態度・マナー(スタッフ)	この断熱気密を副資材を使って完すべきに施工すると考えると、従来の断熱材をつまみ込むだけの断熱方法より、施工手間が上り、材本費がかさむと思うので、吹込み工法の方が現実的な気がする。修了考査の解答をしているときに、係の人が話しているうるさかった。		
中部	設計	態度・マナー(スタッフ)	①講義中、司会者と行政担当者が講義室内で会話して騒がしく、講義に集中できなかった。主催者として信じ難い行為である。②CADにてCADでの標準納まりデータを配布して欲しい。		
中国	施工	態度・マナー(スタッフ)	講義中に後方で会話される方の声が大きく、集中に欠ける場面があった。尚該当の方は受講者以外の方々です。		

東北	設計	態度・マナー(受講者)	講習の内容については、申し分ないと思っておりますが、受講者側の姿勢に、いさか疑問がありました。特に午前中、鼻をすする事がうさく、講師の先生の話が聞きにくかった。体調管理に問題ありと思う。風邪の季節でもあるので周囲への配慮が欲しい(マスクをするなど)又、午後には、ボールペンの「パチンパチン」の音には集中を欠きとても迷惑…いい年した大人がと思うと残念でした。最後に、開催時間に平気で遅れる人など、受講する人のマナーの悪さを感じました。	5	態度・マナー(受講者)
関東	施工	態度・マナー(受講者)	修了審査中に話しているような人は「いい仕事」すら出来ない！失格にた方が建築職人の品確向上になる。		
関東	設計	態度・マナー(受講者)	私語がうるさい、携帯も。		
中部	その他	態度・マナー(受講者)	会自体がグズグズのダラダラ。もう少しきびしくすべきでは？講師の先生の解説は下手だった。		
近畿	設計	態度・マナー(受講者)	修了審査時に話をしたり相談している人がいてうるさかった。事務局の方が誰も注意しなかったのですごく気になった。審査中に相談していた人は不合格でないかと思えます。真剣にしていた人に対して失礼だと思います。		

要望、意見など(省エネ施工への理解を求めたい対象)

45

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
北海道	現場管理	大工、職人	現場作業員に対する講習の実施をする事によって、確実な施工が出来ると思う。	20	大工、職人
東北	施工	大工、職人	指導に置いて熟練工へのけいもうが必要だ。		
東北	現場管理	大工、職人	1穴、くき等でも結露するので、大工さんや関係者の認識を高める事要2大工さん達にも講習を受けさせたいと思います。(設備関係者も必要ですね)		
東北	現場管理	大工、職人	ごろうさまでした。今後講習会は、作業員を含めて必要ではないでしょうか。おつかれさまでした。		
関東	現場管理	大工、職人	現場施工の大工さんに広く説明してほしい。(施工に)設計時坪当りの単価が変る事をわかってほしい。		
関東	現場管理	大工、職人	今回の断熱材の施工方法は素晴らしいですが、それらをきちんと施工できる作業員の確保が難しいと思った。		
関東	設計	大工、職人	現場施工者への講習が必要であり、金融面からのしびりがあると実施が浸透すると思われる。		
関東	その他	大工、職人	大工さんに全て完璧に伝える必要のある内容だと思った。省エネ時代の建築は、管理者だけでなく、直接現場で作業している職人の意識改革も絶対条件だと思います。		
北陸	現場管理	大工、職人	断熱材施工するにあたり現場の大工さんによっては、断熱工事の重要性をわかっている方があまりいないので、断熱工事の実務講習などひんぱんに行っていたら、正しい断熱住宅を周知していただきたい。		
中部	施工	大工、職人	今後の建築(新築)へのとり組として、地元の大工組合の講義の出席をうながしたい。		
中部	現場管理	大工、職人	現場施工者にこういった講習を受ける様指導を行なっていきたいです。		
中部	現場管理	大工、職人	断熱施工の必要性は充分理解するが、実施の現場で大工の施工がその通りかというのが現実で、断熱施工者の育成が待たれる。		
中部	その他	大工、職人	住宅省エネルギー技術が業界全体、元請から末端職人まで浸透する事を望みます。		
近畿	現場管理	大工、職人	工務のメンバー(職人)をもっと積極的に参加させたいと思いました。		
近畿	現場管理	大工、職人	省エネ2も4も断熱材の厚みが変わるだけで施工方法は変わらないが、現場職人の意識が低い。		
近畿	設計	大工、職人	現場施工者、建築主共、省エネについての知識があいまいで、現場施工者については特に施工(知識)が未完成。		
近畿	その他	大工、職人	販売する側の仕事なので、現場で施工してもらう方も正しく伝えたいと思います。		
四国	現場管理	大工、職人	是非又、この様な勉強会があれば、現場の職人を連れて来て、どんどん現場の意識レベルを上げて、顧客満足度No1を目指したいです。		
九州・沖縄	現場管理	大工、職人	大工一人一人に浸透させるのに時間がかかる。時間がかかるので工期がのびるし、今までのやりかた以外を受け入れてくれるか難しい。今から大工になる人におしこめば出来ると思う。		
九州・沖縄	現場管理	大工、職人	断熱材だけで1つの工種となる程、正しい施工方法は手間がかかるものと感じました。大工工事として行なうなら、大工にも教育が必要だと思います。		
東北	施工	設備工、下職	電気、設備業者等への講習はしているのですか。	8	設備工、下職
東北	現場管理	設備工、下職	1穴、くき等でも結露するので、大工さんや関係者の認識を高める事要2大工さん達にも講習を受けさせたいと思います。(設備関係者も必要ですね)		
東北	現場管理	設備工、下職	これらが省エネ仕様でなくては建築出来なくなること考えないと、建設業者だけでなく、電気、設備業者への講習等も、行わなければ、進めないと。等に、個人業者へ。		
関東	施工	設備工、下職	エアコン取付業者(家電量販店)や電気、水道・防蟻等の各業種にも同様な講習会を義務づけられたい。		
関東	現場管理	設備工、下職	1、電気工事店、設備工事店の断熱施工に対する講習会も集めてほしい。2、建設会社、ビルダー代表者に大工手間代を必ず断熱施工費とプラスすること。(大工から一番出る問題であり、今もお金をもらえない。オレ達はボランティアでない)3(施工するのは大工です。正しい施工がいかんにか大事か一度考えなおしたい)		
関東	設計	設備工、下職	電機、設備含めた下職にも受けさせたい。		
中部	その他	設備工、下職	設備配管、電機配線に関して大工事箇所になるかと思えます。大工さんの施工以外についてももしっかり指導が必要ではないかと感じますが、如何でしょうか？		
中国	施工	設備工、下職	設備工事業者への意識づけがない為電気水道工事関連業者への呼びかけも必要と思いました。		
東北	設計	設計者、管理者	施工担当者にDVDを見せ、断熱施工の重要性を理解させたい。又、元請の責任者にも理解を頂き、施工(請負金額を含む)を見直してもらう様に計りたい。	6	設計者、管理者
北陸	施工	設計者、管理者	実際施工する大工がきちんとした仕事の内容を知っているのか知らないが、一番大切です。その上で設計や管理者の指示に対応できるかどうかという事だと思ふ。大工がきちんとやろうとしても、設計でみてない事はできず、また細かい部分は大工の性格も出る所であり、その辺をしっかり知識のある者の管理が必要です。		
中部	設計	設計者、管理者	施工業者だけでなく、設計士もこのような講習を受け易い環境をつくれたらいいと思います。		
中部	その他	設計者、管理者	住宅省エネルギー技術が業界全体、元請から末端職人まで浸透する事を望みます。		
中国	現場管理	設計者、管理者	技能者以外に管理者、施工主の理解が必要だと思ふ。やり過ぎという誤解をまねかない為に。		
九州・沖縄	現場管理	設計者、管理者	内容は良いがこの内容について、設計者・管理者が良くわかっていないとダメではないか。		
関東	施工	建主	製度化された事について、そもそも施工主に対しての周知が全くない現状で、建築会社側が対応すれば金額的、工期的にも不良業者の台頭を許す事になると思われる。同時進行で周知徹底を望む。現場での説明は手間代が発生しない上に、一番手間のかかる仕事となります。又、外断熱の断熱材の上に下地を組む手法は火災の時に外壁屋根が一瞬ではがれ落ちる原因となり得ると思われる。断熱材のカットについてもカッターを使用すれば出火の直が出ないというところを解消するため丸ノコ盤を使用すればすぐに切れなくなる。あおられる等問題点が多いのに現場加工にたよらなければならない施工方法は安全な作業とは反対向きだと思ふ。特にリフォームに関しては施工性、安全性は現場側からは考えられていない。	11	建主
関東	現場管理	建主	講習会がある事すら、知らない大工さんが沢山あります。・建築主は、ほとんど断熱気密の重要性を知りません。		
関東	現場管理	建主	現場施工の大工さんに広く説明してほしい。(施工に)設計時坪当りの単価が変る事をわかってほしい。		
関東	設計	建主	施工主に対しての講習、見学会も必要と思ふ。		
関東	設計	建主	第1回に続き、現場見学や一般の方々への啓発も広くすすめてもらいたい。工事に佳関する職人(大工さん、設備関係など)周知が必要と思ふ。		
中部	施工	建主	建築主をはじめ、建築関係者すべての人の認識が出来ないと、こういった断熱施工は難しいと感じました(一部の人が認識しているだけでは、)		
近畿	設計	建主	現場施工者、建築主共、省エネについての知識があいまいで、現場施工者については特に施工(知識)が未完成。		
近畿	その他	建主	正しい施工には費用がかかることを建主さんに伝えてほしい。		
中国	現場管理	建主	技能者以外に管理者、施工主の理解が必要だと思ふ。やり過ぎという誤解をまねかない為に。		
四国	設計	建主	IV地域に住まわれている人たちは、断熱の等級について一般の人達にわかりやすく、呼びかけがほしいです。特にキセツ改修を断熱リフォームを出したい。		
九州・沖縄	その他	建主	普及の為に建築主の理解、同意が必要な為、建築主向けの講習会を実施してほしい。		

要望、意見など(制度、特定の工法、材料について)

65

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
関東	現場管理	各種制度	省エネ、断熱基準は国策でもっと厳しくした方が良くと思う。ペーパービルタンがどてもひどい仕事をしているのでチェック対策をしっかりとりたい。トップランナー基準も、明確に検査したい方が良く思う。	4	各種制度
中部	設計	各種制度	自主検査、認定ではなく改善を望みます。		
中部	施工	各種制度	省エネ建築物に対する制度がいくつもあり、解りづらい。低炭素住宅と省エネ住宅とがいろいろありすぎて、お施主さんに分かりづらい。Casbee、自立循環型住宅など、ラベル表示を、電気の省エネラベルみたいに、一本化にするべき。各講習会はバラバラ。もはや国の問題ですかね？ヨーロッパみたいに、エネルギーパス一本化でいいと思います。		
中国	設計	各種制度	もっと活せつの良い方を採用して下さい。低炭素建築物の認定制度の位置づけがよくわからない→こちらの認定申請では面積での区分けは無いです。地域区分も細分化されています。		
北海道	設計	行政施策	断熱基準が次世代基準が施工になってからずいぶん時間が経過しているのに、今回の時期になった理由を充分説明する必要があるのでは？……一次エネルギーになる訳は理解しているが！	8	行政施策

東北	その他	行政施策	この講習会で、修了証を頂いても今後活用できると思えない。年間200人程度の講習と検査が無い制度では、やっても無駄な時間です。もうすでに長期優良住宅、高密・高断熱仕様の住宅が40%と言っていたので意味不明です。	
関東	施工	行政施策	家屋のスキルアップになる事で非常にすぐれている法的にしほりをつける必要はないと思います。気密性にすぐれているので普及は広がるのでは。デザインが画一的になりそうで好みの問題になるとむしろです。	
関東	設計	行政施策	断熱等級4とする為の設計確認審査で外断熱と内断熱による組み合わせの場合でも計算がむずかしくならぬ様、仕様規定で済むようにしてほしい。設計計算の手間がゆかりか弊害があると思う	
中部	現場管理	行政施策	基礎断熱による気密工事は内部結露等発生した場合、いちぢるしく住宅の寿命を縮めると考えられ、義務化には反対です。	
中部	現場管理	行政施策	長野でも県条例で断熱、省エネの件を検討しているとの事なので、一般の大工さんや設計、そして何より住まいて(施主)の意識を高める事が大切。大手メーカーより、地区の工務店が元気になる様な政策が必要だと思います。特に断熱リフォームは工務店、大工がやる仕事として認められる様になりたいです。大手メーカーに負けるな！！	
近畿	施工	行政施策	省エネ施工を義務化する必要は無いと思う。やりすぎの様に思う。	
九州・沖縄	その他	行政施策	市場背景、法的規則と工務店の動き等を含めて、啓蒙+警告の動きを加速すべきです。	
関東	施工	断熱のあり方	1.ここまで必要なのか疑問に思う。2.床上げが(段差になる)(グラスウール)	22
関東	現場管理	断熱のあり方	2020年の断熱化の達成率と2020年に断熱化によって実質的に日本全体で次エネルギーをどの位省エネできますか、高断熱化によるコストアップ分、着工数が減少した場合の責任は誰にありますか？	
関東	現場管理	断熱のあり方	スイッチ、コンセントまで対応するよう指導しておきながら、24H換気(外気をどんどんいれろ)はおかしい。省エネではない。ましてや義務化はもっとおかしい。Co2、冷暖房、音、光、プライバシー等一大問題	
関東	設計	断熱のあり方	シックハウス、化学物質過敏症対応には、きびしい施工内容だと思います。高気密、高断熱、大壁にした場合、しっかりと包まれた室内の木材は生きていけるのだろうか？	
関東	設計	断熱のあり方	省エネは良い事だが、必要以上の断熱はどうか…？と思います。	
中部	施工	断熱のあり方	気密に、こだわり過ぎるのは、良くないと思う。	
中部	施工	断熱のあり方	人の住みやすい家には適していないと思う	
中部	施工	断熱のあり方	防湿フィルムで囲う家では、とても木を活かす建築ではないような気がします。	
中部	現場管理	断熱のあり方	この方法が日本の住宅にとって本当に良い方向なのか分らないと思います。	
中部	現場管理	断熱のあり方	省エネは大切なことだと思うが、気密フィルムや気密テープなどの寿命が心配であり、期待し過ぎの気がする。あと個人的にこんなにテープやフィルムだらけの家に住みたいとはとても思えない。	
中部	設計	断熱のあり方	住宅の断熱化によって、日本の住みかたが文化的ではなくなってしまうのではないかと心配をする。出来るだけの事はやっていきたいと考えている。断熱化は良くない事ではないと思いますので。	
中部	その他	断熱のあり方	省エネ住宅は新建材の使用が多すぎると思います。方が一の火災の時の対応が出来ていない。一酸化炭素の発生で死亡率が高くなる危険が多くなる	
中部	その他	断熱のあり方	また気密すぎて、シックハウス問題が出ないか？コスト問題、ついて行けない工務店が出て来るなど	
近畿	設計	断熱のあり方	住宅の省エネルギー化には賛成だが、本来わが国の気候、風土に的した建物があるのは現実である。全ての建物を画一的な方法により断熱等を考慮する事には大反対である。テキストのリフォームのヒアリングについても現状に不満を持っている人がばかりでない。誇耀する様な書き方は良く無いと思う。	
近畿	設計	断熱のあり方	省エネルギーに対する方向性は良いと思いますが、今後解体撤去した時の産廃の事については何も検討されていないと思われる。産廃の処理にも相当エネルギーを消費すると考えられるので、もう少し踏み込んだ省エネ対策が必要ではないでしょうか。	
近畿	その他	断熱のあり方	建物の基本的な環境を考える必要があるのでは、部分的な箇所の大切ですが、人に対する建物の安全を生活面から使用材料に至るまで考えないと、人体への害を控気溝でなく人の住む環境化の問題を総合的に考える時代では、	
中国	現場管理	断熱のあり方	断熱仕様一商品者でないイメージでない。現場の意見・要望が取り入れられているのか？…一方的な工事法に聞こえてしまった。スピードを問われ、予算減少で「手間代を断熱用+のアピール」をして欲しい。工事が複雑になった分の費用は誰が負担してくれるのか？加湿器を使う人が多い。ファンヒーターのないお宅はない。災害で停電の時にどうする。木材の水分をどう考える…もう少し人と木に優しく欲しいと思いました。	
中国	設計	断熱のあり方	断熱への考え方は分かります。一方、PBラテの防湿層によってどうなるのか、カビ等の発生はないのか等の疑問は残ります。トータルとして人にやさしい建築の有り方を考えた上で、断熱等もあるかと思えます。そのあたりのメリット、デメリットを教えてください。又、現場での必要な費用が出てくるかが問題でしょうか。	
四国	施工	断熱のあり方	これほどの断熱工法をすることが理解しにくい。	
四国	施工	断熱のあり方	日本の美しい木造住宅の良さが消えてゆく！？？？？	
九州・沖縄	現場管理	断熱のあり方	断熱工法は向上するが、自然に反した住まいのように感じます。	
九州・沖縄	現場管理	断熱のあり方	テキストを郵送して勉強してもらい、もう少しどっつ込んだ審査をして意識を高め、資格の権威を強めてほしい。高気密は必要ないのでは？	
九州・沖縄	設計	断熱のあり方	省エネの根本とはならないと思う。電気が有ったの前提であり、停電等の場合CO2中毒の可能性もある。日本は春夏秋冬以外に露の季節があり、一年間通しての生活状況に問題がある。本当にこんな内容を施工する必要があるのか？仮に本当に必要であれば、認定技術者による施工をまず義務付ける必要性がある。	
東北	その他	地域性	北東北は北海道に次ぐ寒冷地ですので北海道に準ずる省エネ住宅の施策が必要と思われま。ダブル断熱やQI住宅、トリプルサッシ、換気との組合せ、プラスチック機器など建物と設備の省エネ住宅の研修により地場工務店のレベルアップを図っていただきたいと思えます。本日はとても勉強になりました。ありがとうございました。	2
北陸	その他	地域性	25年前、在来工法で気密住宅をしたがグリーン材だったため、結露がひどかった。福井の気候を考えた場合、地域性を考慮した仕様をつけた方がよいと思われま。	
北海道	設計	断熱施工	ほとんどが施工者(大工、施工管理者)と設計者が、「これで良いか、」ではだめ。ていねいに施工する心掛けを持って省エネは可能になる。	5
関東	施工	断熱施工	断熱住宅の施工評価基準と言う物をどこで定めるのか？現場で見る判断がわからない！	
関東	施工	断熱施工	製度化された事について、そもそも施主に対しての周知が全くない現状で、建築会社側が対応すれば金額的、工期的にも不良業者の台頭を許す事になると思われま。同時進行で周知徹底を望ま。現場での説明は手間代が発生しない上に、一番手間のかかる仕事となります。又、外断熱の断熱材の上に下地を組む手法は火災の時に外壁屋根が一瞬ではがれ落ちる原因となり得ると思われま。断熱材のカットについてもカッターを使用すれば曲がる直が出ないということ解消するため丸ノコ盤を使用すればすぐに切れなくなる。あおられる等問題点が多いのに現場加工にたよらなければならぬ施工方法は安全な作業とは反対向きだと思。特にリフォームに関しては施工性、安全性は現場側からは考えられていない。	
近畿	現場管理	断熱施工	省エネ施工での方法の一つであり、他の方法もあり得ると思う。	
中国	施工	断熱施工	正しく施工する事が大事な事	
東北	設計	伝統工法	従来の住宅に対する断熱工法も必要だと思。 (サイディングを使用しない、土壁等の古民家風住宅)	5
中部	設計	伝統工法	伝統工芸や板倉後方には施工上無理があります。土壌蓄熱式輻射床暖房を使用する場合気流止めはなしと出来るのか？	
近畿	施工	伝統工法	古民家は夏用の建具に替え、エアコンをつける日数は極めて少ない。冬はストーブでよい。断熱性能だけでいうのなら、土壁は使えなくなる。	
中国	施工	伝統工法	小舞が土刃カベに特例を付けてもらいたい。日本の伝統住宅が失われてしまう。土刃カベほど良い住宅はないと思。	
中国	施工	伝統工法	最新の工法も大切だが、昔からの工法も、もっと見直されてはどうかと思。	
関東	施工	特定の工法・材料	グラスウールでの施工例ばかりだったのが残念。今後の住宅のあるべき姿、目指す場所を考えると、グラスウールではもう古すぎる気がする。北海道やドイツの建築手法も多少学びたかった。	17
関東	施工	特定の工法・材料	これからの時代は、グラスウールではないのでは？と感じま。硬質発泡ウレタンにて施工の方が高気密&省エネになるので、グラスウール等の説明は必要ないと思いま。できれば新しい技術や施工方法をしめたかった。	
関東	施工	特定の工法・材料	施工者に対する健康に注意してほしい(断熱材の品質)グラスウールは目、ノドにささる	
関東	施工	特定の工法・材料	製度化された事について、そもそも施主に対しての周知が全くない現状で、建築会社側が対応すれば金額的、工期的にも不良業者の台頭を許す事になると思われま。同時進行で周知徹底を望ま。現場での説明は手間代が発生しない上に、一番手間のかかる仕事となります。又、外断熱の断熱材の上に下地を組む手法は火災の時に外壁屋根が一瞬ではがれ落ちる原因となり得ると思われま。断熱材のカットについてもカッターを使用すれば曲がる直が出ないということ解消するため丸ノコ盤を使用すればすぐに切れなくなる。あおられる等問題点が多いのに現場加工にたよらなければならぬ施工方法は安全な作業とは反対向きだと思。特にリフォームに関しては施工性、安全性は現場側からは考えられていない。	
関東	現場管理	特定の工法・材料	グラスウール、プラスチック系断熱材色々ありますが、セルローズファイバーを使える様な工法(2工法)良いのでは(予算少なくてもいい)。断熱材だけでなく、シャ熟工法なども認可されないのですか。断熱工法はもっと自由の発想でよいのではないですか。現状では、グラスウールを使うしか出来ない。(予算面)グラスウールは良くないと思いがかりです。	
関東	現場管理	特定の工法・材料	外断熱断熱における自アリ対策をさっさとやってほしい。	
関東	現場管理	特定の工法・材料	本当にこれが良いことだと理解していますか？なぜ羊毛を排除したのか。高気密だけにたまる省エネ工法は間違いです。近自然工法を採用しているので概念が基本的に間違っています。単に断熱だけをしていないのです。(余談)化学合成材だけのテキストもです。大手業界界だけのためのシステムです。化学合成材(不調湿)と自然素材(調湿)があり、「調湿」こそが最も重要な性能です。これらに迎合せず、次世代省エネに対応することは出来るのです。	
北陸	施工	特定の工法・材料	午前の講師はわかりにくく、時間も使いすぎ。午後の講師はスムーズかつ、わかりやすかった。充填断熱の正しい施工方法を見ると、いっそ吹付け断熱にした方が楽だと思った。	

北陸	施工	特定の工法・材料	ユニットバスの壁面、床面がベラベラで断熱性能に極端に劣ると思います。基礎断熱外壁に頼らず、基本断熱性能を向上させるよう、お願いしていただきたい。ゴミ問題の件から、ウール麻などの自然素材の断熱材の開発を国家プロジェクトで行って、新製品を生みだしていただきたい。省エネは推進したいが、グラスウール、スタイロホームのゴミだらけになり、ゴミ処理リスクを子孫に残さないで。
北陸	現場管理	特定の工法・材料	外断熱については、施工上の問題(外壁の平かつき、屋根断熱の施工のしにくさ)があり、現実的でないと思った。
中部	施工	特定の工法・材料	外張断熱は、リフォームの時ずっとなんかことが考えられてない。基礎での防湿コンクリートがあっても湿度は、下からコンクリートがあってもでてくるので、通気なしでは土台がくさると思う。外張についてはもう少し考えた方がいいかと。
中部	現場管理	特定の工法・材料	現場発泡についても講習してください(世論は現場発泡と考えています)
近畿	現場管理	特定の工法・材料	断熱施工が手間がやりにくいがグラスウールではあまり良いとは思わない!
近畿	現場管理	特定の工法・材料	床下断熱について、どこまで効果があるのか?新建材ではあたたかさに限界があると思います。以前施工したお宅でムク材の床にやりかえをしまして、根本間に断熱材を入れたお宅はとでもあたたかかったです。
四国	施工	特定の工法・材料	日本の住宅開口(サッシ)は、基準が低く、開口部の断熱が課題であると感じます。
四国	設計	特定の工法・材料	室内防湿ビニールシートの貼りやすい商品開発につきます。
九州・沖縄	その他	特定の工法・材料	現場施工者、施工管理者によって、断熱性能が変わってくるので、しっかりと考えていかなければならないと思う。羊毛断熱材を使用していますが、気密シートを施工する必要がありません。室内の湿気をとりやすくしています。今回の施工方法と少し違ってくると思います。
関東	施工	リフォーム	リフォームの場合特に施工しにくい部分、天井壁床との取合い部分の施工箇所的大小により、結果との因果関係が明確になりにくい。正確な評価が難しいのは仕方ないことだと思います。
九州・沖縄	その他	リフォーム	リフォーム時の対応をより充実した方がよいと思います。今後既築住宅改修の比率がupします。

受講後の感想など

344

地域	職種	項目	自由記述	数	項目
東北	現場管理	施工できている	・今までの施工方法と特に変わりはなく、参考にならなかった。・住宅模型の施工ミスが多くて面白かった!・主旨がよく分からない(当たり前)のことが今までに出来ていなかったのか?施工不良が多かったのか?	3	施工できている
関東	施工	施工できている	理論的なことはあまり解らなかったが毎日仕事では講習と同じような施工法でやっております。		
中部	施工	施工できている	もう少しレベルの高い物だと思っていた。自分の会社ではあたりまえにやっていることだった。		
東北	設計	(再)確認ができた	自分たちがやっている施工の確認ができ、テキストで分りやすい(余白が多いのが良い)内容で当面のバイブルになります。テキストではのっていない、細部の納まりの矛盾する悩みを模型をみながら話されていくようになりました。	11	(再)確認ができた
東北	その他	(再)確認ができた	正しい知識を再確認できました。感謝いたします。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	再確認できたのでとても良い講習でした。寒冷地からの参加でしたが、寒冷地の話もしてもらったので良かったです。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	断熱施工の確認ができました。ありがとうございます。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	当社は全棟長期使用です。特に施工や資材等の問題がないことが確認されたことが良かったです。		
北陸	現場管理	(再)確認ができた	いままでの施工方法が再認識できて良かった。		
中部	設計	(再)確認ができた	職方さんにとっては「もうすでに設計図で決まっている」という内容も多かったのではと思うが、なぜこんな断熱が必要かというのを理解できたのではないかと、設計、施工者にとっては、既知知っている、知っていなければならぬ内容であったが、改めて確認、又は是正する機会となったのではないかと。		
中部	設計	(再)確認ができた	断熱材の施工時の注意として断熱材が連続している事が重要であり防湿フィルムの重なり30mmの意味が良く理解できた。通気層の確保気流止め等の注意も重要であり、スキマ等の無いよう施工する必要がある事が講習会で再確認できた。		
中国	設計	(再)確認ができた	色々な断熱手法をあらためて学習して、我々がおこなっている断熱施工とくらべることができて良かった。あたり前だと思っておこなっていることもたまには最新の情報として学ぶことが必要であるとあらためて思いました。		
九州・沖縄	現場管理	(再)確認ができた	講義の間隔が長くて集中力がもたせませんでした。休憩を50~60分置きに取ったほうが良いかと思っています。講習会の内容については、再認識できた分もあり大変勉強になりました。ありがとうございます。		
九州・沖縄	現場管理	(再)確認ができた	ペースが早い箇所がありましたので、理解しにくい部分もありましたが改めて理解出来た部分が多かったです。		
東北	施工	考え直す、いかにしたい	断熱の入れ方を改めて考え直します!	32	考え直す、いかにしたい
東北	施工	考え直す、いかにしたい	とても勉強になり、今後の仕事に生かしてお客さんに喜ばれる仕事につながるよう、会社全体にうながし、頑張っていきたいです。講師先生、職員の方々も親切でとても良い講習会でした。ありがとうございます。おつかれ様です。		
東北	設計	考え直す、いかにしたい	勉強になりました。工事監理業務で、かなり役立てられると思います。ありがとうございます。		
関東	施工	考え直す、いかにしたい	今日までの断熱施工は断熱材が入っていないという意識で施工していましたが、機能、性能を考慮した施工をしなくてはならないと意識しました。又建物に対してはどうかという疑問が多くなりました。柱、壁間の通気が遮断されて木に対しては良くないではないか?		
関東	施工	考え直す、いかにしたい	質問、意見はありません。これから自分の仕事に実際に役立てて行きたいです。		
関東	施工	考え直す、いかにしたい	大変勉強になりました。次回からの作業内容にいかせれば良いと思います。		
関東	施工	考え直す、いかにしたい	良い勉強になったよ。営業等活用したい。		
関東	現場管理	考え直す、いかにしたい	高気密・高断熱といっても、まだまだ結露問題は少なくありません。今回の講習会の施工方法を現場にも取り入れ、改善していこうと思います。		
関東	現場管理	考え直す、いかにしたい	たいへん勉強になりました。今後に断熱工事に役立てていきたいと思っています。		
関東	現場管理	考え直す、いかにしたい	とても勉強になりました。この仕事を会社の標準仕様にして施工させていただきたいと思いました。ありがとうございます。		
関東	現場管理	考え直す、いかにしたい	勉強になりました。今後に生かします。		
関東	設計	考え直す、いかにしたい	講師の方も話されていたが、?な部分はありますがH32年までに、対応していける様に準備をしないといけないと思いました。		
関東	設計	考え直す、いかにしたい	この講習会に参加して、断熱に関する基本的な考え方が変わりました。今後の設計及び施工管理に生かして行きたいと思っています。		
関東	設計	考え直す、いかにしたい	断熱材の正しい設計・施工法が学べて大変勉強になった。復習して今後に生かしたい。		
北陸	設計	考え直す、いかにしたい	実際に施工する段階で、疑問点や不安点が発生しそうです...		
中部	施工	考え直す、いかにしたい	実際むずかしい所もあると思いますが、理にかなってはいるので、なるべく実現していく様努力します。		
中部	現場管理	考え直す、いかにしたい	細部の実施工に於いては、問題点(むづかしい所)が出てくると思うが、テキストを参考に考えていきたい。		
中部	設計	考え直す、いかにしたい	断熱については、もっと重要に考えていきたいと思っています。行政においても断熱における補助金制度も必要と思います。		
中部	その他	考え直す、いかにしたい	非常に勉強になりました。現場の大家さんへ伝えて行こうと思います。		
近畿	現場管理	考え直す、いかにしたい	とても勉強になりました。今後、現場等にフィードバックしたいです。		
中国	設計	考え直す、いかにしたい	どうい風にしたら省エネ住宅に近づけるか分かったので、これから断熱の施工方法について変えていけたらいいんじゃないかと思いました。ありがとうございます。		
四国	施工	考え直す、いかにしたい	大変、勉強になりました。意識を少しずつ省エネ化に向けて変えて、そして回りの職人にも広めていきたいと思いました。		
四国	現場管理	考え直す、いかにしたい	町営住宅を施工(エコ住宅)したが、この研修を1年前に受けていれば参考になったと思う。これからの業務にいかしたい。		
四国	設計	考え直す、いかにしたい	省エネ講習を受講して省エネに関して改めて関心をもちました。		
九州・沖縄	施工	考え直す、いかにしたい	今後の施工方法を考え直さないといけないと思った。今回の講習会では、どこを直すのか、はっきりとしなかった点が多かったと思います。		
九州・沖縄	施工	考え直す、いかにしたい	大変勉強になった。今までの施工場所の変更を考えている所です。		
九州・沖縄	現場管理	考え直す、いかにしたい	今回の講習で現場での施工方法を考え直さなければと思った。		
九州・沖縄	現場管理	考え直す、いかにしたい	大変勉強になりました。中々時間がとれませんが他の現場管理者、施工者へも指導を徹底していきたいと思っています。		
九州・沖縄	現場管理	考え直す、いかにしたい	複数の断熱工法、気密工法について勉強になりました。施工担当者として、教育、指導に役立てたいと思っています。本日がありがとうございます。		
九州・沖縄	現場管理	考え直す、いかにしたい	勉強になりました。今後にいかせるとしています。ありがとうございます。		
九州・沖縄	現場管理	考え直す、いかにしたい	本日はありがとうございます。早速、現場に戻り、改善していただきたいです。		
九州・沖縄	その他	考え直す、いかにしたい	テキストを読むだけの講師はどうかと思う。勤務時間中に来ているのでもっと気合いを入れて解説してもらいたい。非常に残念。只内容はとても勉強になりました。今後の仕事に活かしていきたい。		
関東	施工	大事だとわかった	大変だという事がよくわかった。	6	大事だとわかった
関東	その他	大事だとわかった	非常に有意義な講習でした。モデルやDVDを使った講習は、なぜこの様な施工をしなければならないかがとてもわかりやすく理解できました。任意講習ではなく、業界の講習にすべきだと感じました。		
中部	現場管理	大事だとわかった	一般的な物として理解できた。それぞれの会社のやり方と工法を、てらし合わせをしていかなければいけないと思った。		
中部	設計	大事だとわかった	管理、監理が重要であることが再理解できました。		
九州・沖縄	施工	大事だとわかった	省エネの必要性が良くわかりました。		
九州・沖縄	現場管理	大事だとわかった	現場管理をしています。断熱材の施工法等、それほど重視しておらず、本日の講習でより一層注意していかなければと感じました。私自身だけでなく現場で施工を行う職人達にも反映させ、省エネルギーを考慮した住まいづくりを行ってほしいと思います。本日はありがとうございます。		
関東	設計	心配	IV地区の施工方法については良く分かった。大工さんとやってもらえるかが大きい心配。省エネ基準、品確法、性能表示、フラット35等の区別が良く分からない。施工上の細かい手続きの違い等が知れた。	3	心配
中部	施工	心配	私の住むエリアではヤマトシロアリ、イエシロアリが多く発生します。そのため基礎断熱の施工が心配です。		
九州・沖縄	現場管理	心配	・テキストの内容を理解するには、時間が短いしどうしても講師の話が早く解りにくくなる。平成11年度基準に施工者の技術が追いつくのか心配。		

東北	現場管理	その他	壁胴線の断熱材(GW)との関わりは全く改善した。指導がありません。石膏ボード工業会との連携で中間下地を無くし、ジョイント部のみで胴線を入れる等の標準施工を改めてほしいと思います。	40	その他
東北	現場管理	その他	グラスウールは巾が425か395(おおよそ)売っているが、工務店によっては425のみ施工者に支給しているが、このような間違いを力説してもらいたい。		
東北	施工	その他	この講習会は平成11年にはもう行われていたのですか？		
東北	施工	その他	私は60才で中学を出てすぐ大工見習いになりました。英語はあまりわからない。		
関東	施工	その他	講習者に仕事が行って行く事、講習者が増える事、周知徹底して下さい。		
関東	施工	その他	これからの住宅を施工するにあたって、いろいろ大変だなあと感じました。		
関東	施工	その他	これまで断熱材施工がとわれるかと思う所有ります。		
関東	施工	その他	断熱材の施工方法をもっとかんたんに出来るようにしてほしい		
関東	施工	その他	内容からみて、もっと時間をかけるべきだ。たやれば良いという事でもないと思う。このような施工をした場合、現場施工者に負担を押し付けられないで、しっかり面倒見てほしい。		
関東	施工	その他	もっと一般的に講習会をCMLした方が良いと思う。講習修了者の中から各地域について、指導員としてのマイスター制度をつくとよいと思う。		
関東	現場管理	その他	多くの人に知ってもらえるようにした方が良くと思う。		
関東	現場管理	その他	実際の工事現場で第三者のチェックが必要だと思います。		
関東	設計	その他	200,000人が目標だと思いますが、進捗をどこかで発表していただきたい。今日をみて大工以外の人でも来ており、ダブルカウントしていないか不安になる。		
北陸	施工	その他	後継者がいない		
北陸	現場管理	その他	お客さんが24時間換気をなかなかしてくれない(電気代などの理由)ので、ここまで完全気密にしようと思えば不安要素もあると思う。		
北陸	現場管理	その他	木造施工を行っていないので1番は答えられませんでした。		
北陸	設計	その他	少し疲れました。		
中部	施工	その他	10年程度前に講習すべき。		
中部	施工	その他	互工事なので普段関係していない。私たちに本当に必要か？		
中部	施工	その他	算定用webプログラムで計算をためしたのですが記入例がないのでいきなりやろうとしてもまったくできなくて困りました。記入例等が必要です。P44		
中部	施工	その他	省エネだけのことで考えればいいかもしれないが、ほかのいろんな面でどうなのか？		
中部	現場管理	その他	省エネに関し耐熱の方向のみで外の施工分野の考え方も取り入れないと省エネのみで建物が出来ているわけではないので耐震構造や防蟻の事やら総合した物の考え方も必要なのかも？		
中部	現場管理	その他	図面上と現場で施工する間に信頼がいる(部分によっておさまりの悪さ)		
中部	現場管理	その他	講師になるにはどのようにすれば良いのでしょうか？教えて下さい。		
中部	設計	その他	福代正人090-3383-8057御前崎市新野1824		
中部	設計	その他	当たり前の施工がようやく大工さんに伝わりそうだが、どこまでわかっているか未知数である。		
中部	その他	その他	断熱については、もっと重要に考えていきたいと思えます。行政においても断熱における補助金制度も必要と思えます。		
中部	その他	その他	自分が関係していないので質問12に解答できずすみません		
近畿	施工	その他	今後共、よろしくお願ひ致します。		
近畿	施工	その他	町屋のリフォームですのでこれからです。		
近畿	現場管理	その他	つかれた。		
近畿	その他	その他	エネルギー関連より参加しました。電力需給が安定しない中、ご迷惑をおかけしております。省エネ基準改訂から地場さん店の生き残りに向けて、貴協会が取り組まれていらっしゃる事は素晴らしい事と思えます。当社も省エネの観点から省エネ住宅の普及に向けて活動していきたいと考えております。本日はありがとうございました。		
中国	施工	その他	しかし省エネで金もうけをしようとする人間がみえかくれじゃね。自然の素材でタダで使える物で省エネできるといいいな。		
中国	施工	その他	主事の公示が必要かと思う		
中国	現場管理	その他	また新しい情報等あれば知らせてください。また良い家づくりがしたいので…		
中国	施工	その他	お施主様の事を考え、なるべく、省エネルギー化の整った住宅を目指したい。		
四国	現場管理	その他	もっと早く受講すれば良かったと思いました。		
四国	その他	その他	調査による資料づくりに関心があります。手伝いたいと思いました。		
九州・沖縄	施工	その他	頭と体がついていかないかも？		
九州・沖縄	現場管理	その他	もう少し経験を積んで受講した方が良かった。		
九州・沖縄	その他	その他	・現場施工者、施工管理者によって、断熱性能が変わってくるので、しっかりと考えていかなければならないと思う。・羊毛断熱材を使用していますが、気密シートを施工する必要がありません。室内の湿気をとりやすくしています。今回の施工方法と少し違ってくると思います。		

概要

- ・ 調査対象
：主に工務店等の設計者及び現場管理者
- ・ 実施期間
：2013年1月から2月
- ・ アンケート票配布及び回収方法
：各都道府県の地域協議会を窓口として、地域型住宅ブランド化事業採択グループに所属する工務店等にアンケート票を配布、及び回収を行った。
- ・ アンケート票回収数
：全国で2,561票。

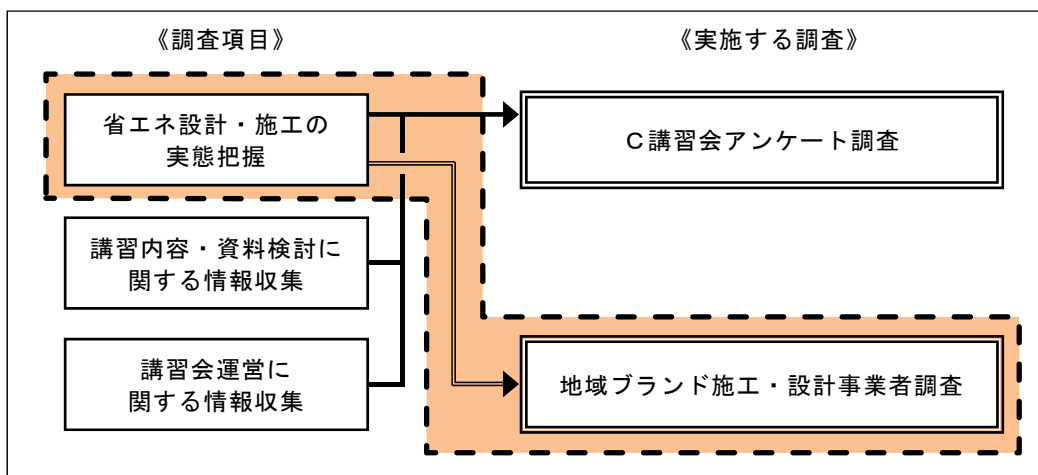


図 調査項目と実施する調査の相関図 地域ブランド施工・設計事業者調査

地域	回答数	%
北海道	138	5.4
東北	406	15.9
関東	477	18.6
北陸	297	11.6
中部	469	18.3
近畿	185	7.2
中国	157	6.1
四国	165	6.4
九州・沖縄	267	10.4
全体	2561	100.0

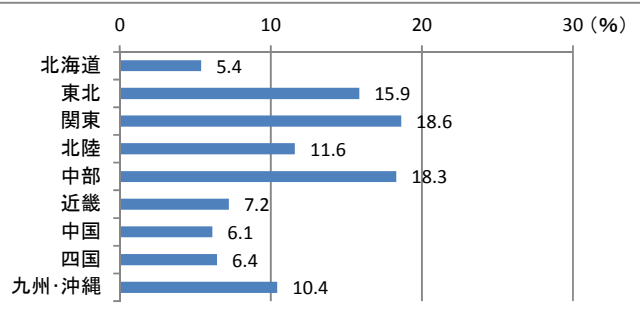


図 地域別回答数(地域分けはC講習会応募地域分けに倣う)

地域	都道府県	回答数	%
北海道	北海道	138	5.4
東北	青森県	108	4.2
	岩手県	107	4.2
	宮城県	9	0.4
	秋田県	59	2.3
	山形県	34	1.3
関東	福島県	89	3.5
	茨城県	36	1.4
	栃木県	14	0.5
	群馬県	116	4.5
	埼玉県	72	2.8
	千葉県	14	0.5
	東京都	75	2.9
北陸	神奈川県	80	3.1
	山梨県	70	2.7
	新潟県	97	3.8
	富山県	116	4.5
中部	石川県	49	1.9
	福井県	35	1.4
	長野県	61	2.4
	岐阜県	64	2.5
	静岡県	142	5.5
近畿	愛知県	181	7.1
	三重県	21	0.8
	滋賀県	26	1.0
	京都府	20	0.8
	大阪府	56	2.2
	兵庫県	60	2.3
中国	奈良県	14	0.5
	和歌山県	9	0.4
	鳥取県	26	1.0
	島根県	21	0.8
	岡山県	17	0.7
四国	広島県	79	3.1
	山口県	14	0.5
	徳島県	41	1.6
	香川県	7	0.3
九州・沖縄	愛媛県	16	0.6
	高知県	101	3.9
	福岡県	40	1.6
	佐賀県	34	1.3
	長崎県	89	3.5
	熊本県	7	0.3
	大分県	8	0.3
	宮崎県	60	2.3
鹿児島県	27	1.1	
沖縄県	2	0.1	
全体	2561	100.0	

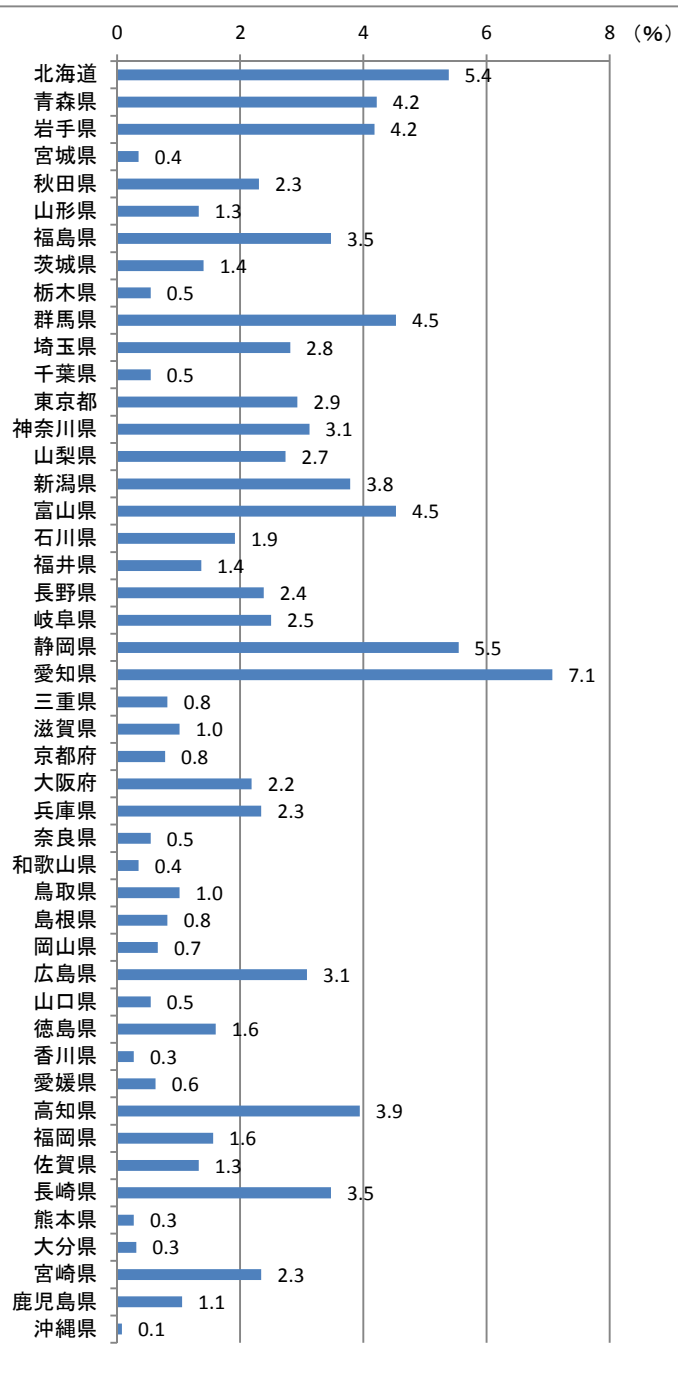


図 都道府県別回答数

アンケート調査票

※以下の調査票は「中小建設工事業者・設計事務所の実態に関するアンケート調査」の一部として盛り込んだ省エネの設計・施工の実態把握に関する部分を抜粋している。

■あなたの基本的な事項について、お答え下さい。	
貴社名称	
所属部署・お名前	
(1) 性別（右欄の当てはまる方に○をご記入ください） [男 ・ 女]	
回答者属性	(2) 年齢（右欄に数値をご記入ください） [] 歳
	(3) 事業主となられた年齢（右欄に数値をご記入ください） [] 歳
	(4) あなたは起業者ですか。継承者ですか。いずれかあてはまる方に○をつけてください。また、継承者の場合、あなたは何代目ですか。数値をご記入ください。 1. 起業者(初代) 2. 継承者 []代目
(5) 現在、後継者はいますか。 1. 現在いる 2. 現在いないため、探している(または今後探す) 3. 現在いないし、今後も探すつもりはない	
回答者属性	(6) 現在の職種について、あてはまるもの全てに○をつけてください。 1. 施工 2. 現場管理 3. 設計 4. その他()
	(7) どのような職種から事業主になられましたか。次の1～7から最もあてはまるもの1つに○をつけてください。 [建築関係] 1. 営業 2. 大工 3. 建築設計 4. 現場管理 5. 不動産 6. その他専門職 [建築関係以外] 7. その他 []
回答者属性	(8) (7) で回答した職種に何年間従事されていましたか。経験年数をご記入ください。 [] 年
	(9) あなたの会社の現在の業種について、あてはまるもの全てに○をつけてください。 1. 工務店 2. 住宅メーカー/建設会社 3. 設計事務所 4. その他()

(31). 省エネの設計等についてお答えください。

31-1. 普段、設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)	2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工)
②外壁	1. 充填断熱	2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱)	2. 床(大引き間断熱) 4. 基礎断熱

31-2. 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 3. その他()	2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 3. その他()	2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 3. その他()	2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)

31-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるもの全てに○をつけてください。

①屋根・天井	1. 特記仕様書 5. 矩計図	2. 仕上表 6. その他()	3. 平面図	4. 平面詳細図
②外壁	1. 特記仕様書 5. 矩計図	2. 仕上表 6. その他()	3. 平面図	4. 平面詳細図
③床・基礎	1. 特記仕様書 5. 矩計図	2. 仕上表 6. その他()	3. 平面図	4. 平面詳細図

31-4. 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入ください。

1. H11年基準(次世代基準・等級4)以上	2. H4年基準(新基準・等級3)
3. S55年基準(旧基準・等級2)	4. S55年基準以下

31-5. 計算したことのあるものについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 年間冷暖房負荷	2. Q値(熱損失係数)
3. U値(部位熱貫流率)	4. R値(熱抵抗値)

31-6. 断熱・施工方法に関する情報の入手先について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

31-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問2 年齢

- 回答者の年齢構成は「30代」が9.6%、「40代」が23.2%、「50代」が33.0%、「60代以上」が32.8%であった。
- 「20代」は0.2%、「10代」の回答は0であった。

《職種別》

- 年齢構成に職種間での大きな差異は無い。

年齢	回答数	%
10代	0	0.0
20代	4	0.2
30代	247	9.6
40代	593	23.2
50代	845	33.0
60代以上	841	32.8
無回答	31	1.2
全体	2561	100.0

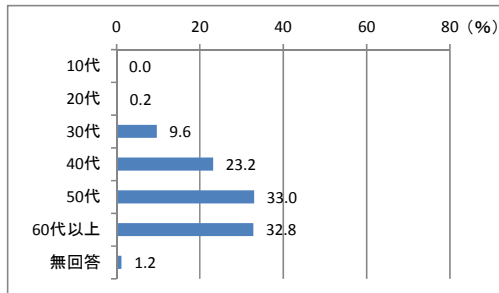


図 II-2a 回答者の年齢層

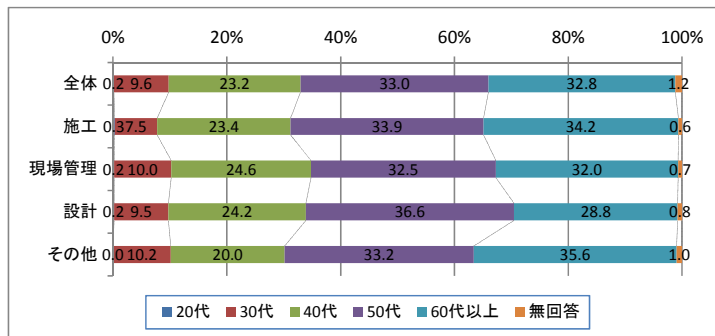


図 II-2b 職種別の年齢層

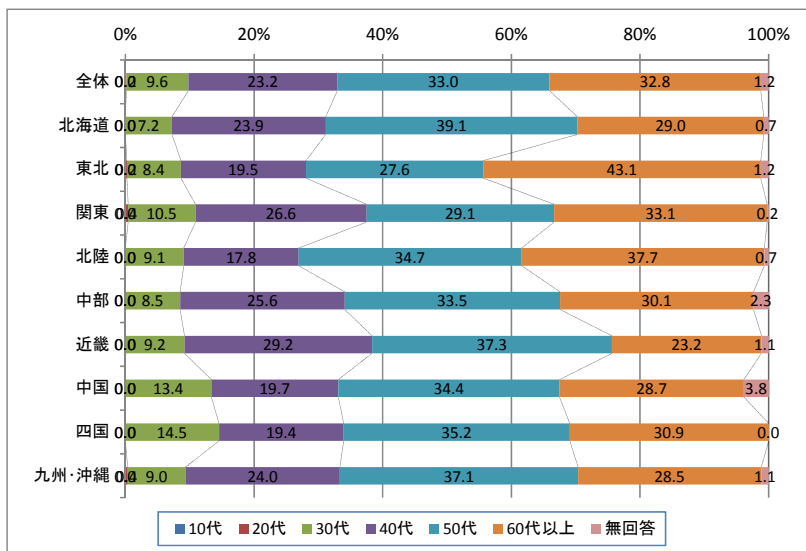


図 II-2c 地域別の年齢層

質問6 現在の職種について、あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

- 回答者の職種は「設計」が最も多く 61.0%、「現場管理」が 55.3%、「施工」が 54.2 であった。
- 「その他」は 24.2%で主な内訳は「営業」が 5.9%、「事業主等(代表、社長、経営者など)」が 6.6%であった。

職種	回答数	%
施工	1388	54.2
現場管理	1417	55.3
設計	1561	61.0
その他	620	24.2
無回答	45	1.8
全体	2561	100.0

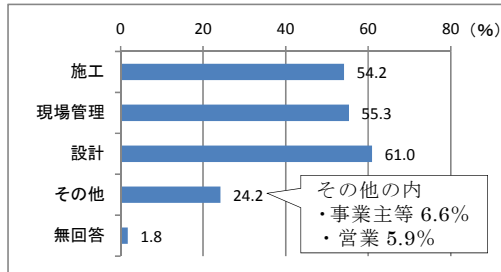


図 II-6a 職種

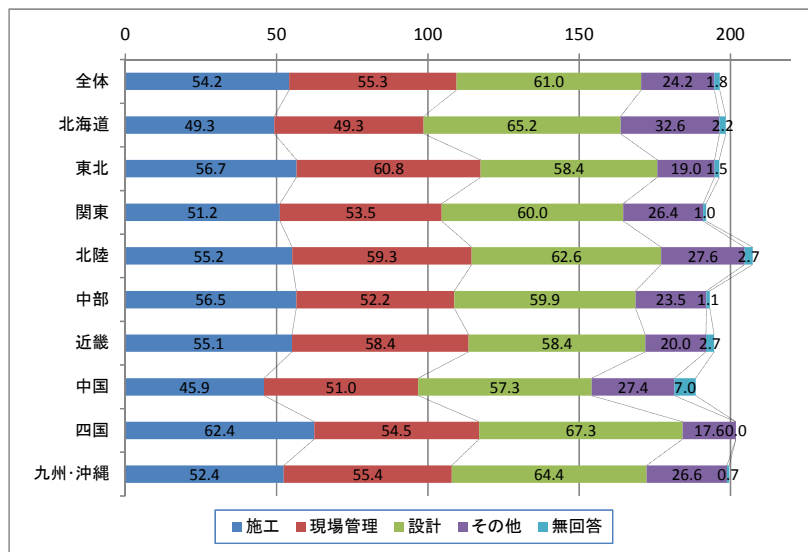


図 II-6b 地域別の職種

職種	4.その他	回答数	%
大工		1	0.0%
設計・監理		6	0.2%
営業		150	5.9%
事業主等		169	6.6%
建材販売		9	0.4%
工務店		1	0.0%
不動産業		32	1.2%
未分類		70	2.7%
不明		3	0.1%
その他記入有合計		441	17.2%
その他全体		620	24.2%
全体		2,561	100.0%

職種	4.その他	回答数
施工	大工	1
設計監理	設計・監理	2
設計監理	一部設計補助	1
設計監理	監理	3
営業	営業	137
営業	営業・経営	4
営業	営業・経理	1
営業	営業・積算	2
営業	営業・管理	3
営業	営業・総務	1
営業	営業・総括	1
営業	営業兼務	1
事業主等	事業主	2
事業主等	経営	40
事業主等	経営者	11
事業主等	経営管理	16
事業主等	経営全般	11
事業主等	経営管理・企画	6
事業主等	経営・営業	5
事業主等	経営・営業・設計・広報等	3
事業主等	代表	9
事業主等	代表取締役	11
事業主等	取締役	3
事業主等	役員	4
事業主等	社長	6
事業主等	営業・取締役	3
事業主等	管理職	7
事業主等	全体管理・社長業	3
事業主等	管理全般	2
事業主等	総合管理	4
事業主等	統括業務	2
事業主等	営業・経営管理	6
事業主等	経営・営業・その他全て	4
事業主等	経営・商品開発	1
事業主等	代表取締役・経営管理	1
事業主等	社長業・営業	1
事業主等	統括	1
事業主等	●営全般	1
事業主等	会社運営・管理	1
事業主等	会社経営及び営業職	1
事業主等	事業主のため営業と 全体管理(全て)	1
事業主等	全般・代表者	1
事業主等	営業・代表取締役	1
事業主等	会社経営及び営業職	1
建材販売	建材卸	2
建材販売	木材・建築資材販売	1
建材販売	建材流通店	1
建材販売	材木流通	1
建材販売	建築材料販売	1
建材販売	製材業建築材の販売	1
建材販売	販売	1
建材販売	インテリア販売	1
工務店	工務店・請負業	1
不動産業	不動産	16
不動産業	不動産業	9

職種	4.その他	回答数
不動産業	不動産管理	1
不動産業	不動産管理・仲介	1
不動産業	不動産販売	1
不動産業	不動産営業	1
不動産業	不動産取引	1
不動産業	不動産販売営業	1
不動産業	不動産仲介	1
不動産業	●漢土製造販売	1
未分類	全搬	8
未分類	全ての業務	2
未分類	建設業	1
未分類	積算	5
未分類	経理	2
未分類	経理・見積り	1
未分類	経理・不動産	1
未分類	コンサルタント	2
未分類	マネジメント	2
未分類	マネジメント・総務経理	1
未分類	製材	3
未分類	建築士ではありませんが	1
未分類	構造・省エネ計算サポート	1
未分類	雑用	1
未分類	司法書士	1
未分類	住宅システムの研究開発	2
未分類	住宅の販売	1
未分類	住宅メーカー	2
未分類	製材・住宅資材販売	1
未分類	全般管理	1
未分類	デザイン&マネジメント	1
未分類	土木工事	1
未分類	プレカット、工法開発	1
未分類	プレカット加工・木材建材販売	2
未分類	木材加工	1
未分類	木材・製材・不動産	1
未分類	木材コーディネーター	1
未分類	家具、造園、資材販売	1
未分類	監理、調査、鑑定、手続	1
未分類	企画提案	1
未分類	空調工事	1
未分類	設計・施工管理	1
未分類	設計・営業・経営	1
未分類	設計営業	1
未分類	設計施工	2
未分類	総合職	3
未分類	土地家屋調査士	1
未分類	宅建、木材業(少々)	1
未分類	宅建業	4
未分類	住宅資金計画相談、 住宅ローン取次、つなぎ融資、 住宅資金管理支払代行	2
未分類	損害保険代理業	1
未分類	特定労働者派遣	1
未分類	食品製造業	1
不明	●●	2
不明	金●	1

図 II - 6c 職種「その他」記述

質問9 あなたの会社の現在の業種について、あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

- 「工務店」が71.5%で最も多く、「設計事務所」が38.9%、「住宅メーカー／建設会社」が17.8%であった。
- 「その他」は6.7%で主な内訳は「不動産業」2.0%、「建材販売」0.4%であった。
- 全体の約7割の回答が工務店となっている。

《職種別》

- 「職種／施工」の所属先業種は「工務店」が最も多く87.2%、「住宅メーカー／建設会社」が16.7%であった。

職種が施工にも関わらず「設計事務所」との回答は33.0%であったが、その殆ど(458回答中444回答)が「工務店」または「住宅メーカー／建設会社」にも回答しており、建築士事務所登録をした工務店等に所属していると考えられる。

- 「職種／現場管理」の所属先業種は「工務店」が最も多く85.9%、「住宅メーカー／建設会社」が18.1%、「設計事務所」が37.2%であった。

職種が現場管理の場合もその殆ど(527回答中492回答)が「工務店」または「住宅メーカー／建設会社」にも回答しており、建築士事務所登録をした工務店等に所属していると考えられる。

- 「職種／設計」の所属先業種は「工務店」が最も多く68.5%、「住宅メーカー／建設会社」は15.4%、「設計事務所」が54.8%であった。

- いずれの職種も「工務店」の所属が最も多い。

《地域別》

- 北海道地域は「住宅メーカー／建設会社」が全国より9.7ポイント高く、「工務店」、「設計事務所」は共に7.0ポイント低い。

- 北陸地域は「住宅メーカー／建設会社」が全国より8.8ポイント高い。

- 中部地域は「住宅メーカー／建設会社」が全国より6.9ポイント低い。

- 九州地域は「設計事務所」が全国より6.4ポイント高い。

- いずれの地域も「工務店」からの回答票が最も多い。

業種	回答数	%
工務店	1831	71.5
住宅メーカー/ 建設会社	456	17.8
設計事務所	995	38.9
その他	172	6.7
無回答	21	0.8
全体	2561	100.0

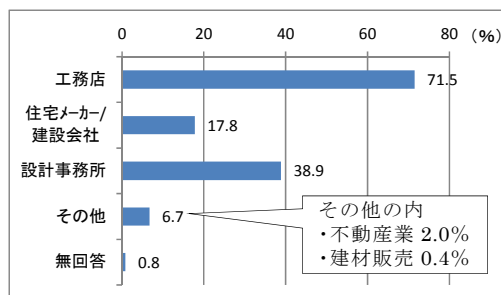


図 II-9a 業種

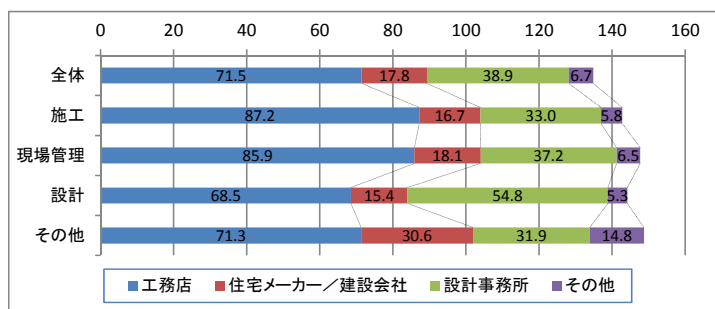


図 II-9b 職種別の所属業種

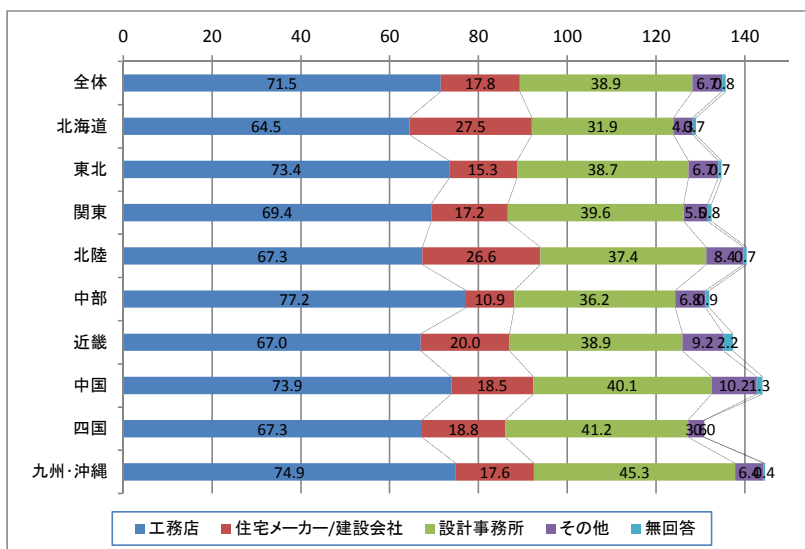


図 II-9c 地域別の所属業種

業種	4.その他	回答数	%	業種	4.その他	回答数	業種	4.その他	回答数
大工		4	0.2%	大工	大工	2	材木店	材木店	1
施工		1	0.0%	大工	一人親方	1	材木店	材木流通	1
建設会社		6	0.2%	大工	個人大工	1	材木店	木材・建築資材販売	1
設計事務所		1	0.0%	施工	施工	1	材木店	木材販売	3
建材販売		10	0.4%	建設会社	総合建設業	5	プレカット業者	プレカット、工法開発	1
各工種施工		3	0.1%	建設会社	総合建設業、土木もやっています。	1	プレカット業者	プレカット・林材販売	1
設備施工		6	0.2%	設計事務所	デザイン	1	プレカット業者	プレカット加工業	1
リフォーム施工		1	0.0%	建材販売	建築材料販売	1	製材業者	製材業	4
不動産業		50	2.0%	建材販売	資材販売	1	製材業者	製材・加工・流通・施工	1
宅建業		6	0.2%	建材販売	建材 木材販売	1	製材業者	製材業と販売	1
金融業		2	0.1%	建材販売	建築資材卸	4	製材業者	木材加工	1
材木店		6	0.2%	建材販売	建材流通業	3	未分類	建材メーカー	2
プレカット業者		3	0.1%	各工種施工	建築板金	2	未分類	コンサルタント	2
製材業者		7	0.3%	各工種施工	造園業	1	未分類	一般建築	1
未分類		26	1.0%	設備施工	管工事業	3	未分類	製造業	1
				設備施工	設備工事業	1	未分類	エネルギー関連	1
その他記入有り合計		132	5.2%	設備施工	管工事、土木工事	1	未分類	介護ショップ・不動産	1
その他全体		172	6.7%	設備施工	空調・住宅設備工事業	1	未分類	家具製造販売	1
全体		2,561	100.0%	リフォーム施工	リフォーム専門店	1	未分類	司法書士	1
				不動産業	不動産	22	未分類	住宅FC	1
				不動産業	不動産業	12	未分類	住宅の共同受注	1
				不動産業	不動産会社	6	未分類	土地家屋調査士	1
				不動産業	不動産管理	1	未分類	土木工事	1
				不動産業	不動産取引	1	未分類	ビルダー	1
				不動産業	不動産仲介	1	未分類	飲食店不動産	1
				不動産業	販売・不動産	1	未分類	協同組合	1
				不動産業	不動産業兼業	1	未分類	兼業	1
				不動産業	不動産、生損保代理店	2	未分類	個人事業所	1
				不動産業	建設・不動産	2	未分類	施工・御売業	1
				不動産業	仲介業	1	未分類	自営業	1
				宅建業	宅建業	6	未分類	小売業	1
				金融業	住宅資金計画相談・住宅ローン取次・つなぎ融資・住宅資金管理支払代行	1	未分類	設計施工	1
				金融業	住宅ローン取次・つなぎ融資、ローン事務代行	1	未分類	土木工事	1
							未分類	土木工事・不動産	1
							未分類	木材・製材・不動産	1

図 II-9d 業種「その他」記述

質問 31 省エネ施工についてお答えください。

質問 31-1 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段、設計または現場管理している「屋根・天井」の断熱工法は「天井断熱」が最も多く 66.1%、「屋根野地上断熱」が 17.6%、「垂木間充填断熱」が 29.2%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「天井断熱」が全体より 18.0 ポイント高く、「垂木間充填断熱」が 16.2 ポイント低い。
- 東北地域は「天井断熱」が全体より 8.8 ポイント高く、「垂木間充填断熱」が 10.5 ポイント低い。
- 北陸地域は「垂木間充填断熱」が全体より 9.0 ポイント低い。
- 関東地域は「垂木間充填断熱」が全体より 10.4 ポイント高く、「天井断熱」が 9.1 ポイント低い。
- 近畿地域は「垂木間充填断熱」が全体より 10.3 ポイント高く、「天井断熱」が 8.8 ポイント低い。
- 四国地域は「垂木間充填断熱」が全体より 7.8 ポイント高い。

屋根・天井の断熱工法	回答数	%
天井断熱	1693	66.1
屋根野地上断熱	451	17.6
垂木間充填断熱	748	29.2
無回答	118	4.6
全体	2561	100.0

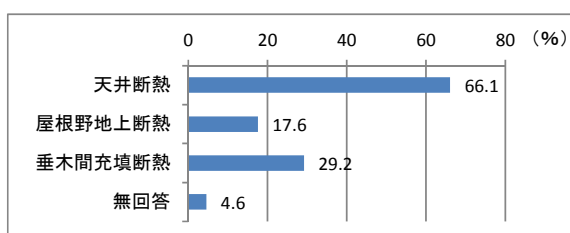


図 II-31-1 ①a 普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	2561	66.1	17.6	29.2	4.6
北海道 (全体との差)	138	84.1 +18.0	15.2 -2.4	13.0 -16.2	2.2
東北 (全体との差)	406	74.9 +8.8	14.5 -3.1	18.7 -10.5	4.9
関東 (全体との差)	477	57.0 -9.1	23.7 +6.1	39.6 +10.4	3.4
北陸 (全体との差)	297	70.7 +4.6	15.2 -2.5	20.2 -9.0	6.1
中部 (全体との差)	469	61.8 -4.3	16.2 -1.4	32.8 +3.6	4.7
近畿 (全体との差)	185	57.3 -8.8	17.3 -0.3	39.5 +10.3	7.6
中国 (全体との差)	157	70.1 +4.0	19.1 +1.5	30.6 +1.4	5.7
四国 (全体との差)	165	60.6 -5.5	18.2 +0.6	37.0 +7.8	3.0
九州・沖縄 (全体との差)	267	69.3 +3.2	16.9 -0.8	25.8 -3.4	4.1

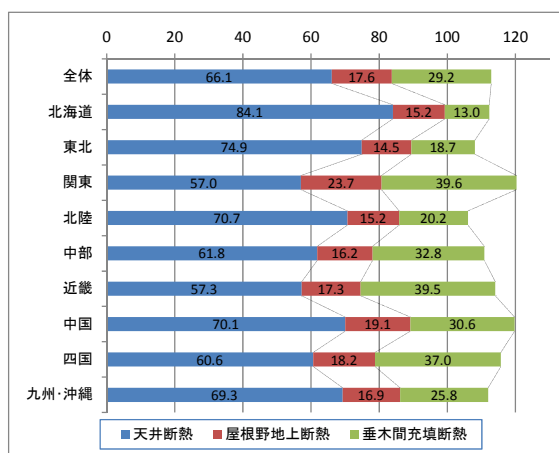


図 II-31-1 ①b 地域別の普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱工法

質問 31-1 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段、設計または現場管理している「外壁」の断熱工法は「充填断熱」が最も多く 75.5%、「外張断熱」が 15.0%、「充填外張併用断熱」が 11.1%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「充填外張併用断熱」が全国より 54.9 ポイント高く、「充填断熱」が 51.6 ポイント低い。
- 東北地域は「充填断熱」が全国より 7.5 ポイント低い。
- 中国地域は「充填断熱」が全国より 12.4 ポイント高い。
- 四国地域は「充填断熱」が全国より 7.5 ポイント高く、「充填外張併用断熱」が 6.8 ポイント低い。
- 「充填断熱」は北海道地域、東北地域が全国より低く、その他の地域は高くなる。
- 「充填外張併用断熱」は北海道地域、東北地域が全国より高く、その他の地域は低くなる。

外壁の断熱工法	回答数	%
充填断熱	1934	75.5
外張断熱	385	15.0
充填外張併用断熱	283	11.1
無回答	119	4.6
全体	2561	100.0

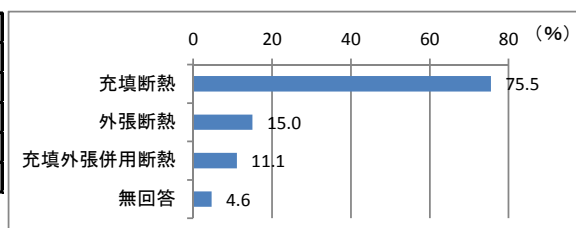


図 II-31-1②a 普段設計または現場管理している外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	2561	75.5	15.0	11.1	4.6
北海道	138	23.9	13.8	65.9	3.6
(全体との差)		-51.6	-1.3	+54.9	-
東北	406	68.0	20.2	15.3	5.2
(全体との差)		-7.5	+5.2	+4.2	-
関東	477	81.1	15.7	6.5	4.0
(全体との差)		+5.6	+0.7	-4.6	-
北陸	297	80.8	15.5	8.1	3.4
(全体との差)		+5.3	+0.5	-3.0	-
中部	469	77.8	15.1	6.2	6.2
(全体との差)		+2.3	+0.1	-4.9	-
近畿	185	78.4	12.4	7.6	7.6
(全体との差)		+2.9	-2.6	-3.5	-
中国	157	87.9	10.2	6.4	3.8
(全体との差)		+12.4	-4.8	-4.7	-
四国	165	83.0	12.7	4.2	2.4
(全体との差)		+7.5	-2.3	-6.8	-
九州・沖縄	267	79.8	12.0	5.6	4.1
(全体との差)		+4.3	-3.0	-5.4	-

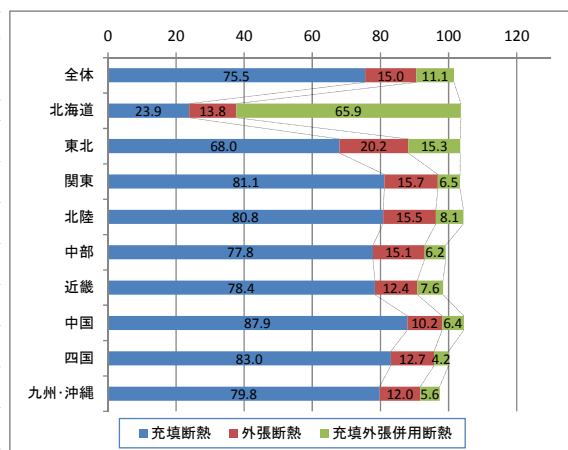


図 II-31-1②b 地域別の普段設計または現場管理している外壁の断熱工法

質問 31-1 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段、設計または現場管理している「床・基礎」の断熱工法は「床断熱(根太間充填)」が 34.2%、「床断熱(大引間充填)」が 35.0%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.3%、「基礎断熱」が 31.5%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「基礎断熱」が全国より 35.9 ポイント高く、「床断熱(根太間充填)」が 21.2 ポイント、「床断熱(大引間充填)」が 21.3 ポイント低い。
- 東北地域は「基礎断熱」が全国より 12.9 ポイント高く、「床断熱(根太間充填)」が 9.3 ポイント低い。
- 関東地域は「床断熱(根太間充填)」が全国より 7.2 ポイント低い。
- 北陸地域は「床断熱(根太間充填)」が全国より 7.5 ポイント高く、「基礎断熱」が 14.3 ポイント低い。
- 中部地域は「基礎断熱」が全国より 8.4 ポイント低い。
- 近畿地域は「基礎断熱」が全国より 10.9 ポイント低い。
- 九州地域は「床断熱(根太間充填)」が全国より 16.4 ポイント高く、「基礎断熱」が 9.0 ポイント低い。
- 「基礎断熱」は北海道、東北、関東の 3 地域が全国より高い。中国地域も 1 ポイントだけ高い。
- 「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(大引間充填)」が共に全国より低いのは、北海道、東北の 2 地域。

床・基礎の断熱工法	回答数	%
床断熱(根太間充填)	876	34.2
床断熱(大引間充填)	897	35.0
床断熱(根太+大引間充填)	188	7.3
基礎断熱	806	31.5
無回答	131	5.1
全体	2561	100.0

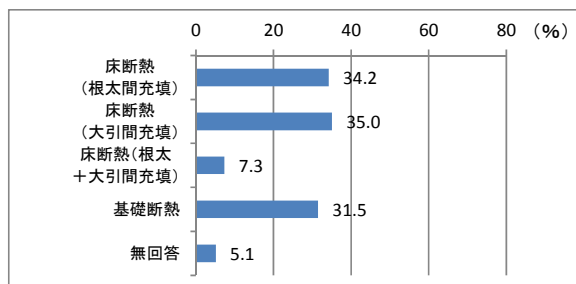


図 II-31-1③a 普段設計または現場管理している床・基礎の断熱工法

	合計(回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱(根太間充填)	床断熱(大引間充填)	床断熱(根太+大引間充填)	基礎断熱	
全体	2561	34.2	35.0	7.3	31.5	5.1
北海道	138	13.0	13.8	8.0	67.4	4.3
(全体との差)		-21.2	-21.3	+0.6	+35.9	-
東北	406	24.9	31.0	7.6	44.3	5.2
(全体との差)		-9.3	-4.0	+0.3	+12.9	-
関東	477	27.0	37.7	9.9	36.7	4.8
(全体との差)		-7.2	+2.7	+2.5	+5.2	-
北陸	297	41.8	40.7	7.4	17.2	4.0
(全体との差)		+7.5	+5.7	+0.1	-14.3	-
中部	469	40.7	34.3	7.7	23.0	6.8
(全体との差)		+6.5	-0.7	+0.3	-8.4	-
近畿	185	27.6	47.0	7.6	20.5	9.2
(全体との差)		-6.6	+12.0	+0.2	-10.9	-
中国	157	38.9	38.2	4.5	32.5	5.7
(全体との差)		+4.6	+3.2	-2.9	+1.0	-
四国	165	40.0	35.2	6.1	30.3	3.6
(全体との差)		+5.8	+0.1	-1.3	-1.2	-
九州・沖縄	267	50.6	31.8	3.7	22.5	1.9
(全体との差)		+16.4	-3.2	-3.6	-9.0	-

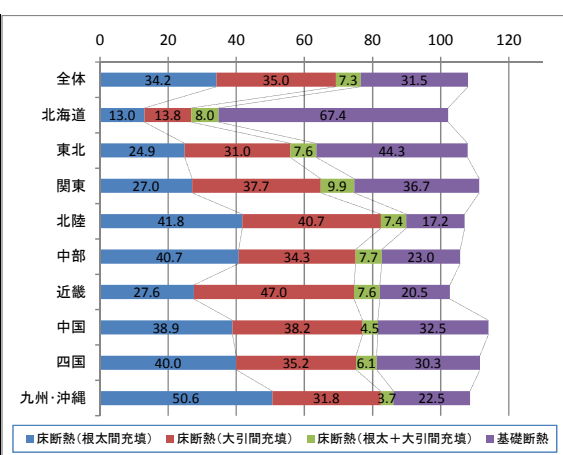


図 II-31-1③b 地域別の普段設計または現場管理している床・基礎の断熱工法

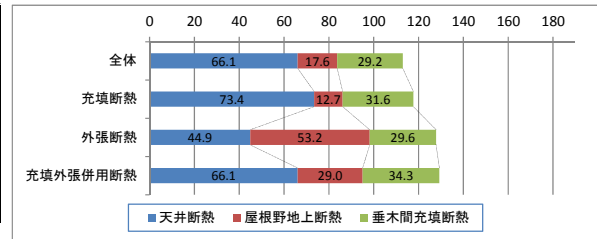
質問 31-1 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.4%、「屋根野地上断熱」が 12.7%、「垂木間充填断熱」が 31.6%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 44.9%、「屋根野地上断熱」が 53.2%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」は 29.6%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは、「天井断熱」が最も多く 66.1%、「屋根野地上断熱」が 29.0%、「垂木間充填断熱」が 34.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
全体	2561	66.1	17.6	29.2	4.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1934	73.4	12.7	31.6	1.6
	外張断熱	385	44.9	53.2	29.6	2.9
	充填外張 併用断熱	283	66.1	29.0	34.3	3.2

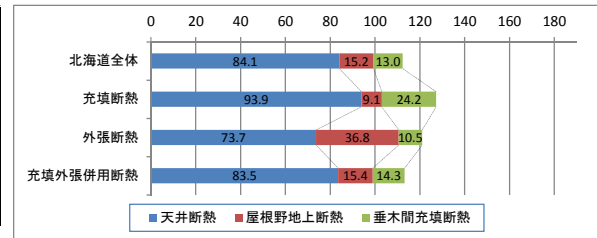


図Ⅱ-31-1④a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 93.9%、「屋根野地上断熱」が 9.1%、「垂木間充填断熱」が 24.2%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.7%、「屋根野地上断熱」が 36.8%、「垂木間充填断熱」が 10.5%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 83.5%、「屋根野地上断熱」が 15.4%、「垂木間充填断熱」が 14.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北海道全体	138	84.1	15.2	13.0	2.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	33	93.9	9.1	24.2	0.0
	外張断熱	19	73.7	36.8	10.5	5.3
	充填外張 併用断熱	91	83.5	15.4	14.3	2.2

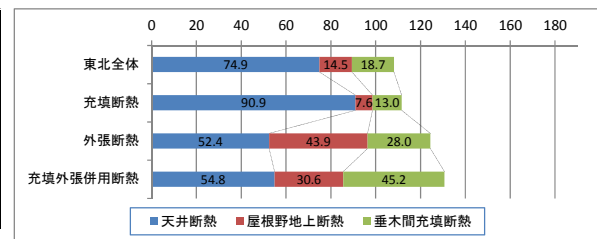


図Ⅱ-31-1④b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 90.9%、「屋根野地上断熱」が 7.6%、「垂木間充填断熱」が 13.0%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 52.4%、「屋根野地上断熱」が 43.9%と近い割合であった。「垂木間充填断熱」が 28.0%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 54.8%、「垂木間充填断熱」も 45.2%と多くなっている。「屋根野地上断熱」が 30.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
東北全体	406	74.9	14.5	18.7	4.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	276	90.9	7.6	13.0	0.4
	外張断熱	82	52.4	43.9	28.0	7.3
	充填外張 併用断熱	62	54.8	30.6	45.2	3.2

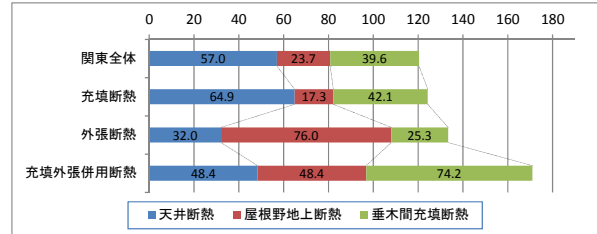


図Ⅱ-31-1④c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 64.9%、「垂木間充填断熱」が 42.1%、「屋根野地上断熱」が 17.3%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が最も多く 76.0%、「天井断熱」も 32.0%、「垂木間充填断熱」が 25.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「垂木間充填断熱」が最も多く 74.2%、「天井断熱」、「屋根野地上断熱」が共に 48.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
関東全体	477	57.0	23.7	39.6	3.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	387	64.9	17.3	42.1	1.0
	外張断熱	75	32.0	76.0	25.3	0.0
	充填外張 併用断熱	31	48.4	48.4	74.2	0.0

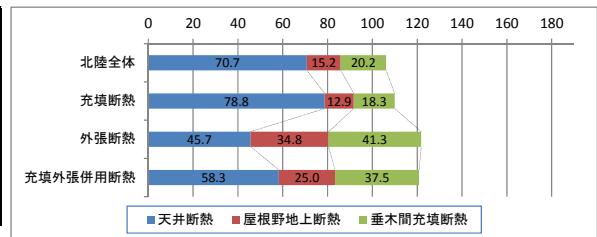


図Ⅱ-31-1④d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 78.8%、「屋根野地上断熱」が 12.9%、「垂木間充填断熱」が 18.3%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 45.7%、「屋根野地上断熱」が 34.8%、「垂木間充填断熱」が 41.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 58.3%、「屋根野地上断熱」が 25.0%、「垂木間充填断熱」が 37.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北陸全体	297	70.7	15.2	20.2	6.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	240	78.8	12.9	18.3	2.9
	外張断熱	46	45.7	34.8	41.3	4.3
	充填外張 併用断熱	24	58.3	25.0	37.5	8.3

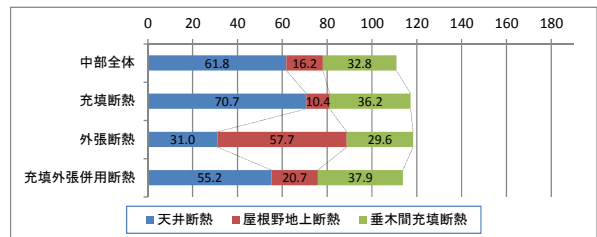


図Ⅱ-31-1④e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは、「天井断熱」が最も多く 70.7%、「屋根野地上断熱」が 10.4%、「垂木間充填断熱」が 36.2%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が最も多く 57.7%であった。
（「天井断熱」が 31.0%、「垂木間充填断熱」が 29.6%であった。）
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 55.2%、「屋根野地上断熱」が 20.7%、「垂木間充填断熱」が 37.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中部全体	469	61.8	16.2	32.8	4.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	365	70.7	10.4	36.2	1.1
	外張断熱	71	31.0	57.7	29.6	1.4
	充填外張 併用断熱	29	55.2	20.7	37.9	6.9



図Ⅱ-31-1④f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 63.4%、「垂木間充填断熱」が 46.2%、「屋根野地上断熱」が 12.4%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「垂木間充填断熱」が最も多く 52.2%、「屋根野地上断熱」が 47.8%、「天井断熱」が 43.5%と近い割合となっている。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 92.9%、「屋根野地上断熱」が 42.9%、「垂木間充填断熱」が 21.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
近畿全体	185	57.3	17.3	39.5	7.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	145	63.4	12.4	46.2	1.4
	外張断熱	23	43.5	47.8	52.2	0.0
	充填外張 併用断熱	14	92.9	42.9	21.4	0.0

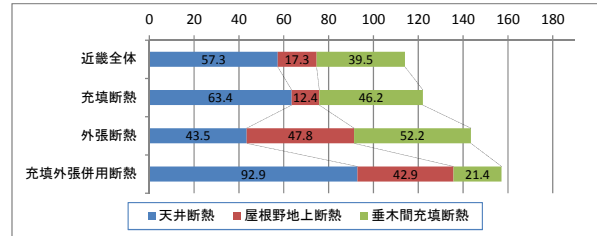


図 II-31-1④g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.2%、「屋根野地上断熱」が 18.8%、「垂木間充填断熱」が 34.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 87.5%、「屋根野地上断熱」が 62.5%、「垂木間充填断熱」が 31.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 70.0%、「屋根野地上断熱」、「垂木間充填断熱」が共に 50.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中国全体	157	70.1	19.1	30.6	5.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	138	73.2	18.8	34.1	2.2
	外張断熱	16	87.5	62.5	31.3	0.0
	充填外張 併用断熱	10	70.0	50.0	50.0	0.0

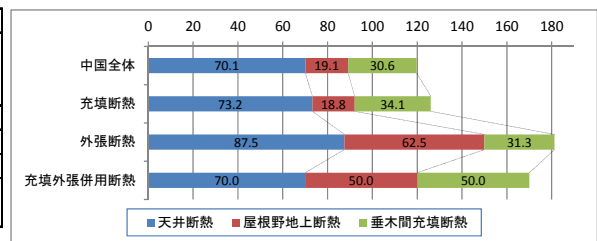


図 II-31-1④h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 70.1%、「屋根野地上断熱」が 10.2%、「垂木間充填断熱」が 38.7%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が最も多く 66.7%、「天井断熱」が 23.8%、「垂木間充填断熱」が 38.1%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「屋根野地上断熱」が最も多く 42.9%、「天井断熱」が 14.3%、「垂木間充填断熱」が 28.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
四国全体	165	60.6	18.2	37.0	3.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	137	70.1	10.2	38.7	2.2
	外張断熱	21	23.8	66.7	38.1	0.0
	充填外張 併用断熱	7	14.3	42.9	28.6	14.3

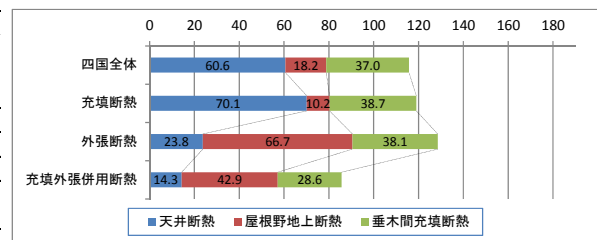


図 II-31-1④i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 70.9%、「屋根野地上断熱」が 12.7%、「垂木間充填断熱」が 29.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 62.5%、「屋根野地上断熱」が 40.6%、「垂木間充填断熱」が 15.6%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.3%、「屋根野地上断熱」が 53.3%、「垂木間充填断熱」が 20.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
九州・沖縄全体	267	69.3	16.9	25.8	4.1
断熱 工法 外壁	充填断熱	70.9	12.7	29.1	3.3
	外張断熱	62.5	40.6	15.6	3.1
	充填外張 併用断熱	15	73.3	53.3	20.0

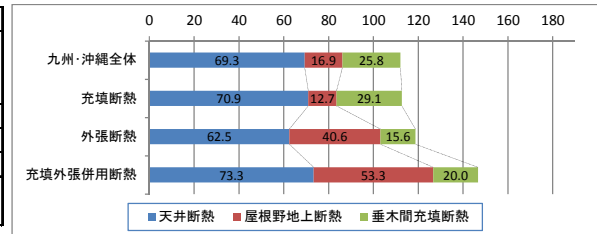


図 II-31-1④j 同 九州・沖縄地域

質問 31-1 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「床断熱(根太間充填)」が 39.0%、「床断熱(大引間充填)」が最も多く 41.8%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 8.4%で、「基礎断熱」は 24.4%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 63.4%、「床断熱(根太間充填)」が 27.5%、「床断熱(大引間充填)」が 23.6%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 5.7%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 66.4%、「床断熱(根太間充填)」が 20.1%、「床断熱(大引間充填)」が 21.2%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 8.1%であった。
- 外壁の外張工法または併用工法と床の工法との組合せは似通った傾向で、「基礎断熱」との組合せが多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
全体	2561	34.2	35.0	7.3	31.5	5.1	
断熱 工法	充填断熱	1934	39.0	41.8	8.4	24.4	1.9
	外張断熱	385	27.5	23.6	5.7	63.4	2.6
外壁	充填外張 併用断熱	283	20.1	21.2	8.1	66.4	2.5

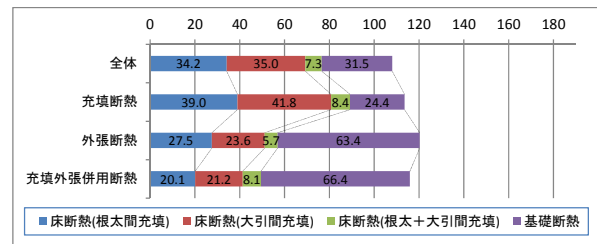


図 II-31-1⑤a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 30.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 39.4%、「床断熱(大引間充填)」が 30.3%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 15.2%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 100.0%、床断熱は「床断熱(根太+大引間充填)」が 10.5%、「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(大引間充填)」が共に 5.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 79.1%、「床断熱(大引間充填)」が 9.9%、「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(根太+大引間充填)」が共に 7.7%であった。
- 北海道地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても基礎断熱が最多であった。特に外張、併用の場合は基礎断熱の割合が高くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北海道全体	138	13.0	13.8	8.0	67.4	4.3	
断熱 工法	充填断熱	33	39.4	30.3	15.2	30.3	0.0
	外張断熱	19	5.3	5.3	10.5	100.0	0.0
外壁	充填外張 併用断熱	91	7.7	9.9	7.7	79.1	2.2

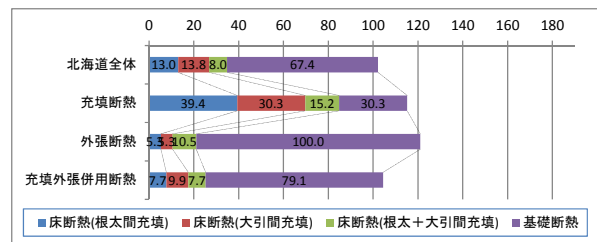
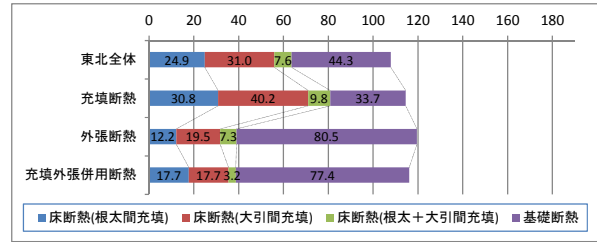


図 II-31-1⑤b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 33.7%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 30.8%、「床断熱(大引間充填)」が最も多く 40.2%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 9.8%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 80.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 12.2%、「床断熱(大引間充填)」が 19.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 77.4%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(大引間充填)」が共に 17.7%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 3.2%であった。
- 東北地域では外壁外張りとは併用断熱で基礎断熱との組合せの割合が高くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太＋ 大引間 充填)	基礎 断熱		
東北全体	406	24.9	31.0	7.6	44.3	5.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	276	30.8	40.2	9.8	33.7	1.4
	外張断熱	82	12.2	19.5	7.3	80.5	3.7
	充填外張 併用断熱	62	17.7	17.7	3.2	77.4	1.6

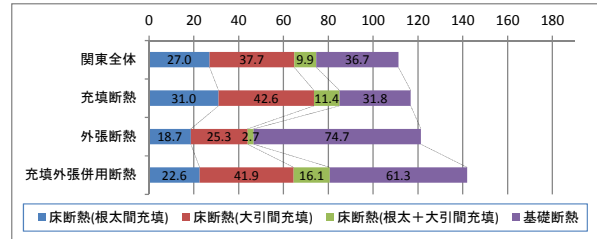


図Ⅱ-31-1⑤c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が31.8%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が31.0%、「床断熱(大引間充填)」が最も多く42.6%、「床断熱(根太＋大引間充填)」が11.4%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く74.7%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が18.7%、「床断熱(大引間充填)」が25.3%、「床断熱(根太＋大引間充填)」が2.7%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く61.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が22.6%、「床断熱(大引間充填)」が41.9%、「床断熱(根太＋大引間充填)」が16.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太＋ 大引間 充填)	基礎 断熱		
関東全体	477	27.0	37.7	9.9	36.7	4.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	387	31.0	42.6	11.4	31.8	1.8
	外張断熱	75	18.7	25.3	2.7	74.7	2.7
	充填外張 併用断熱	31	22.6	41.9	16.1	61.3	0.0

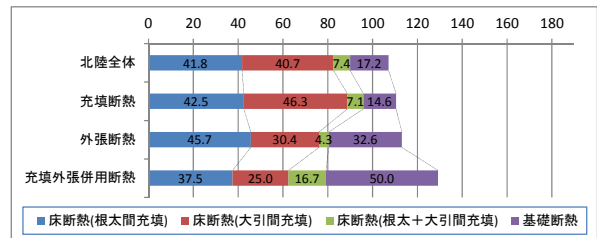


図Ⅱ-31-1⑤d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が14.6%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が42.5%、「床断熱(大引間充填)」が最も多く46.3%、「床断熱(根太＋大引間充填)」が7.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が32.6%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く45.7%、「床断熱(大引間充填)」が30.4%、「床断熱(根太＋大引間充填)」が4.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く50.0%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が37.5%、「床断熱(大引間充填)」が25.0%、「床断熱(根太＋大引間充填)」が16.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太＋ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北陸全体	297	41.8	40.7	7.4	17.2	4.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	240	42.5	46.3	7.1	14.6	0.8
	外張断熱	46	45.7	30.4	4.3	32.6	2.2
	充填外張 併用断熱	24	37.5	25.0	16.7	50.0	0.0



図Ⅱ-31-1⑤e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 17.8%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 45.2%、「床断熱(大引間充填)」が 40.3%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 8.8%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 53.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 26.8%、「床断熱(大引間充填)」が 23.9%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 7.0%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 55.2%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 27.6%、「床断熱(大引間充填)」、「床断熱(根太+大引間充填)」が共に 17.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
中部全体	469	40.7	34.3	7.7	23.0	6.8
断熱工法						
充填断熱	365	45.2	40.3	8.8	17.8	2.7
外張断熱	71	26.8	23.9	7.0	53.5	4.2
充填外張 併用断熱	29	27.6	17.2	17.2	55.2	6.9

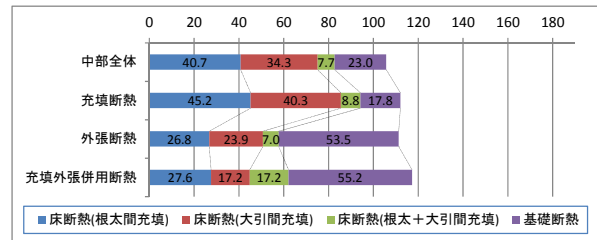


図 II-31-1⑤f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 17.2%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 32.4%、「床断熱(大引間充填)」が最も多く 52.4%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 9.0%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 69.6%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(大引間充填)」が共に 26.1%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 4.3%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 14.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 21.4%、「床(大引間充填断熱)」が最も多く 78.6%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 0.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
近畿全体	185	27.6	47.0	7.6	20.5	9.2
断熱工法						
充填断熱	145	32.4	52.4	9.0	17.2	3.4
外張断熱	23	26.1	26.1	4.3	69.6	4.3
充填外張 併用断熱	14	21.4	78.6	0.0	14.3	7.1

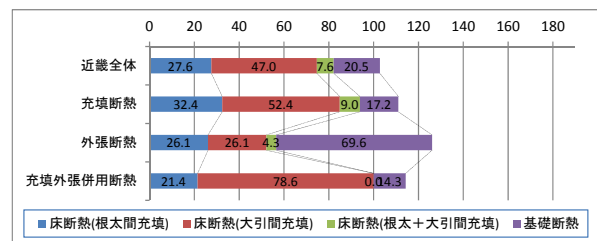


図 II-31-1⑤g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 34.1%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 39.1%、「床断熱(大引間充填)」が最も多く 41.3%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 5.1%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 56.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 62.5%、「床断熱(大引間充填)」が 37.5%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 12.5%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 50.0%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 60.0%、「床断熱(大引間充填)」が 20.0%であった。「床断熱(根太+大引間充填)」が 0.0%であった。
- 中国地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中国全体	157	38.9	38.2	4.5	32.5	5.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	138	39.1	41.3	5.1	34.1	2.2
	外張断熱	16	62.5	37.5	12.5	56.3	0.0
	充填外張 併用断熱	10	60.0	20.0	0.0	50.0	0.0

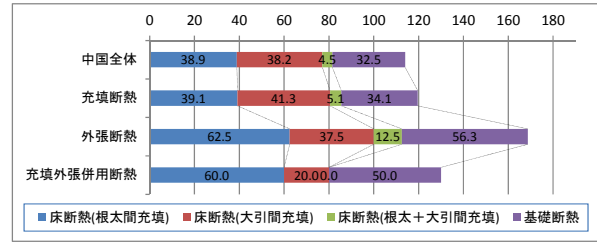


図 II-31-1⑤h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 26.3%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 43.1%、「床断熱(大引間充填)」が 37.2%であった、「床断熱(根太+大引間充填)」が 5.8%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 61.9%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 23.8%、「床断熱(大引間充填)」が 33.3%であった、「床断熱(根太+大引間充填)」が 9.5%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 71.4%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」、「床断熱(大引間充填)」が共に 14.3%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 0.0%であった。
- 四国地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
四国全体	165	40.0	35.2	6.1	30.3	3.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	137	43.1	37.2	5.8	26.3	2.9
	外張断熱	21	23.8	33.3	9.5	61.9	0.0
	充填外張 併用断熱	7	14.3	14.3	0.0	71.4	0.0

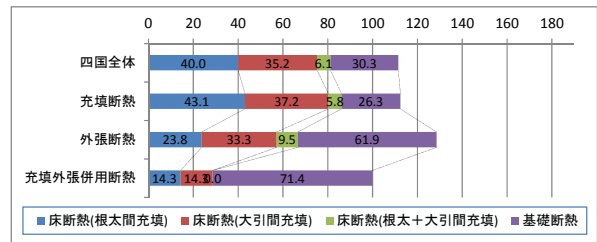


図 II-31-1⑤i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁／充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 17.4%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 51.2%、「床断熱(大引間充填)」が 37.6%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 4.7%であった。
- 「外壁／外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 37.5%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が最も多く 62.5%、「床断熱(大引間充填)」が 15.6%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 0.0%であった。
- 「外壁／充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く 60.0%、床断熱は「床断熱(根太間充填)」が 33.3%、「床断熱(大引間充填)」が 13.3%、「床断熱(根太+大引間充填)」が 0.0%であった。
- 九州地域では外壁の断熱工法のいずれの組合せについても根太間の床断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
九州・沖縄全体	267	50.6	31.8	3.7	22.5	1.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	213	51.2	37.6	4.7	17.4	0.5
	外張断熱	32	62.5	15.6	0.0	37.5	0.0
	充填外張 併用断熱	15	33.3	13.3	0.0	60.0	6.7

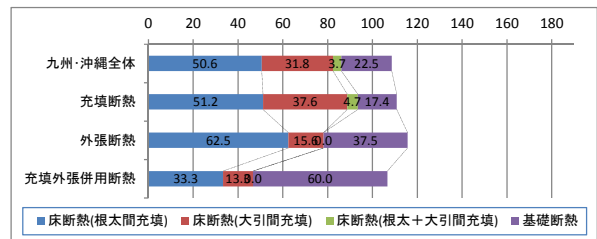


図 II-31-1⑤j 同 九州・沖縄地域

質問 31-2 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段、設計または現場管理している「屋根・天井」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 61.6%、「発泡プラスチック系断熱材」が 30.2%、「その他」が 22.8%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「グラスウール・ロックウール」が全国より 11.8 ポイント高く、「発泡プラスチック系断熱材」が 14.6 ポイント低い。
- 北陸地域は「発泡プラスチック系断熱材」が全国より 7.1 ポイント高い。
- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が 57.3% (北陸地域)～73.3% (北海道地域) で最多となっている。
- 「発泡プラスチック系断熱材」は北海道地域が 15.6% で 20% を下回るが、他の地域は 26.2% (東北地域)～37.3% (北陸地域) となっている。

屋根・天井の断熱材料	回答数	%
グラスウール、 ロックウール	1504	61.6
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	737	30.2
その他	557	22.8
無回答	16	0.7
全体	2443	100.0

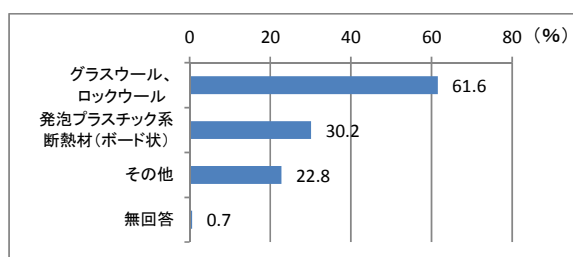


図 II-31-2①a 普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	2443	61.6	30.2	22.8	0.7
北海道	135	73.3	15.6	23.0	0.7
(全体との差)		+11.8	-14.6	+0.2	-
東北	386	64.2	26.2	21.0	1.3
(全体との差)		+2.7	-4.0	-1.8	-
関東	461	60.5	32.5	25.8	0.2
(全体との差)		-1.0	+2.4	+3.0	-
北陸	279	57.3	37.3	21.1	1.1
(全体との差)		-4.2	+7.1	-1.7	-
中部	447	58.4	31.8	23.0	1.1
(全体との差)		-3.2	+1.6	+0.2	-
近畿	171	60.2	32.2	22.8	0.0
(全体との差)		-1.3	+2.0	+0.0	-
中国	148	64.2	29.1	26.4	0.0
(全体との差)		+2.6	-1.1	+3.6	-
四国	160	60.6	31.3	18.8	0.6
(全体との差)		-0.9	+1.1	-4.0	-
九州・沖縄	256	63.3	27.7	21.9	0.0
(全体との差)		+1.7	-2.4	-0.9	-

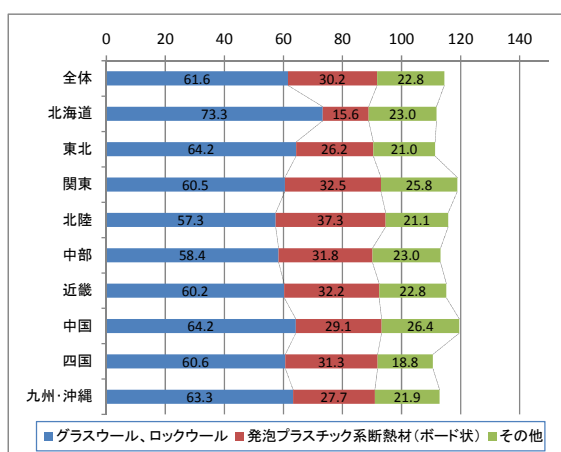


図 II-31-2①a 地域別の普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	115	4.7%
吹込グラスウール、ロックウール	9	0.4%
吹込その他	9	0.4%
現場発泡ウレタン(a)	175	7.2%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	37	1.5%
ウレタン(aかbか不明)	71	2.9%
ポリエステル	10	0.4%
木質系	5	0.2%
羊毛	16	0.7%
コルク	1	0.0%
未分類	41	1.7%
その他記入有り合計	489	20.0%
その他全体	557	22.8%
全体	2443	100.0%

図 II-31-2①c 普段設計または現場管理している屋根・天井の断熱材料「その他」記述

質問 31-2 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段、設計または現場管理している「外壁」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 61.7%、「発泡プラスチック系断熱材」が 29.4%、「その他」が 23.7%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「グラスウール・ロックウール」が全国より 7.5 ポイント、「発泡プラスチック系断熱材」が 20.9 ポイント高い。
- 北陸地域は「発泡プラスチック系断熱材」が全国より 7.8 ポイント高い。
- 四国地域は「発泡プラスチック系断熱材」が全国より 8.9 ポイント低い。
- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が 56.4% (北陸地域)～69.2% (北海道地域) で最多となっている。
- 「発泡プラスチック系断熱材」は北海道地域が 50.4%、東北地域が 34.8%、北陸地域が 37.3% で他の地域より大きい割合となっており、その他の地域は 22.7% (九州地域)～27.7% (中部地域) で、20%台となっている。

外壁の断熱材料	回答数	%
グラスウール、 ロックウール	1506	61.7
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	719	29.4
その他	578	23.7
無回答	26	1.1
全体	2442	100.0

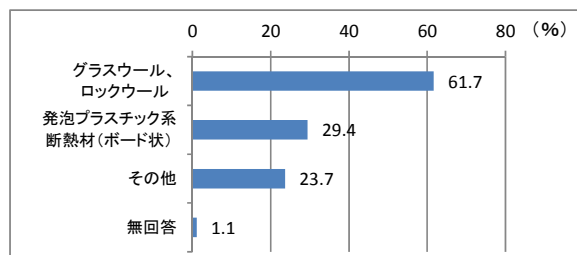


図 II-31-2②a 普段設計または現場管理している外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	2442	61.7	29.4	23.7	1.1
北海道	133	69.2	50.4	22.6	0.0
(全体との差)		+7.5	+20.9	-1.1	-
東北	385	59.5	34.8	17.4	1.8
(全体との差)		-2.2	+5.4	-6.3	-
関東	458	63.1	26.9	26.9	0.7
(全体との差)		+1.4	-2.6	+3.2	-
北陸	287	56.4	37.3	25.1	1.0
(全体との差)		-5.2	+7.8	+1.4	-
中部	440	60.0	27.7	23.4	1.4
(全体との差)		-1.7	-1.7	-0.3	-
近畿	171	65.5	23.4	24.6	0.6
(全体との差)		+3.8	-6.1	+0.9	-
中国	151	66.9	23.2	26.5	0.7
(全体との差)		+5.2	-6.3	+2.8	-
四国	161	65.2	20.5	21.7	0.6
(全体との差)		+3.5	-8.9	-1.9	-
九州・沖縄	256	59.4	22.7	25.8	1.6
(全体との差)		-2.3	-6.8	+2.1	-

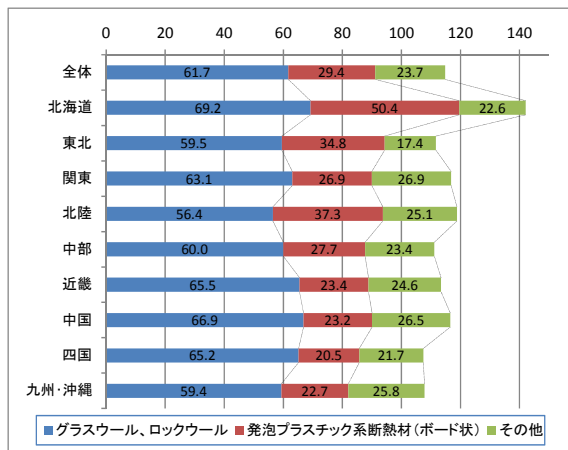


図 II-31-2②b 地域別の普段設計または現場管理している外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	91	3.7%
吹込グラスウール、ロックウール		0.0%
吹込その他		0.0%
現場発泡ウレタン(a)	181	7.4%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	47	1.9%
ウレタン(aかbか不明)	80	3.3%
ポリエステル	14	0.6%
木質系	5	0.2%
羊毛	24	1.0%
コルク	2	0.1%
未分類	57	2.3%
その他記入有り合計	501	20.5%
その他全体	578	23.7%
全体	2442	100.0%

図 II-31-2②c 普段設計または現場管理している外壁の断熱材料「その他」記述

質問 31-2 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段、設計または現場管理している「床・基礎」の断熱材は「発泡プラスチック系断熱材」が最も多く 77.8%、「グラスウール・ロックウール」が 16.3%、「その他」が 12.1%であった。

《地域別》

- 北海道地域は「グラスウール・ロックウール」が全国より 8.0 ポイント高く、「発泡プラスチック系断熱材」が 11.9 ポイント低い。
- 北陸地域は、「グラスウール・ロックウール」が全国より 8.5 ポイント低い。
- いずれの地域も「発泡プラスチック系断熱材」が 65.9% (北海道地域)～84.2% (北陸地域) で最多となっている。
- 「グラスウール・ロックウール」は 7.7% (北陸地域)～24.2% (北海道地域) となっている。

床・基礎の断熱材料	回答数	%
グラスウール、ロックウール	395	16.3
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	1890	77.8
その他	294	12.1
無回答	31	1.3
全体	2430	100.0

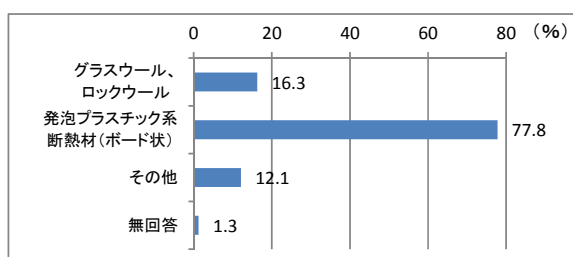


図 II-31-2③a 普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	2430	16.3	77.8	12.1	1.3
北海道	132	24.2	65.9	17.4	2.3
(全体との差)		+8.0	-11.9	+5.3	-
東北	385	14.0	76.4	13.0	1.6
(全体との差)		-2.2	-1.4	+0.9	-
関東	454	17.6	78.4	13.2	1.1
(全体との差)		+1.4	+0.6	+1.1	-
北陸	285	7.7	84.2	11.2	1.8
(全体との差)		-8.5	+6.4	-0.9	-
中部	437	20.6	75.5	9.2	1.8
(全体との差)		+4.3	-2.3	-2.9	-
近畿	168	18.5	78.6	12.5	0.6
(全体との差)		+2.2	+0.8	+0.4	-
中国	148	14.9	83.8	8.1	0.0
(全体との差)		-1.4	+6.0	-4.0	-
四国	159	10.7	81.1	13.2	0.6
(全体との差)		-5.6	+3.4	+1.1	-
九州・沖縄	262	17.9	75.6	13.4	0.8
(全体との差)		+1.7	-2.2	+1.3	-

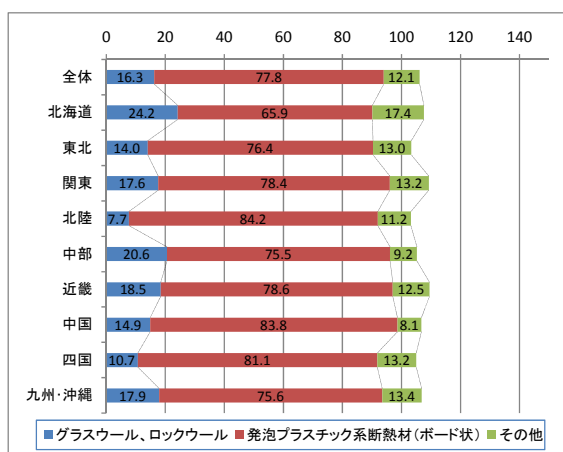


図 II-31-2③b 地域別の普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	36	1.5%
吹込グラスウール、ロックウール	2	0.1%
吹込その他	1	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	69	2.8%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	76	3.1%
ウレタン(aかbか不明)	43	1.8%
ポリエステル	3	0.1%
木質系	3	0.1%
羊毛	7	0.3%
コルク	2	0.1%
未分類	17	0.7%
その他記入有り合計	259	10.7%
その他全体	294	12.1%
全体	2430	100.0%

図 5-2-8c 普段設計または現場管理している床・基礎の断熱材料「その他」記述

質問 31-2 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.9%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.2%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 40.8%であった。外壁にグラスウール等を使用する場合の差は見られない。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 87.4%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 23.8%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.8%であった。
- 「外壁／その他」と「屋根・天井／その他」の組合せは、その内の約 8 割が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば屋根・天井、外壁共にセルローズファイバーである組合せ)

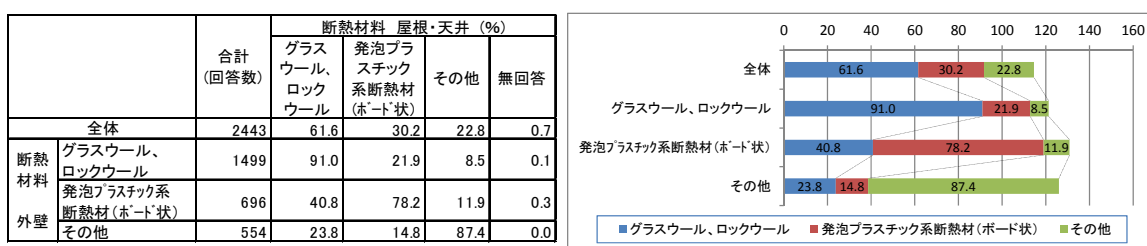


図 II-31-2④a1 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

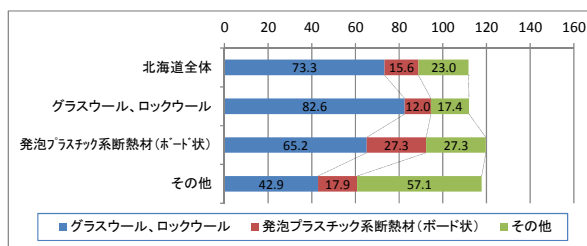
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	76	15.7%
吹込GW.RW × 吹込GW.RW	0	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	1	0.2%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	166	34.3%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	29	6.0%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	65	13.4%
ポリエステル × ポリエステル	9	1.9%
木質系 × 木質系	3	0.6%
羊毛 × 羊毛	14	2.9%
コルク × コルク	1	0.2%
未分類 × 未分類	24	5.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	388	80.2%
異なる断熱材料の組合せ.片方未記入.両方未記入	96	19.8%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	484	100.0%

図 II-31-2④a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.6%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 12.0%、「屋根・天井／その他」が 17.4%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.2%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」、「屋根・天井／その他」が共に 27.3%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 57.1%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 42.9%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.9%であった。
- 北海道地域では外壁がグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)のいずれの組合せについてもグラスウール・ロックウールが最多であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	135	73.3	15.6	23.0	0.7	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	92	82.6	12.0	17.4	1.1
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	66	65.2	27.3	27.3	0.0
	その他	28	42.9	17.9	57.1	0.0

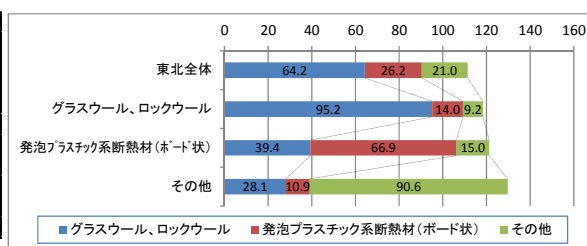


図Ⅱ-31-2④b 同 北海道地域

[東北地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 95.2%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.0%、「屋根・天井／その他」が 9.2%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.9%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 39.4%、「屋根・天井／その他」が 15.0%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 90.6%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 28.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 10.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	386	64.2	26.2	21.0	1.3	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	228	95.2	14.0	9.2	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	127	39.4	66.9	15.0	0.8
	その他	64	28.1	10.9	90.6	0.0

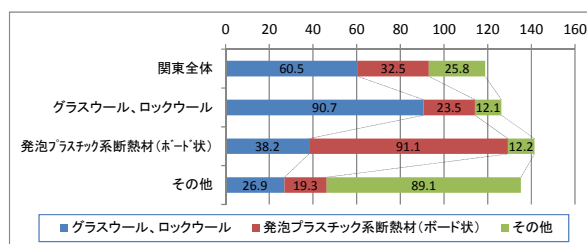


図Ⅱ-31-2④c 同 東北地域

[関東地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.7%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.5%、「屋根・天井／その他」が 12.1%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 91.1%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 38.2%、「屋根・天井／その他」が 12.2%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 89.1%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 26.9%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
関東全体	461	60.5	32.5	25.8	0.2	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	289	90.7	23.5	12.1	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	123	38.2	91.1	12.2	0.0
	その他	119	26.9	19.3	89.1	0.0



図Ⅱ-31-2④d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 94.4%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 24.4%、「屋根・天井／その他」が 6.9%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.0%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 39.0%、「屋根・天井／その他」が 8.0%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 81.2%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 26.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北陸全体	279	57.3	37.3	21.1	1.1
断熱材料 外壁					
グラスウール、 ロックウール	160	94.4	24.4	6.9	0.0
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	100	39.0	85.0	8.0	0.0
その他	69	26.1	23.2	81.2	0.0

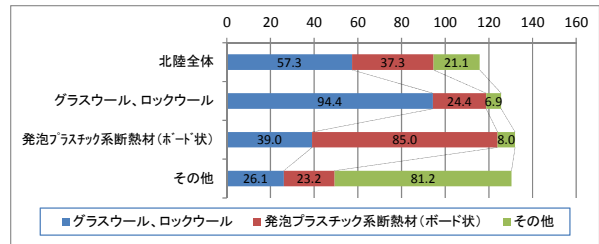


図 II-31-2④e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.8%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.4%、「屋根・天井／その他」が 6.5%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.1%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 31.4%、「屋根・天井／その他」が 13.2%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 90.0%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 13.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中部全体	447	58.4	31.8	23.0	1.1
断熱材料 外壁					
グラスウール、 ロックウール	261	90.8	23.4	6.5	0.0
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	121	31.4	85.1	13.2	0.8
その他	100	13.0	18.0	90.0	0.0

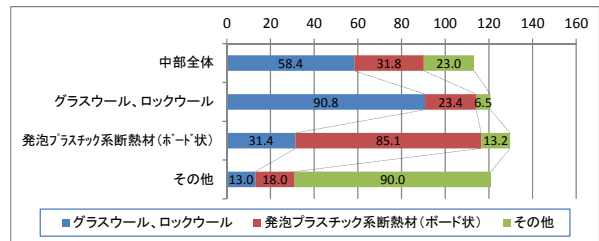


図 II-31-2④f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 86.6%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 27.7%、「屋根・天井／その他」が 8.9%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.5%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 43.6%、「屋根・天井／その他」が 5.0%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 95.0%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 25.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 10.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱 材(ボ ード状)	その他	無回答	
近畿全体	171	60.2	32.2	22.8	0.0	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	112	86.6	27.7	8.9	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	39	43.6	79.5	5.1	0.0
	その他	40	25.0	10.0	95.0	0.0

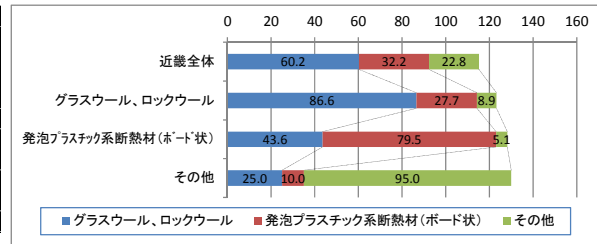


図 II-31-2④g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 89.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 30.0%、「屋根・天井／その他」が 8.0%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 91.2%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 60.8%、「屋根・天井／その他」が 2.9%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 97.4%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 21.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 2.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱 材(ボ ード状)	その他	無回答	
中国全体	148	64.2	29.1	26.4	0.0	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	100	89.0	30.0	8.0	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	34	61.8	91.2	2.9	0.0
	その他	38	21.1	2.6	97.4	0.0

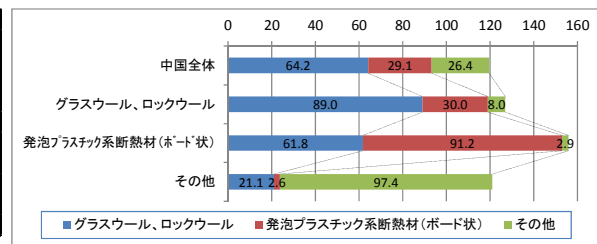


図 II-31-2④h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.5%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 20.0%、「屋根・天井／その他」が 4.8%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 25.0%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 96.9%、「屋根・天井／その他」が 3.1%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 90.9%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 21.2%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 12.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プ ラスチ ック 系断熱 材(ボ ード状)	その他	無回答	
四国全体	160	60.6	31.3	18.8	0.6	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	105	90.5	20.0	4.8	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	32	25.0	96.9	3.1	0.0
	その他	33	21.2	12.1	90.9	0.0

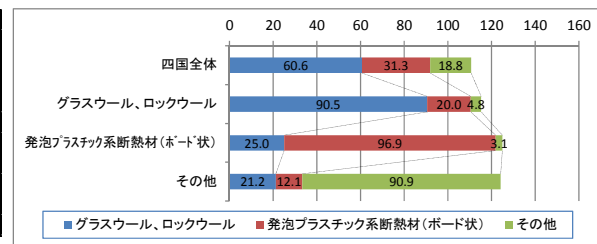


図 II-31-2④i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が最も多く 92.1%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.0%、「屋根・天井／その他」が 2.6%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.9%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 38.9%、「屋根・天井／その他」が 5.6%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「屋根・天井／その他」が最も多く 84.1%、「屋根・天井／グラスウール・ロックウール」が 22.2%、「屋根・天井／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 6.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体	256	63.3	27.7	21.9	0.0
断熱材料					
グラスウール、 ロックウール	152	92.1	23.0	2.6	0.0
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	54	38.9	88.9	5.6	0.0
外壁					
その他	63	22.2	6.3	84.1	0.0

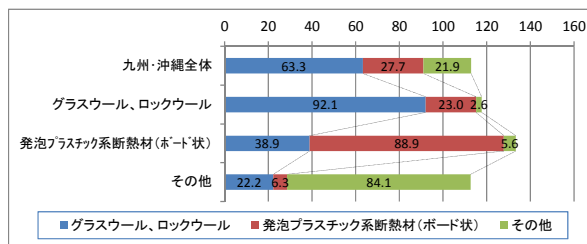


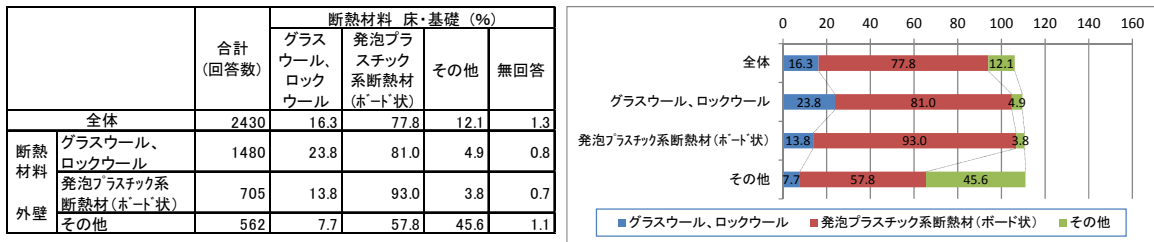
図 II-31-2④j 同 九州・沖縄地域

質問 31-2 31-1 で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 23.8%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 93.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 13.8%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 57.8%、「床・基礎／その他」が 45.6%であった。
- 外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。
- 「外壁／その他」と「床・基礎／その他」の組合せは、その内の約 7 割が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば外壁、床・基礎共にセルローズファイバーである組合せ)



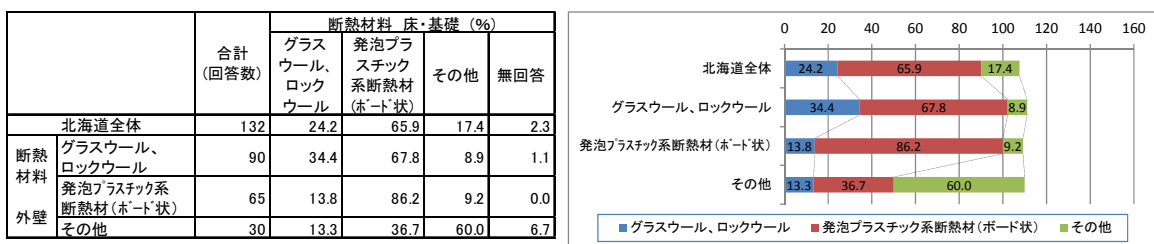
図Ⅱ-31-2⑤a1 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	36	14.1%
吹込GW.RW × 吹込GW.RW	0	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	0	0.0%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	55	21.5%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	32	12.5%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	38	14.8%
ポリエステル × ポリエステル	2	0.8%
木質系 × 木質系	1	0.4%
羊毛 × 羊毛	7	2.7%
コルク × コルク	2	0.8%
未分類 × 未分類	7	2.7%
同じ断熱材料の組合せ 合計	180	70.3%
異なる断熱材料の組合せ、片方未記入、両方未記入	76	29.7%
断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」 合計	256	100.0%

図Ⅱ-31-2⑤a2 外壁と床・基礎の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 67.8%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 34.4%、「床・基礎／その他」が 8.9%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.2%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 13.8%、「屋根・天井／その他」が 9.2%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が最も多く 60.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 13.3%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 36.7%であった。

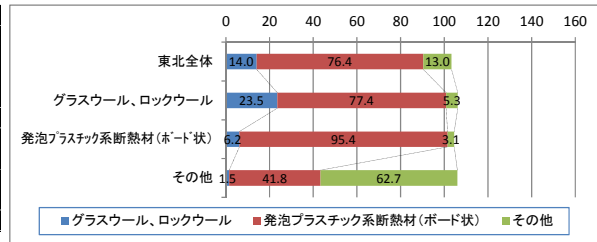


図Ⅱ-31-2⑤b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.4%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 23.5%、「床・基礎／その他」が 5.3%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 95.4%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 6.2%、「屋根・天井／その他」が 3.1%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／その他」が最も多く 62.7%、「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 41.8%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 1.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
東北全体	385	14.0	76.4	13.0	1.6
断熱材料 外壁					
グラスウール、ロックウール	226	23.5	77.4	5.3	0.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	130	6.2	95.4	3.1	1.5
その他	67	1.5	41.8	62.7	1.5

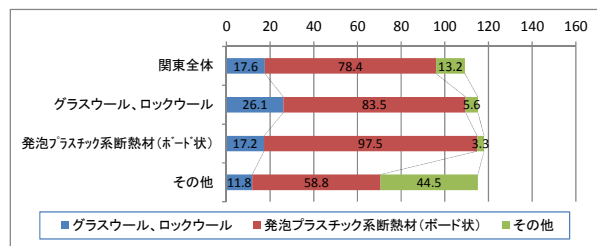


図Ⅱ-31-2⑤c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.5%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 26.1%、「床・基礎／その他」が 5.6%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 97.5%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 17.2%、「屋根・天井／その他」が 3.3%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 58.8%、「床・基礎／その他」が 44.5%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 11.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
関東全体	454	17.6	78.4	13.2	1.1
断熱材料 外壁					
グラスウール、ロックウール	284	26.1	83.5	5.6	0.7
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	122	17.2	97.5	3.3	0.0
その他	119	11.8	58.8	44.5	0.8

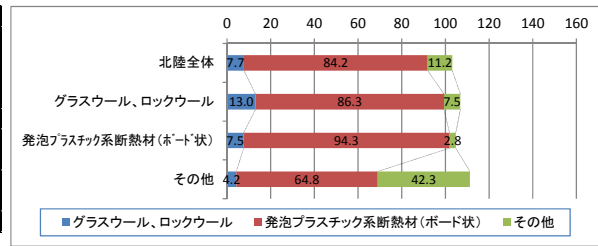


図Ⅱ-31-2⑤d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 13.0%、「床・基礎／その他」が 7.5%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 94.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 7.5%、「屋根・天井／その他」が 2.8%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 64.8%、「床・基礎／その他」が 42.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 4.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北陸全体	285	7.7	84.2	11.2	1.8
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	161	13.0	86.3	7.5	1.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	106	7.5	94.3	2.8	0.9
その他	71	4.2	64.8	42.3	1.4

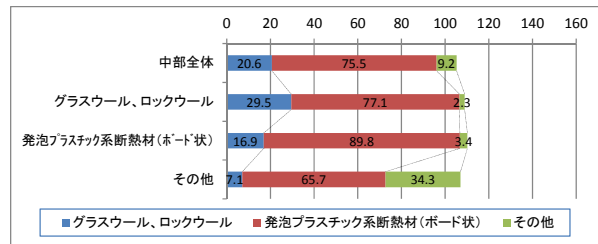


図Ⅱ-31-2⑤e 同 北陸地域

[中部地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.1%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 29.5%、「床・基礎／その他」が 2.3%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 89.8%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 16.9%、「屋根・天井／その他」が 3.4%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 65.7%、「床・基礎／その他」が 34.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 7.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中部全体	437	20.6	75.5	9.2	1.8
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	258	29.5	77.1	2.3	1.2
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	118	16.9	89.8	3.4	1.7
その他	99	7.1	65.7	34.3	1.0

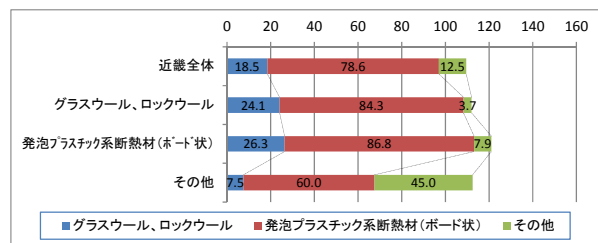


図Ⅱ-31-2⑤f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 24.1%、「床・基礎／その他」が 3.7%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.8%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 26.3%、「屋根・天井／その他」が 7.9%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 60.0%、「床・基礎／その他」が 45.0%で、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 7.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
近畿全体	168	18.5	78.6	12.5	0.6
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	108	24.1	84.3	3.7	0.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	38	26.3	86.8	7.9	0.0
その他	40	7.5	60.0	45.0	0.0



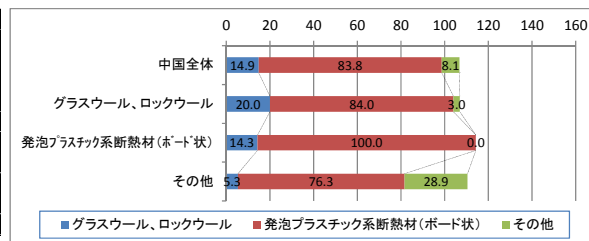
図Ⅱ-31-2⑤g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が 20.0%、「床・基礎／その他」が 3.0%であった。

- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く100.0%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が14.3%、「屋根・天井／その他」が0.0%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く76.3%、「床・基礎／その他」が28.9%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が5.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
中国全体	148	14.9	83.8	8.1	0.0	
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	100	20.0	84.0	3.0	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	35	14.3	100.0	0.0	0.0
	その他	38	5.3	76.3	28.9	0.0

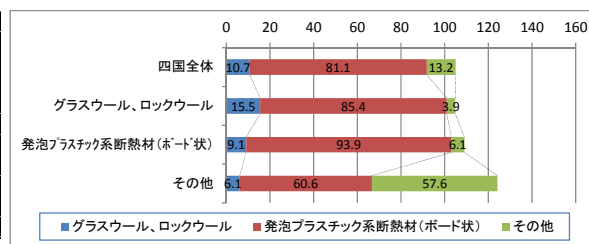


図Ⅱ-31-2⑤h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く85.4%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が15.5%、「床・基礎／その他」が3.9%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く93.9%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が9.1%、「屋根・天井／その他」が6.1%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く60.6%、「床・基礎／その他」が57.6%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が6.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
四国全体	159	10.7	81.1	13.2	0.6	
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	103	15.5	85.4	3.9	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	33	9.1	93.9	6.1	0.0
	その他	33	6.1	60.6	57.6	0.0

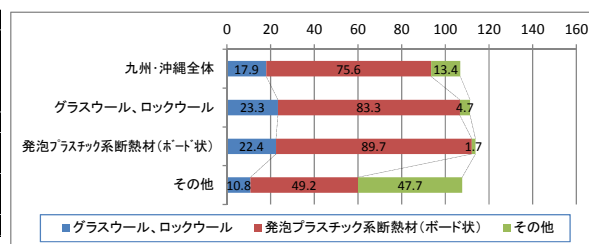


図Ⅱ-31-2⑤i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁／グラスウール・ロックウール」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く83.3%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が23.3%、「床・基礎／その他」が4.7%であった。
- 「外壁／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く89.7%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が22.4%、「屋根・天井／その他」が1.7%であった。
- 「外壁／その他」との組合せは「床・基礎／発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く49.2%、「床・基礎／その他」が47.7%、「床・基礎／グラスウール・ロックウール」が10.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
九州・沖縄全体	262	17.9	75.6	13.4	0.8	
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	150	23.3	83.3	4.7	0.0
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	58	22.4	89.7	1.7	0.0
	その他	65	10.8	49.2	47.7	0.0



図Ⅱ-31-2⑤j 同 九州・沖縄地域

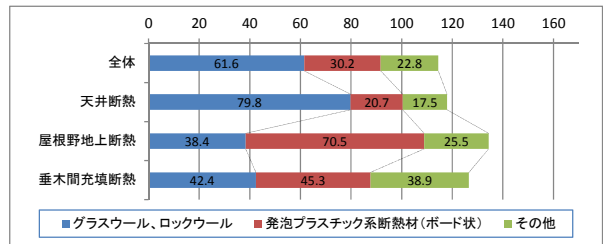
質問 31-1 断熱工法 × 質問 31-2 断熱材料

①「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 20.7%、「その他」が 17.5%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 70.5%、「グラスウール・ロックウール」が 38.4%、「その他」が 25.5%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 42.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 45.3%、「その他」が 38.9%であった。それぞれ同じ程度に使用されている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
全体	2443	61.6	30.2	22.8	0.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	79.8	20.7	17.5	0.6	
	屋根野地上断熱	451	38.4	70.5	25.5	0.0
	垂木間充填断熱	748	42.4	45.3	38.9	0.7

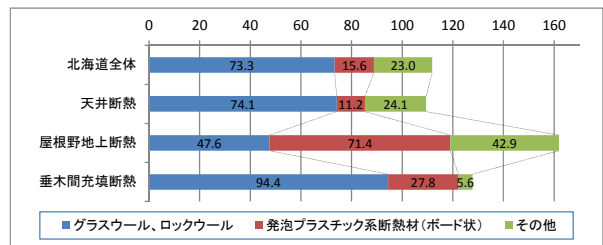


図Ⅱ-31-1x31-2①a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 74.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 11.2%、「その他」が 24.1%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 71.4%、「グラスウール・ロックウール」が 47.6%、「その他」が 42.9%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 94.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 27.8%、「その他」が 5.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
北海道全体	135	73.3	15.6	23.0	0.7	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	116	74.1	11.2	24.1	0.9
	屋根野地上断熱	21	47.6	71.4	42.9	0.0
	垂木間充填断熱	18	94.4	27.8	5.6	0.0

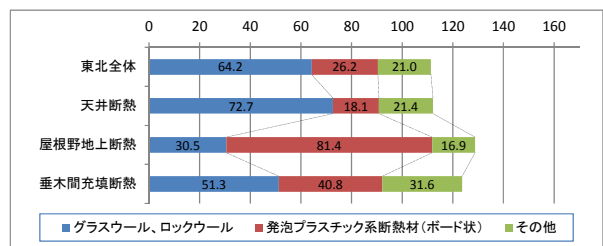


図Ⅱ-31-1x31-2①b 同 北海道地域

〔東北地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.1%、「その他」が 21.4%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.4%、「グラスウール・ロックウール」が 30.5%、「その他」が 16.9%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 51.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 40.8%、「その他」が 31.6%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
東北全体	386	64.2	26.2	21.0	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	304	72.7	18.1	21.4	1.3
	屋根野地上断熱	59	30.5	81.4	16.9	0.0
	垂木間充填断熱	76	51.3	40.8	31.6	1.3

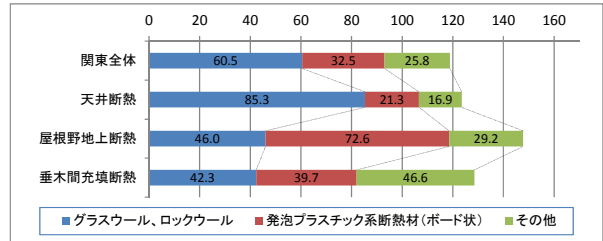


図Ⅱ-31-1x31-2①c 同 東北地域

〔関東地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.3%、「その他」が 16.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 72.6%、「グラスウール・ロックウール」が 46.0%、「その他」が 29.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 42.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 39.7%、「その他」が 46.6%であった。それぞれ同じ程度に使用されている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
関東全体	461	60.5	32.5	25.8	0.2
断熱工法					
天井断熱	272	85.3	21.3	16.9	0.4
屋根野地上断熱	113	46.0	72.6	29.2	0.0
垂木間充填断熱	189	42.3	39.7	46.6	0.0

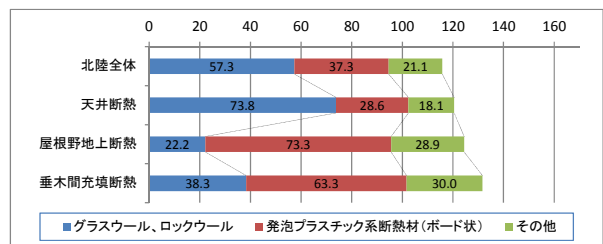


図Ⅱ-31-1x31-2①d 同 関東地域

〔北陸地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 73.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 28.6%、「その他」が 18.1%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.3%、「グラスウール・ロックウール」が 22.2%、「その他」が 28.9%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 63.3%、「グラスウール・ロックウール」が 38.3%、「その他」が 30.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北陸全体	279	57.3	37.3	21.1	1.1
断熱工法					
天井断熱	210	73.8	28.6	18.1	0.5
屋根野地上断熱	45	22.2	73.3	28.9	0.0
垂木間充填断熱	60	38.3	63.3	30.0	3.3

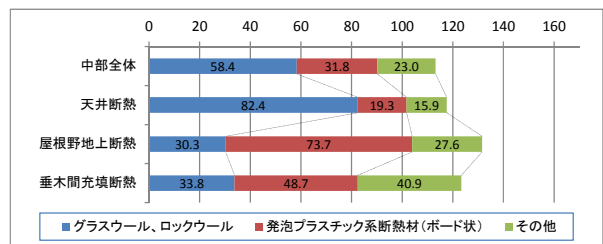


図Ⅱ-31-1x31-2①e 同 北陸地域

〔中部地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.3%、「その他」が 15.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.7%、「グラスウール・ロックウール」が 30.3%、「その他」が 27.6%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 33.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 48.7%、「その他」が 40.9%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
中部全体	447	58.4	31.8	23.0	1.1
断熱工法					
天井断熱	290	82.4	19.3	15.9	1.0
屋根野地上断熱	76	30.3	73.7	27.6	0.0
垂木間充填断熱	154	33.8	48.7	40.9	1.3

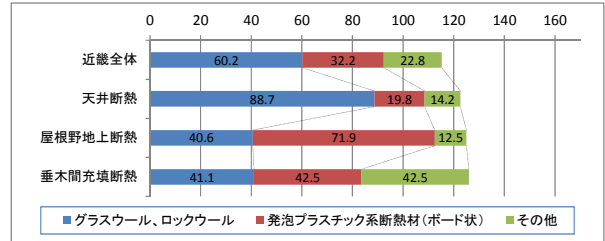


図Ⅱ-31-1x31-2①f 同 中部地域

〔近畿地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 88.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.8%、「その他」が 14.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 71.9%、「グラスウール・ロックウール」が 40.6%、「その他」が 12.5%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 41.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」、「その他」が共に 42.5%であった。それぞれ同じ程度に使用されている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	171	60.2	32.2	22.8	0.0	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	106	88.7	19.8	14.2	0.0
	屋根野地上断熱	32	40.6	71.9	12.5	0.0
	垂木間充填断熱	73	41.1	42.5	42.5	0.0

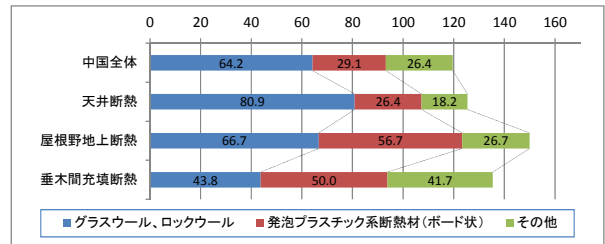


図Ⅱ-31-1x31-2①g 同 近畿地域

〔中国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 80.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 26.4%、「その他」が 18.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 66.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」も 56.7%と多くなっている。「その他」が 26.7%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 43.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.0%、「その他」が 41.7%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	148	64.2	29.1	26.4	0.0	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	110	80.9	26.4	18.2	0.0
	屋根野地上断熱	30	66.7	56.7	26.7	0.0
	垂木間充填断熱	48	43.8	50.0	41.7	0.0

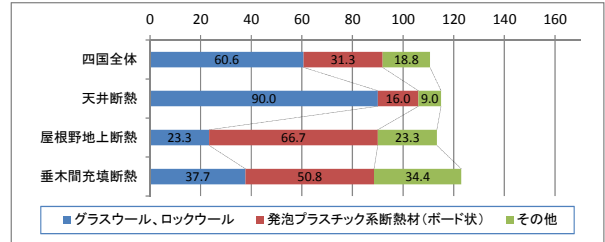


図Ⅱ-31-1x31-2①h 同 中国地域

〔四国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.0%、「その他」が 9.0%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.7%、「グラスウール・ロックウール」、「その他」が共に 23.3%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 37.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.8%、「その他」が 34.4%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
四国全体	160	60.6	31.3	18.8	0.6	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	100	90.0	16.0	9.0	1.0
	屋根野地上断熱	30	23.3	66.7	23.3	0.0
	垂木間充填断熱	61	37.7	50.8	34.4	0.0

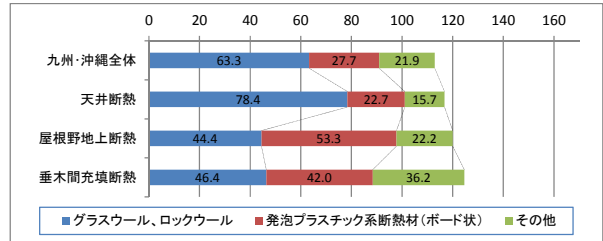


図Ⅱ-31-1x31-2①i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 22.7%、「その他」が 15.7%であった。
- 「屋根野地上断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 53.3%、「グラスウール・ロックウール」が 44.4%、「その他」が 22.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 46.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 42.0%、「その他」が 36.2%であった。使用される断熱材の種類がばらけている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体	256	63.3	27.7	21.9	0.0
断熱工法					
天井断熱	185	78.4	22.7	15.7	0.0
屋根野地上断熱	45	44.4	53.3	22.2	0.0
垂木間充填断熱	69	46.4	42.0	36.2	0.0



図Ⅱ-31-1x31-2①j 同 九州・沖縄地域

①屋根・天井 31-2材料 その他 × 31-1工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (b)	ウレタン (aかbか不明)	ホリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未分類	小計	地域合計	回答数合計
	木質繊維系	無機繊維系	どちらから不明											
	セルローズファイバー	GW RW												
北海道	天井	11	6	3	4	1						25	33	614
	野地上	2		1	4							7		
	垂木間				1							1		
東北	天井	18	3	6	16	2			1			7	88	
	野地上				6	2						1		
	垂木間	1		1	11	2	2					4		
関東	天井	9			10	6	3	1	1	3		6	143	
	野地上	5			6	7	2		1	1		4		
	垂木間	24			28	5	13	2		2		4		
北陸	天井	10			9	1	4	1		2		4	61	
	野地上	1			7	1	3					1		
	垂木間	3			5	2	2			2		3		
中部	天井	8			13	1	3	5	1	2		4	112	
	野地上	1			7	4	3		1			2		
	垂木間	5			28	1	11	4	2			6		
近畿	天井	4			3		2			1	1	3	42	
	野地上				3							3		
	垂木間	3			13	1	3					5		
中国	天井	8			2	1	2			2		2	40	
	野地上	1			2		3					6		
	垂木間	6			7	1	1					2		
四国	天井				2	1	4	1				1	36	
	野地上				3	2		1				1		
	垂木間	3			11	1	4			1		20		
九州・沖縄	天井	10			6	2	8			1		1	59	
	野地上	1			1		5					7		
	垂木間	7			12		2			1		2		
小計	天井	78	9	9	65	15	31	8	2	12	1	28	258	
	野地上	11		1	39	16	16	1	2	1		9		
	垂木間	52		1	116	13	38	6	2	6		26		
材料合計		141	9	11										
回答数合計			161		220	44	85	15	6	19	1	63		614

図Ⅱ-31-1x31-2①k 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問 31-1 断熱工法 × 質問 31-2 断熱材料

②「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 67.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.9%、「その他」が 26.0%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.7%、「グラスウール・ロックウール」が 33.2%、「その他」が 14.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 67.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 53.4%、「その他」が 23.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	2442	61.7	29.4	23.7	1.1
断熱工法 外壁	充填断熱	67.8	19.9	26.0	1.1
	外張断熱	33.2	79.7	14.0	0.5
	充填外張併用断熱	283	67.5	53.4	23.7

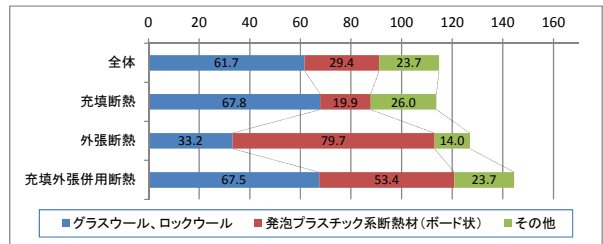


図 II-31-1x31-2②a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 15.2%、「その他」が 18.2%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.2%、「グラスウール・ロックウール」が 15.8%、「その他」が 21.1%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 72.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 57.1%、「その他」が 26.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	133	69.2	50.4	22.6	0.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	33	87.9	15.2	18.2	0.0
	外張断熱	19	15.8	84.2	21.1	0.0
	充填外張併用断熱	91	72.5	57.1	26.4	0.0

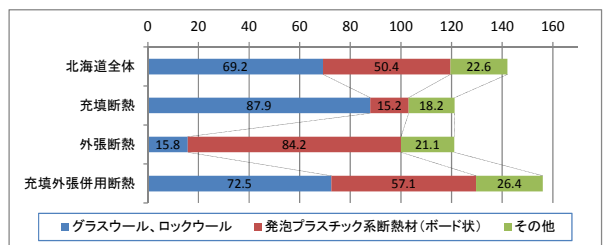


図 II-31-1x31-2②b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 69.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.6%、「その他」が 20.7%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.8%、「グラスウール・ロックウール」が 28.0%、「その他」が 12.2%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 64.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 59.7%、「その他」が 11.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	385	59.5	34.8	17.4	1.8	
断熱工法 外壁	充填断熱	276	69.6	19.6	20.7	2.5
	外張断熱	82	28.0	87.8	12.2	0.0
	充填外張併用断熱	62	64.5	59.7	11.3	0.0

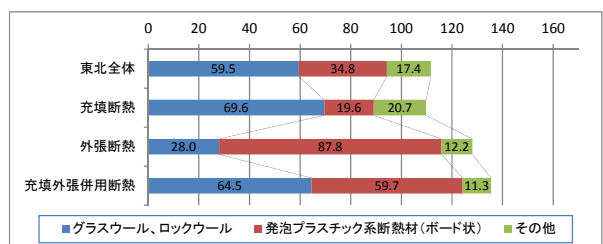
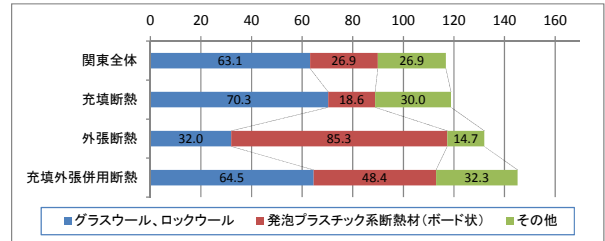


図 II-31-1x31-2②c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.6%、「その他」が 30.0%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.3%、「グラスウール・ロックウール」が 32.0%、「その他」が 14.7%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 64.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 48.4%、「その他」が 32.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
関東全体	458	63.1	26.9	26.9	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	387	70.3	18.6	30.0	0.5
	外張断熱	75	32.0	85.3	14.7	0.0
	充填外張併用断熱	31	64.5	48.4	32.3	3.2

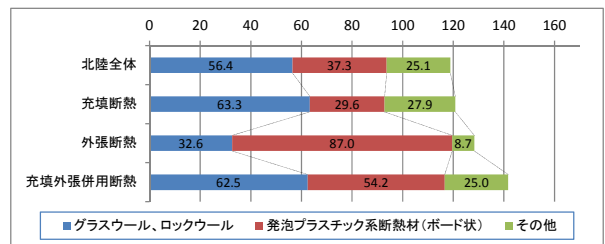


図Ⅱ-31-1x31-2②d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 63.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 29.6%、「その他」が 27.9%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.0%、「グラスウール・ロックウール」が 32.6%、「その他」が 8.7%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 62.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 54.2%、「その他」が 25.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
北陸全体	287	56.4	37.3	25.1	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	240	63.3	29.6	27.9	0.8
	外張断熱	46	32.6	87.0	8.7	0.0
	充填外張併用断熱	24	62.5	54.2	25.0	4.2

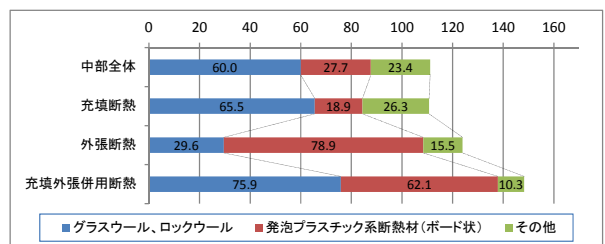


図Ⅱ-31-1x31-2②e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.9%、「その他」が 26.3%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.9%、「グラスウール・ロックウール」が 29.6%、「その他」が 15.5%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 75.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 62.1%、「その他」が 10.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
中部全体	440	60.0	27.7	23.4	1.4	
断熱工法 外壁	充填断熱	365	65.5	18.9	26.3	1.4
	外張断熱	71	29.6	78.9	15.5	1.4
	充填外張併用断熱	29	75.9	62.1	10.3	0.0



図Ⅱ-31-1x31-2②f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 71.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.6%、「その他」が 26.2%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.9%、「グラスウール・ロックウール」が 30.4%、「その他」が 26.1%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 78.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.0%、「その他」が 21.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
近畿全体	171	65.5	23.4	24.6	0.6	
断熱工法 外壁	充填断熱	145	71.0	16.6	26.2	0.7
	外張断熱	23	30.4	73.9	26.1	0.0
	充填外張併用断熱	14	78.6	50.0	21.4	0.0

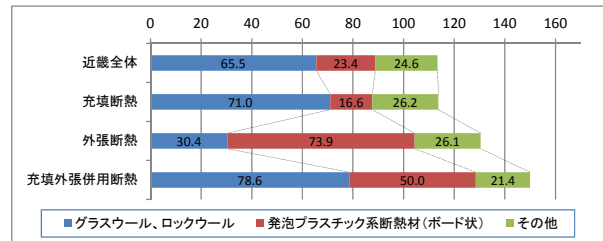


図 II-31-1x31-2②g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 66.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 22.5%、「その他」が 28.3%であった。
- 「外張断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 87.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 75.0%、「その他」が 0.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 80.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 30.0%、「その他」が 20.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
中国全体	151	66.9	23.2	26.5	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	138	66.7	22.5	28.3	0.7
	外張断熱	16	87.5	75.0	0.0	0.0
	充填外張併用断熱	10	80.0	30.0	20.0	0.0

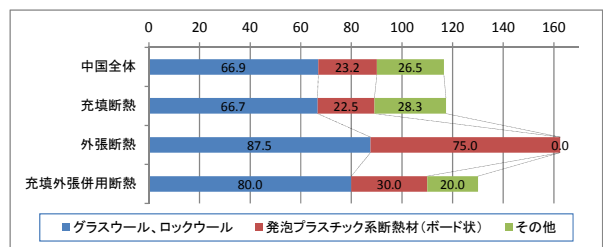


図 II-31-1x31-2②h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.6%、「その他」が 21.2%であった。
- 「外張断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.7%、「グラスウール・ロックウール」が 28.6%、「その他」が 19.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「その他」が最も多く 57.1%、「グラスウール・ロックウール」が 28.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 14.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
四国全体	161	65.2	20.5	21.7	0.6	
断熱工法 外壁	充填断熱	137	72.3	14.6	21.2	0.7
	外張断熱	21	28.6	66.7	19.0	0.0
	充填外張併用断熱	7	28.6	14.3	57.1	0.0

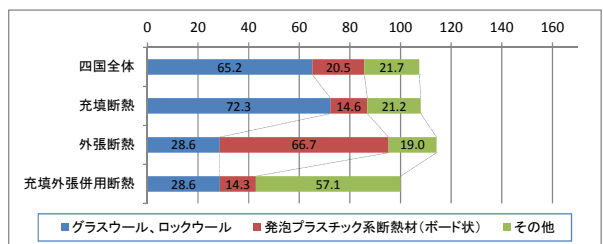
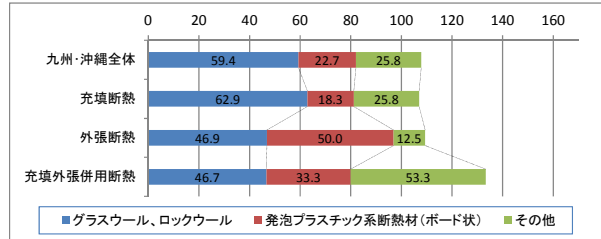


図 II-31-1x31-2②i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 62.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.3%、「その他」が 25.8%であった。
- 「外張断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 46.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.0%、「その他」が 12.5%であった。
- 「充填外張併用断熱」は「グラスウール・ロックウール」が 46.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 33.3%、「その他」が 53.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
九州・沖縄全体	256	59.4	22.7	25.8	1.6
断熱工法 外壁	充填断熱	62.9	18.3	25.8	1.4
	外張断熱	46.9	50.0	12.5	3.1
	充填外張併用断熱	46.7	33.3	53.3	0.0



図Ⅱ-31-1x31-2②j 同 九州・沖縄地域

②外壁 31-2材料 その他 × 31-1工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ホリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未分類	小計	地域 合計	回答 数合計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	どちらか 不明												
	セルローズ ファイバー	GW RW													
北海道	充填			1		2						6	29	542	
	外張			1	1	1						1			4
	併用			7	3	3						6			19
東北	充填	4		22	9	10			1	1		3	50	65	
	外張			6	4								10		
	併用			3								2	5		
関東	充填	28		30	5	13	3	1	5			12	97	113	
	外張			3	2	1		1				2	9		
	併用	2		2	1							2	7		
北陸	充填	8		22	8	9	1		7	2		6	63	72	
	外張			1	2							1	4		
	併用	1		2	1	1							5		
中部	充填	8		38	1	12	9	2	3			8	81	94	
	外張			2	4	1		1				2	10		
	併用			3									3		
近畿	充填	7		13		3						6	29	38	
	外張			3					1			2	6		
	併用	1		1								1	3		
中国	充填	13		10	2	5			2			2	34	35	
	外張														
	併用			1									1		
四国	充填	4		14	1	6	1		1			2	29	36	
	外張			1	3								4		
	併用											3	3		
九州・ 沖縄	充填	17		16	2	11			4			1	51	60	
	外張				2	1						1	4		
	併用			1		3						1	5		
小計	充填	89		166	28	71	14	3	26	3		40	440		
	外張			17	18	4		2		1		9	51		
	併用	4		20	5	7						15	51		
材料合計	93			203	51	82	14	5	26	4		64			
回答数合計		93											542		

図Ⅱ-31-1x31-2②k 外壁の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

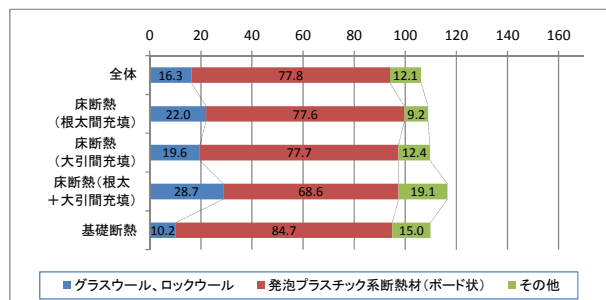
質問 31-1 断熱工法 × 質問 31-2 断熱材料

③「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.6%、「グラスウール・ロックウール」が 22.0%、「その他」が 9.2%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.7%、「グラスウール・ロックウール」が 19.6%、「その他」が 12.4%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.6%、「グラスウール・ロックウール」が 28.7%、「その他」が 19.1%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.7%、「グラスウール・ロックウール」が 10.2%、「その他」が 15.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	2430	16.3	77.8	12.1	1.3	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	876	22.0	77.6	9.2	0.9
	床断熱(大引間充填)	897	19.6	77.7	12.4	1.3
	床断熱(根太+大引間充填)	188	28.7	68.6	19.1	1.6
床・基礎	床断熱	1853	20.7	76.0	11.3	1.2
	基礎断熱	806	10.2	84.7	15.0	1.4

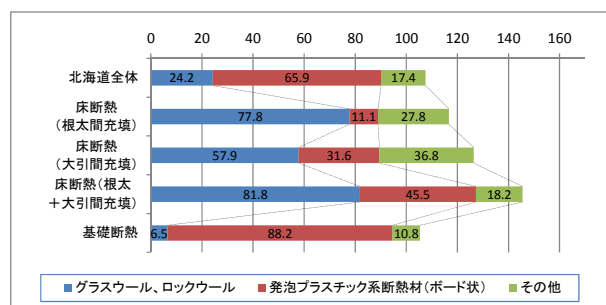


図Ⅱ-31-1x31-2③a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 77.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 11.1%、「その他」が 27.8%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 57.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 31.6%、「その他」が 36.8%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 81.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 45.5%、「その他」が 18.2%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.2%、「グラスウール・ロックウール」が 6.5%、「その他」が 10.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	132	24.2	65.9	17.4	2.3	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	18	77.8	11.1	27.8	0.0
	床断熱(大引間充填)	19	57.9	31.6	36.8	5.3
	床断熱(根太+大引間充填)	11	81.8	45.5	18.2	0.0
基礎断熱	93	6.5	88.2	10.8	2.2	



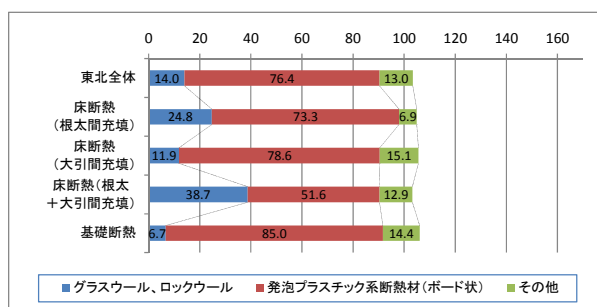
図Ⅱ-31-1x31-2③b 同 北海道地域

〔東北地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.3%、「グラスウール・ロックウール」が 24.8%、「その他」が 6.9%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.6%、「グラスウール・ロックウール」が 11.9%、「その他」が 15.1%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 51.6%、「グラスウール・ロックウール」が 38.7%、「その他」が 12.9%であった。

- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.0%、「グラスウール・ロックウール」が 6.7%、「その他」が 14.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	385	14.0	76.4	13.0	1.6	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	24.8	73.3	6.9	2.0	
	床断熱(大引間充填)	126	11.9	78.6	15.1	1.6
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	31	38.7	51.6	12.9	0.0
	基礎断熱	180	6.7	85.0	14.4	1.7

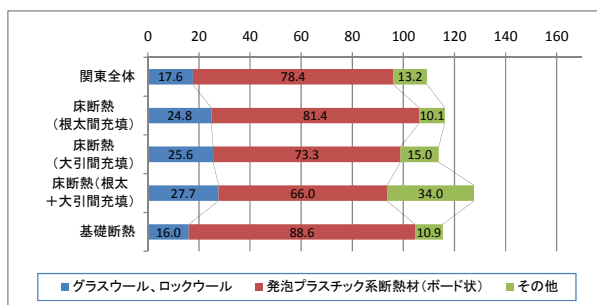


図Ⅱ-31-1x31-2③c 同 東北地域

〔関東地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.4%、「グラスウール・ロックウール」が 24.8%、「その他」が 10.1%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.3%、「グラスウール・ロックウール」が 25.6%、「その他」が 15.0%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.0%、「グラスウール・ロックウール」が 27.7%、「その他」が 34.0%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.6%、「グラスウール・ロックウール」が 16.0%、「その他」が 10.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
関東全体	454	17.6	78.4	13.2	1.1	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	129	24.8	81.4	10.1	0.8
	床断熱(大引間充填)	180	25.6	73.3	15.0	1.1
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	47	27.7	66.0	34.0	0.0
	基礎断熱	175	16.0	88.6	10.9	1.1



図Ⅱ-31-1x31-2③d 同 関東地域

〔北陸地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.7%、「グラスウール・ロックウール」が 9.7%、「その他」が 12.9%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.0%、「グラスウール・ロックウール」が 7.4%、「その他」が 8.3%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 72.7%、「グラスウール・ロックウール」が 13.6%、「その他」が 18.2%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.3%、「グラスウール・ロックウール」が 9.8%、「その他」が 15.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北陸全体	285	7.7	84.2	11.2	1.8
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	9.7	84.7	12.9	1.6
	床断熱 (大引間充填)	7.4	86.0	8.3	2.5
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	13.6	72.7	18.2	4.5
	基礎断熱	51	9.8	86.3	15.7

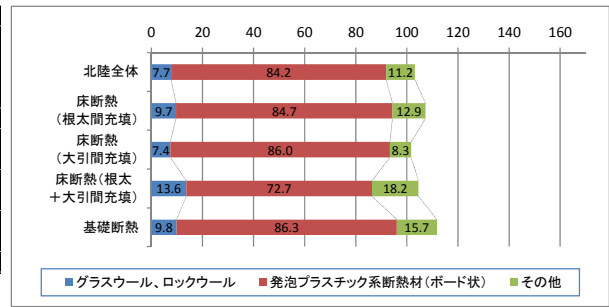


図 II-31-1x31-2③e 同 北陸地域

〔中部地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.3%、「グラスウール・ロックウール」が 28.3%、「その他」が 5.2%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.4%、「グラスウール・ロックウール」が 22.4%、「その他」が 9.3%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 75.0%、「グラスウール・ロックウール」が 25.0%、「その他」が 13.9%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.5%、「グラスウール・ロックウール」が 11.1%、「その他」が 17.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中部全体	437	20.6	75.5	9.2	1.8	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	191	28.3	74.3	5.2	1.6
	床断熱 (大引間充填)	161	22.4	76.4	9.3	1.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	36	25.0	75.0	13.9	2.8
	基礎断熱	108	11.1	81.5	17.6	0.9

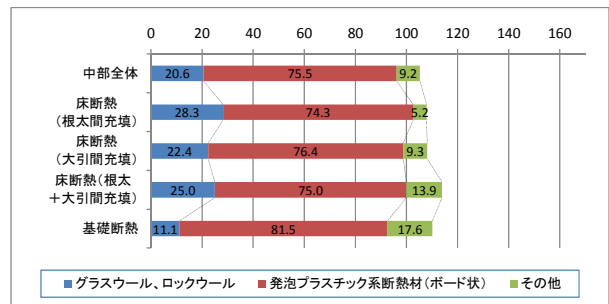


図 II-31-1x31-2③f 同 中部地域

〔近畿地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.3%、「グラスウール・ロックウール」が 15.7%、「その他」が 9.8%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.3%、「グラスウール・ロックウール」が 24.1%、「その他」が 8.0%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 57.1%、「グラスウール・ロックウール」が 21.4%、「その他」が 28.6%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.6%、「グラスウール・ロックウール」が 7.9%、「その他」が 21.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	168	18.5	78.6	12.5	0.6	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	51	15.7	86.3	9.8	0.0
	床断熱 (大引間充填)	87	24.1	79.3	8.0	1.1
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	14	21.4	57.1	28.6	0.0
	基礎断熱	38	7.9	81.6	21.1	0.0

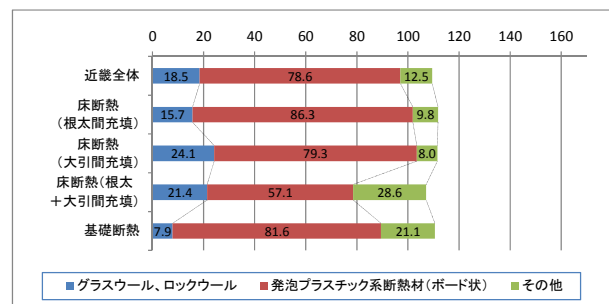
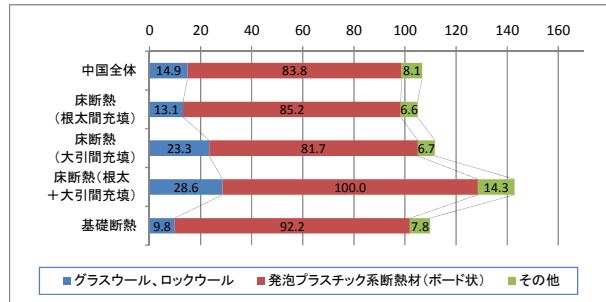


図 II-31-1x31-2③g 同 近畿地域

〔中国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.2%、「グラスウール・ロックウール」が 13.1%、「その他」が 6.6%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.7%、「グラスウール・ロックウール」が 23.3%、「その他」が 6.7%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 100.0%、「グラスウール・ロックウール」が 28.6%、「その他」が 14.3%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 92.2%、「グラスウール・ロックウール」が 9.8%、「その他」が 7.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	148	14.9	83.8	8.1	0.0	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	61	13.1	85.2	6.6	0.0
	床断熱(大引間充填)	60	23.3	81.7	6.7	0.0
	床断熱(根太+大引間充填)	7	28.6	100.0	14.3	0.0
床・基礎	基礎断熱	51	9.8	92.2	7.8	0.0

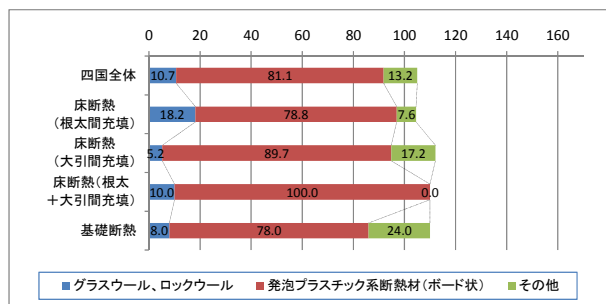


図Ⅱ-31-1x31-2③h 同 中国地域

〔四国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.8%、「グラスウール・ロックウール」が 18.2%、「その他」が 7.6%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 89.7%、「グラスウール・ロックウール」が 5.2%、「その他」が 17.2%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 100.0%、「グラスウール・ロックウール」が 10.0%、「その他」が 0.0%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.0%、「グラスウール・ロックウール」が 8.0%、「その他」が 24.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
四国全体	159	10.7	81.1	13.2	0.6	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	66	18.2	78.8	7.6	0.0
	床断熱(大引間充填)	58	5.2	89.7	17.2	0.0
	床断熱(根太+大引間充填)	10	10.0	100.0	0.0	0.0
床・基礎	基礎断熱	50	8.0	78.0	24.0	2.0

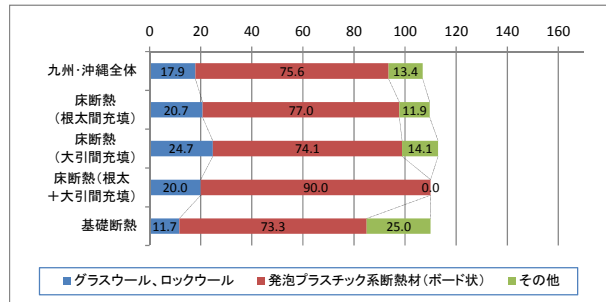


図Ⅱ-31-1x31-2③i 同 四国地域

[九州・沖縄地域]「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「床断熱(根太間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 77.0%、「グラスウール・ロックウール」が 20.7%、「その他」が 11.9%であった。
- 「床断熱(大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.1%、「グラスウール・ロックウール」が 24.7%、「その他」が 14.1%であった。
- 「床断熱(根太+大引間充填)」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 90.0%、「グラスウール・ロックウール」が 20.0%、「その他」が 0.0%であった。
- 「基礎断熱」は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.3%、「グラスウール・ロックウール」が 11.7%、「その他」が 25.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	262	17.9	75.6	13.4	0.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	135	20.7	77.0	11.9	0.0
	床断熱(大引間充填)	85	24.7	74.1	14.1	0.0
	床断熱(根太+大引間充填)	10	20.0	90.0	0.0	10.0
床・基礎	60	11.7	73.3	25.0	1.7	



図Ⅱ-31-1x31-2③j 同 九州・沖縄地域

③床・基礎 31-2材料 その他 × 31-1工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ホリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未分類	小計	地域 合計	回答 数 合計
	木質 繊維系 セルロース ファイバー	無機 繊維系 GW RW	どちら も 不明											
北海道	根太間		2	1							2	5	23	
	大引間										1	7		
	根+大				1	1						2		
	基礎				5	2	1				1	9		
東北	根太間				3	2	1				1	7	53	
	大引間	1			7	5	3				1	17		
	根+大					3	1					4		
	基礎				12	6	4				3	25		
関東	根太間	1			3	1	2			1	2	10	60	
	大引間	5			5	8	1	1	1			21		
	根+大	9			2	1					1	13		
	基礎				10	1	3				1	16		
北陸	根太間	1			2	7	2					13	33	
	大引間	2			1	4	2				1	10		
	根+大	1					2					3		
	基礎				4		2				1	7		
中部	根太間				1	2	2	1	1			7	41	305
	大引間	2			1	2	5		1		1	12		
	根+大	2			3							5		
	基礎				8	5	3				1	17		
近畿	根太間					3				1		4	19	
	大引間	2			2	1	1					6		
	根+大				1	2						3		
	基礎				5	1						6		
中国	根太間					3			1			4	11	
	大引間	2										2		
	根+大	1										1		
	基礎	1			1	1	1					4		
四国	根太間					3	1			1		5	27	
	大引間	2				2	5	1				10		
	根+大													
	基礎	2			4	3	3					12		
九州・ 沖縄	根太間	4			2	6					2	14	38	
	大引間	3				4	3				2	12		
	根+大													
	基礎	3			2	2	5					12		
小計	根太間	6	2	1	11	27	8	1	1	4	2	6	69	
	大引間	19			16	26	23	2	2	3		6	97	
	根+大	13			7	7	3					1	31	
	基礎	6			51	21	22			1		7	108	
材料合計	44	2	1		85	81	56	3	3	8	2	20		
合計		47				305								

図Ⅱ-31-1x31-2③j 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問 31-3 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

①屋根・天井

- 「屋根・天井」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の76.1%、「仕上表」の67.0%が多く、「特記仕様書」が36.5%、「平面図」、「平面詳細図」が共に15.7%であった。

《職種別》

- 職種間に大きな差は無い。

①屋根・天井	回答数	%
特記仕様書	935	36.5
仕上表	1715	67.0
平面図	401	15.7
平面詳細図	401	15.7
矩計図	1949	76.1
その他	95	3.7
無回答	97	3.8
全体	2561	100.0

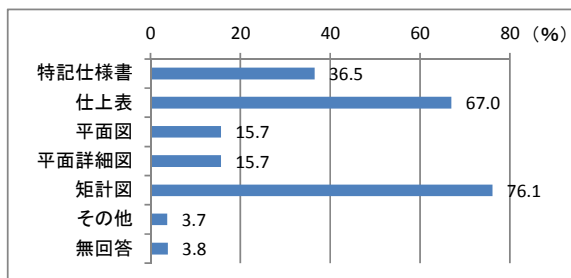


図 II-31-3①a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

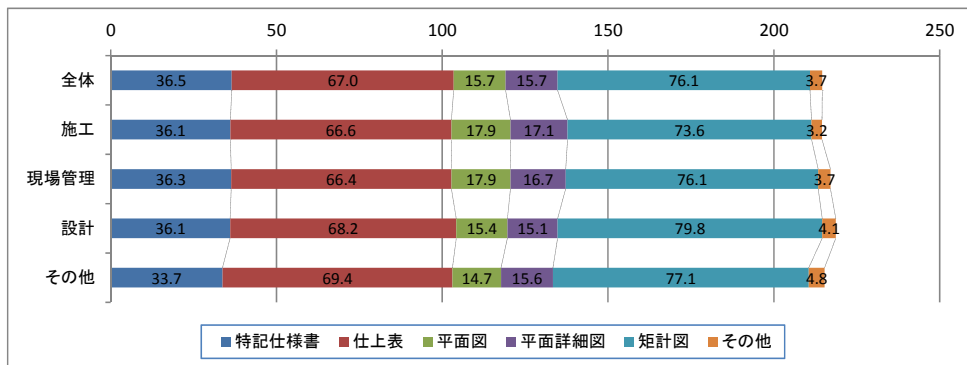


図 II-31-3①b 職種別の設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

①屋根・天井 その他	回答数	%	①屋根・天井 その他	回答数
その他意匠図	15	0.6%	その他意匠図 立面図、断面図	5
仕様関連図書	4	0.2%	その他意匠図 展開図	2
構造関連図書	4	0.2%	その他意匠図 天井伏図	1
設備関連図書	1	0.0%	その他意匠図 屋根伏図	1
断熱関連図書	22	0.9%	その他意匠図 矩計図	2
施工関連図書	8	0.3%	その他意匠図 断面詳細図	1
各種申請図書	1	0.0%	その他意匠図 詳細図	2
設計書	2	0.1%	その他意匠図 ティーケルリスト	1
見積書	5	0.2%	仕様関連図書 仕上表・仕様書	4
未分類	1	0.0%	構造関連図書 構造仕様	1
その他記入有り合計	63	2.5%	構造関連図書 小屋伏図	1
その他全体	95	3.7%	構造関連図書 プレカット図	2
全体	2,561	100.0%	設備関連図書 設備図	1
			断熱関連図書 温熱計算書	3
			断熱関連図書 断熱仕様書・図	4
			断熱関連図書 防寒伏図	3
			断熱関連図書 温熱環境図	2
			断熱関連図書 断熱パネル割図	3
			断熱関連図書 断熱計画図	1
			断熱関連図書 断熱材伏図	1
			断熱関連図書 断熱仕様部位別詳細図	1
			断熱関連図書 断熱図	1
			断熱関連図書 断熱範囲図	3
			施工関連図書 施工説明書・施工要領書	3
			施工関連図書 パネル割図	4
			施工関連図書 現場施工図	1
			各種申請図書 長期優良住宅認定申請図書	1
			設計書 設計書	2
			見積書 見積書	5
			未分類 特になし	1

図 II-31-3①c 設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井 「その他」記述

質問 31-3 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

②外壁

- 「外壁」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の 75.9%、「仕上表」の 65.7%が多く、「特記仕様書」が 36.0%、「平面図」が 16.3%、「平面詳細図」が 19.2%であった。

《職種別》

- 職種間に大きな差は無い。

②外壁	回答数	%
特記仕様書	921	36.0
仕上表	1683	65.7
平面図	417	16.3
平面詳細図	491	19.2
矩計図	1945	75.9
その他	104	4.1
無回答	103	4.0
全体	2561	100.0

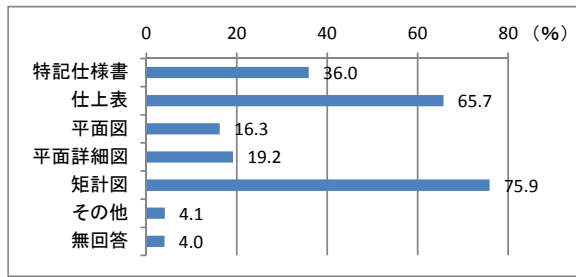


図 II-31-3②a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

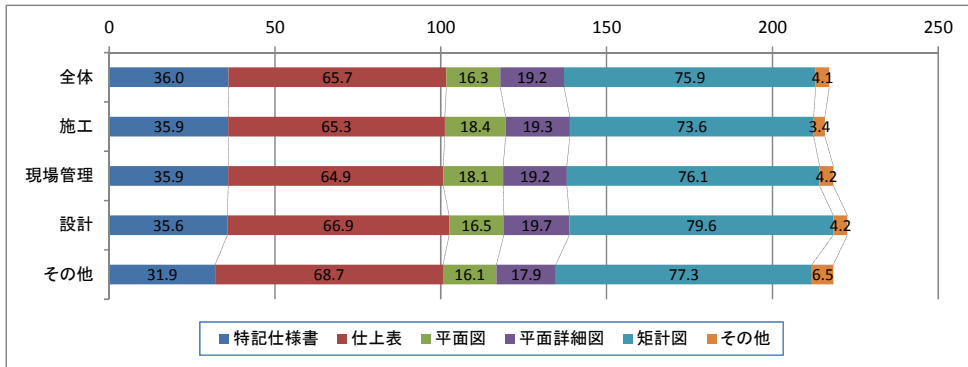


図 II-31-3②b 職種別の設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

②外壁 その他	回答数	%
その他意匠図	26	1.0%
仕様関連図書	4	0.2%
構造関連図書	3	0.1%
設備関連図書	1	0.0%
断熱関連図書	22	0.9%
施工関連図書	5	0.2%
各種申請図書	1	0.0%
設計書	2	0.1%
見積書	5	0.2%
未分類	1	0.0%
その他記入有り合計	70	2.7%
その他全体	104	4.1%
全体	2,561	100.0%

②外壁 その他	回答数
その他意匠図	18
立面図	1
その他意匠図	1
展開図	1
その他意匠図	2
矩計図	1
その他意匠図	1
断面詳細図	1
その他意匠図	3
詳細図	3
その他意匠図	1
ディテールリスト	1
仕様関連図書	4
仕上表・仕様書	4
構造関連図書	1
構造仕様	1
構造関連図書	2
ブレイク図	2
設備関連図書	1
設備図	1
断熱関連図書	3
温熱計算書	3
断熱関連図書	4
断熱仕様書・図	4
断熱関連図書	3
防寒伏図	3
断熱関連図書	2
温熱環境図	2
断熱関連図書	6
断熱パネル割図	6
断熱関連図書	1
断熱計画図	1
断熱関連図書	1
断熱材伏図	1
断熱関連図書	1
断熱仕様部位別詳細図	1
断熱関連図書	1
断熱図	1
施工関連図書	3
施工説明書・施工要領書	3
施工関連図書	1
割り付け図	1
施工関連図書	1
現場施工図	1
各種申請図書	1
長期優良住宅認定申請図書	1
設計書	2
設計書	2
見積書	5
見積書	5
未分類	1
特になし	1

図 II-31-3②c 設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁 「その他」記述

質問 31-3 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

③床・基礎

- 「床・基礎」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の74.5%、「仕上表」の62.0%が多く、「特記仕様書」が36.3%、「平面図」が16.2%、「平面詳細図」が15.3%であった。

《職種別》

- 職種間に大きな差は無い。

③床・基礎	回答数	%
特記仕様書	929	36.3
仕上表	1587	62.0
平面図	414	16.2
平面詳細図	391	15.3
矩計図	1908	74.5
その他	223	8.7
無回答	116	4.5
全体	2561	100.0

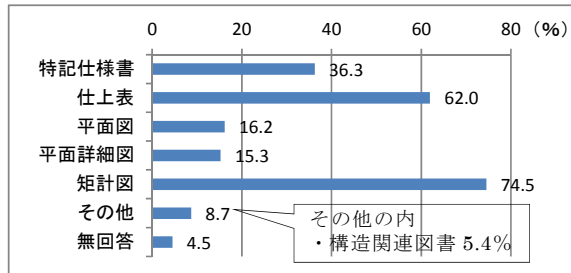


図 II-31-3③a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

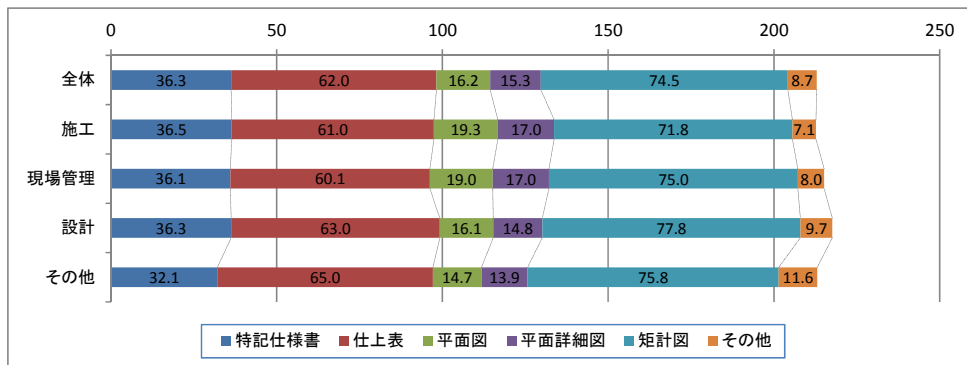


図 II-31-3③b 職種別の設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

③床・基礎 その他	回答数	%	③床・基礎 その他	回答数	
その他意匠図	9	0.4%	その他意匠図	断面図	2
仕様関連図書	4	0.2%	その他意匠図	展開図	1
構造関連図書	139	5.4%	その他意匠図	矩計図	2
設備関連図書	1	0.0%	その他意匠図	断面詳細図	1
断熱関連図書	21	0.8%	その他意匠図	詳細図	2
施工関連図書	5	0.2%	その他意匠図	ディテールリスト	1
各種申請図書	1	0.0%	仕様関連図書	仕上表・仕様書	4
設計書	1	0.0%	構造関連図書	基礎図	7
見積書	6	0.2%	構造関連図書	基礎伏図	99
その他	1	0.0%	構造関連図書	基礎断面図	1
			構造関連図書	基礎詳細図	10
その他記入有り合計	188	7.3%	構造関連図書	基礎伏図・基礎断面図	5
その他全体	223	8.7%	構造関連図書	基礎伏図・基礎詳細図	2
全体	2,561	100.0%	構造関連図書	伏図	7
			構造関連図書	床伏図	1
			構造関連図書	基礎伏図・床伏図	4
			構造関連図書	プレカト図	3
			設備関連図書	設備図	1
			断熱関連図書	温熱計算書	3
			断熱関連図書	断熱仕様書・図	4
			断熱関連図書	防寒伏図	3
			断熱関連図書	温熱環境図	2
			断熱関連図書	断熱パネル割図	2
			断熱関連図書	断熱計画図	1
			断熱関連図書	断熱材伏図	1
			断熱関連図書	断熱仕様部別詳細図	1
			断熱関連図書	断熱図	1
			断熱関連図書	断熱範囲図	3
			施工関連図書	施工説明書・施工要領書	3
			施工関連図書	パネル割図	2
			各種申請図書	長期優良住宅認定申請図書	1
			設計書	設計書	1
			見積書	見積書	6
			未分類	特になし	1

図 II-31-3③c 設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎 「その他」記述

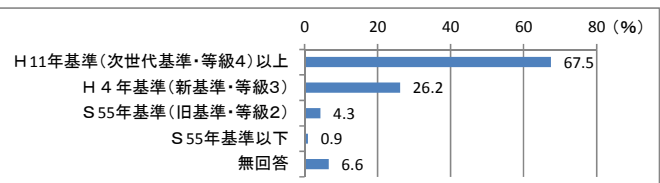
質問31-4 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入下さい。(複数回答)

- 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」が最も多く67.5%、「平成4年基準(新基準・等級3)」が26.2%、「昭和55年基準(旧基準・等級2)」が4.3%、「昭和55年基準以下」は0.2%であった。

《地域別》

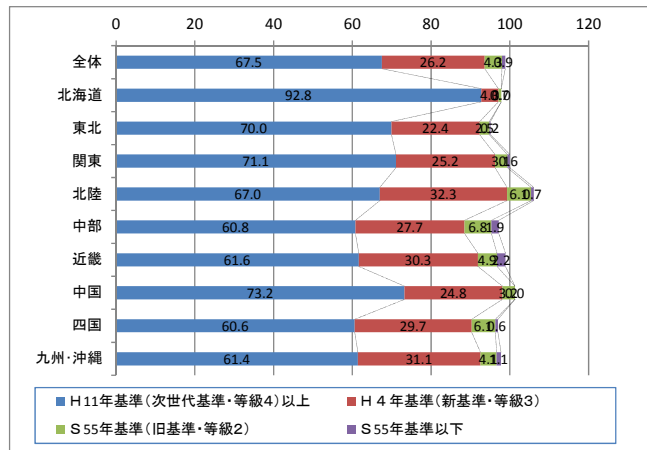
- 北海道地域は、「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」が全国より25.3ポイント高く、「平成4年基準(新基準・等級3)」が21.8ポイント低い。

基準レベル	回答数	%
H11年基準(次世代基準・等級4)以上	1728	67.5
H4年基準(新基準・等級3)	670	26.2
S55年基準(旧基準・等級2)	111	4.3
S55年基準以下	23	0.9
無回答	169	6.6
全体	2561	100.0



図Ⅱ-31-4a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)				
		H11年 基準 (次世代 基準 ・等級4) 以上	H4年 基準 (新基準 ・等級3)	S55年 基準 (旧基準 ・等級2)	S55年 基準 以下	無回答
全体	2561	67.5	26.2	4.3	0.9	6.6
北海道	138	92.8	4.3	0.7	0.0	2.2
(全体との差)		+25.3	-21.8	-3.6	-0.9	-
東北	406	70.0	22.4	2.5	0.2	7.4
(全体との差)		+2.5	-3.7	-1.9	-0.7	-
関東	477	71.1	25.2	3.1	0.6	6.3
(全体との差)		+3.6	-1.0	-1.2	-0.3	-
北陸	297	67.0	32.3	6.1	0.7	3.7
(全体との差)		-0.5	+6.2	+1.7	-0.2	-
中部	469	60.8	27.7	6.8	1.9	8.3
(全体との差)		-6.7	+1.6	+2.5	+1.0	-
近畿	185	61.6	30.3	4.9	2.2	10.3
(全体との差)		-5.9	+4.1	+0.5	+1.3	-
中国	157	73.2	24.8	3.2	0.0	5.7
(全体との差)		+5.8	-1.3	-1.1	-0.9	-
四国	165	60.6	29.7	6.1	0.6	6.7
(全体との差)		-6.9	+3.5	+1.7	-0.3	-
九州・沖縄	267	61.4	31.1	4.1	1.1	6.4
(全体との差)		-6.1	+4.9	-0.2	+0.2	-



図Ⅱ-31-4b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

質問31-5 計算したことのあるものについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

- 計算したことのあるものについては、「Q値(熱損失係数)」が最も多く 59.5%、「年間冷暖房負荷」が 24.0%、「U値(部位熱貫流率)」が 20.6%、「R値(熱抵抗値)」が 24.4%であった。

《職種別》

- その他以外は、職種間の大きな差は無い。

《地域別》

- 北海道地域は「年間冷暖房負荷」が 23.8 ポイント、「Q値(熱損失係数)」が 36.1 ポイント、「U値(部位熱貫流率)」が 12.8 ポイント、「R値(熱抵抗値)」が 12.6 ポイント、全ての項目で全国より高い。
- 東北地域は「Q値(熱損失係数)」が 10.4 ポイント全国より高い。
- 近畿地域は「年間冷暖房負荷」が 13.7 ポイント、「Q値(熱損失係数)」が 13.0 ポイント全国より低い。
- 九州地域は「Q値(熱損失係数)」が 7.1 ポイント全国より低い。

断熱性能	回答数	%
年間冷暖房負荷	615	24.0
Q値(熱損失係数)	1524	59.5
U値(部位熱貫流率)	527	20.6
R値(熱抵抗値)	624	24.4
無回答	837	32.7
全体	2561	100.0

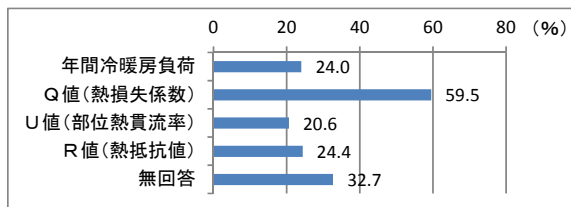


図 II-31-5a 計算したことのある断熱性能

	合計 (回答数)	計算したことのある断熱性能 (%)				無回答
		年間 冷暖房 負荷	Q値 (熱損失 係数)	U値 (部位熱 貫流率)	R値 (熱抵 抗値)	
全体	2561	24.0	59.5	20.6	24.4	32.7
北海道	138	47.8	95.7	33.3	37.0	4.3
(全体との差)		+23.8	+36.1	+12.8	+12.6	-
東北	406	30.8	70.0	17.7	20.0	22.4
(全体との差)		+6.8	+10.4	-2.8	-4.4	-
関東	477	22.0	56.8	21.6	26.2	33.8
(全体との差)		-2.0	-2.7	+1.0	+1.8	-
北陸	297	20.9	59.9	17.5	23.9	33.0
(全体との差)		-3.1	+0.4	-3.1	-0.5	-
中部	469	21.1	51.8	21.7	26.2	40.1
(全体との差)		-2.9	-7.7	+1.2	+1.9	-
近畿	185	10.3	46.5	17.8	19.5	43.8
(全体との差)		-13.7	-13.0	-2.7	-4.9	-
中国	157	26.1	61.1	22.3	28.0	31.2
(全体との差)		+2.1	+1.6	+1.7	+3.7	-
四国	165	22.4	57.0	19.4	24.8	35.8
(全体との差)		-1.6	-2.5	-1.2	+0.5	-
九州・沖縄	267	22.8	52.4	19.5	19.5	39.0
(全体との差)		-1.2	-7.1	-1.1	-4.9	-

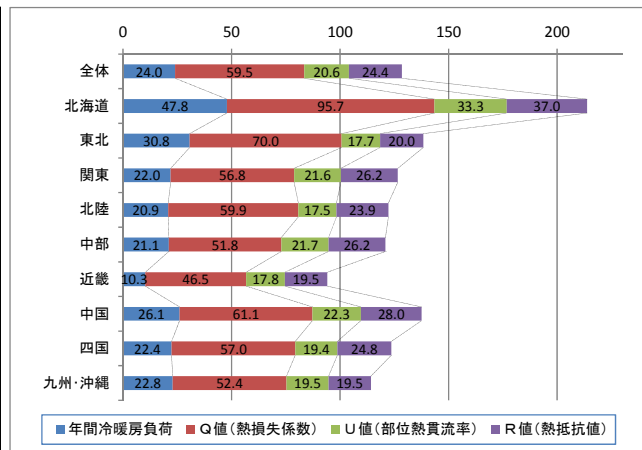


図 II-31-5b 地域別の計算したことのある断熱性能

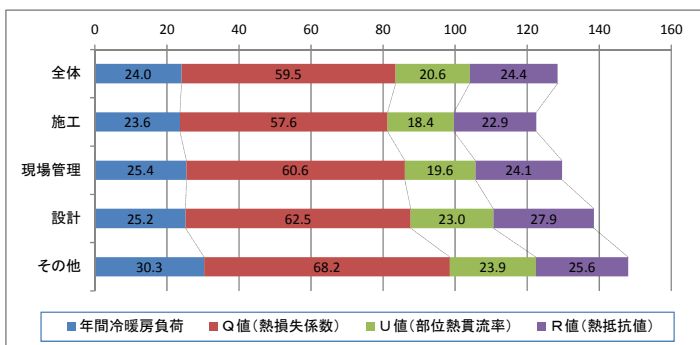


図 II-31-5c 職種別の計算したことのある断熱性能

質問 31-6 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答)

- 断熱・施工方法に関する情報の入手先は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が最も多く 68.9%、「住宅生産関連団体の講習会などから」、「公的講習会・仕様書から」が共に 42.9%、「建築雑誌から」が 26.4%、「職場内研修から」が 11.2%であった。

《職種別》

- その他以外は、職種間の大きな差は無い。

情報入手先	回答数	%
職場内研修から	287	11.2
住宅生産関連団体の講習会などから	1098	42.9
公的講習会・仕様書から	1098	42.9
建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから	1765	68.9
建築雑誌から	675	26.4
その他	175	6.8
無回答	92	3.6
全体	2561	100.0

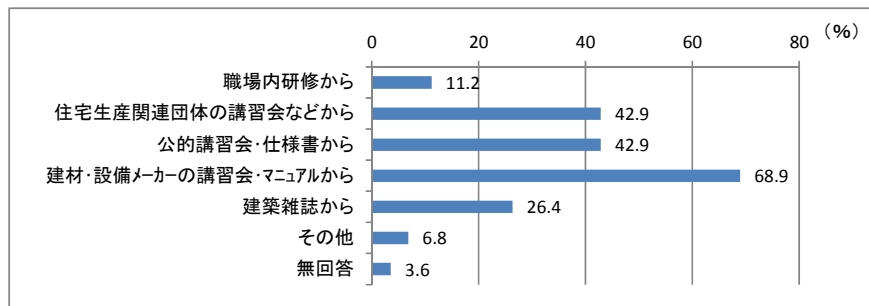


図 II-31-6a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

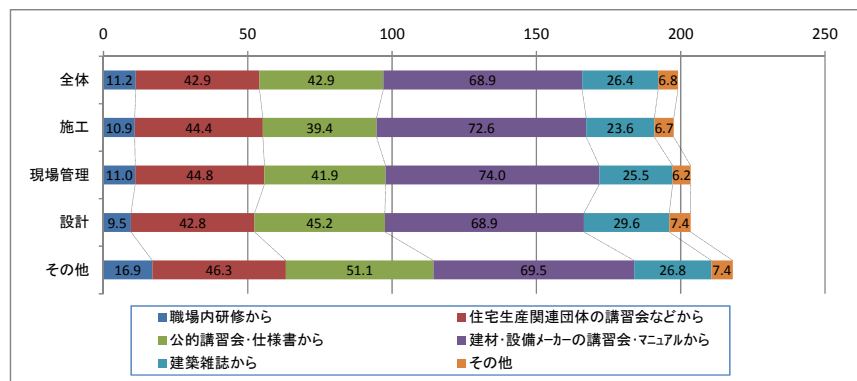


図 II-31-6b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

情報入手先	6.その他	回答数	%	情報入手先	6.その他	回答数
自社関係		3	0.1%	自社関係	自社で次世代省エネ基準等級4工法有り	1
公的機関等		6	0.2%	自社関係	自社実験による	1
建材メーカー		8	0.3%	自社関係	本部仕様より	1
インターネット		25	1.0%	公的機関等	性能評価協会等	1
所属団体		24	0.9%	公的機関等	国土交通省補助事業講習会	1
専門メディア		2	0.1%	公的機関等	山口県産業技術センター	1
公的仕様書等		7	0.3%	公的機関等	住宅省エネルギー施工技術講習会	1
人的ネットワーク		20	0.8%	公的機関等	森林文化アカデミー	1
その他講習会等		8	0.3%	公的機関等	性能評価申請先	1
ハウスメーカー		1	0.0%	建材メーカー	LIXILのスーパーウォール工法	1
自分で調べる		1	0.0%	建材メーカー	断熱材メーカーマニュアル講習会	1
省エネ団体		13	0.5%	建材メーカー	パナソニックマニュアル	1
未分類		11	0.4%	建材メーカー	フクビ化学工業	1
不明		2	0.1%	建材メーカー	メーカーカタログ	1
その他記入有り合計		131	5.1%	建材メーカー	メーカー営業などより	1
その他全体		175	6.8%	建材メーカー	旭ファイバーより技術提供及び前勤務先	1
全体		2,561	100.0%	建材メーカー	部材供給加入メーカー	1
				インターネット	メーカーホームページ	4
				インターネット	インターネットでメーカー資料	13
				インターネット	WEB	6
				インターネット	ネット	1
				インターネット	パソコン情報	1
				所属団体	加盟している団体より	3
				所属団体	フランチャイズGLホームより	1
				所属団体	FAS工法	1
				所属団体	FC本部	1
				所属団体	FPグループ	3
				所属団体	JBN	2
				所属団体	NCN	1
				所属団体	NET	1
				所属団体	PVソーラーハウス協会	1
				所属団体	WB工法	1
				所属団体	アース21、十勝2×4協会	3
				所属団体	エアバスグループ	2
				所属団体	百年の家プロジェクト	2
				所属団体	●ツシブハウスジャパン等団体講習会	1
				所属団体	SW会定例会	1
				専門メディア	業界新聞	1
				専門メディア	専門図書から	1
				公的仕様書等	支援機構木造住宅工事仕様書	5
				公的仕様書等	国土交通省設計仕様書より	1
				公的仕様書等	長期優良住宅等の仕様	1
				人的ネットワーク	グループの勉強会	4
				人的ネットワーク	工務店	2
				人的ネットワーク	設計事務所	4
				人的ネットワーク	フレカッター業者	2
				人的ネットワーク	業者間の情報交換	2
				人的ネットワーク	同業者から	3
				人的ネットワーク	協力会社から意見を聞く	1
				人的ネットワーク	建材店、材木店より収集	1
				人的ネットワーク	元請会社	1
				その他講習会等	工務店勉強会から	1
				その他講習会等	民間企業の勉強会	4
				その他講習会等	県外工務店視察など	1
				その他講習会等	下請売込展示会	1
				その他講習会等	JHBS	1
				ハウスメーカー	県外住宅会社	1
				自分で調べる	独学書籍	1
				省エネ団体	BIS	1
				省エネ団体	新住協	12
				未分類	色々	2
				未分類	すべて	1
				未分類	駿河住まいづくり協議会	1
				未分類	設計関連団体	1
				未分類	なし	1
				未分類	ホームリサーチ	1
				未分類	山本順三氏、Z工法	1
				未分類	高性能住宅研究グループ	1
				未分類	住宅瑕疵担保責任保険法人	1
				未分類	組合	1
				不明	●直住宅	1
				不明	20年程前より外断熱を施行。当社が先導的立場で断熱方法を提案してきました。	1

図 II-31-6b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

質問 31-7 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

- 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては、「設計従事者」が最も多く 50.3%、「施工管理者」が 39.8%、「現場施工者」が 38.2%、「建築主」が 37.1%であった。
- その他以外は、職種間の大きな差は無い。

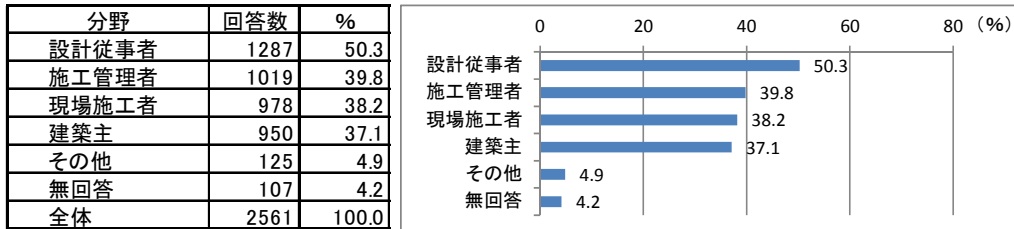


図 II-31-7a 最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要と思う分野

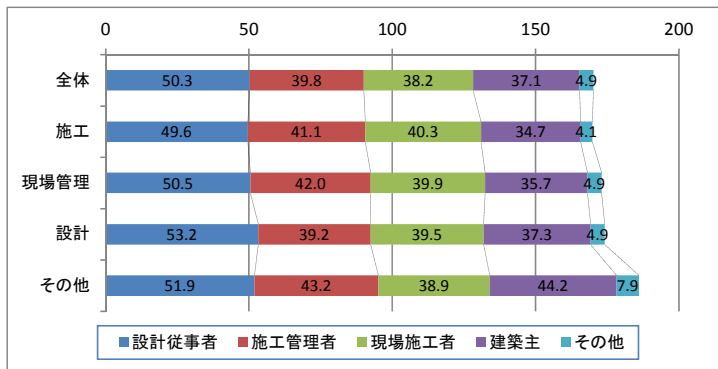


図 II-31-7b 職種別にみた最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要と思う分野

分野 6.その他	回答数	%	情報入手先 6.その他	回答数
現場施工者	7	0.3%	現場施工者 大工	6
建築主	6	0.2%	現場施工者 実際に施工する人	1
工務店	8	0.3%	建築主 建築主	6
経営者	8	0.3%	工務店 工務店	8
営業	14	0.5%	経営者 経営者	4
会社全体	1	0.0%	経営者 事業主	2
建材メーカー	4	0.2%	経営者 トップ、営業	1
建材販売	5	0.2%	経営者 会社代表者	1
ハウスメーカー	3	0.1%	営業 営業	14
不動産業者	1	0.0%	会社全体 社内教育	1
行政	18	0.7%	建材メーカー 建材メーカー	2
関係する全ての人	19	0.7%	建材メーカー 断熱材メーカー、サッシメーカー	1
未分類	1	0.0%	建材メーカー 断熱材メーカー	1
不明	11	0.4%	建材販売 販売者	3
			建材販売 資材販売者	1
その他記入有り合計	106	4.1%	建材販売 間屋	1
その他全体	125	4.9%	ハウスメーカー 住宅会社(元請)	2
全体	2,561	100.0%	ハウスメーカー 建売業者	1
			不動産業者 不動産業社	1
			行政 行政	3
			行政 国	5
			行政 国、各自治体	2
			行政 国・県・市→断熱区分・仕様・制限・工法の統一体制をつくる	1
			行政 国・役所	1
			行政 国家機関	1
			行政 法律	1
			行政 建築行政	1
			行政 国、団体	1
			行政 国土交通省より断熱住宅のメリットを建築主に周知する。	1
			行政 国民が、わかりやすく簡単に理解できる仕様設定・ルール決め・選択性を、国策として情報発信する普及活動が必要だと思われる。	1
			関係する全ての人 上記全て	2
			関係する全ての人 全て	10
			関係する全ての人 メーカーも含めて全て	3
			関係する全ての人 家づくりに関わる全ての人	3
			関係する全ての人 大学、専門学校、専門高校等の先生、各管庁の職員さん第	1
			未分類 必要ない	1
			不明 小学校、中学校の時、国、県	2
			不明 BISの資格者を増すと良いのでは	1
			不明 インセンティブまたは規制	1
			不明 エコの補助金を出す事。住宅の場合、補助金が少なすぎる。一度建築すれば30年位使うので、50万位の補助金を出し、エネルギーの節約をした方がいいと思います(車などは10年位でだめになってしまうのに、補助金が多いのはなぜ?)	1
			不明 建築業界全体 行政及び行政の補助金。ゼロエネルギー住宅の普及	1
			不明 施工時の精度が必要	3
			不明 製造メーカー現場に合った製品を利用しているから	1
			不明 予算に左右されるものであるため、適格な説明が必要。	1

図 II-31-7c 最適な断熱住宅を普及・建設していくために意識啓発が必要と思う分野「その他」記述

資料編Ⅲ A・B講習会アンケート調査結果

全国 47 都道府県 384 会場で開催した C 講習会(平成 24 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)の講師を養成するため、B 講習会(平成 24 年度 住宅省エネルギー技術 地域リーダー講習会)を実施した。また B 講習会の講師を養成するため、A 講習会(平成 24 年度 住宅省エネルギー技術 地域リーダー講師講習会)を実施した。

上記の A 講習会及び B 講習会において実施したアンケート調査結果について参考資料として報告書に添付する。

概要

※A講習会：

B講習会：平成 24 年度 住宅省エネルギー技術 地域リーダー講習会

・調査対象

：A・B講習会受講者。

・調査期間

：A講習 2012 年 7 月、B講習 2012 年 8 月～9 月。

・調査場所

：A講習会の東京 1 会場およびB講習会の全国 19 会場。

・アンケート票配布及び回収方法

：A・B講習会にて教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

・アンケート票回収数

：全体で 559 票。A講習 51 票、B講習会 508 票。

アンケート調査票

以下はB講習会のアンケート調査票。A講習会でも同じ内容の調査票を配布した。

「講習会」に関するアンケート

B

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、本講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。

つきましては、下記アンケート実施にご協力をお願い申し上げます。

受講日：平成24年 月 日()～ 月 日()会場：_____会場(都道府県名でお書きください)

質問1. 業種をお聞かせください。

1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:建設資材等流通
5:断熱材メーカー 6:行政庁 7:その他()

質問2. 職種をお聞かせください。

1:技術(施工) 2:技術(設計) 3:現場管理 4:経営/管理
5:企画/研究開発 6:営業/販売 7:その他()

質問3. 年齢層をお聞かせください。

1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上

質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)

1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて
2: 「全国木造住宅生産体制推進協議会事務局」からの情報
3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼
4: その他()

質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)

1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから
2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから
3: その他()

質問6. 今回の講義時間についてお聞きします。

1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い

以下の質問は、講師を行うという立場としてお答えください。

質問7. 講義用のツールについてお聞きします。

テキスト

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

DVD

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

カットモデル(原寸模型)

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

※裏面に続きます。

質問8. 講義内容についてお伺いします。

8-1. これからの住まいの省エネ化について

1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

8-2. 省エネ住宅の設計/施工について

1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

8-3. 省エネ基準と関連制度について

1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

8-4. リフォームについて

1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

質問9. 修了考査について

1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

質問10. 講義についてお聞きします。

講師1

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

講師2

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

講師3

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

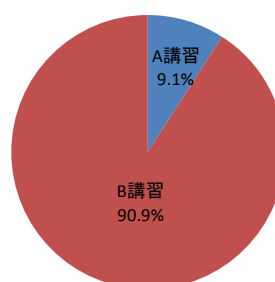
質問11 そのほか、本講習会全体について、ご意見等があればお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際、受付にご提出下さい。

■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

講習会種別...(SA)

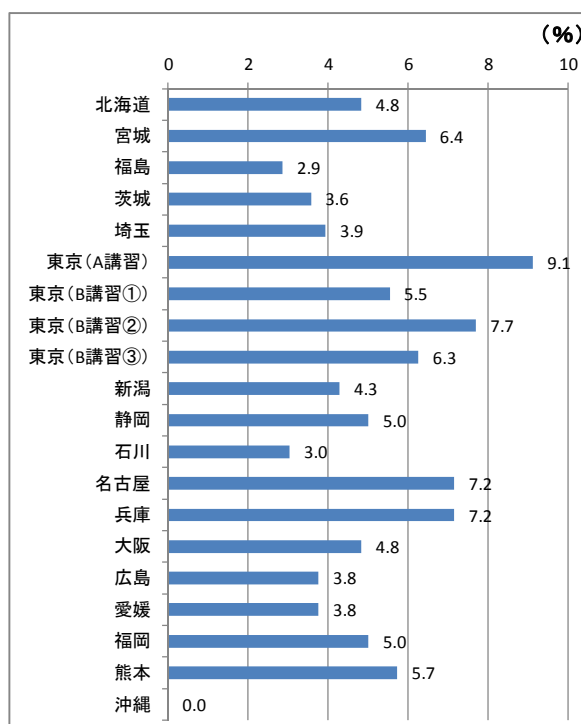
No.	カテゴリー名	n	%
1	A講習	51	9.1
2	B講習	508	90.9
	全体	559	100.0



講習会の種別での比率はA講習(リーダー講習)が9.1%、B講習(一般講習)が90.9%の比率であった。

会場場所...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	27	4.8
2	宮城	36	6.4
3	福島	16	2.9
4	茨城	20	3.6
5	埼玉	22	3.9
6	東京(A講習)	51	9.1
7	東京(B講習①)	31	5.5
8	東京(B講習②)	43	7.7
9	東京(B講習③)	35	6.3
10	新潟	24	4.3
11	静岡	28	5.0
12	石川	17	3.0
13	名古屋	40	7.2
14	兵庫	40	7.2
15	大阪	27	4.8
16	広島	21	3.8
17	愛媛	21	3.8
18	福岡	28	5.0
19	熊本	32	5.7
20	沖縄	0	0.0
	全体	559	100.0

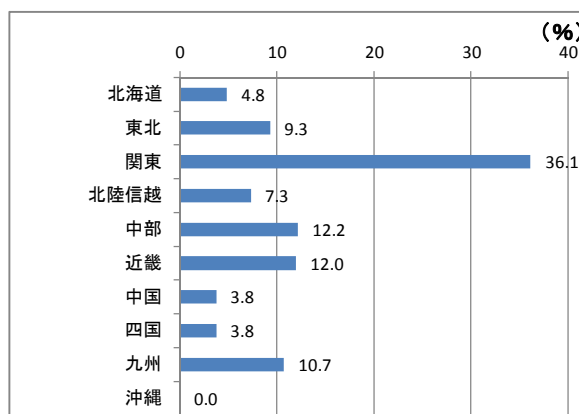


参加者を都道府県別でみると、東京A講習(リーダー講習)が9.1%、東京B講習②(一般講習8月31日～9月1日)が7.7%、名古屋と兵庫が7.2%の順位であった。

■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

エリア...(SA)

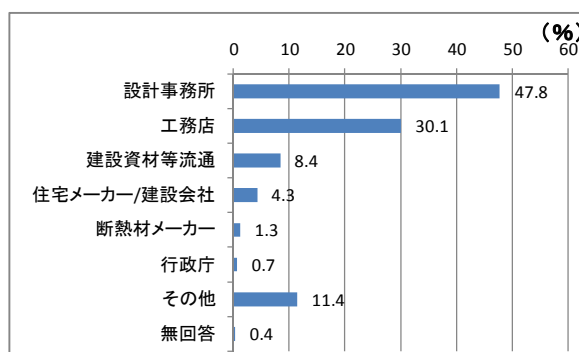
No.	カテゴリー名	n	%
1	北海道	27	4.8
2	東北	52	9.3
3	関東	202	36.1
4	北陸信越	41	7.3
5	中部	68	12.2
6	近畿	67	12.0
7	中国	21	3.8
8	四国	21	3.8
9	九州	60	10.7
10	沖縄	0	0.0
	全体	559	100.0



参加者をエリア別で見ると、関東が36.1%、中部が12.2%、近畿が12.0%の順位であった。

【質問1】業種...(MA)

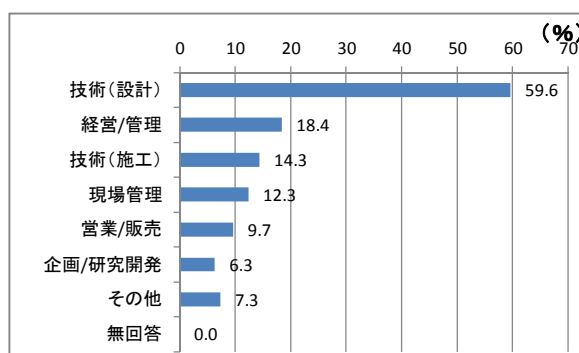
No.	カテゴリー名	n	%
3	設計事務所	267	47.8
1	工務店	168	30.1
4	建設資材等流通	47	8.4
2	住宅メーカー/建設会社	24	4.3
5	断熱材メーカー	7	1.3
6	行政庁	4	0.7
7	その他	64	11.4
	無回答	2	0.4
	全体	559	100.0



業種別では「設計事務所」が47.8%、「工務店」が30.1%、「建設資材等流通」が8.4%の順位であった。「設計事務所」と「工務店」の2業種だけで、全体の約8割を占める結果となった。

【質問2】職種...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
2	技術(設計)	333	59.6
4	経営/管理	103	18.4
1	技術(施工)	80	14.3
3	現場管理	69	12.3
6	営業/販売	54	9.7
5	企画/研究開発	35	6.3
7	その他	41	7.3
	無回答	0	0.0
	全体	559	100.0

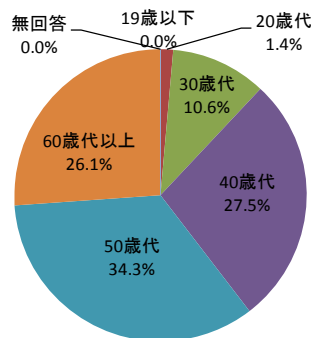


職種別では「技術(設計)」が59.6%、「経営/管理」が18.4%、「技術(施工)」が14.3%の順位であった。「技術(設計)」と「経営/管理」の2業種だけで、全体の約8割を占める結果となった。

■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

【質問3】 年齢層...(SA)

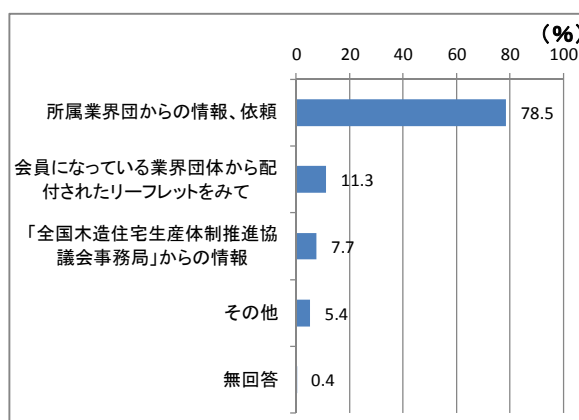
No.	カテゴリー名	n	%
1	19歳以下	0	0.0
2	20歳代	8	1.4
3	30歳代	59	10.6
4	40歳代	154	27.5
5	50歳代	192	34.3
6	60歳代以上	146	26.1
	無回答	0	0.0
	全体	559	100.0



年代別では「50歳代」が34.3%、「40歳代」が27.5%、「60歳代以上」が26.1%の順位であった。
50歳以上だと全体の約6割を占め、40歳以上だと全体の約9割近くを占める結果

【質問4】 講習会を知ったきっかけ...(MA)

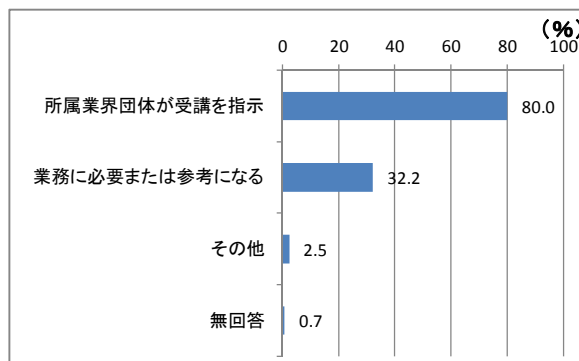
No.	カテゴリー名	n	%
3	所属業界団からの情報、依頼	439	78.5
1	会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて	63	11.3
2	「全国木造住宅生産体制推進協議会事務局」からの情報	43	7.7
4	その他	30	5.4
	無回答	2	0.4
	全体	559	100.0



講習会を知ったきっかけとしては、「所属業界団体からの情報、依頼」が78.5%、「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」が11.3%、「全国木造住宅生産体制推進協議会事務局からの情報」が7.7%の順位であった。

【質問5】 参加理由・目的...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
2	所属業界団体が受講を指示	447	80.0
1	業務に必要なまたは参考になる	180	32.2
3	その他	14	2.5
	無回答	4	0.7
	全体	559	100.0

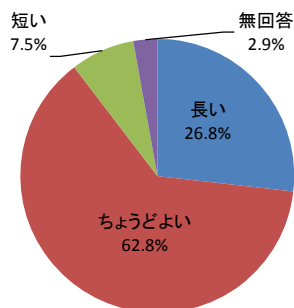


参加の理由、目的としては、「所属業界団体が受講を指示」が80.0%、「これからの業務に必要な、参考になる」が32.2%、「その他」が2.5%の順位であった。
所属団体からの指示が全体の8割、自ら受講をしたが約3割の参加理由であった。

■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

【質問6】 講義時間...(SA)

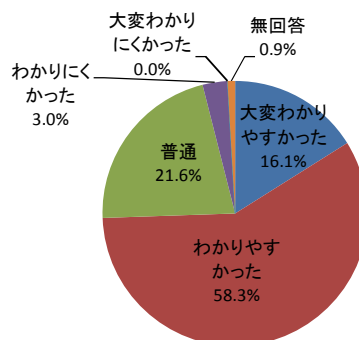
No.	カテゴリー名	n	%
1	長い	150	26.8
2	ちょうどよい	351	62.8
3	短い	42	7.5
	無回答	16	2.9
	全体	559	100.0



講義の時間の感想としては、「長い」が26.8%、「ちょうどよい」が62.8%、「短い」が7.5%の結果であった。
過半数以上の方は、講義の時間について「ちょうどよい」と回答した。

【質問7】 講義用のツール(テキスト)...(SA)

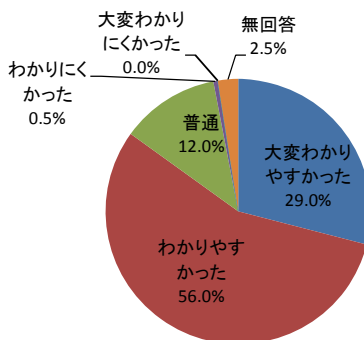
No.	カテゴリー名	n	%
1	大変わかりやすかった	90	16.1
2	わかりやすかった	326	58.3
3	普通	121	21.6
4	わかりにくかった	17	3.0
5	大変わかりにくかった	0	0.0
	無回答	5	0.9
	全体	559	100.0



講義用のツールである『テキスト』についての感想としては、「わかりやすかった」が58.3%、「普通」が21.6%、「大変わかりやすかった」が16.1%の順位であった。
全体の74.4%は『わかりやすかった』と回答した。

【質問7】 講義用のツール(DVD)...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	大変わかりやすかった	162	29.0
2	わかりやすかった	313	56.0
3	普通	67	12.0
4	わかりにくかった	3	0.5
5	大変わかりにくかった	0	0.0
	無回答	14	2.5
	全体	559	100.0

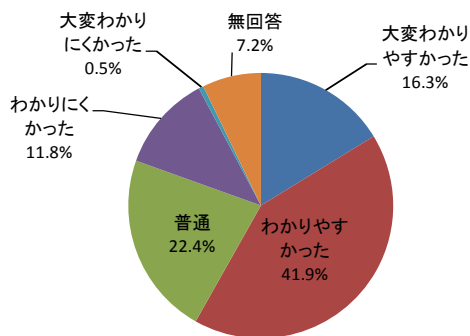


講義用のツールである『DVD』についての感想としては、「わかりやすかった」が56.0%、「大変わかりやすかった」が29.0%、「普通」が12.0%の順位であった。
全体の85%は『わかりやすかった』と回答した。

■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

【質問7】 講義用のツール(カットモデル)...(SA)

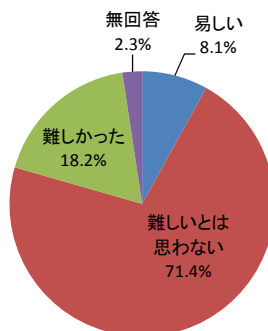
No.	カテゴリー名	n	%
1	大変わかりやすかった	91	16.3
2	わかりやすかった	234	41.9
3	普通	125	22.4
4	わかりにくかった	66	11.8
5	大変わかりにくかった	3	0.5
	無回答	40	7.2
	全体	559	100.0



講義用のツールである『カットモデル』についての感想としては、「わかりやすかった」が41.9%、「普通」が22.4%、「大変わかりやすかった」が16.3%の順位であった。
 全体の58.1%は『わかりやすかった』と回答した。
 テキスト、DVDIに比べて、わかりにくかったと回答した数が多かった。(全体の12.3%が「わかりにくかった」と回答した)

【質問8】 講義内容 8-1. これからの住まいの省エネ化...(SA)

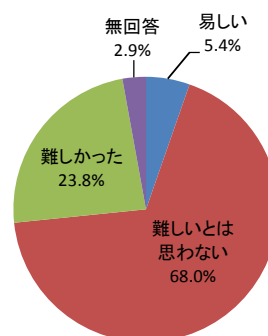
No.	カテゴリー名	n	%
1	易しい	45	8.1
2	難しいとは思わない	399	71.4
3	難しかった	102	18.2
	無回答	13	2.3
	全体	559	100.0



講義内容の「これからの住まいの省エネ化」については、「難しいとは思わない」が71.4%、「難しかった」が18.2%、「易しい」が8.1%の順位であった。
 全体の79.4%は、『難しい』と回答した。

【質問8】 講義内容 8-2. 省エネ住宅の設計/施工...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	易しい	30	5.4
2	難しいとは思わない	380	68.0
3	難しかった	133	23.8
	無回答	16	2.9
	全体	559	100.0



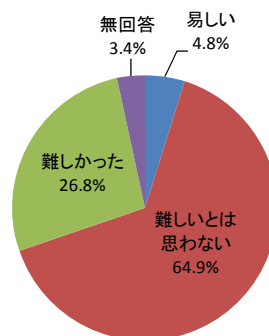
講義内容の「省エネ住宅の設計/施工」については、「難しいとは思わない」が68.0%、「難しかった」が23.8%、「易しい」が5.4%の順位であった。
 全体の73.3%は、『難しい』と回答した。

■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

【質問8】 講義内容 8-3. 省エネ基準と関連制度...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	易しい	27	4.8
2	難しいとは思わない	363	64.9
3	難しかった	150	26.8
	無回答	19	3.4
	全体	559	100.0

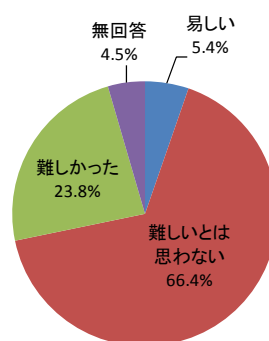
講義内容の「省エネ基準と関連制度」については、「難しいとは思わない」が64.9%、「難しかった」が26.8%、「易しい」が4.8%の順位であった。全体の69.8%は、『難しくないと回答した。



【質問8】 講義内容 8-4. リフォーム...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	易しい	30	5.4
2	難しいとは思わない	371	66.4
3	難しかった	133	23.8
	無回答	25	4.5
	全体	559	100.0

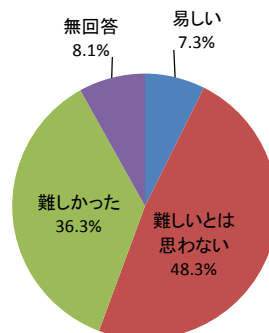
講義内容の「リフォーム」については、「難しいとは思わない」が66.4%、「難しかった」が23.8%、「易しい」が5.4%の順位であった。全体の71.7%は、『難しくないと回答した。



【質問9】 修了考査...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	易しい	41	7.3
2	難しいとは思わない	270	48.3
3	難しかった	203	36.3
	無回答	45	8.1
	全体	559	100.0

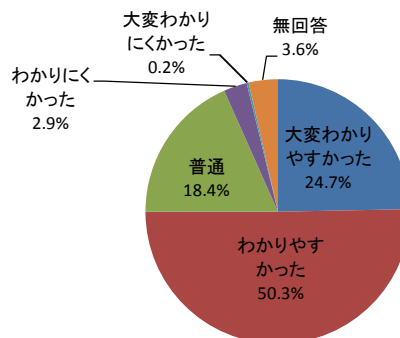
修了考査については、「難しいとは思わない」が48.3%、「難しかった」が36.3%、「易しい」が7.3%の順位であった。全体の半数以上である人(55.6%)は「難しくないと回答したが、約4割の人は「難しかった」と回答した。



■「講習会」に関するアンケート(全体集計)

【質問10】 講義(講師1)...(SA)

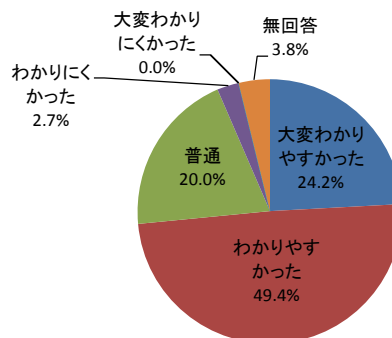
No.	カテゴリー名	n	%
1	大変わかりやすかった	138	24.7
2	わかりやすかった	281	50.3
3	普通	103	18.4
4	わかりにくかった	16	2.9
5	大変わかりにくかった	1	0.2
	無回答	20	3.6
	全体	559	100.0



「講師1」の講義の感想としては、「わかりやすかった」が50.3%、「大変わかりやすかった」が24.7%、「普通」が18.4%の順位であった。
全体の75.0%は、『わかりやすかった』と回答した。

【質問10】 講義(講師2)...(SA)

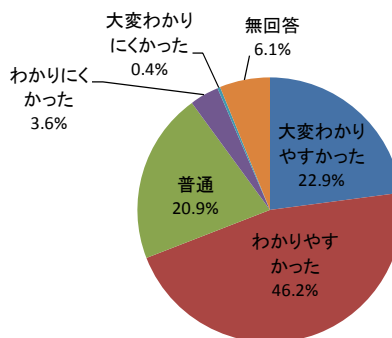
No.	カテゴリー名	n	%
1	大変わかりやすかった	135	24.2
2	わかりやすかった	276	49.4
3	普通	112	20.0
4	わかりにくかった	15	2.7
5	大変わかりにくかった	0	0.0
	無回答	21	3.8
	全体	559	100.0



「講師2」の講義の感想としては、「わかりやすかった」が49.4%、「大変わかりやすかった」が24.2%、「普通」が20.0%の順位であった。
全体の73.5%は、『わかりやすかった』と回答した。

【質問10】 講義(講師3)...(SA)

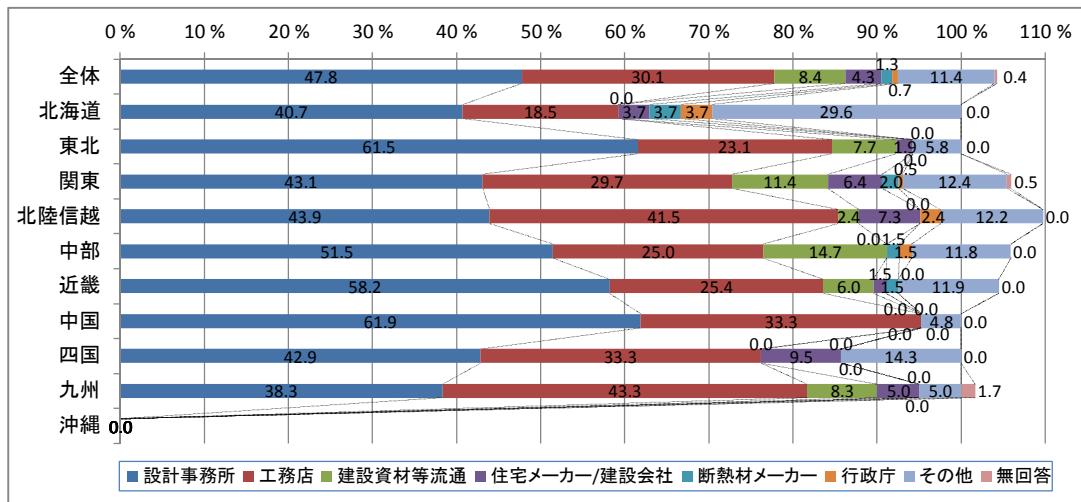
No.	カテゴリー名	n	%
1	大変わかりやすかった	128	22.9
2	わかりやすかった	258	46.2
3	普通	117	20.9
4	わかりにくかった	20	3.6
5	大変わかりにくかった	2	0.4
	無回答	34	6.1
	全体	559	100.0



「講師3」の講義の感想としては、「わかりやすかった」が46.2%、「大変わかりやすかった」が22.9%、「普通」が20.9%の順位であった。
全体の69.1%は、『わかりやすかった』と回答した。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問1】業種							
		設計事務所	工務店	建設資材等流通	住宅メーカー/建設会社	断熱材メーカー	行政庁	その他	無回答
全体	559	47.8	30.1	8.4	4.3	1.3	0.7	11.4	0.4
エリア									
北海道	27	40.7	18.5	0.0	3.7	3.7	3.7	29.6	0.0
東北	52	61.5	23.1	7.7	1.9	0.0	0.0	5.8	0.0
関東	202	43.1	29.7	11.4	6.4	2.0	0.5	12.4	0.5
北陸信越	41	43.9	41.5	2.4	7.3	0.0	2.4	12.2	0.0
中部	68	51.5	25.0	14.7	0.0	1.5	1.5	11.8	0.0
近畿	67	58.2	25.4	6.0	1.5	1.5	0.0	11.9	0.0
中国	21	61.9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
四国	21	42.9	33.3	0.0	9.5	0.0	0.0	14.3	0.0
九州	60	38.3	43.3	8.3	5.0	0.0	0.0	5.0	1.7
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

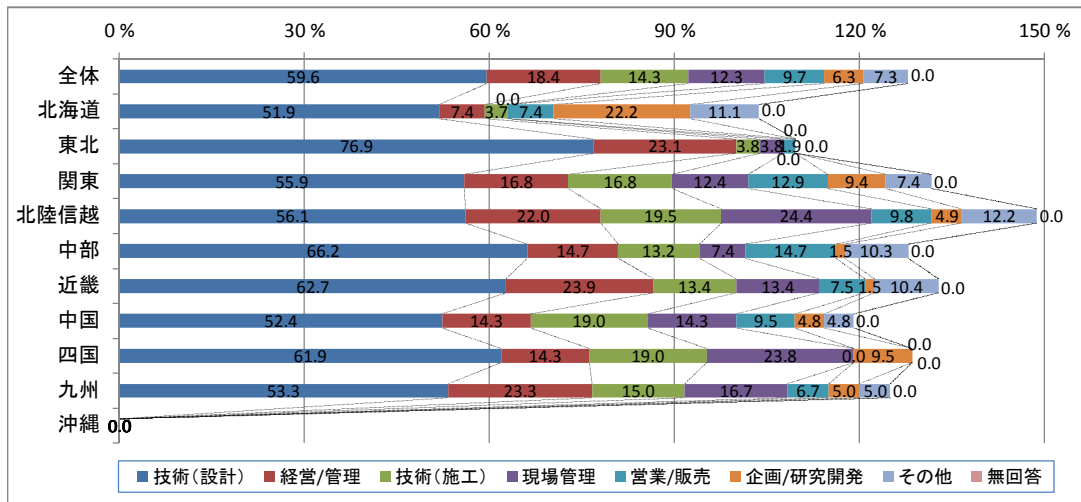


今回の講習会に参加した方を業種別で見ると、設計事務所が47.8%、工務店が30.1%、建設資材等流通が8.4%の順位であった。設計事務所をエリア別で見ると、中国が61.9%、東北が61.5%、近畿が58.2%、中部が51.5%で、これらの地区が全体平均より多かった。

工務店をエリア別で見ると、九州では43.3%、北陸信越では41.5%で、他のエリアより工務店の割合が多かったのが目立つ。建設資材等流通においては中部地区での割合が、他のエリアより割合が多かったのが目立つ。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

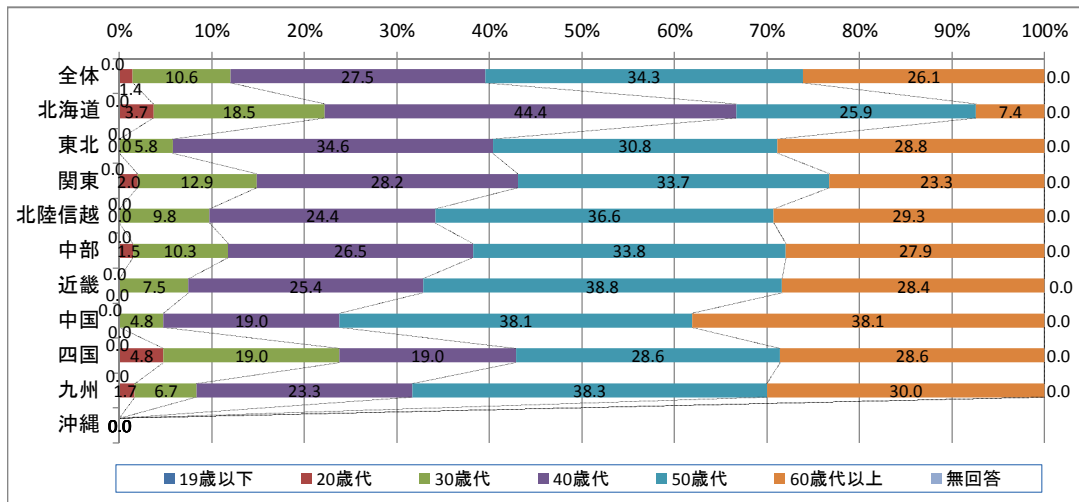
	合計	【質問2】 職種							
		技術(設計)	経営/管理	技術(施工)	現場管理	営業/販売	企画/研究開発	その他	無回答
全体	559	59.6	18.4	14.3	12.3	9.7	6.3	7.3	0.0
エリア									
北海道	27	51.9	7.4	3.7	0.0	7.4	22.2	11.1	0.0
東北	52	76.9	23.1	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0
関東	202	55.9	16.8	16.8	12.4	12.9	9.4	7.4	0.0
北陸信越	41	56.1	22.0	19.5	24.4	9.8	4.9	12.2	0.0
中部	68	66.2	14.7	13.2	7.4	14.7	1.5	10.3	0.0
近畿	67	62.7	23.9	13.4	13.4	7.5	1.5	10.4	0.0
中国	21	52.4	14.3	19.0	14.3	9.5	4.8	4.8	0.0
四国	21	61.9	14.3	19.0	23.8	0.0	9.5	0.0	0.0
九州	60	53.3	23.3	15.0	16.7	6.7	5.0	5.0	0.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



今回の講習会に参加した方を職種別で見ると、技術(設計)が59.6%、経営/管理が18.4%、技術(施工)が14.3%の順位であった。技術(設計)をエリア別で見ると、東北が76.9%、中部が66.2%、近畿が62.7%、四国が61.9%で全体平均より多かった。経営/管理をエリア別で見ると、近畿が23.9%、九州が23.3%、東北が23.1%、北陸信越が22.0%で他のエリアより多い割合であった。技術(施工)においては北陸信越、中国、四国での割合が、他のエリアより多かったのが目立つ。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

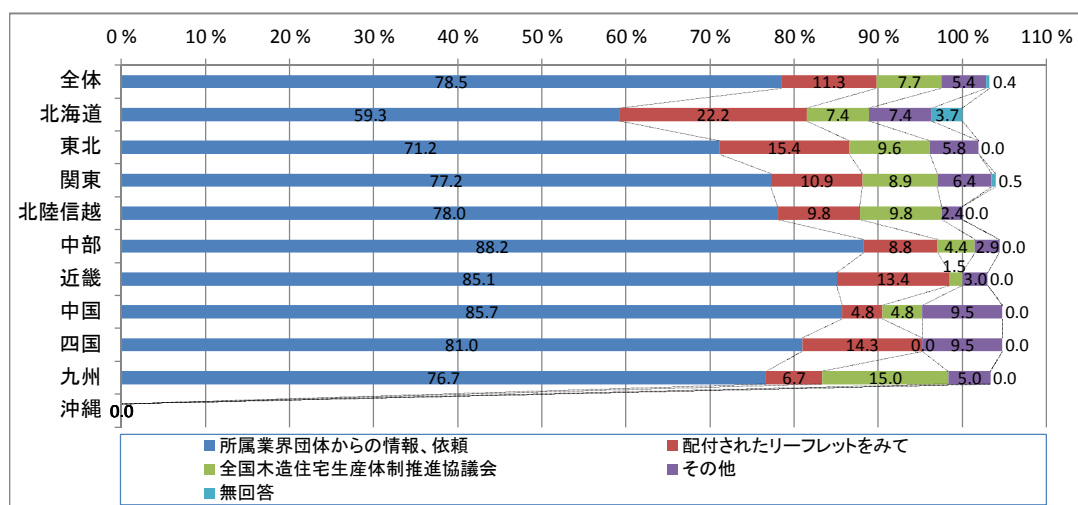
	合計	【質問3】 年齢層						無回答
		19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	
全体	559	0.0	1.4	10.6	27.5	34.3	26.1	0.0
エリア								
北海道	27	0.0	3.7	18.5	44.4	25.9	7.4	0.0
東北	52	0.0	0.0	5.8	34.6	30.8	28.8	0.0
関東	202	0.0	2.0	12.9	28.2	33.7	23.3	0.0
北陸信越	41	0.0	0.0	9.8	24.4	36.6	29.3	0.0
中部	68	0.0	1.5	10.3	26.5	33.8	27.9	0.0
近畿	67	0.0	0.0	7.5	25.4	38.8	28.4	0.0
中国	21	0.0	0.0	4.8	19.0	38.1	38.1	0.0
四国	21	0.0	4.8	19.0	19.0	28.6	28.6	0.0
九州	60	0.0	1.7	6.7	23.3	38.3	30.0	0.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



今回の講習会に参加した方を年齢別で見ると、50歳代が34.3%、40歳代が27.5%、60歳代以上が26.1%の順位であった。
 北海道は40歳代が最も多く44.4%で、他のエリアより参加者の年齢が若かった。
 逆に中国地区は60歳代以上が最も多く38.1%で、他の地区より参加者の年齢が高かった。
 19歳以下の参加者は0人であった。20歳代も全体のわずか1.4%(8人)の参加であった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

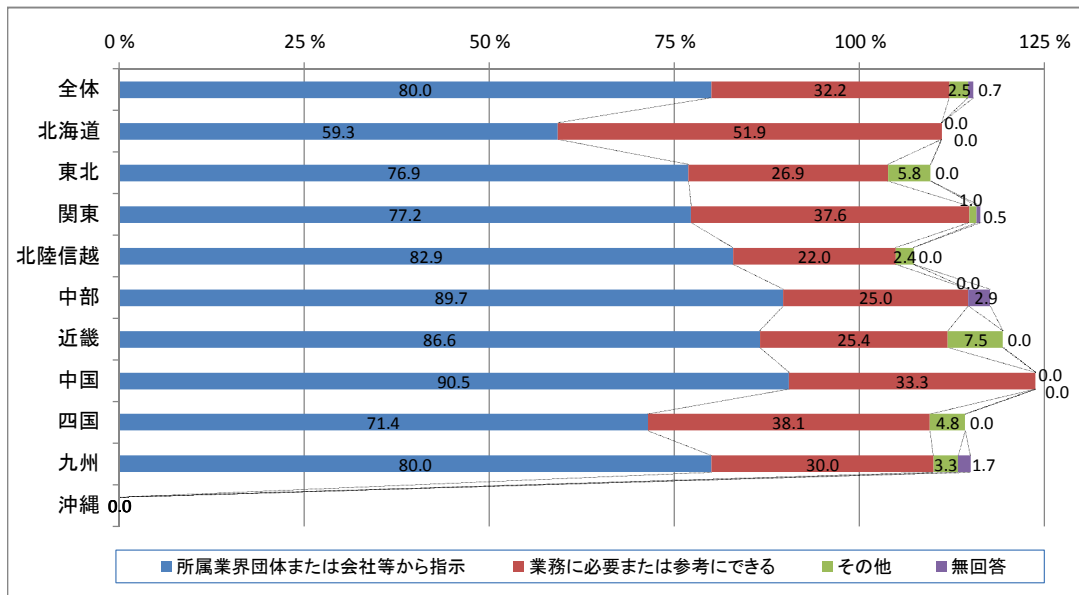
	合計	【質問4】 講習会を知ったきっかけ				無回答
		所属業界団体からの情報、依頼	配付されたリーフレットをみて	全国木造住宅生産体制推進協議会	その他	
全体	559	78.5	11.3	7.7	5.4	0.4
エリア						
北海道	27	59.3	22.2	7.4	7.4	3.7
東北	52	71.2	15.4	9.6	5.8	0.0
関東	202	77.2	10.9	8.9	6.4	0.5
北陸信越	41	78.0	9.8	9.8	2.4	0.0
中部	68	88.2	8.8	4.4	2.9	0.0
近畿	67	85.1	13.4	1.5	3.0	0.0
中国	21	85.7	4.8	4.8	9.5	0.0
四国	21	81.0	14.3	0.0	9.5	0.0
九州	60	76.7	6.7	15.0	5.0	0.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



講習会を知ったきっかけでは、「所属業界団体からの情報、依頼」が78.5%と最も多く、次に「会員になっている業界団体から配付されたリーフレット」が11.3%、「全国木造住宅生産体制推進協議会事務局からの情報」が7.7%の結果であった。中部、近畿、中国地区では「所属業界団体からの情報、依頼」で講習会を知った割合が、他の地区よりも多かったのが目立つ。北海道では「会員になっている業界団体から配付されたリーフレット」をみて講習会を知った割合が多かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問5】参加理由・目的			
		所属業界団体または会社等から指示	業務に必要なまたは参考にてできる	その他	無回答
全体	559	80.0	32.2	2.5	0.7
エリア					
北海道	27	59.3	51.9	0.0	0.0
東北	52	76.9	26.9	5.8	0.0
関東	202	77.2	37.6	1.0	0.5
北陸信越	41	82.9	22.0	2.4	0.0
中部	68	89.7	25.0	0.0	2.9
近畿	67	86.6	25.4	7.5	0.0
中国	21	90.5	33.3	0.0	0.0
四国	21	71.4	38.1	4.8	0.0
九州	60	80.0	30.0	3.3	1.7
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0

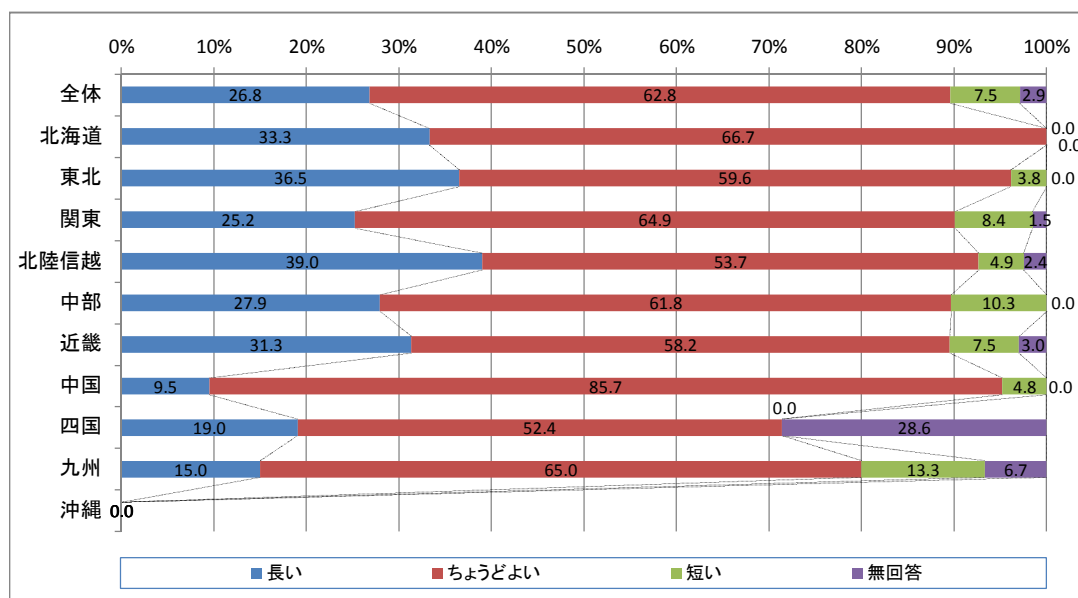


講習会への参加理由・目的では、「所属業界団体、会社等から指示」が80.0%と最も多く、次に「業務に必要なまたは参考にてできる」が32.2%、「その他」が2.5%の結果であった。

中部、中国地区では「所属業界団体、会社等から指示」で、講習会に参加した理由が他の地区よりも多かったのが目立つ。北海道では「業務に必要なまたは参考にてできる」の理由で講習会に参加した割合が多かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

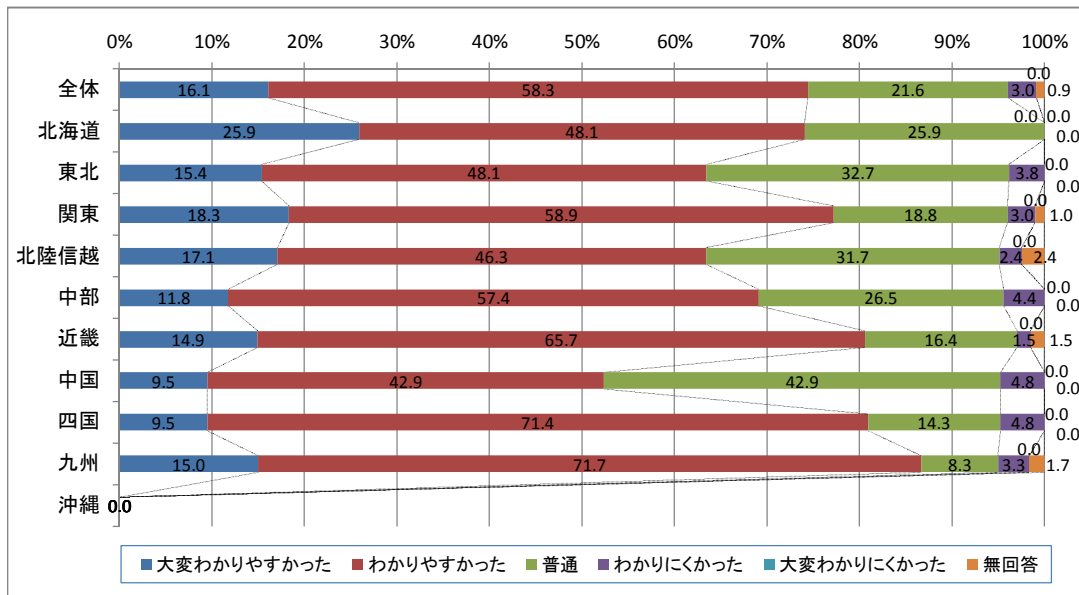
	合計	【質問6】 講義時間			
		長い	ちょうどよい	短い	無回答
全体	559	26.8	62.8	7.5	2.9
エリア					
北海道	27	33.3	66.7	0.0	0.0
東北	52	36.5	59.6	3.8	0.0
関東	202	25.2	64.9	8.4	1.5
北陸信越	41	39.0	53.7	4.9	2.4
中部	68	27.9	61.8	10.3	0.0
近畿	67	31.3	58.2	7.5	3.0
中国	21	9.5	85.7	4.8	0.0
四国	21	19.0	52.4	0.0	28.6
九州	60	15.0	65.0	13.3	6.7
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0



講義時間においては、「ちょうどよい」と感じた割合が62.8%で最も多く、「長い」が26.8%、「短い」と感じた割合は7.5%であった。
 中国地区では「ちょうどよい」と回答した割合が、他の地区よりも多かったのが目立つ。
 北陸信越、東北地区では、他の地区より講義時間が「長い」と感じた割合が多かった。
 九州では他の地区より、講義時間が「短い」と感じた割合が多かったのが目立つ。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問7】 講義用のツール(テキスト)						わかりやすい(計)
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答	
全体	559	16.1	58.3	21.6	3.0	0.0	0.9	74.4
エリア								
北海道	27	25.9	48.1	25.9	0.0	0.0	0.0	74.1
東北	52	15.4	48.1	32.7	3.8	0.0	0.0	63.5
関東	202	18.3	58.9	18.8	3.0	0.0	1.0	77.2
北陸信越	41	17.1	46.3	31.7	2.4	0.0	2.4	63.4
中部	68	11.8	57.4	26.5	4.4	0.0	0.0	69.1
近畿	67	14.9	65.7	16.4	1.5	0.0	1.5	80.6
中国	21	9.5	42.9	42.9	4.8	0.0	0.0	52.4
四国	21	9.5	71.4	14.3	4.8	0.0	0.0	81.0
九州	60	15.0	71.7	8.3	3.3	0.0	1.7	86.7
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



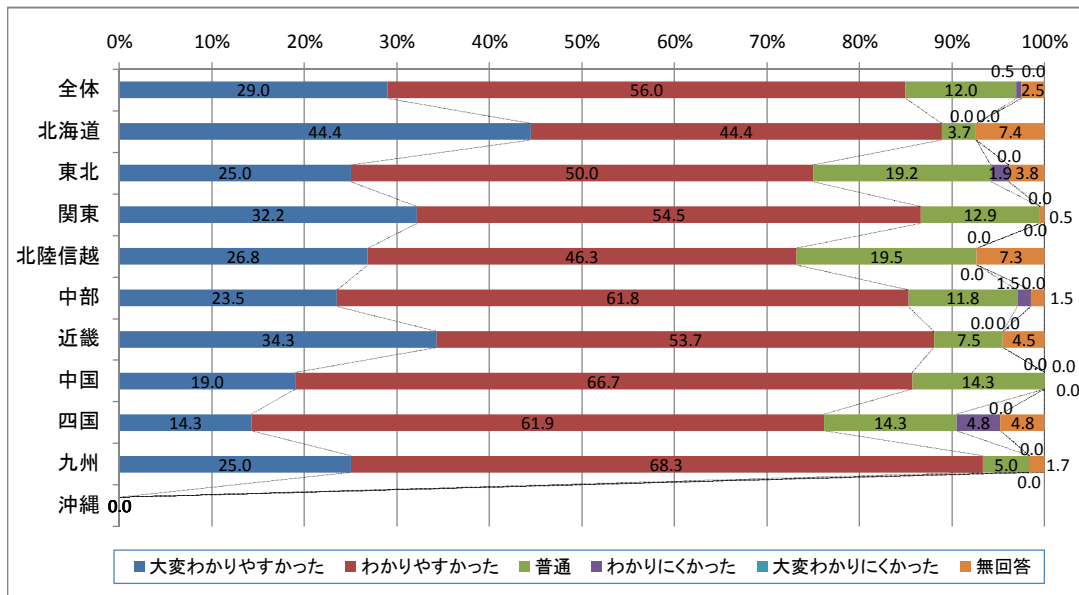
講義用のテキストにおいては、「大変わかりやすかった」が16.1%、「わかりやすかった」が58.3%で、全体の74.4%が「わかりやすかった」と回答した。

九州、四国、近畿地区では「わかりやすい」と回答した割合が、全体平均よりも5ポイント以上高かった。

逆に中国地区では「わかりやすい」と回答した割合が最も低く、全体平均より22ポイントも低かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

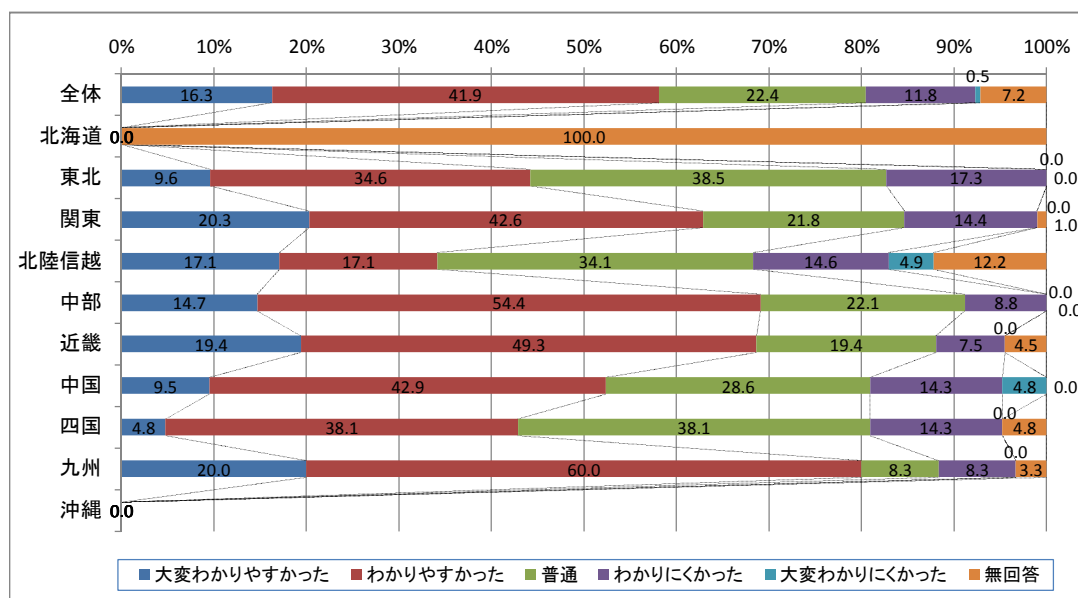
	合計	【質問7】 講義用のツール(DVD)						わかりやすい(計)
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答	
全体	559	29.0	56.0	12.0	0.5	0.0	2.5	85.0
エリア								
北海道	27	44.4	44.4	3.7	0.0	0.0	7.4	88.9
東北	52	25.0	50.0	19.2	1.9	0.0	3.8	75.0
関東	202	32.2	54.5	12.9	0.0	0.0	0.5	86.6
北陸信越	41	26.8	46.3	19.5	0.0	0.0	7.3	73.2
中部	68	23.5	61.8	11.8	1.5	0.0	1.5	85.3
近畿	67	34.3	53.7	7.5	0.0	0.0	4.5	88.1
中国	21	19.0	66.7	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7
四国	21	14.3	61.9	14.3	4.8	0.0	4.8	76.2
九州	60	25.0	68.3	5.0	0.0	0.0	1.7	93.3
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



講義用のDVDIにおいては、「大変わかりやすかった」が29.0%、「わかりやすかった」が56.0%で、全体の85.0%が「わかりやすかった」と回答した。
九州、北海道、近畿地区では「わかりやすい」と回答した割合が高く、特に九州では93.3%が「わかりやすかった」と回答した。
逆に北陸信越、東北、四国地区では「わかりやすい」と回答した割合が低く、全体平均より約10ポイント以上も低かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問7】 講義用のツール(カットモデル)						わかりやすい(計)
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答	
全体	559	16.3	41.9	22.4	11.8	0.5	7.2	58.1
エリア								
北海道	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
東北	52	9.6	34.6	38.5	17.3	0.0	0.0	44.2
関東	202	20.3	42.6	21.8	14.4	0.0	1.0	62.9
北陸信越	41	17.1	17.1	34.1	14.6	4.9	12.2	34.1
中部	68	14.7	54.4	22.1	8.8	0.0	0.0	69.1
近畿	67	19.4	49.3	19.4	7.5	0.0	4.5	68.7
中国	21	9.5	42.9	28.6	14.3	4.8	0.0	52.4
四国	21	4.8	38.1	38.1	14.3	0.0	4.8	42.9
九州	60	20.0	60.0	8.3	8.3	0.0	3.3	80.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



講義用のカットモデルにおいては、「大変わかりやすかった」が16.3%、「わかりやすかった」が41.9%で、全体の58.1%が「わかりやすかった」と回答した。

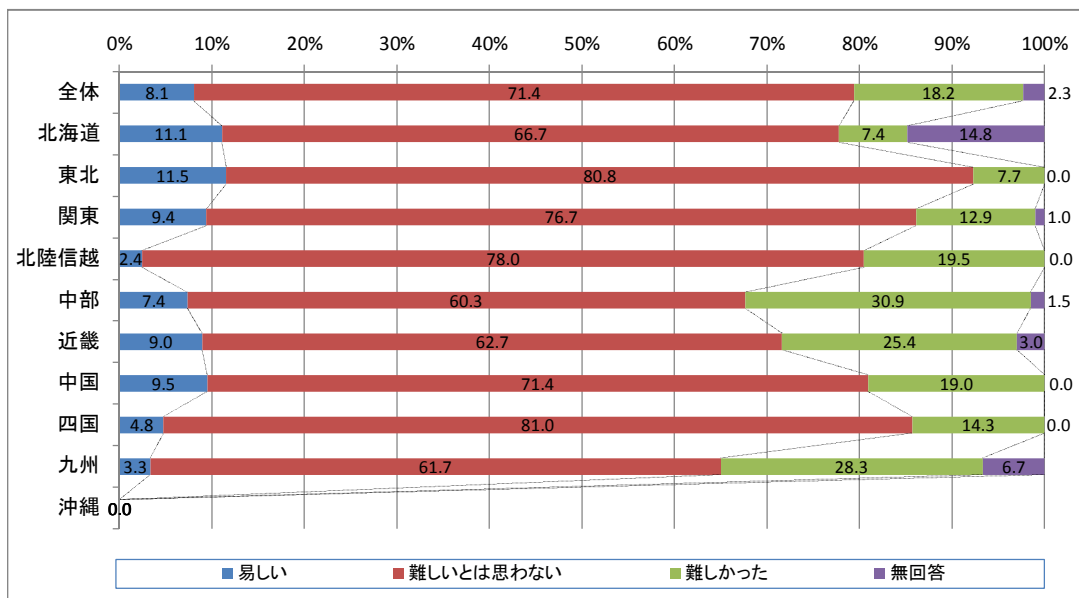
九州、中部、近畿地区では「わかりやすい」と回答した割合が高く、特に九州では80.0%が「わかりやすかった」と回答した。

逆に北陸信越、四国、東北地区では「わかりやすい」と回答した割合が低く、全体平均より約10ポイント以上も低かった。

北海道では講義用のツールとして「カットモデル」は使用しなかったため、全て回答は無回答である。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問8】 講義内容 8-1. これからの住まいの省エネ化			
		易しい	難しいとは思わない	難しかった	無回答
全体	559	8.1	71.4	18.2	2.3
エリア					
北海道	27	11.1	66.7	7.4	14.8
東北	52	11.5	80.8	7.7	0.0
関東	202	9.4	76.7	12.9	1.0
北陸信越	41	2.4	78.0	19.5	0.0
中部	68	7.4	60.3	30.9	1.5
近畿	67	9.0	62.7	25.4	3.0
中国	21	9.5	71.4	19.0	0.0
四国	21	4.8	81.0	14.3	0.0
九州	60	3.3	61.7	28.3	6.7
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0



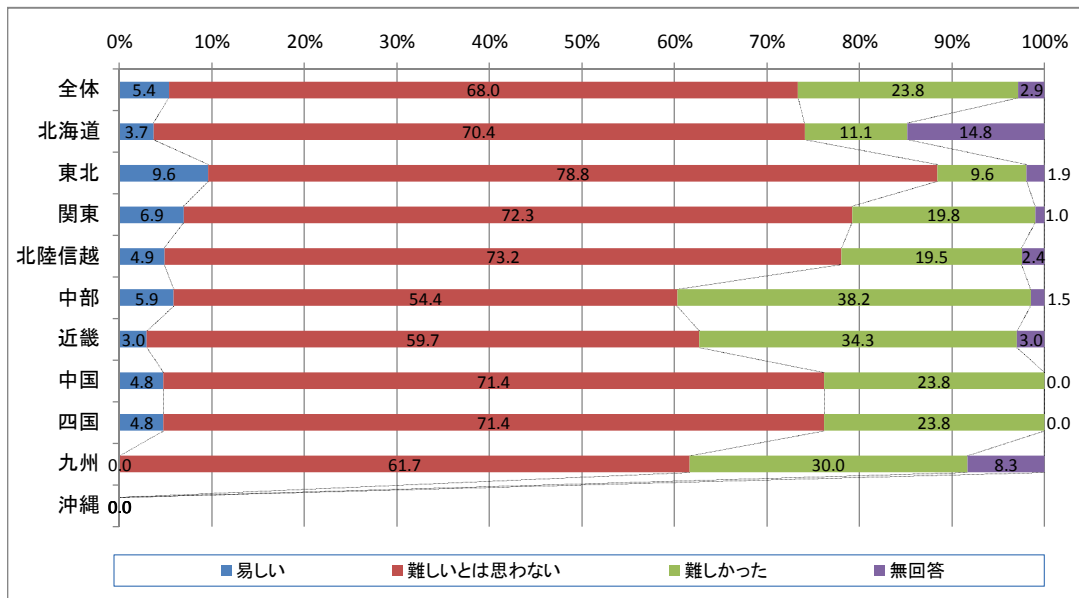
講義内容の『これからの住まいの省エネ化』においては、「易しい」が8.1%、「難しいとは思わない」が71.4%、「難しい」が18.2%の結果であった。

「易しい」と回答した割合をみると、北海道、東北地区では全体平均より約3ポイントも高く、「易しい」と感じた割合が高かった。

「難しい」と回答した割合をみると、中部、九州地区では全体平均より約10ポイント以上も高く、「難しい」と感じた割合が高かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

		【質問8】 講義内容 8-2. 省エネ住宅の設計/施工				
合計		易しい	難しいとは思わない	難しかった	無回答	
全体	559	5.4	68.0	23.8	2.9	
エリア	北海道	27	3.7	70.4	11.1	14.8
	東北	52	9.6	78.8	9.6	1.9
	関東	202	6.9	72.3	19.8	1.0
	北陸信越	41	4.9	73.2	19.5	2.4
	中部	68	5.9	54.4	38.2	1.5
	近畿	67	3.0	59.7	34.3	3.0
	中国	21	4.8	71.4	23.8	0.0
	四国	21	4.8	71.4	23.8	0.0
	九州	60	0.0	61.7	30.0	8.3
	沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0



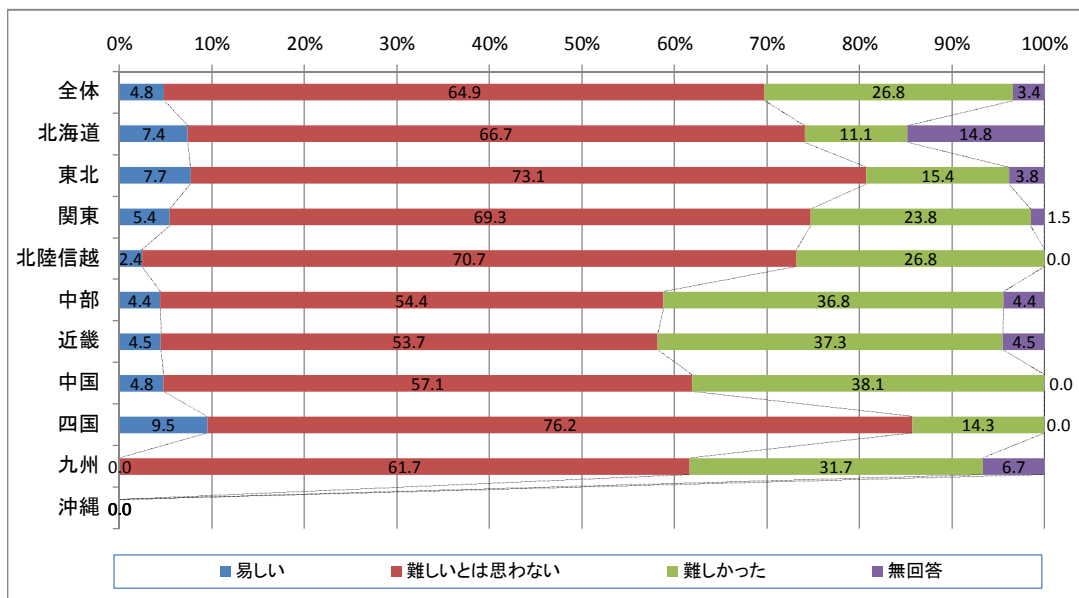
講義内容の『省エネ住宅の設計/施工』においては、「易しい」が5.4%、「難しいとは思わない」が68.0%、「難しい」が23.8%の結果であった。

「易しい」と回答した割合をみると、東北地区では全体平均より4.2ポイントも高く、「易しい」と感じた割合が高かった。

「難しい」と回答した割合をみると、中部、近畿地区では全体平均より約10ポイント以上も高く、「難しい」と感じた割合が高かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

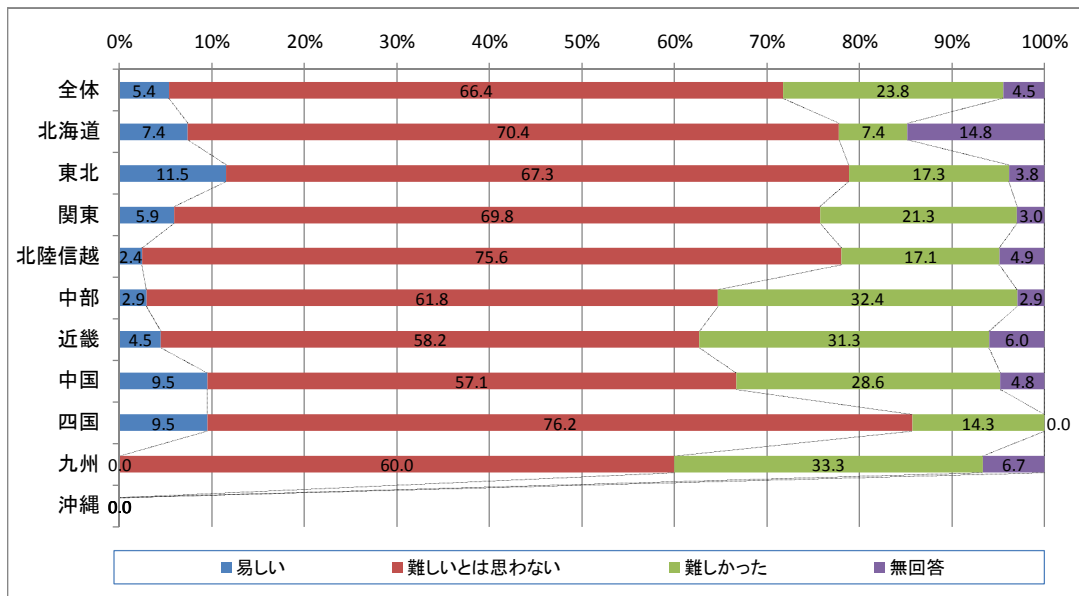
		【質問8】 講義内容 8-3. 省エネ基準と関連制度				
合計		易しい	難しいとは思わない	難しかった	無回答	
全体	559	4.8	64.9	26.8	3.4	
エリア	北海道	27	7.4	66.7	11.1	14.8
	東北	52	7.7	73.1	15.4	3.8
	関東	202	5.4	69.3	23.8	1.5
	北陸信越	41	2.4	70.7	26.8	0.0
	中部	68	4.4	54.4	36.8	4.4
	近畿	67	4.5	53.7	37.3	4.5
	中国	21	4.8	57.1	38.1	0.0
	四国	21	9.5	76.2	14.3	0.0
	九州	60	0.0	61.7	31.7	6.7
	沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0



講義内容の『省エネ基準と関連制度』においては、「易しい」が4.8%、「難しいとは思わない」が64.9%、「難しい」が26.8%の結果であった。
「易しい」と回答した割合をみると、四国地区では全体平均より4.7ポイントも高く、「易しい」と感じた割合が高かった。
「難しい」と回答した割合をみると、中国、近畿、中部地区では全体平均より約10ポイント以上も高く、「難しい」と感じた割合が高かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

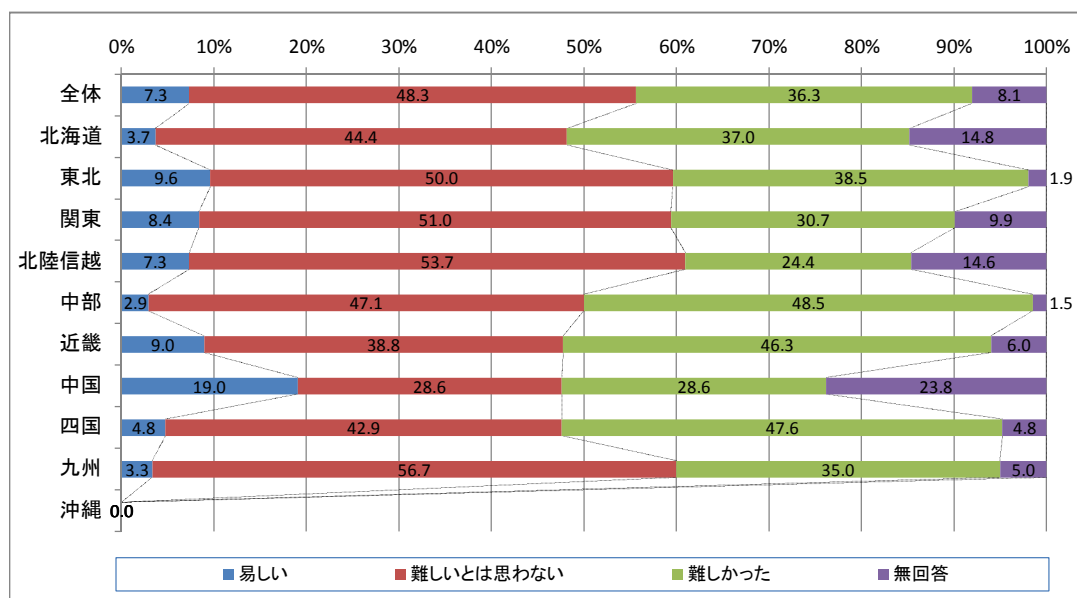
	合計	【質問8】 講義内容 8-4. リフォーム			
		易しい	難しいとは思わない	難しかった	無回答
全体	559	5.4	66.4	23.8	4.5
エリア					
北海道	27	7.4	70.4	7.4	14.8
東北	52	11.5	67.3	17.3	3.8
関東	202	5.9	69.8	21.3	3.0
北陸信越	41	2.4	75.6	17.1	4.9
中部	68	2.9	61.8	32.4	2.9
近畿	67	4.5	58.2	31.3	6.0
中国	21	9.5	57.1	28.6	4.8
四国	21	9.5	76.2	14.3	0.0
九州	60	0.0	60.0	33.3	6.7
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0



講義内容の『リフォーム』においては、「易しい」が5.4%、「難しいとは思わない」が66.4%、「難しい」が23.8%の結果であった。「易しい」と回答した割合をみると、東北、中国、四国地区では全体平均より約4ポイントも高く、「易しい」と感じた割合が高かった。「難しい」と回答した割合をみると、九州、中部、近畿地区では全体平均より約8ポイント以上も高く、「難しい」と感じた割合が高かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

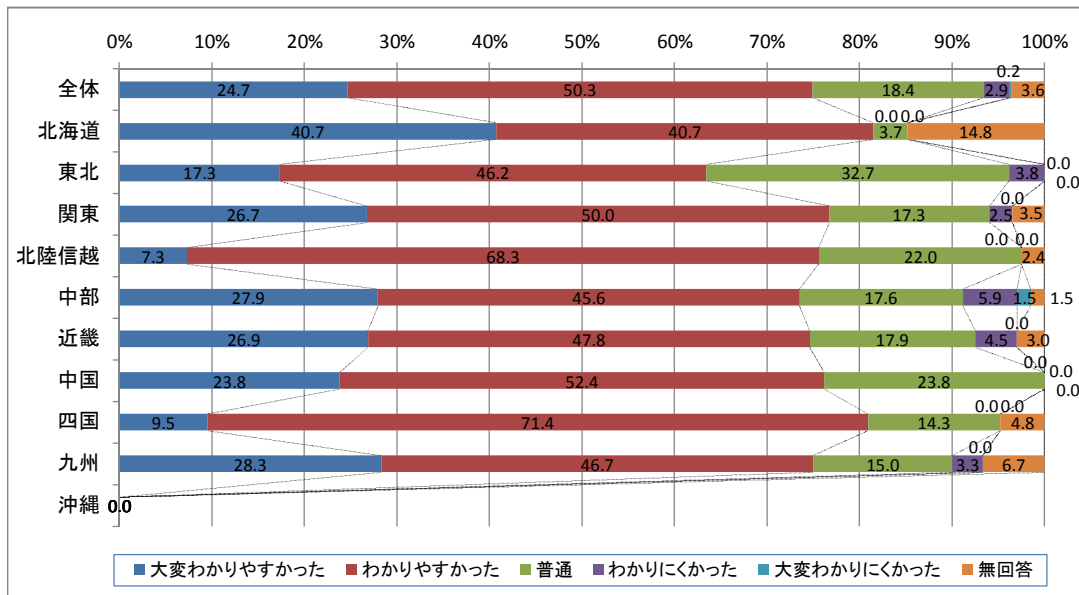
	合計	【質問9】 修了考査			
		易しい	難しいとは思わない	難しかった	無回答
全体	559	7.3	48.3	36.3	8.1
エリア					
北海道	27	3.7	44.4	37.0	14.8
東北	52	9.6	50.0	38.5	1.9
関東	202	8.4	51.0	30.7	9.9
北陸信越	41	7.3	53.7	24.4	14.6
中部	68	2.9	47.1	48.5	1.5
近畿	67	9.0	38.8	46.3	6.0
中国	21	19.0	28.6	28.6	23.8
四国	21	4.8	42.9	47.6	4.8
九州	60	3.3	56.7	35.0	5.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0



『修了考査』においては、「易しい」が7.3%、「難しいとは思わない」が48.3%、「難しい」が36.3%の結果であった。「易しい」と回答した割合をみると、中国地区では全体平均より11.7ポイントも高く、「易しい」と感じた割合が高かった。「難しい」と回答した割合をみると、中部、四国、近畿地区では全体平均より約10ポイント以上も高く、「難しい」と感じた割合が高かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問10】 講義(講師1)						わかりやすい(計)
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答	
全体	559	24.7	50.3	18.4	2.9	0.2	3.6	75.0
エリア								
北海道	27	40.7	40.7	3.7	0.0	0.0	14.8	81.5
東北	52	17.3	46.2	32.7	3.8	0.0	0.0	63.5
関東	202	26.7	50.0	17.3	2.5	0.0	3.5	76.7
北陸信越	41	7.3	68.3	22.0	0.0	0.0	2.4	75.6
中部	68	27.9	45.6	17.6	5.9	1.5	1.5	73.5
近畿	67	26.9	47.8	17.9	4.5	0.0	3.0	74.6
中国	21	23.8	52.4	23.8	0.0	0.0	0.0	76.2
四国	21	9.5	71.4	14.3	0.0	0.0	4.8	81.0
九州	60	28.3	46.7	15.0	3.3	0.0	6.7	75.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



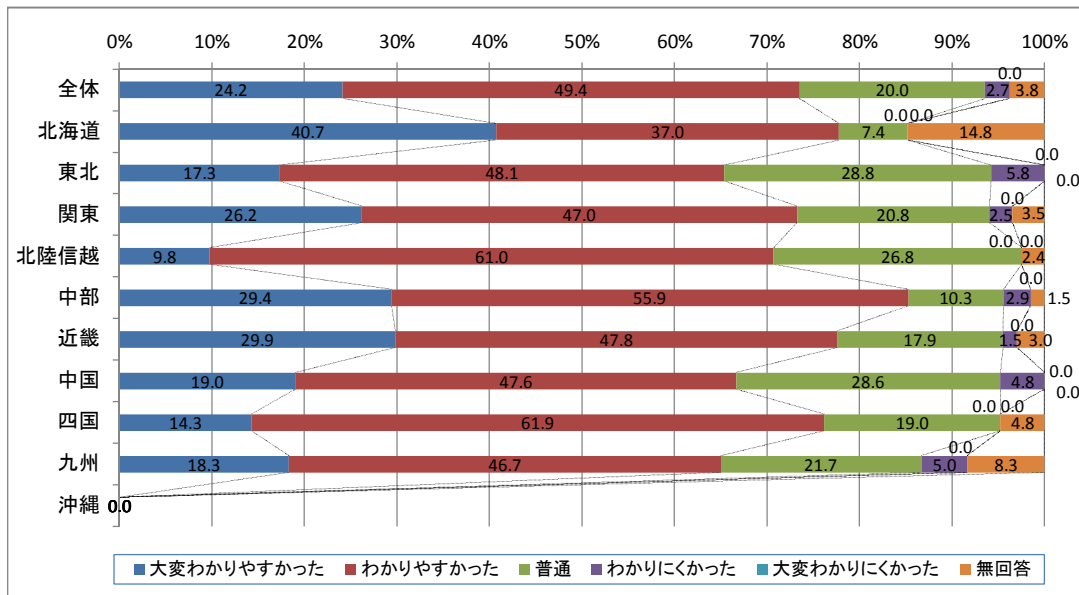
講義の「講師1」の説明においては、「大変わかりやすかった」が24.7%、「わかりやすかった」が50.3%で、全体の75.0%が「わかりやすかった」と回答した。

北海道、四国地区では「わかりやすい」と回答した割合が高く、全体平均より約6ポイント以上も高かった。

逆に東北地区では「わかりやすい」と回答した割合が最も低く、全体平均より11.5ポイントも低かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問10】 講義(講師2)						わかりやすい(計)
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答	
全体	559	24.2	49.4	20.0	2.7	0.0	3.8	73.5
エリア								
北海道	27	40.7	37.0	7.4	0.0	0.0	14.8	77.8
東北	52	17.3	48.1	28.8	5.8	0.0	0.0	65.4
関東	202	26.2	47.0	20.8	2.5	0.0	3.5	73.3
北陸信越	41	9.8	61.0	26.8	0.0	0.0	2.4	70.7
中部	68	29.4	55.9	10.3	2.9	0.0	1.5	85.3
近畿	67	29.9	47.8	17.9	1.5	0.0	3.0	77.6
中国	21	19.0	47.6	28.6	4.8	0.0	0.0	66.7
四国	21	14.3	61.9	19.0	0.0	0.0	4.8	76.2
九州	60	18.3	46.7	21.7	5.0	0.0	8.3	65.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



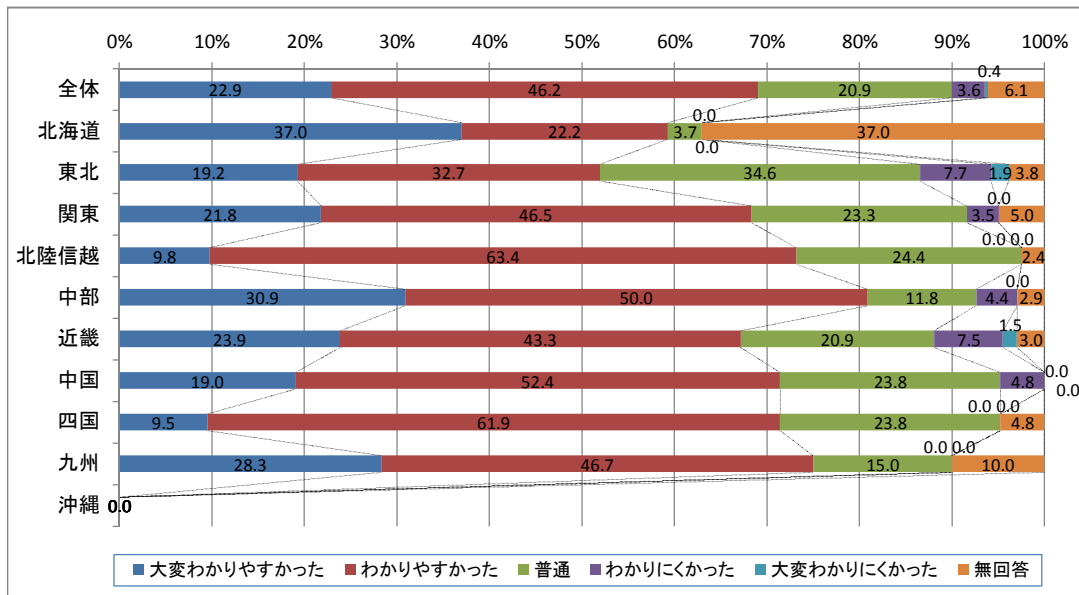
講義の「講師2」の説明においては、「大変わかりやすかった」が24.2%、「わかりやすかった」が49.4%で、全体の73.5%が「わかりやすかった」と回答した。

中部地区では「わかりやすい」と回答した割合が高く、全体平均より11.8ポイントも高かった。

逆に九州、東北、中国地区では「わかりやすい」と回答した割合が最も低く、全体平均より約7ポイント以上も低かった。

■「講習会」に関するアンケート(クロス集計)

	合計	【質問10】 講義(講師3)						わかりやすい(計)
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答	
全体	559	22.9	46.2	20.9	3.6	0.4	6.1	69.1
エリア								
北海道	27	37.0	22.2	3.7	0.0	0.0	37.0	59.3
東北	52	19.2	32.7	34.6	7.7	1.9	3.8	51.9
関東	202	21.8	46.5	23.3	3.5	0.0	5.0	68.3
北陸信越	41	9.8	63.4	24.4	0.0	0.0	2.4	73.2
中部	68	30.9	50.0	11.8	4.4	0.0	2.9	80.9
近畿	67	23.9	43.3	20.9	7.5	1.5	3.0	67.2
中国	21	19.0	52.4	23.8	4.8	0.0	0.0	71.4
四国	21	9.5	61.9	23.8	0.0	0.0	4.8	71.4
九州	60	28.3	46.7	15.0	0.0	0.0	10.0	75.0
沖縄	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



講義の「講師3」の説明においては、「大変わかりやすかった」が22.9%、「わかりやすかった」が46.2%で、全体の69.1%が「わかりやすかった」と回答した。

九州、北陸信越地区では「わかりやすい」と回答した割合が高く、全体平均より約4ポイント以上も高かった。

逆に東北地区では「わかりやすい」と回答した割合が最も低く、全体平均より17.2ポイントも低かった。

■「講習会」に関するアンケート(講義内容について)

【質問8-1】これからの住まいの省エネ化...(MA)

No.	カテゴリー名	全体	難しかった	易しかった
1	施行が難しい/手間がかかる	13	8	5
2	施行法の種類が多い	2	2	0
3	現場施工者の理解・技術が必要	24	11	13
4	自身が現場を知らない・施工をしないので	3	3	0
5	コストがかかる/高い	14	9	5
6	在来工法との違いが大きい	2	2	0
7	施工おさまりが不明/難しい	6	6	0
8	ユーザーニーズと合っているか疑問	4	4	0
9	基準・対象が難しい	2	2	0
10	なれるまでは難しい/やってみないとわからない/初めて聞く内容なので	3	3	0
11	内容が多すぎる	4	2	2
12	内容が難しい	5	5	0
13	既に知っている/行っている内容だったから	60	0	60
14	一般論/簡単な内容/常識なので	23	0	23
15	必要なことだから/ニーズがあるから	28	0	28
16	内容が理解できたから/内容が絞られているので	16	0	16
17	既に同様の講習を受けているので	2	0	2
18	施主の理解を得る様に行かない	2	0	2
19	業界全体の理解が必要	3	0	3
20	教材がよい/よくなったので	16	0	16
21	講習がわかりやすいので	8	0	8
22	もう少し詳細な資料が欲しい	3	0	3
23	省エネ化は今後もっと普及するであろう	9	0	9
24	その他疑問	3	3	0
25	その他感想	15	8	7
26	特になし	2	0	2
	無回答	309	45	251
	全体	559	102	444

■「講習会」に関するアンケート(講義内容について)

【質問8-2】省エネ住宅の設計/施工...(MA)

No.	カテゴリー名	全体	難しかった	易しかった
1	実行が難しい/手間がかかる	29	19	9
2	現場施工者の理解・技術が必要	41	13	28
3	自身が現場を知らない・施工をしないので	11	11	0
4	実際にやってみないとわからない/やったことがないから	4	4	0
5	設計と施工にギャップがある	9	9	0
6	実行納まりが難しい	5	2	3
7	ケースバイケースだから	3	3	0
8	コストがかかる/高い	6	1	5
9	設計、施工、管理を通じた理解が必要	2	2	0
10	図面(詳細図)の表現方法	1	1	0
11	設計が複雑になる	1	1	0
12	在来工法との違いが大きい	1	1	0
13	いろいろな方法があるから	2	2	0
14	内容が難しい・多い	6	6	0
15	初めて聞く/知らない内容なので	3	3	0
16	既に知っている/行っている内容だったから	57	0	57
17	一般論/簡単な内容/常識なので	15	0	14
18	必要なことだから/ニーズがあるから	7	0	7
19	内容が理解できたから	9	0	9
20	既に同様の講習を受けているので	2	0	2
21	業界全体/施主の理解が必要	2	0	2
22	教材がよい/よくなったので	11	1	10
23	講習がわかりやすいので	5	0	5
24	こういった講習で施工のレベル向上を図れそう	2	0	2
25	施工現場の声を聞くべき	2	0	2
26	よりわかりやすい教材・講習が必要	2	0	2
27	難しいことではない/できること	9	0	8
28	その他疑問	4	3	1
29	その他要望	8	4	4
30	その他感想	14	2	12
31	特になし	1	0	1
32	分類不能	4	0	4
	無回答	298	49	235
	全体	559	133	410

■「講習会」に関するアンケート(講義内容について)

【質問8-3】省エネ基準と関連制度...(MA)

No.	カテゴリー名	全体	難しかった	易しかった
1	施行が難しい/手間がかかる	4	2	2
2	自身が現場を知らない・施工をしないので	3	3	0
3	普段携わらない内容なので・不慣れだから	3	3	0
4	現場施工者の理解・技術が必要	9	4	5
5	法・制度に疑問/種類が多い/あいまい	21	17	4
6	多様な内容(施工方法・材料など)なので	4	4	0
7	用語が難しい・沢山ある	2	2	0
8	自分の知識が少ない・勉強不足だから	6	5	1
9	計算が難しい	2	2	0
10	〇〇が難しい	5	4	1
11	わからなかった・難しい	7	7	0
12	既に知っている/行っている内容だったから	45	0	45
13	一般論/簡単な内容/常識なので	5	0	5
14	必要なことだから/ニーズがあるから	3	0	3
15	内容が理解できたから	11	0	11
16	内容が難しくないなので	6	0	6
17	教材がよかったので	5	0	5
18	既に同様の講習を受けているので	4	0	4
19	講習がわかりやすいので	4	0	4
20	まだ実感していない・意識していない	2	2	0
21	講習内容・資料・テキスト類の改善要望	9	5	4
22	その他要望	6	3	3
23	その他感想	21	9	12
24	分類不能	7	3	4
	無回答	370	75	276
	全体	559	150	390

■「講習会」に関するアンケート(講義内容について)

【質問8-4】リフォームについて...(MA)

No.	カテゴリー名	全体	難しかった	易しかった
1	施行が難しい/手間がかかる	21	8	12
2	自身が現場を知らない・施工をしないので	11	9	2
3	施工おさまりが不明/難しい	2	2	0
4	ケースバイケースだから	16	10	4
5	リフォームならではの難しさがある	9	6	3
6	実際の施工現場と机上に違いがある/現実的ではない	24	18	6
7	コストがかかる/高い	12	9	3
8	現場施工者の理解・技術が必要	3	1	2
9	施行法の種類が多い	1	1	0
10	事前調査が難しい	7	6	1
11	既知っている/行っている内容だったから	34	0	34
12	一般論/簡単な内容/常識なので	6	0	6
13	必要なことだから/ニーズがあるから	2	0	2
14	内容が理解できたから	3	0	3
15	設計・施工できると思うので	7	0	7
16	新築と同様なので	14	0	14
17	内容が難しくないなので	1	0	1
18	講習・教材がよかったので	12	0	12
19	講習内容・資料・テキスト類の改善要望	13	7	6
20	その他疑問	5	3	2
21	その他要望	1	1	0
22	その他感想	20	6	13
23	分類不能	3	0	3
24	特になし	1	0	1
	無回答	351	53	277
	全体	559	133	401

■「講習会」に関するアンケート(講義内容について)

【質問9】修了考査について...(MA)

No.	カテゴリー名	全体	難しかった	易しかった
1	時間が足りない・短い	23	17	6
2	設問/選択肢の表現が不適切	15	8	7
3	ひっかけ問題・まぎらわしい内容の問題だから	20	14	6
4	問題が難しい	11	7	4
5	講義内容と出題箇所が合っていない	4	4	0
6	テキストを参照するのが大変だった	8	8	0
7	講義内容が理解できていない/忘れてしまったから	9	9	0
8	わからなかった・不正解だった	5	5	0
9	テキストを参照できるので	37	1	36
10	講習をきいていればわかる内容・理解できていたので	7	0	7
11	常識的・一般的・基本的な内容なので	5	0	5
12	既に行っている内容だったから	3	0	3
13	解答できた	6	0	6
14	時間があつた・時間がちょうどよかつた	2	0	2
15	問題数が少ない	2	0	2
16	要点・重要点の出題だから	2	0	2
17	○×式だった為	2	0	2
18	講習がわかりやすかつたので	4	0	4
19	テキストを参照できなければ答えられなかつた	4	1	3
20	基本的な事が解つた	2	0	2
21	その他要望	4	0	4
22	その他感想	11	5	6
23	特になし	2	0	2
24	分類不能	11	5	6
	無回答	372	125	202
	全体	559	203	311

■「講習会」に関するアンケート(ご意見・ご要望のまとめ)

【質問11】講習会全体についての意見...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	■講習時間についての要望	15	2.7
2	時間が長い	7	1.3
3	時間が短い/説明がかけあし	7	1.3
4	進行時間がルーズ	1	0.2
5	■会場についての要望	25	4.5
6	会場が遠い・不便	9	1.6
7	会場が暑い・冷房が欲しい	9	1.6
8	会場が寒い・空調が効きすぎ	2	0.4
9	会場が狭い	4	0.7
10	会場の設備が悪い	2	0.4
11	扇風機がうるさい	2	0.4
12	会場案内が間違っていた	3	0.5
13	弁当が欲しい・食事を調達できる場所がない	5	0.9
14	■資料・テキスト類が良い	9	1.6
15	資料(模型・DVD)が良い・わかりやすい	4	0.7
16	テキストが良い・わかりやすい	5	0.9
17	■資料・テキスト類の改善要望	43	7.7
18	パワーポイント・スライドの要望	7	1.3
19	模型の改善要望	15	2.7
20	DVD・映像の改善要望	5	0.9
21	テキスト冊子の改善要望	9	1.6
22	その他資料への要望	6	1.1
23	資料についての具体的疑念	6	1.1
24	■講習内容の改善要望	51	9.1
25	C講習についての改善要望	13	2.3
26	地域性に配慮すべき	4	0.7
27	講師が早口・聞き取りにくい・声が小さい	6	1.1
28	その他講習についての改善要望	39	7.0
29	自分が講師をすることに不安を感じた	12	2.1
30	疑問点の受け皿・意見交換の場・勉強会等が欲しい	5	0.9
31	説明が丁寧・わかりやすい	2	0.4
32	省エネ基準・省エネ施策全体についての意見	15	2.7
33	その他講習会の感想	2	0.4
34	良かった・ためになった・勉強になった	15	2.7
35	謝意	18	3.2
36	特になし	7	1.3
	無回答	363	64.9
	全体	559	100.0

■「講習会」に関するアンケート(ご意見・ご要望のまとめ)

質問11. 講習会全体についての意見(大分類)...(MA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	講習内容の改善要望	51	9.1
2	資料・テキスト類の改善要望	43	7.7
3	会場についての要望	25	4.5
4	謝意	18	3.2
5	講習時間についての要望	15	2.7
6	資料・テキスト類が良い	9	1.6
7	特になし	7	1.3
	全体	559	100.0

質問11. 講習会全体についての意見(詳細)...(MA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	講習についての改善要望	39	7.0
2	謝意	18	3.2
3	模型の改善要望	15	2.7
4	省エネ基準・省エネ施策全体についての意見	15	2.7
5	良かった・ためになった・勉強になった	15	2.7
6	C講習についての改善要望	13	2.3
7	自分が講師をすることに不安を感じた	12	2.1
8	会場が遠い・不便	9	1.6
9	会場が暑い・冷房が欲しい	9	1.6
10	テキスト冊子の改善要望	9	1.6
11	時間が長い	7	1.3
12	時間が短い/説明がかけあし	7	1.3
13	パワーポイント・スライドの要望	7	1.3
14	その他資料への要望	6	1.1
15	資料についての具体的疑念	6	1.1
16	講師が早口・聞き取りにくい・声が小さい	6	1.1
17	弁当が欲しい・食事を調達できる場所がない	5	0.9
18	テキストが良い・わかりやすい	5	0.9
19	DVD・映像の改善要望	5	0.9
20	疑問点の受け皿・意見交換の場・勉強会等が欲しい	5	0.9
21	会場が狭い	4	0.7
22	資料(模型・DVD)が良い・わかりやすい	4	0.7
23	地域性に配慮すべき	4	0.7
24	会場案内が間違っていた	3	0.5
25	会場が寒い・空調が効きすぎ	2	0.4
26	会場の設備が悪い	2	0.4
27	扇風機がうるさい	2	0.4
28	説明が丁寧・わかりやすい	2	0.4
29	その他講習会の感想	2	0.4
30	進行時間がルーズ	1	0.2
31	特になし	7	1.3
	全体	559	100.0

以下、各質問の自由記述の一覧。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問1】業種...(MA)

7. その他

研究所	6
確認検査機関	3
住宅性能評価機関	3
団体	3
コンサルタント	2
民間確認検査機関	2
独立行政法人	2
NPO法人	2
住宅金融支援機構	2
財団・社団	2
評価機関	2
登録住宅性能評価機関	1
団体事務局(工務店)	1
大工	1
審査・検査機関	1
地域事務局	1
岐阜県木材協同組合連合会	1
大学	1
住宅供給公社	1
教育	1
(財)建築住宅センター	1
断熱工事会社	1
組合	1
調査・診断	1
窓メーカー	1
一般財団法人	1
総合設備メーカー	1
石川県建築住宅総合センター	1
瑕疵保険法人	1
専門学校教員	1
全建総連(福建労)	1

【質問2】職種...(MA)

7. その他

審査、検査	10
コンサルタント	2
申請図書審査	2
理事長	1
専門学校教員	1
性能評価員	1
施工/設計技術支援	1
団体事業運営	1
事務局	1
プレカット設計	1
住宅行政の企画	1
設計、監理	1
住宅性能評価機関	1
全般行方	1
省エネ委員会事務局	1
評価(住宅性能)審査、検査	1
教育	1
瑕疵担保保険受付	1
技術情報サービス	1
建築行政	1
申請補佐	1

【質問4】講習会を知ったきっかけ...(MA)

4. その他

建築士会	7
全建連	2
地域協議会からの要請	1
NPO長期住宅保証支援センター	1
愛媛中小建築業協会からの依頼	1
北方型ECO推進協議会より	1
会員になっている業界団体からの依頼	1
上司から	1
会社	1
組合	1
業界団体からの推せん	1
東京都防災、建築まちづくりセンターより紹介	1
熊本県優良住宅協会	1
IBEC・JSBCからの情報	1
Ibec	1
事務所協会	1

【質問5】参加理由・目的...(MA)

3. その他

C講習の講師として	3
サポート上必要	1
愛媛中小建築業協会からの指示	1
建築士会の講習会の講師になるため	1
建築住宅センターからの依頼	1
講師の方に直接意見をうかがいたいことがあった為	1
窓ガラスの高断熱化の動きを把握するため。	1
地域協議会からの要請	1

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-1. これからの住まいの省エネ化...(SA)
そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しかった	◎従来の伝統的在来工法とずい分異なるので◎コスト増が相当になる。
難しかった	300㎡以上の住宅が対称で有ると云う事が、引かかる。
難しかった	頭の中で施工おさまりが、出てこないところもあったから
難しかった	雨仕舞とからめると、問題点が多い。・地域性を考える必要がある
難しかった	以前の高気密高断熱を推奨した結果化学物質によるシックハウス問題が起きたように、省エネ化を推奨することによる問題点がこれから出てくると思う。(結露だとか…)
難しかった	一般では、無理。
難しかった	大きな所はOK。しかし、問題のこまかい所が重要。そこが現場で施工できるか問題。
難しかった	各断熱部位のウエイトをどのように考えるべきかが難しい。
難しかった	技術的に施工方法がめんどろだ
難しかった	基準が複雑で理解するのに大変
難しかった	基準の変化
難しかった	基準も施工法も明確である(多様ではあるが)
難しかった	机上ではなく現場で実際にすることだから
難しかった	具体的な施工をした経験が無いため
難しかった	国の施策と我々の意識が同じ方向にむかう必要があると思う。
難しかった	経済状況と、コストアップ。省エネの効果が見えにくい手法。
難しかった	現実にやってみて。
難しかった	現場の大工さんへうまく伝えられるかが不安
難しかった	構造材の乾燥の現状について
難しかった	コストupとなる
難しかった	コスト高になるのではないかな？
難しかった	こまかいところまで連続でというのは、難しいと思います。
難しかった	今回の講義の内容を現場の大工が理解出来るのか？
難しかった	根拠に信頼性があるのか疑問(化石燃料、地域温暖化、エネルギー資源について)
難しかった	在来の頭で仕事をしていた。新しい知しきがいってよかった。
難しかった	在来の考え方とマッチしない
難しかった	実際、仕事の手順が増えることや、金額的な事、住まい手のおサイフを考えるとけわしいのではないかと思っている
難しかった	実際の施工とのギャップがあるかと思えます。
難しかった	省エネ化に対するコストup-低価格を求めるニーズとのギャップ
難しかった	省エネ化の内容は難しいとは思わないが次の質問の内容にもあるが実際施工する方は、どれだけ浸透しているかが問題
難しかった	省エネ化は、設計も施工も施主もが努力してやっと省エネ化できるものだと感じました。
難しかった	省エネ化はよいが室中防湿フィルムに囲まれた室が住みやすいかについて。
難しかった	全ての住宅を省エネ化は難しいと思うので。内容的にはよく理解できた
難しかった	施工が困難な部分がある。
難しかった	施工が大変だ
難しかった	施工が難しいと思う。
難しかった	施工業者に理解させることは困難
難しかった	施工現場をあまりよく見ないため
難しかった	施工者の力に差が出るのでは。
難しかった	設計サイドと現場サイドが同じレベルで動けるかどうか？
難しかった	多様な施工方法があるので覚えられない。
難しかった	断熱性能等、施工が難しいと感じた。
難しかった	地場工務店の現状では、数値的なものはもちろん、手間のかかることをいやがる傾向があるため、その人たちにどう講義していけるかが難しいとおもう。
難しかった	手間がかかり、建設コストがあがるので、どこまでやれるのかと思う。
難しかった	内容が多く、理解しきれない。
難しかった	内容が多すぎて、時間がたらない。
難しかった	なれるまでは
難しかった	初めて聞く話ばかり
難しかった	費用(予算)・おさま(防水関係)
難しかった	防湿、気密を取るためのディテールを徹底させる事が難しく感じました。
難しかった	まだまだ学ばなければならない事が多いと感じました
難しかった	末端の技能者の理解育成が鍵となる。
難しかった	ユーザーの意識と合致できるかという疑義があります。
難しかった	用語や数字が多いと思う。
難しかった	予算の問題と耐震との関係
難しかった	理解に時間がかかる
難しかった	現場施工をおこなっていないので施工部分が難しかったです。
難しいとは思わない	「住宅に断熱が必要。」と意識が広がっている。
難しいとは思わない	Ⅲ地域にあっても、当然やっていくべき事であるから「難しい」と言ってられない。
難しいとは思わない	あたり前の事なので。
難しいとは思わない	以前にくらべて、かなり理解しやすくなっている。但し施主の理解を得る様にして行かないといけない。
難しいとは思わない	一般常識としてある程度の認知があるため
難しいとは思わない	一般的な事を資料に基づき、進めて行くので、難しいとは思わないが、時間的に長い→内容が多い
難しいとは思わない	一般的な断熱講習会であると感じた
難しいとは思わない	一般的な内容であった為
難しいとは思わない	一般的に知られた情報であるから
難しいとは思わない	一般の大工さんが、理解できるか、疑問に思います。
難しいとは思わない	一般向けでもっと分かりやすい資料テキストもあったと思います。
難しいとは思わない	一般論としては難しいとは思わないが大工技能者としての関心は低いのでは
難しいとは思わない	いつもの仕事の延長上だからです。
難しいとは思わない	今の現在の私どもの現場の工法はほぼこれにそなわっている。
難しいとは思わない	今まである程度してるから、これから徹底していかなければならないと思います
難しいとは思わない	今まで聞いていた内容
難しいとは思わない	今まで設計、施工の経験があるため。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-1. これからの住まいの省エネ化...(SA)

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しいとは思わない	イラスト等が充実していてわかりやすい。
難しいとは思わない	上手くまとめてあったと思います。
難しいとは思わない	エネルギーに対する関心が高まっている分、省エネ化は必然と感じているので。
難しいとは思わない	教える立場としての理解がある程度できたと思う
難しいとは思わない	が、相当の周知徹底が必要かと思えます(業者に対して)
難しいとは思わない	各メーカーで開発してくれるので
難しいとは思わない	必ず省エネ化はしなければいけないし、勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	環境面から考え、次世代に必要なものと考え
難しいとは思わない	既知の内容がほとんどであったため(再認識できたことは良)
難しいとは思わない	基本的な考え方が理解できた。
難しいとは思わない	基本的な事項はテキストに載っていて、基本を実践する為の内容はテキストに、載っていると理解した。
難しいとは思わない	業界の者もお客様も今は比較的省エネに興味を持っていると思うから。
難しいとは思わない	教本と、先生の講義とで解り易かったです。
難しいとは思わない	業務で行なっている
難しいとは思わない	業務の中で知識としてある程度入っているため。
難しいとは思わない	近年は一般化して来ています。
難しいとは思わない	経験した事があるので
難しいとは思わない	現在、設計に取り組んでいる。
難しいとは思わない	現在、近い方法で施工している
難しいとは思わない	現在の仕事にて行っているため
難しいとは思わない	現在の仕様に近いものだったので
難しいとは思わない	現在もおこなっています。
難しいとは思わない	現在やっていることだから
難しいとは思わない	現状で設計、施工していますので、難しいとは思わない。
難しいとは思わない	現仕様とほぼ同じだったので
難しいとは思わない	現に高気密高断熱住宅の設計、施工をしています。
難しいとは思わない	講師が良い
難しいとは思わない	講師がよく勉強なさっていらっしゃる。
難しいとは思わない	工事費がどれだけupするか不安。
難しいとは思わない	講習自体は理解できるがすべての大工技能者が省エネ化を正しく獲得するのは1日の講習ではむずかしい
難しいとは思わない	高断熱、高気密、計画換気の設計を仕事としてやっているの。
難しいとは思わない	個人的な感想で有る。但し、職人さんには一部難しい所が有ると思う
難しいとは思わない	コスト面で難しく感じました
難しいとは思わない	細かな施工技術部分に於いて、困難と思われる部分もあるが、工夫次第で、これを克服できると思う
難しいとは思わない	これからの時代に必要なのである
難しいとは思わない	これからの地球上ではかかさない事だと思ふし、今から当たり前の事だという事で勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	これから必要な事で理解できる。
難しいとは思わない	今回の講義のように、省エネ化が必要な理由から入ればどの作業が省エネにつながるか分かるから。
難しいとは思わない	今回の講習会で具体的に教えていただいたのでよく理解できたので。
難しいとは思わない	最近よく聞く話だから
難しいとは思わない	昨今よく言われていることだから。
難しいとは思わない	次世代省エネ基準をみだしているため
難しいとは思わない	次世代省エネ住宅、外断熱住宅を、手掛けているので…。
難しいとは思わない	時代と、世の中の状況が、求めている。ただ、コストと既存建物への対応が、あるので易しくはない。
難しいとは思わない	時代のニーズに答えるため
難しいとは思わない	しっかりと断熱を行えばよいだけなので
難しいとは思わない	実戦済
難しいとは思わない	実務経験があるので基本的な内容について理解できました。
難しいとは思わない	社会的にも要請が高まるから。
難しいとは思わない	省エネ化は必要なことだと思う。生活スタイルが多様化しているので一概に易しいとは思えない
難しいとは思わない	省エネ住宅の設計に普段から携わっているため難しいとは思わないが、普及させることに難しさを感じる。
難しいとは思わない	省エネ住宅のニーズは多い。
難しいとは思わない	省エネに対す建て主の意識が高くなっていくと思う
難しいとは思わない	省エネはこれから考えていくべき事であり、実施が必要である。
難しいとは思わない	省エネは必要だと皆さんが感じているから
難しいとは思わない	詳細についてもう少し資料がほしい
難しいとは思わない	常時近い物を行っている。
難しいとは思わない	資料が分かりやすい
難しいとは思わない	震災後の日本全体が省エネに進んでいる。住宅の建設技術も進んでいくと思う。
難しいとは思わない	すでに、意識をしているので。
難しいとは思わない	すでに実施で行なっているから。
難しいとは思わない	すでに実務では行っている。
難しいとは思わない	既に常識に近い部分だから
難しいとは思わない	すでに予備知識や学習はしているため
難しいとは思わない	すでに理解している内容がある。
難しいとは思わない	既に理解している内容だったため
難しいとは思わない	ストーリーが明確であり省エネ化の方法が理解出来た
難しいとは思わない	性能評価4等級の勉強はすでにしてましたので
難しいとは思わない	施工者(大工等)も講習は必要だと思うが、請負者(会社)、設計者にも講習が必要(請負、設計段階で理解されていない場合が多い)。
難しいとは思わない	施工者、現場管理者の知識修得及び手抜き仕事をさせない体制づくりが大切だと感じます。
難しいとは思わない	施工に手間がかかる
難しいとは思わない	設計の問題の方が大きいと考える。
難しいとは思わない	説明がしやすいように赤字で書いてくれているから
難しいとは思わない	選択ができないのは??
難しいとは思わない	大工さんに理解してもらえないのか不安
難しいとは思わない	だいたい知っているから。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-1. これからの住まいの省エネ化...(SA)
 そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しいとは思わない	多少なりとも知識があったから。
難しいとは思わない	多方面からの様々な情報があるので
難しいとは思わない	断熱講習会が何回もあったから
難しいとは思わない	断熱施工の意味とポイントを理解する事に依って、建築関連業者に広める事が可能と思われるから。
難しいとは思わない	断熱をきちんとする事はあたりまえな事でスキ間や空間を作ってはいけなく、と考えれば難しい事ではない。
難しいとは思わない	近い将来義務化(法律制定される)
難しいとは思わない	長期や性能表示をしているので大体はわかるから
難しいとは思わない	通常、設計している内容だから
難しいとは思わない	テキストがわかりやすい
難しいとは思わない	テキストがわかり易かった
難しいとは思わない	テキストに沿った適切なものでした。また留意点を強調して頂いたのが良かったです。
難しいとは思わない	テキストにより進められるから
難しいとは思わない	テキストの内容が分かりやすく解説されていた。
難しいとは思わない	当然に求められる性能であると思う。
難しいとは思わない	特になし
難しいとは思わない	特になし
難しいとは思わない	取組済のため
難しいとは思わない	内容がしぼられているため。
難しいとは思わない	内容的には、これからの方向性を考えれば理解できる。時間内に話せるかどうかが問題。
難しいとは思わない	日常から研究しているため
難しいとは思わない	日常的に設計、監理で対応している為
難しいとは思わない	日常の業務で行っているため。
難しいとは思わない	背景、アンケート結果、手法については、昨今TV等でもさわがれているため特に難しくは感じませんでした。
難しいとは思わない	日頃、ある程度やっている。
難しいとは思わない	必要があれば覚えるものだ
難しいとは思わない	必要性がある
難しいとは思わない	必要性を感じているから。
難しいとは思わない	必要だと思ったから。
難しいとは思わない	必要なことだから
難しいとは思わない	必要なことだと思うので。
難しいとは思わない	必要な面もある
難しいとは思わない	費用対効果があれば良いと思う。
難しいとは思わない	広めていきたい。地域のレベルを上げたい
難しいとは思わない	品確法、フラット35等で、日常の業務で、かかわっている為
難しいとは思わない	普段行っていることなので
難しいとは思わない	普段から施工しているから
難しいとは思わない	普段の実施で理解している。
難しいとは思わない	普段の施工
難しいとは思わない	普段より、省エネ化に向けて、効果的な施工方法を考えているため。
難しいとは思わない	プランによっては難しい施工を要する。断熱材が多様すぎる。
難しいとは思わない	平成11年の改正時に講習を受けているので。
難しいとは思わない	ベースラインの内容だから。
難しいとは思わない	法的処置を急ぐ必要有
難しいとは思わない	ほぼ設計、工事現場で取組みができていますから
難しいとは思わない	マニュアルがせいびされつつある
難しいとは思わない	難しいと感じたら、今後業界で仕事できないと思いました。
難しいとは思わない	難しいとは思わないが施工の監理が必要。(換気も含めて)換気のメンテナンスを義務づける必要あり
難しいとは思わない	難しくなかったが施工に十分に理解が得られるかどうか。
難しいとは思わない	難しくはないが、施工者サイドでみると大変かも！
難しいとは思わない	難しとは思わないが現場の手間は増える。
難しいとは思わない	もう一般的になっている
難しいとは思わない	もう少し整理すべき所はあるが可能
難しいとは思わない	やればできると思う
難しいとは思わない	良くわかりました。改めて数値でわかった事もあり参考になりました
難しいとは思わない	世の中の流れだから
難しいとは思わない	理屈がわかれば
難しいとは思わない	理くつを考えれば理解できると思いました。
難しいとは思わない	わかりやすいから
難しいとは思わない	分かりやすい構成だったと思う。
難しいとは思わない	分かりやすいテキストと、ていねいな講師の説明があったから
難しいとは思わない	概ね理解した。
難しいとは思わない	現行の断熱施工方法の普及という面であれば、実施率は上がりつつあり、今日のような実施講習会は有効であろう。
難しいとは思わない	現在の当社の仕様が省エネ化をしている。
難しいとは思わない	今後、このような講習会を積極的に聞いて行く事により、設計士、施工者の知識技能の向上が期待できるから
難しいとは思わない	細かいところの断熱の考え方がわかりました(気流止め、防湿)
難しいとは思わない	仕方がないことだし、性能が良くなることは良いことだから。
難しいとは思わない	実際の講習に大工職が多く参加してくれることにかかっていると思う。
難しいとは思わない	実際やっていることが多かった。
難しいとは思わない	社内研修講師として勉強中
難しいとは思わない	住宅の省エネ対策の重要性について判りやすく解説されています。施工技術者の方にもぜひ認識していただきたい内容です。
難しいとは思わない	住宅供給業者の常識として、丁度良い内容と思う。
難しいとは思わない	図解多いため。ポイントがどこか分かり易くテキストができています。
難しいとは思わない	全般的に表や図での解説があるので、わかりやすいと思います。
難しいとは思わない	断熱材とサッシ、太陽光や設備だけの事だと思います。あとは予算だけ。
難しいとは思わない	長期優良住宅の申請(主に新住協物件)しているので

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-1. これからの住まいの省エネ化...(SA)
 そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しいとは思わない	長期優良等サポート作業をしていたので。
難しいとは思わない	内容は理解できる、より理解を助ける説明方法が望ましい。
易しい	一般常識の範囲と感じる。
易しい	一般論としてわかりやすかった
易しい	今までの施工のやり方にあともう少していねいに施工すれば出来る事だと思うので
易しい	具体的な数値や絵も多く、判り易いと思う
易しい	国のホームページ等で確認しているため。
易しい	現在建築しているから
易しい	現状の内容が確認出来た。
易しい	コスト高になるのではないかな？
易しい	時代が求めているので(特に建主の方が)
易しい	社会的にニーズが高まっており、必要性はすぐに理解できると思う。
易しい	十数年前から高断熱高気密住宅を造って来た為グループの勉強会で習っていたから
易しい	仕様が中心だから
易しい	全ての住宅を、機械化しようとしているし、建設コストが割高となるので、易しい
易しい	テキストが改善されて説明しやすい。
易しい	日本はもっと上の省エネレベルをめざしてほしいので
易しい	普段から気をつけて施工しているので、ほぼOKでしたが、新しい気づきもありました。
易しい	普段からやっている
易しい	部分的に、施工者に対して説明、指示がゆき届くか不安です。
易しい	身近な課題だと思います
易しい	昔風の記述が多かった。
易しい	よく設計しているから
易しい	理論的には単純
易しい	業務上必要なことだったから。
易しい	実務で行っている内容。
易しい	省エネ施行は易しいが、省エネレベルが明確でないで説明は難しいと思う。
易しい	日頃携わっているのでは。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-2. 省エネ住宅の設計/施工...(SA)

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しかった	あまり施工にはたずさわっていないので。
難しかった	今まで深く考えていなかったなのでそくぎには理解できなかった。(時間をかければわかる)
難しかった	いろいろなケースがあるので。
難しかった	色々なパターンがあるので覚えられない。
難しかった	同じく施工が困難
難しかった	画一された設計ならば、どんなに難しくても良いが、毎回変わる設計だと、考える所が多い。
難しかった	各現場単位まで、施工精度を統一するのが、難しいと思う。
難しかった	各部位毎の標準施工要領書が必要であると思う
難しかった	完成度の高いものを考えているが施工の段階で非常に気を配らなければ、実現できないので。
難しかった	完ぺきな施工が実際の複雑な納まりでも可能か
難しかった	技術的に現場で出来るかどうか。
難しかった	机上ではなく現場で実際にすることだから
難しかった	基礎どおりに設計、施工出来ているかのチェックが介入しないしくみであり、どの程度正しく実施されるか担保がない
難しかった	基本は難しいとは思わないが、実際に施工する時に従来より3倍以上の時間が必要となる。(目に見えない所の部分である)
難しかった	気密性を高める部分で手間がかかる。スジカイ部分の施工、グラスウールの使用。
難しかった	気密層と防湿層の違いがよくわからない
難しかった	気密層の施工が現場で完ぺきにできるか疑問。
難しかった	具体的な施工をした経験が無いため
難しかった	具体的に施工を考えると難しく感じた。
難しかった	組み合わせにより、細かな点の注意(施工上も)が必要
難しかった	グラスウールは使わないので、昔に比べ施工が難しかった。
難しかった	計画の自由性、(ex真壁など)を行う場合はAB評価方法を学ぶ必要
難しかった	現実やってみて。
難しかった	現場、図面の両方を考える為
難しかった	現場経験が少ないため
難しかった	現場の経験があまりなく、初めて知ることも多かった為
難しかった	現場の施工レベルの開きを感じます。一般工務店レベルの意識を高めるには結露によるカビ被害の実例写真があるといいと思います。
難しかった	現場の大工さんへうまく伝えられるかが不安
難しかった	構造部材、補助部材等数量の確認が、難しい。
難しかった	細かい部分の対策にはいろいろな方法があるから。
難しかった	細部の処理を、実例の通りに正確に施工しようと思えると難しい。
難しかった	細部のとりあいなど、高度な注意が必要なため。
難しかった	細部まで手をぬけない。
難しかった	在来工法(充填方式)にて、DVDのような、ていがない、施工が、各工事にて確保できるのか、大いに疑問がある。
難しかった	在来の考え方やマッチしない
難しかった	様々なケース、組合せで必要となる事が変わるので、全て理解出来たとはいえ、とても思えない
難しかった	自身が現場での詳しいおさまりや部材についての知識を網羅していないのでうまく説明できるか不安。
難しかった	したことないものばかり
難しかった	実行の施工についてできるか、不安
難しかった	実際に行なうには大変だと感じた。
難しかった	実際にやってみてないから
難しかった	実際の現場では困難なケースがあるからではないか？
難しかった	実際の施工とテキストとの隔たりがあると、具体的に決まっていないので判断に迷う面がある。
難しかった	実際の施工とのギャップがあるかと思えます。予算(手間費)的な、問題が出るように思えます。
難しかった	地元、老年の職人に教育するのは、非常に難しいと思う。若井職人は問題ないが...
難しかった	知らない点が多かったため。図から認識するのが難しかった。
難しかった	すばらしいテキストができて、今後の地域リーダ講習に役立つと思う
難しかった	図面(詳細図)の表現方法
難しかった	施工が、むずかしい→現状とちがう所がある。
難しかった	施工が大変
難しかった	施工側で考えると、反発が多い。なんでここまで...
難しかった	施工業者の方は手間がたいへんだと思います。
難しかった	施工現場をあまりよく見ないため
難しかった	施工者へのメリット(ポイント)も必要ではないでしょうか...
難しかった	施工性をどこまで考慮しているのか。国民の認識が必要
難しかった	施工難度(こまかいところ)取合部
難しかった	施工に手間がかかる
難しかった	施工の精度として、その程度まで求めるのかの判断が難しい。
難しかった	施工は難しそう。手間がかかる
難しかった	施工法が複雑
難しかった	設計、施工、管理の一元化をどのように行っていくか。
難しかった	設計が主な仕事で、施工現場の理解イメージしにくかった。
難しかった	設計が複雑となる。
難しかった	設計について各部位の数値や寸法が出ていともっと理解しやすかった。
難しかった	設計は、描くだけ。施工は、無理。
難しかった	大工がなれるまで実施研修を多くすることが必要
難しかった	大工さん相手に話す場合、実際の施工の経験の多さから、話す内容を工夫しなければならない。
難しかった	正しく、完璧に施工してもらう事が難しいことある
難しかった	正しく施工させる為、大工が行うべき内容が多いので。理論を正確に理解させられるか、できるか。
難しかった	たとえばP110、かし保険に対してOKか？細かな納まりについて色々問題ありそう。
難しかった	多様な施工方法があるので覚えられない。
難しかった	断熱材の選定から現場施工まで通して理解していないとダメだから。
難しかった	断熱性能等、施工が難しく感じた。
難しかった	通常、現場を見たり、立会ったりする機会がほとんどないため、理論はわかっているけど、実際の説明となると難しいように感じます。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しかった	テキストが細部までつめきれない
難しかった	テキストの内容はわかりやすいが、実際の設計時には、細い納まりをなやみそうなので。
難しかった	特に施工の問題。きっちり施工する難しさ。
難しかった	慣れてない、かくれるので
難しかった	なれるまでは
難しかった	日頃、現場を経験していないため
難しかった	勉強していく。
難しかった	防湿、気密を取るためのディテールを徹底させる事が難しく感じました。
難しかった	もう一度再確認する必要があると思ったから
難しかった	モデルの施工は良いが実際の現場は施工不能が多くあると思う。
難しかった	理屈は理解できるが、施工指導を想定すると難しそう
難しかった	工法による特徴があり、うまく理解できなかった。
難しかった	設計上と施工性とのギャップ。
難しかった	日頃、施工には携わっていないので。
難しかった	日常業務であまり携わっていないので解かる部分と解からない部分があった。
難しいとは思わない	Ⅲ地域にあっても、当然やっていくべき事であるから「難しい」と言ってもらえない。
難しいとは思わない	F35Sで経験している
難しいとは思わない	OMソーラーを設計してます
難しいとは思わない	新しいことではない。
難しいとは思わない	あたり前の事だから。
難しいとは思わない	以前に施工経験がある為
難しいとは思わない	一部理解不足な点があることに気がついた所は良かった。
難しいとは思わない	行っていることだから
難しいとは思わない	今の現在の私どもの現場の工法はほぼこれにそなわっている。
難しいとは思わない	今は標準的にやっているから
難しいとは思わない	今まである程度してからの、これから徹底していかなければと思います
難しいとは思わない	今まで疑問に思っていた事をつめていけば良い。
難しいとは思わない	今までの経験から
難しいとは思わない	今までやって来た事をもっときめ細かく施工すればそんなに難しくない。
難しいとは思わない	今も行っている仕事内容だから
難しいとは思わない	教える立場としての理解がある程度できたと思う
難しいとは思わない	カットモデルを見て、それなりに理解できた。
難しいとは思わない	必ず省エネ化はしなければいけないし、勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	考え方さえわかっただけで、応用はきく。施工に関して難しい部分は感じられなかった
難しいとは思わない	考えればわかる
難しいとは思わない	簡単にいうと、家をラップすることだと思う。断熱については、現状より、あつく、性能が良くなればよいという簡単な事であることを大工さんに理解してもらえればよいのでは。
難しいとは思わない	技術者として最低限知っておくべき内容と思う。但し大工技能者にはさらにかみくだいた具体的な実例を示す必要がある(断熱材、商品名など)
難しいとは思わない	技術的には難しくないが、コスト面等で難しいと思う。
難しいとは思わない	基準、標準の内容だから。しかし、施工実体では(現場では)しにくい方法もあると感じる。
難しいとは思わない	基準があるので外貼断熱は採用しやすい。充填工法は複雑すぎて施工上無理が多い
難しいとは思わない	基準も施工法も明確である(多様ではあるが)
難しいとは思わない	既知の内容がほとんどであったため(再認識できたことは良)
難しいとは思わない	基本的な考え方が理解できた。
難しいとは思わない	基本的な熱的境界を作る事を考えれば良いので
難しいとは思わない	基本的には旧省エネ基準と変わらないので。
難しいとは思わない	基本を忠実に守って行なえば、無理なおさまりさえなければ。
難しいとは思わない	気密、断熱、防湿という概念を住宅の設計施工について、どうからみ合わせていくのか、ていねいに説明されたから。
難しいとは思わない	業界の現在の実状を考えると啓発が大変だと思う(Ⅳ地域については)
難しいとは思わない	教本と、先生の講義とで解り易かったです。
難しいとは思わない	業務上(設計)でことばを聞いている
難しいとは思わない	業務で行なっている
難しいとは思わない	業務を行っている。
難しいとは思わない	具体的な図解がありわかりやすかった。
難しいとは思わない	クライアントに理解してもらう為の労力に、不安
難しいとは思わない	経験した事があるので
難しいとは思わない	現在、行っている(施工)
難しいとは思わない	現在、設計に取り組んでいる。
難しいとは思わない	現在行なっている方法と基本的には変わらないので難しくはないが現場では変化の対応が必要。
難しいとは思わない	現在施工していただいている業者さんは慣れてるので、難しくはないが、初めて携わるには、きちんとした教育が必要。
難しいとは思わない	現在施工方法の延長線上に有るから
難しいとは思わない	現在もおこなっています。
難しいとは思わない	現実的に施工業者に理解させるのが難しいと思われる
難しいとは思わない	現状で設計、施工していますので、難しいとは思わない。
難しいとは思わない	建築による手法設備による手法で現存の住宅を進める
難しいとは思わない	検討要のところも多少あるが、基本的なことを押えれば良いと思う。
難しいとは思わない	現に高気密高断熱住宅の設計、施工をしています。
難しいとは思わない	講義しやすくテキストがまとめられていて、困ることはないと思うから。
難しいとは思わない	高気密高断熱住宅の設計物件アリ。
難しいとは思わない	講師がよく勉強なさっていらつやる。
難しいとは思わない	講習自体は理解できるが施工技術をすべての大工技能者が地域に合わせて理解し獲得するのはなかなかむずかしいと思う。
難しいとは思わない	講習をした場合
難しいとは思わない	高断熱、高気密、計画換気の設計を仕事としてやっている。
難しいとは思わない	コストの関係があるのでは
難しいとは思わない	細かい部分について、納まりを検討する必要がある。
難しいとは思わない	細かい施工技術部分に於いて、困難と思われる部分もあるが、工夫次第で、これを克服できると思う
難しいとは思わない	こまめにチェックすれば出来る内容と思われる

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しいとは思わない	これからの地球上ではかかさない事だと思うし、今から当たり前の事だという事で勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	最初は苦労する点も出てくると思うがこれが当たり前なら順次進めていけばよい
難しいとは思わない	支援学習
難しいとは思わない	仕事で接しているため
難しいとは思わない	次世代省エネ基準をみたしているため
難しいとは思わない	次世代省エネ住宅、外断熱住宅を、手掛けているので…。
難しいとは思わない	実際に講習通りに行えるか
難しいとは思わない	実戦済
難しいとは思わない	実務経験があるので基本的な内容について理解できました。
難しいとは思わない	自分の仕事だから
難しいとは思わない	写真、図が多くてよかった。
難しいとは思わない	充てん断熱は割とすんなりわかりましたが、外張断熱は、細かいおさまりの部分で理解していない所があり、講師をする際、若干不安です。
難しいとは思わない	手法をおぼえればむずかしくない
難しいとは思わない	省エネ化の内容は難しいとは思わないが次の質問の内容にもあるが実際施工する方は、どれだけ浸透しているかが問題
難しいとは思わない	省エネ化の必要性をもっと説明した方がベターだと思います。
難しいとは思わない	省エネ性の重要性を再確認出来た。
難しいとは思わない	省エネに気を付けて、設計している。
難しいとは思わない	すでに行っている。
難しいとは思わない	すでに実施で行なっているから。
難しいとは思わない	すでに実務では行っている。
難しいとは思わない	すでに予備知識や学習はしているため
難しいとは思わない	既に理解している内容だったため
難しいとは思わない	施工が、このテキスト通り行なわれるか心配。浸透するまで時間がかかる。
難しいとは思わない	施工している。
難しいとは思わない	施工者さんへどうしみわたっていくかが問題なのと、設計上の諸計算、届出の手間の問題も課題と感じている。
難しいとは思わない	施工する人、全員が聞かないと駄目と思った
難しいとは思わない	施工にお金がかかる。手間がかかる
難しいとは思わない	施工については出来ると思う。
難しいとは思わない	施工の設定条件下での説明が難しい。
難しいとは思わない	施工を理解させれば良いと思う。
難しいとは思わない	設計者から施工側への伝達。工事監理の役割が重要(設計施工では問題ありか)
難しいとは思わない	設計者としては理解できるが施工としては、手間がかかりそう。
難しいとは思わない	設計手法により大きく施工に変化がでる事を大きく取り上げて欲しい。
難しいとは思わない	設計する上では、思う程難しいとは思ってなかったが、施工の段階で注意すべき点が多々あり、管理する上では、難しいと感じた。
難しいとは思わない	設計と現場施工の実情のすりあわせ。
難しいとは思わない	設計においてはどのような工法を選択するかによると考えられる。施工においては、施工を行なう大工等の技量によると考えられる
難しいとは思わない	設計については問題無いが、施工については、工事費の面と施工者の技術力が心配である。
難しいとは思わない	設計に取り入れることでできると思う
難しいとは思わない	設計はできるとは思いますが、施工がむずかしい所がある(スジカイ等)
難しいとは思わない	設計は易しいが、施工についてはわからない。
難しいとは思わない	設計は易しいのかも知れないが、施工に関してははやや難しいのでは？
難しいとは思わない	大工さんに理解してもらえるのか不安
難しいとは思わない	大工さんの、手間の問題があるが、これを解消すれば、簡単
難しいとは思わない	多少なりとも知識があったから。
難しいとは思わない	断熱講習会が何回かあったから
難しいとは思わない	断熱工法、断熱材料等が理解出来た。断熱性能、気密性能については少し学習が必要。設計に関しては5つの層の役割が、理解出来た。
難しいとは思わない	通常、設計している内容だから。ただし、施工者に設計、基準通りにていねいに施工していただくのは難しい。
難しいとは思わない	ツールがわかりやすい
難しいとは思わない	テキストに沿った適切なものでした。また留意点を強調して頂いたのが良かったです。
難しいとは思わない	テキストの内容が理解出来た。
難しいとは思わない	同上に、施工は良いと思いますが、理屈を理解できるか(短時間で)疑問に思います。
難しいとは思わない	当初は難しいけど、なれてくれれば良い
難しいとは思わない	特になし
難しいとは思わない	取組済のため
難しいとは思わない	トレードオフの部分を利用する事で設計がしやすくなる。
難しいとは思わない	内容についてはテキスト通りなので、モデルも見れたし難しくないと考えた。
難しいとは思わない	日常から研究しているため
難しいとは思わない	初めて聞くことが少なかったため
難しいとは思わない	必要です
難しいとは思わない	普段から気をつけて施工しているので、ほぼOKでしたが、新しい気つきもありました。仕様規定であれば。
難しいとは思わない	普段から施工しているから
難しいとは思わない	普段の実施で理解している。
難しいとは思わない	普段の施工
難しいとは思わない	普通のことだから
難しいとは思わない	平成11年の改正時に講習を受けているので。
難しいとは思わない	ポイントをつかめば後は応用。
難しいとは思わない	防湿、断熱、気密層を連続させることをつねに考えればわかる。実際に施工では問題が発生し、その対処できるかが大切だと思う。
難しいとは思わない	マニュアルがしっかりしているの。
難しいとは思わない	マニュアルがせいびされつつある
難しいとは思わない	マニュアルの理解すれば良い
難しいとは思わない	難しいと思わないが実際の施工上、手間が掛る事だと思う。
難しいとは思わない	難しいと感じたら、今後業界で仕事できないと思いました。
難しいとは思わない	難しい内容ではない為、施工者、管理者の意識問題になりそうだと思う。手を抜ける所があるので、意識が低いと手を抜きそう。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しいとは思わない	難しいのは、真壁の所のみだが、トレードオフ等があり、いままでの方法しか分からない人にも、救う道が開かれている為です。
難しいとは思わない	難しくないが面倒ですね。
難しいとは思わない	難しくはないが、施工者サイドで見ると大変かも！もっと、専門職の重要性を普及すべき
難しいとは思わない	メーカー主導になるのか
難しいとは思わない	面倒だ。しっかりした施工マニュアルが必要
難しいとは思わない	もうすこしイラストをわかりやすく
難しいとは思わない	やらないといけなと思えば必要と感じれば当然
難しいとは思わない	用語もわかりやすいので問題無いと思う
難しいとは思わない	よく考えれば理解できるレベルだと感じた
難しいとは思わない	ルールが明確であるが、気を付けなければならないことも多い
難しいとは思わない	基本的な考え方さえ理解してもらえれば問題ではないと思う(断熱・気密の連続性など)
難しいとは思わない	基本的な事項が多く理解できるが、施工現場に正しく落とし込みする事はむずかしいと思います。
難しいとは思わない	現行の断熱施工方法の普及という面であれば、実施率は上がりつつあり、今日のような実施講習会は有効であろう。
難しいとは思わない	現在の当社の仕様が省エネ化をしている。
難しいとは思わない	現場での立場となって、普段あまり守られていないような点をピックアップするとっとわかりやすいのではと思います。
難しいとは思わない	今後、このような講習会を積極的に聞いて行く事により、設計士、施工者の知識技能の向上が期待できるから
難しいとは思わない	仕様規定を理解すれば誰でも設計・施工できる。
難しいとは思わない	施行上の色々な納め方、考えがあるので現場の声を聞かないといけない。
難しいとは思わない	実際やっているから
難しいとは思わない	写真があるのは分かり易い。
難しいとは思わない	図解多いため。ポイントがどこか分かり易くテキストができています。
難しいとは思わない	性能評価4等級の勉強はすでにしましたので
難しいとは思わない	断熱材とサッシ、太陽光や設備だけの事と思います。あとは予算だけ。
難しいとは思わない	断熱部と気密層を連続させられる様に考えるだけなので。
難しいとは思わない	長期優良住宅の申請(主に新住協物件)しているので
難しいとは思わない	長期優良等サポート作業をしていたので。
難しいとは思わない	特に住宅省エネ強化の対策として外皮性能の強化が重要である点を訴えていく必要があると思います。
難しいとは思わない	内容は理解できる、より理解を助ける説明方法が望ましい。
難しいとは思わない	日常的に設計、監理で対応している為だが、現場の職人さん達が講習の基準まで意識向上は難しい。理想の施工を求めるのは分かるが…求めすぎている感じがある。
易しい	今の業務がそうである
易しい	原則として①防湿層、②断熱層の連続という発注
易しい	講師としての研修はもっと高度な内容と予想していたので
易しい	十数年前から高断熱高気密住宅を造って来た為グループの勉強会で習っていたから
易しい	図面的には難しくないと思うが現場での工事は難しいと思う
易しい	施工ヶ処によって細かな部分が施工出来ているか不安です。
易しい	断熱をきちんとする事はあたりまえな事でスキ間や空間を作ってはいけな、と考えれば難しい事ではない。
易しい	何となく…
易しい	ふだんからやっていたり、指導していることなので
易しい	普段からやっている
易しい	もっと、自然状況を加味した計画をしたいと思う。
易しい	よく設計しているから
無回答	実務で行っている内容。
無回答	受講者レベルは千差万別だが、適切な施工の普及を図る上では丁度良い。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-3. 省エネ基準と関連制度...(SA)

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しかった	CASBeeとか省エネ法による計算等は難しい
難しかった	あまり、わからなかった
難しかった	余り考えた事がない。意識していない。
難しかった	いろいろな、言葉が、でてきて、ややこしい。
難しかった	開口部について初めて聞くものだった。
難しかった	各家庭で太陽光発電+蓄電池となった場合(3~5年後か?)に進めている省エネは有効なのか?考え方を示して欲しい。
難しかった	考えることが多い。
難しかった	関連が難しい
難しかった	関連制度が多く、確認すべき内容や数値が多い為(ただ、長期優良住宅など施工していれば、それ程でもないのでは)
難しかった	基準が多数あり、国々の内容の詳細を認識するのは、難しい。
難しかった	机上ではなく現場で実際にすることだから
難しかった	規模が住宅であることから制度そのものとの適合性がわかりづらい。
難しかった	キャスビー
難しかった	具体的な計算等を経験しないと十分に理解しにくい
難しかった	具体的な施工をした経験が無いため
難しかった	具体的にはじまっていないので実感が無い
難しかった	現場の大工さんへうまく伝えられるかが不安
難しかった	原本をみないと。
難しかった	講習受講者を、地域工務店、現場カントク者に受講してもらう必要がある。
難しかった	この基準を守っていく為の計算が必要になってくるであろうと思うので難しく思う
難しかった	細かすぎる
難しかった	これから目指す住宅のあり方。エネルギー使用を考える
難しかった	これを短時間で理解してもらうのは難しい。特に開口部とかトレードオフ等。
難しかった	材料、材種が多種にまたがるため
難しかった	参考程度なら良いが、「別冊」を講義するのは、内容的にも時間的にも
難しかった	省エネ基準を満たすことは、設計上では、そこまで難しいとは思わないが、それを施工し規準を満たすことはなかなか大変だと感じました。それに関連する制度を申請することはなかなか難しいと感じました。
難しかった	次世代省エネ、旧省エネ等、また性能規定、仕様規定、施工基準等がふくぎつに絡み合っていて難しい。
難しかった	十分な整理ができてない。
難しかった	種々の制度があって理解しにくい。
難しかった	種類が多く、理解が大変
難しかった	省エネ基準そのものに、不慣れのため。
難しかった	省エネ基準は理解出来たが、評価方法の3タイプはもう一度学習が必要
難しかった	省エネ基準を満たすことは、設計上では、そこまで難しいとは思わないが、それを施工し規準を満たすことはなかなか大変だと感じました。それに関連する制度を申請することはなかなか難しいと感じました。
難しかった	仕様規定では理解できるが、性能規定の場合の計算がむずかしい。
難しかった	詳細まで理解するのは結構難しい
難しかった	申請等が複雑になったと思う。
難しかった	全て詳しく説明できる。ノーウルのない
難しかった	制度、書類の理解及び作業は苦手です。
難しかった	制度が多すぎる
難しかった	制度に一貫性がないので。
難しかった	制度普及は、省エネ技能者に、容易に取り組める方法が必要であると思う。
難しかった	性能規定や仕様規定等まだ少し勉強不足なため
難しかった	施工が大変
難しかった	施工現場をあまりよく見ないため
難しかった	施工者へのメリット(ポイント)も必要ではないでしょうか...
難しかった	説明するのに少し難しいのかと
難しかった	大工さんの技術、知識の範囲以外の事と思われる。
難しかった	たとえば今回の講習での基準を、性能評価でどの様にとり入れるか等
難しかった	多様な施工方法があるので覚えられない。
難しかった	地場工務店の現状では、数値的なものはもちろん、手間のかかることをいやがる傾向があるため、その人たちにどう講義していけるかが難しいとおもう。
難しかった	使われている材種の多さ、数値の見方、など、まだ見慣れていないため。
難しかった	統一の必要あり
難しかった	トレードオフについては実例がもう少し欲しい
難しかった	内容の照合の関連付け
難しかった	なじまない。
難しかった	似た名称の制度が多いから。
難しかった	初めて聞くこともあったので
難しかった	評価方法が面倒だ。
難しかった	品質確保等、他との関係もよくわからない
難しかった	普段あまりかわからないため
難しかった	普段の仕事の中であまり出てこない話なので。
難しかった	平成11年の基準を達成できない現状との時代背景。
難しかった	法改正など。
難しかった	法が何種もありはん雑
難しかった	法の内容、基本的な事が分かってないと、難しい。300㎡以上届出の書類がどんなものなのか知りたかった。
難しかった	まだあまり知識がない為...
難しかった	まだ勉強不足です。
難しかった	窓ガラスは何を使うと良いのか、判りにくかった。
難しかった	用語に慣れていない
難しかった	よくわかりません。
難しかった	予算とのバランスを施主にどう説明するかが課題
難しかった	理解するまで時間がかかる。
難しかった	冷暖房機器も含めたコスト面もふれてほしかった
難しかった	解釈について勘違いがあると思われる。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しかった	省エネ法の届出義務の改正や、長期優良住宅の普及などで建築士に求められる知識についてもこれまでより高く多くなってきた為
難しかった	法的基準があいまい。
難しいとは思わない	CASBEE、品確法等、日常の業務でかかっている為
難しいとは思わない	新しい情報が知らされているため
難しいとは思わない	ある程度理解できました。
難しいとは思わない	以前に講習会があったので
難しいとは思わない	一般基準としての内容だから。詳しく進むとむずかしくなるが。
難しいとは思わない	いつもの仕事の延長上だからです。しかし、一般の人には、いろいろな省がいろいろな政策を出しているの、分りずらいと思います。
難しいとは思わない	今まである程度してるから、これから徹底していかなければと思います
難しいとは思わない	今まで聞いていた内容
難しいとは思わない	いろいろな資料を参考例をしめしていただくと良いと思う
難しいとは思わない	概ね知識を有している情報であるから。知識を整理するには有用であった。
難しいとは思わない	教える立場としての理解がある程度できたと思う
難しいとは思わない	必ず省エネ化はしなければいけないし、勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	関連制度自体は難しいとは思わない。
難しいとは思わない	関連制度はたくさん種類があり、迷いそうだが省エネ等級4の条件はかわらないので、省エネの内容をきちんと知っていたら良いと思う
難しいとは思わない	記載されている内容以上以下でもないから
難しいとは思わない	基準があるので確認できるため。
難しいとは思わない	既知の内容がほとんどであったため(再認識できたことは良)
難しいとは思わない	基本的な考え方が理解できた。
難しいとは思わない	基本的な考え方は同じであるから
難しいとは思わない	教本と、先生の講義とで解り易かったです。
難しいとは思わない	業務で行なっている
難しいとは思わない	業務でやっている
難しいとは思わない	業務中である程度知識があったため。
難しいとは思わない	現在、設計に取り組んでいる。
難しいとは思わない	現在はWEBソフト他専用ソフト活用しているので難しくはない
難しいとは思わない	現状で設計、施工していますので、難しいとは思わない。
難しいとは思わない	現に高気密高断熱住宅の設計、施工をしています。
難しいとは思わない	講師がよく勉強なさっていらっしやる。
難しいとは思わない	個人的な感想で有る。但し、職人さんには一部難しい所が有ると思う
難しいとは思わない	細かな施工技術部分に於いて、困難と思われる部分もあるが、工夫次第で、これを克服できると思う
難しいとは思わない	これからの各々の法整備を期待しています
難しいとは思わない	これからの地球上ではかかさな事だと思し、今から当たり前の事だという事で勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	ころころ変わってきて、やや困惑気味がいなめない…。
難しいとは思わない	今回である程度理解できた
難しいとは思わない	最近よく聞く言葉だから
難しいとは思わない	仕事で接している内容
難しいとは思わない	仕事にて行っているため
難しいとは思わない	次世代省エネ基準をみたしているため
難しいとは思わない	時代がそうなので当然
難しいとは思わない	実戦済
難しいとは思わない	知っている情報だから
難しいとは思わない	実務経験があるので基本的な内容について理解できました。
難しいとは思わない	自分のエリアにしぼって説明すれば理解してもらえるのでは…
難しいとは思わない	自分の仕事だから
難しいとは思わない	住宅性能 省エネ等級4の設計の経験あるので。
難しいとは思わない	順序だてて考えればそれほどでもない
難しいとは思わない	省エネ基準については業務で常に携わっているため
難しいとは思わない	仕様規定があるので、易しい。複雑な建物をいかに考えるかはむずかしい
難しいとは思わない	しらないことばかり
難しいとは思わない	資料を基に淡々と話ができる。
難しいとは思わない	すでに実施で行なっているから。
難しいとは思わない	すでに実務では行っている。
難しいとは思わない	すでに何度か講習を受けている
難しいとは思わない	すでに予備知識や学習はしているため
難しいとは思わない	既に理解している内容だったため
難しいとは思わない	全て詳しく説明できる。ノーウルない強制化にはギモン
難しいとは思わない	制度に疑問をもつ。
難しいとは思わない	制度は良いと思う。
難しいとは思わない	施工に問題がないように監理又は管理する事がむしろ難しいと思う。
難しいとは思わない	大工さんに理解してもらえるのか不安
難しいとは思わない	大工さんへの説明が難しーと思いました。
難しいとは思わない	多少なりとも知識が有ったから。
難しいとは思わない	地域特性と、断熱性能の使用関係が解け易かった
難しいとは思わない	長期や性能表示をしているので大体はわかるから
難しいとは思わない	テキストがわかり易かった
難しいとは思わない	テキストがわかりやすかった。
難しいとは思わない	テキストに沿った適切なものでした。また留意点を強調して頂いたのが良かったです。
難しいとは思わない	党級(次世代省エネ)以上に省エネ基準をup↑するように聞いているがIV地域以南では本当に必要なか?と思う
難しいとは思わない	内容的には難しいとは思わないが、短い時間で大工さんにどう説明していいか、少し不安もある。
難しいとは思わない	何で、種々の法律で、わずかに違う現制値なのか?
難しいとは思わない	日常から研究しているため
難しいとは思わない	日頃、やっている事なので、難しくはない。ただ、最初は難しいと思った。
難しいとは思わない	評価方法が様々であり分りにくい。
難しいとは思わない	普段から仕事上関わっているから
難しいとは思わない	普段から携わっているため。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しいとは思わない	普段と同じ
難しいとは思わない	平成11年の改正時に講習を受けているので。
難しいとは思わない	平成11年の基準内容と同じだから
難しいとは思わない	方向性が具体的にでているので、しなければならぬことが明確
難しいとは思わない	マニュアルがせいびされつつある
難しいとは思わない	易しくないですが学んでいかなかったです。
難しいとは思わない	やっている人はやっている
難しいとは思わない	良くわかりました。
難しいとは思わない	よく聞いている話だから。
難しいとは思わない	理解していたのでよいが初めて聞く人にはこのテキストだけでは理解は難しいかもしれません。
難しいとは思わない	理解しているから
難しいとは思わない	理解できていると思うから。
難しいとは思わない	理解はできる。
難しいとは思わない	わかった
難しいとは思わない	わかりやすい講習だった
難しいとは思わない	概ね理解した。
難しいとは思わない	個人的には難しくはないが、制度等の活用に関しては地元で幹事会社が必要だと思う。
難しいとは思わない	今は標準的にやっているから
難しいとは思わない	資料がわかりやすい。
難しいとは思わない	社内研修講師として勉強中
難しいとは思わない	住宅供給業者の常識として、丁度良い内容と思う。
難しいとは思わない	省エネ関連仕事で接することも多く、自分の中での整理に非常に役立った。
難しいとは思わない	省エネ基準そのものの全体像の中では断熱の占める割合は高くないため。
難しいとは思わない	図解多いため、ポイントがどこか分かり易くテキストができています。
難しいとは思わない	性能評価4等級の勉強はすでにしてましたので
難しいとは思わない	設計者の方には常に接している内容と思われませんが、施工技術者の方には難しいかもしれません。
難しいとは思わない	長期優良等サポート作業をしていたので。
難しいとは思わない	内容は理解できる、より理解を助ける説明方法が望ましい。
易しい	今迄も仕事上、わかっているため。今後変わっていく内容とは思っているので、情報も早く取らなければならないとは思っています。
易しい	これからの生活に適した提案が必要であると感じた。
易しい	十数年前から高断熱高気密住宅を造って来た為グループの勉強会で習っていたから
易しい	地域が分割されてわかりやすい。
易しい	通常業務のなかで参照している数値、規準のため
易しい	普段からやっている
易しい	もし、この省エネ基準が法律化される可能性があるとなれば全国適用ではなく、地域性を区分して、県条例等で対処すべきでは？
易しい	よく意識しているので
易しい	よく設計しているから
易しい	実務で行っている内容。
易しい	日頃携わっているのです。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問8】 講義内容 8-4. リフォーム...(SA)

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しかった	いざ行う時の不安
難しかった	いろんなパターンがありそうだから。
難しかった	お金がかかりすぎる
難しかった	お客様の理解(工事費用)が出来る、パンフが必要では！
難しかった	おさまり
難しかった	外壁、内壁どっちがいいのか？床下のコンクリートはむずかしい
難しかった	各部の納まり(詳細)
難しかった	机上ではなく現場で実際にすることだから
難しかった	既存のものとう手に合わせて検討しなければならないので検討がかなり必要になると思う。
難しかった	既築の建物診断をする部分において、経験と参考事例等の勉強が必要と感じた。
難しかった	具体化していくか良くわからない
難しかった	具体的指針が明確でない。
難しかった	具体的ではないようです
難しかった	具体的な施工をした経験が無いため
難しかった	ケースバイケースで考えなければならず、高い技能が必要。
難しかった	現実的ではないと感じる部分がある。
難しかった	現実的に可能かどうか
難しかった	現実にはやってみて
難しかった	現実床下にもぐって吹付断熱なんかできないと思う。
難しかった	現状の確認方法がよくわからないため。
難しかった	現状把握の難しさを感じる
難しかった	現地調査により対応が変わってくると思う。
難しかった	現場経験が少ないため
難しかった	現場ごと、また年代ごとによって疑問点が多い。
難しかった	現場ごとに違うので、1例としても、具体的に大工さんの体験からはかられるこの限りでないため。
難しかった	現場状況に応じて説明することを考えると難しいと思われる。
難しかった	現場の想像がつかない為
難しかった	現場の多様性とかけはなれている
難しかった	講義内容は理解出来たが、実際の現場でいろいろ判断する事は難しそうと感じた。
難しかった	コスト高
難しかった	様々なケース、組合せで必要となる事が変わるので、全て理解出来たとはいえ、とても思えない
難しかった	事前調査が難しい。調べてからの見積りになり、実際に施工すると色々問題がその時にわかるから。
難しかった	したことないことばかり
難しかった	実際に工事にするときはテキスト通りになるかと疑問に残った。
難しかった	実際に施工すると新築とは違う
難しかった	実際の現場では躯体が使える程支障がない事が少ないと感じます
難しかった	実際の施工では、思わぬことが多い。現場では、けっこうきびしいと思う。
難しかった	実際の場面が想定しづらかった。
難しかった	実務経験がないので、？です。(物理的には可能と判ります)
難しかった	実務に直面した際に、調整する部分が多そうだから
難しかった	省エネより耐震にお金をかけたがっている。よって省エネまで予算がまわらないのでは
難しかった	条件が複雑になると思われるので、一般的な概要でしか理解できなかった為
難しかった	スケルトンリフォームなら可能だが、一部のリフォームでどこまで効果があるか施主にどう説明したらよいのだろうか？
難しかった	図面のように工事はなかなか出来ないのではC講習で伝えるのもむずかしい。
難しかった	施工が大変
難しかった	施工上。
難しかった	施工性と効果コスト
難しかった	施工方法についてはまだ経験不足なので
難しかった	施工を行う上で、いかに確認が必要かそれによって工法にも金額にも影響するので判断は難しいと感じました。
難しかった	耐震と同様に工事する部分のみであればいいと思っている大工が多い。きちんと説明しないとユーザーの工務店はなれが進む。
難しかった	建物の構造をよく知ることから始める
難しかった	多様な施工方法があるので覚えられない。
難しかった	断熱気密層を連続させることは難しい。
難しかった	断熱のリフォームは、既存の状態がつかめないのが難しいと思います。
難しかった	出来ない
難しかった	手間がかかりすぎる感がある。
難しかった	ヒアリングによる予算と工事区分(工事費)
難しかった	まずはこのテキストのような工事は出来ない(新築になってしまう)
難しかった	もう少し詳しい内容が良かったと思います。
難しかった	もう少し時間をとって解説があった方がよかった。事例写真などがあるとよかったです。
難しかった	リフォームする住宅すべてに対応するのは難しい。リフォーム施工する範囲ではできる限り対応している。
難しかった	リフォームに性能を付加していく事がむずかしい(特に金)
難しかった	リフォームの規模により施工上やりきれない部分が出てくるのではないかと
難しかった	リフォームの経験がない。
難しかった	リフォームの場合部分的により、十分な内容となりにくい？
難しかった	リフォームのやり方や、工事の範囲でも断熱性能が出る場合と、出ない場合があると思います。断熱リフォーム自体が良い事か疑問です。
難しかった	リフォームの予算内で大掛りな断熱改修に至る事が少ない。
難しかった	リフォーム部分との取合い部の施工が難しい
難しかった	既存住宅についてはケースバイケースである為。
難しかった	経験少なく、特に古い住宅の場合の事例調査等の難しさを感じました。
難しかった	現実的な問題との中の広さ。
難しかった	現実的に難しいなと思った。
難しかった	現実離れした断熱改修内容(効果vsコスト)

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しかった	現場によってすべて異なる為。
難しかった	現場打合せしたことがない。
難しかった	講師の人も話していた通り、スケルトン状態での省エネ施行が難しい点。下地にしても、柱・間柱にしても、まっすぐ通っていない(平滑でない)
難しかった	講習で理解してもらうのは難しいと思う。範囲や状況のパターンが限りなくある為、本質を完全に理解していないと難しい。
難しかった	施工部分が。
難しかった	施行となると大変です。
難しかった	不明な点が多い、施工事例が少ない。
難しいとは思わない	あくまで参考例だから
難しいとは思わない	あたりまえな事をやらないで、きちんとあたりまえな事をやる
難しいとは思わない	あまり、現実性のないように思われる改修内容であり考え方のみでよいのではないか
難しいとは思わない	あまり多くの要望はないと思うので。
難しいとは思わない	いつもの仕事の延長上だからです。
難しいとは思わない	今までの程度してるから、これから徹底していかなければと思います
難しいとは思わない	今までの経験から
難しいとは思わない	今までもやってきているし、物件ごとに違いがある。施主との打合せにより、着地点をさがし施工する。
難しいとは思わない	教える立場としての理解がある程度できたと思う
難しいとは思わない	各部位ごとの基準になっている様ですが、全体としての順番はどうでしょうか。
難しいとは思わない	必ず省エネ化はしなければいけないし、勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	既知の内容がほとんどであったため(再認識できたことは良)
難しいとは思わない	基本的考え方をしっかりしていれば問題はない。
難しいとは思わない	基本的な考え方は同じであるから
難しいとは思わない	基本的な事だから。
難しいとは思わない	基本的には旧省エネ基準と変わらないので。
難しいとは思わない	基本は新築と同じだから
難しいとは思わない	基本は新築と同じ理論だから。但し施工は難しいでしょうね。
難しいとは思わない	基本をベースにしていければ良いと理解した。
難しいとは思わない	強度の調査は、図面がない場合は非常に難しい。断熱リフォーム自体は、それほど難しいとは思わない。
難しいとは思わない	教本と、先生の講義とで解り易かったです。
難しいとは思わない	業務で行なっている
難しいとは思わない	具体的なので
難しいとは思わない	ケースバイケースなので
難しいとは思わない	現在、設計に取り組んでいる。
難しいとは思わない	現実的に施工としてはコストを合わせて施主の理解がえられるかとリフォームは法的届出がなくても良いので達成できるのはむずかしいのではないかと
難しいとは思わない	現実実施している部品もあるので
難しいとは思わない	現状で設計、施工していますので、難しいとは思わない。
難しいとは思わない	現状よりも良くなる方法を、考えることが大切である。
難しいとは思わない	講師がよく勉強なさっていらっしやる。
難しいとは思わない	この様な講習会を進めていけば基本事項を基に応用出来ると思う
難しいとは思わない	細かな施工技術部分に於いて、困難と思われる部分もあるが、工夫次第でこれを克服できると思う
難しいとは思わない	これからの地球上ではかかさない事だと思われ、今から当たり前の事だという事で勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	仕事で接しているため
難しいとは思わない	事前調査を充分に行えば、施工については状況に応じてなんとかなると思う。
難しいとは思わない	実際の省エネリフォームはとっても大変。いろいろ臨機応変に対応することも必要で、このテキストでは、かなり片手おちな感じがします。
難しいとは思わない	実際の施工を考えるととても大変だと思う。中途半端な施工ならしない方が良いかも。
難しいとは思わない	実際やっているから
難しいとは思わない	実戦済
難しいとは思わない	実践で経験がある
難しいとは思わない	実務経験があるので基本的な内容について理解できました。
難しいとは思わない	自分の仕事だから
難しいとは思わない	手法は分かり易いが現場ではそう簡単でない
難しいとは思わない	省エネ化できることが限定されるのでむしろ易いと思う
難しいとは思わない	省エネ住宅の設計に普段から携わっているため難しいとは思わないが、普及させることに難しさを感じる。
難しいとは思わない	常時行っている
難しいとは思わない	新設に倣うので
難しいとは思わない	新築以上に臨機応変の対応が求められる
難しいとは思わない	新築時のモデルと同じ内容だし、リフォームならではの注意点も説明があるため、難しくない。
難しいとは思わない	新築での経験を生かせると思う
難しいとは思わない	新築と同様として考える
難しいとは思わない	新築の内容が理解できれば問題ないと思われる為。
難しいとは思わない	新築の場合と同じなので
難しいとは思わない	すでに実施で行なっているから。
難しいとは思わない	既に理解している内容だったため
難しいとは思わない	施工現場をあまりよく見ないため
難しいとは思わない	施工できる部分が決まるため。
難しいとは思わない	施工については、色々難しいと思います1
難しいとは思わない	施工の予算、床下の施工法が問題です。
難しいとは思わない	設計に取り入れることでできると思う
難しいとは思わない	設計は2ですが施工は難しいのでは
難しいとは思わない	大工さんに理解してもらえないのか不安
難しいとは思わない	大工なので、実務に大きく関わることなので、テキスト、説明いずれも理解できた。
難しいとは思わない	耐震、防火などで一緒にするとややこしい。
難しいとは思わない	多少なりとも知識が有ったから。
難しいとは思わない	但し、現実的内容とは言えないと感じた。このままの内容を、施工者に伝える際には相応の注釈が必要だと考える。
難しいとは思わない	テキスト通りに施工すればよいので
難しいとは思わない	テキストに沿った適切なものでした。また留意点を強調して頂いたのが良かったです。但し施工は難しいですね。
難しいとは思わない	特になし

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しいとは思わない	どの程度効果ができるかギモン
難しいとは思わない	内容は難しいとは思わないが、実際に計画していくとなると難しいと思う
難しいとは思わない	日常、建物調査を行なう(耐震診断等)際にテキストにより指定されている作業を実施している為
難しいとは思わない	日常から研究しているため
難しいとは思わない	ねてた
難しいとは思わない	日頃対面しているので
難しいとは思わない	日頃リフォームの仕事が多いから
難しいとは思わない	普段から仕事上関わっているから
難しいとは思わない	普段と同じ
難しいとは思わない	平易にまとめてあった。
難しいとは思わない	方針と金額の理解を得られれば
難しいとは思わない	法制化すべきと考える(アウトローがでてくる可能性アリ)
難しいとは思わない	ボリュームが少なかった
難しいとは思わない	窓の断熱が「内窓等」でしやすくなった。
難しいとは思わない	マニュアルがせいびされつつある
難しいとは思わない	難しいと思わないが実際の施工、手間が掛る事だと思う。
難しいとは思わない	難しいと思わないが実際やる時は大変だと思う
難しいとは思わない	難しい内容ではないと思う。
難しいとは思わない	難しくないが、色々問題も発生しそうだ。
難しいとは思わない	もう少し現場での事例があった方がよかった
難しいとは思わない	やっかいとは思わない。
難しいとは思わない	よくまとまっていたと思う(内容が)
難しいとは思わない	より実際の例示があるとよい。新築よりはるかに難しい。
難しいとは思わない	理解できていると思うから。
難しいとは思わない	リフォームについてはCACE BY CACEであるという事を
難しいとは思わない	リフォームの方法はよく分かります。
難しいとは思わない	わかった
難しいとは思わない	既存住宅の構造についてが一番難しい。これが出来れば耐震改修もあわせてする方が良いと思います。ただしもう少し解かりやすい判断基準があればですが。
難しいとは思わない	現実的な物が多いので
難しいとは思わない	考え方としては難しくはないが、実施工はかなり大変だと思う。
難しいとは思わない	考え方は新築と同じ。
難しいとは思わない	講義内容は難しいとは思わないが、具体的には経験によりリフォームの内容・可否が判断される。基本としては、この内容以上は書けないのではないのでしょうか。
難しいとは思わない	今は標準的にやっているから
難しいとは思わない	実際の施工と予算。
難しいとは思わない	実際の施工は難しいと思われまます。
難しいとは思わない	新築同様の部分が多かったのだ。
難しいとは思わない	図解多いため。ポイントがどこか分かり易くテキストができています。
難しいとは思わない	内容は理解できる、より理解を助ける説明方法が望ましい。これでは説明内容が充分でない。
易しい	各部位が明確
易しい	既存建物の各部分が邪魔になり、すみずみまでいねいに施工出来ないかもしれないと思った1
易しい	基本は新築であるため
易しい	具体的記述があり良かった。
易しい	ケースが多様
易しい	ケースバイケースで例があるのでわかりやすい
易しい	現場はケースバイケースですが、施工できない物件は少ない
易しい	実務でしているのだからわかりやすかった
易しい	新築時の応用のため。
易しい	新築に準ずるから
易しい	すでに予備知識や学習はしているため
易しい	施工性の伴っていない内容の為、評価できません
易しい	施工としては、むずかしいと思います
易しい	設計施工共既存建物がさまざまなため、難しいと思う。
易しい	大工上りなのでおさまりは考えるので問題なしです1
易しい	耐震診断、改修の仕事をしているので同じような内容であった。改修に耐震同時することは効果的である。
易しい	ふだんから注意していることなので
無回答	普段からやっている
無回答	防災協会の本でもそうだが、リフォームとはあけてみないとわからないし、その事例ごとに考えなくてはならないので、この講習の内容は非常に軽いものだと感じる
無回答	リフォームは分類が新築と違い、別の分野という感じがするため。そういうのもあるのかという印象でした。
無回答	日本サステナブル建築協会が習得。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問9】 修了考査...(SA)

そのように感じた理由を具体的に記入してください。

講義内容について	その理由
難しかった	1-半四では、全て頭に入っていないので
難しかった	一度の講習でテキスト記載箇所が頭に入りきらない…(理解力不足)
難しかった	一部あいまいな言い廻しがあり、判断しにくい所があった。
難しかった	いやあむつかしい
難しかった	いわゆるひっかけが多い気がしました。
難しかった	覚えていると想定された事が、あいまいで再確認に、時間を要した
難しかった	思ったより時間がなかつたです。
難しかった	聞いても忘れてしまっている
難しかった	机上ではなく現場で実際にすることだから
難しかった	くせのある問題が①、⑥-2
難しかった	具体的に把握、記憶しながら受講できる容量以上の内容であった
難しかった	講義であまり触れない部分からの出題があった
難しかった	講義で教えていただいたことが、少なかつた。
難しかった	講義内容を聞く立場の違いで、要点の押え方が異なる。問題を明確に。
難しかった	講義内容をきちんと聞いてないときびしい
難しかった	講習が急ピッチで進められていたので、十分に理解できていないところもある。
難しかった	答えを迷ってしまった。
難しかった	言葉のいいまわしが…
難しかった	細かく問題を読み解かないと間違いそうな難易度の高い問題が数多くありました。
難しかった	時間があと15分あれば内容確認が出来たと思います
難しかった	時間が思ったより短かつた。
難しかった	時間が少なかつた。
難しかった	時間が少したりなかつたと思う。
難しかった	時間が足りない
難しかった	時間が足りなかつた。
難しかった	時間が無い
難しかった	時間が無い
難しかった	時間が無かつた。
難しかった	時間が短い
難しかった	時間が短い。
難しかった	時間が短い。どちらも正解、不正解の設問がある。
難しかった	時間が短く感じた。テキストチェックできなかつた。
難しかった	時間切れ
難しかった	自己の理解度が不足していると痛感した。
難しかった	しっかりやらないと落ちます
難しかった	重要なところをもうすこし勉強したかつた。
難しかった	少々寝不足すみません
難しかった	施工現場をあまりよく見ないため
難しかった	設問が大ざっぱの問題がある。
難しかった	選択肢の表現があいまいでわかりにくい
難しかった	全問正解ではなかつた。
難しかった	大工さんにこの考査はムリと思う
難しかった	大変難かつた
難しかった	正しく理解するには、勉強不足であつた。
難しかった	単位とか、今回の講習では、断熱の納まり、流れをおつていて、単位の確認までいかなかつたが、テキスト参照できたので。
難しかった	短時間で感かいいも含めややこしく感じた為
難しかった	つかれました。
難しかった	テキスト掲載場所がわかりづらかつた
難しかった	テキスト通りの問題にしてほしい。ひねくれていて不合格にさせる問題だと思う
難しかった	テキスト内の表現がまちまちであり、普段から聞きなれない言葉となっている様です。
難しかった	テキストに記載されていない文などがあつた為。
難しかった	テキストの記載ページをさがすのに苦労した
難しかった	テキストの内容が理解できてなかつた。
難しかった	テキストの内容によって判断が分ける
難しかった	テキストの見方。講習時よく聞く事が?
難しかった	テキストを広範囲に読まないとならない
難しかった	どこに問題の答えがのつているのかさがすのに時間がかかつた。
難しかった	とりあえず…
難しかった	慣れてないから。
難しかった	幅広い出題だつたので。
難しかった	ひっかけ的な問題で…
難しかった	引っかけ問題はいらぬ。基本的な事だけで良い
難しかった	ビミョーな問題があつた
難しかった	ポストイットが必要
難しかった	本を見ないと出来なかつた。
難しかった	間違いやすい点があつた。
難しかった	もっと簡単にしてもらいたかつた。
難しかった	問題がまぎらわしい内容である
難しかった	問題にされると、難しく思えてしまう。
難しかった	問題の意味がわかりづらかつた
難しかった	問題の内容がよくとりにくかつた。
難しかった	問題を変えた方が良い。本旨とあわぬ。本当に学んでほしい事をもう少し加えると良い。30分はみじかい。①②は不適切だ と思います
難しかった	問題を理解するのに時間がかかる。
難しかった	例外等、素直な問題ではないため。問題を良く読まなかつたため。
難しかった	分かっている様で、いざ試験となると、どこに何が書いてあるか分からなかつた。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しかった	わからないところがおおかった。
難しかった	わからなかった。
難しかった	内容は問題無いが問題の表現を工夫した方が良い。先入観のない受講者には意味が通らない表現があった。解答の方法は、数字・記号・○×バラバラなので、統一すべきである。
難しいとは思わない	⑥-4 防湿フィルムの厚さの表記がない。場合によっては×では。構造用合板の位置、まぎらわしい問題は避けるべき。
難しいとは思わない	新しく覚えたことは少なかった。
難しいとは思わない	案の定引かかりました。
難しいとは思わない	以外と考えさせられました。
難しいとは思わない	今まである程度してるから、これから徹底していかねばと思います
難しいとは思わない	おちついてやればできる
難しいとは思わない	思っていたよりもできた為
難しいとは思わない	回答が複数考えられる問題が多いです…。
難しいとは思わない	基本的な事が解った
難しいとは思わない	基本的な設問であるので
難しいとは思わない	休憩が無かった為、少々あせりましたが…
難しいとは思わない	教本と、先生の講義とで解り易かったです。
難しいとは思わない	現在、設計に取り組んでいる。
難しいとは思わない	講義テキストの順に問題を出してはいかが
難しいとは思わない	講義を聴いていたかどうかの考査なのか、内容を理解しているかの考査なのかあいまい。(数値問題に意味があると思えない)
難しいとは思わない	講師の説明が良かったため
難しいとは思わない	講習の終了後だったので
難しいとは思わない	講習をきいていれば大体わかるし、テキスト参照OKなので。
難しいとは思わない	講習を良く聞けばわかると思う。
難しいとは思わない	後半半分が○×式だった為
難しいとは思わない	このような修了考査では、ひっかけ問題は、そぐわないと思う。
難しいとは思わない	これからの地球上ではかかさない事だと思し、今から当たり前の事だという事で勉強すれば難しいとは思わない
難しいとは思わない	今回の講義以前にも断熱の勉強をする機会があったため。
難しいとは思わない	時間が少しすくない。ひっかけ問題？
難しいとは思わない	時間が短いと感じました。
難しいとは思わない	時間内で、解党できた
難しいとは思わない	時間内に答えるのでかちがいがあった。
難しいとは思わない	しっかり講義を聞いていればできる問題だから。
難しいとは思わない	実戦済
難しいとは思わない	実務経験があるので基本的な内容について理解できました。
難しいとは思わない	重要な内容が問題になっていると思う
難しいとは思わない	修了考査は、どれだけ理解したかを評価する為だから、本の参照は、必要ないと思います。
難しいとは思わない	常識問題が多かった
難しいとは思わない	全ての解答をテキストで確認するには時間30分が短い
難しいとは思わない	大工には難しい面もある
難しいとは思わない	但し、講習中に、内容の説明がなかった事も多くあった。当然講義中に話すべきで有と考えます。
難しいとは思わない	只し、時間が短い
難しいとは思わない	ただし単位の間違いのとうな引掛け問題はいかがなものかという気がします
難しいとは思わない	ちょうどいい時間でした
難しいとは思わない	ちょうど良い感じてした。
難しいとは思わない	ちょうどよかったのでは
難しいとは思わない	テキスト確認できた事と、受講後の考査である為
難しいとは思わない	テキストが見れたので
難しいとは思わない	テキストが見れるから
難しいとは思わない	テキストがみれるので。
難しいとは思わない	テキスト参照可のため。
難しいとは思わない	テキスト参照だから
難しいとは思わない	テキスト内に解答が有る為。
難しいとは思わない	テキスト無しだと数値関係は難しいと思います
難しいとは思わない	テキストにかいてあるから
難しいとは思わない	テキストに記載もあるし、よく読めば理解できる。
難しいとは思わない	テキストに無い項目は出題すべきでない。基本的にはテキストにある文字の一部を変えて間違いの設問を作るべき
難しいとは思わない	テキストの内容だから
難しいとは思わない	テキストより抜粋
難しいとは思わない	テキストを参考にできた
難しいとは思わない	テキストを参照するテストであれば、もう少し難度を上げるべき。
難しいとは思わない	テキストを参照できるので
難しいとは思わない	テキストを見て解答できた。
難しいとは思わない	テキストをみてよいので。
難しいとは思わない	テキストを見てよかったから。
難しいとは思わない	テキストを見て良かったから。
難しいとは思わない	テキストを見ないと答えられない問題があった。
難しいとは思わない	テキストをみないと判断は難しい。
難しいとは思わない	テキストを見ながら解答する事が出来た。
難しいとは思わない	テキストを見ながらできるので
難しいとは思わない	テキストを見られたので
難しいとは思わない	テキストを見れたから
難しいとは思わない	テキストを理解しながらだから
難しいとは思わない	テキスト参照可能でしたので。
難しいとは思わない	できた
難しいとは思わない	テスト問題の文章が少々分かりづらかったです。
難しいとは思わない	でも、⑤の問題は国語として問題あり
難しいとは思わない	同様の問題をC講習で行った場合誤解を招く恐れがいくつかあると思います。
難しいとは思わない	特になし
難しいとは思わない	特になし

■「講習会」に関するアンケート(全体)

難しいとは思わない	何となくできた
難しいとは思わない	ひっかけが多いですね
難しいとは思わない	ひっかけ問題よりベーシックに知識の有無を確認した方が良いのでは(問6-4のような)。設問毎の難易度のバラつきが大きいような気がしました。
難しいとは思わない	文章で表わされると、少し、とまどった。
難しいとは思わない	本がみれたから。でも、わかりにくいところあり
難しいとは思わない	本を見ても良いので良いと思う
難しいとは思わない	本を見て良かったので
難しいとは思わない	マニュアルがせいびされつつある
難しいとは思わない	問題数が少ない
難しいとは思わない	問題内容に対して時間(30分)が短い。
難しいとは思わない	問題に問題あり
難しいとは思わない	問題の出し方に?があった。
難しいとは思わない	要点からの出題
難しいとは思わない	理解できていると思うから。
難しいとは思わない	解り易かった。
難しいとは思わない	一般的な内容だから。
難しいとは思わない	内容は難しいとはいわないが時間がみじかくかんじた。
難しいとは思わない	問題が思った以上に多かった。
難しいとは思わない	問題文が少々わかりにくかった。
易しい	一講師の方の話しがリズムカルで流れていたの。
易しい	基本的内容の上、テキストを見ても良かったから
易しい	講習内容の範囲も多く、突然の試験で!!
易しい	既に理解している内容だったため
易しい	選択、○×だったので
易しい	大工さんにもこの問題だと不安。
易しい	多少なりとも知識が有ったから。
易しい	たぶん90点
易しい	テキストが見れるため。
易しい	テキストがわかりやすいので
易しい	テキストで正解を確認することができた。講義内容と合致するところが多かった。
易しい	テキストに全てのっている為
易しい	テキストを見られれば確認出来る
易しい	テキストを読めば分かります。でも問題微妙です。
易しい	特にひっかけ等はなくテキストからの出題であったため。(修了考査なのでこれで良いと思います)
易しい	ひっかけが多い。
無回答	もう少し問題数を増やしても良いと思います
無回答	ややこしかった
無回答	資料に載っていたので。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問11】 そのほか、本講習会全体について、ご意見等があればお聞かせ下さい。...(FA)

●「省エネ施工が義務化されるために講習を行う」ともっと前面に出した方がいいです。
●1.質問は基本的には紙に記入して頂き、後日HPIに回答をUPする方法にしてほしい。2.講習の名称は「住宅省エネルギー施工技術講習会」なので、テキストの名称も「住宅省エネルギー施工技術講習会」にしてほしい。
●1日でおわるといいな。
●2020年度に全物件義務化にする内容ではない。(九州では)
●210分→60分の練習をしたいので、資料は出来上がり次第頂きたいです
●2日間の運営お疲れ様でした。
●2日間の講習を集中して行ない、1日としてほしかった。
●2日間ありがとうございました。いい勉強になりました。
●A、Cのある部屋にしてください。
●A>B>C 下流(失礼な言い方ですみません)に行くほど講習内容が正確に伝わるか疑問。
●C講師として講師をする場合の説明についてもっと具体的に説明して欲しかった。
●C講師の時間が少ないのでは？
●C講習会の受講者の質問は受けない。但し質問書を用意しておいてそれに書いてもらったらどうでしょうか？
●C講習にて本講習会内容を全て伝える事は、困難だと思う。
●C講習にむけて、注意すべき点をもう少し強調してもよかったのでは。DVDと3章の内容をもう少し合理的にできなかったのか？3章の講義を聞いた後DVDの方がわかりやすいのでは？基礎における断熱に関して建其法との関係をのべるべきでは？(床下換気)テキストP63であるがもう少しわくわく!! 模型解説がうまく行かないとまとまらないと感じた。
●C講習の講師の際はもう少しはっきりしている審査にしてください。
●C講習の際にもっとかみ砕いて易しく説明する必要があると思いました。
●C講習の時間にあったテキストの整備をお願いしたい
●C講習の時に1日でどこまで伝えられるのか時間が短く不安が残ります。
●C講習は講師2名だけでは無理があるように思います。B講習の方1名のサポートが必要だと思います。ご検討お願い致します。
●C講習をするのがこわい。
●C講習をどの様に進めれば良いのかのKnow-Howも聞かせて欲しかった。
●DVDの現場での施工での説明が良かった
●DVDは時間が短い。ゆっくり、説明を長く、一時停止して説明してもよいです。講義、DVD、模型は悪い例を増やす。例を多くする。築物件が減少しているので、耐震、断熱、バリアフリー改修の工事が増えるように補助金、融資の優遇を考慮して下さい。乾燥材の含水率20%以下は必要はないですか。模型は集成材で造ってありますか。製材の方がよいのでは。テキストの正誤表はありますか。
●DVDを見た後の、施工の章の説明は、もう少し別の切り口で説明したほうが良いのでは…と思いました。テキストP64の説明時5つの通気層のとり方を教えてください。省エネ住宅ありきではなく、まず建築手法をきちんと用いた住まいづくりが大切なことだと改めて思えた講習会でした。
●P108 上から2つ目の図。気密防水テープの位置が(気密ライン)上の図とは不整合ではないかと思えます。P142 ガラスのみ交換ではサッシ部分の結露が増えると思いますが、そのリスクについても前頁の内窓追加と同様、注意書きが必要かと思えました。
●P48、気密材に関して(イ)、(エ)、(カ)寒冷地では好ましくない理由が分からない。P44、断熱層、施工状態、グラスウールの寸法が大きく、両端を押し込みすぎた状態が一番悪いのか疑問がある。
●PPTスライドによる説明のほうがわかり易いと思う。
●Q値をいくつ目指すのか。また、設計評価で等級4を目指すのか位迄の講習にするとわかりやすいと思う。なぜなら、工法毎に考え方が多少違う為。
●あつい!!。模型が、いいかげんすぎる。1日朝から～夜の講義にしてほしい。
●改めて研修できたことが良かった。
●改めての学習はたまには必要だと思いました。
●ありがとうございました。
●ありがとうございました。
●ありがとうございました。
●ありがとうございました。
●ありがとうございました。聞きやすかったです。
●色々勉強になりました。ありがとうございました。
●エアコンの無い会場で暑くて扇風機の音も大きくて集中出来なかった。
●納まり参考図などのデータを図面にはんえいできる様にCDデータが欲しい
●お世話になりました。現場施工者に向けた、わかりやすい内容に。DVD、モケイなどを多くして。
●お疲れ様でした。有難うございました。大変勉強になりました。
●会議室の設備を良くしてほしい。
●会場が遠い
●会場が不便。部屋がせまい。
●会場への交通アクセスが悪かった。会場が暑かった。
●各工法の説明は良かったと思いますが、それ以外のところで、テキストの説明、実際にC講習を行う時の具体的な説明が欲しいと思いました。
●各地域で講習しているので、車移動が基本なので、(東京とは違う!)案内の書き方が…屋食に関しても、弁当屋を連れてくるかどうかしてほしい。急にするのはなく、地域性も考えほしい(模型の納まり等も)。
●カットモデルについて、再検討事項:充填床断熱材のたわみ防止 外張断熱の適切モデルとする また多雪地域を考慮した構造にも配慮
●技術、知識を身に付ける講習であると同時に他人に伝える技術を身に付けろと言われるのはどうも2つを同時に求めるようで、時々とまどった。
●技術的内容も講義へのアドバイスも省エネの拝啓解説もよく分かりました。ありがとうございました。
●希望者用により詳細な講習があってもよいと思います。(私は機会があれば施工について、詳しくお聞きしたいと感じました)模型解説は工場横のため騒音により聞きにくかった。
●基本的考え方は良く分かりました。今後具体的な現場仕様も紹介して欲しい
●近隣に食事をする所、コンビニ等がありませんでした。
●空調が効きすぎた
●具体的な質問が多く、レベルが高かった。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問11】 そのほか、本講習会全体について、ご意見等があればお聞かせ下さい。...(FA)

● 計画的な設計をしないと逆にコストupや健康に悪い住宅を造ることになるので十分配慮が必要と感じました。温熱環境＝省エネ等級だけでは良い家にはならない
● 原寸模型の施工精度があまりよくなかった。
● 講義の話ももっと時間がほしい
● 講師によって、言葉がはっきりしてる人、してない人がいた。
● 講習会場の住所が違ってた。会場を近くにしてほしい。
● 講習会全体は意義あるものだと思いますが、この省エネ化については8-3にも記したように疑問はあります。
● 講習会としては、よくまとまっており全体的に分かりやすかった。ただ、省エネ、基準がいろいろありもう少し統一する必要があるのでは(基準そのもの)。例、防湿層等は、全て必要とする等。
● 講習会と違うが法的整備をするのが一番早い様に感じる。
● 講習時間ですが2日じゃなく1日でも良いのでわ(知識を持っている為)
● 講習の時間が短い為、このままでの講師は不安が残る。説明はできても質疑応答が難しいと思う。実際はかなりマニアックな質問等も出ると思う。
● 講習場が不便、会場がせまい。
● 講師をして行くうえで、質問と回答集が有れば良い
● 講師をする…ということへの不安が高くなった。
● 講師を勤めるための講習としてはあまりにもハードスケジュールであり、もう少し時間をかけて講習をして頂きたい。
● 交通アクセス(乗合バスの路線沿線)が悪かったため、今後考慮して下さい。昼食を取りまとめて、代金交換でお手配していただきたかったです。スタッフの御尽力に、敬意を表します。
● 声が小さい講師の方がおられました。講座の会場にもよりますが、もう少し大きな声を出していただきたく思います。
● 語句の通くないもの、不適切なものが何点もありました。別冊P003、変遷(へんぼう×へんせん〇)、敷く(ex断熱材をひく→ひく)剛床、(ごうゆか、通常の建築用語(構造)では「ごうしょう」です。)
● ごくろうさまでした。I 地域のの聞きたいです。(北三県は熱的なものを北海道に求める(目指す)人が多いです。)
●
● ここまで国費をかけて講習会をする必要はないのではないかと考えます。基準を法律で示せば、それだけで、十分対応可能ではないかと考えます。
● このように1冊にまとめたテキストが無かった為非常に良く理解できました。今後も何か協力出来る事があれば調整いたします。
● 今回の講義はわかりやすかったが、この内容を「知らない人」に向けて講義をすることは、少々むずかしくも思うので、まとめる必要があると思います。(時間配分等)
● 今回の目的は施工される大工に理解して頂ける様に説明する事が重要であり欠点を指摘するのではなく、出来る例題が欲しいです。
● 今後とも、ご指導の程宜しく願います。
● 今後ともよろしく願い致します
● 今後も計画的に全国へ波及させると良いと思う
● 今度の工法や、雨じまいについて検討して、統一出来る様にしていきたい
● ご苦労様です。引き続きよろしくお願いします。
● 支援機構の講師の方はさすがとでもわかりやすく、丁寧な説明であった。会場の誤案内は非常に困る。今後はない様をお願いしたい。テキストはわかりやすくまとまっていた。誤植もなく、今後も参考資料として使えそうである。
● 時間が少なすぎる。
● 時間が長い、1日で終わらせるべきではないか。
● 時間が短いと思います※C講習では更に短いので。
● 時間が短いので、内容を理解するのに消化不良となる。何か方法例えば、講習用のマニュアルなどをまとめてもらうとよい。
● 時間管理がルーズであったので的確にしていきたい
● 時間の問題もあるので…パワーポイントの資料があれば良いのでは??
● 事前に資料配布してほしかった
● 実際に施工する所を見るのは、勉強になった(DVD)。断熱材の種類のサンプルがあると説明しやすい。
● 質の高い講習に感謝します。大変参考になりました。
● 実物での講義が大変参考になった。机上のテキスト講義をもう少しへらして、実際の映像やモックアップを増やしてほしい。
● 実例のQ&Aをお願いしたい。
● 自分自身で講師になれるか不安。もっと理解しないといけない。
● 住宅現場の大工さんに本講義を理解してもらうことは難しいと思う。本講義は大工さんのみならず施工監理、管理者、設計士とも受けると良い。受講済でないと施工ができないぐらいだと断熱住宅の徹底が計れると思う。(義務化)
● 修了審査は大工さんたちには、難しいと思う
● 受講者の講師としての意見交換が出る時間があればより良かったと思う。
● 省エネ基準が基本であるなら、防湿層が不要となる場合があることに触れるべきだと思います。
● 省エネの改正と合わせれば良いと思った。
● 省エネの為の断熱の必要性はわかるが建物の耐久性長寿命性を考えると?な部分がある
● 省エネの必要性をもっと詳しく、(大工さんに工事内容を説明する時に必要と思った。
● 消費者に向けた啓発を平行して行なって頂きたい。でないと理解が得られにくい。
● 新建材の販売促進に傾いている面がある。幅広い省エネだけについて取組む必要がある。
● スライド等があればよいのではと思います。
● 施工中心の内容になっているが、その前段階である設計に関わる部分についてももう少し記述してほしい。たとえば、外張断熱工法と充填断熱工法の長短や選定基準、外張断熱時の天井、小屋裏換気方法、基礎断熱時の床下換気方法等、設計時に考慮すべき事項が多々あります。
● 設計者としては十分に理解できる内容でしたがこれを工務店に説明して現場でどこまで施工してもらえるのか?また施主がその分の予算増にどこまで理解してもらえるのか?
● 説明が早くついていきにくいと思った。
● 説明時間が少ないと思われた。
● 全体的にテキストの内容もわかりやすく、短い時間の中で講師の方々がわかりやすく説明していただけたので、良かった。ありがとうございました。
● 全体とはムリだとしても、講師の方が、事務局の方とは名刺交換とうして今後のアドバイスをいただけるとうれしい、とおもう。
● 全体に、かけ足すぎたので、もう少し、ゆっくり説明してほしい。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問11】 そのほか、本講習会全体について、ご意見等があればお聞かせ下さい。...(FA)

● そもそもIV地域の四国で高気密高断熱化して24時間換気で電気を消費し、製造エネルギーを消費する断熱材を使い、廃棄時にも環境に問題を残す事を考えると本当に省エネなのか納得がゆかない。
● 大工技能者向けには理論も必要ですが、施工不良による被害写真で何が原因でその事象になっているのか具体例が多いといいと思います。
● 大工技能者向けのC講習はもっと施工写真の多い資料の方が良いと思います
● 大工さんに理解させる方法は、DVDと模型、「実演」が大切です。「実演」できる体制を整える必要があります。
● 大工さんの為の断熱講習であれば、内容をもっと、施工に特化しても良いのではないのでしょうか。B講習の全体を、C講習の時間内で伝えるのは無理があるのでは…。考査の範囲も特化しては…。
● 大工は請負先から依頼された内容の工事を行うだけでありC講習は工務店の現場責任者や経営者も受講対象とすべき。末端の職人以上に施工にたずさわる人全て共通の問題としてとらえるべきと考える。
● 対象が大工さんという事ですが、レベルが高すぎのカリキュラムもあるのでは？と思いました。
● 耐震についての考え方もどこかに入れるべきではないか
● 断熱仕様地域にしぼった内容にすると混乱しない
● 地域の現状にそくして欲しい。
● 地域をもっと分けて行った方がよい。II地域とIII地域では、かなり差があるように思われる。テキスト、模型共。
● 長時間になるので、受講席はゆったりしてほしい。
● テキスト066Pの脱衣室に基礎断熱した場合の大引き、根太の防腐についての考え方は床に換気口を設けるべき又は？テキスト110P下屋に取りつく上部壁の遮水シートに水が来た場合、下家屋根のルーフィングの下に水が流れます(下屋根根遮水シートの上)に問題があると…
● テキストが未完成なこと、講師も自信が無い部分在り質問に即答できない。考査も正誤があり混乱している。C講習での講師を務めることに不安がある。
● テキストにそった内容でない話のため実際の講義のときは厳しいと思う。カットモデルの説明の方法が本講習ではわからない。
● テキストの内容、講習会の時間配分、また講習内容も時間管理もよくできていて満足しました。C講習でも努力しますのでよろしく願います。
● テキストの構成が講師目線で作られていたので、現場で話し易そうです。
● テキストよく出来ていると思いました。現場員にもよくわかる図を多用していること、今までのテキストと比較して説明しやすと感じました。講師用説明DVDもあればよいのですが。
● テキストを見ての講義ではなく、パワーポイント等を使用して、ポインターで示しながら、すすめたほうが、良いように思う。
● 適当な人数(受講者)と思う。特記。C講習も技術系の部分はDVDが良いのでは！特記。施工モデルは雑過ぎる。(仕上げ)
● できれば、もっと便利な会場で行って欲しいところ。
● できれば1日で終了したい。
● 遠い、あつい
● 特にありません。
● 特にありません。
● 特になし
● 特になし。
● 特になし。
● どのように講義を行うかということを前提に説明が行われている点は良かった。
● なし
● 夏型結露については必ず質問があがると思うので、断熱は冬期基準というのは分かるが、少し対策なり解説があってもいいのかな、と思う。後はC講習のレベルの差が出ないよう、内容のモデルケースがもっと具体的に欲しい。
● 夏型結露も説明必要だと思います。テキストP143の(3)P145(2)の文は直しましょう。大工さん向けだともう少し映像がほしい。
● 何もしません。
● 何度かC講習を行った後の受講者の声聞きたい→反省にもなるので
● 何のための講習かを明確にした上で進めて頂くより解説ポイントがおさえられます。
● ネット上で講師同士の失敗談や良かったことなどを意見交換出来るサイトがほしい。Facebookグループなどでも良いと思う。
● 能率的な運営と的確な講義でとても良かったです。
● 場所が不便。場所がせまい。
● 話の流れが早い為、メモを取っていると話についていけません。テキスト外の話が何度か出ましたが、知識が無くさっさとしか、理解出来ず…。正直C講習が不安です。
● 早口流す部分が多く、たいくつに感じる
● パワーポイント等
● パワーポイントなども使いながら図を示して説明されたがよい。講師は全体の正面に立って受講者を見ながら講義すべき。ただ読むだけなら誰が講師でもよい。床下の換気の扱いについてきちんと説明が必要
● 久しぶりの勉強でつかれました。C講習がスムーズに出来る様にとめます。大変お世話になり有りがとうございました。
● 非常に具体的でこれからの法改正に向けての活気的な講習会だと思いました。又、私は設計側なので、法律はよく理解せざるを得ないのですが、施工現場のたいへんさがよく理解でき、設計、施工両面にとって、意義のある講習会だと感じています。
● 費用がかかってもよいので、お昼が用意してあればよいと思う。
● 2人の講師は声が通って良かったが1人の方が聴き取りにくかった。
● 別件、「24時間換気」と同様、選択肢は無く義務化になるのですか？在来工法における木資材の特徴を生かした省エネはないのでしょうか？ただただ断熱材をぶち込むのが省エネ？建築立地を鑑み施主、施工、設計者の選択にゆだねる部分もあって良いと考えました。
● 部屋が大変寒かった。
● 勉強になりました。
● 本講習はかけ足進行の様に感じた。C講習はもっと進行が早い。時間が短い。受講者が理解できるだろうか？
● 本人が講師となってという立場で受講してみても、時間配分は難しい。私的意見が多少みうけられたが、受講側は逆に内容に不安が残る印象がある
● 本番で講義が不安
● 本来の技術向上を考えるのであれば、講習会だけでなく、実技研修も必要、と思われれます。(認定制にする事も考えるべきでは？)
● まさかACが無とは、思いませんでした。が…これも良い経験となりました。大変お世話になりありがとうございました。
● マツナガ氏の話し方が聞きやすかった。えーの後に早口になったり、語尾が聞きとれなかったり…すみません。本講の主旨からすれば、単純に落ち着いてテキスト内容を伝えてくれた、女性の方の話が一番わかりやすく感じました。…すみません…。
● もう少し要点を絞って、わかりやすく説明しないとC講習で難しく思われる。

■「講習会」に関するアンケート(全体)

【質問11】 そのほか、本講習会全体について、ご意見等があればお聞かせ下さい。...(FA)

● 模型解説は大人数だと、一部の人が伝わらない。方法を、考え直したほうが良い、と思います。
● 模型説明等、部位毎にNOを模型とテキスト(模型専用)に記入してほしい。修了考査の内容に問題があります。C講習の修了考査も同じ内容ですか。
● 模型について、間違いが多数見られました。金物の止め方や、釘の種類など。施工している人達からのつっこみがこわいです。
● 模型については、大へん分かりやすいのでいい教材ではあるが、悪い施工については、その旨を示すべきと思う。
● 模型の作りがよろしくない。現実的でない部分が多すぎる。C講習に使うのは、マズイ。
● モケイは地元産にして
● 模型はわかりやすいのだが、間違っているところも多く、これはC講習に使用できません。1つのほころびで講習自体が評価されない危険があります。
● 良かったと思います。
● リフォームの場合部分的にやっても意味がないと思うので全部やると施主の負担がかなり多く現実味がないように思う。C講習の時間配分ができるテキストが欲しい。
● 冷房がある部屋で講習が受けられればよいと思います
● 冷房がない点。扇風機、送風機でもよい音がうるさくて、大事な講義が聞こえずらい。
● 冷房がほしかった。
● わかりやすかった。もう一度、勉強します
● 私は個人的に早く会場に着いたので、講師の方とお話できましたが、本当なら班分けをして施工体験するなどGWマイスターの様な講義があった方が理解しやすいのでは。講師になるのはまだ不安。講師のロープレや質問をする窓口があったら安心だと思います。
● 考査のうち⑥-4が○との正解ですが、どうでしょうか？テキスト043の④暴風層の解説とは、構造用合板とは整合しないように思うのですが→B講習時に同様な問題の場合解説はどうするのでしょうか。見解をお願いします。
● 講習の内容ではなく、講師が何をするのか？与えられたスタンスについての説明が不足しているので、8月下旬までに補って下さい。
● 今回A講習を受講し、来月B講習を担当するが、C講習を担当する方々が準備が最も大変だと感じた。A講習もC講習と同じ時間割で講習をして、B講習でC講習の時間割の当りを付け、伝えてやりたかった。
● 今後疑問点が出てきた場合協議会に聞きたい。
● 少し時間的に長く、短縮できたのではないかと思います。
● 定期的に勉強会があれば参加したいです。
● 弁当が欲しい。
● 模型に見るポイントを矢印を付け説明書きを入れるか、レジュメを作成すると説明しやすい。
● 模型の仕様書が欲しいです。
● 模型の説明は、施工も行うと更にわかりやすいと思います。
● 模型解説のとき、人数が多くなると説明されてもわかりにくい。カメラで撮った画像をスクリーンで大きくうつせればありがたい。
● 模型解説は、大変分かりやすかったです。失敗例もあり勉強になりました。
● 木造住宅の断熱施工に関して非常に詳しく丁寧に解説していただき。

平成24年度国土交通省補助事業
住宅市場整備推進等事業
「木造住宅の基礎的な省エネ施工技術等に関する講習事業」
～省エネ設計・施工に関する実態調～ 報告書

平成25年3月
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
